

第七十五回帝國議會 院 豫算委員第五分科(文部省及厚生省所管)會議錄(速記)第二回

會議

昭和十五年二月十七日(土曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

主席 平川松太郎君

吉植 庄亮君

坂本宗太郎君

兼務 石坂 豐一君

田村 秀吉君

末松借一郎君

同日第二分科所屬員森下國雄君ハ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 松浦鎮次郎君

厚生大臣 吉田 茂君

出席政府委員左ノ如シ

文部事務次官 子爵舟橋 清賢君

文部參與官 仲井開宗一君

文部省專門學務局長 關口 鯉吉君

文部省普通學務局長 中野 善致君

文部省實業學務局長 岩松 五良君

文部省社會教育局長 田中 重之君

文部省圖書局長 近藤 壽治君

文部省宗務局長 松尾 長造君

文部書記官 永井 浩君

教學局長官 菊池豐三郎君

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生參與官 飯村 五郎君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

厚生省衛生局長 林 信夫君

厚生省豫防局長 高野 六郎君
厚生省社會局長 新居善太郎君
厚生省勞働局長 藤原 孝夫君
厚生省職業部長 內藤 寬一君
保險院長官 進藤 誠一君
保險院總務局長 佐藤 基君
保險院社會保險局長 清水 玄君
保險院簡易保險局長 藤川 靖君
軍事保護院總務局長 數藤 鐵臣君
軍事保護院業務局長 櫻井安右衛門君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十五年年度歳入歳出總豫算案昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中文部省及厚生省所管
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中文部省及厚生省所管
(第一號)昭和十五年年度歳入歳出總豫算案加算中文部省及厚生省所管
○平川主席 開會致シマス——石坂君
○石坂委員 此ハ此ノ際昭和十四年十月十八日勅令第七百四號及厚生省令第三十三號デス、此ノ施行規則、之ニ關シマシテ地代、家賃統制令ニ付テ厚生當局ノ御所見ヲ伺ツテ見タイノデアリマス、斯ノ如キ問題ニハ動モスト土地持子、家賃持子ノ最良ヲスルヤウニ考ヘラレテハ甚ダ迷惑ナノデアリマシテ、斯ク申ス私モ借家ニ住ミ借地ヲ利用シテ居ルヤウナコトモアリマスノ

デ、横暴ナル地主又惡徳ナル家主ニモ苦メラレタル事例ニ遭遇シタコトモアリマス、私ハ必ズシモソレ等ノ味方ヲシテ之ヲ伺フノデハナイノデアリマス、天下ノ廣キ、民衆ノ多キ、此ノ家主又地主ノ中ニモ非常ニ國家社會ノ爲ニナル人ガ多クアリマスノデ、決シテ食慾極マリナキ者バカリハ居ラスノデアリマス、中ニハ業生濟度ノ爲ニ、諸善作スベシ、諸惡作スベカラズト覺テモ起キテモ説イテ居ル宗教家ガゴザイマス、又團體明徴ヲ説イテ日本精神ヲ昂揚スルコトニ努メテ居ル神職モ居ルデアリマス、又零細ナル株主ヲ集メテ、土地、家屋ヲ經營シテ僅カナル配當ヲ爲シテ居ル土地會社モアル、サウ云フ總テノ階級、又更ニ軍人ノ未亡人或ハ官吏ノ孤兒、サウ云フ者ガ恩給扶助料ノ一部ヲ土地、家屋ニ投ジテ、零細ナル生活ノ資料ニ充テテ居ル哀レナル人モ居ルデアリマス、斯ウ云フ者ヲ總テ一丸トシタ下ニ立テラレタノガ地代家賃統制令ト云フコトニ相成ツテ居ルデアリマス、是ニ於テ私ハ當局者ニ伺ヒタイコトハ、此ノ地代、家賃ノ統制ト云フコトハ洵ニ複雑多岐ナモノデゴザイマシテ、當局ノ御苦心モ私共ハ之ヲ拜察スルニ餘リアルノデアリマシテ、私共ハ之ヲ攻撃スル意思ハ更ニナイノデアリマス、飽タマデ適正價格ノ下ニ服従スルト云フコトハ此ノ時代ニ於テ適當ナルコトト理解ヲ致シテ居リマス、ソコデ第一ニ伺ツテ見タイノハ、何カ地代、家賃統制令ニ依ツテ困ツテ居ル人々ガ陳情致シマス、

一ニモ二ニモ所謂惡徳地主、惡徳家主ノヤウナ取扱ヲ受ケテ是等ノ陳情ニハ耳ヲ假サレナイ傾キガアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、當局ハ、當事者ノ申出ガ極メテ穩健ナル立場デ唱ヘラレテ居ルト云フコトガ御分リニナリマシタラバ、其ノ適正價格ヲ認メテヤラレル所ノ御意思ガアルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ、大體ニ關スルコトデアリマスカラ吉田厚生大臣ヨリ拜承致シタインデアリマス
○吉田國務大臣 現在統制ノ結果ガドウ云フ影響ヲ及ボシテ居ルカト云フコトニ付キマシテノ政府ノ見ル所ノ詳細ニ付テ、私マダ研究スル邊モ持ツテ居リマセヌノデアリマスガ、丁度御質問ニ仰セラレマスルヤウニ、地主、家主ガ悉ク借地人、借家人ヲイヂメルモノダト云フヤウナ、サウ云フ曲ツク考ヘハ私ハ全然持ツテ居リマセヌ、何ソ地代、家賃ノ問題ニ付キマシテ、ソレ等ノ人々カラ、借主側カラデモ貸主側カラデモ其ノ實情ニ付テ役所ニ訴ヘラレマスルコトガアリマスナラバ、虚心坦懷ニ申サレル所ヲ承テネバナラヌモノト考ヘテ居リマス
○石坂委員 極メテ御親切ナル御答ヲ承リマシタ、ソコデ現行ノ統制令ハ十二年ノ八月ノ現在ヲ「ストップ」シマシテ、ソレヲ基準トシテ御定メニナツテ居ルヤニ伺ツテ居ルノデアリマス、統制令ノ出タノガ詰リ十四年十月デアリマシタカラ、一年以上週ツク時ノ價格ヲ御取リニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ統制令ニ付テ、一年以上週

ラレトコト云フコトハ、單ニ一年以上前ノ價格アルナラバマダシモ忍ブベシデアリマ...

情ニ基キマシテ、一般物價ノ釘付ト同時ニ左様ニ一時臨時應急ノ措置トシテハ以外...

分ダケ聽イテコテ決メテソレガ宜カラウト云フコトハ中々ヤリニクイノデアアルマ...

一條ノ一號カラ三號マデハ稍、具體的ニシテ居リマス、併シ是ダケデハ社會ノ本當ノ實...

ナコトガアツテハ何ニモナラスト思ヒマスノデ、是ハ通謀ニ於キマシテモ眞ニ已ムヲ得...

契約ノ下ニ行ハレテ居ルカラ、開取引ハシヨウトシテモ出來ナイ、ソレハ地主家主ガ...

ノ極ニアル中小業者ノ如ク弱ラシテハイケマセガ、一面先程申シマシタヤウニ土地...

デアリマス、之ニ付キマシテモ長年ノ經驗ヲ持ツテ居リマス地主ナリ家主ナリ、或ハ...

一度度ヲナイコトニナリマス、病院デモ病人デモ非常ニ困ル、木炭ノ例ハ此ノ場合...

○吉田國務大臣 洵ニ御尤モナ御事デアリト思フノデアリマスガ、閣下ト云フヤウ...

昔大名が徳川時代ニ居ツタト同ジ立場ニアツテ許可ヲシナレバ、縣外移出ガ出来ヌト云フ...

第三ニ御事シタイノ、ハ今日非常ニ藥ガナイノ、國民ノ大多數ガ困ツテ居ル、...

第一類第六號 豫算委員第五分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日

テ居ルト申スノデアリマセヌケレドモ、政策サハ誤ラナケレバ、マダ比較的途...

野藥物等ノ生鮮食品ノ價格ニ付テハ、自然ニ放任シテ置クノカト云フコトニナルト、...

マシテモ非常ニ品估レテ居ルヘラレテ居ルト云フ事情ニアリマシテ、生産ノ方面ヨリハ...

第二ニ位スル配給商業組合ノ手ニ落スベク商業組合ヲ作ツテ目下流シテ居リマス...

○中山國務大臣 洵ニ御尤モナ御事デアリト思フノデアリマスガ、閣下ト云フヤウ...

コトガ大切デアアルマイカト云フ風ニ、私共今マデハ考ヘテ參ツテ居ルノデアリ...

○中山國務大臣 洵ニ御尤モナ御事デアリト思フノデアリマスガ、閣下ト云フヤウ...

マシテモ非常ニ品估レテ居ルヘラレテ居ルト云フ事情ニアリマシテ、生産ノ方面ヨリハ...

○中山國務大臣 洵ニ御尤モナ御事デアリト思フノデアリマスガ、閣下ト云フヤウ...

○中山國務大臣 洵ニ御尤モナ御事デアリト思フノデアリマスガ、閣下ト云フヤウ...

付キマシテ、職責ヲ持ツテ居リマス自分ノ立場トシテノ見解ヲ述ベタ譯デアリマス...

○中山國務大臣 洵ニ御尤モナ御事デアリト思フノデアリマスガ、閣下ト云フヤウ...

モ悪ケレバ、其ノ液モ悪イト思ハレ、サウスルト澤山ノ健康相談所ト云フモノ...

○中山國務大臣 洵ニ御尤モナ御事デアリト思フノデアリマスガ、閣下ト云フヤウ...

○吉田國務大臣 洵ニ御尤モナ御事デアリト思フノデアリマスガ、閣下ト云フヤウ...

シテ居リマセ、併シ成ベク其ノ就學ヲ奨励致ス、ト斯ウ云フ意味デ就學奨励ノ施設ノ爲ニ經費ヲ計上致シテ居リマス、今日直ニ之ヲ義務制ニ致スト云フ趣意デハナイノデゴイマス、是ハ早晚義務制ニ致スト云フ時期ガ来ルト思ヒマスルケレドモ、今日直ニ之ヲ義務制ニ致スト云フマデハ至ラズテ居ラスノデアリマシテ、今日ハ出来ルダケ其ノ就學ヲ奨励致サウ、斯ウ云フ意味デ色々ノ施設ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○吉植委員 私立義務制ニナリマシタト早合點シマシテ大變喜ビマシタガ、併シ今大臣ノ御話ヲ將來ニ於テドウシテモソコマデ參ラネバナラヌダラウト云フコトデ希望ヲ繋イデ居リマス、一日モ早ク首肯兒童ノ義務教育施行マデニ速セラレマスヤウ折角御盡力ヲ願ヒマス

次ニ御致シタイコトハ、農學校ノ學生ノ入學ニ關スル件ト農學校ノ實習用ニ關スル件デアリマス、是ハ二ツガ相關聯シテ居リマスカラ、二ツノ質問ヲ一ツニシテ御答シテ居ルコト思ヒマス、御返事ハ二ツ載キタウゴイマス、過般星一君ガ豫算總會ニ於テ全國ノ學校ニ入學シヨウト云フ生徒ニ實習ヲ少クトモ二年行ツテ之ヲ學校ニ入レル、サウシタラ一番宜イデナイカト云フ實際ニ即シク質問應答ガアリマシタガ、私ハ特ニ農村ノ農學校生徒ハ少クトモ最小限度約二箇年ノ實習ヲ經テ、然ル後ニ之ヲ學校ニ入レナケレバ相成ラヌデヤナイカ、斯ウ云フ主張ヲ抱イテ居リマシテ、農村ニ於キマシテモ到ル處ノ講演會デ此ノ事ヲ申シテ歩イテ居ツクノデゴイマス、丁度私ハ此ノ事ニ關シテ一番手取早イ私ガ致シマシタ會話ヲ茲ニ記シテア

リマスカラ、之ヲ讀上ゲテ御參考ニ供シテ話ヲ進メタイト思ヒマス、是ハ私ガ書イタ隨筆ノ中ニアル一節デアリマス、私ノ農場ニハ近頃、甲種農學校ノ卒業生ナドガ、能ク研究生トシテ入ツテ來ル、ソコデ私トノ問答ガ始マル、君ハ一體何ヲ研究シタイノカネ、コノ農場ニ入ツテ、米ノ作り方ヲ眞實ニ研究シタウテヤウテ來マシタ、ドウカ研究生トシテ置イテ下サイ、デモ、君ノ學校デハ米ヲ作ルコトハ、ヘナカウツカカニエ、大體米作りノ形ダケハ教ハツテ來マシタガ、精神ト云フカ、眞實ニ關レタ事ハ一ツモ教ハリマセ、併シ君ノ學校ハ甲種農學校デアリ、甲種農學校ト云フ所ハ、農業技術員ヲ農村ノ指導者ヲ教育スル學校ノ答ダガ、ソコデ本當ノ米ノ作り方ヲ教ヘナイト云フハ、辻褄ガ合ハナイイチャナイカネ、デモ本當ニ教ハラナイノデス、アスバラガス、ダトカセロリ、ダトカノ作り方ハヨク教ハツテ來タノデスガ、イヤ去年來タ研究生モ、一昨年來タ研究生モ、君ト同ジヤウナ事ヲ言ツテ居タヨ、ドウモ農學校ト云フ所ハ、何處デモ自分ノ本當ノ使命ヲ忘レテ居ルラシイネ、困ツタモノダネ全ク、斯ウ云フ問答ガアル、私ガ東京生活ヲ捨テテ郷里ニ歸リマシテ大正十五年ニ開墾地ヲ計畫シテ百姓ニナリマシタ、サウシテ昭和五年アタリカラ盛ニヤツテ見マシタ、甲種農學校ノ卒業生、乙種農學校ノ卒業生、或ハ農業云フヤウナ者ガヤツテ參リマシテ、私ノ所ニ研究生トシテ入ル、是ハ勿論日給ナドハ支給致シマセ、只デ私ノ所ニ來テ働イデ一年暮スノデス、其ノ時ニ私ハ實ニ驚キマシタ、米ノコトハ素人デアルガ、大體私ハ

人ニ教ヘルコトガ出來ル、外ノモノハ出來ナイ、米ダケデアリマスガ、段々此ノ研究生ト日夕暮シテ居ル中ニ甲種農學校ノ卒業生ハ蔬菜園藝ノ方ハ私ノ先生格デアルガ、如何ニ米ニ付テハ知ラナイイカヲ知ツタ、米ノ作り方ハ僅カ五箇年ヨリ經テ知ツタ、米ノ依リマシテ町村ノ農業技術員ニモナレル人ガ僅カ五箇年ノ素人百姓ノ私ノ所ニ來テ、私ノ師匠トシテ米ノ研究ヲスル、是ハ實ニ異様デ、他ノ社會ニ於テハ、斯様ナ風景ハ到底見ルコトガ出來マセ、ソレデ私ハドウ云フコトヲシタカト申シマス、第五年目ニ既ニ四十二町歩ノ開墾ヲ終リマシテ、此ノ四十二町歩ノ自分ノ實習田ヲ積リテ研究ヲシテ居ル譯デアリマス、第一年目ノ開墾カラ年々十町歩位ツツ開墾シナガラ到頭四十二町歩ニシタデアリマス、前後合セテ總面積カラ行キマス、四百五十町歩ヲ五箇年間ニ米ヲ作ツタ私ノ體驗デアリマス、此ノ體驗ガ私ニ米ト云フトフモノハ斯ウ云フモノデアツテ米ヲ作ルニハドウダト云フコトヲ教ヘテ居ル、所ガ農學校アタリデハ實習田ガ四反カコソラシカアリマセ、生徒ガ三四百人居リマスカラ、一人當リ自分ノ實習田トシテハ三坪カ四坪シカ充テガハレナイ、又學校ノ先生ハ如ニ居ルコトハ好ミマスガ田ニ入ルコトハ餘リ好ミマセ、ソコデ生徒達モ家ニ居ツテ米ヲ作ルコトハ見テ居リマスケレドモ、セロリヲ作ツタリ、或ハ果樹園藝ニ勤シムコトハ初メテノ體驗デアリ、其ノ育成過程ニ於テ非常ニ興味ヲ持ツト見エテ、其ノ方ニ熱中シマスガ、ソレ程ニ米ノ方ハ能クシマセ、ソレニ農産物ノ一切

ラテ實行ニ移ツテ居ツクコトデゴイマスガ、學校ノ學生生徒ヲ農業ノ方ノ手助けニ出シテ居ラレタ、此ノ事ヲ本年モ一ツ十分強化シテ戴キタイト思ヒマス、是ハ主管ガ達フコトデアリマスガ、實ハ私共農村ノ人達ハ議會ノ中ニ於キマシテモ、本年ノ米ハ大分心配デアルト云フコトニ意見ガ一致シマシテ、有ニル角度カラ米、麥、其ノ他雜穀ノ戰時食糧ノ増産ト云フコトニ國家ガ全力ヲ注イデ戴キタイト云フ趣意デ質問應答ヲ今日マデ重ねテ參ツテ居リマス、昨日モ島田農林大臣ニ伺ヒマシテ、ドウモ農林變テアル、斯ウ云フ御答辯ガアリマシテ、ソレニ付テハ一ツ私共カラ要求ヲ致シマシテ、米、麥ヲ政府ガ全力ヲ擧ゲテ獲得ニ盡力セラレマシテ、農業ハ天候一ツニ依ツテ左右セラルルモノデアリマスカラ、折角ノ努力モ水泡ニ歸スル場合モアリマス、其ノ他ノ食物ノ補給ニ依ツテ其ノ備ヘテ付ケネバ相成リマセ、ソレニ付テハ今日肥料ノ窒素分ノ確保ガ不足シテ居リマスカラ、硫酸アンモニアガ所ノ作物、又他ノモノヨリモ反當收穫ガ非常ニ多イモノ、詰リ薩摩諸、馬鈴薯ト云フヤウナモノヲウツト増産シテ行クト云フ考ハナイカ、ソレハアル、斯ウ云フ話デアリマシタ、併シ農林省ノ今日ノ計畫ハ單ニ既成畑ニ於テ之ヲ收穫スルト云フ計畫ラシイノデアリマシテ、有ニル荒地、又何ト申シマスカ、休耕地ト申シマスカ、空イテ居リマス土地、斯ウ云フ土地ヲ選シテ、學校ノ生徒ヲ動員シテ此處ニ植付ケラレテ、農村ガ勞力不足デアリマスカラソレ以外ノ左様ナコトハ學校ノ生徒方ニ御願ヲシテヤツテ貰フ、是ハ戰時對策

ラスト思ヒマスガ、兎ニ角御趣意ハ能ク諒承致シマシテ、能ク研究致スコトニ致シマス

○吉植委員 農學校ニ實習田ガアリマスガ、ソレガ少イ、ソレヲ増スト云フコトニ付テ御答辯ヒタイト思ヒマス

○松浦國務大臣 農學校ニ於ケル實習地ハ學校ニ於キマシテハ最モ大切ナモノデアリマシテ、就中水田ハ特ニ大切ナモノデアリマス、隨テ各學校トモ水田ヲ成ベク多ク致シタイト云フコトニ向ツテ努力ハ致シテ居ルノデアリマスガ、土地ノ情況ニ依リマシテ希望通りニ水田ヲ得難イ學校モアルト考ヘマス、全國農學校ノ平均段別ハ一校當實習地ガ四町五反デアリマシテ、其中水田ハ一町一反ト相成ツテ居リマス、最近ニ於キマシテハ各學校トモ實習地ノ狹隘ヲ感ジマシテ、原野山林等ヲ開墾致シマシテ特別農場ヲ設置スル傾向デアリマス、此ノ面私ハ平均三町歩ト相成ツテ居リマス、文部省ニ於キマシテハ極力此ノ實習地ノ擴張ヲ獎勵致シマシテ、是等特別農場施設ニ國庫補助ヲ與ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、今後トモ實習地、特ニ水田ヲ擴張サセマシテ、稻作ニ關スル教育ヲ十分ニシテ、食糧生産ニ貢獻セシメタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉植委員 大臣ノ御答辯ヲ承リマシテ御國家ノ爲ニ欣快ニ存ジマス、ドウカ今仰セラレタ一般ニシテ米結構デアリマスカラ教育制度ニ於テ實習ヲ主ニシテ行ク學校ニ付キマシテハ只今申上ゲマシタヤウナ風ニ實習ヲ先ニシテ、然ル後ニ教ヘルト云フヤウナ方針ガ一日モ速ク實現セラレマスヤウニソレカラ是ハ昨年モ既ニ政府ニ於テ企テ

トシテ獨逸ニ於テモ佛蘭西ニ於テモ大戰二箇年目カラ既ニ實施シテ居ルコトデアリマシテ、此ノ戰時食糧確保ト云フ意味カラハ當然ソコマデ眞實ニナツテ貰ハネバナナルマ、農民ニノミ食糧確保ヲ頼ンデ置イテ、外ノ國民ガ之ニ協力シナイト云フコトデハ果シテ此ノ戰時食糧對策ト云フモノガ確立シ得ルカ、ドウシテモソコマデ行ツテ貰ハネバナナルマ、ソレニ對シテ農林省ハ何か積極的ノ意圖ガアルカト云フコトヲ昨日モ質問致シマシタガ、農林大臣カラハソレニ付テ今俄ニドウト云フ的確ナル返事ハ出來ナイガ、出來ルダケサウ云フヤウニシタイト思フト云フ御返事ガアリマシタ、併シ農林大臣ハ何處ニドウ云フ空地ガアツテ、ドウシタ宜イカト云フコトガ一寸分ラスト言ハレタガ、ソレハ全國ノ青年團ナリ、在郷軍人ナリ、或ハ學校ノ生徒ト云フヤウナモノヲ動員シテ調査スレバ十日間デ必ズ分ル、東京アタリハ少シナリマシカ知レマセ、東京アタリハ少シナリマシト、何處ニドウ云フ空地ガアツテ、何處ニドウ云フ屋敷跡ガ其ノ儘ニナツテ居ルカト云フコトハ唯一日デ分ル、唯其ノ後ニ學校ノ方カラ之ニ努力ヲ加ヘテ戴クコトガ出來ルカドウカト云フ點ガ殘ツテ居ルノデアリマスガ、昨年ハ勞力移動班ノ中ニ學生諸君ガ加ツテ下ツテ居リマシタガ、左様ナ場合ニナリマシタナラバ文部省トシテハ昨年同様ニ向ツテ極力御助力下サイイマセウカ、其ノ點ニ付テ御答辯ヒタイ

歩モ持ツテ居ル農學校ナドハ殆ドアルマイト思ヒマス、ドウカ此ノ意味ニ於テ農學校ニ於キマシテハ、實習ヲ少クトモ二年、ソレガ出來マセメデシタナラバ最小限度一年間ハ實習シタ人デナイト入學ヲ許サス、又農學校ノ實習田ヲ今日直チニ出來マセメデモ、將來ノ計畫トシテ文部省ニ於テ豫算ヲ計上シテ、モツト獲得スルト云フコトニ出テ欲シイト思ヒマスガ、之ニ對スル大臣ノ御考ハ如何デゴイマスカ

○松浦國務大臣 只今吉植サンカラ色々御體験ニ基イテ農學校入學等ニ關スル御希望、御意見ヲ以テマシテノ御答デアリマスガ、今日ノ農學校ニ於キマシテハ入學後モ唯學力ノミナラズ、實習ト云フコトニ付テハ學校ニ於テモ相當注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ只今御述ノヤウニ其ノ點ガ不十分デアルト云フヤウナコトモ或ハアルカトモ存ジマス、入學前ニ或ル期間實習地經驗ヲ積ンデカラ之ヲ入レルト云フ制度ニシテ宜カラウト思フガ、ドウデアアルカト云フ御尋デアリマスガ、御趣旨ハ能ク了解致シマシタ、此ノ學校入學前、殊ニ實業學校ト云フヤウナ所ニ於キマシテハ入學前ニ或ル程度ノ實習ヲ經テ入レルコトガ宜カラウト云フコトニ付キマシテハ、是ハ獨リ農學校バカリデハナク、工業學校ナドニ付キマシテモサウ云フコトニシタ方ガ宜シクハナイカト云フ論モアリマス、是ハ實業學校等ニ付キマシテハ全般ノ一ツ考ヘル必要ガアルカト思フノデアリマス、又之ヲ實施スルニ付キマシテハ色々考ヘナケレバナラス事情モアルト思ヒマス、サウ直ダニサウ云フ風ニ之ヲ實行スルコトガ出來マスカドウデアリマスガ、其ノ點ハ考ヘナケレバナ

今日ノ時局ニ於キマシテ生産ノ擴充ニ對シマシテハ國民一般ガ出來ルダケノ協力ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、非常ニ必要ナコトト存ジマス、殊ニ食

○吉植委員 實ハ私共農林大臣ニ屬シ、ドウモ今日ノ米穀事情ガ甚ダ窮迫ヲ告ゲテ居ルガト云フコトヲ御話シテ、デアリマスガ、農林當局トシテハ、中々對外的ノ關係モゴザイマセウシ、吾々ト謀ラテ、裸ニナツテ此ノ點ガ斯ウ足リナイカラ、斯ウシヨウト云フコトハ、實ニ難シク、デアリマス、此ノ上ハ唯私共國民ガ一體トナツテ、此ノ食糧問題ニ善處スルヨリ致シ方ナイト、

○吉植委員 實ハ私共農林大臣ニ屬シ、ドウモ今日ノ米穀事情ガ甚ダ窮迫ヲ告ゲテ居ルガト云フコトヲ御話シテ、デアリマスガ、農林當局トシテハ、中々對外的ノ關係モゴザイマセウシ、吾々ト謀ラテ、裸ニナツテ此ノ點ガ斯ウ足リナイカラ、斯ウシヨウト云フコトハ、實ニ難シク、デアリマス、此ノ上ハ唯私共國民ガ一體トナツテ、此ノ食糧問題ニ善處スルヨリ致シ方ナイト、

デアリマスガ、堤防ガ一箇所危殆ニ瀕シマシタ、サウシマスト警官ガヤツテ來マシテ、危殆ニ瀕シタ時ハ何時デモ警防團ヲ動員シテ援ケルカラト斯ウ云フコトデ、私ノ隣ノ村デハ警防團ノ出動ヲ請ヒマシテ、是ハ何時モ決潰シテシマフ堤防デゴザイマシテ、モウ土手ノ上ニ水ガ浸シテ來タヤウナ

デアリマスガ、堤防ガ一箇所危殆ニ瀕シマシタ、サウシマスト警官ガヤツテ來マシテ、危殆ニ瀕シタ時ハ何時デモ警防團ヲ動員シテ援ケルカラト斯ウ云フコトデ、私ノ隣ノ村デハ警防團ノ出動ヲ請ヒマシテ、是ハ何時モ決潰シテシマフ堤防デゴザイマシテ、モウ土手ノ上ニ水ガ浸シテ來タヤウナ

成ラヌノダ、國家ハ是程マデニ食糧確保ニ心ヲ砕イテ居ラレラント云フ感シヨ與ヘマシタ、是ハ一例デアリマシテ、中央ニオ

成ラヌノダ、國家ハ是程マデニ食糧確保ニ心ヲ砕イテ居ラレラント云フ感シヨ與ヘマシタ、是ハ一例デアリマシテ、中央ニオ

シテヤツテ戴クコトガ、具體的ニハ一番効果

シテヤツテ戴クコトガ、具體的ニハ一番効果

徒ヲ通ジテ此ノ事ヲ知ラシメルト云フコトニ御骨折ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

モ早く此ノ際令ヲ改メサセルト申シテハ、是ハ所管外デゴザイマスカ、改メルヤウニシナケレバナラヌト御考デゴザイマスカ、

シイガ、サウデナケレバ、何トカシナケレバナラス、斯ウ云フ方面デ一ツ御骨折ヲ願ヒタイノデアリマス

マセスカラ、唯若イ者ノ頭ノ中ニソレガ爲ニ好マシカラザル影響ヲ及ボスコトヲ防グ

リマセケレドモ、一方ニハ之ヲ獎勵スル
ト云フコトノ必要モアリマセウ、私立學校
ニ對シテノ助成獎勵ト云フコトニ付テハ、
是ハ能ク一ツ十分考慮シテ考ヘテ居
リマス。

○末松委員 私立學校ニ付キマシテ、今大
臣ノ御答辯中、良イ私立學校ト云フコト
ガ、既ニ多年文部省ニオ居デニナツタ大臣
ニハ、矢張りハレテ居ルノデハナイカト思
ヒマス、要スルニ良イト云フコトハ、恰モ
公立、官立ノヤウナ風ノ學校ト云フコトニ、
ドウシテモ因ハレ、假令少々惡クテモ、
入學難ノ緩和ト云フヤウナ、教育問題ヲ通
リ越シテ重大ナ社會問題トナツテ、日本ノ
國民ノ體位及精神ニ付テ非常ニ痛感シツ
ラルヤウナ、此ノ重大ナル問題ヲ解決ス
ル爲ニハ、少シ位惡クテモ宜イノデハナイ
カト云フ所マデ考ヘテ、政策ヲ立テラ
レルコトヲ希望シマス、同時ニ其ノ政策ヲ
立テルニ付テハ、今マデノヤウニ唯私立大
學助長結構ト云フコト位デハ、到底巧ク
行カナイカラ、國家ナリ或ハ地方團體ガ、
是ハ皆サンガ能ク御承知ノ通り、一人當
リノ費用ト云フモノヲ官立ノ學校ニ大變
出シテ居リマスガ、其ノ幾部分ヲ私立學
校ニ補助シテヤレバ、私立學校ガ相當出來
ル、ソレニ依ツテ色々種類ノ人モ出來ル
シ、同時ニ又入學難ノ緩和モ十分ニ圖ルコ
トガ出來マスカラ、此ノ點ハ答辯ハ要シマ
セヌケレドモ、文部大臣モ、今マデ吾々ガ
多年文部省型ト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ
ラ、其ノ點ニ付テハ深ク反省ヲサレテ、私
立學校ノ獎勵、之ニ依ツテ入學難ノ緩和ヲ
得ルト云フヤウナ點ニ付テ、御留意アラシ
コトヲ御願シマス。

モウツ最後ニ御尋シテ置キタイノハ、
先日此ノ事モ豫算總會デ御尋シマシタケレ
ドモ、十分ナル對策ヲ聞クコトガ出來ナカ
クナリマス、今日小學校教員ガ非常
ニ不足シテ居ル、缺員ニナルトドウモ補
充ガ出來ナイト云フコトハ、國民教育トシ
テ重大ナル問題デアリマス、御承知ノ如ク今
日全國ノ小學校ノ代用教員ノ數ハ、非常ナ
數ニナツテ居ル、其ノ代用教員ノ不完全ナ
ル人ガ、小學校教育ニ當ルト云フコトデハ、
日本ノ國民教育ノ將來ノ低下ト云フモノニ
付テ、吾々ハ憂慮ニ堪ヘナイノデスガ、是
ハ彼此レ言ツテ居ル時期デナイカラ、文部
大臣ハ、此ノ小學校教員ノ補充ニ付キ、或
ハ師範入學生ノ優遇其ノ他ノ方法ニ依ツ
テ、師範入學生ガ今少シク増エルヤウニス
ル、或ハ教員ノ待遇ヲ好クシテ、小學校教
員ノ充實スルヤウニ、其ノ志望者ヲ國民ノ
間カラ獲得スルコトガ必要デアルト云フヤ
ウナ、焦眉ノ急ニ迫ツテ居ル問題ト考ヘタ
ノデアリマスガ、文部大臣ハ之ニ付テ如何
ナル對策ヲ持ツテ居ラレルカト云フコトヲ
承リタクゴザイマス。

○松浦國務大臣 此ノ時局ニ於キマシテ、
小學校ノ教員ガ自然産業方面或ハ外地等ノ
需要ニ應ジテ、轉職スルヤウナ者ガ多クナ
リマシテ、ソレガ爲ニ教員ニ缺乏ヲ感ジテ
居ルト云フコトハ、是ハ文部省ト致シマシ
テモ非常ニ痛切ニ感ジテ居ル所デアリマス、
是ガ爲ニハ一方供給ヲ増加スルト云フコト
ト、ソレカラ一ツハ教員ヲ優遇スルト云フ
此ノ二ツノ方法ヲ採ツテ參ラナケレバナラ
ズト思フノデアリマス、之ニ關シマシテ、
明年度ノ豫算ニ於テモ、一方ニ於テハ師範
學校ノ學生ノ増養、又教員ニ對スル年功加
俸ノ國庫補助ノ増加ト云フヤウナコトヲ、御
要求ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、尚
ホ教員ノ優遇ト云フコトニ付キマシテハ、
是ハ出來ル限リ考ヘテ行カナケレバナラヌ
ト思フテ居リマス、サウ云フ方法ニ依ツテ
出來ル限リ教員ノ供給ヲ全クシテ教育ノ退
歩ヲ來サナイヤウニ努力ヲ致シタイ考デ居
リマス。

○末松委員 私は質問ヲ終リマスガ、今
最後ノ問題ハ、是ハ國家ノ爲ニ必要ニシ
テ且ツ急ヲ要スル問題デアリマスルカラ、
年功加俸其ノ他今同ノ色々ノ改善方法位デ
ハ追付カスト思ヒマスカラ、一ツ文部省デ
他ニ付テ御配慮アラシコトヲ希望致シマシ
テ、此ノ質問ヲ終リマス。

○平川至查 羽田君、御相談シマスガ、モ
ウ一時過デスガ、アナタノ質問ガ短カイヤ
ウナラ宜イシ、少シ長クナルヤウナラ明後
十九日ニ致シタイと思ヒマス。

○羽田武嗣郎君 極ク簡明デアリマス
○平川至查 ソレデハ委員外羽田武嗣郎君
ノ質問ヲ許シマス。羽田君

○羽田武嗣郎君 只今末松君ノカラ教員ガ
段々減ツテ居ルコトニ付キマシテ非常ニ御
心配ニナツテ居ル點ヲ御尋ニナリマシタ
デ、私ハ其ノ邊ハ重複ヲ避ケマシテ、教員
ノ優遇問題ニ付テノ私ノ一ツノ問題ガアリ
マスノデ、其ノ點ニ付キマシテ文部大臣ニ
御尋申上ゲタイと思ヒマス、只今末松君
カラモ教員ノ優遇ニ付テハ精神的ニ、物質
的ニ根本的ナル對策ヲ立テテ、單ナル教育
制度、或ハ年功加俸ト云フヤウナ微溥のナ
モノデナク、モツト根本的ナルモノヲ立テ
テ、更ニ臨時教員養成所ト云フヤウナモノ

ヲ集メテ教育スル其ノ樂ミト云フモノガ何
ト云ツテモ先生ノ最大ノ喜デナケレバナラ
ズト私ハ考ヘテ居ル、或ハ雜誌デアリマス
ルガ、是ハ短カイモノデアリマスカラ一寸
讀ミマセケレドモ、啄木ガ自分ノ友人ニ小學
校ノ代用教員ヲシテ居ル時ノ小學校ノ代用
教員ノ位置トカ或ハ其ノ喜トカ云フコトニ
付テ觸レテ居ルノデアリマス、啄木ガ一友
人ニ送ツタ手紙ノ一節ニ「斯ル境ニアリテ
我ガ唯一ノ樂ミハ、故山ノ子弟ヲ教化スル
ノ大任ナリ、小生ハ蓋シ日本一ノ代用教員
ナラム、兄ヨ願クバ此ノ小サキ自負ヲ公言
スルヲ有セ、人生ニ對スル余ノ不平ハ日ニ
益シ、多シ、生活ノ苦悶モ亦日ニ甚シ、八圓
ノ月給ガヨク一家五人ヲ養ヒ得ルノ理達ニ
ナキナリ、然レドモ一切ノ不平ハ却テ余ガ
精神ヲ鼓舞スルノ良藥ナリ、鼓舞セラレタ
ル精神ノ火ハ日夜我ガ紅唇ヨリ迸リ出デ
ツツアリ、感化ハ畢竟救済ナリ、一國ノ王
トナラムヨリモ、一人ノ人ヲ救済スルハ大
ナル事業ナリ、今ノ世ニ於テ愉快ナル、若
シクハ壯大ナル事業ト稱セラルモノ、多
クハ却テ空虚ナリ、吾人ハ事ヲサントス
ルニ先立チテ、先ツ何モノガ眞ニ充實シタ
ル事業ナルヤヲ考ヘザルベカラズ」ト云フ
ヤウニ啄木ハ教育ニ對シテ非常ニ情熱ト信
念トヲ以テ一介ノ代用教員デアリマス、之
當ラレテ居ツタノデアリマス、此ノ文章ヲ
書カレタ或ハ國畫教師ハ此ノ啄木ノ言葉ヲ
引用シテ「結論トシテ、私ハ一介ノ國畫教
師トシテ此ノ啄木ノ言葉ヲ、藝術ト教育ノ
一如ノ世界ヲ理想トシテ、教育ノ尊嚴サヲ
痛感シナガラ男子一生ノ本懐トシテ、費ク
幸福ナル事業トシテ、此ノ國畫教師ノ仕事

ニ魂ヲ打込シテ居ル者デアル、人間ハ眞心
ニ依ツテノミ人ヲ動かスコトガ出來ル、
教育ノ精神ハ唯此ノ一言ニ盡キル、自分モ
亦日本一ノ國畫教師タル自負ニ生キヤウト
スル者デアル、啄木ヨ、自分ノ此ノ傲慢ヲ
有セ」斯ウ云フ風ニ啄木ノ文ヲ引用シナガ
ラ、此ノ啄木ノ教育ヲ愛シ、又教育ノ神聖
ヲ信ズル氣持ヲ心トシマシテ、斯ウシタ感
想ヲ述ベテ居ルノデアリマス、左様ナ工合
ニ兎ニ角先生ノ喜ト云フモノハ玉様ニナル
ヨリモ此ノ教育ノ事業ニ没頭シ、サウシテ
若キ次ノ國民ヲ養成スルノダト云フ所ニ最
大ノ喜ト又教育ノ神聖ガアルダラウト私ハ
思フノデアリマス、サウ云フ先生ノ精神的
ノ最後ノ生命デアリ、又精神的ノ最後ノ喜
デアル所ノ此ノ教壇ニ於テ生徒ニ授業ヲシ
テ居ル際ニ、文部省カラ行カレタ方ガ突如
トシテ斯ウシテ教壇カラ降ロシマシテ、先程
申シタクヤウナコトヲヤツタト云フコトハ、
私ハ實ニ重大ナル問題ダト思フノデアリマ
ス、私ハ先生ノ最後ノ生命ヲ奪フ所ノ問題
デアルト思フノデアリマス、斯クノ如ク此
ノ物質ニモ患マレズ、而モ最後ノ生命ヲ奪
ハレルト云フヤウナコトデ安心シテ先生ガ
ソノコノ私ハ此ノ問題ノ重大性ト又教壇ノ神
聖ト教壇ノ神聖ト云フコトヲ特ニ御注意ヲ
喚起致シタイノデアリマス、何シロ大學ノ
先生デアラレテモ、或ハ此處ニ居ラレル文
部大臣ノオ子サンデアラレマシテモ、小學
校ノ中學校ノ初等ノ小サイ子供ノ時代ニ於
テハ、自分ノオ父サンガ大學ノ教授デアリ、
大學ノ總長デアリ、或ハ文部大臣ノ地位ニ
アラレル人デアツテモ、恐ラク其ノ子供ハ
小學校ノ先生ノ方ガ偉イト思フ、オ父サン

官、文部省、又ハ府縣廳ノ監督權ノ範圍、此ノ二點ニ付キマシテ文部大臣ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス

○松浦國務大臣 只今ノ御質問デアリマスガ、小學校ノ先生ハ國民ノ基礎教育デアアル小學校ノ教育ヲ擔任シテ居ル、最モ重大ナ任務ヲ持ツテ居ルノデアリマス、尊イ天職ヲ行ツテ居ルノデアルト申シテ差支ヘナイノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ小學校ノ先生ノ兒童ニ對スル感化力ト云フモノハ、總テノ學校ノ教師ヲ通ジマシテ、又他ノ學校ニ致シマシテモ一番重イモノデアアル、大イナルモノデアルト申シテ宜シカラウト存ジマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、荷モ小學校ノ先生ノ兒童ニ對スル關係、即チ兒童ガ學校ノ先生ヲ尊敬スルト云フヤウナ心持ノ上ニ、障礙ヲ與ヘルヤウナコトヲヤルト云フコトハ、最モ避ケナケレバナラヌコトデアリマシテ、其ノ點ハ全ク御話ノ通りデアルト考ヘテ居リマス、ソレデアリマスカラ小學校ノ教員ヲ監督スルモノト致シマシテモ、是ガ爲ニ兒童ニ對スル先生ノ尊嚴ト申シマスガ、サウ云フモノヲ傷ケルト云フコトハ、最モ避ケナケレバナラヌコトデアアルノデアリマシテ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、先刻御話ニナリマシタ長野縣デアリマシタカニアツタ事件ナルモノハ、マダ私就任早々デアリマシテ、報告ニ接シテ居リマセヌノデ、真相ハドウデアリマシタカ承知致シマセヌガ、若シ左様ナ事實ガアツタト致シマスレバ、是ハ教員ニ對スル精神の優遇ノ上ニ於キマシテ甚ダ遺憾ナコトデアリマス、直チニ能ク真相ヲ調査致シマスルト共ニ、再ビサウ云フコトノ發生シナイヤウニ、十分注意ヲ致ス考デ居リマス

○羽田武副郎君 只今文部大臣カラ私ノ申シタコトニ對シテ、大體御共鳴ヲ賜ハリマシタコトハ、厚ク教育界ノ爲ニ感謝致ス者デアリマス、唯此ノ場合ニ私一言申上テテ置キタイコトハ、此ノ問題ヲ私ハ生徒ノ一ニカラ聽キマシテ、是ハ重大ナ問題ダト思ヒマシテ段々ト調べタノデアリマスガ、初メ肯定シテ居ツタ先生方ガ、總テ縣廳ノ方カラ睨マレルト困ルトカ、或ハ文部省、縣廳、教育界ノ方面ガ、アノ事件ハ平穩ニ濟ンデ居ルカラ今問題ニサレテハ困ルト云フヤウナコトデ、私ハ偶ニ生徒カラ此ノ問題ハ随分ヒドイモノデアルト云フコトヲ聞キマシテ、調査ヲ始メタノデアリマス、所ガ縣廳ナリ學校當局ト云フモノガ、卑屈ナ態度ヲ監督官ノ方面ニ工合ガ惡イト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルト云フコトハ、私ハ是亦先生或ハ監督權ノ問題ニ於テ重大ナル問題デハナイカ、モツト先生ハ自分ノ教育的信念ノ下ニ堂々ト第二ノ國民養成ニ向ツテ行ク、サウシテ監督權トカ或ハ監督官廳トカ云フヤウナ一勿論其ノ監督ニハ服シナケレバナラヌノデアリマスガ、荷モ卑屈ナ態度デ以テ事ニ當ルト云フヤウナコトハ、絕對ニ不可デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、ドウカサウ云フ意味デ、モツト先生方ニ伸ビノシタ氣持デ教育ノ神聖ナ事業ニ當ラレルヤウニ、ドウカ文部大臣竝ニ文部當局ノ各位ガ特ニ御留意ヲ願ヒ、縣廳ノ役人ニ對シテモ特別ナル御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、大體私ハサウ云フ意味デ申シマスガ、現ニ角先生方ガ物質ニ恵マレス、精神的ニモ恵マレナイト云フヤウナコトガアツテハ、私ハ國家ノ爲ニ重大ナル問題デアルト云フコトヲ最後ニ申上テテ、

ドウカ神聖ナル教權ノ確保ノ爲ニ、文部當局ガ此ノ上トモニ御努力下サラシコトヲ御願シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス
○平川至查 今日ハ是デ散會致シマス、次會ハ十九日午後一時カラ開會致シマス、次午後一時二十二分散會

昭和十五年二月十七日印刷

昭和十五年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 豫算委員第五分科(文部省及厚生省所管)會議錄(速記)第三回

會議 昭和十五年二月十九日(月曜日)午後一時十五分開議

出席委員左ノ如シ

主席 平川松太郎君

川崎 克君

北 吟吉君

山崎達之輔君

吉植 庄亮君

三宅 正一君

名川 侃市君

田村 秀吉君

石坂 豐一君

田原 春次君

安藤 正純君

石坂 繁君

坂本宗太郎君

松本 忠雄君

工藤 鐵男君

堤 康次郎君

吉田 賢一君

松浦鎮次郎君

仲井開宗一君

關口 鯉吉君

中野 善教君

岩松 五良君

田中 重之君

二月十七日本分科所屬員藏原敏捷君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十九日石坂繁君當選シ本分科所屬ト爲リタリ
同月十九日第六分科所屬員吉田賢一君、第二分科所屬員堤康次郎君、第四分科所屬員田原春次君及第八分科所屬員工藤鐵男君ハ執レモ本分科所屬ト爲リタリ
出席國務大臣左ノ如シ
文部大臣 松浦鎮次郎君
出席政府委員左ノ如シ
文部政務次官 子爵舟橋 清賢君
文部參與官 仲井開宗一君
文部省專門學務局長 關口 鯉吉君
文部省普通學務局長 中野 善教君
文部省實業學務局長 岩松 五良君
文部省社會教育局長 田中 重之君

文部省圖書局長 近藤 壽治君
文部省宗教局長 松尾 長造君
文部書記官 永井 浩君
教學局長官 菊池豊三郎君
教學部長官 安井 章一君
主席ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員樋口善右衛門君 議員田代 正治君
議員長野 長廣君 議員中山 福藏君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十五年年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中文部省所管
豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中文部省所管
(第一號) 昭和十五年年度歳入歳出總豫算追加案中文部省所管
○平川主席 是ヨリ開會致シマス——川崎 克君
○川崎委員 私ノ御尋申上ゲタイノハ、昭和十六年度カラ實施セラレルト稱サレテ居リマス國民學校ニ關スルコトデアリマス、從來ノ小學校ヲ國民學校ト改稱致シタ理由如何ト云フコトガ伺ヒタイ點デアリマス、此ノ國民學校ノ施行規則ノ草案ト云フヤウナモノヲ讀ンデ見マスルト、大體其ノ綱要ガ盡サレテ居ルヤウニ思ヒマスガ、之ヲ見テ在來ノ小學校教育ト違ツタ所ガ特ニアル點ヲ一寸見出シ得ナイヤウニ思フノデアリマス、當局ガ從來ノ小學校ト云フノ國民學校ニ改稱シタル理由ノ主ナル點ヲ伺ツテ見タイノデアリマス

(主席退席、北主席代理者席)
○松浦國務大臣 只今ノ川崎君ノ御尋ニ御答致シマス、小學校ノ名稱ヲ國民學校ト變更スル理由ハ何レニアリヤ、斯ウ云フ御尋デアツタト思ヒマス、小學校ト云フ名稱ハ、永年使ハレテ居ル名稱デアリマシテ、如何ニモ國民ノ間ニ親シマレテ居ル名稱デアリマシマス、今回ソレヲ國民學校ト改稱シヨウトシマスノハ、元來小學校ト云フモノハ、總テノ教育ノ基礎ヲ成ス、所謂國民ノ基礎教育デアリマス、總テノ學校ト云フモノハ、其ノ基礎ノ上ニ組立テラレテ居ルモノデアリマシテ、從來小學校ト云フ名稱ヲ附シテ居ルノデアリマスガ、小學校ト云フト如何ニモ其ノ名稱ガ小サクテ、感ズル上テ稍國民教育ノ基礎デアルト云フ重要ナル意味ヲ現ハスニハ、不十分デアルト云フヤウナ感ジモ致シマスノデ、今回ハ此ノ學校ハ全體ノ教育ノ基礎ヲ築キ上ゲル國民全般ニ對スル基礎教育デアルト云フ意味カラ致シマシテ、之ヲ國民學校ト改稱スル方ガ適當デアラウ、斯ウ云フ意味カラ國民學校ト改稱シタノデアリマシテ、是ハ眞ニ設置サレマシタ教育審議會、即チ教育ノ全體ニ互ツテ調査審議ヲ致シマス所ノ、教育會議ニ於キマシテモ、小學校ヲ國民學校ト改稱スルノガ適當デアラウ、斯ウ云フ答申モ得テ居リマスノデ、文部省ト致シマシテハ其ノ方針ニ基キマシテ今回國民學校ト改稱シヨウ、斯ウ云フ趣旨ニ相成ツタ次第デアリマス

○川崎委員 只今ノ御說明ヲ承リマシテ、其ノ理由ハ、内容的ニハ別ニ變リハナイノデアルガ、國民ノ基礎教育デアルカラ、國民學校ト直シタ方宜イト云フヤウニ承ツタノデアリマスガ、私ノ伺ツテ見タイコトハ此ノ施行規則ノ中ニ特ニ取上ゲテ「皇國ノ道ニ歸一セシメソノ修練ヲ重ンジ知徳心身ヲ一體トシテ國民ノ基礎的鍊成ヲナス」ト云フコトガ冒頭ニ書カレテ居ルノデアリマス、是ハ又當然ノコトデアリマスケレドモ、取立テテ斯ウ云フコトヲ冒頭ニ掲ゲラレテ「各教科ニ互リ東亞及世界、政治、經濟、國防、海洋、地土ニ關スル教材ニ意ヲ用フ」ト云フヤウナコトヲ廣ク書カレテマシテ、特ニ其ノ趣旨ノ中ニ取立テテ見マス「教育ヲシテ國民ノ實際生活ニ即セシムルヲ以テ旨トシ、高等科ニ於テ特ニ其ノ點ニ留意シ」ト云フヤウナコトハ、從來ノ教育方針ニハ餘リ實生活ニ即應シナイ缺點ノアツタノヲ特ニ是正シヨウ、又「眞摯ナル自發的學習態度ヲ指導シ自習ノ習慣ヲ養フニカムベシ」ト云フヤウナコトモ從來ヨリモ少シ進ンダヤウナ感ジヲ讓ツテ居ル所ガアルノデアリマスガ、内容的ニ見レバ從來ノ行キ方ト少シ、盛込マレテアル點ガ違フヤウニ思フ、此ノ趣旨ヲ立テラレタモノト思フノデアリマスガ、是ハ左様ニ諒承シテ宜イノデアリマセウカ、同時ニ今ノ御話ヲ承ツテ考ヘラレルコトハ、教育審議會ニ諮問セラレテ、其ノ答申ニ依ツタト云フコトデアリマスガ、教育全體ニ關スルコトヲ諮

間セラレトスレバ、是ト重大ナル關係ヲ持ツ事項ナル、義務教育ノ年限延長問題ハドウ云フ風ニ決定セラレルノデアリマスカ、是ハ多年ノ懸案デアリマシテ、此ノ國民學校令ヲ施行セラレルニ當ツテハ、是ガ基礎教育デアル以上ハ、此ノ年限問題ト關聯シテドウシテモ御尋ヲシナケレバナラナイ重要ナ點デアルト思ヒマス、ソレカラ又教育制度全般ニ互ツテノ改善方針ヲ確立スルト云フヤウナコトヲ一緒ニヤツテ然レバキデハナイカト思フノニ、サウデハナシニ、特ニ國民學校ダケヲ先ニ取立テテオヤリニナラナケレバナラナカク理由ハドウ云フヲ譯デアラカ

ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、十六年度カラ御實施ニナルト云フコトデ、準備ノ爲ノ豫算ヲ要求セラレテ居リマスガ、是ハドウ云フ譯デ十五年度カラ實施セラレナカウツデアリマスガ、準備ガ付カナイ爲デアラカ、ドウ云フ譯デアラカ

ソレカラ義務教育年限ノ延長ト兒童ノ教育、健康ニ及ボス影響ト云フ問題モ此ノ義務教育年限延長問題ニ關係シテ何ツテ置キタイコトデアリマス

○松浦國務大臣 御答申上ゲマス、先刻私ガ御答申中ニ於テ、小學校ト云フ名稱ヲ國民學校ト改メルト云フコトハ、單純ニ名稱ノ變更デアルト云フ風ニ或ハ御了解ニナルヤウ、私ノ言葉ノ足ラナカクツ點ガアルカモ知レマセシガ、唯單ニサウ云フヤウニ名稱ヲ變ヘルト云フ意味デハアリマセマデ、今回國民學校ト改稱シヨウト云フノハ、從來ノ小學校ノ内容ヲ今度刷新シテ、眞ニ國民教育ノ基礎教育タル實ヲ擧ゲシメルト云フ内容ノ改善ガ含まレテ居ルノデアリ

○松浦國務大臣 御答申上ゲマス、先刻私ガ御答申中ニ於テ、小學校ト云フ名稱ヲ國民學校ト改メルト云フコトハ、單純ニ名稱ノ變更デアルト云フ風ニ或ハ御了解ニナルヤウ、私ノ言葉ノ足ラナカクツ點ガアルカモ知レマセシガ、唯單ニサウ云フヤウニ名稱ヲ變ヘルト云フ意味デハアリマセマデ、今回國民學校ト改稱シヨウト云フノハ、從來ノ小學校ノ内容ヲ今度刷新シテ、眞ニ國民教育ノ基礎教育タル實ヲ擧ゲシメルト云フ内容ノ改善ガ含まレテ居ルノデアリ

マシテ、其ノ内容改善ト相俟ツテ此ノ名稱ヲ國民學校ト改メルト云フ趣旨ニ出タモノデアリマスカラ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ今回改メヨウト致シマス國民學校ノ内容ナルモノハ、從來ノ小學校ノ内容ト格別違ツタ所ハナイカノ觀ガアルガト云フヤウナ御趣旨デアツタヤウニ拜聴致シマシタガ、内容ハ大ニ是道ヲノデアリマシテ、從來學科目ナルモノガ色々羅列シテアリマスケレドモ、其ノ學科目ノ間ノ横ノ連絡ト云フヤウナモノモ、十分デナイト云フヤウナ嫌ヒモアリマスノデ、今回ハ學科目ニ致シマシテモ、初等科ニアツテハ、國民科、理科、體操科、藝能科ト云フヤウニ、四ツニ分類綜合致シマスシ、高等科ニナリマスト、此ノ外ニ實業科ト云フヤウナモノヲ加ヘマシテ、是等ノ改正ニ依ツテ教育ノ内容ヲ大ニ改善シ、之ニ依ツテ眞ニ皇國ノ道ニ歸一セシメ、本當ニ國民教育ヲ充實シテ立派ナ國民ヲ養成シヨウト云フ趣旨ニ出テ居ルノデアリマス、殊ニ此ノ國民學校ノ教育ト云フモノハ、國民ノ實際生活ニ即シテ行カナケレバナラヌト云フコトハ勿論デアリマシテ、其ノ點ハ從來ト雖モ相當注意シテアルノデアリマスガ、今回ハサウ云フ點ヲ更ニ強調シテ、何處マデモ國民ノ實際生活ニ即シタルヤウニシタイ、サウシテ其ノ内容ヲ充實セシメテ、立派ナ國民養成ノ教育ニ致シタイト云フ趣旨ニ出テ居ルノデアリマス、其點ニ於テ從來ノ小學校ヨリ内容ヲ大ニ改メヨウト云フコトガ含まレテアリト譯デアリマス、此ノ點ヲ御諒承ヲ願ヒタイト考ヘマス

ソレカラ此ノ國民學校ノ制度ノミナラス、

日本ハ滿洲國トハ善隣友好ノ關係ヲ保チ進んで支那ニ對シテモ特ニ善隣友好ノ關係ヲ展開シヨウト云フコトニアルコトハ是ハ明カデア、サウ云ツタヤウナ場合ニ、其ノ觀念ノ下ニ國民教育、國民學校ト云フモノガ指導サレテ行カナケレバナラヌノチヤナイカ、從來ノ行キ方ヨリモ横ニ擴メラレテ意味ガ、教科ノ材料ノ中ニ盛込マレナケレバナラヌ、斯様ニ私ハ觀念的ニ了解マシテ居ル、サウデヤナイ、モツト違ツタ考ヲ持ツテ居ルノダト云フコトデアレバ、ソレヲ御示シ願ヒタイ、私ノ今申上ゲルコトニ大體間違ヒナイト言フナラバ、ソレニ對スル文部大臣ノ御考ヲ先ツ承ツテ各論ニ入りタイト思フノデアリマス

○松浦國務大臣 只今御話ニナリマシタコトハ全ク御同意デアリマス、今回ノ國民學校ニ關スル案ハ總テ其ノ精神ヲ行キタイ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス

○川崎委員 私ハ大體文部大臣ノ御考ハ私ノ申上ゲマシタコトニ御同意デアルト云フコトヲ承ツテ満足致スノデアリマスガ、ソコデ此ノ國民學校ノ全貌ト云フ二月十二日ノ朝日新聞ニ依ツテ發表セラレタモノハ、是ハ草案デアリマスケレドモ、大體ニ於テ調査會等デアリマセラレタ原案デアラウト存シマス、是ガ十七日ノ特別委員會ノ主査會議ニ於テ持寄ツテ大體協議シタト云フコトデアリマスルカラ、一昨日アタリ御協議ニナツタコトデアラウト思ヒマスガ、其中デ、只今大臣ノ御説明ヲ承ツテモ、國民學校ノ内容ヲ横ノ連絡ヲ取ツテ、教科科目ニ付テモ研究ヲシテ、サウ云フ風ニナツタト云フコトヲ御述ニナツテ居ルノデアリマ

ス、其ノ點デ私伺ヒタイノハ藝能科ノ部ニ屬スルモノデ、藝能科ノ第十六條第十七條トノ連絡ノ關係デアリマス、第十六條ニハドウ云フコトガ書イテアルカト言ヒマス

ト「藝能科ノ習字ハ習字ノ書寫ヲ修練セシメ鑑賞スルノ能ヲ養ヒ情操ヲ醇化シ國民教育ヲ涵養シ以テ藝能科ノ本旨ヲ達成スルモノトス」トアリマス、第十七條ハ「藝能科圖書ハ形象ヲ觀察シ表現シ且ツ作品ヲ鑑賞スルノ能ヲ養ヒ情操ヲ醇化シ國民精神ヲ涵養シ以テ藝能科ノ本旨ヲ達成スルモノトス」ト云フノデアリマス、此ノ第十六條、第十七條ヲ讀シテ見マスト、習字ノ練習ハ字ノ書寫ヲ修練セシメ鑑賞セシメルノデアルト斯ウ言フ、ソレカラ圖書ノ方ハ形ヤ何カヲ觀察シテ之ヲ表現シテ作品ヲ鑑賞スル、其ノ外ハ同ジコトデアリマスガ、私ハ餘程此ノ文ヲ作ラレタ方ノ觀念ニ於テ書道トカ圖書トカ云フモノニ對スル觀念のナ非常ナ誤リガアルヤウニ思フ、何故左様ニ考ヘルカト言ヒマス、私共ハ書道ト云フノデアリマスガ、習字ト云フ言葉ヲ用ヒルコト自體ニ議論ガアルガ、議論ハ別ニ致シマシテ、兎ニ角書道ト云フモノニ對シマスル考ヘ方、圖書ト云フモノニ對シマスル考ヘ方ト云フ以外ニ變ツタ所ハナイト云フ此意味ノ書キ現ハシ方ニ、非常ナ觀念的ナ間違ガアルヤウニ私ハ思フ、ソレハ言フマデモナク書道ト云フモノハ、是ハ支那デモハツキリシタニ對スル觀念ガアルノデアリ、日本ニモハツキリシタ觀念ガアル、ドウ云フコトカト云ヘバ、品性ヲ陶冶シ、人格ヲ鍊成スル、字ハ人格ノ表現デア、斯ウ云ツタ觀念ハ、共通シタモノデアツテ、是ハ特

斯ウ云フ制度ヲ改正シヨウト云フ場合ニ教育制度全般ニ互ツテ調査研究シナケレバナラヌモノデアルノニ、特ニ國民學校ダケヲ取出シテアルト云フコトハドウ云ウコトカラ出テ來タノデアルカト云フ御尋デゴゾイマスガ、教育審議會ニ於キマシテハ、教育全般ニ互ル制度内容ニ付テ審議調査ヲ致シテ居リマスルノデ、是ハ國民學校バカリデハアリマセマ、進シテ中等學校、又專門學校、大學、斯ウ云フ風ニ全般ニ互ツテ審議ヲ致シテ居リマス、常ニ教育制度全般ノコトヲ考ヘツツ國民學校ノ制度ニ付テモ審査ヲ致シマシタノデ、既ニ國民學校ニ關スル答申ノ外ニ中等學校ニ關スル調査モ致シテ、是モ答申ガ出ヨウト云フコトニ相成ツテ居リマス、尙ホ進シテ專門學校、大學、是ハ皆關聯シテ全體ニ互ツテ調査ヲ致シテ居リマスノデ、全體ノ教育制度ト云フコトニ關係ナクシテ、唯國民學校ダケヲ抽出シテ是ニ審議シタ、斯ウ云フ意味デハゴゾイマセマ、常ニ全般ニ互ツテ全體ヲ睨ミツツ審議ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ答申ニ基キマシテ此ノ制度ヲ十六年カラ實施致サウト云フコトニ相成ツタ譯デアリマス

ソレカラ既ニ國民學校ト云フモノニ改メテ義務年限ノ延長ト云フコトト關聯シテヤルナラバ、何故ニ十五年度カラ之ヲ實施シナイカト云フヤウナ御趣旨デアツタカノヤウニ考ヘマスガ、何分今回ノ國民學校ニ關スルコトハ、一方ニ義務年限ヲ延長致シマシテ、國民ノ基礎教育ヲ完全ニ致サウト云フコトト、ソレカラ一方ニ於キマシテハ内容十分ニ改善致シテ、之ヲ充實致シタル學校ニ仕上ゲル、斯ウ云フ二ツノ方面ガアリマスノデ、唯單純ニ年限延長ト云フコ

トナラバ、是ハ比較的簡單ナコトカモ知レマセシガ、其ノ義務年限延長ト同時ニ、内容ヲ改善致サウト云フコトニ相成リマスルノデ、之ニ付キマシテハ第一ニ教科書ノ編纂、或ハ學科課程ノ全面的ノ改正、又教員ニ對シマシテモ必要ナ講習ヲシテ此ノ新制度ヲ完全ニ實行サセル準備ヲ致サナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ事柄ガ非常ニ複雑ニ相成ツテ居リマスルノデ、先ツ十五年度ニ於キマシテハ、ソレ等ノ必要ナ準備ヲ行ツテ、十六年度カラ國民學校ト云フモノニ改メマシテ、サウシテ義務教育ノ延長ト云フコトハ昭和十九年度カラ之ヲ實行致シタイ、斯様ナコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、是ハサウ云フコトト二ツノ事同時ニ考ヘテ居リマスノデ、自然左様ナ準備ニ相當ノ期間ヲ要シマスルガ爲ニ、左様ナ計畫ニ致シテ居ル次第デアリマス

○川崎委員 今大臣ノ御説明デ大體分ツタノデアリマスガ、私ハ此ノ際各論的ニ伺ヒタイノデアリマスガ、其ノ前ニ伺ヒタイ事ハ内容充實ト云フ問題ニ付テハ、横ニ御述ニナツタ御趣旨ニ依ツテ大體了得スルコトガ出來タノデアリマスガ、其ノ基本ナ觀念ハ國民教育、特ニ日本國體ヲ本位トスル所ノ國民教育ノ養成、斯ウ云フ所ニ重點ヲ置カレテ居ルコトハ言フマデモナイノデアツテ、ソコニ重點ヲ置カレテ居ルコトト思フノデアリマスガ、是ト同時ニ内容モ形モ改メラレタ國民學校ハ、日本ノ今伸ビヨウトシテ居ル所ノ國是、又國ノ政策ト云フモノト相應シテ行カナケレバナラヌト云フコトハ言フヲ俟タヌノデアリマシテ、今日ノ

科ト云フモノノ中ニハナイ、圖書作業ト云フ中ニアルノデ、是ハ二時間取ツテ居ル、ドウ云フ意味デ斯ウ云フモノヲナクセラレタノカ、是ハ草案デアルカラ御考ヘ直シナラ餘地ハアリマセウケレドモ、是ハドウ云フ譯デ斯様ニナツタノカ私ニハ意味ガ分ラヌ、私ハ此ノ問題ニ付キマシテハ、自分ノ體験ヲ少シ御話ヲ申上ゲルコトヲ御許願ヒタイ、私ハ支那トノ親善關係ヲ結ブ上ニ於テ最モ無條件ニ、支那側ノ納得シ得ル問題ハ、何かト云ヘバ書道ダト云フコトヲ固ク信ジテ居ル、サウシテ之ヲ實際ニ、昨年支那ニ於テ、一昨年滿洲ニ於テヤツテ見タノデアリマスガ、モウ本當ニ支那人ハ外ノ會合ニハ集マラスケレドモ、欣然トシテ此ノ墨ノ間ニ交ハル所ノ士君子ノ道デアルト云フコトヲ能ク諒得シテ居ルカラ喜ンデ來ル、永イ間、五千年來ノ書道ノ國デアルダケニ、書道ニ對スル關心ト云フモノハ日本人ト餘程異ツタモノガアル、サウシテ日本ノ書道ニ對シテドウ云フ考ヲ彼等ハ持ツテ居ルカト言ヒマス、是ハ私直接其ノ人カラ聞イタノデアリマスカラ、名前モハツキリ申上ゲテモ宜シイ、現ニ今日北京政府ノ文部大臣ノ職ニ在ル湯爾和氏ノ如キ、全ク支那ト日本ノ親善ハ此ノ道ヲ通ジテヤラナケレバ、嗚ダ、此ノ道ニ依ツテ初メテ親善ノ道ガ開ケテ行クト云フコトヲハツキリ申シテ居リマシテ、是ハ東洋人ノミノ有スル所ノ特點デアルト言ツテ、心ノ底カラ吾々ノ企テヲ迎ヘテ居ル、又永イ間清朝政府ノ要路ニ在ツテ宮内大臣デモアツタ寶藤氏ノ如キ、今滿洲ニ居ルノデアリマスガ、ドウ云フコトヲ言ツテ日本ノ書道ヲ迎ヘテ居ルカト云フト、日本

ノ書道ニ對シテハ必ズシモ其ノ技術ニ於テハ負ケルトハ思ハス、併シナガラ近代ノ日本ノ書道ノ躍進ハ驚クベキモノガアル、而シテ小學校ノ學習ニ於テハ特ニ驚クベキモノガアル、學術的ニ之ヲ研究シテヤツテ居ル、此ノ眞實ナル態度ヲ見テハ、是ハ實ニ學界ノキモノト思フベキカラ敬敬シテ居ル、彼等ノ最モ敬敬シ、讚美シテ措クベキモノハドウカト云フ、小學校ノ生徒ガ習字ノ學習ヲ爲ス上ニ學術的ニ、科學的ニ、規則的ニヤツテ居ルコトガ實ニ讚美スベキモノデアツテ、支那及ヒ滿洲ノ者ガ之ヲ學バナケレバナラヌモノト云フテ居ル、日本人ハ支那人ニ對シテ常ニ其ノ優越感ヲ強ヒヨウトシテ居ル、押賣シヨウトシテ居ル、日本人ノ優越感ヲ支那ニ押賣シテ居ル、向フハ受容レナイ、心ノ底カラ受容レル所ノ優越感ヲ、彼等ノ採入レル所ノ優越感ヲ迎ヘテセナケレバナラナイ、彼等ノ心ノ響キノ中ニ、コンナモノヲ日本人ハ持ツテ居ルツカ、書道ハ支那人ノモノト思フテ居ルツカ、何ゾ知ラン日本人ハ支那ノ書道ヲ克ク理解シ修得シテ日本のトシタ、日本人ハ之ヲ學習スルニ當ツテ、本當ニ研究的ニ、眞面目ニヤツテ居ルコトニ驚イタト云フ讚美ノ言葉ヲ發セシメルコト、日本ノ優越感ヲ無理ニ押賣シヨウト云フ觀念トハ全ク違フノデス、向フカラサウ云フコトヲ感心サセナケレバナラナイ、サウ言ツタヤウナ大切ヲ使命ヲ持ツテ居ル此ノ事柄ヲ閉却シテ、折角小學校ヲ改稱シテ、サウシテ國民學校トセラレテ、今、スクラト切ラウトスル此ノ場合ニ、内外ノ情勢ニ顧ミナイ、支那五千年ノ歴史モ顧ミナイ、支那人ト善隣友好ノ交リヲ努メテ行ク

モ問題ニナツタノデスガ、日本ノ國語ヲ成タケ支那ニ普及スル、又支那語ヲ日本ニ普及スル、是ハ兩方ヤラケレバナラナイ、所ガ日本ノ國語ヲ普及スルノニ、之ヲ國語トシテ餘リニ押賣ヲサレテ行ク、私ハ此ノ押賣ノ態度ヲ御止メテ願ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル、成タケソコニ突當ラズニ持ツテ行キタイ、突當ラズニ持ツテ行キタイ途ガアルナラバ、其ノ途ヲ採ツテ戴キタイコトヲ私ハ希望ニ堪ヘナイ、同ジ書道ノ中ニ於キマシテモ、漢文字ハ勿論支那ノモノデアリマスガ、平假名、假名文字、尤モ此ノ假名文字ト雖モ御承知ノヤウニ王羲之ノ十七帖ノ中ニハ假名ノ崩シガアツテ、假名ノ起源ハ王羲之ノアノ十七帖カラ來テ居ルト思ヒマス、學者ノ間ニモ凡ソ其ノ説ニハナツテ居リマスガ、之ヲ日本ノ五十音ニ美化シテ、サウシテ日本固有ノモノニシテ、今日ハ日本ノモノトナツテ居ル、此ノ五十音ノ假名文字ガアル爲ニ、日本ノ文化生活ノ上ニドレダケ仕合セヨシテ居ルカ分ラヌ、私ハ支那人ニ向ツテ其ノコトヲ説クノデアリマスガ、假ニ支那人ハ電報ヲ打ツニシテモ三千字カラ符號暗號ガナケレバ打テナイ、サウ云フヤウナ不便ヲ文化生活ヲシテ居ル、日本人ノ假名文字ヲ覺エサヘスレバ、五十音デ以テ自由ニ打テル、ノミナラズ假名文字ハ一ツノ美化セラレテ情操ヲ醇化シテ行ク所ノ非常ナ美的生活ノ上ニ於テ缺クコトノ出來ナイモノデアツテ、日本ノ假名文字ヲ知ルコトニ依ツテ日本ノ國體ヲ知ルモノハ、平安朝以來日本ノ詩歌トナツテ現ハレテ、殊ニ歷代ノ皇朝、天皇ノ御言葉ノ中ニモ、御歌ノ中ニモ假名文字ヲ通ジテ日

望トシテ御願スル次第アリマス
第二ニ少シ題ヲ變ヘテ伺ヒタイノデアリマスガ、是ハ極ク簡單ニ伺ヒマス、本年ハ文展ヲオヤリニナリマスガ、ナリマセヌカ、經費ハ計上セラレテ居リマスガ、是ハオヤリニナラズニ、或ハ二千六百年ノ奉祝展覽會ヲ考慮セラレルノデアリマス、若シサウセラレルノデアレバ、セラレルト云フコトヲハツキリ承ツテ置キタイ
○松浦國務大臣 美術展覽會ノコトニ付テノ御答アリマスガ、本年ハ紀元二千六百年ト云フ光輝アル特別ノ年デアリマスカラ、普通ノ展覽會ヲ止メマシテ、奉祝ノ大キナ展覽會ヲ致シタイト云フコトデ、各方面、話ガ難マフテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、左様ニ相成フテ居リマス
○川崎委員 左様デアレバ洵ニ結構ト思ヒマス、私ハ若シソレガ出來ルナラバ、一言此ノコトニ付テ附加ヘテ申上ゲタイノハ、昨年ノ文展ニ對シマスル世評ナリ何ナリヲ具サニ承知シテ居ルノデアリマスガ、大體カラ見マシテ、昨年ノ文展ハ失敗デアルト云フコトヲ世間ガ言ヒマス、何ノ故ニサウ言フコト云ヘバ大家ガ出サナカツタ、或ハ大體、柄風ガ出サナカツタ云フコトヲ以テ非難ノ一ツニ數ヘテ居ル、成程大體、柄風ハ出サナカツタ、出サナカツタ爲ニ文展ガ寂シクテ全部失敗デアツタト云フコトヲ言フテ居ル人ニ對シテハ、私ハ又考方違フテ居ル、決シテサウチヤナイ、昨年ノ展覽會ハ内容的ニハ私ハ相當ノ成果ヲ收メテ居ルト思フテ居リマス、是ハ作品ヲ出シテ居ル人ノ「レベル」ガ上ツテ居ル、名前ノミヲ見テ作品ノ實價値ヲ見ナイ批評家ガ、柄風大體ガ出サナケレバ失敗デアルト云フガ如キ

批評ヲスルコトハ、私ハ間違フテ居ルト思ヒマスガ、併シナガラ昨年ノ文展ヲ見マシテモ、ドウシテモ一貫シテ指導精神ガナク、若シ失敗ナリト言ヘバソコガ失敗ノ點デアラウト思フ、何カ取難メテ行ク指導精神ガナイ、唯難儀ナ、百貨店ニ行ツテ色々ナ品物ヲ見ルト云フヤウナ感シガサレテナラス、今度ハ奉祝展覽會デ、二千六百年ト云フ大キナ茲ニ指導精神ガアツテ、ソコニ引ケラレテ行クノデアリマスカラ、此ノ統一セラレタ下ニ於テ立派ナモノガ出來上ルダラウト思フ、立派ナモノガ出來上リマズレバ、恐ラタ大體、柄風ナンカモ参加セザルヲ得ナイノデアリマスカラ、今度コソ洵ニ好イ機會デアツテ從來ノイザコザヲ解消スル機會ヲ得テデアリマスカラ、今度此ノ機會ニ從テ關係ヲ一掃スル「チャンス」ガ出來タト思フノデアリマス、ドウカ此ノ機會ニ此ノ奉祝展覽會ヲシテ意義アルモノニセシメテ戴キタイ同時ニ、私ハ文部省ハモウ少シ本當ニ確乎何カハツキリシテ指導精神ヲ御持チニナツテ、決メ所ハキチント決メルガ宜シイ、何モ畫家ノ尊意ヲ窺フニ汲々トナサナイデモ宜シイ、御決メニナル時ハキチント御決メニナツテ、サウシテ毅然タル態度デ御ヤリニナルコトヲ私ハ希望ニ堪ヘヌノデアリマス
終ニ本年ノ奉祝展覽會、此ノ機會コソ從來ノ美術界ニ幡ツテ居ル所ノ弊風ヲ一掃スル好イ機會ダト思ヒマスカラ、ドウカ其ノ意味ニ於テ十分御協力サウテ奉祝展覽會ノ使命達成ヲ心カラ私ハ御祈リスル者デアリマス、私ハ是デ終リマス
○石坂委員 文部大臣ニ對シマシテ數項目ノ質問ヲ致シタイト存スルノデアリマス、

門ニ互リマシテ常ニ此ノ精神ノ昂揚ニ努メテ居ルノデアリマス、文部省ト致シマシテハ學校ノ教科ヲ通ジマシテモ、又社會教育ノ方面ニ於キマシテモ、精神運動ノ方面ニ於キマシテモ、有ユル機會、有ユル場合ニ此ノ精神ヲ振興昂揚ト云フコトニ最善ノ努力ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、是ハ申スマデモナイコトデアリマス、當ニ其ノ趣意ヲ以テ總テの場合ニ臨ンデ居ル次第デゴザイマス、ドウソ左様ニ御承知願ヒマス

○石坂(繁)委員 只今文部大臣ヨリ八紘一宇ト云フコトニ關スル文部大臣ノ御信念ヲ承ルコトガ出來マシテ、私モ全ク同感ノ意ヲ表スル者デアリマス、サウ致シマシテ文部當局ト致シマシテハ、此ノ徹底昂揚ト云フコトニ付キマシテ、教育ノ有ユル部門ヲ通ジテ最善ノ努力ヲスルト云フ御答辯デアリマシテ、私モ固ヨリ當然ノコトデアルト思ヒマスガ、一層其ノ點ニ付テ御努力ヲ希望致シタイノデアリマス、而シテ之ニ關係致シマシテ、此ノ教育ノ有ユル部門ヲ通ジテ此ノ理想、此ノ趣旨ヲ徹底昂揚サレルコトハ最モ必要ナコトデアリマスガ、私ハ其ノ根本ハ何ト致シマシテモ小學校教育、國民教育ニ俟タナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウ致シマシテト師範學校ノ教育ト云フコトガ、非常ニ重要ナ問題ニナツテ參ル、ソコデ私ハ師範教育ニ付テ若干ノ御意見ヲ承ツテ見タイト思ヒマス、私共最近最モ憂慮ヲ致シテ居リマスコトハ、此ノ事變以來小學校ノ教職ニ在ル諸君ガ、苦シク他ニ轉業轉出ヲ致シテ居ルト云フ事實デアリマス、小學校ノ先生他ノ職業ニ變ル人ガ非常ニ數ニ上ツテ居ル、私共小學校ノ先生ニ接觸スル機會ハ可ナリ多イノデアリマスガ、小

學校教員位自分ノ境遇自分ノ條件等ノ理由ヲ以テマシテ他ニ轉任運動ヲシタイ、或ハ其ノ他ノ運動ヲシタイト云フコトヲ想ヘテ來ルモノハナイト思フノデアリマス、私ハ是ハ洵ニ諒解ノ出來ナイ現象デアルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、最モ精神の基調ニ重キヲ置カナケレバナラナイ小學校ノ先生ノ方々ガ、動トモ致シマス、ト物質的ノ事情ニ依ツテ轉職ヲシヨウトスル、或ハ轉任運動ヲシヨウトスル、或ル縣下ノ東ノ端カラ西ノ端ト致シマシテモ高ガ一縣ノ中ニ大體職ヲ奉ジテ居ル、サウ云フ人ガ非常ニ自分ノ境遇上ノコトヲ想ヘテ來ルコトガ多イト云フノハ、何カハ從來ノ師範教育ト云フモノニ對スル缺點ガアツタノデアリマス、云フコトヲ心配致シテ居ルノデアリマス、モウ少シク師範學校ノ卒業生諸君ガ眞ニ國民教育ノ大切ナルコトヲ自覺致シマシテ、本當ニ教育ノ天職ニ邁進スル、斯ウ云フコトガ師範教育ニ缺ケテ居ルノデアリマスガ、私ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、文部大臣ハ現在ノ師範教育ニ對シテ何等カノ缺點ヲ御認めナイツテハ、厚リマセヌセウカ、ソレヲ御致シタイト思フノデアリマス

(北主在代理退席、主在著席)

○松浦國務大臣 仰セノ如ク小學校ノ先生ハ總テノ國民教育ノ基礎デアリマス、小學校ノ教員ハ非常ニ尊イ天職ニ從事スル者デアリマス、其ノ精神ニ於テモ人格ニ於テモ眞ニ兒童ヲ感化シ得ル立派ナ人物デナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、隨テ之ヲ養成シマスル師範學校ノ教育ト云フモノガ、十分ニ其ノ意味ヲ徹底スルヤウニ出來テ居ル教育デナケレバナラヌト云フコトモ、是亦申スマデモナイ

コトデアリマス、從來師範學校ノ教育ニ付キマシテハ、文部省ト致シマシテモ特ニ注意ヲ致シマシテ、其ノ趣旨ヲ徹底方ヲ圖ツテ居ル譯デアリマス、今後ハ益々其ノ點ヲ強調致シマシテ、師範教育ノ改善ヲ十分ニ致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマシテ、現ニ師範學校ノ内容ノ改善進步ト云フコトニ付テモ、目下調ベテ致シテ居ル譯デアリマス、而シテ小學校ノ教員ハ今申上ゲル如ク、物質的ノ待遇トカ云フコトノ如何ニ拘ラズ、教育者トシテノ天職ノ尊イ所以ヲ自覺致シマシテ、何處マデモ之ニ全力ヲ注グ、他ノ物質等ノコトニ付キマシテハ、少シモ顧ミナイト云フヤウナ立派ナ精神ヲ以テヤラナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、併シ又國家ト致シマシテハサウ云フ尊イ天職ヲ行ツテ居ル者ニ對シマシテハ、十分ノ物質的待遇ノ優遇モ致サナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレデアリマスルカラ、優遇ト云フコトニ付キマシテハ十分ノ力ヲ致サナケレバナラヌト云フ譯デアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテモ國家トシテハ、相當ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、是ハハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、是ハハ教員其ノ人トシテハ唯何處マデモ精神の働タト云フ心構ガ必要デアルト同時ニ、國家トシマシテハ又サウ云フ尊イ職業ニ就キテ居ル者ニ對シマシテハ、相當ノ精神物質的兩方面カラノ優遇ヲ與ヘル、兩々相俟ツテ初メテ教育ノ效果ヲ得ル譯デアリマスカト思ヒマス、兩方面カラ考ヘテ行カナケレバナラヌト云フコトデアラウト考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 只今文部大臣ヨリ師範學校教育改善ニ關スル御誠意ノアル御答辯ヲ得マシテ満足致スノデアリマスガ、私ハ其ノ

卒業致シマシテ教員ノ職ニ就キマシテカラ、僅カバカリノ物質的ノ待遇、僅カバカリノ俸給ノ増加ト云フヤウナコトニ依ツテ轉業轉職スルト云フコトハナクシテ、眞ニ尊イ小學校教育ノ天職ヲ樂シム底ノ學校ノ先生ヲ得ルコトガ出來ルノデヤナイカ、私ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ今日以後師範學校ノ入學者ニ對シマスル少クトモ地方當局ノ心構ト致シマシテハ、今私ガ申上ゲマスル位ノ熱意ト敬意ヲ拂ツテ師範學校ノ入學者ヲ迎ヘルト云フ方法ヲ講ズベキデアルト思フノデアリマスガ、左様ナ點ニ關シマシテ文部當局ハ地方ニ移課或ハ適當ナル指導ヲサレルコトガ必要デアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ關スル文部大臣ノ御所見ヲ承リタイ

○松浦國務大臣 將來小學校教育ニ從事スベキ使命ヲ持ツテ居リマスル師範學校生徒ノ入學ノ際ニ、眞ニ立派ナ教育者トシテ適當ナル人格ノ高イ、精神ノ確ナ人物ヲ誘致スルト云フコトノ必要ハ申スマデモナイコトデアリマス、之ニ付キマシテハ十分ノ手段ヲ盡サナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ入ツテ來マスル考へ家庭上ノ關係モアリマシテ、一方ニ於テハ物質的ニ多少サウ云フ人ノ不便ヲ除クト云フガ爲ニ學資ノ補助ヲ致スト云フヤウナコトモ無論是ハ必要ナコトデアリマスガ、併シナガラ其ノ外ニモ手段ヲ講ジマシテ立派ナ人物ヲ誘致スルト云フコトニ付テハ、相當考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ點ニ付テハ篤ト考慮ヲ致シタイト存ジテ居リマス

○平川圭一 一寸委員諸君ニ御相談シタイデスガ、石坂君以外マダ質問通告者ガ十二人アルノデス、假ニ二十分ツツトシマシテ

モ、四時間掛ルノデスガ、今日ドウシテモ六時カ七時ニハ終了シナケレバナラヌト思ヒマスガ、質問セラレル人モ、答辯セラレルオ方モ成ベク簡明瞭ニヤツテ貰イタイノデス、御願致シマス

○石坂(繁)委員 只今ノ御注意ノ點ハ能ク諒承致シマシテ、ソコデ其ノ趣旨ニ依ツテ簡單ニ申上ゲマスガ、師範學校教育ノ改善ノ一ツノ方法トシテ少クトモ師範學校ヲ專門學校程度ニスル必要ガアルト思フガ、ソレニ對スル當局ノ考、更ニモウ一ツ現在ノ小學校ノ校長ノ優遇ノ方法ト致シマシテハ、委任待遇ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、高等官八等待遇、斯ウ云フ程度ノヤウデアリマスガ、更ニ小學校教員ヲ國家ガ尊重スルト云フ趣旨ヲ以テマシテ勸任官ノ小學校ノ校長位ハ作ル必要ガアルト思フ、此ノ點ニ關スル當局ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○松浦國務大臣 小學校ノ校長ヲ待遇ノコトニ付キマシテハ、色々他トノ關係モアリマシテ十分考慮ヲシナケレバナラヌトモアルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ篤ト考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 小學校ノ校長ヲ全國ニ何人カ勸任官待遇ニスルト云フヤウナコトハ、位小學校ノ教職ニ在ル人達ニ希望ヲ持タセルコトニナルガラウカト思フノデアリマス、此ノ點篤ニ御考慮ヲ願フツテ置キマス

次ニ伺ヒタイト思ヒマスルノハ、乙種程度ノ實業學校、主トシテ組合立ヲ以テ經營致シテ居リマスル乙種實業學校デアリマスガ、是ハ諸君ノ申上ゲマセヌデモ、實際徒後農村經營ノ中心人物ヲ養成致シマス非常ニ重要ナ教育機關デアリマス、ソレガ地方ノ數箇町村ノ組合ニ依ツテ經營致サレテ居ル、

コトデアリマス、從來師範學校ノ教育ニ付キマシテハ、文部省ト致シマシテモ特ニ注意ヲ致シマシテ、其ノ趣旨ヲ徹底方ヲ圖ツテ居ル譯デアリマス、今後ハ益々其ノ點ヲ強調致シマシテ、師範教育ノ改善ヲ十分ニ致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマシテ、現ニ師範學校ノ内容ノ改善進步ト云フコトニ付テモ、目下調ベテ致シテ居ル譯デアリマス、而シテ小學校ノ教員ハ今申上ゲル如ク、物質的ノ待遇トカ云フコトノ如何ニ拘ラズ、教育者トシテノ天職ノ尊イ所以ヲ自覺致シマシテ、何處マデモ之ニ全力ヲ注グ、他ノ物質等ノコトニ付キマシテハ、少シモ顧ミナイト云フヤウナ立派ナ精神ヲ以テヤラナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、併シ又國家ト致シマシテハサウ云フ尊イ天職ヲ行ツテ居ル者ニ對シマシテハ、十分ノ物質的待遇ノ優遇モ致サナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレデアリマスルカラ、優遇ト云フコトニ付キマシテハ十分ノ力ヲ致サナケレバナラヌト云フ譯デアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテモ國家トシテハ、相當ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、是ハハ教員其ノ人トシテハ唯何處マデモ精神の働タト云フ心構ガ必要デアルト同時ニ、國家トシマシテハ又サウ云フ尊イ職業ニ就キテ居ル者ニ對シマシテハ、相當ノ精神物質的兩方面カラノ優遇ヲ與ヘル、兩々相俟ツテ初メテ教育ノ效果ヲ得ル譯デアリマスカト思ヒマス、兩方面カラ考ヘテ行カナケレバナラヌト云フコトデアラウト考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 只今文部大臣ヨリ師範學校教育改善ニ關スル御誠意ノアル御答辯ヲ得マシテ満足致スノデアリマスガ、私ハ其ノ

改善ノ一ツノ方法ト致シマシテ、ドウシテモ師範學校ノ志望者ノ中ニ優秀ナル人ヲ得ルト云フコトガ必要デアルト斯様ニ信ジテ居リマス、事變前カラノ傾向デアリマスルガ、事變ニナツテ一層著シクナツテ參ツテ居リマスルコトハ、先程申上ゲマシタヤウニ小學校ノ教職員ノ諸君ガ、他ニ轉業轉職致シマスルコトト、師範學校ノ入學志望者ガ著シク減ツタト云フコトデアリマス、非常ニ志願者ヲ得ルコトニ困ツテ居ルト云フヤウナ實情ニアルコトモ當局御承知ノ所デアリマス、故ニ適當ナル志願者ヲ多ク得ルト云フ其ノ方法ト致シマシテハ、何シトモ師範學校ノ補助ト申シマスカ、給費ト申シマスカ之ヲ増加スルト云フコトモ必要デアラウト思ヒマスガ、私ハ唯單ニ左様ノ物質的ノ優遇ノ方法ヲ講ズルコトノミニ依ツテハ師範學校ニ眞ニ優秀ナル志願者ヲ得ルコトハ出來ナイト斯様ニ考ヘテ居リマス、然ラバドウ云フ方法ヲ講ズルカト申シマスル、私ハ師範學校ヲ志願スベキ人々ニ對シマシテ、今少シク厚シクシテ之ヲ迎ヘルト申シマシテハ少シ言葉ガ十分デナイカモ知レマセヌガ、左様ナル趣旨ニ於テ志願者ヲ増スト云フ方法ヲ講ジタイトス様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、何處ノ村ニ致シマシテモ、其ノ村ノ相當ノ家庭ハアル管デアリマス、サウシテ願クバ其ノ地方ノ某家ト云フヤウナ相當ノ家、相當價産ノアル家ノ子弟ニ對シマシテ、或ハ地方長官ナリ或ハ地方長官ノ代理トシテ學務部長其ノ他ノ人ガ、特ニ小學校教育ガ國家ノ爲ニ極メテ重要デアルト云フコトヲ説キマシテ、サウシテサウ云フ人ヲ特ニ師範學校ニ入學セシメル、サウ致シマスルト、師範學校ヲ

職ノ時ニ下附サレル金ノコトデアリマス、一時ニ二人カ三人群メルコトニナリマスト、大變重イ負擔ヲ課セラレル實情ニアルノデアリマス、其ノ點ヲ御伺ヒシタイ譯デアリマス

○松浦國務大臣 一時恩給ノコトニ付キマシテハ、能ク一ツ考慮致シマス

○石坂(繁)委員 更ニ文部大臣ニ御同致シタイト思ヒマスノハ、私ノ申シ様ガ少シク言葉ガ失禮デアルカモ知レマセヌガ、實際ノ實情ニ於キマシテ、果シテ文部省ハ日本ノ文教ノ中心トシテ、全國ノ教職員諸君ノ信頼ヲ蒙リ居ルカドウカト云フコトナラバ、是ハ恐ク文部省ニ參リマシテ、サウ露骨ニ言フ人ハナカラウト思ヒマセヌケドモ、私共ノ接觸スル人ノ中ニハ、眞ニ斯ノ如キ憂ヲ持ツテ居ル人ガアルノデアリマス、一國ノ文教ヲ刷新致ス爲ニハ、文部省ガ先ヅ全國ノ教職員ノ心ヲ掴ンデ、サウシテソレヲ提ゲテ教育報國ト云フコトニ邁進シナケレバ、到底文教ノ興隆ヲ期スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、最近文部省ト他省トノ所謂人事ノ交流ト云フコトガ行ハレテ居リマシテ、近キ過去ニ於テサウ云フコトガ行ハレテ居ツタノデアリマスガ、其ノ當時ノ事情ハ文部省ノ人事ガ沈滞シテ居ル、文部省ガ活氣ガナイ、デアルカラ他省ノ方カラ持ツテ來テ、此ノ内部ヲ刷新スルノダト云フコトガ言ハレタノデアリマスガ、ソレナラバ人事交流ノ結果、文部省ノ内部ハドウナツタカト申シマス、從來カラ見レバ素人ノ大臣、素人ノ次官ガ來テ、暫ク腰掛ケ的ニ、文教ノ色々ナ機構ナリ行政ヲイジクツタト云フ程度デアリマス、故ニ私共ヲシテ率直ニ申上ゲルコトヲ御許シ下サル

ナラバ、今マデ全國ノ教職員ハ、悉クトハ申シマセケレドモ、文部省ニ對シテ十分信賴ヲ持ツテ居ルナカク、ト云フデモ、私ハ過言デハナイト思フ、私ガ此ノ正月ニ上京致シマシタ時ニ教育家ノ諸君ハ、マダ阿部内閣ノ時代デアッタノデアリマスガ、從來ノヤウナ素人ノ文部大臣デハ困ル、サウシテ、御前テ失禮ナ申分デアルカモ知レマセスガ、例ヘバ松浦君ノヤウナ方ナラバト云フコトヲ申シテ教育家ガ現ニアリマシタ、然レモ其ノ後果シテアナタガ文部大臣ニナラシマシタ、全國ノ教育家ノアナタニ期待致シテ居ルコトハ非常ニ大キイノデアリマス、故ニ私ハ此ノ際文部省ガ眞ニ全國ノ教職員ノ心ヲ掴ンデ、本當ニ此ノ時局下ニ於ケル所ノ教育ノ刷新、二千六百年ヲ迎ヘテ八柱ノ一字ノ此ノ建國ノ理想ヲ徹底サセルト云フ、斯様ナ方向ニ向ツテ全努力ヲ傾注致シテ戴キタイ、ト切ニ願フノデアリマス、勿論之ニ對シテ御異存ノアラウ管ハナイノデアリマスガ、故ニ重ねテ文部大臣ノ此ノ點ニ關スル熱意ノ程ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○石坂(兼)委員 色々ノ點ニ付テ考慮シナケレバナラヌト文部大臣ハ言ハレルガ、其ノ通りデアリマシテ、私モ餘リソレ等ノ點ニ付テ露骨ナコトヲ申上ゲルコトヲ差控ヘマスガ、特ニ御考慮願ヒタイト思ヒマス、最後ニ少シク違ツタ問題デアリマスルガ、文部大臣ニ御同致シタイト思ヒマスノハ、日蓮宗派内ノ紛争ノ問題、是ハ昭和六年四月三日ノ勅諭降賜奉答式ニ端ヲ發シマシテ、サウシテ所謂王佛一乘ノ解釋論ニ關スル所ノ宗門内ノ紛争デアルヤウデアリマスガ、之ニ關シマシテ本年二月六日ニ松尾宗教局長ヲ介シマシテ文部大臣ニハ上申書ガ出テ居ルト云フコトヲ漏レ承ツテ居ルノデアリマス、事ハ宗門内ノ紛争ガ新聞等ニモ既

ニ出マシテ社會問題化シテ居ルノデアリマス、同時ニ又其ノ内容ハ國體明確ニ關スル問題ナリト私ハ思料致シテ居リマスルガ、文部大臣ハ之ニ對シマシテ如何ナル御處置ヲ御執リニナル御考デアリマセウカ、之ヲ御同致シタイノデアリマス

○松浦國務大臣 是ハ政府委員ヲシテ御答辯致サセマス

○松尾政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、成程仰セノ通り、昨年来日蓮宗内ニ此ノ問題ガ勃發致シマシテ、私共モ心配致シテ居ルノデアリマスルガ、何分ニモ事情ガ形而下ノ問題ニアラズシテ、純粹ニ仰セノ通り宗義上ノ問題デアリマス、隨テ私共素人ノ容易ニ一寸了解ノ出來ナイ點モアリマス、特ニ宗派自體ニ於キマシテ慎重ニ善處スルヤウニ只今注意ヲ致シテ居ル實情デアリマス、今後モ注意ヲ怠ラナイ積リデアリマス

○平川主査 北畠吉君

○北委員 私人時間ノ關係モアリマスルカラ、項目ヲ分ケマシテ簡單ニ數箇條質問申上ゲタイト思ヒマス、御答ハ文部大臣ニ主シテ御願ヒ致シタイノデアリマスルケレドモ、細目ニ互リマスルコトハ其ノ道ノ專門家ノ方ナラデモ宜シウゴザイマス、先ヅ第一ニ御同致シタイコトハ、此ノ戰時態勢ヲ我國ガ執ツテ居リマスルガ、各省トモ戰時態勢ニ即應致シテ居リマスルノデ、文部省トシテ此ノ戰時態勢ニ即應スル新シキ施設、現ニヤリツウアル施設、又將來繼續シテヤラントスル施設並ニ文部省ノ本年度豫算トノ關係ニ付テ御説明願ヒタイト思ヒマス

スルガ、斯ウ云フ非常ノ時局ニ際シマシテ總テノ方面ニ於キマシテ戰時態勢ヲ執ラネバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、文部省ト致シマシテモ之ニ付キマシテ施設ヲスルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、第一ハ國民精神總動員ト云フ事柄ニ關スルコトデアリマス、國民精神總動員ハ、是ハ内閣ト致シマシテモ、國民精神總動員中央聯盟ト十分連繫ヲ執リマシテ、各教化團體等ノ運動、教化ヲ促進スル意味ニ於キマシテ、出來ル限リノ活動ヲ致シテ居リマス、又文部省ハ文部省ト致シマシテソレト連繫ヲ執リマシテ、種々ノ活動ヲ致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ又思想國防トデモ申シマスカ、國民ガ此ノ時局ヲ認識シテ、此ノ聖戰ノ目的ヲ貫徹スル上ニ協力致スト云フ意味ニ於キマシテ、中央ニ於キマシテハ國民精神文化研究所ヲ強化シテ、此ノ思想ノ確立、國民精神ノ昂揚ト云フコトニ一層ノ力ヲ致サセルト云フコトニ致シテ居リマス、又地方ニ於キマシテモ地方思想對策研究會等ヲ設ケマシテ、各地方ニ於キマシテソレノ地方ノ實踐網ト致シマシテ、精神ノ昂揚ト云フコトニ力ヲ致サセルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、是ハ内務省ノ豫算ニ計上サレテ居リマスガ、地方ニ於キマシテモ云フモノヲ置キマシテ、サウ云フ思想對策研究會ト連繫ヲ執リマシテ十分此ノ點ニ力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、一方ニ於テハ又體鍊教育ヲ強化致シマシテ、其ノ點カラモ力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ是ハ昨年モヤウツノデアリマスガ、廣ク學生、青年ヲシテ大陸ニ關スル認識ヲ深メ、又一方ニ於テハ大陸ニ於ケル産業ノ開發ト云フコトニ付テモ協力

ヲシ、御奉公ヲ致サセタイト云フ意味デ興亞勤勞團隊ト云フモノヲ組織致シマシテ、之ヲ滿洲、北支、蒙疆方面ニモ送ツタノデアリマス、今年モ引續キマシテ、サウ云フ計畫ヲ繼續シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ又支那方面ニ對シマシテ、日本語ノ普及ノ爲ニ、日本語ノ教科書ヲ編纂スルコトヲモ考ヘマシテ、此ノ點ニ付キマシテモ、豫算ヲ要求致シテ居ルノデアリマス、是モ十分ニ力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○北委員 只今ノ六項目ニ分ケテノ御説明、色々時局ニ適切ナ事業ト思ツテ贊成致スノデアリマス、實ハ豫算トノ詳シイ御説明ヲ承リタイト思ヒマスケレドモ、時間ガアリマセスカラ略シテ置キマス、之ニ關聯シテ次ニ承リタイコトハ、戰時ニナリマシテ、殊ニ理工科關係ノ專門學校、大學校ノ卒業生ガ深山居ル管デゴザイマス、私ハ大正十二年デアリマシタカ、終リ頃ニ外國カラ歸ツテ來マシテ、十三年頃デアリマシタカ、江木千之サシガ文部大臣ノ時ニ呼バレテ話シタノデアリマス、其ノ當時ハ日本デハ大學ノ法文科生徒ガ多過ギル、二割六分ヲ占メテ居ル、其ノ時分ハ比較的失業者ノ多イ時デ、産業ノ振ハザル所ニハサウ云フ傾向ガアツタ、法文科系ノ學生ノ多イノハ、日本ト伊太利ガ一番デアルト云フ話デアリマシタ、私ハ絶エズ注目シテ居リマスガ、最近ハソレ程、インテリノ失業者ハナイヤウデアリマスケレドモ、大體ニ於テ法文科系ノ者ハ職ヲ得難イ、理工科關係ノ者ニ對スル求人ノ方ガ遙カニ數ヲ超エテ居ル、ソレデ戰時中ニハ殊ニ此ノ方面ヲ多ク養成シナケレバナラヌ、是ハ常識デ分ルノデアリマス、

國防産業ノ充實、生産力ノ擴充、殊ニ發明ヲ必要トスル點カラ言ツテモ、必要サハ分ツテ居ルノデアリマス、文部省デ工科ノ專門學校ヲ建テルコトニ努力シテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ頃新聞ヲ見マス、理工科關係ノ卒業生ハ或ル會社ナラハ社會ニ釘付ケサレテ、職業ノ自由選擇ガヤリニクイ關係カラ、思フヤウニ殖エナクテ、ヤハリ法文科ノ學生ガ從來ヨリ餘計殖エツツアル傾向ニアラ、是ハ時局下ノ國家ノ爲ニ憂フベキコトダト思ヒマスガ、文部當局ハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ、戰時對策トシテ如何ニ御處置ナサイマスルカ、簡單ニ御説明願ヒマス

○松浦國務大臣 只今ノ御質問デアリマスガ、時局ニ於キマシテハ、廣イ意味ノ國防ト云フ點カラ見マシテモ、理科、工科方面ノ人材ヲ要スルコトハ非常ニ多イノデアリマス、此ノ事情ニ鑑ミマシテ、文部省ト致シマシテハ、前年末非常ニ此ノ方面ノ學校ノ増設又學級ノ増加、募集人員ノ増加ト云フコトヲ著々實行致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、近頃新聞ニ理工科方面ニ對スル學生ノ志望ガ從來ヨリモ減ツテ來タト云フヤウナコトガアリマスガ、私ハマダ計數ノコトヲ詳シク聽イテ居リマセス、今日ハマズ縮切ノ途チデアリマスガ故ニ、本當ハ縮切ノ時マデ持タナケレバ實數ハ分ラナイノデアリマス、只今御話ノヤウナ理工科方面ノ學校ヲ出タ者ハ統制ニ服シナケレバナラヌ、其ノ方面ノ影響デ志望者ガ減ツタノデハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、何レモ少シ實情ヲ調査シテ見タイト思フノデアリマスガ、サウ云フ關係デナイト思ヒマスシ、又サウ云フ風ニハ考ヘタクナイノデアリマス、是

ハ何レモウ少シ難チマスト、實數上ノ關係ガ分リマスカラ、能ク事情ニ付テ調べテ見タイト思ヒマス

○北委員 日本ハ資源モ少イシ、發明ニ賴ル所ガ英米諸國以上ニアルノデアリマスカラ、文部當局ト致シマシテハ、理工科其ノ他自然科學方面ノ學生ヲモウ少シ増加セシメルヤウニ、一段ノ努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ物資ノ動員計畫ノ割合ニ人間ノ動員計畫ガ十分ニ伴フテ居ラヌヤウニ思フノデアリマス、戰時ト限ラズ將來益々北支那、中支那、滿洲其ノ他南洋方面ノ資源ヲ開發スルニ當ツテハ、此ノ必要ハ加速度的ニ増シテ行クノデアリマス、私ハ文部省トシテハ今マデ以上ニ、數倍ノ努力ヲ此ノ方面ニ注ガナケレバナルマイト痛感シテ居リマスカラ、ドウカ一ツ御願致シタウゴザイマス

ソレカラ此ノ時局ニ鑑ミマシテ、文部省ノ所謂教育ノ根本方針ニハ勿論御變リハナイデセウガ、個々ノ行政政策ニ於テ多少改善スベキ點ガアルト御認メニナツタ點ガゴザイマセウト思ヒマス、其ノ點ヲ承リタイト思フノデアリマス、實ハ各方面デモ此ノ戰時ニナリマシテ、今マデノヤリ方ニ缺陷ガアツタコトハ分ツテ居ルノデアリマス、例ヘテ見レバ陸軍省ニ致シマシテモ、馬ノ養成ノ仕方ガ間違ツテ居ツタ、體ノ輕イ見榮ニノ良イ馬用ノ馬ノヤウナモノバカリ獎勵シテ居ツテ、戰地ニ行ツテ役ニ立タヌ、馬政ノ根本的改革ガ昨年アタリカラ企テラレテ居ルヤウデアリマス、教育界ニ於テモ戰地ヲ縱橫シ馳驅スルニ適スルヤウナ馬ヲ拵ヘ、戰馬用ノヤウナ馬ヲ拵ヘテ居ツタ嫌ヒガ人間養成ニモナカツタデアラウカドウ

カ、多少サウ云フ嫌ヒガ私ハアルデアラウト思フ、農林省ノ方ヲ考ヘマシテモ、日本ハ獨逸ナドトハ違ツテ食糧ハ澤山アルノダ、食ツテモ食ツテモ食ヒ餘ル、瑞穂ノ國ハソコカラ來テ居ルト云フ位ニ國民ヲ安心サセテ居リマシタガ、此ノ頃ハ七分搗キテ食ツテモ足りナイ、人間モ糠ヲ混ゼテ食ツテ居ルヤウナ有様デアリマス、ソレデモ足りナイ、先ヅ雞ヤ牛ノ食物ガナクナツテ、雞ガ益々減リツツアル、卵ナドハ子供ノ口ニハ半年モ經ツツアルカ入ラヌカ分ラヌト云フ状態デアル、豚ナドモ實際飼料ガ高イカラ豚ノ子供ノ實ヒ手ガナイ、此ノ勢ヲ行ツタナラバ、豚モ雞モ非常ニ激減スル、魚ノ漁獲高モ非常ニ減ツテ來テ居ル、食糧ハアリ餘ル如ク考ヘテヤラシメテ居ツタ所ガ、實際戰時ニナツコトニ半年モ經ツテ參ルト、サウ云フ今マデノ豫測ガ裏切ラレテ來タノデアリマス、是ハ農林省ノ行政上ノ失敗ト見テ宜シイ、又電氣局ノ方モ日本ハ水力ガ澤山アルカラ電氣ノ國デアルト高ヲ括ツテ居ツタ所ガ、洪水ニ出遭ツテ今日ブザマナコトニナツテ居リマス、文部省ト云フ所ハ將來ノ仕事ガ多イ、將來ニ其ノ實效ヲ期スルコトガ多イカラ、直接自立ツタコトハ少イト思ヒマス、改善スベキモノガ二ツツ三ツアラウト思ヒマスカラ、一ツ忌憚ナクソコヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○松浦國務大臣 文部省ト致シマシテハ、次ニ來ルベキ時代ヲ背負ツテ立ツ所謂大國民ヲ養成スル其ノ目的ノ教育ニ關スルコトヲ主宰致シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテ色々施設ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス、之ヲ四

ウニ假ニ束ネテ申シマス、第一ハ一層國民精神ノ昂揚ヲ圖リ、第二ハ新東亞建設ニ當ルベキ大國民トシテノ素養ヲ高ムル、即チ興亞精神ト興亞認識ノ向上ト云フコトニ相成ルノデアリマス、第三ハ科學知識ノ昂揚、第四ハ勤勞精神ノ涵養、斯ク云フヤウナコト、此ノ精神ニ基キマシテ、之ヲ實際ニ適用シテ、改善スベキ點ハ何處マデモ改善スル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○北委員 只今ノ文部省ノ時局ニ省ミテノ改善ノ方針ニ私ハ全面的ニ共鳴致ス者デアリマス、唯具體的ニ一寸御註文致シマスト興亞ノ大事業ニ活動スル青年ヲ養フ、洵ニ結構デアリマス、之ニ付テ一ツ私共ノ希望兼御注意ヲ申上ゲテイト思フノデスガ、私ハ昨年臺灣カラ廣東、ソレカラ海南島ハ參リマシテ痛感致シタノデアリマスガ、海外ニ飛躍スルニ當ツテ、塞イ方ニ飛躍スベキ者ト極ク暑イ所ニ飛躍スベキ者ト、兩方ノ教育ノナリ方ハ根本的ニ變ヘナケレバナラヌト思フ、同じ拓殖學校ニ致シマシテモ北方ニ活躍スル拓殖學校ト、熱帯ノ百三十三度ノ熱氣ノアル所ニ活躍スル學校トハ、其ノ教育ヲ異ニシナケレバナラス、昔札幌ノ農學校デ臺灣ノ砂糖ノ研究マデヤツテ居ツタ、現ニ私ノ中學ノ同級生ガ入ツテ、臺灣ノ相當大キナ會社ノ重役ヲシテ居ル者ガ二人モアリマスガ、其ノ時分ノコトヲ聽イテ見ルト、砂糖ノコトヲドモ分ラナカウツタ、臺灣ニ來テ初メテ研究シタト云フ、是デハイカス、醫學ニシテモ、私ハ海南島ト廣東東部ニ見ルト、東京ノ才醫者サンデ、内地ノ病人バカリ診テ居リマス、熱帯ノ醫學ノ研究ガ足ラヌカラ、ドウモ「マラリヤ」ナドハ駄目ダ、臺灣ノ才醫者ハ比

較的腕ガアルト云フコトヲ聞キマシタ、是カラ日本、外務大臣ノ方針カラ言ツテモ、資源開發ニ支那大陸ニシテノ發展シテ行ク、又發展セザルヲ得ナイノデアリマスカラ、教育ニ於キマシテモ適地適材ト云フ意味ニ於テ、今マデノヤウナヤウナ云フ畫一的ナ教育ヲ止メマシテ、根本的ニ變ヘテ、具體的ニヤツテ裁キタイ、之ヲ私御註文且御注意ヲ申上ゲタイ、モウ一ツ、私ハ四箇條ハ全部賛成シマスガ、モウ一箇條加ヘテ裁キタイノハ、昨年私ハ荒木文部大臣ニ對シテ此處デ力説致シマシテ、此處ニ御見エノ文部省ノ方ニハ御存ジテラウト思ヒマスガ、近年ノ大都會集中ノ弊ガ學生ノ精神ニ肉體ニ及ボス影響デアリマシテ、私ハ此處デハ今日詳シコトヲ申上ゲマセヌガ、昨年ノ文部省カラ統計ヲ載キマシタガ、東京市內デ高等學校、專門學校、大學ト云フヤウナモノガ官私合セテ百三十三校アル、其ノ學生ガ十四萬、所ガ東京府在籍ノ者ガ四萬デ、地方カラ來テ居ル者ハ十萬モアル、丁度東京ノ七百萬トスレバ、七萬人ニ一校デアル、所ガ新潟縣ノ如キハ二百萬ノ所ニ長岡高等工業ガアリ、新潟市ニ醫科大學ト高等學校ガアツテ、三校シカナイ、七十萬ニ一ツノ割合デ、餘リ約合ガ取レテ居ラス、是ハ私ハ學生ノ風紀ノ上カラモ健康ノ上カラモ、害ガアルト思フカラ、文部省ハ青年教育ト云フ立場カラ此ノ問題ヲ大キク採上ゲテ裁キタイ、昨年荒木文部大臣ノ時ニハ、文化ノ中央集中ノ弊其ノ極ニ達セリト云フ言葉デ現ハシタノデアリマスガ、是ハ由々シキ大問題デアラウト私ハ考ヘル、獨逸ノ伊太利ナドハ都會集中ニ付テハ今非常ニ對策ヲ講ジテ居リマス、昔ハ所謂藩學ト云

性者トナツテ居リマスカラ、學生ハ少クモ戰地ヘ出タ位ノ氣分ヲ持ツ必要ガアルケレドモ、是ハ中々演說ヲ訓令ダケデハ行ハレナイカラ、私ハ此ノ三項目ヲヤラシテ、文部省デ徹底的ニヤツテ貫ヒタイ、先ヅ第一ハ戰時中ニ限ツテ宜シイガ、事變中學生ニハ絕對的ニ禁酒、飲ンダコトガ分ツタラ放校スル、ソレカラ斷髮モ問題ニナツタガ、斷髮モ私ハ學生ニハ厲行シテ貫ヒタイ、國民服ガ出來ルト言ツテ居リマスガ、是ハ一概ニ用ヒルノデアリマセウケレドモ、先ヅ學生ニ對シテ着段ノ木綿ノ著物ヲ新シク作ル場合ニハ筒袖ヲ採ヘル、昔々ノ學生時代ニハ筒袖デ暮ラシタモノデアリマス、是ナラニ丈七八尺デ済ムノデアリマス、勤勞ト云フコトヲ一面ニ掲ゲテ居リナガラ、日常生活ハ遊ビ人ノ著物ヲ著テ居ル、長袖ト云フモノハ御公卿サンカ或ハ遊ビ人ノ著ルモノデアリマスカラ、是位ハ文部省ハ法令デ斷行シテ貫ヒタイ、形式ハドツツデモ宜イト云フ人モアルガ、私ハ形式ハ極ク大事ナモノト思フ、此ノ三ツダケデモヤレバ兎ニ角私ハ引緊ツテ來ルト思フ、今ノ内閣全體トシテハ非常ニ常識的デ立派ナ方々バカリガ集ツテ居ルケレドモ、何トナク非常時色ガ乏シイト云フヤウナ感ジガスルノデアリマス、ソレデ荷モ阿部内閣ニ無能デ辭メテ貫ツタカラ、ソレニ代ツタ以上ハ何カ代リ榮ノアルコトヲボツ、ヤツテ貫ヒタイ、ソレニハ學生ニ對シテ是ダケノコトヲヤツテ貫ヒタイ、私ハ希望ヲ述べレバモツト物凄イコトガ澤山アリマス、犬猫廢止論デ世間ガ騒イダヤウデアアルガ、私ノ所ニモ二三通ノ手紙ガ來タノデアリマスガ、私モ犬猫ガ居レバ大變ナコトニナルト思ヒマスガ、モツ

ト突飛ナコトモ考ヘテ居ル、内閣諸公ガ考ヘテ居ル以上ニ私ハ國民ノ困ツタ生活ニ關レテ考ヘテ居ルゾズケレドモ、最小限度トシテ是位ノコトハ學生ニ實行シテ貫ヒタイ、是ハ無理ナコトデアリマセヌ、二十五年マデノ青年禁酒ハ學生ガケハヤル、又筒袖トイフ要頭ニスルト云フ位ハヤツテ宜シイト思フ、一人口デ自分ガ金ヲ儲ケルナラ酒ヲ煙草ハ飲ンデモ宜イガ、親ノ煙草ヲ居ル時ハソレハイカスト思フ、是ハ御希望トシテ申上ゲルノデ察辯ハ要リマセヌ

ソレカラ其ノ次ニ一寸申上ゲタイノデスガ、是ハ私ハ文部省ガ御氣付キニナツテ居ラスコトデアラウト思ヒマス、此ノ頃日本デモ色々博覽會トカ展覽會ニ大分關心ヲ持ツテ來タヤウデアリマス、事變ガナケレバ今年ハ萬國博覽會モヤル筈デアリマシタガ、文部省ハ美術展覽會ニ關係ガアルカラ申上ゲルケレドモ、ドウモ下手ナヤウデアリマス、自分モ斯ク云フコトガ好キデ又ヤウ云フ仕事ニ關係モアルカラ、外國ニ行ケバ何處ノ博物館デモ、民衆博物館デモ、美術館デモ見テ歩ク、小サナ丁味トカ諸國デモ見テ歩クガ、日本デハ何ダカ博覽會ニ付テハ下手ナヤウデス、昨年私ハ紐育ノ博覽會ヲ二度見マシタ、サウシテ桑港ニモ行ツテ參リマシタ、日本ニ歸ツタ人ハ良ク出來テ居ルト云フガ、私ハ涙ヲ流シ位ニ口惜シカウツタ、博覽會ノ中デモ大使館ノ前デモ紐育ノ總領事ノ居ル所デモ、各會社ノ支店長會議ニモ出テ熱烈ニ私ハソレヲ批評シタ所ガ、後ニハ皆贊成シテ呉レタ、ナゼカト云フト商工省ダケデアラフコトヲヤツテ居ルカラ恥ヲ感イテ居リマス、物ヲ賣ルナラ賣ルヤウニ「デザート」ナウナモノヲ採ヘ

フモノガアツテ、各藩ヲ中心トシテ特色々地方的ニ特色アル文化ガ開ケタノデアリマシテ、本當ノ民族ノ文化ト云フモノハ農村ト非常ニ密接ナル關係ヲ持ツノデ、大都會カラ必ズシモ健全ナル文化ガ生レルトハ限ラナイノデアリマスカラ、此ノ點ヲ餘程御考ヘナツテ、四項目ニ加テ第五項目トシテ裁キタイ、殊ニ私ノ御願シタイノハ、地方ニハ女子ノ高等教育機關ガ非常ニ乏シイノデアリマス、御承知ノ如ク娘ヲ持ツテ居ル者ハ誰モ考ヘルノデアリマスガ、女學校ヲ卒業シタモノ子供ヲ十八カ十九カ都會ニ出シテ、專門學校ト大學ニヤルト云フノハ非常ニ危險ナコトデアリマス、是ハ風紀上、體ヲ護ルト云フ點カラ危險デアアルノミナラズ、都會ノ華美ノ風習ニ慣レマシテ、ソレヲ農村ニ持ツテ來テ、純朴ナ農村ノ氣風ヲ害スルト云フ點モアリマスカラ、是ハ田舎ノ高等小學校ノ有力ナモノニ二年ナリ三年ナリノ高等科ノ設備ヲ致シマシテ、父兄カラ離レテ女子ノ子供ガ都會ニ出ルト云フコトハ極力私ハ防イデ裁キタイト思フ、是ハ經費ノ點カラ言ツテモ、衛生ノ點カラ言ツテモ、風紀ノ點カラ言ツテモ、家庭道德ヲ維持スルト云フ點カラ言ツテモ、又家庭ニ於テ勤勞スルト云フ勤勞教育ト云フ點カラ言ツテモ、絕對必要ト思フノデアリマス、之ニ付テ唯「イエス」ノ一ノ簡單ナ御答ヲ裁キベ宜イノデアリマス

○松浦國務大臣 日本ノ都會集中ト云フコトガ餘リ好マシクナイト云フ御精神ニ至リマシテハ、私ハ全ク御同意デアリマス、從來少クトモ官立學校ヲ設置スルト云フ場合ニ於キマシテハ、出來ル限リ文化中心ヲ全國ニ散ラセシメル、都會バカリガ文化

タノデハナイカト思フ、來年モ亦サルサウ
デアルガ、斯ウ云フヤウニ亞米利加ニ對シ
テ卑屈ナ態度デ「アイ・ベグ・ユア・パード
ン」私ハ罪ヲ犯シタカラドウカ許シテ下サ
イト云フ態度ニ對シテ、私ハ御氣ノ毒デハ
アツタガ、大使ノ前デモ總領事ノ前デモ痛
烈ニヤツサウシテ後ニハ分ツテ與レタヤ
ウデアリマス、所デ日本デアア云フコト
ヲヤルト、博覽會ヲ極ク若イ世間ヲ知ラナ
イ商工省ノ官吏ガヤル、日本人ハ小器用デ
一寸偉イ所ガアルガドウモ駄目デス、アア
云フ時ニ有機的一ガナイ、立派ナ一流ノ
洋畫家ヤ日本畫家ノ繪ガ展覽會ニ出テ居ル
ガ、其ノ出シ方ナドモ伊太利ナンカヨリハ
下手デアル、來年モ亦サルサウデアアルガ、
是ハ日本ノ國柄ヤ人物ヲ現ハス機會デアリ
マス、展覽會ハ文部省ガ御主催ニナツテ居
ルガ、國際的ノ日本ノ美ヲ愛シ正シキヲ愛
スル心、清ラカナ心ト云フモノハ、國內デ
幾ラ大和魂ヲ宣傳シテモ駄目デス、文部省
ハモツトアア云フ國際的展覽會ヲ指導的ニ
ヤツテ知ラシテ貰ヒタイ、日本人ハ支那事
變デ憎マレテ居ル、況ヤアノ展覽會デアア
云フ卑屈ナ態度デハ輕蔑サレマス、憎マレ
ルガケナラマダシモデアリマスガ、憎マレ
且ツ輕蔑サレマス、強盜ト乞食ヲ比較スレ
バ乞食ハ輕蔑サレ、強盜ハ憎マレル、併シ
ナガラ私ハドウツチヲ選ブカト云フト強盜ヲ
選ブ、輕蔑サレヨリハ強盜ガ宜イ、強盜
ニハ歴史的人物ガ出テ居ルガ、乞食ニハ歴
史的人物ハアリマセス(笑聲)所ガ日本ノ展
覽會ノ様子ヲ見ルト、乞食ノヤウナ感じニ
ナツテ居リマスカラ、是ハドウカ文部省ガ
指導ヲシテヤツテ貰ヒタイ、ヤハリ國威ヲ
海外ニ發揚スルト云フニハ、文部省ガモツ

トシツカリシナケレバイカスト私ハ思ヒマ
ス、來年モ展覽會ガアルノデアリマスカ
ラ、一ツ御願致シマス、之ヲ希望トシテ申
上ゲテ置キマス、是デ私ノ質問ハ終リマス
○平川圭查 次ハ三宅君デゴザイマスガ、
今アナタノ留守中ニ皆テ相談シタノデスガ、
十三人ニナツテシマツカデアリマスカラ、
其ノ御積リテ御質問願ヒマス——三宅君
○三宅委員 三宅君ガ御伺ヒタイト思
フテ居ツタデアリマスガ、教育ノ地方分
散ニ付キマシテハ、只今北君カラ御質問ガ
アツテ、同意ノ御答辯ガアツタデアリマ
スノデ、是ハ關レズニ置キタイト思フノデ
アリマス、唯方針トシテハ、荒木サンガ文
部大臣ノ時モサウ云フコトヲ言ツテ居ラレ
マスガ、併シ實際ハ作ルトナル運動ガア
ツタリ色々シテ、大都市ハ集ツテシマフ
云フコトニナリマスノデ、運動デ動かサレ
ナイ所ノ大キナ國家的方針ト下ニ、一ツ
地方分散ヲ圖ツテ置キタイト考ヘル譯デア
リマス、御答辯ガ願ヘレバ、後ノ質問ト一
緒ニ御答辯願フコトヲ希望シテ置キマス
其ノ次ニ私ハ教育ノ門戸開放ノコトニ付
テ御質問致シタイト思フノデアリマス、御
承知ノ通り最近總動員法ガ布カレマシタリ、
或ハ國家ノ必要カラ醫師ナドニ付キマシテ
二箇年間ノ勤務指定義務ト云フモノガ負ハ
サレルコトニナルデアリマス、即チ今マ
デノ儘行キマスレバ、村ハハ醫者ハ行カ
ナイ、町ヘバカリ集ツテシマフ、之ヲ全國
的ニ公平ニ配置スル爲ニハ、強制命令ニ依
ル所ノ醫師ノ勤務指定制度ヲ作ラナケレバ
ナラスト云フヤウニナツテ來テ居ル、サウ

云フコトガ醫者ナドノ方ニ付テハ一番先ニ
必要ニナリマシテ、新聞ニ出マシタ所ヲ見
マスルト、醫者ノ入學志望者ガ非常ニ減ツ
タト云フコトガ出テ居ルデアリマス、私
ハ明治維新ノ改革ニ於キマシテハ、金サヘ
アレバ魂ニ角皆學校ニ出ラレルト云フコト
デ教育ノ門戸開放ヲシタデアリマス、昭
和維新ノ大精神トシテハ、金ガナクとも上級
學校へ行ケルト云フ一ツノ具體的方針ヲ
考慮スルコトガ必要ダト私ハ思フデアリマス、
特ニ最近ニ於キマシテハ、例ヘバ巡查ガ自
分ハ小學校ダケ出テ巡查ニナツテ居ルガ、
此ノ次ニ自分ノ息子ヲ巡查ニスル爲ニハ中
學ヲ出サナケレバ巡查ニ出來ナイ、中學ヲ出
タ人ニ子供ガ出來レバ、大學ヲ出サナケレ
バ自分ノ今持ツテ居ル「ポスト」ダケニハ爲
シ得ナイト云フコトニナリマシテ、中産階
級以下ニ對スル教育ノ重壓ト云フモノハ大
變ナモノデアリマス、ソレデ最近中學ヘ子
供ガ一人入ルト云フコトニナルト、少ク
モ百圓ハ掛ル、服ヲ作ツタリ何カスルト百
圓デハ足ラヌト云フコトニナルト、シガナ
イ供給ノ下級ノ低額所得者ニ取ツテハ、
是ハ中々大事デアリマス、況ヤ上ノ學校ヘ
出スト云ヘバ尙更大事デアリマス、田舎ニ
於キマシテ、小學校ノ先生ガ校長ナドニナ
ツテ百五十圓取ツテ居ルト云ヘバ、嫉妬羨
望的デアル、所ガ其處ニ息子ガ三人アリ
マシテ、其ノ三人ヲ大學ヘ出ストナレバ、
連モ百五十圓足ル譯ハアリハシナイノデ
アリマス、斯ウ云フ點ニ於テ、一方ニ於キ
マシテハ、學校ヲ卒業シタ者ニ對シテ國家
目的ニ追隨致シマスルヤウニ、醫者ナドニ
致シマシテモ、都會ヲ開業シタイノ農村
ニ勤務スルコトノ指定ヲ命ズルト云フヤウ

ナ、一ツノ制限モ出テ來ルノデアリマス、
一方ニ於テハ生活上ノ壓迫ガ中産階級ニ
モ加ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ際一
ツ教育基金制度ト云フヤウナモノヲ御作
リナリマシテ、教育費ニ付テハ、成績ガ良
クテ、身體ガ良ケレバボンナ費乏ノ者デモ
學校ニ行ケル、但シ國家デ只ヤル必要ハ
ナイノデアリマスカラ、金ヲ貸シテヤル、
卒業シテカテ何年間ニ拂ハバ宜シト云フ
コトニ致シマシテ、私ハ結構ダト思フノデ
アリマス、假ニ一億圓ノ教育基金制度ヲ作
リマシテモ、利子ダケヲ國庫ガ補給スルト
云フコトニ致シマス、四分ノ利子ナラ四
百萬圓デアリマス、假ニ二億圓ノ教育基金ヲ
出シマシテモ、年七百萬元ノ利子補給ヲヤ
レバ、ソレダケデ中流以下ノ教育ニ志アル
青年ヲ學校ニ出シテヤルコトニナルノデア
リマスカラ、非常ニ安い金デ教育ガ出來ル
ト思フノデアリマス、一方ニ於キマシテ生
命保險ヲ掛カサセテ置キマシテ、學校ヲ出
テカテ何年カ後ニ拂ハセルト云フコトニ
シテ置キマスレバ、國庫ノ補給ト云フモノ
ハ極メテ僅カナ金デ済ム、私ハ年額千五百
萬圓ノ利子補給ヲヤルト云フコトニナレバ、
日本中ニ於ケル中學校以上ニ行キタイ希望
ノ教育ガ出來ルト云フコトニナルト思フ
デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、教
育審議會等ニ於テモ問題ニナツテ居ルト云
フコトヲ承知シテ居ルデアリマスガ、義
務教育ガ國民學校制ニ依ツテ八年ニナリマ
ス、此ノ劃期的ナ變革ト共ニ中等學校以
上ノ入學希望者ニ付テ、公費ヲ以テスル貨
費ノ制度ヲ全面的ニ擴充サレル意圖ハナイ

カ、サウ云フ基金制ヲ御作りニナリマシテ、
簡易保險ノ金モ澤山アルノデアリマスカラ、
途ハ御考ニナレバ直グサマ出テ來ルト思フ
ノデアリマス、之ヲ一ツ現文部大臣ガ御在任
中ノ一ツノ仕事トシテ直チニ具體化スル御
意思ガアルカ、具體化スルトスレバドウ云
フ風ニ具體化スル御考デアアルカ、或ハ何カ
外ノ方法デ以テ門戸開放ヲオヤリニナル案ガ
アルカ、例ヘバ教育保險ト云フヤウナ、強
制的ナ「インフレ」防止ノ爲ノ全國的保險モ
私ハ一ツノ行キ方ダト思フノデアリマスガ、
ソレデモ宜シイ、兎モ角何等カノ方法ヲ以
テ、體格ト頭腦ト性格ガ立派ナ者デアアル限
リ、全國民ニ向ツテ、ドシナシガナイ車扱
ノ子供デアツテモ大學マデ出ルコトガ出來
ルト云フ途ヲ開カレマスコトハ、人心ニ對
スル影響カラ行キマシテモ、人材ヲ本當ニ
登用スルト云フ見地カラ行キマシテモ、大
變良イコトダト思フノデアリマスガ、一ツ
シツカリシタ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○松浦國務大臣 教育ノ門戸開放ト云フコ
トニ付テノ御考デアリマスガ、我國ニ於キ
マシテハ、制度トシテハ總テ教育ガ總テ
ノ者ニ對シテ所謂門戸開放シテ居ル、是
ハドウ云フ者デアリマシテモ、ドウ云フ學
校ヲ出マシテモ、又全然獨學者デアリマシ
テモ、進ンデ大學マデ入レルト云フ制度ノ
上ノ道ハ開ケテ居ルノデアリマス、此ノ點
ニ付テハ、日本ハ世界中デサウ云フ意味ニ
於テノ門戸開放ヲヤツテ居ル國ノ少クモ一
ツデハナイカト思フノデアリマスガ、唯問
題ハ今御話ノヤウニ、制度ノ上ニ於テ門戸
開放サレテ居リマシテモ、父兄ノ資力ノ
關係上、折角ノ英才デアツテモ、進ンデ學
ビタイト思フ學校ガアツテモ、入ルコトガ

出來ナイ、サウ云フ點ニ付テノ、所謂經濟
的ノ門戸開放ト云フコトニ付テハ、是ハ
一ツ大イニ考ヘナケレバナラヌト思ヒ
マス、現在ニ於キマシテモ、或ハ育英團
體デアリマス、或ハ各地方ノ公共
團體、又舊藩主等ノ色々ナ方面ニ於テ
ノ育英的ノ施設ハアルノデアリマスケレド
モ、是ハマア組織的ニハナツテ居リマセ
ガ、バラ／＼ニサウ云フモノガ色々アル、
ソレデモ多少ノ目的ハ達シテ居リマスガ、
之ヲ本當ニ組織化シテ、英才ニシテ資力ノ
乏シイ學生ノ爲ニ所謂門戸開放ノ道ヲ開ク
ト云フコトノ必要ハ、是ハ申スマデモナイ
コトデアアルト思フノデアリマス、マダソレ
ヲ組織的ニドウ云フ風ニシヨウカト云フコ
トニ付テハ考ガ熟シテ居リマセヌガ、是ハ
一ツ篤ト考究ヲ致シテ見タイト思ヒマス
○三宅委員 教育ノ問題ニ付テノ御大家デ
アリマスル現文部大臣デアリマスノデ、モ
ウ具體案ガ出來テ居ルカト思フテ伺ツタ
デアリマスガ、多年ノ問題デアリマシテ、
一週ニ全部出來ナイナラバ、少クとも醫者
等ニ付テハ、サウシナケレバ無醫村ナドハ
無クナリハシナイノデアリマシテ、且ツ斯
ウ云フ設備ニ依リマシテ、醫者ノ居ラヌ村
ノ小學校ノ卒業生ヲ、貧乏人ノ子供デモ中
學校カラ醫學科マデ出シマシテ、其ノ代リ
義務トシテ村デヤラセルト云フコトニデモ
致マシスレバ、私ハ初メテ三千何百ノ無醫
村ト云フモノガ無クナルト思フノデアリマ
シテ、是非一ツ直チニ具體化スルヤウニ御
配慮ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス
モウ一ツ伺ヒタイ點ハ、海外同胞ノ教育
ニ付テデアリマス、方々廻ツテ見マス、ト
海外ヘ進出ヲシテ居リマス同胞ガ一番困リ

マス點ハ子供ノ教育デアリマス、ソレデモ
相當ノ數ガ居リマス所ナラバ、小學校等ハ
兎モ角出來テ居ルデアリマス、併シ其ノ
小學校ヲ出シテ、中學校ハ無いノ内地
ノ中學ヘ入レルノデアリマスガ、植民地ノ
小學校ヲ出テ參リマシテモ、中々内地ノ中
學ヘ入レナイノデアリマス、ドウシタツテ
二部教育ヲヤツテ居ツタリ、三部教育ヲヤ
ツテ居ツタリ致シマスカラ、況ンテ中學ニ
マトラニ行ツテ居ル同胞ガ子供ヲ中學ニ
入レルト云フコトハ一苦勞デス、隨テ細君
ガ子供ト一緒ニコチラニ來テ居ツテ、夫婦
別々ニ生活シテ居ツテ、向フデ荒シデシマ
フト云フヤウナ事例ガ澤山アリマスノデ、
日本ガ世界的ナ國家トシテ海外ヘ續々ト進
出致シマス今日ニ於キマシテハ、私ハサウ
云フ點ニ付テモ一ツノ方法ヲ考ヘナケレバ
イカスト思フノデアリマス、支那ハ御承知
ノ通り華僑ノ送金ガ非常ニ大キナモノニナ
アリマシテ、歸ツテ來レバソコニ泊メテ蔭
介石ガ非常ニ之ヲ優待シテ居ルコトハ御承
知ノ通りデアリマス、私ハサウ云フ意味デ
海外同胞ニ付テハ管轄ハ外務省ガヤツテ居
リ或ハ拓務省ガヤツテ居リマスガ、小學校
ヲ出タ者ハハ無試験デ内地ノ中學ヘ入レテ
ヤルトカ、若クハサウ云フ海外デヤツテ來
マシタ者ノ爲ニ準備教育ノ機關ヲ國內十箇
所位作ツテヤリマシテ、ソレデ中學ヘ樂ニ
入レル、ソレカラ母親ガ歸ツテ來ナクテモ
寄宿舎ヲ作ツテヤツテ、サウシテ監理ニ付
テハ心配ナシニ子供ヲ預ツテヤルト云フヤ
ウナ方法ニ付テ一ツ今日ハモウ御考下ヤル
段階ニ入ツテ居ルノダラウト思フノデアリ
マス、此ノ點ニ付テ今マデヤツテ居ラレル

カ、ヤツテ居ラレルトスレバ、具體化サレ
ントスル御方針ヲ一ツ承ツテ置キタイト思
フノデアリマス
○松浦國務大臣 海外ニ行ツテ居リマス者
ノ子弟ガ内地デ學問ヲシタイト云フノニ對
スル相當ノ便宜方法ト申シマスガ、サウ云
フ者ニ便宜ヲ與ヘル、是ハ極メテ適切ナ事
デアルト考ヘマス、マダ今日マデ具體的ニ
ドウスルト云フコトノ施設ハナイヤウニ承
知致シマス、此ノ事ニ付キマシテモ能ク研
究ヲ致シマシテ、成ベク實現ヲ致シヤウニ
努力ヲ致シタイト考ヘマス
○平川圭查 工藤君
○工藤委員 私ハ二三ノ點デ簡單ニ一ツ御
伺致シマス、ソレハ本年度豫算デ三校ノ
商船學校ガ所謂昇格致スコトニナツテ居ル
サウデアリマスガ、ソレハ其ノ通りデアリ
マスカ
○松浦國務大臣 三校ノ昇格ト申シマスガ、
公立學校ヲ國立ニ昇格スルコトニ付キマシ
テ、文部省トシテハ希望ヲ致シテ居リマス
ガ、マダ其ノ程度ト御承知ヲ願ヒマス
○工藤委員 ソコデ私ハサウ云フ種類ノ學
校ノ分布ノ方針ニ付テ御參考ニ申上ゲテ置
キタイ、七校ハ何レサウ云フ方法デ昇格サ
レルト云フコトデス、其ノ七校ノ中ノ一校
ガ日本海ニ面シタ富山デアアル以外ハ全部瀟
戸内海ニ集マテ居ル、是又相當歴史ガアリ、
利益ノアルモノデスカラ、之ヲ否定スル譯
デハナイ、結構デス、ソコデ私等ガ考ヘテ
居ルノハ、瀟戸内海ハ洶ノ海員養成ノ上ニ
ハ頗ル適當ナ土地デアアルカラ、マア六校デ
モ八校デモ財力ノ許サ範圍ニ於テ殖ヤスコ
トヲ希望スルノデスガ、此ノ分布ニ付テハ
私ハ海員ノ養成デスカラ相當地理其ノ他ノ

點ヲ考ヘテ見ルコトガ必要ナラシムルコトヲ思フ、ソレハ何故カト云フト、日本ガ海國トシテ世界ニ於テ優秀ナ地位ニ立ツテ居ルハ、過去然リ將來亦ホサウデアルト思フ、現在政府ノ方針モ南洋方面ノ開拓ヲシテ、サウシテ發展シヨウト云フコトヲ言明セラレテ居ルヤウナ状態デアリガ、又今回ノ支那ノ事變ニ付テモ、三千哩ニ互ツテアノ封鎖ノ状態カラ見レバ、相當大キナ仕事ヲ海軍ノ方デヤツテ居ル、而シテ此ノ海軍ノ發展ト云フコトハ、要スルニ日本ノ海軍ノ状態ガ無論サウシナケレバナラヌヤウナ状態ニアルカラ、玄人筋ノ計算ニ依リテ、現在ノ船舶ノ増加ト云フモノハ事變中デモ近キ將來ニ互ツテ著シク増加ニナツテ、殆ド現在ノ倍位ニナルハ、遠イ將來デハアルマイ、隨テ海員ガ必要ニナツテ來ル、其ノ必要上今度商船學校ヲ昇格スルコトニナツタノダラウト思ヒマス、ソコデ日本ガ海國トシテ立ツニ付テハ内洋モ必要デアリガ、内洋方面諸リ早ク實ニ西南地方ノ海ノ練習モ必要デアリガ、私ハモウ一層剛健ナ氣性ヲ海員ニ與ヘルノハ、北ノ荒海ノ中ニ育ツノガ宜イト思ツテ居ル、是ハ自分ガ東北デスカラサウ申スノデハナイガ、ヤハリ英吉利、アノ邊ニ行ツテ見ルト、ドウシテモ北方ノ強ハ天候ト關ヒ天候ヲ征服スルニアル、隨テ之ヲ人格ニ及ボシ、其ノ人ノ修養訓練ニ及ボスノデアリガ、英吉利ガ世界ニ覇ヲ成シテ居ルコト云フハ、要スルニ海上權ヲ持ツテ居ルカラデアリ、其ノ海上權ハドウ云フコトデ出來テ居ルカト云フハ、ヤハリ剛健ナアノ民族ガ北海デ練ツタ、海ニ對スル觀シミ、海ヲ理解スルト云フコト、是ガ私ハ英吉利ノ今日ノ海軍ノ大ヲ成シタ所以デ

ハナイカト思フ、一轉スレバ海賊ニナルカモ知レマセヌガ、先ツ北方ノ強トシテ荒海ニ練習スルコトヲ一ツ御考ニナルノハ施設ノ上ニ最モ適當ナコト考ヘテ居リマス、ソコデ時間モナイカラ指申上デテシマヒマスガ、此ノ間以來書面デモ來マスシ、人モ來テ居リマスガ、北海道デハ函館ノ商船學校ノ復活ヲ非常ニ希望シテ居ル、函館ハ私等ノ方カラ見ルト東北地方デハナイ、北海道ニ屬シテ東北六縣ニ入ツテ居リマセヌケレドモ、アノ地方一體ヲ見渡シテ剛健ナル海員ヲ養成スルニ最モ適當ナル練習所トシテアノ邊ノ海ヲ擧トシテ、其處デ練習スルコトヲ思フ、又青森縣、岩手縣、宮城縣、山形縣、或ハ秋田縣、福島縣ニモ、アレバ結構デスガ、先ツ適當ツテ函館ト云フ問題ガ起ツテ居ル、六十年ノ歴史ヲ持チ、日本ノ海員教育ノ幼稚ナル時代ニ相當國家ニ貢獻シテ居ル、是ハ先年海運界ガ不況ノ爲ニ閉鎖シテ、今デハ水産學校ニナツテ居リマセケレドモ、ヤハリ心アル者ハ是ノ復活ヲ常ニ希望シテ居リマスカラ、當時使ツタ器具カラ設備ハ其ノ儘ニ保存シテアル、之ヲ活カシテ實用ト云フコトハ、洵ニ今日海員ノ不足ヲ告ゲテ居ル場合ニ必要デアリカト考ヘタモノデアリマスカラ、私ハ適當ツテ北海道ノ函館ニ置イテ吳レト云フコトデアレバ、北海ノ險惡ナル怒濤ヲ乗切ツテ風ト闘ヒ、雪ト闘ヒ、雨ト闘ヒ、サウシテ常ニ心膽ヲ練リ、身體ヲ練ツテ行ク海員ヲ養成スルニハ洵ニ相應シイ地點デアリ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、若シ將來此ノ三校ヲ復活スルト云フコトデアレバ、其ノ三校ノ中ニ入レテ一四校ニ

シテモ宜シクゴザイマスガ、何等カノ方法デ之ヲ復活スルコトヲ私ハ要望スルノデアリマス、國家ノ施設ヲ各地方ニ適當ニ配分分配スルト云フコトハ、常ニ論ゼラレルコトデアツテ、殊ニ議會政治、議會ヲ中心トシテ政治ヲ論議サレル場合ニ於テハ、政治ノ適當ナル配分ハサウ云フヤウナ工合ニ行ハレテ行クベキデラウト思フ、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ、ヤハリ地方的ニ打算ヲシテ微々タル一商船學校ノ問題デアルケレドモ、長イ間文教ノ府ニ居ラレタ松浦サンガ大臣ニナウタスウ云フ機會ニ於テ、サウ云フ點ニ特ニ深甚ナル御考慮ヲ仰グコトガ適當デアルト私ハ考ヘマシテ、此ノ質問ヲシタヤウナ次第デアリマスカラ、ドウゾ一ツ腹藏ナク御話ヲ願フテ將來ノ方針ヲ示シテ戴ケレバ洵ニ結構ダト思ヒマス

關係ニ於テ國防ノ一端ヲ擔當シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ニ於テハ頗ル共鳴セラレマシテ、古イ時代ニ教育ヲ受ケタ者モ今日ノ場合間ニ合フケレドモ、現代ノ學問技術ノ上ニ基礎ヲ置イタ者ヲ練習デモヤルト、相當ノ成績ヲ上ゲラウト云フコトデ、此ノ海員ヲ養成ニハ頗ル關心ヲ持ツテ居ルト云フコトデアリマス、元ハ通信省ノ關係デアツタノデスガ、此ノ教育系統ヲ整ヘルト云フ點カラ文部省ヘ移ツタノモ宜シウゴザイマス、教育ノ本尊ノ文部省ニ斯様ナル行政事務ガ移ツテ、系統ハ正シクナツタガ、實質ニ於テハ退步シテ居ルト云フコトデアレバ、文部省ト云フモノガ其ノ使命ヲ果シタト云フコトハ言ヘナイ、ソレデアリカラ是ハ商船學校ノ新設ニナル譯デスガ、財政上困ルナラバ土地ノ寄附モスル、器具機械モアル、ソレハ相當ナコトヲシヨウト云フ地方ノ者ノ熱心ナル希望デス、殊ニ御承知ノ通り函館ハ北海ノ鎮鎮トシテ、又北門ノ生産物ヲ集散スル極メテ大事ナル場所デアリマスカラ、函館邊リノ要望モ私ハ無理カラスコト考ヘルノデアリマス、マア財政其ノ他ノ關係ハ十分ナル考慮ヲ願ハナケレバナラヌガ、若シ將來此ノ專門的教育ヲ振興普及スルト云フコトニナリマスレバ、此ノ商船學校ノ復活ニ依ツテ國家ガ得ル所頗ル大ナルモノガアルダラウト思フ、殊ニ實際ニ於テ船員ガ足ラナイシ、非常ナ勢デハ増加シテ行クノデアリマスカラ、文部省ノ教育トシテハ、一般ノ教育ト云フ概念カラ見ルト、少シ懸離レタ、何ダカ繼子ミタイニナリマスケレドモ、繼子ミタイニスル所ニ文部省トシテ重大ナル意義ガ含ンデ居ルト思ヒマスカラ、ドウゾ此ノ

點ヲ要望シテ置キマス

ソレカラ今一ツ、是ハ少シク問題ハ大キクアリ、且深刻ナ問題デスガ、ソレハ御同僚、大臣モサウデアリマセウガ、所謂インテリ階級ノ最モ關心ヲ持ツテ居ルモノハ近代何デアアルカト云フト、色々問題ハアルケレドモ、教育ノ方面カラ見テノ傾向ト云フモノガ、洵ニ國家百年、或ハ千年、万年ノ前途ノ爲ニ深憂ヲ禁ゼザルモノガアル、是ハ時代ノ潮流デアリニ違ヒナイ、反動的ノモノデアアルカモ知レナイ、然レドモ近代折角明治以來日本ガ世界ニ誇ルダケノ文化ヲ持ツテ來タ其ノ本ヲ忘レテ、科學ノ力ヲ蔑視シテ、謂ハバ神憑リノヤウナ世ノ中ニナツテ來テ居ルト云フコトハ、日本ノ將來ニ殆ス非常ナ禍ノ本デハナイカト思フ、人間ハ何等カ一生ノ中ニ自分テ理解ノ出來ナイモノガアレバ、之ヲ神ノ力ニ頼ルコトハ野蠻時代モ今日モ、同ジカモ知レナイガ、此ノ位文教並ニ文化ガ進ンデ來テ、神憑リノ考デ以テ總テ解決スルガ如キ状態ニナルト云フト、日本ノ進歩ハ是デ停止シマス、而シテ斯ウ云フ神憑リヲヤル階級ハ多ク何處ニアルカト云フト、「インテリ」階級以上、甚シキハ文部省ノ首腦部ニモ何ダカ世間カラ見テ居ルト神憑リノヤウナ人ガ居ツタ、是ハ或點マデハ信仰ハ結構デスケレドモ、是ガ爲ニ科學ノ力ヲ無視シテ、理性ヲ没却シテ、教育ノ根柢ヲスツカリ毀スヤウナコトガアツテハ、日本ノ發達は是デ停止スル、此ノ點ニ對シテ私ハドウシテモ日本人ハ此ノ偉大ナル發展力ノアル日本精神ヲ本トシテ、科學ノ力ヲ極度ニ利用シテ、教育モ此ノ方面ニ全力ヲ入レテ、サウシテ歴代ノ文部大臣ガ力ヲ入レテ日本ノ國ヲ科學

日本ノ地位ノ御決心ニナリマスレバ、

ニ初メテ我ガ帝國ガ東亞ニ於テノ安定勢力トモナリ、新ナル秩序ヲ支那ニ植付ケテ行ク上ニ於テモ、確乎不動ノ力ヲ發見スルコトモ出來ルシ、諸外國トノ間ニ於テモ牢固ナル地位ヲ東亞ノ天地ニ植付ケルコトガ出來ララウト思フ、日本ノ神國タルコトニ付テハ、之ヲ信ズルト信ゼザルトノ間ハズ神國デスケレドモ、此ノ神國ノ半面ニハ、山ノ幸、海ノ幸ヲ巧ニ科學的ニ利用シテ行ク所ニ此ノ神國ノ本當ノ時代ニ副フ神ノ國ガ出來ルノデハナイカト思フ、此ノ理性ヲ没却シ、科學ヲ無視シテ、而シテ神憑リニナツテ居ル傾向ヲ一變スルニアラザレバ、日本ノ軌道ハ正シイ所ニ乘レマセヌ、軍事上ニ於テモ然リ、經濟上ニ於テモ然リ、政治上ニ於テハ最モ然リ、是ハ文部大臣ハ一省ノ大臣デスカラ、必ズシモ文部大臣ニ全智全能ノ力アリトハ信ジマセケレドモ、少クトモ教育行政ノ局ニ當ツテ居ル方々ハ、日本ノ百年ノ大計ヲ考ヘル場合ニ於テ、此ノ一大動脈ヲ是非一ツ御忘レナイヤウニ、無視シナイヤウニシテ、國民ニ向フ所ヲ示スコトガ必要デアリカト私ハ考ヘテ居リマスガ、文部大臣ノ之ニ對スル御所見ハ如何デアアルカト伺ヒタイ

○工務委員 日本精神、日本主義ト云フ

ノヲ鼓ニ掲ゲルト云フト、萬人悉ク之ニ反對スル者ハナイケレドモ、問題ハ日本主義ヲ履キ違ヘテ居ル人ガ多クアリハシナイカ、或ハ日本精神ト云フモノヲ一體何處ニ求メルノデアアルカト云フコトニ付テ又各ノ見ル所モアルダラウト思フ、文部省デハ先年來時代ノ要求ニ鑑ミテ國民精神文化研究所ヲ拵ヘタヤウデアリマスケレドモ、國民精神トハ何ゾヤ、畏多クモモウ 明治大帝ノ賜ハツタ勅語ノ上ニ盡キテ居リマス、アレヲ學理化シテ行クトカ、理論化スルト云フコトハアルガ、併シ如何ニ學理化シテモ理論化シテモ、何ボ研究シテモ世界ノ大道、世界ノ科學上ノ根本問題ヲ離レテハイケナイノデアリマス、然ラバ日本主義トハ何ゾヤ、是ハ銘々ニ依ツテ或ル見解ヲ立テ答辯スルカモ知レヌ、是モ定義ハ又中々ムツカシイ、ドウモ近頃何カト云フト、直ダ主義ト云フノヲ付ケル、精神ナラバ宜イケレドモ、主義、主義ト云フハ「プリンシプル」デ一貫シテ一定不變ノモノデ、之ニ依ツテ支配ヲ受ケナケレバナラヌ苦ノモノダケレドモ、此ノ主義ト云フ文字ニ餘程吾々ハ不解ナ點ガアル、日本主義ト云フ意味デハナイ、總テノ意味ニ於テデスヨ、近來何デモ彼デモ三段論法ノ「イデオロギー」ヲ以テ仕事ヲ改革シテ行カウト云フヤウナ時代ノ思潮デスガ、ソナナ單純ト譯ニ文明國ノ仕事、文化施設ト云フモノハ私ハ行タモノデアリナイト思フ、ソコデ御話ノ日本精神ト云フモノガ、一體ドウ云フ點ガ日本主義デアアルカト云フコトニナレバ、神憑リガ日本主義ダト答ヘル人ガアル、何デモ宜イカラ、神樣ヲ信ジロト云フ、日本ノ

歴史ハ私共カラ見ルト、洵ニ玄妙不可思議

ナ、微妙ナ時代モ經テ來テ居ルノデアアルカラ、斯ウ云フコトヲ私ハ彼此レ論議スルノデハナイ、論議スルノデハナイケレドモ、動トモスルト、科學ノ力、理性ノ力ヲ没却シテ、迷信的ニ世ノ中ヲ指導シテ行カウト云フ、理窟ハ言フナ、從ヘ、實言實行モ宜イケレドモ、不言實行モ宜イト云フコトニナルノダガ、今日サウ云フヤウナ工合ニシテ理性ヲ没却シ科學ヲ無視シタ結果ガ皆迷信ニ走ル、私ハ近年驚イテ居ルノハ、市中ヲ歩イテ、醫學、藥學其ノ他醫學上ノ本當ノ學問ニ根據ヲ置カズシテ、迷信的ニ、或ハ或ル部分的ニ研究シタル所ノ所謂治療者ノ多イコトニ驚ク、人間ハ生レナガラ總テハ醫者ガトスウ言ヒマス、是モ宜イケレドモ、公々然ト看板ヲ張ツテ横行測歩シテ居ルガ、内務省時代ニモ、厚生省時代ニナツテモ、之ヲ取締ラレナイ、私モ厚生省ニ居ツタガ、ヤツタラドウカト云フケレドモ、少シヤルト、妙ナ勢力ガ出テ來テ、アレハ止メテ呉レテハ困ル、アレノ看板ヲ外サレテハ困ルト云フコト、先ヅ社會ノ或ル勢力、或ル層カラサウ云フ所ヲ追ツテ歩クト云フヤウナ工合デス、成程苦シイ時ニハ頼リニナラヌモノデモ頼リニスルノハ當リ前デスケレドモ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ來ルトモウ私ハ日本ト云フ國ハ本當ノ權威ノアル時代ニ沿ウタ未來ニ相當ノ生命ヲ持ツ所ノ文化國トシテ立ツテ行クト云フコトニ付テハ頗ル悲觀セザルヲ得ナイ、ソレデアリマスカラ、日本精神、日本主義、一體之ヲ、文部省アタリデ書イタモノモ隨分アルダラウケレドモ、何處ガ日本精神ガ入ツテ居ルカト云フコトニ付テハ

分ラズガ、吾々ハ、明治大帝ノ賜ツタ詔勅、
 長多イケレドモ、アレ位ノ金玉玉條ハナイ
 ト思フノデス、學者トカ何トカ云フ人ノ中
 ニハ、時代ニ迎合シ、權力者ニ媚ビテ學問
 ヲ二三ニスルヤウナ傾向ガアル、世ノ中ニ
 曲學阿世ト云フモノガアルガ、曲學阿官、
 上官ニ媚ビテ其ノ説ヲ二三ニスル人モアル、
 サウ云フヤウナ時代ニアツテ、文部省トシ
 テハ餘程此ノ時代ノ趨向ト云フモノニ鑑ミ
 テ屹然トシテ文化ノ師表ニナルト云フコト
 ガ私ハ大事チヤナイカト思フ、學問ノ自由
 ト云フコトハ、無論國家生活ヲシテ居ル者
 ニハ或ル點マデ學問ノ自由ハ認ムルケレド
 モ、併シ大體ニ於テ大學ヲ半獨立的ニシタ
 ト云フコトハ研究ノ自由ヲ認メタカラデス、
 學問ニ自由ナクシテドウシテ國ノ總テノ進
 歩ヲ圖リ得マスカ、宗教ノ力ニ依ツテ學問
 ノ進歩ヲ阻害サレテ居リマシタノデ、學問
 ガ宗教ノ羈絆ヲ脱シテ文化ガ燦然トシテ輝
 イテ來タ、政治ハ政治、學者ハ學者トシテ、
 與ヘラレタ問題ヲ有ニル角度カラ研究シテ
 今日ノ時代文化ヲ見タ、之ヲ時トシテ文部
 省ガ或ル一種ノ勢力ニ支配サレテ、ドウシ
 テ此ノ日本ノ國家ト云フモノノ前途ニ對シ
 テ明ルイ永久ノ燈火永久ノ光ヲ失ハナイ
 ヲウニ國民ヲ導イテ行カナケレバナラヌモ
 ノヲ、サウ云フヤウナコトハ依ツテ二三ニ
 ナニサレルト云フコトハ洵ニ私共ハ遺憾ニ
 感ズル、此ノ中ニモ當時ノ政府委員御承
 知ノ方ガアリマセウガ、三年バカリ前ノ議
 會デ、林兼任文部大臣ノ時代ニ「國體ノ本
 義」ト云フ本ヲ書イタ、私モ文部省ニハ元
 關係ガアリマシタカラ文部省ノ本ハ成ベク
 一通リ目錄ダケデモ讀ムヤウナ氣ニナツテ
 居ツタガ、アノ中ニヤハリ妙ナ思想ガアル、

妙ナ思想ノ中ニハ驚クベキコトガアル、ソ
 レハ即チ「國體ノ本義」ト云フ文部省ノ發行
 シタ本ノ中ニ、日本ハ法治國ニアラズト云
 フ斷定ガアル、法律上ノ法治國ニアラズト云
 フコトニ付テハ、ソレハ普通ノ觀念モアル
 ガ、專門學者ノ法律家ノ又其ノ法治國ト云
 フコトニ付テハ、ソレハ法律ガ成立シテ
 國ニアラズト云フコトガアル、ソコデ議會
 デ問題ガ起ツタ、政友會ノ原憲兵衛君カ何
 カ質問シタ、其ノ時ノ答ハ斯ウダ、法治國
 ニアラズト云フコトハ、日本ノ國デナク
 世界デ言フヤウナ法治國デハナイノダ、斯
 ウ答辯シテ居ル、是ハ隨分苦シイ答辯デス、
 是ハ併シナガラ、憲法ニ依ツテ國家ヲ統治
 マシマスト云フコトヲ仰セラレ、憲法ノ
 條規ニ依ルニアラザレバ法律ガ成立シタ
 イ、此ノ法律ニ依ツテ國民ノ頭カラ足ノ爪
 先マデ吾々ハ生活ヲ支配セラレ、即チ法
 治國ナラデス、ソレヲ文部省カラ出シタ本
 ガ之ヲ非難スルト云フコトデアレバ、長多
 イケレドモ憲法發布ノ御詔勅ヲドウナサル
 カト云フ問題デス、其ノ時分ニ文部當局者
 ハ答ニ困ツテシマツテ、安井君ナドモ困ツ
 テシマツタ、サリトテ答辯ヲ取ラヌ譯ニハ
 行カナイカラ、原君ト隨分二人ノ間デ打合
 ツタ、私モ其ノ席ニ列シテ居ツテ、此ノ問
 答ハ幾ラヤツテモ水掛論ニナルカラ、先ツ
 文部省モ考ヘルガ宜シ、原君モ更ニ答辯ガ
 ナイ者ニ何時マデ捕マツテ居ツテモ仕様ガ
 ナイカラ、此ノ程度デ打切ツテ、文部省ニ對
 シテ最大警告トシテ之ヲ此ノ儘打切ツタラド
 ウカト云フコトデアリマセウガ、其ノ後ニナツ
 テ安井文部大臣モ辭メマシタノデ次ノ議會
 デハ問題ニナリマセウデシタケレドモ、斯ウ
 云フコトガアル、林兼任文部大臣モ相當見

云フ精神、是ハ何人ト雖モ、國家ヲ作り、
 君主ヲ仰イデ、立派ナ國家ガ出來テ居ルノ
 デアルカラ、之ニ對シテ何トモ言フ者ハナ
 イガ、勤トモスルト日本精神ニ因ハレルノ
 デアルカ、拘泥ハルノデアルカ知ラヌケレ
 ドモ、ソレデ今ノヤウナ迷信ニ走ルヤウニ
 ナルコトガアレバ困ルト云フコトヲ申上ダ
 テ居ル、日本精神ト云フコトニナツテモ是
 ハ時代ニ依ツテ變ル、私ノ書生時代陸羯南
 ト云フ人ガ居ツテ、明治初年ニ日本新聞ヲ
 發行シ、私モ籍ヲ置イタガ、當時ノ思想ヲ讀
 シテ見ルト、アノ時代鹿鳴館ヲリデ政府ノ
 役人ナドガ舞踏ヲヤツタ、ソレガ宜イトカ惡
 イトカ言フガ、今ハ何デモナイ、當リ前デア
 ル、アノ當時ハ日本ニハ日本獨特ノ魂ガアル
 筈ダガ、此ノ魂ハ決シテ頑固ナモノデハナイ、
 世界ノ長ヲ採リ短ヲ捨テ日本ヲ世界第一ノ
 文化國ニ持ツテ行クニハ、融通自在デナケ
 レバナラヌ、サウ云フコトデ、早ク言ハバ和
 魂洋才デ行クノガ本當ダト云ツタ、當時日
 本政治家トシテアレダケノコトヲ言フノハ
 エライ人ダト、時々其ノ時代ノ物ヲ讀ンデ
 ノ神慮リノヤウナモノトハ違フ、併シ昨今
 ノ點文部省ニ於テハ御留意ヲ願ヒタイ、最後
 ニ今日此ノ非常時ニ當ツテ科學者ノ總動員
 ヲヤツテ居ル、學術振興會アタリデヤツテ
 ナモノハ何デアアルカト言ハバ、智慧ヲ絞ツ
 テアレダケノモノヲ出シテ國家非常時ニ役
 立タセルノモ必要デアアルガ、平生ノ研究ガ
 ソコニ至ツタモノデナケレバ、遽カニハ學
 術ノ振興ハスルモノデハナイ、是ガアノ人
 達ノ主張デアル、理化學研究所ハ民間ノ金
 デヤツタガ、今日デハ此ノ時局ニ非常ニ役

ニ立ツタ、是ハ其ノ人ヲ得タノデアラウシ、
 時代ヲ得タノデアラウガ、非常ニ役ニ立ツ
 テ居ル、是ハ今日文部省トシテ爲スベキコ
 トハ澤山アリマセウケレドモ、ヤハリ此ノ
 科學教育ニ相當ナル金ト力ヲ注グコトハ、
 日本ノ將來ノ運命ヲ決定スルニ極メテ大切
 ナ役割ヲ勤メルモノデハナイカ、而シテ終
 來ニ於テハ——日本モ始終戰バカリマシテ居
 ル譯デアリマセウケレドモ、戰ガアラウ
 ガナカラウガ、日本ノ文化、詰リ亞細亞ノ
 文化ヲ今日ノ世界各國ノ第一等國ニモ劣ラ
 スヤウナ文化トシテ建設シヨウト云フコト
 デアレバ、文部省ハ各省ト協力シテ此ノ科
 學教育ニ全力ヲ入レナケレバナラヌ、多ク
 ノ人々ハ、科學教育ヲヤルト、ソレハ物質
 的教育デアツテ駄目ダト云フガ、物質的デ
 モ何デモ宜イ、是ハ心ト物ト相關キ係ヲ持
 ツテ行クノデスカラ、先ツ科學教育ニ依ツ
 テ物質方面ニ非常ニ進展ヲ圖ルト云フコト
 ハ非常ニ必要ダト思ヒマスケレドモ、將來
 文部省ハ、下ハ小學校ヨリ上ハ大學ニ至ル
 マデ、又學校外ノ教育、家庭ニ於テモ、社
 會教育ニ於テモ、此ノ科學ヲ振興シテ、科
 學教育ヲ基礎トシテ、アナタノ仰シヤル日
 本精神ヲ一貫セシメテ之ヲ振興スルト云フ
 コトニシテ實ハナケレバナラヌ、隨テ之ニ
 對スル施設、此ノ施設ニ伴フ經費ナドモ、
 豫算ヲ見ルト實際情ナヤウデスカラ、此
 ノ點ニ重點ヲ置イテ將來ノ文部省ノ方針ヲ
 確立シテ戴キタイト思ヒマスガ、私ハ聊カ
 時代ニ慨スル所アツテ此ノ言葉ヲ以テ文部
 省ノ當局者、特ニ松浦君ニハ深甚ナル御
 注意ヲ拂ツテ戴キタイト云フコトヲ御願シ
 マス、何モ大學征伐バカリヤルコトガ仕事
 デハアリマセウ、アンナコトハ詰ラナイカ

盟テ實施シテ其ノ趣旨ヲ達成スルコトヲ目的トスル執行機關デアルト、ハツキリ分

ガ、其ノ間ノ連絡協調ト云フモノガ十分ニ行キ兼ねルコトガアレバ、ソレハ相當其ノ

テ居ル人間ガ二ツニ集レバ各ノ意見ガ違フコトハ是ハ當然ノ事ダ、國民精神總動員

ニ實行ニ掛カルト云フコトニヤツテ行カナケレバ徹底セズ、唯機構ヲ變ヘルト云フコ

ルヤウデアリマスカラ、先ツ誰シモ考ヘル、サウ云フコトヲヤツテ居ラソデハヤレル譯

云フ中ニ「物資ノ愛用」下云フ項目ガ一ツアルノデアリマス、ソコデ物ヲ大切ニスル

シマセズ、自ラ實行シテ居リマス、サウ云フコトハ教化運動ダケデハイカス、ピント

ノ中ノ一ツニ、「早起動行」ト云フコトガ決メラレテ居リマス、私ハ是ハ又別ノ機會ニ

頃限が惡イト云フノデ後兵検査デ不合格ニナル者ガ千人中六七十人アル、是ハ國民保健ノ上カラ見テモ、朝ノ日光ヲ有ニ使フト云フコトハ非常ニ必要ナコトデアアル、文部大臣ハ人格ノ點カラモ謹嚴ナ立派ナ方デ、文教ノ長官トシテハ、立派ナ方デアアルト尊敬シテ居リマスケレドモ、精勵運動ヲ司ルニハモウ少シ熱ヲ持ツテオヤリニナルコトガ必要ダト思フ、ナンダカ顧問ト問答シテ居ルヤウデ洵ニ頼リナイ(笑聲)是ハドウカモウ少シ眞劍ニヤツテ責ヒタイ、サウシテ此ノ運動ヲ展開スルニ付テ一ツ考ヘテ貴ハナケレバナラスコトハ、役人ガ之ヲ指導シテ居ラレドデアリマスガ、其ノ役人モ相當年數ヲ經テ世ノ中ノ苦勞ヲシタ人ニナリマス、非常識ナコトハ致シマスケレドモ、地方ヘ行クト、マダ大學ヲ出テ間ノナイ役人ノ指導ニ依ツテ隨分非常識ナコトガ行ハレテ居ルデアリマス、或所デハ勸勞奉仕ダト云ツテ御官ノ掃除ヲシタ、サウシテ火ヲ付ケテ燒イテシマツタ、官ノ森ノ木ノ葉ト云フモノハ、アレガ肥料ニナツテアリマス、其ノ木ノ葉ヲスツカリ燒イテ神社ノ掃除、勸勞奉仕ダト云ツテ役人ガ之ヲ指導スル、ソレカラ又農村ヘ行ツテ、ラヂオノ體操ヲ獎勵スルト云フコトヲ聞イテ居タノデアリマス、私ハマサカハ本當チヤアルマイト思ツテ居ツタ、所ガ精勵ノ委員會ニ於テ有力ナル幹事ガ、私ハ名ハ一寸申シマスケレドモ、眞劍ニソレヲ論議サレタ、農村デ「ラヂオ」體操ヲヤラナクチャイカス、其ノ前ニ社會組織カラ經濟機構カラ滔々ト論ゼラレマスカラ、其ノ議論ニ私ハ

忙シイノニ、縣廳ノ役人ガオ出デニナルト云フノニ、人ノ集マリガ惡イト、其處ノ有力者ノ類ニカカレカカテ無理ニ持出サレテ義理ヲ出テ來ル、ソコデ麥畑ニ肥料モヤラナケレバナラス、昨ノ草取りモシナケレバナラヌト考ヘナガラ、肥イテ居ルカラ聽イテ居タツテ氣ガ衰デナイ、サウ云フ人ニ其處カラ二十里モ隔ツタ所ノ河川改修ノ講義ヲシテ見タツテ、何ノ役ニモ立タヌ、サウ云フヤウナコトガ如何ニモ地方デハ無常識ノコトガ行ハレテ居ル、デアリマスカラサウ云フ馬鹿々々シイコトノナイヤウニ、實際ノ事情ニ即スルヤウナ運動ニシナケレバナラス、サウシテ私ハ此ノ運動ニハ現在アル所ノ諸機關ヲ出來ルダケ利用スルト云フコトガ必要デハナイカト思フ、即チ宗教ノ御説教、其ノ御説教ノ中ニ精神總動員ノ項目ヲ説クトカ、或ハ政黨ノ演説會ニモ之ヲ使フ、或ハソレニ人ヲ集メルノデハナシニ、集ツタ或ル機會ヲ利用シテ之ヲ國民ノ耳ニ入レルト云フコトガ必要アル、ソレカラ有力ナル新聞雜誌ヲモット利用シナケレバナラス、新聞雜誌ノ記事ノ間ニソレヲチョウ／＼ト書イテ貫フコトガ、ドノ位有效ダカ分ラナイ、此ノ精勵運動ハ中央ニ聯盟ト云フ大キナ機關ガアツテ、其ノ機關デ何モ彼モヤラナケレバナラス、是ハ豫算ノ金ヲ使フダケノ問題チヤナイ、ソレハドノ位人間ガ不經濟ダカ知レヌ、又ソレガ爲ニ深山ノ印刷物ガ出テ、印刷ノ紙ダツテドノ位不經濟ニナルカ分ラヌ、私ハ之ヲモット有效ニ經濟的ニ使フテ行クト云フコトガ、精勵運動ノ根本チヤナイカト思ヒマスガ、如何デアリマス

省デヤツテ居リマスノハ、是ハ又各省ノ分野ニ於キマシテ、大體ノコトハ中央ノ委員會ナリ、中央聯盟デ民間團體ノ活動ヲ促スト云フコトヲヤツテ居ルデアリマスガ、各省ハ各省ノ分野ニ於テ、文部省ハ文部省トシテ働キ掛ケル仕事ガアルデアリマスカラ、是ハ五ニ其ノ分野ニ於テ必要ナル精神總動員運動ヲヤル、斯ウ云フコトデアリマシテ、兩者各、並行シテ參ル、斯ウ云フ關係ニナツテ居ルデアリマス

活動致スノデアリマスガ、尙ホ又政府各廳ニ於キマシテ政府方面ノ設施ガ之ニ相伴ツテ行ハナケレバナリマセヌノデ、政府方面ニ於テ行フベキ豫算ガ多少計上致サレテ居リマス、其ノ中デ、御指撥ニナリマシタウニ、其ノ一部分ガ内務省ニ計上致サレテ居ラス、内務省ノコトヲ私ガ申上ゲマスノハ、餘計ナコトデゴイマスガ、一寸ハ精勵運動ノ點ガゴイマスノデ、私カラ一言御説明ヲ申上ゲマス、内務省ノ方ニ計上致サレテ居リマスノハ地方廳ニ於キマス所ノ官吏ノ費用デアリマス、主ト致シマシテ地方廳ノ官吏ガ精神總動員ニ關シマシテ出張致シマスル費用、又地方廳ニ地方長官ガ諮問機關トシテ付設シテアリマスル所ノ地方實行委員會ト云フモノ、之ニ關シマスル經費ガ内務省所管ニ計上致サレテ居リマス、御承知ノ通り地方廳ニ關シマスル經費ハ本來カラ申シマスルト、地方廳費ト云フテ下ニ大體内務省所管ニ計上致サレテ居リマスノデ、謂ハバソレニ關シマスルヤウナ事項ト致シマシテ、臨時部ノ方ニ地方廳ガ使用致シマスル所ノ、地方廳ノ本來ノ組織上ノ意味デ使用致シマスル經費ガ内務省所管ニ計上致サレテ居ルノデス、一面又文部省ノ方ニ、只今御話ノアリマシタヤウニ、四十七万圓程計上致シテアリマスガ、此ノ中約二十七万圓程ハ地方廳デ使ヒマス、地方廳デ使ヒマスルモノハ是ハ只今申シマシタ組織ノ方面デハアリマセヌデ、地方廳ガ運動ノ實際ニ用ヒマスル、例ヘバ「ボスター」ヲ作りマスルカ或ハ講演會ヲ致シマシタカ、或ハ講習ヲ致シマスルカ云フ風ニ、官吏ノ謂ハバ其ノ身分ニ伴ヒマスル經費デハアリマセヌデ、主トシテ運動ノ實際方面ニ關シマシテ使ヒマスル經費ガ文部省所管ニ計上シテ居ルデアリマス、其ノ外文部省デ直接ニ使用致シマスル經費ト致シマシテ約二十万圓アリマスガ、是ハ文部省デ精神總動員ノ教化的方面ニ於キマス各種ノ講習會モ開キマスシ、又印刷物モ作リマスシ、又映畫ヲ作りマシテ各地方ニ頒布致シテ居リマス、ソレ等ノ經費ト致シマシテ文部省デ使用致シマスノガ二十万圓、大體チウ云フヤウナコトニ此ノ經費ハナツテ居ルデアリマシテ、各省ニ少シグツ分屬シテ居ルヤウデアリマスケレドモ、是ハ各省ノソレ／＼ノ所管ニ應ジマシテ此ノヤウニ分ツテ計上致シマシタヤウナ次第デアリマス

シマシテモ縣廳所在地トカ、極力重要ナ地ニ限リテアリマス。ソレダケハ中々運動モ徹底致シマセヌ。地方廳ニ於キマシテ又地方廳獨自ノ立場ニ於キマシテソレノ講演會等ヲ開催致シマス。場合モアリマス。其ノ費用モ取ツテ居ル。ゴザイマス。地方廳モ同シ人ニ支拂ヒ、又中央聯盟モ同シヤウニ支拂フ。場合ニ依リマシテハ何カ項目ヲ分ケマシテ拂フコトガアルカモ知レマセヌ。ケレドモ同シヤウナコトニ重複シテ兩方ガ二重ニ支拂フテ居ルコト云フヤウナコトハナイコト考ヘマス。或ハ例ヘバ一部分ノ經費ヲ中央聯盟ガ持チ、一部分ノモノヲ地方廳ガ持ツ。斯ウ云フヤウナコトハアリ得ルカモ知レマセヌ。全ク同シヤウナモノニ對シマシテ兩方カラ二重ニ支拂フテ居ル。講師トシテハ二重ニ報酬ヲ受ケテ居ルコト云フコトハナイコト私ハ考ヘマス。

○田村委員 是ハ御注意マデニ申上ゲマス。中央聯盟カラ旅費、宿泊料ガ地方廳カラ委嘱セラレタ講師ニ對シテ拂ハレテ居ル。ソレニ地方廳ヘ參リマス。文部省カラ充ガハレタ所ノ費用ニ依ツテ宿賃又拂ツテ居ル。結局二重ニナルコト云フ事例ハ一々舉ゲマセヌガ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ、今後サウ云フコトニ對シテハ御注意ヲ申上ゲテ置キマス。ソレカラ先程文部大臣カラ御答ガアリマセヌデシタガ、サウ致シマス。中央聯盟ニ對シテ企業ヲ與ヘル。國民精神總動員運動ノ企業ヲスルダケガ内閣總理大臣ノ管理ニ屬シテ居ル。所謂國民精神總動員委員會ノ仕事ハ企業ヲシテ、其ノ企業ヲ中央聯盟ニ授ケルダケノ仕事デアリマス。

○田中政府委員 此ノ問題ハ私カラ御答申上ゲルノハ多少筋違ヒデアリマスケレドモ、私カラ一應申上ゲマス。内閣ニ設置サレマシタ總動員委員會ハ、官制ニアリマス。ヤウニ國民精神總動員ニ關スル企業ヲ定メルノデアリマシテ、其ノ企業ハ必ズシモ中央聯盟ニ於テ行フベキコトダケヲ致スノデアリマセヌ。官民各方面ニ於テ行ヒマスコト、政府方面ニ於テ行フヲ適當ト致シマス。コトモ、内閣總理大臣ノ管理ニ屬シマス。此ノ委員會ニ於キマシテ種々審議シテ居ル次第デアリマス。隨ヒマシテ内閣ニ設ケラレマシタト云フ譯デハナイノデアリマシテ、モウ少シ廣汎ナ分野ヲ持ツタモノト私ハ諒解致シマス。

○田村委員 大體分リマシタガ、サウ致シマス。兎モ角モ文部大臣ガ委員長ヲシテ居ラレ、サウシテ企業ヲ定メル。其ノ企業ニ基イテ中央聯盟モ活動シナケレバナラヌ。指導方針モ授ケル。之ニ對シテハ文部省所管デアリマセヌガ、内閣カラ出ルシテ補助金ガ百萬圓、別ニ貯蓄獎勵金ガ二萬圓、合計二百萬圓ト云フ補助金ガ國家カラ出テ居ル。此ノ運動ノ方針ト企業ヲ授ケル委員會ニ文部大臣ガ坐ツテ居ラレ、然ルニ其ノ民間團體タル中央聯盟ノ行動ガ政府ノ國民精神總動員ノ目的ニ合ハヌト云フコトニナツテ來マシタ場合、委員長ヲ兼ネテ居ラレレ文部大臣ガ全然此ノ監督權モナシ、之ニ對シテ適當ナル處置ヲ執ルコトモ出來ヌト吾々受取ラナケレバナラナイノデアリマス。如何デスカ。

○松浦國務大臣 我ガ申シマシタノハ、所謂官制上ノ監督權ハ斯ウ云フヤウナモノトハナイト申シマシタノデ、實際ニ於キマシ

テハ兩者ハ常ニ連絡ヲシ、意思ノ疏通ヲ圖ツテ參ルノデアリマス。其ノ間ニマルデ兩方違ツタコトヲアルコトハ實際ニ於テハ起ラナイノデアリマス。其ノ間ノ運用ニ別ニ支障ヲ生ズルコトハナイト考ヘマス。

○田村委員 大ナル支障ガ事實ニ於テ起ツテ居リマス。國民精神總動員委員會ノ行動ニ對シテハ、是ハ費用モ大シテ使ツテ居リマセヌ。世間ハサウ大シテ非難モシテ居ナイ。委員會ノ構成ハ民間ノ代表者ガ多數入ツテ居ル。之ヲドウスルカト云フコトデハナイ。其ノ手足デアリ、實行團體デアアル中央聯盟ノヤリ方ガ觀念的ニモ非常ナ間違ヒヲシテ居ル。而モ行動的ニモ非常ニ排他的デアル。茲ニ非常ナ問題ガアルノデアリマス。而モ國家カラ二百萬圓——二萬圓ハ別デスガ、百萬圓ト云フ補助金ガ出テ居ルニ拘ラズ相互諒解ノ上ニ連絡ヲ取ツテヤウテ行クコト云フコトハ、吾々ハ間流ス譯ニハ行カヌ。國家ガ補助金ヲ與ヘテ居ル行動團體ガ勝手ナコトヲシテモ濟ムカ、今國民精神總動員ハ時局ガ重大ナルニ從ツテ必要ヲ痛感シテ居ル。其ノ爲ニ實際行動ヲ取レト云ツテ百萬圓ノ金ヲ與ヘラレテ、而モ自分ノ金ハ一厘モナイ。國家カラ與ヘラレタ補助金ダケデ生キテ居ル中央聯盟ガ、間違ツタ行動ナリ。間違ツタ考ヘ方ヲシテ居ルノヲ、政府ハ放ツテ置キマス。政治的責任ハ内閣總理大臣ニアルト云フカラ、私ハ此ノ問題ノ改組問題、今後ノ方針ニ付テマシタノデアリマス。未ダ答辯ヲ貰ツテ居リマセヌガ、質シテハアリマス。國務大臣デアリ文部大臣デアリ、現ニ國民精神總動員ノ委員長ヲシテ居ラレレ文部大臣ガ此ノ中央聯盟ノ内容、其ノ行動ニ對シテ積極的ノ監督權ヲ持チテナルカドウカ、又法制上ハ別トシテ、アナタガ今日ノ此ノ重大ナル時局ヲ擔任シテ居ラレレ國務大臣トシテ、假ニ中央聯盟ガダラシナイトスレバ、ソレニ對スル改組問題ガ現在内部カラ起ツテ居ルノデス。内部カラ改組問題ガ起ルト云フコトハ、是ハ去年モ起キテ居ルツタガ、議會ガ済ムト又變ナコトヲヤツテ居ルノデス。其ノ事ハ又後程申上ゲマスガ、此ノ點ニ對スルハツキリシタコトヲ、政治的デモ宜シイ、刻下ノ重要問題デアリマス。文部大臣デアレケナケレバ國務大臣トシテ明確ニ御示ヲ願ヒタイ。

○松浦國務大臣 我ノ先申シマシタコトガ或ハ言葉ガ不十分デ十分御諒解ヲ得ナカッタノデアリカト思ヒマス。中央聯盟ノ監督權ト云フモノハ、法制的ニ申シマスレバハ總理大臣ノ監督ニ屬シテ居ルノデアリマシテ、マルデ政府ノ監督ヲ一ツモ受ケナイト云フノデアリマシテ、委員長其ノモノ私ガ先申シマシタノハ、委員長其ノモノトシテハ中央聯盟ニ對スル監督權ヲ持ツテ居ラスノデアリマスケレドモ、併シ實際ニ於キマシテハ、其ノ間ニ立ツテ中央聯盟ヲシテ其ノ方向ヲ誤ラシメナイヤウニ致ス。サウ云フ實際ノ働キハ致スノデアリマスガ、法制的ノ監督權ハ内閣總理大臣ニアル。斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス。

○田村委員 ソレデハ御註文ヲ申上ゲタイ。今改組問題ガ起キテ居リマスガ、此ノ改組モ總動員運動ノ趣旨ニ副ウテ其ノ效果ヲ上ゲ得ルヤウニ委員長トシテ之ヲ監督シ、若クハ指導サレレ、サウ云フ方針ヲ授ケテ裁カナケレバナラヌト思フノデアリマス。承ル所ニ依リマス。是ハ先程私ガ大藏省所管ノ分

科會ニ於テ主計局長ニ中央聯盟ニ關スル豫算編成ノ内容ヲ承リ、更ニ法制局ノ方ニ出テ裁イテ法制上ノ監督權ノ關係ヲ承ツテ置キマシタ。サウシテ總理大臣ニ對スル質問ヲ保留シテ此ノ分科會ニ臨ンダノデアリマセヌガ、私ノ承ル所ニ依ルト、既ニ中央聯盟ハ補助金ニ對スル追加豫算ヲ要求シテ居ル。即チ今ハ百萬圓デアリマスガ、ソレヲ八百九十萬圓ト云フ金ノ要求ヲシヨウトスル。其ノ要求ノ肚ヲ私ガ推測致シマス。此ノ推測ハ各方面ノ情報ヲ蒐集シテ得タ歸納的推測デアリマスガ、中央聯盟ハ其ノ發生ノ過程ニ於テ自家獨善ニ陥ツテ、滿洲ニ於ケル協和會ノヤウナ考ヲ持ツテ國民ノ支配權、國民ノ指導權ハ自分自ラガ扱フ。國家カラ金ヲ貰ツテ扱フ。而シテ一方ニ於テ排他的デアル。私共ガ政黨ノコトヲ言フト自家ノ爲ニ言フヤウニ聽エルカモ知レマセヌガ、政黨トハ何ゾヤ、國民ノ代表デアリマス。其ノ國民代表ヲ外ニ置イテ國民ノ精神ガ張スルナント云フコトヲ考ヘルノガ抑、間違ツテ居ル。緣故ガナイモノデス。私ハ德島縣ノ出身デアリマスガ、私ガ德島縣ニ行ツテ時局ヲ論ズレバ皆喜ンデ聽キマス。吾等ノ田村ト云フテ聽キニ來マス。ソレハ攻撃スル者ハアリマスガ、私ヲ愛スルガ故ニ攻撃スル。兎モ角聽イテ與レル。國民精神總動員中央聯盟カラ講師ガ派遣セラレテ、ヤレ紋付ヲ著テ來イ、或ハ「モーニング」ヲ著テ來イト云ハレテ行ク。ズラリト大勢ガ並ンデ居ツタ所デ、アノ人ハ何ト云フ人ダカ名前モ知ラナイ。攻撃ハ無論シヤマセヌ。攻撃シタラドナコトニナルカ分ラナイ。ドナニ怒ラレレカト思フカラ黙ツテ居リマス。併シ黙ツテ居眠リヲシテ居ル。是デ

精神總動員ガ出來マス。國民ガ吾等起ルト云フ自發的精神ニ動イテコロ、ソコニ時局ノ認識ガ手傳ツテ、ソコデ初メテ國民精神ノ緊張ト云フモノガアリ、總動員ト云フモノガアル。ソレデナケレバナラヌ。然ルニ國民ニ緣故ノナイ者ガ國民代表デアアル政黨ヲ排斥スル。全ク排他的ダ、私ハ中央聯盟ノ役員トモ色々交渉シテ見タコトガアルノデスガ、彼等ノ觀念ト云フモノハ、全ク自家獨善デアル。自分一人ガ威張ツテ居ル。斯ウ云フ者ガ國家カラ百萬圓ノ補助金ヲ貰ツテ滿洲ノ協和會ノ眞似事見タイナコトヲシテ、國民ハ自分ガ支配スル。政黨ハ排斥スルト云フ。所ガ國民ノ代表トシテハ第一ニ代議士ガ居ル。衆議院議員ガ居ルノデアル。府縣ニ行ケバ府縣會議員ガ居ル。町村ニハ町村會議員ガ居ル。是ガ直接ノ國民ノ代表者デアル。其ノ他ニ職能的ノ産業組合デアルトカ、農會デアルトカ、色々ゴザイマスケレドモ、實際ハ政治的ニ動クモノニハ町村會議員ガ居ル。縣會議員ガ居ル。國民代表タル衆議院議員ガ居ル。之ニ働キ掛ケテ然ルベキデアル。吾々ハ政府カラヤツテ與レト云フテ協力ヲ頼マレルナドト云フコトハ言ハナイ。一錢モ要ラナイ。國民精神總動員ヲ頼ムト政府カラ言ハレバ「吾々ハ言ハレナクテモヤツテ居ルガ、町村會議員、縣會議員、衆議院議員、是等ガ協力シテ手足トナツテ働タ、國民ハ黙ツテ居ツテモ協力シヨウト云フ氣分ガ湧イテ來ル。此ノ組織ヲ採ラズシテ國民精神總動員ヲヤラウト云フヤウナコトハ、而モ自分ガ國民代表ニ代ツテ偉サウナ顔ヲシテ、滿洲ノ協和會ノ眞似事ヲ

スルト云フヤウナコトハ憎越極マル。何處カラ出テ來タカ分ラナイヤウナ連中ガ集ツテ、サウシテ國民精神中央聯盟ヲ組織シテ、國民精神總動員ヲ支配シテヤラウト云フコトハ、是ハ根本的ニ考ガ誤リデアル。日本ノ立憲政治ノ本質ヲ忘レ、所謂一君萬民ノ本體ヲ忘レテ居ル。君民一如デナケレバ此ノ非常時局ヲ打開出來ルモノデハナイ。官僚獨善ト云ハレルガ、此處ニモ官吏ノ方々ガ居ラレレガ、アナタ方ノ參考ノ爲ニ申上ゲテ置ク。今國民精神總動員ノ中央聯盟ガアルガ官吏ノ古手ガ澤山集ツテ居ル。サウシテ旅費ヲ取ツテ居ルガ、チツトモ效果ガナイ。是ハ發生的ニ言ヘバ選舉權正聯盟ノ流れヲ汲ンデ居ル。サウシテ初メカラ國民代表ヲ排斥シ、政黨ヲ排斥シ、國民ヲ指導シヨウトシテ居ル。チヤンチヤラカシイ、チヤンチヤラカシイト云フト言葉ガヲカシイガ、僥倖ニ極デアル。斯ウ云フモノニ總動員委員會委員長ノアナタガ連絡ヲ取ツテ、此ノ重大ナ時局ヲ乗切ラネバナラヌ。支那事變ガ起キテカラ四年ヲ經過シテ居ル今日ニ於テ、國民ニ時局ノ認識ヲ與ヘ、國民精神總動員ヲ自發的ニ起サセルト云フ確信ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ、若シイケナイトスレバ、斯ウ云フ中央聯盟ヲ改組スルガ宜イ。去年モ改組スルト云フガ、一歩ヲ讓ツテ之ヲ承認シタ。承認スル時ニ改組スルト云フツ、所ガ議會ガ濟ンデ改組ノ状態ヲ見テミマス。民政黨、政友會カラ僅カ二人ツツ理事ガ出テ居ツタ。ソレヲ改組シテ理事ヲ一人ツツニシテシマツタ。サウシテ一週ニ一回ツツヤツテ居ツタ理事會ヲ月一回ニシタ。而モ其ノ理事會ノ

中カラ常任ヲ選ンデ居ルガ、其ノ常任ニハ國民代表タル政黨カラ一人モ入ラナイ。サウシテ其ノ常任ノミハ一週一回會合ヲヤツテ居ル。是ハ改組デハナクシテ改選デアル。之ヲ以テ今日ノ議會ニ臨マントスル前カラ精神總動員中央聯盟ハ改組スルト云フテ居ルガ、此ノ監督權ノ所在ヲ吾々ハ明ニスルコトガ出來ナイト云フヤウナコトデハ、政府ノ國民精神總動員ノ方針ニ吾々ハ贊成シテモ、其ノヤリ方ガイケナイカラ、此ノ百萬圓ハ承認罷リナラヌト云フ聲ガ湧イテ來ルノハ當然デアルト申サナケレバナラヌ。政治的ニ申シテ見マス。若シ今申上ゲタヤウナ中央聯盟ノ組織内容デアリ、サウ云フ誤ツタ、偏重シタ所ノ、所謂排他的思想ヲ持ツタ所ノ者ガ果食ツテ居ツテハ困ル。モウ少シ普遍的ニ國民ト共ニ一君萬民ノ國體ニ即シ、君民一體トナツテ非常時局ヲ打開スルト云フ意味カラ建直シヨシナケレバナラヌ。斯ウ云フ場合ニ立ツテ居ルト思フ。此ノ點ニ對スル文部大臣ノハツキリシタ覺悟ヲ私ハ承ツテ置キタイノデアリマス。

○松浦國務大臣 此ノ中央聯盟ガ排他的デアルト云フヤウナ御主張デアリマス。其ノ點ニ付キマシテハ政府ト致シマシテ十分ニ考ヘマシテ、所謂官民一致、舉國一致ト云フ趣旨ガ徹底致シマスヤウニ、此ノ機構ノ點ニ付キマシテモ眞劍ニ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス。

○田村委員 ドウモハツキリシタ満足スル御答辯ヲ得ルコトヲ得ズ、遺憾デアリマスガ、私ノ意見ヲ申上ゲテ置キマス。アレハ改組シテモ駄目デス。去年モヤツタガ只今申上ゲタヤウナ状態デアル。今度改組シ

○田村委員 今ノ精神ヲ承ツテ居ルノデアリマス

○松浦國務大臣 別ニ御答辯申上ゲマセヌデモ、私ガ先刻申上ゲマシタ通りデアリマシテ、今勅令事項ニアルコトヲ此ノ際改メルト云フ考ハ、私トシテハ持ツテ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○田村委員 マダ後ニモアリマスガ、是デ打切りマス、唯希望トシテ教育制度、後ハ意見ノ相違ニナリマスカラ、サウ云フ國民ノ要望ノアリマスルコトヲ強ク私ハ希望致シマシテ質問ヲ打切りマス

○平川主査 松本君

○松本委員 此ノ間豫算總會デ安藤君ガ東方學或ハ東洋學ト云フヤウナモノヲ御提唱ニナツテ、文部大臣ハ東方學ト仰シヤツタカ東洋學ト仰シヤツタカ知リマセヌケレドモ、之ヲ打立テルコトニ賛成ダト云フ御意見ヲ御表明ニナツタノデアリマス、東方學トカ東洋學ト云フコトハ、デヤナリズムデハ申シテ居リマスケレドモ、私ハ一國ノ文教ノ府ニ居ル文部大臣カラ承ツタコトハ初メテアル、ソレハ實ハ私ガ知ラナイノカト思ツテ辭典ナドヲ彼此レ引張ツテ見タノデアリマスガ、何モナイヤウデアリマス、文部大臣ハ賛成ダト仰シヤルカラ文部大臣ノ仰シヤル所ノ東方學、東洋學ト云フモノハ一體ドウ云フ内容ヲ持ツテ居ラツシヤルノカ、ソレヲ一ツ御示シテ願ヒタイノデアリマス

○松浦國務大臣 先達テ總會ノ席ニ於テ安藤君ノ御質問ニ對シマシテ、私ガ御答申上ゲマシタ言葉ノ中ニ、或ハ東洋學トカ、東方學トカ言フ言葉ガアリマシタガ、ソレ

○田村委員 ドウモ考慮、研究、調査ト云フヤウナコトバカリ仰シヤツテ居ルノデスガ、改組ノ必要ハ蓋々トシテ天下ノ議論ニナツテ居ル、改組ノ必要ヲ認メルカ、而モ改組スルニ付テハ今ノヤウナコトデハ政府ガ之ヲ改組サセルト云フヨリモ、向フガ改組シヨウト云フテ居ルガ、ソレデ其ノ當場ヲ胡麻化シテ居ル、若シ改組スル必要ガアルトシテ改組シテモ皆々行カナケレバ之ヲ解消シテ、御破算シテ、新ナル建直シヨウラナケレバ、百万圓ノ補助金ガ無駄ニナリマス、精神總動員ト云フ目的ヲ持ツテ居ル

ノデスカラ、其ノ點モウ少シ突進シダアナタノ覺悟ヲハツキリ伺ツテ置キタイ、政治的責任ヲ追究シヨウト云フノデハナイ、アナタノ覺悟、方針ヲハツキリ承ツテ置キマス

○松浦國務大臣 十分ノ覺悟ヲ持ツテ將處致シマス

○田村委員 モウ此ノ問題ハ是デ打切ツテ、アト一ツ承リタイ、ソレハ總會ニ於テ文部大臣ハ八紘一字ト云フ教育ノ根本方針ヲ御説明ニナツタ、私ハ正ニサウナクチヤナラヌト思フ、所ガ我國ノ教育制度ト云フモノハ總テ勅令ニ依ツテ居ル、教育制度ノ改組ハ法規ノ制定、總テ從來大學カラ小學校ニ至ルマデ勅令ニ依ツテ居ル、アナタハ蓋々ニ樞密顧問官ヲナサツテ居ラツタガ、教育制度ニ對スル制定並ニ改組ハ大小悉ク學ガテ勅令ニ依ツテ居ルノデアリマス、所ガ我國ノ國體ハ先程カラ申上ゲルヤウニ君民一體デアリマス、民ノ心ハ即チ朕ガ心ナリト宣ハセラレテ居ル、此ノ國民ニ對シテ國體ノ眞義ヲ理解セシメ、サウシテ教育ト云フモノハ國民ニ國家精神ヲ涵養セシムルコトヲ先ツ第一義トシナケレバナラス、八紘一字ノ精神ハ神武創業ノ根本精神、肇國ノ大精神デアリ、之ヲ國民ニ植付ケルコトガ即チ教育ノ根本目的デアレバナラス、其ノ教育制度ヲ拵ヘルノニ國民ガ之ニ參加シナイ、法規ノ改廢、制定悉ク勅令ニ依ツテ、樞密顧問官ノ諮詢ニ應ジテ居ル、是ハ建直サナケレバイカス、今世紀元二千六百年、教育制度ノ上ニモ一大變革ヲ爲スベキ所ノ劃期的機會ニ際シテ居ルモノト思フノデアリマス、ソコデ教育制度ヲ今マデノヤウニ勅令ニ依ルヤウナ方法ヲ改メテ、全部法

律ニ直ス、法律ニ直スト云フコト、憲法政治ノ下ニ於テ國民ガ參與シテ教育ノ制度、教育ノ方針ヲ決メルコトデアル、斯ウ云フコトヲ全部國民ト相談シテ、國民ト共ニヤツテ行クト云フコトニナツテ來レバ、制度ヲ拵ヘテモ國民ガ協力スルノデスカラ期セズシテ國體ノ本義モ、八紘一字ノ精神モ徹底シテ、之ヲ國民ニ植付ケルニ極メテ適切デアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ私ハ紀元二千六百年期シテ文部大臣タルアナタニ一ツ劃期的ノ改革方針ヲ執ツテ戴キタイト思フノデアリマスガ、從來ノ勅令ニ依ルヤウナハ私ハ誤ツテ居ルト思フ、之ヲ法律ニ建直サナケレバナラスト思ヒマスガ、御所見ハ如何デアリマスカ

○松浦國務大臣 教育制度ニ關シマスルコトハ總テ勅令事項ト致シマシテ、法律ニ依ラズニ規定ヲ致スト云フコトニ付キマシテハ、是ハ明治二十三年デアリマシタカ、小學校令ガ出來マシタ以來ズツト沿革ヲ經テ今日マデ參ツテ居ルノデアリマシテ、之ニ付テ今之ヲ法律ヲ規定スルヤウニシヨウト云フ考ハ別ニ持ツテ居リマセヌ

○田村委員 サウシマス、教育制度ニ關スル國民的ノ參與、國民的ニ協力セシムル、斯ウ云フ考ヘ方ニ付テハ如何デアリマスカ

○松浦國務大臣 教育ノ根本方針ト云フモノガ皇道ノ精神、肇國ノ精神、肇國ノ大理想、之ヲ體シテヤツテ行カナケレバナラスト云フコトハ申スマデモナイノデアリマシテ、其ノ點ニ於テハ何人モ異論アル筈ハナク、アルベカラザルコトデアリマシテ、是ハ申スマデモナイコトデアリマスガ、サウ云フ意味ニ於キマシテ教育制度ニ關スルコトガ勅令事項トナツテ居リマシテモ、其

ノ點ハモウ影響スル所ハナイノデアリマシテ、其ノ教育ノ根本方針、即チ皇道精神、皇國ノ道ニ歸一スルト云フ事柄ニ付テハモウ定ツテ居ルノデアリマスカラ、是ガ教育制度ニ關スルコトガ勅令事項トナツテ居リマシテモ、ソレガ爲ニサウ云フ點ニ支障ヲ來スコトハナカラウト考ヘテ居ル次第デアリマス

○田村委員 其ノ由支ナル皇道精神ノコトハ能ク了承シマシタ、併シナガラ實際ノ教育制度、惜テ大學ヲドウ改メルカ、專門學校ヲドウスルカ、中學校ヲドウスルカ、教育審議會トカ何トカ云フモノガアリマス、是ハ文部省ニ拵ヘテ居ルガ、ソレヨリモ之ヲ廣クシテ、アナタガ總會デ仰シヤツタ八紘一字、此ノ皇國ノ皇道精神、肇國ノ大精神、是ハ一君萬民デアリ、君民一如デアリマス、ソコデ其ノ精神ヲ以テ實際的ニ大學ヲドウスルカ、中學校ヲドウスルカ、專門學校ヲドウスルカ、實業教育ヲドウスルカ、小學校ヲドウスルカ、具體的ニ國民ニ相談シテ、國民ト共ニヤルト云フ此ノ參畫方法、此ノ具體的方法ガ善イカ惡イカ、私ハ勅令ニシタノハアレハ開通ツテ居ルト思フ、併シ今マデノコトハ仕方ガナイトシテモ、今後ハ八紘一字ノ精神、肇國ノ精神ヲ國民ニ植込ム、國體ノ本義ヲ國民ニ體得セシムル、斯ウ云フ意味カラ制度ノ改廢、法規ノ制定、斯ウ云フコトハ常ニ國民ト共ニヤルト云フコトニ改メルコトガ、今後ノ日本ノ國運恢弘ニ資スル根本的ノ問題デアルト思フノデアリマス、具體的ニ參畫セシムルコトガ善イカ惡イカ、其ノ點ヲ先ツ承リタイ

○平川主査 田村君ソレハ意見ノ相違ニナリマセヌカ、教育制度ノ改正ノ必要ハナイ

ト云フ大臣ノ答辯ナドデスガ……

○田村委員 今ノ精神ヲ承ツテ居ルノデアリマス

○松浦國務大臣 別ニ御答辯申上ゲマセヌデモ、私ガ先刻申上ゲマシタ通りデアリマシテ、今勅令事項ニアルコトヲ此ノ際改メルト云フ考ハ、私トシテハ持ツテ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○田村委員 マダ後ニモアリマスガ、是デ打切りマス、唯希望トシテ教育制度、後ハ意見ノ相違ニナリマスカラ、サウ云フ國民ノ要望ノアリマスルコトヲ強ク私ハ希望致シマシテ質問ヲ打切りマス

○平川主査 松本君

○松本委員 此ノ間豫算總會デ安藤君ガ東方學或ハ東洋學ト云フヤウナモノヲ御提唱ニナツテ、文部大臣ハ東方學ト仰シヤツタカ東洋學ト仰シヤツタカ知リマセヌケレドモ、之ヲ打立テルコトニ賛成ダト云フ御意見ヲ御表明ニナツタノデアリマス、東方學トカ東洋學ト云フコトハ、デヤナリズムデハ申シテ居リマスケレドモ、私ハ一國ノ文教ノ府ニ居ル文部大臣カラ承ツタコトハ初メテアル、ソレハ實ハ私ガ知ラナイノカト思ツテ辭典ナドヲ彼此レ引張ツテ見タノデアリマスガ、何モナイヤウデアリマス、文部大臣ハ賛成ダト仰シヤルカラ文部大臣ノ仰シヤル所ノ東方學、東洋學ト云フモノハ一體ドウ云フ内容ヲ持ツテ居ラツシヤルノカ、ソレヲ一ツ御示シテ願ヒタイノデアリマス

ハ安藤君ガサウ云フ御言葉ヲ御使ヒニナリマシタカラ、ツイ釣込マレテ或ハサウ云フ言葉ヲ使ツタカトモ思ヒマスガ、私ノ申シマス趣旨ハ、アノ私ノ答辯ヲ初メカラ御讀ミ下サレバ御理解ガ願ヘルト思ヒマスガ、從來ハ西洋學ノ模倣ト云フコトデ、ズツト明治維新以來參ツクノデアリマス、是ハ日本ノ文化ヲ進メル上ニ急遽ニ諸外國ノ進歩ニ追付イテ行カウト云フガ爲ニハ、ドウシテモ初メハ模倣ヲシナケレバナラスノデアリマスカラ、模倣時代ガズツト續イタケレドモ、今日ハ最早模倣時代ト云フコトハ過去ツテ、所謂獨創獨見ト云フ時代ニナツテ來タ、即チ總テノ學問ニ付テ獨創的ニ、唯西洋模倣デハナイ、所謂日本精神ニ基イテト申シマスガ、獨創ノ學問、日本ノ國體ノ下ニ於ケル日本固有ノ學問ヲ打立テル、斯ウ云フ時代ニナツテ參ツタ、斯ウ云フ趣旨デ申上ゲタノデアリマシテ、別ニ東洋學、東方學ト云フ固有名稱ニシテ、サウ云フモノヲ作ル、斯ウ云フ意味デ申上ゲタ次第デハナイノデアリマス、要スルニ模倣ニアラズシテ、獨創ノ時代ニモウ到達シテ居ル、學問ニ於テモサウ云フ時代ニナツテ來テ居ルノダ、斯ウ云フ趣意デ申上ゲタニ外ナラスノデアリマス

○松本委員 サウ云フ御説明ナラバソレデ了承シテ置キマス、併シ文部大臣御記憶ト思ヒマスガ、安藤君ノ御質問ノ趣旨ハ支那ヲ日本ガ導イテ行クノニハ、西洋ノ模倣ノ學問ヲ日本ガ切實リヲシテ居ラツタノデアリケナイ、東洋固有ノ東方學、東洋學ト云フヤウナモノヲ打立テナケレバナラス、是ガ日本ノ仕事デアル、之ヲヤツテコソ初メテ支那ヲ率キルコトモ出來ルト云フ御趣意デアツタノデアリ

マス、之ニ文部大臣ハ全幅ノ賛意ヲ表サレタノデアリマス、只今ノヤウナ日本精神ニ基タモノガ東方學デアル、東洋學デアル、斯ウ云フ文部大臣ノ仰セナラバソレハ文部大臣トシテ御見識トシテ承ツテ置キマス、文部大臣ノ御見識ハ日本固有ノ日本精神ニ基タ所ノ學問、是ガ御セラレタ所ノ東方學、東洋學ト云フモノデアリマセウカ、ソレヲ念ノ爲ニ承ツテ置キマス

○松浦國務大臣 東洋學トカ東方學ト云フモノニ付テハ大體ノコトハ、今私ガ申上ゲタ通りデアリマスガ、併シナガラ西洋ノ文明ニ對シマシテ既ニ東洋文明ト云フモノガ是ハ確カニアルノデアリマシテ、其ノ東洋文明ト云フモノガ我國ノ上ニモ採入レラレマシテ、サウシテ日本精神ニ依ツテ、之ヲ醇化シテ、是ガ又日本ノ文化ヲ構成シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ意味カラ申シマスレバ、東洋固有ノ學問ト云フコトガ申セルノデアリマシテ、日本獨創ノ學問、ソレハ即チ東洋精神ト云フコトヲ醇化サレタモノト云フモノモ其ノ中ニ入り得ル譯デアリマスカラ、今私ガ申シマシタ固有ノ學問ト云フ中ニハ、東洋精神ト云フモノハ十分採入レタ、東洋ノ文明ト云フモノヲ採入レタ、サウシテ日本精神ニ依ツテ醇化サレタ學問、斯ウ申シテ其ノ間ニ矛盾ハナイヤウニ考ヘマス

○松本委員 ソレハソレデ宜シウゴザイマスガ、實ハ文部大臣ハ議員ノ質問ニ對シテ、直チニ迎合サレルヤウナ言葉ガアルヤウナ方デハナイト御信申上ゲテ居ルモノデスカラ、ハツキリ東洋學ト仰シヤツタノデスカラ、ソレハハツキリシタ内容ト、定義ヲ御持チデアラウト思ツテ同ツタノデアリマ

スケレドモ、是ハ私モ大變突然同ツタノデアリマスカラ、能ク御考下サツテ、後デ御教ヘテ受ケタイト思ヒマス、モウ一ツ承リタイコトハ、私ハ委員會ニズツト居リマセヌデシタカラ、若シ他ノ方ガ御質問ニナツテ居レバ、速記録ヲ拜見致シマスガ、今年カラ中等學校ノ入學試験ノ制度ヲ考査ト云フコトニ御變ヘニナツタト云フコトデアリマスガ、是ハ私共長野縣デゴザイマスガ、長野縣ノ小學校ノ教員、中等學校ノ教員ハコンナ愚劣ナ制度ハナイト云フコトヲ一人トシテ攻撃シナイ者ハゴザイマセヌ、併シナガラ文部當局ガ英斷ヲ以テ斯ウ云フコトヲオヤリニナルニ付テハ、ソコニ必ズ相當ノ理由ガアラウト思ヒマス、ドウ云フ理由デ、ドウ云フ必要カラ之ヲオヤリニナツタカト云フコトヲ簡潔書デ一ツ此ノ際御示シテ願ヒタイモノデアリマス、私ソレヲ承リマシテ地方ニ歸リマシテ、學校ノ先生ノ言ハレタコトニ對シテ相當受答ヘモシテヤツテ、間違ツテ居レバ、蒙ラ啓イテヤラナケレバナラナイノデスガ、之ヲ一ツ御示シテ願ヒタイノデアリマス

○松浦國務大臣……

○松本委員 政府委員デ結構デアリマス

○松浦國務大臣 ソレチヤ政府委員カラ御答致シマス

○平川主査 只今其ノ方ノ政府委員ガ居ラレマセヌカラ……

○石坂(豊)委員 ソレデハ私ハ極ク簡單ニ……

○平川主査 石坂君

○石坂(豊)委員 極メテ簡單ニ、一寸重要ナコトデスガ、政府ノ答辯ヲ願ヒタイ、大臣ガ居ラレマセヌカラ、大臣ノ御所見ナラ尙

本結構デアリマス、我國ノ此ノ陶磁器ト云フモノハ、國內需要ニ於テ、將又海外ノ商品トシテ非常ナ重要性ヲ持ツテ居ル、又他方工藝品ト致シマシテ時代の製作品ヲ將來ニ遺シ、一種ノ文化ノ代表スルコトニモ相成ルト思フデアリマス、商品トシテハ海外市場ニ於テ非常ナ勢力ヲ占メテ、中南米、熱帯地方ニモ輸出サレルデアリマス、所ガ此ノ學術的研究ニ至ツテハマダ十分ノ機關ガ具ツテ居ラヌヤウニ考ヘラレル、然ルニ愛知縣方面ニ於テ非常ナル發達ヲ致シマシテ、名古屋ニアル高等工業ニ窯業科ヲ入レテ吳レト云フ叫ビガアルデアリマス、本院ニ對シマシテモ請願書ガ出テ居ルデアリマス、實業事務局長ハ直接此ノコトヲ能ク御承知デアリマセウケレドモ、極メテ近キ將來ニ名古屋ノ高等工業ニ窯業科ヲ附設シテ、今ゴザイマス各種ノ國民的要望ヲ満足セシムルヤウニ御取計ヒガ出來ナイダラウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイ

○松浦國務大臣 窯業科ヲ名古屋ノ高等工業學校ニ設置スルコトハ出來ナイカト云フ御質問ノヤウニ拜承致シマシテ、此ノ窯業科ニ關スル專門學校ノ施設ガ必要デアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、現ニ今日京都ノ高等工業學校ニ窯業科ト云フモノガ設ケラレテ居ルデアリマス、名古屋ノ高等工業學校ニハ今日マデ其ノ設ケガアリマセウガ、此ノ名古屋ノ高等工業學校ニハ、非常ニ澤山ノ創立當初カラ段々學科ヲ殖ヤシマシテ、七ツバカリノ學科ヲ置イテ、一校ノ幅トシテハ隨分極端ニ膨脹ヲ致シテ居ルデアリマシテ、今日、此ノ體ノ形直グニ窯業科ト云フモノヲ其ノ上加ヘルト云フコトガ、學校管理ノ上デ可能

デアルカドウデアアルカト云フコトハ、相當ニ考ヘテ見ナケレバナラヌコトデアアルデアリマシテ、今日此ノ體ノ形直グニ窯業科ヲ設ケルト云フコトハ餘程難儀ナコトデアリナイカト思フデアリマス、併シナガラ此ノ窯業科ノ新設ト云フコトニ付テハ、其ノ必要ハ無論感シテ居ル課デアリマスカラ、是ハソレニ伴ツテ專門學校ノ中ニ窯業科ヲ設ケルト云フ意味ニ於テドウ云フ風ニ致シマスカ、能ク一ツ切實ニ考究ヲシテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○石坂(豊)委員 モウ一ツ別途提案サレマシタル地方制度改正及ビ稅制改正案ニ附帶スルコトニ付テハ、是ハ誰カ御聽ニナツテ居レバソレハ結構デアリマスカ、小學校教員ノ俸給ヲ縣費支辨ニサレテ居ルデアリマス、之ニ付テ大臣モ御説明ニナリマシタガ、敢テ意見ヲ申上ゲル課デアリマセウガ、義務教育ノ施設ハ一般ノ校舍ノ施設其ノ他教授員目等ノ施設ハ所屬ノ市町村デアリマスカレドモ、是ハ市町村ガ代ツテヤツテ居ルデアリマシテ、主トシテハ國家ノ義務ヲ以テ支出ヲ致シテ、一部ハ市町村デアリマシテ、即チ國ト市町村ト持寄りニナツテ居ル、ソレヲ今度縣ト云フ頗ル義務教育ニ緣遠イモノニ押付ケテヤウナコトニ相成ツテ居ルデアリマスカ、是ハ唯便宜主義デアリマセウカ、何カ根據ガアツテ、斯様ニナツタデアリマセウカ、敢テ此ノ場合意見ヲ申上ゲル必要ハナイデアリマスカレドモ、義務教育ニ相當ノ關係ノアルコトハ、府縣ニ師範學校ヲ設ケ、其ノ師範學校ガ教授訓練ノ實驗場トシテ附屬小學校ヲ設置シテ居ル、此ノ程度ノモノデ、小學校ノ教育ハ府縣ニ

ハ經營モサセテナカツタ、此ノ方針ヲ一舉ニ打破スルコトニ相成ルノデ、是ハ重大ナル問題ト考ヘマス、吾々ハ別途稅制改革ニ地方制度ヲ審議スル參考ニ、是ハ文部省ノ意見ヲ非常ニ尊重シナケレバナラヌコトデアリマスカラ、教育上ニ付テ極メテ該博ナル經驗ヲ御持チニナツテ居ル現文部大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイ

○松浦國務大臣 市町村立小學校教員ノ俸給ヲ府縣費ノ支辨ト致ス事柄ニ付テ、寧ロ現在ノ如ク市町村ノ負擔ニシテ置クノガ當然デアリナイカ、何故之ヲ府縣費ニスルノデアルカト云フ御等ノ御意見デアツタヤウニ拜承致シタデアリマスカ、今回小學校ノ實ハ今回ノ地方稅制ノ改正ニ隨伴致シマシテ、ドウシテモ當然サウ云フコトガ起ツテ參ルノデアリマシテ、市町村ニ於テハ今度ノ稅制ノ改正ニ依ツテ教員俸給ヲ支辨スルダケノ財源ト云フモノハナクナルデアリマシテ、ソレガ府縣ノ方ニ寧ロ其ノ財源ガ行クコトニナル當然ノ結果ト申シテ宜カラウト思ヒマスガ、ドウシテモ府縣費支辨ニシナイト財政上カラモ今度ノ稅制ニ依ツテ立行カナクナル、斯ウ云フ事柄ノ結果トシテ府縣支辨ト云フコトガ起ツテ參ツタデアリマシテ、是ハ財政上ノ關係デアリマスカ、教育上ノ見地カラ見マシテモ、教員ノ俸給ノコトニ付テハ現在ノ如ク市町村ニ限ツテ置キマス、財政上ノ關係等ニ依ツテ自然市町村ノ經費ニ轉ラレルガ爲ニ、適材ヲ適所ニ置クコトガ、教員ノ異動配置ナド十分ニ適當ニヤルコトガ出來難イ事情モアルノデ、是ガ府縣支辨ニ移ルヲ致シマスカレバ、府縣全體ニ互リマシテ所謂適材適所ノ

意味ニ於テ異動モ配置モ十分ニ爲シ得ルト云フ利益アリマスカ、其ノ他俸給ガ高クナツタガ爲ニ或ル場所ニハ置ケナイト云フヤウナコトデ、自然サウ云フ人ガ或ハ辭メナケレバナラヌト云フヤウナ關係デ、市町村支辨デアリマスト狭イ範圍ノ事柄デアリマスカラサウ云フコトガ起リマスガ、全體ノ府縣ヲ總體ト見テ教員ヲ配置スルコト云フコトニナレバ、サウ云フ比較的財政ニ惠マレナイ町村ニ於キマシテモ、ヤハリ相當立派ナ高イ俸給ヲ出シタ教員モ其ノ位置ニ止マルコトガ出來ルト云フヤウナ關係モアリマスカ、又近年ハ段々減ツテ參ツタヤウデアリマスカ、又近年ハ段々減ツテ參ツタヤウデアリマシテ、是ハ一方地方稅制ノ改正ニ伴フ自然ノ結果ト相成リ、教育ノ上カラ見マシテモ府縣支辨ニスルコトガ適當デアルト云フコトモ考ヘラレルデアリマシテ、サウ云フコトカラ俸給ダケハ府縣支辨ニスルコト云フコトニ致シタデアリマス、併シナガラ小學校ノ設備其ノ他諸給與ト云フモノハ依然トシテ市町村ニ殘ルデアリマスカ、市町村ガ小學校ニ對スル關係ト云フモノハ全然從來トハ變ルト云フコトハナイデアリマシテ、唯教員ノ俸給ダケガサウ云フ財政的ノ關係、其ノ他教育上ニ於テ其ノ方ガ有利デアルト云フ點カラ之ヲ府縣支辨ニ移ス、是ダケニ止マル次第デアリマス、サウ云フ趣意カラ府縣支辨ニ致シタイト云フコトニナツタ次第デアリマス

○石坂(豊)委員 洵ニ詳キト御説明願ヒマシタ、私ハ町村ニ押付ケテ置クベキモノデアルト云フノデアリナイノデス、支拂延滞其ノ他小學校教員ノ優遇上今マデ餘程ノ障礙ガアツタカラ、他ノ上級ノ團體支辨ニ移スコトハ私共ハ洵ニ結構ト思フ、ケレドモ之ヲ府縣ノ支辨ニスルト云フコトハ今マデノ義務教育ノ關係カラ見ルト、是ハ國家ノ仕事デアルカラ、寧ロ國家ノ直接支出ニスルコトガ出來ナカツタカ、私ノ意見ハ差控ヘルト云フコトハソコニアツタ、今承ル所ニ依ルト別ニサウ云フ所ノ根據ハナイノデ、唯教員ヲ全府縣ヲ通ジテハ公平ニ配置セシムル等、人線リノ都合並ニ町村ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトニアリマスカ、同ジク義務教育費ノ半分程ハ國庫デ出シテ居ル、モウアト半分國庫デ出シテ、全部之ヲ國庫支辨ニスルト云フコトガ即チ義務教育ハ國家ノ施設デアルト云フコトノ趣意ニ合致スルモノデアリナイカ、府縣ニ置クト何ダカ便宜主義ニナツテドウモ吾々ハ其ノ點ニ於テ明確ヲ缺クト思フ、今回市町村ノ地方制度ヲ審議スル上ニ於テ吾々ハ非常ニ其ノ點ニ議論ガアル、教育上一ツノ根據ガアツテナサツタモノデアリナラバ吾々ハ又考ヘモシマスカ、只今ノ御意見デアルト單ナル一時ノ便宜デアル、是ハ義務教育ノ主義上カラ來テ居ルモノデアリ、斯ウ承ツテ宜シイデアリマスカ

○松浦國務大臣 或ハ私ノ申シ方ガ惡カツタノカモ知レマセウガ、此ノ義務教育費ニ付キマシテハ、是ハ無論國家ガ大イニ分擔ヲシナケレバナラヌ、之ヲ地方團體ノミ任シテ置クコトハ出來ナイト云フ所カラ、國庫負擔法ノ制定ニ依リマシテ國庫ガ相當

ノ額ヲ負擔致シテ居ル課デアリマス、今回ハ之ヲ義務教育ニ關スル教員俸給ノ半分ハ國庫デ持ツ、斯ウ云フデアリマシテ、國庫分擔ト云フコトハ無論此ノ際其ノ精神ヲ強化シヨウト云フ趣旨ニ出テ居ルデアリマシテ、國家ガ分擔スルト云フ精神ハ少シモ變ラヌデアリマスカ、唯教員俸給ヲ總テ國庫デ持ツト云フコトハ、是ハ全國ノ教員ニ對スル俸給ノ整理其ノ他ノコトヲ國家ガ直チニ致スト云フコトニ付テハ、餘程考慮ヲシナケレバナラヌ點モアルデアリマシテ、兎ニ角國家ガ義務教育ノコトニ付テハ半分ハ分擔スル、斯ウ云フ主義デ出テ居ルデアリマシテ、之ヲ直チニ全部國庫支辨ニ致スコトニ付テハ、是ハ又財政上ノ問題モアリマスカ、果シテサウ云フコトガ全體ノ教員俸給費ノ整理按配等ニ於テ相當デアリヤ否ヤト云フコトハ是ハ餘程論及シナケレバナラヌ點デアルト思フデアリマス、今日ハ半分ハ國庫デ持ツ、半分ハ今回ノ稅制改正ニ伴ツテ府縣デ持ツ、斯ウ云フコトニ致シタデアリマス、其ノ意味デ御諒承願ヒマス

○中野政府委員 中等學校ノ入學者選抜方法ノ筆答試問ヲ廢止致シマスコトハ、昭和二年ニ既ニ決定致シテ居ツタデアリマス、其ノ時ニ例外トシテ筆答試問ガ出來ルヤウニ認メタデアリマス、其ノ後此ノ例外ガ原則ノヤウニナリマシテ、隨テ非常ニ義務教育ノ弊害ヲ生ズルヤウニナリマシタ、其ノ弊害ト致シマシテ主ナ點ヲ申シマス、ト、心身發育ノ途上ニアリマス小學校ノ兒童ノ體位ノ低下ト云フヤウナコトモ考ヘラレマス、又小學校教育ノ内容ガ非常ニ曲歪セラレマシテ、所謂義務教育ノ本道ヲ

外レテ居ルト云フヤウナ結果ヲ招來シタモノト考ヘマス、斯ウ云フヤウナ狀態ハ時局下ニ於キマシテ、其ノ儘ニ放置スルコトハ出來ナイト云フ考カラ致シマシテ、益々日本國民トシテノ自覺ノ強イ、心身共ニ強健ニ意味カラ致シマシテ、義務教育ヲ其ノ本道ニ引戻スト云フコトノ必要上、此ノ度ノ中等學校入學者選抜方法ガ考ヘラレタ次第デアリマス

○松本委員 理由ハソレダケデスカ、サウストト畢竟準備教育ノ弊害ト云フモノハ兒童ノ心身ヲ損フコト云フ一點ニ歸スル譯デゴザイマスカ

○中野政府委員 一點ト申シマス或ハドウカト思ヒマスガ、準備教育ノ弊害ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲル必要ハナイト存ジマス、ト同時ニ小學校教育ト申シマスカ、目下文部省デ研究致シテ居リマス國民學校ノ制度ノ内容デアリマスカ、サウ云フヤウナ點カラ考ヘマシテモ、義務教育ノ内容ト云フモノガ、準備教育ニ伴ヒマシテ非常ニ偏ツテ參リマシテ、内容ガ歪メラレテ居ル、サウ云フ風ニ文部省ハ見テ居ツタデアリマス、サウ云フコトガアツテナラナイノデアリマスカ、兎角準備教育ノ弊害、入學者ノ選抜方法ニ筆答試問ヲ行ヒマスカ結果、ドウモ本來ノ義務教育ノ目的カラ少シ外レテ來テ居ル、之ヲドウシテモ本道ニ引戻シナケレバナラヌト考ヘタ次第デアリマス、準備教育ノ弊害ガ一點デアリカト云フ御質問ニ對シマシテハ、準備教育ニ伴ヒマシテ教育ノ内容ガ歪メラレテ居ルト云フ風ニ考ヘテ、ソレヲ正道ニ戻スコトガ必要デアリナイカ、此ノ點モ非常ニ重要ナ點ト考

ヘテ居リマス

○松本委員 サウストト文部省ノ御調査デハ準備教育ト云フモノハ、全國ノ小學校デ、ドウノ位ノ程度ニ行ハレテ居リマスカ

○中野政府委員 準備教育ガドウノ程度ニ行ハレテ居リマスカ、今承知シテ居リマセウカラ、正確ナ數字ニ依ツテ御答致ス程度ノ材料ヲ持ツテ居リマセウガ、殆ド全國到ル處デ此ノ準備教育ト云フモノガ行ハレテ居ツタト云フコトハ、先ツ考ヘテ間違ナイト思ツテ居リマス

○松本委員 ソコガ大變ナ御考慮ヒダラウト考ヘマス、教育ノ專門家ニ斯ウ云フコトヲ申上ゲテハ失禮デスカ、大都會ノ小學校ヲ御覽ニナルトサウ見エルガ、地方ノ町村ノ小學校カラ中等學校ニ進ム者ハ、尋常六年ノ卒業ノ中カラ恐ラク數人ニ過ギナイ、其ノ數人ノ者ノ爲ニ準備教育ガ行ハレルト云フコトハアリ得ナイコトナノデアリマス、大都會ノ小學校ノ卒業者ガ多數中等學校ニ行ク爲ニ準備教育ガ行ハレル、其ノ弊害ヲ御覽ニナツテ、全國畫一ニナサルト云フコトニ間違ガアルノダ、斯ウ私達ニ地方ノ教育家ガ説明シテ呉レマス、サウシテ今度オヤリニナル制度デハ、小學校ヲ二番、二番、三番デ卒業シタ者ハ大體ニ於テ入レルノダト云フコトニナル、サウストトアナタハ教育ヲ本道ニ引戻スト仰シヤツタガ、今マデハ此ノ小學校ガ良イカラト言ツテ、特ニ學校ヲ選ンデ通ハセタモノガ、今度ハ何處ノ學校デモ宜イカラ行ケ、成ベク劣等生ノ多イヤウナ學校ニ入ツテ、一番カ二番ニナレバ大抵中等學校ニ入ルト云フコトニナルデアリマス、總テ物ト云フモノハ利弊ガ伴フノガ自然ノコトデ

アリマスカラ、結局今度ノ制度ニハ良イ點モアリ、缺點モアル、而モ缺點ガ大キイト云フコトヲ私ハ教育者カラ聴イテ、如何ニモ其ノ通りダト思ヒマシタ、殊ニ中等教育ノ先生方ガ吾々ニ懇ヘル言葉ハ、コンナコトヲヤラレタラ中等學校ノ先生ハ堪ラヌ、小學校ノ先生ハ内申書ヲ書クダケノ仕事デ、自分ノ預カッタ兒童ノ内申書ヲ書クノダカラ宜イケレドモ、ソレヲ受取ツタ中等學校ノ先生ニハ、ドウシテ之ヲ調べルカ、神様デハナイカラ、各學校カラ來ル内申書ヲ是ガ良イカ悪イカト云フヤウナコトハ良心ノ命ズル所ニ從ツテハ出來ナイ、出來ナイコトヲ文部省ガヤレト云フカラ仕方ナクナルンダ、斯ノ如キ制度コソ却テ教育ノ眞實ヲ損フモノデアリト云フコトヲ吾々ニ教育者ガ説ク、私ハ教育ノ方ノ研究ハ足りナイカラ、果シテドウツチガ當ツテ居ルカ知レナイカスガ、私ノ常識カラ考ヘマスト、サウ考ヘラレル筋ガ非常ニ多イデアリマス、文部大臣ハ最近ノ新聞ヲ通ジテノ御聲明デアリマスガ、此ノ新シク出サレタ制度ハ御變ヘニナラヌノダ、斯ウ仰シヤル、只今普通學務局長ノ御説明ノ中ニハ、言葉尻ヲ掴マヘル御聲明デアリマスガ、此ノ時局下ニ於テ今マデノヤウナヤリ方ヲシテハイケナイカラト仰シヤツタ、此ノ時局下ニ於テイケナイト云フノナラバ、此ノ時局ガ濟ンダ後ニ於テハ御變ヘニナルノカドウカ、言葉尻ヲ掴マヘル御聲明デアリマスガ、何カサウ云フ御心構ガアルカノヤウニ窺ハレルノデアリマスガ、其ノ點モウ一遍御説明ヲ願ヒマス

此ノ席上デ申上ゲル程ノ材料ヲ持ツテ居リマセヌガ、私モ寧ろ大都市ヨリモ地方ニ長ク居リマシタノデ、御説ノ通り地方ノ山川僻地ノ小學校ニハ其ノ準備教育ハナイト思ヒマスガ、六大都市以外ノ小サナ都市ト云フカ、サウ云フ所ニモ相當準備教育ト云フモノハアル、ソレハ地方ノ縣會等デハ常ニ喧シク言ハレテ居ルコトデアリマス、其ノ弊害ニ付キマシテハ、申上ゲルマデモナク御承知ノ通りデアリマス、是ハ六大都市ニ限ラレタ問題デアリナイノデアリマス、併シ日本全國有ユル小學校ニ悉ク準備教育ガアツタカト云ハレマス、ソレハ必ズシモサウデハナイ、要スルニ又左様ナ山間僻地ノ小學校ニ於キマシテハ、中等學校ニ入學志願スル者ハ餘リ多クハナイ、要スルニ中小ノ都市デハアルト思ヒマスガ、町村等ニ於キマシテハ、或ハ中等學校ノ入學志願者ノ多イ地方ニ於キマシテハ、程度ノ差ハアルガ相當アルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ方法ニ付キマシテ、反對ノ御意見モアルヤウデアリマスガ、又贊成ノ御意見モアルノデアリマス、此ノ事ニ付キマシテ長ク申上ゲルコトモドウカト思ヒマス、其ノ點ハ省略致シマスガ、先程私ノ説明致シマシタノハ、時局下ニ於テハ斯ウ云フコトガ必要デアリマス、時局ガ濟メバドウデモ宜イト云フ意味デ申上ゲタノデアリナイノデアリマス、心身ノ發育途上ニアリマス兒童ノ體位ヲ低下セシメ、サウシテ歪曲サレタ所ノ教育ヲ受ケルト云フコトハ宜シクナイノデアリマシテ、特ニ此ノ時局下ニ於キマシテ身體ノ脆弱ナ兒童ガ、或ハ其ノ爲ニ健康ヲ損ハレルト云フヤウナコトヲ拙ツテ置ク譯

ニハイカナイト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマス、或ハ用語ガ不十分デアツタ爲ニ、此ノ時局下ニ於テハ斯ウ云フ方法ヲ執ル、時局ノ終リマシタ時ニ於テハ又元ヘ戻ル、斯ウ云フ風ニ御取リニナツタカモ知レマセヌガ、サウ云フ意味デ申上ゲタノデアリナイコトヲ御承知願ヒマス

カラ分リマセヌガ、此ノ制度ハ變ヘナイト仰シヤツタ、ヤツテ見テ悪カウツラ御變ヘニナルノガ宜イト思フ、靜ニ全國ノ教育者ノ意向ヲ御聽ニナツテ、私ハ昨日モ長野縣ヘ參リマシテ、長野ノ中學ノ先生、小學校ノ先生ニ聽ク、口ヲ揃ヘテ此ノ制度ヲ非難シテ居ルノデス、現ニ昨年ノ六月ニ女學校ノ校長會議ノアツタ時ニ、神戸ノ高等女學校ノ校長ガ之ニ對スル反對論ヲ唱ヘタ、集ツタ所ノ女校長ハ一人トシテ之ニ共鳴セザルモノハナカウツタ、座長ヲ務メタ所ノ人ガ弱ツテシマツテ、其ノ話ハ暫ク止メト云フコトヲ云フマシタト云フ話モアリマス、是ハドウカサウ我執的ニ御考ニナラヌニ、一ツ冷靜ニ御考ニナツテ、教育ノ全般カラ改ムベキ所ガアツタラ改メテ載キタイ、斯ウ考ヘルノデスガ、此ノ點ニ付テ文部大臣ノ御所見ヲ承リタイ、尙ホ政府委員カラモ御意見ガアリマスレバ、謹ンデ承リマスカラドウカ御教ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平川主査 簡單ニ願ヒマス

○松浦國務大臣 此ノ制度ヲ變ヘルノダト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、唯是ハ今年初メテヤツタコトデアリマスカラ、色々ナル方デモ受ケル方デモ勝手ガ十分分ラヌデ、其ノ間ニ色々不安ヲ生ズルコトガアルダラウト思ヒマスケレドモ、ヤツテ見マスレバ今年ノ實績ニ鑑ミマシテ、若シ多少モ不十分ナ點ガアツテ、ソレヲ修正スルト云フコトデアリマスルナラバ、ソレハ其ノ事ヲ考ヘナケレハナラヌ、修正スルト云フ意味ハ、私ハ學課試驗ヲ附加スルト云フ意味デアリマセヌヨ、今日ノ制度ヲ行フトシテ、出來ル限リノ不便ヲ避ケルヤウニ學校デモ研究シ、文部省トシテモ研究シテ見タイト思

フノデアリマス、サウ云フコトデ進ンデ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

弊害ノ點ハ御承知ト云フコトデアリマスガ、三年、四年、五年ト始終勉強シテ居ルコトヨリモ、一年間ナリ二年間ナリ随分猛烈ナ勉強ヲシ、而モ其ノ小學校ノ生徒ニハ無理ダト思ハレル程ノ、教材ハ同じ小學校ノ五年、六年ノ本デアリマシテモ、其ノ使ヒ方、其ノ見方ト云フモノハ逆モ中學校ヲ卒業シタ者デモ相當優秀ナ者デナケレバ出來ナイト云フ風ナモノヲ要求シテ居ルノデアリマス、現ニ試験問題等モ私見マシタガ、逆モソレハ大變ナモノデアリマシテ、小學校ニ於ケル所ノ三年間ナリ或ハ四年間ナリ、一生懸命毎日々々先生ニ教ハツタコトヲ勉強スルノトハ比較ニナラナイ、此ノ點ハ私ハモウ繰返シテ申シマスガ、ココデ勉強スルコトガ身體ニ惡イノダトハ考ヘマセヌ、ヤハリ大イニ勉強モシ、大イニ身體モ鍛錬、是ガ所謂心身ノ鍛錬デアルト思フ、要スルニ入學試驗ノ爲ニ不當ニ或ル數科目ニ限リマシテ、或ハ其ノ科目ガ假ニ一科目デアリマシテモ非常ニ深ク掘下ゲテ、サウソレハ中學校ヲ卒業者ナリ或ハ高等學校ノ生徒デナケレバ分ラヌト云フヤウナ見方ヲシ、研究ヲスルト云フコトガ非常ニ弊害ガアル、現ニ身體ニ惡イト云フコトモ、是モ數字デ申上ゲル譯ニハ參リマセヌケレドモ、是ハ殆ド常識ニナツテ居リマシテ、其ノ點ハ改メテ申上ゲルマデモナイノデアリマス、ソレカラ此ノ制度ガ惡イト云フコトデアリマスガ、之ヲ色々良イト言フ者モアル、小學校ノ方面ノ先生ハ大體ニ於テ良イト言フ、中等學校ノ方面ハ大體ニ於テ惡イト言フ、斯ウ云フデアリマスガ、是ハ從來ノ入學者ノ選抜方法ヲ基礎ニシテ考ヘマシテ、中

等學校ノ方カラ考ヘマスト極メテ簡單デアリマス、是モ徳性ニ基ク考査ト云フヤウナコトニナリマスト、中々難カシイノデアリマシテ、今マデノヤリ方デハ直チニ此ノ方法ガ行ク力カナイカト云フコトニ付テハ、專門家ノ中ニ甚ダ意見ガアルヤウデアリマス、併シ之ヲモウ少シ續ケテ參リマスト、苟モ教育者デアリマシテ……

ガ今度ハ入レルト云フコトニナリマスカラ、三年間一生懸命ニナツテ誰ガ一番ニナリ誰ガ二番ナリ誰ガ三番ニナルカ、ソレヲ小サナ生徒ガ争フナント云フコトハ、大變ナコトデス、併シ私ハ此ノ點ニ付テ詳シク申シマセヌガ、唯文部大臣ニ一言申上ゲマスト、ドウカ文部大臣ノ冠ヲ取ツテ野ニ下ラレタ後ニ、靜ニ教育者ノ批評ヲ聴イテ載キタイ、アナタガ文部大臣ノ肩書ヲ持ツテ居ッテハ言ハナイデアリマセウケレドモ、野ニ下ラレタ時ニハ可ナリノ發言スル者ガアルト云フコトヲ申上ゲテ、私ノ質疑ハ打切リマス

○平川主査 是デ大體委員ノ方ノ質問ハ終了致シマシタガ、委員外ノ方ノ質問ガ七人申込ガアリマス、併シ熱心ニ御研究ニナツテ居ルノデスカラ、是ハ成ベク許シタイト思ヒマスガ、既ニ定刻ヲ過ギルコト四十分デアリマスカラ、十分間ツツデモ一時間十分掛リマスカラ、要點ダケヲ申上ゲテ載キタイ、政府委員ノ方モ餘リ長イ答辯ヲシナイデ、要領ヲ御致シマス、委員外ノ方ノ質問ヲ許シマス——田代君

○田代正治君 ソレデハ極ク簡單ニ御質問申上ゲマス、私ノ質問ノ要旨ハ、既ニ先程工藤鐵男君ガ御質問申上ゲマシタガ、大體趣旨ハ私ト同じデアリマス、詳シイコトハ止メマスガ、先程工藤君ニ對スル文部大臣ノ御答ノ中ニ、公立ノ商船學校三校ヲ官立ニ移管スルコトニ付キマシテ、文部省ハソレヲ希望シテ居ルト云フ御答デアリマシタガ、大體其ノ追加豫算ト云フモノヲ、此ノ議會ニ提出ニナル御見込デアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ、三校トハ岡山、愛媛、廣島ト承知シテ居リマスガ、左様デアリマス

○松本委員 イヤ、重大ナ問題デスカラ長クナツテモ構ヒマセヌ

○中野政府委員 餘リ長クナルト恐縮デゴザイマスカラ……

○松本委員 ソレダケデ宜シウゴザイマスガ、結局ノ所仰シヤル所ヲ承ツテ見ルト、要スルニ大都會ノコトダケ御覽ニナツテ居ル、中等學校ヲ卒業シタケレバ分ラヌト云フヤウナコトハ、ソレハ大都會ニ限ラヌト云フヤウナコトハ、ソレハ大都會ニ限ラヌト云フアツテ、地方ニハソレナコトハアリハシナイノデアリマス、ソレカラ其ノ試験ノヤリ方ガ惡イト仰シヤルナラバ、ソレヲ改メレバ宜イ、ソレカラ此ノ事ハ兒童ノ心身ノ負擔ニナラヌト仰シヤルケレドモ、今度ハ學校デ以テ一番、二番ヲ争フコトガ心身ノ負擔ニナル、同じ學校ノ中デ成績ノ良イ者

ガ今度ハ入レルト云フコトニナリマスカラ、三年間一生懸命ニナツテ誰ガ一番ニナリ誰ガ二番ナリ誰ガ三番ニナルカ、ソレヲ小サナ生徒ガ争フナント云フコトハ、大變ナコトデス、併シ私ハ此ノ點ニ付テ詳シク申シマセヌガ、唯文部大臣ニ一言申上ゲマスト、ドウカ文部大臣ノ冠ヲ取ツテ野ニ下ラレタ後ニ、靜ニ教育者ノ批評ヲ聴イテ載キタイ、アナタガ文部大臣ノ肩書ヲ持ツテ居ッテハ言ハナイデアリマセウケレドモ、野ニ下ラレタ時ニハ可ナリノ發言スル者ガアルト云フコトヲ申上ゲテ、私ノ質疑ハ打切リマス

○田代正治君 ソレデハ極ク簡單ニ御質問申上ゲマス、私ノ質問ノ要旨ハ、既ニ先程工藤鐵男君ガ御質問申上ゲマシタガ、大體趣旨ハ私ト同じデアリマス、詳シイコトハ止メマスガ、先程工藤君ニ對スル文部大臣ノ御答ノ中ニ、公立ノ商船學校三校ヲ官立ニ移管スルコトニ付キマシテ、文部省ハソレヲ希望シテ居ルト云フ御答デアリマシタガ、大體其ノ追加豫算ト云フモノヲ、此ノ議會ニ提出ニナル御見込デアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ、三校トハ岡山、愛媛、廣島ト承知シテ居リマスガ、左様デアリマス

○松浦國務大臣 此ノ制度ヲ變ヘルノダト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、唯是ハ今年初メテヤツタコトデアリマスカラ、色々ナル方デモ受ケル方デモ勝手ガ十分分ラヌデ、其ノ間ニ色々不安ヲ生ズルコトガアルダラウト思ヒマスケレドモ、ヤツテ見マスレバ今年ノ實績ニ鑑ミマシテ、若シ多少モ不十分ナ點ガアツテ、ソレヲ修正スルト云フコトデアリマスルナラバ、ソレハ其ノ事ヲ考ヘナケレハナラヌ、修正スルト云フ意味ハ、私ハ學課試驗ヲ附加スルト云フ意味デアリマセヌヨ、今日ノ制度ヲ行フトシテ、出來ル限リノ不便ヲ避ケルヤウニ學校デモ研究シ、文部省トシテモ研究シテ見タイト思

○中野政府委員 餘リ長クナルト恐縮デゴザイマスカラ……

○松本委員 イヤ、重大ナ問題デスカラ長クナツテモ構ヒマセヌ

○松本委員 ソレダケデ宜シウゴザイマスガ、結局ノ所仰シヤル所ヲ承ツテ見ルト、要スルニ大都會ノコトダケ御覽ニナツテ居ル、中等學校ヲ卒業シタケレバ分ラヌト云フヤウナコトハ、ソレハ大都會ニ限ラヌト云フヤウナコトハ、ソレハ大都會ニ限ラヌト云フアツテ、地方ニハソレナコトハアリハシナイノデアリマス、ソレカラ其ノ試験ノヤリ方ガ惡イト仰シヤルナラバ、ソレヲ改メレバ宜イ、ソレカラ此ノ事ハ兒童ノ心身ノ負擔ニナラヌト仰シヤルケレドモ、今度ハ學校デ以テ一番、二番ヲ争フコトガ心身ノ負擔ニナル、同じ學校ノ中デ成績ノ良イ者

ガ今度ハ入レルト云フコトニナリマスカラ、三年間一生懸命ニナツテ誰ガ一番ニナリ誰ガ二番ナリ誰ガ三番ニナルカ、ソレヲ小サナ生徒ガ争フナント云フコトハ、大變ナコトデス、併シ私ハ此ノ點ニ付テ詳シク申シマセヌガ、唯文部大臣ニ一言申上ゲマスト、ドウカ文部大臣ノ冠ヲ取ツテ野ニ下ラレタ後ニ、靜ニ教育者ノ批評ヲ聴イテ載キタイ、アナタガ文部大臣ノ肩書ヲ持ツテ居ッテハ言ハナイデアリマセウケレドモ、野ニ下ラレタ時ニハ可ナリノ發言スル者ガアルト云フコトヲ申上ゲテ、私ノ質疑ハ打切リマス

○田代正治君 ソレデハ極ク簡單ニ御質問申上ゲマス、私ノ質問ノ要旨ハ、既ニ先程工藤鐵男君ガ御質問申上ゲマシタガ、大體趣旨ハ私ト同じデアリマス、詳シイコトハ止メマスガ、先程工藤君ニ對スル文部大臣ノ御答ノ中ニ、公立ノ商船學校三校ヲ官立ニ移管スルコトニ付キマシテ、文部省ハソレヲ希望シテ居ルト云フ御答デアリマシタガ、大體其ノ追加豫算ト云フモノヲ、此ノ議會ニ提出ニナル御見込デアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ、三校トハ岡山、愛媛、廣島ト承知シテ居リマスガ、左様デアリマス

○松浦國務大臣 此ノ制度ヲ變ヘルノダト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、唯是ハ今年初メテヤツタコトデアリマスカラ、色々ナル方デモ受ケル方デモ勝手ガ十分分ラヌデ、其ノ間ニ色々不安ヲ生ズルコトガアルダラウト思ヒマスケレドモ、ヤツテ見マスレバ今年ノ實績ニ鑑ミマシテ、若シ多少モ不十分ナ點ガアツテ、ソレヲ修正スルト云フコトデアリマスルナラバ、ソレハ其ノ事ヲ考ヘナケレハナラヌ、修正スルト云フ意味ハ、私ハ學課試驗ヲ附加スルト云フ意味デアリマセヌヨ、今日ノ制度ヲ行フトシテ、出來ル限リノ不便ヲ避ケルヤウニ學校デモ研究シ、文部省トシテモ研究シテ見タイト思

○松本委員 イヤ、重大ナ問題デスカラ長クナツテモ構ヒマセヌ

○中野政府委員 餘リ長クナルト恐縮デゴザイマスカラ……

○松本委員 ソレダケデ宜シウゴザイマスガ、結局ノ所仰シヤル所ヲ承ツテ見ルト、要スルニ大都會ノコトダケ御覽ニナツテ居ル、中等學校ヲ卒業シタケレバ分ラヌト云フヤウナコトハ、ソレハ大都會ニ限ラヌト云フヤウナコトハ、ソレハ大都會ニ限ラヌト云フアツテ、地方ニハソレナコトハアリハシナイノデアリマス、ソレカラ其ノ試験ノヤリ方ガ惡イト仰シヤルナラバ、ソレヲ改メレバ宜イ、ソレカラ此ノ事ハ兒童ノ心身ノ負擔ニナラヌト仰シヤルケレドモ、今度ハ學校デ以テ一番、二番ヲ争フコトガ心身ノ負擔ニナル、同じ學校ノ中デ成績ノ良イ者

ガ今度ハ入レルト云フコトニナリマスカラ、三年間一生懸命ニナツテ誰ガ一番ニナリ誰ガ二番ナリ誰ガ三番ニナルカ、ソレヲ小サナ生徒ガ争フナント云フコトハ、大變ナコトデス、併シ私ハ此ノ點ニ付テ詳シク申シマセヌガ、唯文部大臣ニ一言申上ゲマスト、ドウカ文部大臣ノ冠ヲ取ツテ野ニ下ラレタ後ニ、靜ニ教育者ノ批評ヲ聴イテ載キタイ、アナタガ文部大臣ノ肩書ヲ持ツテ居ッテハ言ハナイデアリマセウケレドモ、野ニ下ラレタ時ニハ可ナリノ發言スル者ガアルト云フコトヲ申上ゲテ、私ノ質疑ハ打切リマス

○田代正治君 ソレデハ極ク簡單ニ御質問申上ゲマス、私ノ質問ノ要旨ハ、既ニ先程工藤鐵男君ガ御質問申上ゲマシタガ、大體趣旨ハ私ト同じデアリマス、詳シイコトハ止メマスガ、先程工藤君ニ對スル文部大臣ノ御答ノ中ニ、公立ノ商船學校三校ヲ官立ニ移管スルコトニ付キマシテ、文部省ハソレヲ希望シテ居ルト云フ御答デアリマシタガ、大體其ノ追加豫算ト云フモノヲ、此ノ議會ニ提出ニナル御見込デアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイ、三校トハ岡山、愛媛、廣島ト承知シテ居リマスガ、左様デアリマス

○松浦國務大臣 此ノ制度ヲ變ヘルノダト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、唯是ハ今年初メテヤツタコトデアリマスカラ、色々ナル方デモ受ケル方デモ勝手ガ十分分ラヌデ、其ノ間ニ色々不安ヲ生ズルコトガアルダラウト思ヒマスケレドモ、ヤツテ見マスレバ今年ノ實績ニ鑑ミマシテ、若シ多少モ不十分ナ點ガアツテ、ソレヲ修正スルト云フコトデアリマスルナラバ、ソレハ其ノ事ヲ考ヘナケレハナラヌ、修正スルト云フ意味ハ、私ハ學課試驗ヲ附加スルト云フ意味デアリマセヌヨ、今日ノ制度ヲ行フトシテ、出來ル限リノ不便ヲ避ケルヤウニ學校デモ研究シ、文部省トシテモ研究シテ見タイト思

キモノデアツテ、國民學校カラヤルノハド
ウ云フ譯カト云フ御尋ガアツテ、ソレハ全
般ニ向ツテ案議ヲスルト云フ大臣ノ御答辯
デアリマシタガ、茲ニ私共ノ聽カント欲ス
ル所ハ、昨年青年學校義務制ガ制定セラレ
レテ、今度國民學校制度ト云フモノヲ設ケ
ル場合ニ、此ノ青年學校ノ昨年制定セラレ
タ所ノ普通科ハ之ヲ廢止スル、斯ウ云フ風
ニ教育案議會ノ答申ガ出來テ居ルヤウニ
承知致シテ居リマスガ、一旦昨年義務制
トナリマシタ所ノモノヲ、之ヲ國民學校案
ガ出來テ再ビ廢止スル、斯ウ云フヤウナコ
トニナリマシタ譯ハ一體ドウ云フ譯デア
リマスガ、尙ホ次ニ、此ノ青年學校ノ
必要ナルコトハ言フヲ俟タヌノデアリマス
ガ、高等小學所謂尋常六年ヲ卒業シタル青
年期ニアル者ヲ教育スルノガ青年學校デア
リマス、然レニ今度ソレヲ兒童扱ヒスル、教
育ニ心アル地方ニ於キマシテハ、何レモ尋
常六年ヲ出テ入ツテ居ル高等小學校ヲ、所
謂高等國民學校トシテ、獨立校舎ニ於テ特
ニ青年教育ヲシテ居ツク、ソコニ昨年青年
學校制ガ制定セラレテ、稍ソレデ本館ダト
思フト、是亦廢止シテ高等國民學校ニナラ
ウト云フコトハ、ドウ云フ譯デアリカ、此
ノ青年學校ノ普通科ノ獨立校舎ヲ設ケテア
ル所ノモノニ對シテハドウ云フ風ニ御取
シヨシテ戴ケルノデアリマスガ

科トドウ云フ關係ニ相成ルカト申シマス、
青年學校普通科ハ義務教育ガ六年デアルト
云フコトノ前提ト下ニ一體國民教育ノ
年限ヲ八年ニ延長スルト云フコトガ本式デ
アリマスケレドモ、ソレニハマダ色々議ガ
熱シマセヌデ、兎モ角モ尋常小學校六年デ
終ツテ職業ニ就クモノニ對シテモ、其ノ職
業ノ閑ヲ以テ相當ノ教育ヲ受ケサセルト云
フコトガ必要デアルト云フ所カラ、普通科
ト云フモノガ義務教育ニナツタノデアリマ
シテ、青年學校ノ義務ハ上マデ續キマス
レドモ、尋常小學校六年ニ接續スル二箇年
ト云フモノガ、先ヅ義務ニナツタ譯デア
リマス、所ガ今回本式ニ國民學校ト云フモノ
ノ年限ヲ八年ヲ通ジテ義務教育ニスル、斯
ウ云フコトニナル以上ハ、從來ノ青年學校
ノ普通科ト云フモノハ國民學校中ニ含マ
レテシマフノデアリマスカラ、普通科ニ通
フ青年ハ國民學校ノ七學年、八學年ト云フ
モノニ通學ヲシナケレバナラス、斯ウ云フ
義務ヲ生ズル譯デアリマスカラ、青年學校
ノ普通科ト云フモノハ是ハ自然廢止ニナル
コトハ當然ノ結果デアリマシテ、ソレハサ
ウナルヨリ外ニ致シ方ガナイノデアリマス、
尙ホ先程ノ獨立校舎ノ出來タノハ、ソレハ
ドウ云フコトニナリマスガ、國民學校八年
義務制ト云フモノガ實行サレマシタ譯ニハ、
高等國民學校ト、普通科ヲ除イタ上ノ青年
學校ト云フモノガ、或ハ同ジ校舎中ニ併
存スルト云フコトニナリマスガ、義務制延
長ノ實施ノ機ニ於キマシテノサウ云フ處置
ハ、各地方ノ狀況ニ依リ、其ノ土地ノ事情
ニ依リマシテ何等カ方法ガ付テデアラウト
思ヒマスガ、兎モ角モ普通科ナルモノガ廢止
ニナルト云フコトハ、國民學校實施ノ當然

ノ結果デアリマスカラ、是ハ致シ方ガナイ
モノデアルト斯様ニ考ヘテ居リマス
○樋口壽右衛門君 義務教育ヲ二年延バシ
テサウシテ高等國民學校ト言ハレマスガ、
元來高等小學ト云フ時代、所謂十三、十四、
十五、是ハ所謂青年期デアリマス、ソレヲ
兒童ト一絡ニスル、一體ナラ中等學校へ進
ムベキ者デ、事情ガアツテ行ケナイ者ガ青
年學校ニ行ク、サウ云フ形態ニスベキモノ
ヲ、コゴデ二年ダケ兒童ト一絡ニ置クコト
ハ、寧ロ教育形態カラ行キマシテモ甚ニ不
備ガアル、何ノ爲ニ斯ウ云フコトヲスル
カ、恐ラクハ普通學務局、社會教育局ノ教
育行政ハサウ云フヤウナコトハ意味ナイ
モノダト思ヒマス、地方ニ參リマシテ私ハ
洵ニ遺憾ニ思フ、教育ニ専心シテ居ル所ノ
町村ニ於テ既ニ此ノ高等小學校ト云フモノ
ヲ青年學校ニ致シテ、今又斯ウ云フ風ナ形體
ヲ作ルト云フコトハ非常ナル教育ノ逆轉ト
云フコトニナリマス、是レ審議會ガ一貫シタ
ル計畫ヲ立テズニヤツタ爲ニ地方ニ及ボシ
タル弊害デアル、今又之ヲ廢止スルトスレ
バ、ドウシテモ斯ウ云フコトヲヤツテ行
カナケレバナラス、是ハドウシテモ御考慮
ヲ願ハナケレバナラスノデアリマス、私ハ
先程カラ御致シマシタガ、此ノ重大ナル
教育ヲ議會ノ協賛ヲ經テ一般ノ民意ノ下ニ
之ヲ法律化シタモノダト云フ御説ハ御尤モ
ダト思フ、唯豫算ダケ議會ニ協賛ヲ迫ル
デアリマスカラ、全ク是位大切ナモノハナ
イノデアリマス、教育案議會ヲ組織セラレ
テ居ル方々ト云フモノハ、言フマデモナク
學識經驗ノアル構成者デアアルコトハ認メマ
ス、併シナガラ全國ニアル所ノ二万六七千

ノ小學校、此ノ小學校ノ教育ノ實情ガドウ
シテ分ルカ、恐ラクハ文部當局ト雖モ地方學
務部長會議、或ハ課長會議ノ下デ其ノ意見
ヲ徵サレタモノデアラウト思フ、莫ノアル
所ニ居レバ其ノ莫ハ分ラヌノデアリマス、
斯ウ云フコトヲ吾々地方ニ居ツテ見ル時ニ、
如何ニモドウモ教育ヲ改革スルニ當ツテ、
權威アル此ノ教育案議會ノ小學校ノ改正ニ
御使ニナルト云フコトハ餘程御考慮ヲ願ハ
ナケレバナラスノデアリマス、私ハ決シテ
反對セシガ爲ニ、又攻撃セシガ爲ニ申上ゲ
ルノデアリナイ、教育ノ實情ヲ見テ居ル吾々
カラ言フノデアリマス、斯ウ云フ方々ハ權
威者デアアル、學者デアアル、併シナガラ小
教育ニ付テノ知識ハナイト云フモノ餘リ過
言デハナイト思フ、高等ナル學者デアリ、
經驗アリマセウ、サウ云フ方々ノ審議會
ニ文部省ガ原案ヲ出シテ答申セラレテ、
ソレガ機則ノヤウニシテ變ヘラレナイト云
フコトハ困ル、吾々國民大衆、殊ニ此ノ
小學校ニ居ル者ハ何デアアルカト云ヘバ、中
等學校ニ事情ガアツテ行ケヌ人間デアアル、
青年ヨリト呼ビ掛ケル所ノ青年デアリマ
ス、此ノ教育ヲ疎カニシテ結果ガ今ノ青年
ニ彼此レノ非難ガアルノデアリマス、其ノ
大家ノ青年ガ何モ言ハヌカラト云ツテ、マ
ルデ辯論ヤ蠅ノヤウナ取扱ヲシテ、教育ノ
仲間ニ入レナイ、此ノ現在ノ狀況ヲ以テ大
臣ハ青年教育ガ出來テ居ルト言ハレルノハ
認識不足デアリマス、御膝元ノ東京ノ學校
ヲ見テ御覽ナサイ、何處ニ青年教育ノ徹底
ヲ期シテ居リマスガ、小學校校長ニ義務サ
セ、職員ヲ義務サセテ、其ノ學校ヲ今日青
年學校ダト云ツテ居リマスコトハ、洵ニ其
ノ事情ガ分ラヌ、何トモ言ハヌカラト云ツ

テモ、今や國家トシテ大切ナル青年大衆デ
アリマス、其ノ大衆ガ何ニモ知ラヌ、審議
會モ知ラヌト申シテハ語弊ガアルガ、事情
ノ分ラヌ一千二百万ノ兒童教育ニ直チニ影
響シ、國家ノ進運消長ニ直チニ影響スル小
學教育ヲ、此ノ事情ニ暗イ方々ニ依ツテ決
メテ貫ツテ、ソレニ依ツテ吾々ガ地方ニ居
ツテ兒童ガ教育ヲ受ケル所ヲ見ルト、洵ニ國
家ノ爲ニ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、幾ラ
機則トシテ決メラレテモ、大臣ドウソ、私
ハ一口願ツテ置ク、決シテ法律化シテ貫ヒ
タイトハ申サヌ、樞密院ノ御都合モアリマ
セウ、ケレドモ教育案議會ノ審議ヲ誤ラザ
ルヤウニ、ドウカ小學校ノコトナラ地方ノ
實情ハ委員會ナリ、調査會ナリノ教育者以
外ニ求メラレテ、ソレヲ參考トシテ審議會
ノ方々ヲシテ能ク御審議下サルヤウニ私ハ
シテ戴キタイト思ヒマスガ、之ニ對シテ大
臣ハドウ云フ御考デアリマスガ、御意見ヲ
伺ヒタイ

年學校ノ普通科デヤツテ居リマシタ以上ニ、
是ハ無論内容カラ申シマシテモ、亦實際ニ
即スルト云フ點カラ申シマシテモ、完備シ
タモノニナルノデアリマスカラ、其ノ普通
科ニ通ツテ居ツク者ガ、今度ハ國民學校ノ
上級二箇年ニ義務トシテ通フト云フコトニ
ナリマシテモ、教育ノ效果ニ於キマシテ決
シテ劣ルコトハナイ、寧ロ良クナルノデア
リマスカラ、御心配ノヤウナ國民學校義務
年限延長ノ結果トシテ、普通科ト云フモノ
ガ自然其ノ中ニ吸收サレルト云フコトノ爲
ニ、教育上障礙ヲ來スト云フコトハ、是
ハモウ絕對ニナイト云フコトヲ御承願
ヒタイノデアリマス、サウ云フ國民學校ノ
教育ヲ、各地方ノ實際ニ即セシムルヤウニ
致スト云フコトニ付テハ、内容ノ改善ニ於
キマシテモ、其ノ點ニ於テハ特ニ注意シテ
アルノデアリマスカラ、サウ云フコトニ付
キマシテハ、御心配ニナルヤウナコトハ決
シテナイト考ヘテ居リマス

○松浦國務大臣 國體觀念ト經濟ノ觀念ト
ノ間ニ幾分連繫ガ付イテ居ナイデハナイカ
ト云フヤウナ御趣意デアツタカト考ヘマス
ガ、此ノ經濟ノ觀念、唯一個人ノ私ノ利益
ヲ求メルト云フコトヲ根本ノ觀念ト致シ
テ居リマス經濟ト云フヤウナモノハ、國體
觀念ノ上方ヲ見マシテ一致シナイ所ガアル
ト云ハナケレバナラスノデアリマス、併シ
ナガラ總テ經濟ノ行爲ヲ行ヒマスノモノ
ヲ所有スルト云フコトニ付キマシテモ、是
ハ所有スルト云フコトニ依ツテソレガ御上ニ御奉
テ國ノ爲ニ盡スノダ、決シテ唯一個人ノ私
利私益ト云フコトノ爲ニスルノデハナイ、
之ニ依ツテ國ニ御奉公ヲスル、國ノ爲ニ一
ツノ役割ヲ盡シテ居ルノダト云フ意味ニナ
レバ、國體觀念トノ間ニ少シモ矛盾ハナイ
コトニナルノデアリマシテ、經濟ノ觀念ト
云フモノガサウ云フ風ニ向ツテ行カナケレ
バナラスモノデアアルト私ハ考ヘルノデアリ
マス、段々サウ云フ風ニ物ノ考ヘ方ガ向ツ
テ居リ、又向ヒツツアルト云フコトデハナ
イカト考ヘルノデアリマス

見ガアリマスガ、飛ビマシテ進シテ皇道ヲ
顯現スルコト云フ趣旨モアリ、サウ云フ
根本原理ノ經濟思想ヲ涵養シ、又經濟ノ學
的體系ヲ建テルコトニ進シテ御努力ナサル
コトガ如何カト思ヒマスガ、左様ナコトガ
出來ナイモノデアリマセウカ、一言御同致
シマス

○松浦國務大臣 是ハ其ノ專門家、學問ニ
從事スル者ガサウ云フ風ニナツテ來ナケレ
バイカヌノデアリマスガ、詰リ其ノ根本ノ
觀念、其ノ學問モ自然サウ云フ風ニナリ得ル
ヤウナ根本ノ觀念、即チ國體ノ明徴、皇道精
神ノ涵養ト云フコトニ付キマシテハ、文部省
トシテ極力有ニル方面カラ努力致シテ居ル
ノデアリマス、其ノ結果總テノ學問ノヤリ
方、考究ノヤリ方ト云フモノガソレニ合ス
ルヤウニナツテ來ルコトヲ期待シテ居ル譯
デアリマス、自然サウナツテ來ルコトヲ疑
ハヌノデアリマス、現ニ日本諸學振興委員
會ト云フモノヲ文部省ニ於テ設ケテ、各、今
申上ゲマシタヤウナ見地カラ總テ學問ヲ研
究シテ居ルト云フコトニ致シテ居ルノデア
リマシテ、其ノ意味ニ於テ文部省トシテハ
有ニル努力ヲ拂ツテ居ル次第デアリマス

○吉田賢一君 文部省ガ出シマシタ「國體」
本義ヲ見マシテモ、末段ノ方ニ於テハ政治
經濟ガ論ゼラレテアルガ、前段ノ方ニナル
ト既ニ多クノ人ノ著述ニナツテ居ルヤウナ
コトノミデアリマシテ、國際關係ニ付テハ
浩瀚ナル說明モアルガ、政治經濟ニナルト
兎モ角モサレテ居ルヤウニ思フノデアリ
マス、私ハ率直ニ申上ゲマスガ、經濟ノ諸
觀念ニ付テハ、ヤハリ本當ノ皇道ト經濟思
想ナドニ付テハ未ダ明確ニシ難イヤウナ多
クノ分野ガアルト云フヤウナ實情デアツ

リマス、是等と比較致シマシテモ特ニ此ノ必要ヲ感ズルモノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ如何ナル御考ヲ有セラルルカ、ソレカラ體育課ヲ體育局ニ進メルコト、ソレカラ宗教局ハ現狀ノ儘、斯ウ云フヤウナコトニ於テ機構ノ改革ヲ爲スト云フコト、ソレカラ文部行政機構ノ改革デアリマス、前文部大臣ノ荒木サンニ之ヨリ述べマスルコトヲ御申上ゲタ時ニ、直チニ調査研究ニ取掛リマス云フコトヲ言明セラレタリトデアリマス、ソレデ現在調査研究セラレテ居ルカドウカ、ニ付テ答辯ヲ御願シ、且ツ大臣ノ御決心ヲ承リタイト思ヒマス、現在技術家ヲ尊重スルト云フコトハ、他ノ官廳ニ於テハ實現セラレテ居ル所デアリマスガ、教育界ニ於テハ大學、專門學校其ノ他ノ教育ノ資格ヲ持ツテ、現ニ働イテ居ル者ハ教育ニ就テノ技術家デアリ、專門家デアリ、是等ヲ適材適所ニ登用致シマシテ、現在ノ法科萬能主義ニ適當ニ調和スルヤウナ法科萬能主義ノ弊害ヲ或ル程度マデ矯正シテ行ク必要ハナイカ、ソレカラ地方廳ニ於テハ學務部長、課長、視學官、青年教育官ニ至ルマデ、是ハ内申權ハ内務大臣ニアル管デアリマス、是レアルガ爲ニ地方ノ教育行政官ガ動モスレバ文部省ヲ經ズルコト云フ傾向ガ從來頻々トシテ起ツテ居ルノデアリマス、ソコデ是等ノ任免ノ内申權ヲ文部大臣ニ移スコトガ極メテ必要ナコトデアリマス、必要ナリト御認メアルナルナラバ、此ノ實現ニ向ツテ御努力ヲナサル御意思ガアルカナイカ、以上御同致シマス

レノデアリマシテ、其ノ點モ能ク考究ヲ致シマス
ソレカラ藝術、科學、美術、是等ノコトハ現在ニ於キマシテモ色々ナ方面カラヤツテ居ルノデアリマス、ソレカラ法科萬能ノ弊ヲ矯メル爲ニ、法科以外ノ學問ヲ修メテ者ヲ相當採用シテ、事ニ當ラシメルコトガ宜シクハナイカ、斯ウ云フコトデアリマシテ、文部省ニ於キマシテハ十分サウ云フコトヲ考慮シテ、法科ノミデハアリマセス、色々他ノ學科ヲ修メテ者ヲ採用シテ居ルノデアリマシテ、法科萬能ノ弊ニ陷ツテ居ルト云フコトハ、少クモ文部省ニ於テハナイノデアリマス、ソレカラ地方官タル學務部長等ノ推薦權ト申シマスカ、之ヲ今日ノ如クニ内務省バカリノ管轄ニ委シテ置カスシテ、文部省カラサウ云フコトニ參加スルコトニ致シタラドウカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是モ御尤デアリマシテ、是ハ自治體ノ地方行政ノ全般ノ機構ト云フコトニモ關係スル譯デアリマスカラ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、能ク内務省ト協議ヲ遂ゲマシテ、十分ニ考究致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○平川主査 是ニテ散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス
午後八時一分散會

昭和十五年二月二十一日印刷

昭和十五年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第一類第六號

第七十五回帝國議會 豫算委員第五分科(文部省及厚生省所管)會議錄(速記)第四回

會議 昭和十五年二月二十一日(水曜日)午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ
主査 平川松太郎君
川崎 克君
北 吟吉君
吉植 庄亮君
衆務 末松借一郎君
田村 秀吉君
松本 忠雄君
松尾 四郎君
出席國務大臣左ノ如シ
文部大臣 松浦鎮次郎君
厚生大臣 吉田 茂君
出席政府委員左ノ如シ
文部事務次官 子爵舟橋 清賢君
文部參事官 仲井則宗一君
文部省專門學務局長 關口 鯉吉君
文部省普通學務局長 中野 善教君
文部省實業學務局長 岩松 五良君
文部省社會教育局長 田中 重之君
文部省宗教局長 松尾 長造君
文部書記官 永井 浩君
教務局長官 菊池豐三郎君
厚生政務次官 一松 定吉君
厚生參事官 飯村 五郎君
厚生省社會局長 新居善太郎君
厚生書記官 川村 秀文君
保險院長官 進藤 誠一君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十五年年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中文部省及厚生省所管
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中文部省及厚生省所管
○平川主査 是ヨリ開會致シマス、厚生省ニ對シテ田中好君ヨリ簡單ナ質問ガアルサウデスカラ短カク時間ヲ宜イサウデスカラ之ヲ許可致シマス——田中好君
○田中好君 委員外ノ私ニ時間ヲ御與ヘ下サイマシタコトヲ感謝致シマス、私ハ厚生大臣ニ對シマシテ少年救護ノ問題ニ付テ御意見ヲ御伺シタイト思フノデアリマス、言フマデモナク少年救護法ノ目的トシテ居リマス不良少年ノ救護ニ付キマシテハ、救護法ノオカシ形式ノ制度ハ整ツテ居ルヤウニ私共ハ存スルノデアリマスガ、不良少年ノ非社會的行爲ハ常ニ新聞ニ報道セラレテ、警察ガ取締ツテ居リマスケレドモ、マダ十分ノ感ガアルノヲ頗ル遺憾ニ思フノデゴザイマス、又警察取締ノ方カラ致シマシテモ、吾々新聞ニ報道セラレル所ヲ見テミマスルト、或ハ行過ギデハアルマイカト云フヤウナ感ガアル程度ニマデ取締ラレテ居リマスケレドモ、是ハマダ不良少年ノ救護ノ目的ガ達成セラレテナイト云フコトヲ現ハス一ツノ事實デアラウト思フノデゴザイマス、固ヨリ是等不良少年ノ發生ハ獨リ本人ヲ責ム

ベキデハナク、社會モ亦一ツノ責任ヲ持タナケレバナラス、其ノ意味カラシマシテ、少年救護法ノ制定ヲ見タヤウニ記憶シテ居リマス、然ルニ其ノ成績ハ非常ニ上ツテ居ナイ、私ノ持ツテ居リマス統計ハ或ハ古イカモ分リマセスガ、保護ヲ要スル少年ノ數ハ二萬八千人デアルト云フコトヲ同ツテ居リマス、其ノ二萬八千人ノ中デ救護院ニ收容セラレテ居ル者ハ全國ニ於キマシテ二千八百人、凡ソ保護ヲ要スル少年數ノ約一割ダケデアルノデゴザイマシテ、斯ウ云フヤウナ成績ヲ以テマシテハ、少年救護法制定ノ趣旨ヲ達成スルコトハ不可能デアルト云ツテモ差支ナイト思ヒマス、十二年ノ調査ニ二萬八千人デゴザイマスガ、今次ノ日支事變ノ發生ニ依リマシテ、出征兵士ノ家庭事情等ノ爲ニ益々増加スルモノデアラウト想像スルノデゴザイマス、之ヲ歐洲大戦ノ例カラ見マシテモ、歐洲大戦當時ニ於キマシテハ、英國等ニ於テ三五%ノ不良少年ガ増加シタト云フコトヲ聞イテ居リマス、ノミナラス股販產業ノ爲ニ又不良少年發生ノ原因ヲ作ルノデアアルマイカト云フヤウナ懸念モ致スノデアリマスガ、斯様ナ二ツノ事情ヲ斟酌シテ考ヘマスト今後益々増加スル、併シ國若クハ地方ノヤツテ居リマス救護院ノ施設ヲ以テシマシテハ、今ニ於テテラ不十分デアアル、今後増加スル場合ニ於テハドウ云フヤウナ方法デ之ヲ救護セラレル御方針デアアルカ、大臣ノ御方針ヲ承リタイノデゴザイマス

○吉田國務大臣 洵ニ剴切ナ御話デゴザイマシテ、御尋ノ趣意ニ付キマシテハ私全ク同ジ憂ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、御説ノ通り、少年救護ノコトニ付キマシテハ、救護院ニ收容シテ者ダケデ救護ノ全體ノ目的ヲ達スル譯ニ參リ兼ねル所モゴザイマス、又救護事業其ノモノガ非常ニ地味ナ、サウシテ目的ヲ達スルニ難儀ナ仕事デゴザイマスノデ、只今モソレノニ勉強シテ居ルコトハ思ヒマスガ、十分ナ成績ヲ上ゲ得ナイヤウニ見エマスコトモ御無理ノナイコトデアラウト思ヒマス、殊ニ今度ノ事變ニ關聯致シマシテ、夥シイ人口ノ都市集中ノ傾向ナリ、或ハ股販產業部面、ソレカラ出マス色々ナ弊害ナドカラ不良ナ青少年ノ數ガ殖エルデアラウト云フコトハ、私統計ヲ取ツテ見タモノニ付テ承知シテ居ル譯デアリマセスガ、洵ニ左様ナ傾向ガ顯著デアリマスノデ、ドウ云フ方策ト云ツテ、マダ私就任後具體的ニドウ云フ方法ヲ、ソレ等ノ重大ナ問題ニ對處シタラ宜シイカト云フ成案ヲ繼メ上ゲテ居ル譯デアリマセスガ、但シ洵ニ御尤モナ御説デアリマスノデ、是ハ所謂救護事業、救護院等ダケノ仕事トシテ局限シテ考ヘズニ、各種ノ産業部面ナリ、或ハ取締方面ナリ、或ハ教育方面ナリ、皆少年救護ノコトニ密接ナ關係ガアリマスノデ、ソレ等ノ各方面ト十分ナ連絡協調ヲ保チマシテ、出來ル限り不良少年ノ發生ヲ防止シテ、又不幸ニシテ左様ナ境涯ニ落チタ人ハ、大事ニ

第一類第六號 豫算委員第五分科會議錄

第四回 昭和十五年二月二十一日

至ヲ内ニ、踏ミ返シテ、立派ナ御國ノ國民トナレマスルヤウニ、十分折ヲ折ツテ行キタイト思フノデアリマス

○田中好善 御丁寧ナ御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ今ノ制度ハ今大臣ノ御シヤルヤウナコトハ到底出来得ナイト思フノデアリマス、兎ニ角二万八千人ノ不良少年ガアルト云フコトハ統計デ明ニナツテ居ルニモ拘ラス、一類ノ二千八百人シカ收容能力ガナイ、ソレデスカラ教護院ノミノ教護ニ俟タズシテ、他ノ方面カラヤルト仰シヤイマスガ、此ノ二千八百人ハ私ノ調べタ所デハ私設ノ教護院モ入レテノ數ナラザリマス、ソレ以外ニ何處ニ教護スル所ガアルカ申シマス、現在ノ所デハゴザイマセス、ソレデ此ノ不良少年増加ノ趨勢ニアル時ニ、何等マダ對策ヲ御講ジニナラヌト云フコトハ、私頗ル遺憾ニ思フノデアリマスガ、此ノ仕事ハ元來地味ナ仕事デ、餘リ人カラ歡迎セラズ、謂ハバ世間カラ隠レテ居ルヤウナ仕事ナノデアリマス、厚生省ノ社會事業トシテオヤリニナル仕事ト致シマシテモ、是ガ一番地味ナ仕事デアリマス、デスカライツモ閉却セラレテ居ル、而シテ是ガ良否ハ社會ノ各方面ニ非常ニ影響スルノデアリマス、一ツ今後篤ト御考慮ヲ願ヒタイ、私ハソレニ付キマシテ尙ホ二三ノ點ヲ御伺シタイト思フノデアリマス、ソレハ何デアルカト申シマス、現在ノ少年教護ノ制度ガ全ク成ツテ居ナイ、斯様ニ思フノデアリマス、是ハ何故カト申シマス、ト衆議院提出ノ法律案デゴザイマシテ、サウシテ漸ク政府ガ同意ヲセラレテ成立致シマシタ法律案デゴザイマス、其ノ爲カ知レマセヌガ、兎ニ角完全ナル法律トハ私共ハ認

メテ居リマセス、組織ノ問題ニ付テ見マシカト云フコトヲ鑑別スルコトガ最も必要ナク、心理上カモ見ナケレバナラス、醫學上カモ見ナケレバナラス、此ノ見地カラモ判断シナケレバナラス、此ノ不良少年ガドウ云フ性質ヲ持ツテ居ルカ、斯ウ云フ性質ヲ持ツテ居ルカラ、斯ウ云フ教護ノ方法ヲ執ラナケレバナラヌト云フヤウニ致シマシテ、初メテ事ノ完全ヲ得ルノデアラウト思ヒマスガ、ソレヲ鑑別スル所ノ鑑別機關ニ付キマシテハ、現在ニ於テ少年教護院内ニ之ヲ設置スルコトヲ得タルガデアリマシテ、其ノ實例ハ非常ニ微々タルモノデゴザイマス、地方ニ依リマシテハ、モウ好イ加減ナ、是ハ不良少年ダト人ガ言ヒ、或ハ警察ガサウ云フヤウニ言ウテ引渡シタコトニ依ツテ、ソレデ遂ニ完全ナ不良少年化シテ之ヲ取扱ツテ居ル、是等ハ全ク間違ヒテ、ソレハハハリ科學的ニ研究シ診察シテ、初メテ其ノ不良少年ノ向フベキ所ヲ教養スルノガ正當ナルト思フノデアリマスガ、其ノ鑑別機關ガ現在ニ於テハゴザイマセス、之ヲ構成上ニ於テ得タルヤウナ程度デハイケマセスカラ、教護院ニ之ヲ設置スルト云フ御考ガアルカドウカ、ソレガ一點、ソレカラ現行法ニ於テハ此ノ教護院ヲ卒業シマシテ者ハ尋常小學卒業ノ免狀ヲ下附スルコトニナツテ居リマスケレドモ、本人ノ性格如何ニ依リマシテハ、或ハ高等小學ノ課程ヲ履マシメル場合モアルノデアリマスカラ、本法ヲ改正セラレマシテ、尋常小學卒業程度ト認定スル、或ハ時ニ依ツテ高等小學卒業ノ知識アルモノト認メル、斯様ニ擴

張シテ行カレルヤウナ御考ハナイノデアアルカト云フコトガ一點、ソレカラ現在ノ組織ニ於キマシテハ、如何ナル性格ヲ持ツテ居ル不良少年デモ、何デモ構ハズニ一ツノ場所ニ收容シテ、是等ヲゴタノノ間ニ教育シテ行カウト云フコトハ、私ハ不可能デアラウト思フ、又教護ノ目的ヲ達スル上カラ言ヒマシテモ、非常ニ不得策デアラウト思ヒマス、是ハ各ノ不良性ノ種類ニ依ツテ分科シテ、之ヲ收容スル方法ヲ御執リニナル御方針ハナイカドウカ、此ノ三點ニ付キマシテ先ツ御伺シタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 洵ニ一々御尤モナ御意見ト承リマシタ、鑑別ノコトニ付キマシテハ御話ニアリマスヤウナ機關モアラウカト存ジマス、又教護院卒業者ノ資格認定ノコトニ付キマシテモ、御意見ノヤウナコトヲ心配セバナラヌノデアリマス、又不良少年ノ性質ニ依ツテ取扱方法ニソレム、特色ヲ持セルコトモ大切ノヤウニ思ヒマス、何レモ左様デナケレバナルマイト考ヘマスガ、今日ノ施設ガソレニ十分副ウテ居ラヌデハナイカト仰シヤラレバ、洵ニ左様ナ點デアラウト思フノデアリマス、本年度以降モアラウト思フノデアリマス、本年度以降モアラウト思フノデアリマス、今後引續キテ設備ヲ改善スル意味ニ於テ豫算ニ計上サレテ居ルデアリマスガ、無論ソレデ十分御期待ニ副ビ得ルト考ヘナイノデアリマス、非常ニ大切ナコトデアリマス、殊ニ時節柄不不良少年ノ殖エルデアラウト云フ顯著ナ時期ニ際致シテ居ル次第デアリマス、又モツト大キク考ヘテ、日本ノ戰時體制ヲ確立スル上ニモ、サウ云フ問題ハ眞面目ニ取扱ハネバナラヌ時節ニナツテ居ルト思ヒマス、一ツ實地ニ付キマシテ十分研究工夫サセ

テ戴キタイト存ジマス
○田中好善 ドウモ大臣ノ御答辯ガ旨クテ、遺憾ノ點ハアルケレドモ、マア研究スルト云フヤウナコトデゴザイマスガ、是ハ實際眞ニ憂フベキ事態ト思フノデアリマス、ソレカラ今費用ノ御話ガ出マシタガ、是等ハ私共ノ計算カラ致シマスレバ言フニ足ラナイ増加デアラウテ、既定額ガ十五万二千圓、今回積リサレタノガ二万六千圓アル、斯様ナコトデハ是ハドウシテモ旨ク行キマセス、ノミナラズ現在ノ法律ニ於キマシテハ二分ノ一ノ率ヲ以テ創設費ニ對シテ國庫ハ補助スル、ソレカラ其ノ他ノ費用ニ付テハ國庫ハ六分ノ一シカ費用ヲ持ツテ居ナイ、斯様ナコトヲ致シマスカラ、地方ハドウスルカト申シマス、教護院ヲ非常ニ擴張セバナラヌ必要ガアツテ、殊ニ六大都市ニ於テハサウデゴザイマスガ、建築ヲスル爲ニ、法律デ定メテ居ル二分ノ一ノ補助ヲ下サイト厚生省ニ申請スルト、金ハナイ、府縣デヤウテ置イテ呉レ、其ノ内ニハ金ヲ何トカ融通スル、ソレデハ一體幾ラ融通スルノカト言ツテ聽キマス、一千圓位ヲ預出シマシテ、十年カ十五年ノ間ニ二分ノ一ノ國庫負擔額ヲ拂ウテヤラウ、斯ウ云フヤウナ狀態ガ事實デアリマス、コンナコトデハドウ致シマシテモ不良少年ノ増加ニ備フルコトハ不可能デアルト考ヘマスカラ、費用負擔ノ點ニ付キマシテモ特段ノ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、併シ今一ツ私ハ茲デアリマス、御考慮ヲ願ツテ置カケレバナラヌ事柄ハ、現行法ノ如ク不良少年ヲ教養スルコトハ國家ノ責任デアアル、國家ノ責任デアリニモ拘ラス、之ヲ府縣ノ事業トナサシメ、

國家ガ其ノ創設費ノ二分ノ一ヲ持チ、或ハ其ノ他ノ費用ノ六分ノ一ヲ持ツト云フ此ノ補助制、是ハ間違ワテ居ルノデアリマス、カ、斯様ニ思フノデアリマス、當然國家ガヤラナケレバナラヌ仕事ヲ地方ニ執行セシメテ居ル、サウシテ地方ニ對シテ國家ガ當然ヤラナケレバナラヌ二分ノ一ノ金額モ出サナイ、又ソレヲ出スニシテ十年モ二十年モ掛ツテ御出シニナルコトハ、全ク間違ツテ居ラウ、斯様ナ事柄ハ各所ニアリマシ、獨リ教護法ノ關係ガケデハゴザイマセスガ、是ガ所謂中央地方ヲ通ズル稅制ヲ直ス場合ニ於テ非常ナ支障ヲ成シテ居ル、詰リ國家ノ仕事ト地方ノ仕事ノ分擔ヲ混同シテ居ル結果デアアルマイカ、斯様ニ私ハ思ヒマス、此ノ少年教護院ト對抗シテ居リマス司法省所管ニ屬スル矯正院、是ハ十八歲未滿ノ不良少年ヲ教護スル所デゴザイマス、十四歲未滿ノ者ヲ教養スル教護院ト性質ニ於テハ何等變リマセス、一方ハ刑事政策ノ下ニ設ケラレテ居リ、一方ハ社會政策ノ下ニ設ケラレテ居ル、然ルニ矯正院ニ關スル費用ハ全額國庫ガ支辨シテ居ルニモ拘ラス、教護院ニ限ツテ地方ガ其ノ費用ヲ分擔スルコトハ、非常ナ誤リデアアルマイカト私ハ思ヒマス、此ノ點ニ關シマシテ大臣モ同感ノ意ヲ表セラレタルコトト思ヒマス、一應御意見ヲ承リタイト存ジマス

○吉田國務大臣 御承知ノ通り教護ノ仕事ハ、司法的社會事業カラ發達致シマシテ、教護法ガ制定サレテ居ル譯デアリマス、事業ノ性質ヨリ論ジマス、洵ニ國家ノ仕事デアリマスコトハ御意見ノ通りト思フノデアリマス、出来得マスナラバ、是

ハ國家事業トシテ、國家ニ於キマシテ費用ノ全部ヲ持ツト云フコトガ理想デアアルノカモ分リマセス、其ノ邊ノ法理的ナ研究ト云フコトニ付キマシテハ、決マツタ意見ヲ申上ゲル程ノ研究ヲ私今日完成致シテ居ル譯デアリマスガ、御質問ノ御趣旨ハ洵ニ御尤モ同フノデアリマス、他ノ色々ナ仕事ニモ左様ナ事例モアラウカト思ヒマス、兎ニモ角ニモ少年教護ノ仕事ヲモウ少シ十分ニ考ヘラレバナラヌト云フコトハ、全然御同感デアリマス、今年協賛ヲ御願致シテ居リマス費用モ、丁度今御指摘ニナリマシタヤウニ地方費立替ヘテ、設備ノ充實ヲシタモノニ對スルマア借金ノ返済ノヤウナ意味デ、數年間豫算ヲ組マナケレバナラヌ、其ノ頭ガ今年出テ居ルヤウナ譯デアリマシテ、是デハ洵ニ不足デアルト云フコトハ申サデモナイ次第デアリマス、能ク御質問ノ御趣旨ヲ體シマシテ、政府ト致シマシテ十分其ノ點ニ付キ考慮シテ行キタイト思ヒマス

○田中好善 モウ一點御伺シタイノハ、先程モ申述ベマシタ通りニ、此ノ事業ハ非常ニ地味ナ仕事デアリマス、隨ヒマシテ此ノ教護ノ事業ニ從事スル職員モ非常ニ地味ナ職レタル仕事ヲシテ居ル、又小學校教員ト違ヒマシテ、兎ニ角不良兒童ヲ教養シテ完全ナ人間ニ育テル仕事デゴザイマスカラ、其ノ教護モ小學校教員ヨリハ重ク、難カシイ、斯様ナ關係ニアル職員ニ對シマシテ、現在ノ制度ハ洵ニ恵マレテ居ナイ、之ヲ私ハ頗ル氣ノ毒ニ思フノデアリマス、私ガ申スマデモナク、此ノ教護ノ事業ニ從事シテ居リマス職員ハ、朝カラ晩マデハナクシテ、一日中晝夜ヲ通ジテ、少年ノ行動ヲ監視シ、

日常生活ヲ監視シツツ不良兒童ヲ教養シテ行カケレバナラヌ所ノ中ニ困難ナ仕事デアル、我ガ子供ヲ育テルダケデモ困難デアルニ拘ラス、人ノ不良ナ子供ヲ育テテ行クト云フコトハ容易ナコトデアリマセス、又非常ニ任務ガ重イニモ拘ラス、現在ノ制度ヲ見マス、小學校教員以下ニ待遇セラレテ居ル、又其ノ任務ニ關シテ特別ノ知識ヲ授クル所モナイ、小學校ノ教員ヲ十年カ十五年勤メテ居ルヤウナ有様デゴザイマス、之ニ當ツテ居ルヤウナ有様デゴザイマス、非常ニ教養ノ目的ヲ達スルコトト違ザカツテ居ル、私ハ一ツ大臣ニ御考願ヒタイコトハ、是等職員ノ養成待遇ノ改善ニ付テ特段ノ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、承リマス、小學校ノ教員ハ年功加俸等ノ制度ガアルサウデゴザイマスガ、此ノ職員ニハ何モナイ、非常ニ恵マレテ居ナイ、御就任後日方淺イト云フ御話デ、此處ニ確實ナル御質問ヲ得ルコトガ出来得ナイヤウニ存ジマスカラ、私ノ希望ヲ一ツ申シテ置キマス、ドウカ今申述ベマスヤウナ有様デゴザイマスカラ、待遇ノ改善ト云フコト、ザイマスカラ、待遇ノ改善ト云フコト、教職員ヲ養成スルヤウナ機關ヲ御設ケ願ヒタイ、此ノコトヲ御願シテ置キマス、ソレカラ最後ニ是ハ厚生大臣一人ニ御尋シテモイケナイ問題カモ知レマセスガ、私ハ斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデス、現在ノ制度ハ十八歲未滿ノ者ヲ刑ニ觸レタ者ハ矯正院ニ入レラレ、ソレカラ十四歲未滿ノ者ハ教護院ニ入レラレコトニナツテ居リマスガ、コナ形式ノ事柄ヲ止メテシマツテ、矯正院法ト少年教護院法ト一緒ニセラレテ、此ノ不良少年ニ對スル一般ノ政策ヲ實行セラレル方ガ宜ノチヤナイカ、固ヨリ之ヲ理

痛的ニ判断致シマス、少年法ハ基礎觀念ニ於テ刑事政策カラ胚胎シテ居ル、少年教護法ハ社會政策カラ胚胎シテ居ルコトハ先程申述ベマシタ通りデアリマス、隨ヒマシテ其ノ目的モ少年法ノ方ハ懲治目的トシテ居ル、身體ヲ拘束シテ懲治スルコトヲ目的トシテ居ル、コゴガ兩者ノ非常ニ違フ所デアラウト思ハレ、又手段カラ致シマシテモ、一方ハ監視ヲシテ居ル、一方ハ家庭教育ヲアルノデアアル、斯様ナ相違ハゴザイマスガ、斯様ナ刑事政策ト社會政策トハ違フノダト云フヤウナ理論ニ立ツテシテ、之ヲ一括シテ御ヤリニナル御考ガアルカドウカ、是ハ私ハ非常ニ大キナ問題デアラウト思フノデアリマス、衆議院ガ先年教護法ヲ提出致シマシタ場合ニモ、司法省ト内務ト意見ガ合ハズシテ色々ナゴタノノガアツタサウデアリマスガ、今私ハソナコトヲ言ウテ居ル時期デハナカラウト思フ、サウデゴザイマスカラ、此ノ現在分レテ居ル制度ヲ一貫シテ、完全ニ不良少年ヲ教育スルコトヲヤウナ御方針ハアルカドウカ、此ノ點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 最初ニ御尋ニナリマシタ職員ノ養成並ニ待遇ノ向上、洵ニ御尤モト此ノ仕事ハ地味ナ且ツ難儀ナ仕事デアリマスカラ、是等ノ人々ニ對スル待遇其ノ他ハ十分氣ヲ付ケネバナラヌコトデゴザイマス、無論ソレガ悉ク十分ニ參ツテ居ルト云フ譯ニハ參リマセス、若干例ヘバ年功加俸ニ關スルヤウナ點ハ、今回提出ノ豫算ヲ以テ御願シテアルヤウナ譯デアリマスガ、尙ホ御質問ノ趣旨ヲ體シマシテ、出来得ル限リ氣

第一類第六號 豫算委員第五分科會議錄 第四回 昭和十五年二月二十一日

第一類第六號 豫算委員第五分科會議錄 第四回 昭和十五年二月二十一日

ヲ付ケルコトニ致シタト思ヒマスソレカラ十四歳未満ノ者トソレ以上ノ者トヲ一ツノ制度テ扱ツタガ宜イデヤナイカト云フ御氣付、是ハ私一存ヲ以テ考ヘ兼ネル問題デアリマスガ、御質問ノ御趣意ニ付キマシテハ、考ヘネバナラス點モアルヤウニ存ジマスノデ、十分考究ヲシテ載キタイト思ヒマス

○田中好君 私ハ是デ質問ヲ終リマスガ、ドウゾ一ツ不良少年教養ノ事業ハ大キナ問題デアリ而モ現下ニ於テ必要ナ事項デゴザイマスカラ、先程質問致シマシタ數點ニ付キマシテ、特ニ御考慮ヲ願ツテ、成ベク近い時期ニ於キマシテ、制度ノ全般的改革ヲ爲トルコトヲ切望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切リマス

○平川主査 是ニテ第五分科ハ全部ノ質疑ヲ終了致シマシタ、是ヨリ討論ニ入りマス、昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中文部省及厚生省所管及豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件ノ中文部省及厚生省所管ヲ一括シテ討論ニ附シマス、先ヅ通告願ニ依ツテ、北畠吉君

○北委員 文部省厚生省要求ノ本分科會ニ提出セラレマシタル豫算其ノ他ニ付テハ、無修正デ承認致スコトニ致シマス、豫算ノ實行ニ關スル意見ニ付キマシテハ、豫算總會テ述ブルコトニ致シマス

○平川主査 吉植君

○吉植委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマシテ、本案ニ賛成致シマス、總豫算ニ付キマシテハ、豫算總會ニ於テ申上グルコトニ致シマス

○平川主査 石坂君

○石坂(兼)委員 私ハ時局同志會ヲ代表致シマシテ本分科會ニ付託セラレマシタル各案ニ賛成ノ意ヲ表シマス、其ノ理由ニ付キマシテハ豫算總會及ビ本會議ニ於テ申述ベマス

○平川主査 討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、各案トモ原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

(總員起立)

○平川主査 起立總員、各案ハ何レモ原案ノ通り可決致シマシタ、是ニテ散會致シマス

午前十一時十分散會

昭和十五年二月二十一日印刷

昭和十五年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 豫算委員第六分科(農林省)會議錄(速記)第一回

會議

昭和十五年二月十六日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 石坂 養平君

小畑虎之助君

村松 久義君

三善 信房君

兼務

矢野庄太郎君

北 吟吉君

山本 厚三君

吉植 庄亮君

松尾 孝之君

牧野 良三君

馬場 元治君

川島正次郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 岡田喜久治君

農林省農務局長 土屋 正三君

農林省山林局長 田中 長茂君

農林省水産局長 粟屋 仙吉君

農林省畜産局長 岸 良一君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

農林省米穀局長 横山 敬教君

農林省經濟更生部長 周東 英雄君

農林省臨時農務部長 重政 誠之君

村對策部長 重政 誠之君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 石井徳久次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中農林省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中農林省所管

(第一號)昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案中農林省所管

○石坂主席 是ヨリ豫算委員第六分科會ヲ開キマス

都合ニ依リマシテ休憩致シマス

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

午後一時三十分再開

此ノ際、安産ノ促進ト減産ノ防止、構設ノ確保ニ關シテ、諸施設ヲ行ヒマ...

以上ノ外、各種ノ新規増加經費、或ハ豫算外契約ニ依ル等ノ當然増加致シタルモ...

百二十二圓三、北陸地方其ノ他雪害復舊施設ニ要スル經費六十一萬四千五百五十四圓...

○石坂主査 矢野君 百二十二圓三、北陸地方其ノ他雪害復舊施設ニ要スル經費六十一萬四千五百五十四圓...

方ニモ掲載ヲ遠慮シテ貰フヤウニ、主査カラ言ツテ下サイ ○石坂主査 ソレデハ今ノ用途別ノ所ハ、...

云フモノガ相當少カツタ關係、其ノ他ノ經濟關係カラ致シマシテ、木材ノ價格モ相當安カツタ...

ツテ相當木材ノ需要ト云フモノガ増シテ來ル、又現實ニ増シテ來ツアルノデアリ...

ノソレニ依ツテノ餘材ノ合理化ガ出來ルト云フコトモ考ヘラレタノデアリ...

○田中政府委員 私人ノ見所ニ於キマシテハ、規格ハ寧ろ簡單化シタト云ヒマス...

ガ、是等ノ用材ニ付テハ供給スルコトノ出
來ル自信ガ政府ノ方ニ於テアリマス
○田中政府委員 私有用材ノ増産ニ付テ申
上ゲタ點ハ、假ニ一定ノ木材ガアルト致シ
マシテ、其ノ木材ガ從來自由ニ、而モ需要者
ノ需要ト必ズシモガツチリ合ツテナイ規格
ナリ製材方法ニ依ツテテラレテ居ル、サウ
云フモノヲ需要ニ應ズルヤウニ、無駄ヲ省
イテ用材製材ヲヤリマス云フト、先程申
上ゲマシタヤウニ、相當ノ木材ノ合理化ガ
出來ル、所謂米ノ如キニ於テモ、例ヘバ餘
枘米ト云フノガアリマス、其ノ餘枘米ヲ相
當減ラト云フコトニナリマス、相當依
米ノ量ガ増スト云フヤウニ、木材ニ付テ
モ、十尺宜イモノガ十一尺、或ハ十二尺
ト云フヤウニナツテ居リマス、ソレヲ十尺
ニ致シマスレバ、一尺、二尺ノ餘分ガ出ル、
ソレヲ或ル一定ノ用途ニ向ケラレテ居ル
リマスガ、切端ニナレバ、ソレダケ無駄
ニナル譯デアリマス、サウ云フヤウニ制材
ト云ヒマスモノヲ合理的ニ製材スルコト云フ
コトニ依ツテ、相當ナリ用材ノ用途ヲ作ル
トガ出來ルト考ヘテ居ル譯デアリマス、御
尋ノ枕木、バルブ、資材ニ付キマシテハ、相
當吾々ト致シマシテモ苦心ヲシテ居ル譯デ
ゴザイマス、結局今後ノ木材ノ生産量ガ、
ドウ云フ傾向ニナルカニ依ツテ、是ガ需要
ヲ滿タシ得ルカドウカト云フ問題ニナル譯
デアリマス、併シナガラヤリ方ニ依リマシ
テハ、最モ必要ナリ軍需材或ハ生産擴充資材
ト云フモノニ付キマシテ、足リナイ用材ヲ
ソチラニ向ケルト云フヤウナコトモ、場合
ニ依ツテハヤリマスレバ、其ノ用途ノ需要
ヲ滿タスコトガ出來ルト思フデアリマス、
其ノ爲ニハドウシテモヤハリ或ル程度ノ檢

査ヲ致シマシテ、ソレニ依ツテ用途ヲ區分
シテ、必要ナ方面ノ需要ニ向ケテヤルト云
フコトガ、必要ナルト思フデアリマス、
サウ云フヤウナ方法ヲ採リマスレバ、其ノ
需要ヲ滿タスト云フコトハ相當出來ルト思
ヒマス、ソレニ付キマシテハ用材統制規
則ノ力ヲ、或ル程度ニ借リテ行ク必要ガア
ラウカト思ヒマス、勿論支那向ノ需要ト云
フモノハ、吾々ト致シマシテモ中々豫想ガ
付キ難ネノデアリマス、現ニ十四年度ト
十五年度ニ付キマシテハ、或ル程度ノ豫想
ヲ持ツテ居リマシタガ、吾々ノ豫想以上ニ
必要ガ起ツテ居ルヤウナ状態ニアリマス、
或ハ水害ノ爲ニ枕木ノ如キモ六〇%以上
モ、ソチラニ向ケナケレバナラスト云フヤ
ウナ、不時ノ需要モアリマスシ、支那事變
ノ進展ガ建設ノ方面ニ向ケバ向フニ從ヒマ
シテ、アア云フ無立木ノ地方デアリマスガ
ラ、ヤハリ日本ノ方カラ用材ヲ出サナケレ
バナラスト云フ事情モ、或ハ起ルカトモ思
ヒマス、サウ云フヤウナ豫想シ得ナイ需要
モゴザイマスカラ、必ズ其ノ需要通りニ向
ケルト云フコトハ出來難ネマスケレドモ、
或ル程度其ノ需要ニ於キマシテモ、場合ニ
於テハ節約シテ貫ツテ行クコトハ目下
ノ所ハナイカトモ思ヒマス、併シハ前申
上ゲマシタヤウニ、中々豫想ノ出來ナイ部
分ガゴザイマスノデ、萬全ヲ期シテ申上ゲ
ルト云フコトハ困難デゴザイマス

別ノ目的ニ立ツテ居ル、用材生産統制規則
デハ、非常ニ細カイ規格ヲ決メテ居ルガ、
ソレハ今マデ無駄ニナツタ木材ヲ有効ニ使
用サセル爲デアルト、斯ウ云フ風ニ承知致
シタノデアリマスガ、ソレデ大體誤リハナ
イデスカ

サレタト云フ場合ニ於キマシテハ、其ノ坑
木ハ別ト致シマシテ、例ヘバ現ニ此ノ用材
統制規則ニ依ラナクテモ、實ハ現ニ此ノ用材
「資材」ニ付キマシテハ、間伐ヲ獎勵致シ
マシテ、サウシテ其ノ間伐木ヲ縣或ハ縣ノ
山林課等ヲ通ジマシテ、バルブ、會社或ハ鐵
山等ニ差向ケルヤウニ、實ハ指導ヲシテ居
リマス、サウ云フヤウナ指導ヲ以テ、尙ホ
足リナイト云フヤウナ程度ニナリマスレ
バ、場合ニ依ツテハ生産サレタ材木ヲ、或
ルモノハコチラノ方ニ廻シテ賣ヒタイ、或
ルモノハアチラノ方ニ廻シテ賣ヒタイト云
フ相談ヲ、申上ゲルコトモアルカト思フ
デアリマス、山林所有者ニ此ノ山ノ木ヲ何
處々ニ向ケルト云フ所マデ、ソレ程差迫
ツテハ、今ノ所ハ考ヘテ居ナイノデアリマ
ス

○矢野委員 私有用材ノ増産ニ付テ申
上ゲタ點ハ、假ニ一定ノ木材ガアルト致シ
マシテ、其ノ木材ガ從來自由ニ、而モ需要者
ノ需要ト必ズシモガツチリ合ツテナイ規格
ナリ製材方法ニ依ツテテラレテ居ル、サウ
云フモノヲ需要ニ應ズルヤウニ、無駄ヲ省
イテ用材製材ヲヤリマス云フト、先程申
上ゲマシタヤウニ、相當ノ木材ノ合理化ガ
出來ル、所謂米ノ如キニ於テモ、例ヘバ餘
枘米ト云フノガアリマス、其ノ餘枘米ヲ相
當減ラト云フコトニナリマス、相當依
米ノ量ガ増スト云フヤウニ、木材ニ付テ
モ、十尺宜イモノガ十一尺、或ハ十二尺
ト云フヤウニナツテ居リマス、ソレヲ十尺
ニ致シマスレバ、一尺、二尺ノ餘分ガ出ル、
ソレヲ或ル一定ノ用途ニ向ケラレテ居ル
リマスガ、切端ニナレバ、ソレダケ無駄
ニナル譯デアリマス、サウ云フヤウニ制材
ト云ヒマスモノヲ合理的ニ製材スルコト云フ
コトニ依ツテ、相當ナリ用材ノ用途ヲ作ル
トガ出來ルト考ヘテ居ル譯デアリマス、御
尋ノ枕木、バルブ、資材ニ付キマシテハ、相
當吾々ト致シマシテモ苦心ヲシテ居ル譯デ
ゴザイマス、結局今後ノ木材ノ生産量ガ、
ドウ云フ傾向ニナルカニ依ツテ、是ガ需要
ヲ滿タシ得ルカドウカト云フ問題ニナル譯
デアリマス、併シナガラヤリ方ニ依リマシ
テハ、最モ必要ナリ軍需材或ハ生産擴充資材
ト云フモノニ付キマシテ、足リナイ用材ヲ
ソチラニ向ケルト云フヤウナコトモ、場合
ニ依ツテハヤリマスレバ、其ノ用途ノ需要
ヲ滿タスコトガ出來ルト思フデアリマス、
其ノ爲ニハドウシテモヤハリ或ル程度ノ檢

木ナラ坑木、或ハ薪炭材ナラ薪炭材ト云フ
ヤウニ取ツタガ、當業者トシテモ非常ニ
經濟的ナ場合ガアルコトハ御想像出來ルト
思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニ一寸指導
スルトカ、或ハ現在ノヤウニ努力ノ足ラ
ヤウナ場合ニハ、努力ノ點ニ付テモ考ヘテ
ヤルトカ、資材ノ點ニ付テモ考ヘテヤルト
カ、サウ云フヤウナコトヲ致シマスレバ、
其ノ木ノ用途ガ合理化サレマシテ、當業者
ニ取ツテモ非常ニ利益ナ場合ガアルコトハ、
私ガ申上ゲルマデモナイと思ヒマス、サウ
云フヤウナ事情デモゴザイマスシ、又國
家のニ見マシテモ、乘テラレル材木ハ、斯
ウ云フ不足ノ場合デアリマスカラ、成ベク
利用スルト云フコトガ、公益的デモアリマ
スノデ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ出來
ルダケ指導ヲシテ、合理的ニ材木ガ利用サ
レルヤウニシタイ、斯ウ云フ考デ居ルノデ
アリマス

トシテモ、何十人モ指導者ハ居ラナイと思
フ、僅ナ役人デサウ云フ指導スルト云フ
デ、コソナ煩雜ナ規則ヲ拵ヘテモ、徒ニ山
林ノ所有者ヤ木村業者ヲ苦シメルダケデ
ナイカト思フ、ソレカラ次ニ伺ツテ見タイ
ノハ、地方廳デ木材ノ検査スルコトニナ
ツテ居リマスガ、各府縣共府縣令ヲ出シテ、
斯ウ云フ検査ノ規定ヲ作ツテ居ルノデセウ
カ

幾人ニスレバ宜イコト云フ計算デセウカ、先
ヅ規則ヲ作ツテ検査スルト云フコトニ致シ
マスレバ、嚴重ニ検査スル府縣モアルダ
ラ、或ハ非常ニ緩慢ニ検査スル府縣モ
アルデアリマセウケレドモ、木材ヲ伐採ス
ル業者、或ハ製材業者、又ハ森林所有者ト
シテハ、斯ウ云フ嚴重ナル検査ヲ受ケルモ
シテハ、斯ウ云フ怖レテ居ルシ、又覺
悟致シテ居ルノデアルカラ、政府ノ方ニ於
テ検査員ガ幾人位要ルト云フコトハ、先以
テ計算ヲシテ、豫想ヲ立テ、置カナケレバ
ナラスト思フノデスカ、百石當リ幾人ノ檢
査員ガ要ルト云フ計算デアリマス

出來ル譯ガナイ、出來ルト思フノダウタラ、
私ハ農林省當局ノ常識ヲ疑ハザルヲ得ナイ
○田中政府委員 今ノハ申落シマシタガ一
年間ヲ通ジテデアリマス

○矢野委員 豫算委員第六分科會議錄
第一回 昭和十五年二月十六日

○石坂主査 沖島君ニ申シマスガ、先程大藏省ノ主計局長ノ出席ニ付テ、連絡ヲ執リマシテ、瞭解ヲ得テアツタノデアリマスガ、急ニ用ガ出来マシテ大蔵省ニ歸ラレタト云フノデ甚ダ弱リマシタノデス、ソコデ一時其ノ方ハ保留サレテ明日ニデモサレタラド政シタイト思ヒマス

○石坂主査 沖島君ニ申シマスガ、先程大藏省ノ主計局長ノ出席ニ付テ、連絡ヲ執リマシテ、瞭解ヲ得テアツタノデアリマスガ、急ニ用ガ出来マシテ大蔵省ニ歸ラレタト云フノデ甚ダ弱リマシタノデス、ソコデ一時其ノ方ハ保留サレテ明日ニデモサレタラド政シタイト思ヒマス

○沖島委員 承知政シマシタ、私ガ今日質問シ且ツ要望シタコトハ、實ハ豫算總會ノ際ニ總理大臣、大蔵大臣、各大臣ノ居ラレル際ニ、誰カカラ質問スルコトニ關係各縣ノ方々ト協議ヲ致シマシタ、所ガ到頭最後ニ一時間ト制限サレタ爲ニソレガ出来ナカウタ、今日私ノ質問シヨウトシタコトハ、早害地ニ十數縣ノ縣ヲ代表シテ申シタノデアリマス、農林省カラ近ク出サウトセラレル恒久事業費ニ付テ、マダ是非言ヘナイト云フコトハ、私ハ非常ニ結構ダト思ヒマス、未決定デアルトハ結構デアリマス、十分ニ是ハ再檢討致サレマシテ、十分ノ施設ヲシテ敷キタイト云フコトヲ希望致シテ置キマス

ソレカラ毀損シタ水田或ハ水路、湖池等ヲ修理スル上ニ因ツタコトガ一つツ突カツテ來タ、ソレハ何カト云フト、セメントガナイコトデアアル、ソレデ大變大キナ築港ノ工事ト云フモノハ出来ナイ、其ノ位ニマデ困ラウトハ豫想シナカウツガ、實際ニ當ツテ見ルト非常ニ支障ニナツテ來タ、之ニ付テハ實際此ノ頃各府縣カラ非常ニ訴ヘテ來テ居リマシテ、是ハ既ニ各地方ノ陳情ニ依リマシテ、農林省當局モ御承知デアルト思ヒマスガ、之ニ對シテハ直グ供給シテヤラスト耕地ノ回復ハ出来ナイ、是ハドウ云フ風ニ處置ヲ執ツテ居ラレマスカ承リタイ

○重政政府委員 「セメント」ニ付キマシテハ、實ハマダ「セメント」聯合會ニ配給ノ筋道ガ十分ニ立ツテ居リマセマスガ、特ニ吾々ノ方ノ關係ト致シマシテ、農業土木ニ關スル所要「セメント」ノ數量ハ緊急ニ之ヲ確保スル必要ガアルト云フ見地カラ色々商工省

トモ交渉致シマシテ、一月中ニ約七千餘噸二月ニハ六千三百餘噸ヲ各府縣ニ既ニ制當ヲ致シテ居ルノデアリマス、地方ニ依リマシテハ色々陳情等ヲ承リマス、具體的ノ特定ノ會社カラ具體的ノ府縣ニ品物ヲ渡スコトガドウモ遅レ勝チ困ルト云フヤウナコトヲ聞クノデアリマスガ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、ドウモ配給ノ筋道ガマダ十分ニ立ツテ居リマセマス、府縣ニ依ツテハサウ云フヤウナ支障ヲ來シテ居ルカト想像ヲ致シテ居リマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ出来ルダケ不渡リノ所ガナイヤウニ、必要ナル時期ニ所要ノ數量ガ渡ルヤウニテ致シテ居ル次第デアリマス

○矢野委員 一寸關聯シテ——只今「セメント」ノ問答ガアリマシタノデ、私一寸政府ニ御尋致シマスガ、私ノ地方デハ鑿井ヲ深シヤリタイト云フ希望ガ澤山アル、鑿井ヲヤルノニハ鐵管ガナクテハナラズ、其ノ鐵管ノ配給ニ付テハ農林省ノ方ニ計畫ガアリマスガ

○重政政府委員 鐵管ノ配給ニ付キマシテハ、特別ニ土木ノ爲メ鐵管ノ配給ト云フコトハ、マダ手配ガ付イテ居ラスト思ヒマス

○矢野委員 只今ノ所ハ手配ガ付イテ居ラナイナラバ、將來ハドウ云フ風ニヤラウト云フ御考デスカ

○重政政府委員 土木ニ關係致シマスル資材ハ從來ハ内務省ノ方デ物動ニ計上致スコトニナツテ居ツタノデアリマス、翌年度ノ物動カラハ其ノ所要資材ハ吾々ノ方デ物動ニ計上致スコトニ變更ヲ致ス積リデ、大體協議ガ纏ツテ居リマス、隨テサウ云フモノハ鐵管ト云フコトデナシニ、其ノ鐵管ヲ造リマス資材、或ハ鉄鐵デアルトカ、或ハ鋼

鐵ト云フノデ、原料ノ資材ノ配給ハ致スコトニナリ、ソレデ鐵管ヲ製造シテ配給スル、斯ウ云フ筋道ニ恐ラクナルコトト考ヘマス

○矢野委員 何デスカ、鋼材ナラ鋼材ノ重量デ配給ヲ受ケル、斯ウ云フ御話デスネ、所デ其ノ重量デ配給ヲ受ケルニ致シマシテモ、鑿井ヲドノ程度デ許スノカ、ドノ程度デ鑿井ヲヤラスノカト云フ計畫ガ立ツテ居ナケレバ、重量其ノモノノ要求ガ出来ナイデアラウト思フノデスガ、其ノ點ハドウ云フ御見込ニナツテ居リマスガ、私共ノ方デハ鑿井ノ要求ガ非常ニ多イノデ、何レ農林省ノ方ニ陳情ニ參ナケレバナラナイノデアリマスガ、愈々ヤリ掛ケテ、サウシテ鐵管ガ手ニ入ラナイト云フコトニナルト非常ニ困ルノデアリマスガ、序デテ御尋ヲシテ居ル次第デアリマス

○土屋政府委員 只今ノ御質問ノ鑿井ノ點デゴザイマスガ、昨年ノ早害ノ經驗ニ鑑ミマシテ、將來ノ農業水利ハ從來ノヤウニ表流水、表面ノ水ヲ河川、或ハ湖池等ニ依ツテ取ツテ居リマスガケデハ足ラナイ、ドウシテモ地下水利用スル必要ガアル、其ノ地下水ト申シマシテモ、極ク淺イ所ニアリマス所謂伏流水デハゴザイマセマス、百尺、二百尺ト云フ深イ所ノ地下水ヲ汲上ゲマシテ、之ヲ利用スルコトヲ考ヘナケレバナラナイト云フコトヲ經驗致シタノデアリマス、併シナガラ左様ナ深イ地下水ニナリマスルト愈々掘ツテ見ルマデハ出ルカ出ナイカ分リマセスカラ、一々農民ニ之ヲ直グ勸メテモ行キマセマス、慎重ヲ用意ガ要リマス、其ノ用意ヲ致シマス爲メ地方ヲ限リマシテ、政府ノ費用ヲ以テ地下水ノ調査ヲ致シマシテ、調査ヲシタ結果、是ナラバ

先ヅ間違ガナイト云フ見込ガ付キマシタモノヲ今度ハ農業土木事業トシテ使ハス、サウ云フ段取りヲ實ハ致シタイト考ヘテ居リマス、左様ナル調査ノ經費ヲ今回追加豫算ヲ貰ヒタイト、只今考究シテ居ルヤウナ譯デアリマス、地下水ノ方ハ直チニ著手スルト云フコトハドウモ危険デアラウ、先ヅ調査ガ必要ト考ヘテ居リマス

○矢野委員 既ニ農林省ノ方カラ私ノ地方ニ檢査ニ來ラレタ場所モ數々アルヤウニ聞イテ居リマス、現在ノ所ノ位調査ガ出来テ居ルノデセウカ、只今直グニ御答ヲ戴カナクテモ宜イノデスガ、現在調査ノ出来テ居ル鑿井ノ數、ソレニ要スル鋼材ノ重量、斯ウ云フモノノ調査ガアレバ、次ノ機會ニ於テ、明日ニ於テモ宜シウゴザイマスガ、御答ヲ承リタイト思ヒマス

○土屋政府委員 矢野委員ノ只今ノ御質問ハ、只今材料ヲ持ツテ居リマセスカラ、最近ノ機會ニ御報告申上ゲマス

○沖島委員 今ノ「コンクリート」ノ問題デスガ、農村ノ資材ノ問題トシテ色々他ニ大キナ問題ガアル、肥料ノ問題トカ、飼料ノ問題トカ、殆ドモウ急迫シタ状態デ、重政部長モ疲勞困憊シテ居ラレカ知レマセヌ、ソレニ比レバ、「コンクリート」ノ方ハ問題ハ小サイカ知レマセヌガ、小サクテモ御忘レニナラヌヤウニ、二十數縣ニ互ル耕地ノ復舊事業ノ爲ニ目前ニ必要ナモノデアリマスガ、此ノ配給ニ付テ一段ノ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ農林省デ今年度ノ米、其ノ他ノ農作物ノ増産計畫ヲサナルト云フコトデアリマスガ、昨年ノ早害ヲ被ツタ地方デハ極力此ノ復舊事業ニ從事シテ居リマス、ソレデモ昨年ノ早

害ガ本年ノ農作物ニ影響シテ、減收ニナツテ居ル、米トカ、ソレカラ養蠶ガ減收ニナツテ居ル、現ニ桑ノ方ハ是カラ植エテモ早害以前ノヤウナ状態ニハナラナイ、殆ド大部分ガ枯死シテ居ル地方ガ澤山アリマス、昨年ノ早害ノ影響デ米、或ハ主トシテ養蠶デスガ、本年度下ノ位ノ影響ヲ受ケテ減收ニナルカ、減收豫想ト云フカ、御見込ト云フモノガアリマスガ、アツタラ伺ヒタイト思ヒマス

○土屋政府委員 昨年ノ早害ノ結果ドノ位減收ニナルカト云フノハ、水田ノ方デゴザイマス、蠶桑ガ出来マシテ、復舊工事ヲ致シマス部分ガアリマスガ、其ノ復舊工事、復舊事業ノ分量カラ計算致シマシテ、ドウモ程度マデ復舊ガ出来、ドウモ程度マデ已ムヲ得ズ復舊ガ遅レテ間ニ合ハナイカト云フ計算ヲ致シマスレバ、多少ノ見當ハ付クト思ヒマスガ、何分ニモ、申上ゲルマデモナイコトデアリマスガ、雨ノ降ラナイコトニ依ツテ生ジマシタ早害デアリマスガ、蠶桑ノ生ジマシタ場所以外ニハ、昨年ノ早害ノ結果本年生ズルコトノアルベキ稲作等ノ減收ニ付テハ、一寸申上ゲラレナイノデアリマス

○吉田政府委員 養蠶ノ方デアリマスガ、昨年二十府縣ノ早害ノ結果トシテ減收ニナリマシタノハ、ザツト四百萬貫ダト思ツテ居リマス、其ノ續キトシテ、本年ドノ程度ノ減ニナルカト云フコトニ付テハ、正確ナコトハ申上ゲラレマセマスガ、夏秋蠶ノ方ヲ半分々ト見マスレバ、大體養蠶ニ於テモ同様ナ状態ニナルノデハナイカト思ツテ居リマス

○沖島委員 私ハ早害地ノ各地方ヲ視察シ

テ色々痛感シタコトデアリマスガ、ドウモ農林省ノ方針トシテ、小サイ面積ノ水田ヲ輕シゼラレレ傾向ガアル、五反歩以下ノモノニ殊ニ其ノ傾向ガアル、斯ウ云フヤウナ御方針デアアルヤウニ承ルノデアリマスガ、關東地方トカ、或ハ東海地方ノ如キ廣イ地域ノアル所ハ、ソレデモ宜シイノデアリマスガ、併シ日本ノ地勢カラ致シマシテ、五反歩以下ノ所謂棚田、石段ヲ積ンデヤツテ居ル所ガアリマスガ、是ハモウ山間地方ハ大部分デアリマス、ソレハ努力ヲ經費ガ餘計ニ掛リ、收穫ガ少イ、併シサレバト云フテ、ソレヲ輕視スル、ソレニ對スル施設ヲ全然顧ミナイト云フコトニナルト、相當大キナ數字ニナルト思フ、デアリマスガサウ云フ小サナ地域ニ對スル施設ニ付テハ、從來ノ御方針ヲ御改メニナツテ、モウ少シ積極的ニ面倒ヲ見テヤルト云フ風ニシテ戴キタイト思ヒマスガ、ドウ云フ風ニ御考デアリマスガ

○土屋政府委員 農林省ノ從來行ツテ居リマス灌溉用排水改良ノ施設ハ、只今沖島委員ノ御述ニナツタ通り、效果ヲ舉ゲルト云フ點カラ、専ラ大キイモノノミヲヤツテ居ツタヤウデアリマス、併シナガラ只今御指摘ニナリマシタヤウニ、地方ニ依リマシテハ、五百町歩以上ト云フヤウナ大キナ用排水事業ハヤリタテテモ出来ナイ所ガ、中ノ九州、四國ナドニ殊ニサウ云フノガ多イノデアリマス、隨ヒマシテ、近年ハ左様ナ大キナモノノミナラズ、小サナモノニ對スル湖池、水路、井堰ト云フヤウナモノヲ農用公共施設ト稱シマシテ、之ニ對スル助成金ヲヤツテ、或ハ新設シ、或ハ改良ヲシテ居リマスガ、其ノ農用公共施設ノ新設改良ト云フ豫算ノ項目デ、小サイモノニ對シ

テモ水利施設ヲヤツテ居リマス、今回ノ早害應急對策、或ハ米穀増産施設等ニ於テ、何レモ斯様ナコトヲヤツテ居ルノデアリマシテ、今後引續イテ行ヒタイト考ヘテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ施設ニ於テモ——餘リ小サイモノハドウカト思フノデアリマスガ、或ル程度ノ農用公共施設ノ改良ヲシテ行ケルト思ツテ居リマス

○沖島委員 最後ニ一言希望ヲ申述ベテ置キマス、私ハ日本内地ノ耕地ニ對スル施設ト、植民地ノ方ノ施設ガ大規模ニ行ハレテ居ルニ比較シテ、日本ノ内地ノ、農林省デヤツテ居ラレル農村地方ノ水路其ノ他ノ耕地ニ對スル施設ガ、餘リニ小出シテ、消極的デアルト云フ遺憾ニ思ヒマス、例ヘバ臺灣ニ行ツテ見マス、嘉南大圳ノ水路費トシテ國費六千萬圓ヲ投ジ、臺中州、臺南州ノ大キナ地方ノ灌溉設備ヲヤツテ居リマス、内地ニ於テモサウ云フヤウナ勢ヒデ、モウニ對スル施設ガ出来テ居リマスレバ、モウ昨年ノ如キ早害ナドハ何デモナイ、少シモ影響ヲ被ラナイ、實ニ六千萬圓ト云フ位ノ金ヲ使ツタラ、二十數府縣ノ早害ト云フモノハ問題デハナイ、斯ウ云フ外地デヤツテ居ル例ヲ見マシテモ、農林省ハ十分ニ此ノ耕地ノ施設ニ付テハ力ヲ入レテ、其ノ完成ヲ期スベク一大計畫ヲ立テナケレバ、ナラズ、是ハ林道ノ方ヲ見テモサウデアリマスガ、本年ノ豫算デモ其ノ形式ニ於テハ繼續事業デアリマスガ、其ノ内容ニ於テモ一大繼續事業ノ性質ヲ帯ビテ居ラス、是ハヤハリ此ノ方面ニ於テ將來一大計畫ヲ立テ戴キタイト云フコトヲ一言希望シテ、私ノ質問ヲ終リマス

○矢野委員 早害地ノ農民ノ中ニハ、追々米ヲ買入レルオ金ニテ窮スル者ガ甚ク...

○島田國務大臣 是ハ御話ノ通り、先般矢野君ヨリ、早害地方ノ罹災民救済ノ應急措置...

○重政政府委員 今御述ニナリマシタヤウナ事情ガ、先程申上テマシタ通りアル...

○吉植委員 何分土木期間ハアト餘ス所二月三月ノ二箇月シカゴザイマセウカラ、...

過般ノ豫算總會デ私ガ大臣ニ御尋致シ、文同僚諸君トノ質問應答、又昭和十二年法律第九十號中改正ノ法案上提日等ニ於キマ...

ニ幕シタト云フコトニ思ヒ及ビ、私ハ何カ凄マシイ相好ヲ想像ラシテ居リマシタ所、...

ルカラ、ソレヲ諒ノコトヤ米ノコトヤ肥料ノコトガ心配デ堪ラナイ、其ノ事ヲ能ク話シテ貰ツテ、縣知事ト學務部長ガコトヲ...

ハ五千六百万石、千四百万石ノ消費増トナシテ居リマス、所ガ今度ノ戰爭ニ於キマシ...

スカラ、今回モ恐ラク七千九百万石乃至八千万石ノ消費ガアル、ソコ節米ヲ行ツテ全消費石數ガ七千五百万石、斯ウ云フ推定步...

山口、福岡、長崎、是等ノモノガ全部消費... 豫算委員第六分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

モ、此ノ節米運動ト云フモノハ、餘程眞劍... 承リタイト思ヒマス

シ、又今回ノ改正法律案ガ出来マシタナラ... 豫算委員第六分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

ガ出来ル、是モ現在ノ見込デアリマスガ... 承リタイト思ヒマス

充實セシムル爲ニ、大臣ガソコマデノ覚悟ヲシ日本國權ヲ空地利用ノ耕作ト云フコトニ進出スレバ成程是ナラ米穀問題其ノ他ノ食糧問題ニ對シテ、吾々ハ暢氣ニシテハ居ラレナイト、國民全體ガ眞劍ニナリマスル其ノ一ツノ因子トナルト私ハ信ジマス、何カソコ等ニ國民全體ガ學ツテ奮ヒ立ツテ食糧對策ニ邁進スルト云フ機會ヲ與ヘナイコトニハ、何處マデ行ツテモ大臣ハ悲觀モシナイ、樂觀モシナイと言ツテ居ラレマスシテモ、國民ハ樂觀ニ傾キマス、ドウカ此ノ邊一ツ御答辯ハ要リマセスガ切ニ御考慮ヲ御願致シマス

今ノ大臣ノ御言葉ニ關聯致シマシテモウ一ツ御答辯シタイコトガアリマス、穀物ノ生産ニ當リマス、一番私共ニ大事ナコトハ農具デゴザイマス、私自己ノ體驗ヲ申上ゲマス、私ノ所デハ約四十町歩ノ水田ヲ自分デ經營致シマシテ、年々米ヲ二千五百石取ツテ居リマシテ、ソレデ必々體驗致シマシテコトハ農具デゴザイマス、普通農具ハ先ヅ一生ノ中ニ脱穀機ナラ脱穀機ニ至ル所ニハ先ヅ一生ニ脱穀機ニ一臺、或ハ二臺、脱穀機ニ致シマシテモ物ニ依ルト一代使ヒマス、物ニ依ルト子孫ニ傳ヘマス、昔ノ機械ナラ其ノ能率ガ餘リ速ヒマセスカラ其ノ良イ惡イハ直チニ農具經濟、收穫ノ生産量ニハ影響致シマセスガ、今日ノ機械ニナリマスソレガ大變影響致シマス、優良機械ヲ用ヒマシタノト、劣ツタ性能ノ機械ヲ用ヒマシタノト、同ジ一石ノ米ヲ仕上ゲマス、片方ノ機械デヤリマス碎米ガ三分ヨリ出ナイノ片方ノ機械デヤリマス碎米ガ七分出ル、斯ウ云フヤウナコトハ農具ニ於テ實際ニ携ツテ居リマス人ハ皆

體驗シテ居リマス、ソコデ私ハ先ヅ大體三年毎ニ全國各府縣ニ行ハレマス農林省後援ノ優良農具品評會ニ行ツテ參リマシテ、三年前ニ買ツテ居リマス同一ノ機械ガアリマシテモ、私ノ眼カラ見テ、又専門家カラ聽キマシテ、此ノ方ガ優良ダト云フ折紙ガ付キマス、直前ノ機械ヲ止メテソレヲ買フ、スルトソレガ一臺百五十圓致シマシテモ二千五百圓ヲ仕上ゲマス間ニ百五十圓ノ二倍三倍ノ利益ヲ受ケルコトガ出來ル、斯ウ云フコトヲ屬體驗致シマシテ、自分自身ハサウ云フ買方ヲ致シマシテ、併シナガラ一般農家、僅カ一町未滿ヲ耕シテ居ル農家ニ取ツテハ三年ニ一度サウ云フ機械ヲ買フコトハ出來マセスカラ、不利ト知リツツヤツテ居ル、其ノ結果ハ米ノ生産部面ニ於テ三分ナリ五分ナリノ損耗ヲ來スノデアリマス、八千石ノ三分デモ二百四十万石デアリマス、是ハ體驗シテ居ル人ガ皆成程サウダト首肯イテ果レル問題デアリマス、ソコデ此ノ優良農具ヲモツト安ク農民ノ手ニ渡ルヤウナ仕組ハナイモノカ、茲ニ一ツノ私案ガアリマス、今日ノ優良農具中ノ最モ優秀ナモノ二三ヲ若シ出來ルナラバ、其ノ專賣特許權ヲ國家ガ買ツテ其ノ製造ヲ何人ニモ自由ニスル、其ノ代リ農具ノ安タスル、今日ノ農具ハ大體原料其ノ他製作費ニ十五圓掛カルモノダト、吾々ノ手ニ入ル時ニハ三十五圓位ニナツテ居ル、ソレハ特許權ノ權利金ガ其ノ中ニ入ツテ居ルカラデアリマス、又ソレガ出來ナイト云フノデアレバ、十萬圓トカ五十萬圓トカノ巨額ノ懸賞ヲ掛ケテ發明ヲ募集シテ、其ノ當選シタ發明權ヲ國家ニ讓受ケルト云フ約束デヤル、場合ニ依ツテハ左様ナ際ニハ百萬圓デモ結

構テスガ、サウスルト生産能率ヲ擧ゲルノミナラズ、生産量ヲ擧ゲルコトガ出來ル、此ノ懸賞ニ依ツテ優秀農具ヲ特許權ナシニ全製作者ニ自由ニ作ラセ、是モ一方法カト存ジマス、ソコマデ邁進シテ積極的ニ農林大臣ニ出テ載キタイと思ヒマスガ、左様ナ御答辯ハゴザイマセウカ

○島田國務大臣 我國ニ於テ發明品ヲ利用スルコトハ、全體論ト致シマシテ、必要ナルコトデアリニモ拘ラズソレガ十分ニ行ハレテ居ラナイ、只今吉植君ノ御話ノ農具ニ關スルコトニ付テ御答辯ハ考ヘ方ハ頗ル結構ダト考ヘマスケレドモ、マダソレヲサウ云フ意味ノ問題トシテ之ヲ豫算ニ計上シ計畫シテ進ムト云フヤウナ程度ニ至ツテ居リマセスガ、是ハ御意見トシテ參考ニ知ツテ、他日ノ計畫ノ場合ニ考慮スルコトニ致シマス

○吉植委員 直ニ是ガ實行出來ナイトシマス、斯ウ云フコトヲ御願シタイ、今日私共ガ一番困ルコトハ、同一ノ機械デアリマシテモ、千九百三十年型ト千九百四十年型トハ非常ニ性能ガ違ヒマス、サウ云フ性能ノ違ツタモノヲ區々ニ使ツテ居リマスカラ、果シテデレガ良イカ惡イカ、比較研究ガ中申出來マセス、ソコデ千葉縣ノ農事試驗場ニ參ツテ聽キマシタガ其ノ解決方附キマセニ、鴻巣ノ農林省農事試驗場ニ參リマシテ解決ヲシテ貰ハウト思ヒマシタ、例ヘバ農林省ノ推賞スル優良農具、エトラスノ十種ノ中デレガ一番良イカ、此ノ中ニ一番良イモノガ一ツカニツアルダラウ、ソレヲ數エテ載キタイ、農業經營ノ成就ヲ擧ゲタイカラ優良ナモノヲ致エテ載キタイト云フト、ドチラモ同ジダト云フノデス、詰リ係

ノ御役人ノ方カラ言フト、其ノ中ノ一ツヲ抜キ出シテ、是ガ良イト云フト、外ノ機械屋カラ攻撃ヲ受ケラシイノデアリマシテ、唯十ナラナルモノヲ、是ガ良イト云フ切リデ、後ハドウ考ヘテモ當分載ケマセス、到頭鴻巣マデ出掛ケマシタケレドモ、ソレデモ御答辯ガナイ、後ハ致シ方ガナイカラ自分デ是ガ良イダラウト思ツテ使ツテ見テ、イケナカクツテ二年三年デ拾テテ、又新シイノヲ買ツテ使フ、デスカラ此ノ際優良農具ノ十ナラノ中デ、全農民ガ使ツテ安心ト思フヤウナモノヲ講究スル所ナク指定スル所マデ農事試驗場アツリガ進出シテ載キタイと思ヒマス、是ハ希望トシテ申上ゲテ置キマス、モウ一ツ御答辯シタイデアリマスガ、各府縣ノ農事試驗場ニハ米ニ關スル豫算ト云フモノガ比較的少イノデアリマス、丁度千葉縣ニ昭和八年ニ於テ早害ガ襲來致シマシタ、昭和十三年ニハ大洪水ガ參リマシタ、昭和八年ニ早害ガ襲來シマシタ時ニハ、千葉縣デハ何月マデ田圃ヲシテ米ガ穫レルノカ農事試驗場デハ分リマセスデシテ、ソコデ當時臨時縣會ガ開カレマシタ時ニ、一人ノ縣會議員ガ立ツテ、吉植農事ニ於テハ千葉縣ニ於テ七月何日マデ實播ヲシテ、或ハ植付ニ依ツテ米ヲ獲ツテ居ル、斯様ナ實例ガアルガ、農事試驗場ニハ實例ガアルカ、實例ガアル、然ラバ斯様ナ方法デ獎勵ヲシタラドウカト云フト、一個人ノ試驗ヲ以テ直チニ全縣下ノ指導精神トスルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ農事試驗場ノ答辯ガアツタ時ニ、左様ナ試驗場デアラナラバ試驗場ノ豫算ヲ削ツテシマヘト云フヤウナ、飛ンダ所ニ飛火シテ騒動ヲ起シタコトガアリマス、十三年ニ洪水ガ參リマシテモ

ト、農民心理ニ惡影響ヲ及ボシマシテ、田畑ニ出テ耕作致シマス時ニ、此ノ一種滿タサレザル心持ト云フモノハ増産ヲ阻害スルト思ヒマス、デアリマスカラ或ル程度カラ先ノ買上ニ付テハ消費階級、生産階級押シナベテ同一ニ強力ナル買上ヲスル、斯ウ云フヤウニシテ載キマセト、本年ノ作柄ガ心配ニ相成リマス、ドウカ將來ハ益々買上量モ大ニシテ載キタイト云フ私ノ念願ハ是非容レテ載キタイノデアリマスガ、ソレニ伴フテ、或ル程度マデノ農村ノ買上、ソレ以上ハ全消費者階級カラノ強買上、斯様ニ進シテ載キタイと思ヒマス、大臣ガ御見エニナリマシタカラ、先日ノ質問ト重複スルヤウデゴザイマスガ、是ハ大事ナ點デゴザイマスカラ御答辯シマス

左様ナ譯デ、早害デモ洪水デモ兎ニ角適期植付ガ出來マセデ、七月或ハ八月ニ實播ナリ植付ナリガ延ビル時ニ、此ノ間五箇年間ト云フモノハ千葉縣ノ農事試驗場デハ、其ノ試驗ヲシテ居リマセス、ソコデ再ビドウシタラ宜イカト云フコトニ直而致シマシテ、大變困ツテ西ヶ原試驗場カラ博士ニ來テ貰ツテ色々指導ヲ受ケテ對策ヲ講ジマシタガ、手遅レニナリマシタ、私ハドウシテ斯様ナコトヲ五箇年間打捨テテ居ツタノカ、試驗場ノ怠慢デハナイカト云フコトヲ話シマシタ所ガ、サウデハナイ、農事試驗場ニハ其ノ豫算ガナイ普通ノ豫算ハアルガ、米ノ災害對策ニ對スル豫算ガナイ、此ノコトヲ聽イテ私ハ驚キマシタ、米ハ日本ノ農業生産物ノ大宗デアリマシテ、他ハ從テアリマスガ、果樹、蔬菜、園藝ニ關スル經費ト云フモノハ相當ニアルニモ拘ラズ、斯様ニ最モ重大ナル所ノ米ニ關スル試驗ヲスルコトガ出來ナイ程ノ貧弱ナル豫算ガ渡ツテ居ル、是ハ恐ラク獨リ千葉縣ノミデハナイト確信致シマス、全國ノ農事試驗場ニ於テ千葉ト同ジク豫算不足ノ爲ニ、アキラ對策ノ時機ヲ失シテ居ル所ノ例ガ澤山アルト信ジマス、今回ノ九州關西山陰ノ早害ニ付キマシテモ、恐ラク斯様ナ問題ニ深く突進ンデ見ルト觸レテ居ルノデハナイカト私推測致シマス、是ハ戰時食糧對策ノ上カラ見マシテモ重大問題デアリマスカラ、其ノ點ニ付テ積極的ニ各試驗場ヲ御調査ノ上ニ善處シテ載キタイと思ヒマス、是モ大臣ノ御答辯ヲ御願致シマス

○島田國務大臣 只今米ノコトニ付テ各方面ニ互ツテ御話ガアリマシタガ、試驗研究費ノ不足シテ居ルト云フコトハ實ニ遺憾ニ堪ヘスノデアリマス、實際豫算ヲ請求シテ、毎年ノ計ヲスル場合ニ、科目ガ非常ニ多イ爲ニ、段々折衝シテ居リマス中ニ、結局此ノ試驗場トカ、試驗費ト云フヤウナ方面ノ、基礎ニナルベキ支出デアリナガラ間接ノ方面ニ對スル經費ガドウモ認メラレルコトガ難カシイト云フコトヲ甚ダ遺憾トシテ居リマシテ、是ハ常ニ心配ヲシテ居ルコトデアリマスガ、其ノ必要ナルコトハ十分ニ承知シテ居リマス、尙ホ之ニ付テハ年々努力スルコトデアリマスケレドモ、將來ト雖モ今ノヤウナ點ニ付キマシテハ十分努力ヲシテ、此ノ目的ニ副フヤウニシタイと思ツテ居リマス

○吉植委員 是ハ事務當局ニ御答辯シタイノデアリマス、今ノ戰時食糧政策ナドヲ見マシテモ、獨逸、佛蘭西アツリデモ、既ニ收穫ヲ見ナイ先ニ如ニ於テ賣買ヲスルコトハ法ヲ以テ禁止シテ居リマス、日本ニ於テモ昔青田賣、黒田賣ト云フコトガ農村地獄ノ際ニゴザイマシタ、田ガ植付ケラレマシテマダ種ノ出ナイ先カラ之ヲ賣ル、是ガ青田賣リデアル、又黒田賣ト云フ考一ツデ之ヲ大體宜シイ、或ハ惡イト云フ考一ツデ之ヲ安クモ高クモ買フト云フコトガアツタノデアリマシタガ、今度ハ逆ニ米穀飢饉デアリマシテ、米ノ公定價格以外ノ賣買ハ禁止サレテ居リマスガ、此ノ川一反歩幾ラデ買フト云フコトガ禁止サレテ居リマセヌノデ、今年アツリハ相當青田賣買ト云フコトガ、行ハレルノデハナイカト云フコトガ、農村アツリニ居リマスト氣遣ハレルノデアリマス、是ハハヤハリ今カラ其ノ對策ヲ講ジテ置カ必要ガアラウト思ヒマスガ、如何デゴザ

○土屋政府委員 只今吉植委員ノ御質問ニナリマシタ點ハ洵ニ御尤ト存ジマス、私共モ其ノ點ハ非常ニ心配シテ居リマス、ソレノレニ對シテ如何ナル措置ヲ講ズベキカ、至急ニ考究シテ見タイと思ツテ居リマス

○吉植委員 是ハ事務當局ニ御答辯シタイノデアリマス、今ノ戰時食糧政策ナドヲ見マシテモ、獨逸、佛蘭西アツリデモ、既ニ收穫ヲ見ナイ先ニ如ニ於テ賣買ヲスルコトハ法ヲ以テ禁止シテ居リマス、日本ニ於テモ昔青田賣、黒田賣ト云フコトガ農村地獄ノ際ニゴザイマシタ、田ガ植付ケラレマシテマダ種ノ出ナイ先カラ之ヲ賣ル、是ガ青田賣リデアル、又黒田賣ト云フ考一ツデ之ヲ大體宜シイ、或ハ惡イト云フ考一ツデ之ヲ安クモ高クモ買フト云フコトガアツタノデアリマシタガ、今度ハ逆ニ米穀飢饉デアリマシテ、米ノ公定價格以外ノ賣買ハ禁止サレテ居リマスガ、此ノ川一反歩幾ラデ買フト云フコトガ禁止サレテ居リマセヌノデ、今年アツリハ相當青田賣買ト云フコトガ、行ハレルノデハナイカト云フコトガ、農村アツリニ居リマスト氣遣ハレルノデアリマス、是ハハヤハリ今カラ其ノ對策ヲ講ジテ置カ必要ガアラウト思ヒマスガ、如何デゴザ

○島田國務大臣 只今米ノコトニ付テ各方面ニ互ツテ御話ガアリマシタガ、試驗研究費ノ不足シテ居ルト云フコトハ實ニ遺憾ニ堪ヘスノデアリマス、實際豫算ヲ請求シテ、毎年ノ計ヲスル場合ニ、科目ガ非常ニ多イ爲ニ、段々折衝シテ居リマス中ニ、結局此ノ試驗場トカ、試驗費ト云フヤウナ方面ノ、基礎ニナルベキ支出デアリナガラ間接ノ方面ニ對スル經費ガドウモ認メラレルコトガ難カシイト云フコトヲ甚ダ遺憾トシテ居リマシテ、是ハ常ニ心配ヲシテ居ルコトデアリマスガ、其ノ必要ナルコトハ十分ニ承知シテ居リマス、尙ホ之ニ付テハ年々努力スルコトデアリマスケレドモ、將來ト雖モ今ノヤウナ點ニ付キマシテハ十分努力ヲシテ、此ノ目的ニ副フヤウニシタイと思ツテ居リマス

○土屋政府委員 只今吉植委員ノ御質問ニナリマシタ點ハ洵ニ御尤ト存ジマス、私共モ其ノ點ハ非常ニ心配シテ居リマス、ソレノレニ對シテ如何ナル措置ヲ講ズベキカ、至急ニ考究シテ見タイと思ツテ居リマス

○島田國務大臣 強買上ニ關スルコトニ付キマシテハ度々御答辯シタヤウニ、政府トシテハ現在其ノ點ニ付テハ考ヘテ居リマセス、併シ之ヲドウシテモヤラネバナラヌト云フヤウハ場合ニ付テノヤリ方ト致シマシテハ、是ハ色々考ヘ方アラウト思ヒマスガ、只今吉植君ノ御話ニナルヤウナ事柄ハ大イニ參考ニスベキコトト思ヒマス、是ハ米バカリデナク、外ノ物ニ付テモヤハリ強權ヲ發動スルコトカ、強制的ニ持ツテ居ル物ヲ買上ゲルトカ、出サセルト云フコトニ付テハ餘程ノ注意ヲ要スルコトダラウト思フノデアリマス、隨テ此ノ事ハ容易ニ口ニスベカラザルコトデアツテ、行フヤウナコトガ起ル場合ニハ斯様ナコトヲ外ニ現ハシテ言フコトヲ慎ラナケレバナラヌコトト思ツテ居ルノデアリマス、併シソレハ肚ニサウ云フコトノアル場合ヲ想像シテヤツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルト困ルノデ

アリスカ、私ハ農務ヲ避ケル意味ヲ以テ、只今吉植等ノ御意見ハ参考トシテ、政府トシテハ漸次米ノ強制買上ヲスルコト云フコトニ付テハ、考ヘテ居ラナイト云フコトヲ申上テ御答ニシタイト思ヒマス。

○三善委員

私ハ先般農務委員會ニ於テ農林大臣ニ質問致シマシタノデ、今茲ニ重ネテ質問ヲ致スコトモ如何カト考ヘマシタケレドモ、時間ガ餘リ少ナカウツノデ重ネテ御答致シタイト思ヒマス、他ノ委員會ニ行ツテ居リマシタノデ、或ハ他ノ委員會カモ御答キニナツタコトガアルカモ知レナイト思ヒマス、若シ重複シマスナラバ洵ニ恐縮デゴザイマスケレドモ御許願ツテ置キタイト思ヒマス。

○石塚委員

第一、本年ノ米デアリマス、米ニ付テハ私ハ先般農務委員會ニ於テ私ノ觀ル所ヲ申上テ置キマシタガ、政府ハ又政府ノ觀ル所ニ依ツテ各々觀方ノ相違ガアリマス、本年ノ米ハ、先程吉植君ノ言ハレタヤウニ、或ハ悲觀、樂觀ノ兩方面ガ現ハレテ居リマスガ、只今大臣ガ必要ガアツタ場合ニハ外米デモ、或ハ外米デモ買ウンダカラ、政府ノ氣持ハ分ララウト云フコトデ、ソレハ能ク諒解シマス、唯私ハ數字ノ點ヲ爭フコトハゴザイマセス、私ハ本年ノ米ハ相當境期ニハ不足ヲ生ズルヤウナコトニナリマシナイカト云フコトヲ心配スル者デアリマスカラ、其ノ點ニ立脚致シマシテ、今少シク御答致シタイト思ヒマス、ソコデ現在簡米トシテ代用食ノ獎勵或ハ酒米ノ節約ガ行ハレテ居リマスガ、酒米ハ是ハ大藏省ノ方デ許可シナイト云フコトニナレバ、遑石高ニ依ツテ自然決マツテ參リマス、即チ

百五十万石ヲ少クスルト云フコトハ決マツテ參リマス、唯一番私ガ簡米ノ中デ政府ノ思ツテ居ラレバキウニ果シテ行カドウカト思ハレバ、ハ七分搗ノ問題デアリマス、今日ノ新聞ニモ載ツテ居ラナイト思ヒマスガ、七分搗ヲ調ベテ見ルト、ヤハリ八分マデ搗イテ居ルト云フヤウナコトデ、胚芽ガ残ウテ居ルト云フハ非常ニ少イ、殆ド胚芽ガ取レテシマツテ居ルト云フヤウナコトデアラガ、果シテサウ云フコトデアツタナラバ、政府ノ所期セラレテ居ルヤウナ簡米ハ出來ヌデハナイカ、七分搗ニ依ツテハ少ク共出來ヌデハナイカ、斯ウ考ヘマス、ソコデ唯米ガ足ラナイカラ七分搗ヲセナレバナラヌト云フヤウナ考ヘ方モ、或ハ一通リノ考ヘ方カモ知レマセスケレドモ、私ハ寧ろ七分搗ハ國民ノ營養ノ上カラ言ツテ宜シイト云フ結論ニ達シマシタナラバ、此ノ方面カラ獎勵スルコトガ其ノ一つノ方法デアハナイカ、斯様ニ考ヘマス、米ノ百分中、大體澱粉ガ七五%デアリマシテ、蛋白質ノ脂肪ガ二〇%デアリマス、其ノ外備カガ他ノ含有物デアリマス、御承知ノ通りニ澱粉、蛋白質ハ表皮ニ近イ所ニアリマスノデ、白ク爲セバ爲ス程、澱粉、蛋白質ナドノ營養分ガ除カレマシテ健康増進ノ上カラ又ク保健衛生ノ上カラ言ツテモ、營養價值ガ非常ニ少クナリマスカラ、此ノ點ヲ國民ニ能ク理解セシメテ、サウシテ七分搗ニ唯簡米ノ意味デナクシテ、寧ろ國民ノ保健、衛生ノ上カラ營養食トシテ之ヲアラナレバイカスト云フコトヲ國民ニ徹底セシメマシタナラバ、唯一時的デナク、今後國民ノ保健、衛生ノ上ニ於テキマ

シテ有效デアリシ、又一面我國ノ食糧問題ノ上カラ考ヘマシテモ效果のデハナイカ、斯様ニ考ヘマスノデ、此ノ點ヲ農林省ガデカウコウニ考ヘテ居ラレマスガ、既ニ衛生試驗所等ニ於テシマシテハ、七分搗ノ方ガ營養價值ニ於テ遙ニ多イト云フコトノ結論ニ達シテ居リマスガ、若シサウデアルトスルナラバ、之ヲドウシテ國民ニ徹底セシムルカト云フコトニ付テ御答ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○島田國務大臣

只今三善君ノ御答ト云フヨリ寧ろ御意見デアリマスガ、私ハ全然其ノ考ヘ方ニ賛成デアリ、サウ云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ進ム必要ガアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、此ノ七分搗ノコトハ御承知ノ如ク前内閣ノ當時混食、七分搗ハ簡米ノ方法トシテ考ヘテヤラレタコトデアリマスガ、現内閣ニナリマシテモ、單ニ簡米ノ意味デ七分搗ヲヤルト云フコトハ強制シナイノデ、ソレデ本當ハ精白シタモノガ欲シイノダケレドモ、外カラ色々言ハレルカラ七分搗デヤルト云フ、斯ウ云フ考ヘ方ハ簡米ノ意味ニ於テモ徹底シナイト云フノデ、此ノ點ハ今御話ノ保健衛生ノ上カラ七分搗ガ宜イノダト云フ見地カラ、此ノ方面ニ付テハ、寧ろソレヲ第一ニシテ厚生省ノ方面カラ保健衛生ト云フ方カラモ特ニ獎勵シテ貰フ、サウシテソレト同時ニ簡米ニナルノダト云フヤウナ考ヘ方デ、厚生大臣ニ御話シマシテ、其ノ方面ニ大イニ力ヲ注イテ貰フヤウニ、吾々ノ方モ亦其ノ意味ニ於テ協力ヲシ、農林省トシテハ簡米ノ方面カラ之ヲ勸メテ行ク、其ノ外精神運動員トカ云フヤウナ運動等、有ル場合ニ於テキマシテ、先ツ大體ノ考ヘ方トシテ、簡米ニナルケレ

ドモ、其ノ根本義トシテハ、是ハ保健衛生ノ上ニ非常ニ宜イモノダト云フコトノ意味ニ於テ、之ヲ獎勵シテ行クヤウニシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、既ニ此ノ事ハ數回厚生大臣ニモ話シマシテ、厚生省ニ於テモサウ云フ意味デ指導シタイト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、恰度三善君ノ御考ト能ク一致シタ考ヲ持ツテ居リマスノデ此ノ事ヲ申上テ置キマス。

○三善委員

私ノ先刻申上テマシタノト全然一致シタ御答ヲ御持チ下サルコトハ洵ニ結構デアリマスガ、私ハサウ云フ風ニ政府自身ガ御考下サルナラバ、之ヲ徹底セシムルコトガ必要デナイカト思フガ、マダ厚生省アツリ之ニ手ヲ著ケテ居リマセス、私ハ國民ノ心カラナル協力、而モソレハ國民ガ今マデ白米ガ宜シイト思ツテ居ラヌノヲ、七分搗ガ營養上宜イ、又國民ノ保健衛生ノ上カラ言ツテモ宜イト云フコトヲ十分徹底セシメマシタナラバ、國民ハ喜ンデ之ニ應ジテ來ルノデハナカラウカ、ソレガ簡米節米ニモナツテ來ルト云フヤウニナツテ行キマセスト、唯米ガ足ラヌカラ節米ダト云フコトニナリマスルト、ソコニ國民ノ間ニ異様ナ感ジヲ起サセマスカラ、農林省ノ方カラ特ニ厚生省ニ十分御協議ヲ願ツテ、是ガ十分徹底スルヤウニ致サセタイト思ヒマス、御答考マデニ申上テ置キマスガ、之ヲ徹底セシムルニハ小學校ノ教育ニ特ツテ行ツタガ一番宜イ、厚生省ハカリデナク、小學校ノ先生ガ子供ノ營養ヲ見テ、是ハ白イデハナイカ、國民ノ營養上是デハイカス、保健衛生ノ上カラ七分搗デナイトイカス、斯ウ云フコトヲ能ク言ヒマス、學校ノ子供ハ先生ノ言ハレルコトヲ一番能ク聞

キマスカラ、是ガ一番徹底スル、ダカラ獨リ厚生省ノミナラズ、文部省トモ能ク協議シテ唯無運ニ節米ダト云フコトデナク、營養價值ノ上カラ論ジテ行キマス、子供モソレヲ守ツテ行キマス、ソレガ又國家ノ爲ニ或ハ國民ノ保健衛生ノ上ニ貢獻スルコトガ出來マシテ洵ニ宜イコトト思ヒマス、此ノ點ハ特ニ農林省ニ於テハ厚生省ノミナラズ、文部省方面ニモ一ツ働キ掛ケルヤウ御配慮願ヒタイト思ヒマス、要スルニ本年ノ米ハ相當農林省ガ努力ヲ拂ツテ下ラナレバ、不足ヲ生ジハシナイカト思ヒマスガ、之ニ對シテ外米ノ輸入ト云フコトガ考ヘラレテ居リマス、モウ既ニ相當輸入サレテ居ルコトト思ヒマス、又契約等モサレタコトデアルト思ヒマスガ、獨リ米バカリデナク小麦ヲ輸入スル、兎ニ角諸國デモ、麥デモ食フ物ガアリサヘスレバ不安ハ感ジマセスガ、食糧品ガナイト云フコトハ國民生活ノ上ニ一番不安ヲ感ゼサセマスノデ、私ハ米ヲ考ヘラレルコトモ其ノ一つノ方法ダト思ヒマスケレドモ、我國財政ノ今日ニ於テキマシテハ、ヤハリ麥ノ輸入ヲモ相當考ヘナレバナラズ、今横濱等ノ一等麥ハ百斤九圓、二等麥ハ八圓四十錢デアアル、之ヲ外米ノ値段ト比較致シマシタナラバ到底御話ニナラズ位安イデアリマス、而モソレハ國民ノ食糧品トシテ安心シテ多數貯藏ガ出來ルト云フコトデアリマシタナラバ、此ノ米ト併セテ、寧ろ麥ノ方ヲ輸入シナケレバナラズト云フコトニ御考ヲ願ツタ方ガ食糧政策ノ上カラ餘程國民ガ安心スルノデハナイカト考ヘマスノデ、此ノ點ヲ伺ツテ置キマス、尙ホ米ノ問題ニ對シマシテハ、集荷ノ問題ガアリマスガ、我國ニハ管外移

動米ト云ヒマスガ、縣ノ外ニ移動スル米ガ約千四百萬石乃至千五百萬石アル、此ノ縣外ニ移動スル米ヲ押ヘテ行キサヘスレバ、先ツ國民全體ニ對シテ食糧ヲ適當ニ供給スルコトガ出來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマスノデ管外移動米ダケヲ、少クトモ一元的ニ統制サレル必要ガアルト思ヒマスガ、現在デハ或ハ臨時配給組合トカ、或ハ移入米ハ日本米數株式會社ガ取扱ツテ居ルトカ、又政府モ買ツテ居ルノデアリマス、斯様ニ集荷ガ區々デアリマスガ、配給ハ此ノ際一元的ニヤラレルト云フコトハ、相當ノ日子ヲ要スルコトト思ヒマスガ、少クトモ集荷ノ方ハ一元的ニヤラレタ方ガ、今日ノ如キ米穀事情ノ時ニ於テハ之ヲ國民ノ全體ニ向ツテ適當ニ供給スルコトガ出來ルノデハナイカト思ヒマス、少クトモ管外移動米、一元集荷、或ハ外米及ビ移入米等ノ一元的集荷ト云フコトニ付キマシテ、政府ハ何カ御考ニナツテ居リマスガ、其ノ必要ヲ認メスト云フ御考デアリマスガ、此ノ點ヲ御伺ヒテ置キマス。

○島田國務大臣 第一、外米ノミナラズ、外米ノコトニ付テ御話デアリマスガ、是ハ只今ノ狀態ニ於テキマシテハ、政府ガ外米ヲ買付ケルト云フコトハ、爲替等ノ關係モアリマスシ、尙法令ノ關係モアリマシテ、ソレ等ノ爲ニ只今法案ヲ提出シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、隨テ直チニ外米ヲ買付ケルト云フコトハ申上テ置キマスケレドモ、併シナガラ米ニ付テ考ヘルト同時ニ、麥ニ付テモ考ヘナレバナラズト云フコトハ、色々ナ點カラ氣付イテ居リマス、尙ホ左様ニ次第デアリマスカラ、之ニ對シマシテハ可能ナ程度ニ於テ、計畫ヲ盛ラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ集荷ノコトデアリ

マス、是ハ昨年ハ八十一萬噸輸入シテ居リマスガ、今年ハドノ程度ニ輸入サルカ分リマセスガ、是ハ肥料ト飼料トノ問題ガ非常ニシテシカカウテ來ルヤウデス、飼料ガ足ラヌコトハ御承知ノ通りデアリマス、而モ飼料ハ動物ニ與ヘルノデアリマスガ故ニ一日モ缺クコトガ出來ナイ問題デアリマスカラ、ヤハリ滿洲ノ大豆粕ハ相當飼料ノ方ニ特ツテ行カレバナラズ、殊ニ先程私ガ申シマシタ通りニ、愈々七分搗ガ徹底的ニ行ハレルヤウニナリマスルト、今マデ動物ノ飼料トシテ米糠ヲ用ヒテ居ツタ、其ノ米糠ガ二十萬噸少クナルコトニナリマスカラ他ニ求メナレバナラズ、而モ第三國カラ來ル所ノ糠ノヤウナモノハ來ナイト云フコトデアリマスガ、飼料ノ缺乏ト云フモノハ相當ナ量ニ達スルト思ヒマス、ソコデ滿洲ノ大豆粕ノ飼料ト肥料トニドウ云フ風ニ御分ケニナルカ、飼料ノ方デハ是非多クヲ取リタイ、肥料ノ方モ亦多クヲ取ラナレバナラズ、斯ウ云フ風ナ形ニナツテ來マス、一ツノ大豆粕ニ對シテ兩方面カラ分ケテ行クマシレバ非常ニ窮屈ニナル、サウ云フコトヲ考ヘマス、肥料ト飼料トニ對シテドウ云フ風ニ緩和スルコトガ出來ルカ、果シテ政府ハ之ニ對シテドウ云フ成案ヲ持ツテ居ラレバカト云フコトニ付キマシテ、肥料ト飼料兩方面ニ付キマシテ、國民ノ安心スル程度ニ御説明ヲ願ケバ結構ダト思ヒマス。

○島田國務大臣

只今ノ確安ノ關係ダケ私カラ御答申シマス、本日ノ通信大臣ノ御話ニ依リマス、二十日以後ニ於テハ大體電力ハ二割制限、平均關東方面ニ於テハ電話アリマスガ、二割制限ニ緩和スルコトガ出來ル、三割制限ニ緩和スルコトガ出來ル、肥

料ノ生産ノ方ニ對シテハ一割制限位或ル程度マデハ係ニシテヤルコトガ出來ル、尙ホサウ云フ風ナ状態ニナレバ尙ホ肥料ニ對シテ餘裕ノアル限リ全部ヲ供給スルコトガ出來ルヤウニ、電力ノ方ハ手配ヲスルト云フコトヲ本日通信大臣カラ報告ヲ得テ居リマ

タ供給セラレルト云フコトニナルト思ヒマス、併シテガ前年ニ比レバ少クトモ前年ノ供給數量ヲ下ルト云フヤウナコトニハナラヌコト考ヘテ居リマス

○三善委員 肥料ノ問題ハ重大ナ問題デアリマスガ、只今ノ説明デハ私ハ満足スルコトガ出來マセヌ、窒素肥料ニ對シマシテハ確定モ豫定ノ通り製造ガ出來ナイシ、今大臣ノ言ハレマシタヤウニ、或ハ一割減位電力ヲ供給スルトカ、或ハ電力ハ出來ルガ多ク供給スルト云フコトデアツ

テモ、現在ノ電力ノ状態デハサウ期待スルコトハ出來ヌデハナイカ、斯様ニ考ヘマスルノデ、確定モ豫定ノ數量ノ生産ハ出來ナイ、石灰窒素モ其ノ製造ガ出來ナイ、之ヲ補フ爲ニ智利硝石モ輸入セラレタ、或ハ外安モ輸入セラレタ、其ノ不足ヲ滿洲ノ大豆ノ精製メヨウト言ハレタ、其ノ唯一ノ望トスル滿洲ノ大豆ノ精製メヨウト言ハレタ、是ハ肥料ノ方面ニ持ツテ行カケレバナラヌコト云フコトニナリマスレバ、肥料ノ缺乏ト云フモノハ當然起ルベキ問題デアルト思ヒマス、又肥料ノ方モ先程ノ米糠ノ量ガ少クナ

○重政政府委員 滿洲ノ大豆ノ問題ニ付キマシテ御質問ガアツタノデアリマスガ、滿洲ノ大豆ハ御述ニナリマシタヤウニ、最近飼料ガ不足致シマス爲ニ此ノ滿洲大豆ニ依ツテ飼料ヲ供給スルト云フコトガ、非常ニ重キヲ爲シテ參ツテ次第デアリマス、ソコデ當初滿洲國ト協定ヲ致シマシテ前年ニ比シテ二十六萬噸増ノ輸入ヲスル、斯ウ云フコトデ而モモレハ相當程度確保ノ補給分トシテ使フ豫定モ立ツテ居リマシテ、ソレモ、現狀ニ於キマシテハサウ云フヤウナコトハ中々困難ナ状態ニナツテ參ツテ居

ルノデアリマス、二月分トシテ配給ヲ各府縣ニ約十萬噸ヲ致シタノデアリマスガ、其中ニハ勿論飼料モ相當程度入ツテ居ルノデアリマス、殊ニ軍用保護馬ノ飼料トシマシテハ、殆ド新ナル需要ガ相當部分ニ起ツテ參ツテ居ル關係モアリマスノデ、肥料ノ關係トシテハ相當程度當初ノ見込ヨリ少

シ、困難ナ状態ニ立入りマスカラ、農林省ノ内輪テ飼料ニ幾ラヤル、肥料ニ幾ラヤル、コシテ總テハ優先シテ全力ヲ擧ゲテヤルト云フコトニナラレタナラバ、此ノ問題ハ解決スルノデハナイカト思フノデアリマスノデ

○島田國務大臣 何レモ大切ナ問題ニ付テ御質問デアリマス、此ノ部屬團體、團體

○重政政府委員 御話ノ有機質肥料ガテラ混合致シテ、非常ニ高ク農村ニ賣付ケルト云フヤウナコトガアリマスレトハ、承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、豫算總會等ニ於テモドナタカラカ、サウ云フ御話ガアリマシタガ、是ハ其ノ弊害ガ相當現ハレテ參

ハ大體之ヲ作ツテ、農家ヲ欺罔シテ高ク賣付ケルト云フヤウナ者モ、或ル程度アルコトハ知ツテ居リタノデアリマスガ、現在ニ於キマシテハモウ其ノ製造ハ禁止ヲ致シテ居リマス、ソレカラ肥料ノ配給統制ニ付キマシテハ、重要ナル肥料ガテラヤツテ、アトノ例ヘバ有機質ニ付テモ、棉實種デアルトカ、或ハ椰子ノ油種デアルトカ、或ハ茶種

○三善委員 是ハ總テノ有機質肥料ニ及バナイト、配給ガ皆行キマセヌ、石灰ノ二舞ヲ踏マレルト同ジコトニナルノデスカラ、ドウシテモ全部ノ有機質肥料ヲ統制シテヤラナケレバナラヌ、統制スルナラバ徹底的ニヤラナケレバナラヌ、中途半端ニヤルト又ヤリ損フ、ガカラヤラレバナラバ、ドウシテモ徹底的ニ行ハナケレバ有機質肥料及ビ混合肥料ハ開取引ガ行ハレ、又配給モ非常ニ不調滑ニナツテ參リマス、ガカラ此ノ點ヲ一ツ十分御考ササツテ、統制ヲ加ヘラレバナラバ、有機質肥料ニ對シテ十分ノ統制ヲ加ヘラレバ宜イト思ヒマス、尙ホ初メテ出來タ會社デアルカラ、今カラ直グ手ガ廻ラヌト云フコトハ、是ハ御七モデアリマスレドモ、來年度ノ肥料カラ漸次

林大臣ハ果シテ手ヲ下シ得ラレマスルカドウカ疑問デスケレドモ、此ノ際特ニ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

ノ統制ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ地方制度ノ改正等トノ關係モアルノデアリマ...

マシテ、團體ノ統制等ニ付テハ成ベク之ヲ實行シタイト云フヤウナ希望ヲ持ツテ居...

ツタラドウデスカ、今日ハ林道モ作ラナケレバ...

アリス、一ツハ農産物價ノ問題ト増産ノ關係...

リマシタシ、獎勵スル者モ獎勵ヲ受ケル農...

ウニ御考ニナツテ居ルカ、御考シタイト思...

鬼毛角モ十四年産ノ小麦ノ價格ト御諒承願...

シテ適正デアルカドウカ、此ノ事ニ付テハ...

メルト云フコトデアルカラ、希望トシテ只今御話ノヤウニ左様ナ場合ニ米ノ價格ト混ミ合スト云フヤウナコトニ重キヲ置イテヤルコトハイカスト云フ御注意ナラバ、ソレハ確シテ承ツテ大イニ參考ニ致シマスケレドモ、農林省ノヤリ方トシテ米ト混ミ合シテヤルコト云フ物價ノ考ヘ方ハ間違ッテ居ル、斯ウ云フヤウニ指摘サレマス、左様ニ單純ナ考ヲ以テヤウテハ居リマセスト御答スルヨリ外ハナイノデアリマス、併シサウ云フ意味デハナカラウト私ハ思ヒマスカラ、今ノ御話ノ米ノ價格ト混ミ合シテヤルコト云フ考ヘ方デハ、増産計畫ノ場合ニハ目的ニ副ハナイ結果ヲ生ズルト云フ御意見ニ付テハ、ソレハ參考ノ意見トシマシテ、決定ヲスル場合ニ十分注意ヲスルコトニ致シタイト考ヘマス

○石井徳久次君 私人ネテ申上ゲテ見タイト考ヘマスガ、今日ノ農民ノ農業ハ單ニ農民ノ生業ト考ヘルノハ間違ッテ居ルノデハナイカト考ヘマス、自由選擇栽培ヲ許シテ居ツタ時代ナラバ、農民ノ生業ノ爲メ農業ガ、斯様ニ極々簡單ニ片付ケテ宜イト考ヘマスケレドモ、今日デハ國家國民ノ食糧保有ノ爲メ農業デアアル、斯ウ云フ使命ガ大分附加サレテ居ルト考ヘルノデアリマス、隨テ私ハ農産物ノ價格ノ決定ニ付テハ、既ニ米穀統制法ニ依ツテ決ツテ居ル米價ノ標準、或ハ色々ナ條件ニ付テモ、相當ニ御考慮ニナル必要ガアルノデアリマス、即チ戰時食糧保持ノ立場カラ考ヘテ、相當ニ御考慮ニナル必要ガアルノデアリマス、私ハ左様ニ考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナ意味カラ考ヘテモ、私ハ食糧問題ノ解決ト云フコトニ付テハ極

力御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、唯農村ノ犧牲バカリ強ヒテハナラナイ、現在農村ハ有ル犧牲ヲ忍ビテ國策ニ順應シテ生産ニ從事シテ居リマスガ、農民ノ犧牲ニ於テノ此ノ食糧問題ヲ解決スル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デハナイカモ知レマセスケレドモ、偶々農産物價ノ上ニ現ハレテ参リマス結果カラ見マス、或ハサウ云フ風ニ考ヘラレテ居ルノデハナイカ、斯様ナ疑ヒナキ能ハザルモノガアリマスカラ、是非トモ戰時食糧ノ解決ハ唯農村ノ犧牲ノミニ依ツテスルト云フヤウナ考ハ止メテ戴キタイ、斯様ニ希望致ス者デアリマス、隨テ米穀ノ價格、或ハ先程申上ゲマシタ難穀ノ價格、斯ウ云フモノヲ解決メニナル場合ニモ此ノ考ヲ土臺ニシテ決メテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ希望スル者デアリマス、或ハ物價政策ト云フヤウナコトカラ、米ノ價格、或ハ小麦ノ價格、斯ウ云フモノヲ上ゲルコトハ或ハ困難ナコトガアルカモ知レマセスケレドモ、若シ上ゲルコトガ困難デアラバ、別ナ救済ノ方法ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、農民ノ犧牲ノミニ依ツテ解決ヲスルヤウナ考ヲ一擲シテ戴キマシタナラバ、國家モソレニ對シテ犧牲ヲ拂フコトヲ考フ其處ニオ持チニナラナケレバナラスト思フノデアリマス、大臣御就任ノ際ニ車中談デアリマシタカ何カデ發表サレテ居リマシタ國家モ相當犧牲ヲ拂ハナケレバ云スト云フコトハ、是ガドウ云フコトヲ意味スルモノカ私ハ存ジマセスケレドモ、少クトモ私共ハ今申上ゲマシタヤウナ考ノ下ニ大臣モ御話ニオツタノデハナカツタカト當時考ヘテ居ツタノデアリマス、何卒米ノ價格ノ決定、或ハ難穀ノ價格ノ決定ト云

フコトニ付テハ、唯以前ノヤウナ考ヲ地摺シテ戴イテ、戰時食糧ノ解決ト云フ觀點ニ立ツテ決メテ戴キタイト云フコトヲ申シマシテ、第一問ヲ打切ツテ置キマス、次ニ御申上ゲタイト考ヘマスノハ、鑛業被害地復舊ニ關スル問題デアリマス、是ハ主トシテ福岡縣ノ大キナ問題デアリマス、勿論全國ノ鑛業ガ段々發達シテ参リマスト全國的ノ問題トナルト考ヘマスガ、現在ニ於テハ殆ンド福岡縣ノ問題デアリマスガ、是モ幸ニシテ農林省ノ御努力ニ依リマシテ、昨年ノ帝國議會ニ於キマシテ、鑛業法ノ改正ガ見ラレマシタ、隨テ其ノ責任ノ歸趨スル所モ判明致スト云フコトニナリマシタ、鑛業法ニハ明ニ鑛業ニ依ル所ノ被害ノ賠償責任ガ決ツタノデアリマス、此ノ點私共ハ洵ニ其ノ御努力ニ對シマシテ御禮ヲ申上ゲルモノデアリマス、私ハ是ト關聯ヲ致シマシテ、農林當局ニ御相談ヲ申上ゲマスルト共ニ、又聊カ農林當局ニ對シマシテ不平ヲ申上ゲタイコトガアルノデアリマス、鑛業法ノ改正、所謂鑛業被害地ノ復舊、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ實ニ長イ間ノ問題デアリマシテ、私共ハ此ノ法律ノ出來ル爲メハ殆ド十數年ノ間關ツテ参ツタノデアリマス、其ノ當時私共農林省ノ方ニ度々参リマシテ御意見モ拜聴シ、難堪モ受ケタノデアリマスガ、隨分古イコトデアリマシテ、私共記憶ニアル所ヲ辿リマシテモ、松村眞一郎氏ガ次官デアラレマシタ時分デアリマス、ソレ以來ズツト續ケテ來タノデアリマスガ、當時ノ方々ノ吾々ニ對スル所ノ指導ト申シマスカ、難堪ト申上ゲマスルカ、サウシタコトハ、農林省ハ兎モ角モ宜イノダ、商工省ニ於テ鑛業法ノ改正ガ出來テ責任ノ所在ガ明ニ

ナツテ來レバ、既住ノ關係ハドウモ仕方カナイガ、既往ノコトハ農林省ノ責任ニ於テ解決スル、併シナガラ將來際限ナク起ツテ來ル所ノ此ノ鑛業被害ニ對シテ、ソレヲ際限ナク國家ガ補償スルト云フ譯ニハ行カス、農林省ノ責任ニ於テ補償スル譯ニハ行カスカラ、商工省ニ先ヅ一ツ鑛業被害ニ對スル所ノ責任ノ所在ヲ明ニスルヤウニ前達ハ相談ヲシロ云フヤウナコトデ、爾來私ハ商工省ニ對シテ陳情ヲシ御相談ヲ申上ゲマシテ、到頭昨年鑛業法ノ改正ト云フコトニ至ツタノデアリマス、而シテ今度ノ鑛業法ノ改正ニ依リマス、非常ニ責任ガ明ニナリマシテ、サウシテ又其ノ責任モ過去ニ互リマシテ被害ヲ及ボシタルモノハ連帶ヲシテヤル、横ニモ連帶ヲシテ加害者ニ於テ賠償ノ責任ヲ果スト云フヤウナコトニ相成ツタノデアリマス、隨テ農林省ノ今マデノ方々ガ、今マデノモノハ仕方ガナイカラ、將來ノ保證ガ付ケバ、今マデノモノ全部ヲ解決シテヤルト仰シヤツタコトカラ見マスルト、法律ニ依ツテ決定ヲ致シマシタ所ノ賠償ノ責任ハ農林省ニ取リマシテハ非常ニ仕合せニナツテ参ツタト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、福岡縣ニ於キマス所ノ鑛業被害地ハ約八千町歩ニ及ンデ居ルノデアリマス、其ノ八千町歩ガ現在被害ヲ受ケテ居ル所ノ被害地デアリマスガ、其ノ被害ハ若シ初メ御話ニナツテ居リマシタヤウナコトデアラナラバ、是ハ農林當局ニ於テ御解決願ハナケレバナラス所ノ段別デアツタト考ヘマスガ、先程申上ゲマスルヤウニ、鑛業法ノ改正ハ過去ニ適ツテモ責任ノ明カナルモノニ對シテハ責任ヲ負ハセルト云フコトニナリマシタガ故ニ、現在ニ於キマシテハ是責任ノ歸

趨サレヌ所ノ被害地ト云フモノハ五百八十町歩ト云フコトニ相成ツテ参ツタノデアリマス、若シ鑛業法ガ農林省ガ初メ言ツテ居ラレタヤウニ將來ニ對スル問題ダケヲ決メテ居ツタトスルナラバ、現在ノ八千町歩ハヤハリ農林省ノ手ニ於テ解決シテ貰ハナケレバナラナカツタノガ、過去マデモ題及スルト云フコトニナリマシタガ爲メ、今申上ゲマシタヤウニ五百八十町歩ト云フコトニ相成ツタノデアリマス、隨テ私共ト致シマシテハ、此ノ五百八十町歩ハ何トシテモ農林省ノ手ニ於テ救済ヲシテ貰フ、復舊ヲシテ貰フ、斯ウ云フコトヲ主張シナケレバナラヌト云フコトニナツテ参ルノデアリマス、然ルニ之ニ對シマシテ勿論當局ノ御努力モアリマシタガ、今年カラ向フ五箇年ト云フ計畫ヲ以テ二百九十町歩、詰リ半分ノ段別ニ對シマシテハ四割補助ヲ以テ何トカシヨウト云フヤウナコトニ相成ツタヤウデアリマスガ、私ノ申上ゲルノハ此ノ五百八十町歩ニ對シテ、何故ニ御計畫ガナイカ、或ハ年度割ガ延ビマシテモ、五箇年計畫ガ十箇年計畫ニナリマシテモ、此ノ五百八十町歩ニ對シテ何故ニ御計畫ガナイカ、或ハ將來ニ互ツテ先ヅ五箇年計畫ヲ以テヤツテ、残り又五箇年計畫ヲ以テヤルノダト云フ御考カドウカ分リマセヌガ、先ヅ此ノ残りノ二百九十町歩ト云フモノヲ如何ニサレルカ、斯ウ云フコトガ私ノ質問ノ要點デアリマス、過去ニ於キマス所ノ一應ノ經過ヲ申上ゲマシテ、其ノ考ニ對シテ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 只今ノ問題ハ石井君ノ出身ノ府縣ニ關スル事柄ノヤウデアリマシテ、具體的ナ事柄ニ付キマシテハ能ク事務ノ方

ニ就テ聽キマシテ御答ヲシタイト思ヒマス
○石井徳久次君 サウシマス、他日ノ機會ニデモ……
○島田國務大臣 サウ致シマス
○石井徳久次君 ソレデハ私ハ此ノ問題ハ此ノ程度ニ致シテ置キマス、是デ私ハ質問ヲ終ルコトニ致シマス
○石坂至查 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午後一時ニ開會致シマス、午後五時四十七分散會

第一類第七號 豫算委員第六分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

第一回 昭和十五年二月十六日

第七十五回帝國議會 豫算委員第六分科(農林省)會議錄(速記)第二回

昭和十五年二月十七日(土曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 石坂 養平君

小畑虎之助君

村松 久義君

三善 信房君

吉田 賢一君

松尾 四郎君

工藤 鐵男君

川崎 克君

吉植 庄亮君

松尾 孝之君

牧野 良三君

小山 亮君

田村 秀吉君

篠原 義政君

富吉 榮二君

矢野庄太郎君

北 吟吉君

山本 厚三君

加藤 知正君

肥田 琢司君

三宅 正一君

島田 俊雄君

岡田喜久治君

松木 弘君

土屋 正三君

長茂君

栗屋 仙吉君

二月十六日本分科所屬員沖島謙三郎君及林春孝君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十七日篠原義政君及吉田賢一君當選シ本分科所屬ト爲リタリ

分科委員長左ノ如シ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 岡田喜久治君

農林參事官 松木 弘君

農林省農務局長 土屋 正三君

農林省山林局長 田中 長茂君

農林省水産局長 栗屋 仙吉君

農林省畜産局長 岸 良一君
農林省蠶絲局長 吉田 清二君
農林省米穀局長 横山 敬教君
農林省臨時農 重政 誠之君
村對策部長
農林書記官 岡本 直人君
馬政局長官 村上富士太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中農林省所管
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中農林省所管
第一號昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案中農林省所管
石坂主席 是カラ開會致シマス——山本厚三君

○山本委員 農林關係ノ豫算ハ随分多岐ニ互ツテ居リマスガ、私ハ唯其ノ中ノ水産關係ニ付テ、極メテ簡單ナコトヲ御尋シタイト思ヒマス、一ツハ北洋漁業ノ統制ノコトデアリマス、昨年ハ北洋漁業ノ日露協定ニ付テハ大分採メタノデアリマスガ、今年ハ幸ニ暫定的デハアルガ收マツテ居ルヤウデアリマス、之ニ關聯シテ歴代ノ政府デ北洋漁業ヲ統制セナケレバナルマイト云フコトハ非公式ニ度々伺ツテ居ツタノデアリマスガ、目下ドウ云フ方針デアリマスカ、伺ヒマス

○島田國務大臣 北洋漁業ノ統制ノコトハ御話ノヤウニ問題ニナツテ居リマスガ、之ヲドウ云フ形ニシテヤルノガ政府ノ考ヘテ居ル統制ノ目的ニ一番合致スルカト云フコトニ付キマシテ、色々事情ニ即シテ研究ヲシテ居リ、或ル意味ニ於キマシテハ此ノ事柄ハ相當機運モ熟シテ居ルヤウニ見ラレル點モアルノデアリマシテ、所謂統制ノ目的ニ副フヤウナ形ニ於テ其ノ實現ヲ致シタイト云フ考ヲ以テ、當業者等ノ方面ニ付キマシテモ左様ナ考ヲ以テ接觸致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體以上御答致シマス

○山本委員 今ノ政府ハ之ヲ急遽ニ御實行ニナル御計畫デアアルカドウカ、此ノ問題ニ付テ一ツ申上ケテ置キタイコトハ、北千島ノ漁業ハ洵ニ微細ナモノデ、取ルニ足ラヌモノデアツタノガ、豫想外トコロデハナイ、豫想ヲ超越シテ非常ニ巨額ノ收獲ニナリマシテ、非常ナ大キナ水産資源ニナツテ居リマスガ、北海道ノ管轄下ニアル北千島ノアノ莫大ニ鮭、鱒ノ漁業モ、是ハ北洋漁業トシテ露領漁業ト同一ニ見テ之ヲ合併スルト云フヤウナ御解釋デアリマスカ、大體御決マリニナツテ居レバ伺ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 統制スル場合ニハ大體ツレヲ含メル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ進ンデ居ルノデアリマス
○山本委員 アノ邊ノ鮭鱒ノ漁業ヲ統制スルト云フノミカラ見レバ、自然サウナルカト思ヒマスガ、北海道ノ管轄内ニアル島デアリマスガ、アレダケハ別ニ切離シテ貫ヒタイト云フ意見ガ非常ニ多イ、道廳當局モ歴代サウデアリマスガ、水産業者モサウデアリマス、ソレト云フノハアレヲ許ス趣旨ガ、今日デハ資本家ノ手ニ皆買收サレテシマヒマシタガ、北海道ノ從來ノ鮭其ノ他ノ漁業ガ非常ニ衰微シマシテ、其ノ救済策デアレヲ許シタ、ソレガ色々ノ關係カラ今日ニナツテ普通ノ會社事業ニナツテ居リマスガ、併シソレデモマダ彼處ニ關係シテ居ル人ガ、個人デ非常ニ澤山アルノデアリマス、之ヲ大資本家デヤツテ居ル北方ノ露領及ビ公海ニ於ケル漁業ナドト一緒ニスルコトハ、餘程御考ニナラナケレバナラヌ點ガアリマスカラ、目下御研究中トアレバ其ノ事一ツ御參考ニシテ置キタイ、只今ノ御答辯ノヤウニ一緒ニスルト云フ考ガケデハ、納マリ兼ネルカモ知レマセヌカラ、其ノ點ハ十分ニ御考慮ヲ願ヒマス、次ニ私ノ伺ヒタイコトハ、近來流行物ノ如クニ讀出シテ來ル國策會社ト云フモノデアリマスガ、アナタノ方ノ御管轄ノ會社ノ中ニ、一ツ私共ノ方カラ見ルト非常ニ良クナイコトデアルト思ツタ會社ガ一ツアリマス、其ノ名前ハ日本海產物販賣株式會社ト云フ名前デ、最近出來タバカリデアリマスガ、之ヲ作ル時ニ輸出海產物組合ト云フモノヲ全國的ニ御作りニナツテ、私共ノ委員ノ一人ニナツタノデアリマスカラ、創立スル時ノ御話ハ聽イテ居リマスケレドモ、其ノ後今度ハ組合ガ日本海產物會社ヲ作ル段取ニ至リマシテ、洵ニ私共ノ納得シ兼ネル點ガ多クアリマス、殊ニ最近ニ至ツテ其ノヤリ方ヲ見マスルト、今日デハ作ラナクテモ済ンダラウト云フ

點が澤山アリマス、所謂屋上屋デアリマス、今改メテ私ガ其ノ當時ノ關係者ノ一人トシテコソナ事ヲ聽クノハ妙デアリマスガ、前局長ハ其處ニ山林局長トシテ控ヘテ居リマスケレドモ、是ハ今日ハ關係ガナイ、又其ノ他ノ係ノ方モ全部選ツテ居リマスカ、此處デ一ツ當局ノ御意見ヲ伺フテ置キマスガ、此ノ會社ハ一體何ノ必要デスウ云フ無駄ナ經費ヲ使ツテヤツテイヤツシヤルノカ、之ヲヤツテ居ル本當ノ目的ヲ一ツ伺フテ見タイ、若シ大臣ガ何デシタラ局長デモ宜シウゴザイマス

○粟屋政府委員 日本海産物會社ハドウ云フ目的デ以テ運營シテ居ルカ、ドウ云フ目的ヲ以テ其ノ成立ヲ圖ツタカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ先ヅ内ニアツテハ此ノ海産物ノ會社ヲ取扱ツテ居ル所ノ五品目——昆布、貝柱、乾鮑、其ノ他ヲ含ム五品目ニ付キマシテ、從來其ノ中間ニ介シテ居リマス所ノ多クノ業者ガ、或ハ思惑ノ目的トシ、其ノ間ニ生産業者ヲ取ルベキ所ノ利得ヲ相當ニ搾取シテ參ツヤウナ事實モアリマス、又今日ノ戰時經濟トナリマシテハ、之ヲ國民營養或ハ軍需、或ハ貿易等ニソレソレ計畫ノニ仕向ケル必要ガアルデアリマシテ、ソレニハ從來ノヤウニバラ／＼ナ立場ニ於テ取引ヲ爲サシメテ居ルト云フコトデハ、生産業者モ不利ヲ被リマスシ、今日ノ戰時經濟ニ適シナイ所ガアルデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテハ一層メニシテ、サウシテ計畫ノ第三國或ハ四國「プロテクト」等ニ輸出スル、サウ云フコトヲ致シマスト共ニ、生産業者ヲ出來ルダケ保護致シマシテ、其ノ福利ヲ圖ツテ行キタイ、此ノ目的ヲ以テマシテ生レタモノデアリマシテ、

コトハ二十年前ノ話デアル、是ハモウ昔ハ搾取デハナクシテ、高利貸ト同ジニ無擔保デ漁業ノ仕込ヲスルモノデスカラ、月二分云フヤウナ高利ヲ取ツテヤツタ、所ガ北海道ノ漁業家ト云フモノハ皆其ノ時ニ高利ヲ借りタノデアリマスガ、ソレデ大漁ヲシタ者ハ大金持ニナリ、下漁ヲシタ者ハ潰レテシマツタ、ガカラ搾取デモ何デモナイ、搾取サレテ大キクナツタ人バカリデアリマス、是ハ高利貸ト同ジコトデスカラ、併シ今デハ止メテシマツタ、ソレハ二十年前ノ話デア、アノ時ニ昆布ナドノ例ヲ仰シヤツタガ、ソレハ昆布ノ産地ヘ行ツテ聽クト——粟屋サンハアチラニ行ツテ居ラレタカラ御承知デセウガ、アノ時昆布採リニハ一年ニ二割四分、即チ月ニ二分ノ金ヲ貸シタ、是ハ酷イ危險ヲ冒シテ貸シテ居ツタノデス、ソコデ商人ガ非常ニ搾取スルコトヲ居リマスケレドモ、搾取モ何モシテ居ラナイ、實際ヲ御覽ニナラナイカラ、ソコトヲ言フ、昆布ナドモ搾取ハ出來マセス、ソレカラ帆立貝柱ヲ養海鼠ナドモ皆ナ組合ガ出來テ居ツテ、ソレハ小樽ト函館ト組合ト協定價段デヤツテ居ル、例ニバ此ノ帆立貝柱ノ方ハ百斤四百三十圓位シテ居ル、昔ハ八十圓位デアツタガ、ソレハ電報モ手紙モ汽車ノ便モナイ所デ、八十圓ノモノヲ二圓カ三圓胡麻化シテ儲ケテ居ツタ、仕込ハ資本金ヲ貸シテ居ツタカラ、價段ヲ決メル權利ガアツタ、是ハ惡イコトデアルケレドモ、承知デアツテ居ル、金ヲ借りナレバ商賣ガ出來ナイ、斯ウ云フコトガ北海道ノ漁業ノ組織デア、ソレガ道廳ガヤカマシタナツテ、干渉シマシテ、サウ云フ風ニシテ居リマスカラ、何モソコトナ平ヲ言ツテ居ル人ハア

リマセス、ソコデ突然コソナ組合ヲ作ツテ會社ヲ作ルト云フコトヲ立案シタノハ、是ハ實ハ水産當局デハナイノデス、水産當局以外ニ之ヲ計畫シタ人ガアツテ、現ニソレガ重要ナ理事ニナツテ居リマスガ、是ハ私ハ重要會議ノ時ニ豫言シテ居ツタ、之ヲ計畫シテ事務理事ニナリ、課長ニナル人マデ私ハ知ツテ居ツタガ、其ノ人達ガ確ニナツテ居リマス、ソレハアチラノ方ノ役人デハナイノデアリマスガ、其ノ點ハ私ハ農林當局ハ少シモ間違ツテ居ナイと思ツテ居リマスガ、之ヲ作ル時ノ事務官ノヤツタヤリ方ト云フモノヲ全輸出業者ハ反對シマシテ、小樽ニ於テハ滿場一致デ反對シマシタ、函館ハ滿場一致デ反對シタ外ニ、函館市長、商業會議所會頭ノ名前デ、百何十人ト云フ商人ガ死シマフコト云フノデ、大會ヲ開イタ、根室ハモットヒドイ、警察署ノ二階ヘ生産業者ヲ集メテ、強談判ヲヤウナコトヲ言ツテ決メテ來タ、然ルニコソチヘ歸ツテノ報告書ト云フモノヲ見ルト、大體諒解ヲ得タト云フテ報告シテ來タ、デスカラ要スルニ是ハ強壓ノ二作ツタ會社デアリマシテ、何モ喜ンデ居リマセス、私ハ其ノ時ニ忠告シタノデスケレドモ、今日デハ瞞サレタト云フテ憤慨シテ居ル、生産業者ノ全部ノ團體ト云フモノハドウ云フ譯デアアルカト云ヘバ、一例ヲ擧ゲルト、北海道ノ漁業組合聯合會ト云フモノガアツテ、輸出海産物ノ八割五分位ヲ出シテ居リマセウ、此ノ連中ガ東京ヘ呼バレテ何ト説得ヲ受ケタカト云ヘバ、是ハオ前達ニヤラシテモ宜イケレドモ、是レノ今述ベタ國策ノ理由デ會社ヲ作り、其ノ會社ニ集荷モサセル、法律ニ依ツテ全部其ノ會社ニ品物ヲ集メテ、商人ニハ集メサセ

ス、其ノ上ニ其ノ商品ヲ全部才前達ノ手デ海外ヘ輸出ヲサセテヤルト云フ書付ガチヤント出テ居リマス、ソレニ依ツテ先生方ハ私ノ言フコトヨリハアナタ方當局ノ言フコトノ方ガ利益ナモノダカラ賛成シタノデス、所ガ其ノ會ガアツタ時ニ——是ハ他ニモアツタカモ知レヌガ、私ハ反對シタ、今マデ商人ガヤツテ居ツテ何等ノ差支ガナイモノヲ全部取上テ、此ノ會社ニ輸出サセルト云フコトハイケナイ、其ノ當時一番大キイノガ日魯漁業、太平洋漁業、日本水産會社デスガ、其ノ社長、専務ガ來テ居リマシタ、斯ウ云フ二重ノ手數ガ掛リ、三十五萬圓モ手數料ヲ拂ハナクテハナラス馬鹿ナ會社ヲ作ル必要ガアルカ、ソコナ手數料ヲ拂ハナクテモ、其ノ中ノ一部ノ手數料ヲ無事ニ濟ンデ居ツタ此ノ商賣ヲ、君達ハ何ノ爲ニ進ンデ賛成スルカト云フ所ガ、此ノ日本ノ會社ノ社長ヲ専務ハ、實ハ自分達ガヤツテ居ツテモ何モ差支ナイ、コソナコトヲサセラレト困ルケレドモ、農林當局ニ反對スルト云フコトハ僕等ハ出來ナイ、吾々ハ非常ニ大キナ仕事ヲシテ居ルノダカラ、先ヅ七八萬圓損ヲシテ犧牲ニナルト思ヘバ宜イ、戰爭デモ濟メバコソナコトハ止メニナルカラ、マアソレマデ目ヲ瞑ツテ居ルノダト云フコトヲ三人共言ツテ居ツタ、小樽、函館、札幌邊リノ商人ハ皆泣き入デアリマス、要スルニ是ハ強壓的ニヤツタ、サウシテイザヤルト云フ時ニナルト、商工省モ之ニ反對スルシ、私達モ反對シマシタ、私モ一精ニ呼バレテ居リナガラ、一人デ堂々ト反對ヲヤツテ來マシタ、其ノ爲カドウカ知ラスケレドモ、海産輸出ト云フコトヲ此ノ會社ニ今ハヤラセナイ、輸出組合ノ聯合會

ヲ作ツテ協定デアルト云フコトニ、アナタノ方ト商工省ノ方トノ協定ガ付イタ結果、今日サウ云フコトニナツテ居ル、ソレデアリマスガ、初メ參加シテ連中ハ非常ニ憤慨シマシテ、ソレハ話方違フデハナイカ、ソレナラ漁業組合聯合會等デヤツテ居ツタ方ガ、ズツト經費ガ少クテ宜シイ、斯ウ云フノガ一ツデアリマス、今一ツハ、價段ガ高クナルト仰シヤルケレドモ、價段ハ高イモ高イモ、殆ド突飛ナ價段ニナツテ居リマスガ、是ハ此ノ會社ガ出來ル前デアリマス、今局長ハアチラコトヲ言フケレドモ、ソレハ書イタモノヲ引續イデ仰シヤルノデアツテ、實際御調ニナツテ御覽ナサイ、九、一八ノ價段ヲ御調ベナサイ、今協定價格委員會ト云フモノヲ北海道ノ水産會デヤツテ居リマス、適正價格モ出來マセウガ、間ニ合ハスカラ、協定價格ヲヤレト云フ命令デアツテ居リマス、其ノ協定價格ハ幾ラカト云ヘバ、海鼠ノ乾シタ海鼠ト云フモノノガ驚ク勿レ百斤ガ百圓カラ二百圓位シテ居ツタモノガ、千二百三十圓ノ協定價格ヲ道廳ガ認可シマシタ、帆立貝ノ貝柱ト云フ粒ニナツテ居ルモノガ、八十圓カラ百圓位致シテ居ツタモノガ、四百二十五圓ニナツタ、是ハ九、一八ノ價段デアリマスガ、何モ此ノ會社ガ出來タカラ上ツタノデハナイ、今日デハ物價ノ公定價格ガアツテ、制限ガアリマスガ、其ノ間ニ商人ガ立ツテ胡麻化スナント云フコトハ一厘モ出來マセス、現ニ協會ガ出來テ居ツテ、チヤント決メテ居ルノデアリマシテ、先達此ノ會社ノ人ガ北海道ニオ出デニナツタケレドモ、喧嘩ニナツテシマツテ、到頭協定ガ出來マセス、之ヲ御調ベナサイ、仕方ガナイカラ北海道漁業組合聯合會長ガ仲裁ヲシテ決メテヤツタチヤアリマセスカ、何ノ此ノ會社ノ必要ガアリマスガ、ソレデスカラ今デハ、道廳ト申シマスガ、北海道漁業組合聯合會ノ責任アル役員ガ私ノ所ニ來テ——明日アチラモ來ルサウデアリマスガ、何トカ是ハ農林省ニ御願ラシテ戴イテ、解散ラシテ貰ヒタイ、ウルサクテ仕樣ガナイト云フノデス、金ガ多ク掛ツテ、手數ガ多ク掛ル會社ガカラ、有害無益ダト言ツテ居リマス、サウ云フ者ノ陳情モ十分御聽ニナルト分ルガ、今御述ニナツタコトハ其ノ當時ノ記録デアリマス、局長ハ今述ツテシマツテ、新シイ關係ノナイ部下カラ御聽ニナリ、御調ニナツテ、ソコナ一通リノ御答辯ヲ下サツタ所デ、私ニハ分リマセス、是ハ一ツ能ク御調ニナラヌトイケマセス、ソレカラ是ハ私ハヒドイと思フカラ、阿部内閣デモ米内閣デモ能ク一ツ議會デ懸談ラシテ見タイと思ツタ所ガ、内閣ガ二ツモ選ツテシマツタ、ソレノミナラズモツトヒドイノハ、是ハ大臣ニモ一ツ今後御注意願ヒタイノダガ、——被害者カラ見ルト大問題ノコトナノデス、個人ノ生活問題デス、ソレヲ強壓シテ、恐ロシイコトヲ事務官ガ來テ言ツテ居リマス、オ前達ハ日本ノ經濟組織ガ全體主義ニナツタコトヲ知ラスカ、ソコナコトヲ言ツテ威カシタリシテ居ル、ソレマデニシテ、無理ニ手ヲ捻ツテ、規則ヅクメデヤツテ置イテ、今度ハ談判、陳情ニ行カウト思ツタラ、局長ハ陸ニ上ツテシマツテ、山林局長ニナリ、水産課長ト申シマスガ、其ノ時ノ責任アル課長ハ農務課長カ何カ農務ノ方ニオ出デニナツテシマツタ、モウ一人ノ課長モ畜産課長カ何カニオ出デニナツテシマツタ、ソレヲ起案シタ

フヤウナ考へ方モアツタヤウニ何ツテ居リマス、サウ云フヤウナ色々ナ議論ガアリマシタガ、水産組合ガ昨年ノ三月三十一日ニ生レマシテ、サウシテ其ノ後更ニ會社ノ成立ニ向ヒマシタガ、此ノ間ヤハリ新シク出來ル會社ガ直接輸出スベシト云フ意見モアリ、又サウ云フ所マデ會社ガヤツテハ輸出業者ノ生業ヲ奪フカラ、ソレハヤラヌ方ガ宜イト云フ意見モアリマシテ、色々研究ヲ致シマシタ結果、其ノ會社ハ集荷ヲスルコトヲ其ノ使命トシテ、サウシテ其ノ集荷ヲ致シタモノヲ、輸出業者ノ集リテアル所ノ貿易組合ニ渡シマシテ、貿易組合ハ之ヲ其ノ從來ノ實績等ニ依リマシテ、ソレノ輸出業者ニ其ノ品物ヲ渡シテ、サウシテ輸出スルコトニ、商工省、農林省共ニ意見ガ一致致シマシテ、輸出業者ノ團體ガ生レ、茲ニ又海産物會社ガ生レマシテ、其ノ後ハ輸出組合ノ人々ト海産會社ノ人々ト共ニ委員會ヲ作リマシテ、常ニ圓滿協同、話合ヲ致シマシテ、貿易ノ目的ヲ達スルヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、極メテ其ノ間ノ事情ハ圓滿ニ推移シテ居ルノデアリマス、御話ニ依リマスト非常ニ無駄ナ手數料ヲ澤山取ルト云フ御話デアリマスケレドモ、手數料ニ付キマシテハ、極メテ低率ナノデアリマシテ、海産物會社ハ二割ノ手數料ヲ取ルトデアリマス、ソレカラ水産組合ニ〇・二割、合セマシテ二・二割ノ手數料ヲ取ルトコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ以前ニ漁業組合ノ單位組合ニ、輸出品ニ付テ手數料ヲ出シマスコトハ、以前カラモヤツテ居ルノデアリマシテ、是ハ二・五割乃至三割ノ程度ノモノヲヤツテ居ルノデアリマシテ、之ヲ合セマシテ四・二乃至四・五割程度ノ手數

料ヲ取ルニ過ギナイノデアリマス、北海道聯合會ハ手數料ヲ取りマセズ、全漁聯手數料ヲ取ラナイノデアリマス、サウ云フ程度ノ手數料ノ下ニ總テノ品物ヲ其ノ會社ニ集メマシテ、サウシテ之ヲ團「プロダクト」或ハ第三國ニ輸出スルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、手數料等ニ付キマシテハ決シテ業者ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ程度ノモノニナツテ居ラナイノデアリマス、從來モ同様デアツタト云フ御話デ、或ハサウデアルカモ知レマセヌガ、全國ノモノヲ一ツニ集メマシテ、サウシテ貿易ニ計畫性ヲ與ヘテ行クコトハ、ドウモ今日ノ戰時經濟トナリマシテハ必要ナヤウニ考ヘラレルトデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ著々ト仕事ヲシテ居リマスノデ、十月カラ今日マデ輸出致シマシタ金額ニ付テ見マシテモ、既ニ一月末マデハ八百五十萬圓程度、ソレカラ更ニ二月ニ入りマシテ二百萬圓ノ増ヲ見テ居リマスガ、約一千萬圓ノ輸出ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ初メノ計畫ニ依レバ、三月マデハ九百萬圓程度ノ輸出ヲ見計畫デアリマシタガ、既ニ豫定ノ計畫以上ニ業務ガ進シテ居ルト云フヤウナ状態デアリマシテ、先ヅ此ノ會社ノ業績ト致シマシテハ、健全ニ發達シテ居ル考ヘルノデアリマス、又役員等ニ非常ニ澤山ナ人ヲ用ヒマシテ、無駄ナ經費ヲ使ツテ居ルト云フ御話デアリマスガ、此ノ役員部ト數ハ極メテ少イノデアリマシテ、會社幹部ト云フヤウナ人ハ別ト致シマシテ、職員ニ屬スル人ノ數ヲ合ハセマシテ四十五人デアリマス、是モ東京ニ本店ガアリマシテ、其ノ他ニ函館、札幌、神戸等ニ支店ガアリ、根室、長崎其ノ他ニ出張所ヲ設ケマシテ、其ノ全體

ト思ツテ居リマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘマス、ヤハリ全國ノ一體ツテ裁キテ、サウシテ戰時經濟ニ貢獻ヲシテ裁キテ、斯ウ云フ考カラ、切ニ北海道ノ參加ヲ願ツテ來タヤウナ次第デアリマス、併シナガラ私共モ此ノ會社ノ現在ノ狀況ヲ以テ萬全ナリトハ無論考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、益々業務ノ運轉ニ付キマシテハ、緊縮ヲ圖リ、注意スベキコトハ大ニ注意ヲ致シマシテ、サウシテ此ノ會社成立ノ目的ヲ達成シマスヤウニ指導シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

ノヲ、之ヲ集メテ來テ供給スルト云フコトハ中々困難デゴザイマス、現ニサウ云フ實例モアリマシテ、團「プロダクト」ノ關係ヲ調整シテ行ク上カラ致シマシテモ、相當ノ物ヲ澤山ニ集メテ彼ノ地ニ送ラナケレバナラヌト云フヤウナ實例ガ段々アルノデアリマシテ、サウ云フ場合ニヤハリ總テガ一括サレテ運ラレテ居ルト云フコトガ、非常ニ有效デアアルノデアリマス、其ノ意味ニ於テキマシテ、此ノ會社ノ存立ノ意義ガアルト思ヒマス

トガ分リマスガ、アナタ方ガ——水産局長ナドガ天降リニ入ツテ行クト云フコトナラ、私共攻撃ハシタケレドモ適任ナラバマダ宜シイガ、内務省ノ地方官ガ突然入ツテ來テ、相當ノ高給ヲ貰ツテ、サウ云フ組合ノ事務理事ニナルニ至ツテハ、是ガ一番官界ノ弊害デス、現職者デハナカツタケレドモ、ソシナコトヲシテ行クカ行カスカハ、御考ニナレバ直グ分ル、今御話ニナツタ今ニ一千万圓ニナルト云フコトハ、是ハアナタ方ソシナモノヲ御作リニナラナクモ自然ニナリマス、株式會社デモ上ニ坐リ込メテ居ルヨリ、本當ノ商人ニヤラセバ命懸ケデモリマスガ幾ラデモ殖ヤシテ行キマス、現ニ今日殖エテ來タ、物價ノ下落ト言フト知ラヌ人ハ本當ニシナイガ、今根室ノ昆布ガ八千圓シテ居ルガ、滿洲東邊ノ時ニハ三百圓ニ下リマシタ、今度ノ支那事變デハ七百圓ニ下ツタ、アナタ方ニソシナモノノ額マナクテモ皆、吾々デ折折ツテ組合デ三十萬圓、五十萬圓ノ金ヲ借りテ、七百圓以下デハ賣ツテハナラヌ、若シ下ツタラ幾許賣、開相場、是ハ逆ノ開相場デ、安ク賣ルノヲ止メサセテ、所ガ今ドウデス、其ノ昆布ガ八千圓シテ居ル、之ヲ實地デヤツテ來タ、立派ナ十萬圓ノ組合ガ出來テ居ル、サウ云フモノヲ解散サシテサウシテ之ヲ合併シテマフ、是ハ北海道ガ大部分デ内地地方ハ僅カデセウ、ソシナモノヲ一緒ニシタトテドウ云フ利益ガアリマスガ、何ニモソコニ變ツタ組織ハアリマセヌ、大臣カラ御話ガナケレバ私ハモウ少シ尋ネテ見タイト思ツタガ、今アア云フ御答辯ガアツタカラ是レ以上私ハ繰返シマセヌ、又他ノ

○島田國務大臣 只今ノ國策會社ニ付テノ御議論、ソレカラ今問題ニサレテ居リマス日本海産物販賣會社ノコトデアリマスガ、是ハ此ノ開豫算總會ノ席上ニ於テ山本君ヨリ御話ガアリマシタガ、私マダ就任初メデアリマシテ、實際ノ事務、運轉等ニ付キマシテハ詳細ナ事實ヲ究メテ居ラヌノデアリマスガ、併シ全體論トシテ所謂統制ノ目的ニ依ツテ出來テ居ル國策會社ト云フモノノ運轉ノコトニ付テハ、色々議論アルコトデアリマス、然レドモ又一面ニ於テハ之ヲ必要トスルト云フ事情モアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、現ニ此ノ會社ニ付キマシテモ、創立當時關係モアツタト云フヤウナ次第デアリマス、色々議論ガアリマスガ、實際ニ於キマシテ何レノ會社ニシマシテモ、創立初メノモノ——創立日附ホ淺イモノガアリマシテ、其ノ成績實績ト云フコトニ付テハ、未ダ十分ニ之ニ對シテ判斷ヲ下シ難ネルヤウナ事情ノモノ多クアルノデアリマス、隨テ此ノコトニ付キマシテハ、段々御心配ノ點モアリ、御議論ノ點モアリマスガ、私ト致シマシテハ、尙ホ是ハ事務當局ノ方ニ於ケル今日マデノ事情等ヲ十分研究シ、報告ヲ致シ、自分ノ考ヲ又加ヘマシテ、更ニ必要ナコトガアリマスレバ、其ノ必要ナ點ニ向ツテ適當ナ處置ヲ講ツテ行キタイト考ヘマス、此ノ間ノ御質問ノ際ニモ其ノ意味ノコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、尙ホ此ノ場合ニ此ノコトダケヲ附加ヘテ置キマス

ルノデハ絕對ニアリマセヌ、非常ニ適切ナ國策會社モアリ、サウシテ成績ト云フコトト經費ト云フコトヲ多ク私ハ言フノデハナイ、出來タ勾々カラドウ云フ意味カ知ラヌガ成績ガ良イ惡イト云フコトハ批判ガ出來マセヌシ、又經費ガ少ク位餘計掛ツテモ國策トアレバ仕方ガアリマセヌ、ソレハ宜シイ、ソレモ皆クヤツテ居レバ多少ノ缺點ハアツテモ宜イ、其ノ國策會社ハ僅ニ三百万圓バカリノ會社デアリマス、今マデヤツテ居ルノハ三井物產其ノ他ノ輸出會社等デアリマス、函館、小樽、根室ニ於テハ相當立派ナ組織ガ出來テ居ル、下手ナ會社ヨリモ相當財產ノアル者ガ今日マデ數十年ヤツテ居ツテ、輸出ノ上ニ於テモ差支ナク、輸出ヲ發展サセテ來タノデアリマス、ソレヲ小ボケナ三百万圓バカリノ會社ヲ、嫌ガルモノウ、無理ニ手足ヲ押ヘルヤウニシテヤツテ、モウ一ツイケナイコトハ其ノ大部分ヲ占メテ居ル北海道ノ漁業組合聯合會ノ主腦部ガ、毀シテ貫ヒタイト云ツテ居ル、ナゼカト云フト、ヤツテ見タ所ガ何モ善イコトガナイデヤナイカ、何モ國策ニモナラヌデヤナイカ、今マデ通りニ漁業組合聯合會デヤツテ行ツテモ差支ナイ、何處ニ一體利點ガアルノカ、是ハ私ガ反對シタカラ起シタノデハナイカモ知レヌガ、商工省ノ方カラ口ヲ出シテ來タ、商業者ヲ容メテハナラヌト云フノデ私ノ考ヘテ居ルヤウナコトニナツテ來タノデアリマスガ、是ハ善イコトデアリマス、ソレカラ聯合會ガ出來テ、ソコヘ充内務省ノ次官ナドヲシタ人ヲ高給デ連レテ來テ、ソレガ専務理事ダ、商賣ナドドツテ向イテ居ルカ分ラヌ人間デアル、アア云フ地方官上リノ人ニドウシテ海外輸出ノコ

○山本委員 總メルノト仰シヤルガ、例ヲ擧ゲテ申ストドナナ物ガ軍需品トシテ全國的ニ集荷ヲシナケレバ應ゼラレナイト云フノデスカ、ソシナ馬鹿ナコトハアリマセヌ、例ヘバ魚ニシテ見ルト、此ノ五品目ニアルモノデハ正月鮮デアリマセウ、ソシナモノハ三大會社デ購マルモ購ラナイモノイ、皆占領シテ居ル、ソレカラ帆立貝柱ナド軍需品トシテソシナニ澤山使フモノデハアルマセ、昆布ハ根室ニ行ケバ根室ノ組合ガ全部デアリマス、一體何デスカ、軍需品トシテ購メテ買ハヌト手遅レスルト云フノハ——ソシナ請ラスコトヲ言ツテイマセヌ

○山本委員 只今大臣カラ尙ホ能ク研究シテ置クト云フ御話デアリマスカラ、十分御研究ヲ願ヒタイ、私ハ此ノ際意見ヲ述ベテ置キマスガ、有ニル國策會社ニ私ハ反對ス

○農林政府委員 是ハ一例デアリマシテ、無論軍需ニ取リマシテモ、サウシタ物ヲ大量ニ要求セル場合ガアルト私共ハ考ヘテ居リマス、其ノ外團「プロダクト」ニ向ツテ相當ノ品物ヲ出サナケレバナラヌ、斯ウ云フ必要ハ現ニ三四箇月バカリノ間ニ於テモアツタノデアリマス、サウ云フ場合ニヤハリ各箇バラノデハ、サウ云フ品物ヲソレダケノ金額ノモノヲ向フニ出スト云フコトハ中國難デアリマシテ、サウ云フ意味ニ於テ確ニ役ニ立ツテ居ルト考ヘテ居リマス

○山本委員 只今大臣カラ尙ホ能ク研究シテ置クト云フ御話デアリマスカラ、十分御研究ヲ願ヒタイ、私ハ此ノ際意見ヲ述ベテ置キマスガ、有ニル國策會社ニ私ハ反對ス

機曾マデニ能ク御研究願ヒマシテ、内容ヲモウ少シ能ク御調ヲ願ツタ上デ御相談ヲシテ見タイト思ヒマスカラ、今日ハ此ノ程度デ止メマシテ、他日ノ機會ニ譲ルコトニ致シタイト存ジマス、大臣其ノ他當局ニ於カレマシテモ宜シク御考慮願ヒマス

○石坂主査 小畑虎之助君

○小畑委員 私人色々御伺ヒタイコトガアルノデゴザイマスレドモ、此ノ機會ニ先般豫算總會デ一言觸レテ置キマシタ木炭ノ増産問題ノミニ付テ政府ノ御意見ヲ伺フテ置キタイト思フノデアリマス政府ハ木炭ノ増産ニ付キマシテ、昭和十四年度ニ於ケル需要増加ヲ豫想セラレマシテ、一億四千万貫ノ増産計畫ヲ御立テニナリマシタコトハ、洵ニ結構デアリト思フノデアリマスガ、今日實施セラレマシタ其ノ成績ハドウ云フコトニナツテ居ルデゴザイマセウカ、又本年度中ノ成績ノ見透シハ如何ナモノデゴザイマセウカ、先ヅ其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○田中政府委員 御話ノヤウニ十四年度ニ於キマシテハ基準數量六億五千万貫ニ對シテ、一億四千万貫ノ増産計畫ヲ立テテアリアマス、其ノ結果ノ數字ヲ後デ探シテ正確ナ所ヲ御報告申上ゲマシマスガ、大體ニ於キマシテハ、四月カラ九月マデノ間ニ於ケル増産計畫ガ多少豫想通りニ參ツテ居リマセヌノデゴザイマス、其ノ後ニ於キマシテハ餘程好轉致シマシテ年度内ニ於キマシテハ、大體目標ノ程度ニハ達スルヤウニ努力シタイト思フテ居リマス、御承知ノ通り地方ニ於キマシテモ努力不足其ノ他ノ惡條件ト聞ヒマシテ、實ニ涙ダマシイヤウナ努力ガ生産者指導者ノ間ニ行ハレテ居リマシマスガ、尙ホ

年度末マデニ於キマシテハ、一層努力シテ貫フヤウニ指導ヲ致シテ居ル最中デゴザイマス

○小畑委員 御話ニ依リマシテ、四月カラ九月末マデノ間ニ於テ多少豫想外レガアツタ、其ノ後ニ於テハ大體調子行ツテ居ル、本年度末マデノ間ニ於テモ調子行ツテ居ラウト云フ見込ミデアル、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、唯四月カラ九月マデノ間ニ於テ多少見込ミ外レガアツタコト云フ位ナ程度デゴザイマシタナラバ、今日ノ極メテ深刻ナル木炭飢饉ハ一體何處カラ起ツテ來タカ、數字ヲ只今此ノ席デ承ルト云フコトハ無理デゴザイマセウカ、數字ヲ承ハレナイノデアリマスカラ正確ナ議論ヲスルコトハ出來マセウカレドモ、若シ御話ノ意味ガ、結局十四年度ヲ通ジテ今日マデノ間ニ於テ、唯四月カラ九月マデノ間ニ多少ノ見込ミ外レガアツタト云フコトデアリマシテ、増産計畫ニハ多少見込ミ外レガアツタケレドモ、大シタ外レハナイ、斯ウ云フ意味デアリマセヌモ拘ラズ今日ノ木炭飢饉ヲ生ジタコト云フコトニナリマシマス、配給ノ不備カハ需要量ノ豫想以上ノ増大カ、此ノ二ツニ原因ヲ求ムルノ外ハナイト思フノデアリマシマスガ、此ノ點ニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 増産計畫ニ付テハ今申上ゲマシタ通りデアリマシマスガ、其ノ主ナル原因ハ努力ノ不足其ノ他ニモアリアマスガ、其中ニハ中國方面ニ於ケル早害ノ結果モアリノデアリマシマス、勿論九月以後ニ於テモ必ズシモサウ計畫通りト云フコトニ參ツテハ居リマセウカ、稍、増産ノ傾向ガ上向シテ居ルノデアリマシマス、年度末マデニハ相當ノ成

績ヲ擧ゲタイト思フテ居リマシマス、ソレニ拘ラズ不調滑ヲ來シタノハドウ云フ理由カト云フコトニ付キマシテハ、私カラ様々申上ゲナクテモ御想像ガ御付キニナリマシマス、需要ノ増加ト云フノガ一つノ大キナ原因デアリマシマス、或ハ計畫ヲ立テル時ニ需要ノ見透シガ或ハ惡カウツタノデアリマシマス、フコトモ言ヘルカモ分リマセウカ、吾々ノ考カラ致シマシマス、多少豫想以上ニ需要ガ増加シタト思フテ居ルノデアリマシマス、工礦業用ノ木炭ノ需要或ハ、ガソリンノ代用木炭ノ需要等ノ需要増加、吾々ノ豫想シタ以上ニアツタト云フコト、或ハ石炭ノ規正等ニ依リマシマス消費自體ノ増加、或ハ部分的ニソレガ殊ニ北海道トカ、サウ云フヤウナ石炭ヲ相當家庭燃料トシテ使ツテ居ツタ所ニハ、痛切ニ其ノ規正ニ依ツテ木炭ニ對スル需要ノ増加不足ト云フコトガ感セラレタコト、其ノ他配給ノ關係ニ於キマシテモ或ル程度ニ不調滑ヲ來シタト云フヤウナ關係デ、局部的ニ不足感ヲ強メタコトハ御想像ノ通りデアリマシマス

○小畑委員 サウシマシマス此ノ木炭飢饉ノ原因ハ、ヤハリ増産計畫ガ思フ通りニ實行ガ出來ナカウツタト云フコトガ一點ト、配給機構ノ不整備並ニ其ノ運用ニ付テモ多少遺憾ナ點ガアツタト云フコトト、尙ホ其ノ上ニ需要ガ豫想以上ニ増大シタ、此ノ三點ニ其ノ原因ヲ求ムルコトガ出來ルヤウデアリマシマス、左様ニ致シマシマス、需要ガ豫想以上ニ増大シタト云フコトガ木炭飢饉ノ一つノ原因ヲ成シテ居ルヤウデアリマシマスガ、本年度ハ其ノ需要ノ増加ヲ見透シテ一億四千万貫ノ増産計畫ヲ立テラレタ、其ノ一億四千万貫ノ増産計畫ノ總量ガ必ズシモ需要増加ノ

リマシマス、本年度ノ増産計畫ヲ裏切ラレマシタル原因ニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマシマス、政府ハ本年度ノ増産計畫ガ意ノ如ク參ラナカウツタト云フ點ニ付テ、ソレハ何ニ原因スルモノデアルト御尋ニナルノデアリマシマス、世間デハ政府ノ増産計畫ナルモノガ概ネ机上ノ理想ニ偏スル所ガ多カウツタト云フコトト、專ラ實行組合、産業組合ニノミ依存シタ結果デアリカト云フヤウナ非難ヲ持ツテ居リマシマス、一般製炭業者ニ對シマシテモ國有林原本ノ拂下ヲ停止セラレタト云フ状態デアル、此ノ木炭飢饉ノ時代ニ於テ一般製炭業者ニ對シテ國有林原本ノ拂下ヲ行ハルコトガ、今日マデノ如クテナイト云フ點ヲ頗ル遺憾ニ考ヘテ居ルヤウデアリマシマス、ソレカラ木炭ノ公定價格ノ決定ニ付キマシテモ、果シテ今日ノ公定價格ハ妥當デアルカドウカト云フコトニ付テモ、色々ノ論議ヲ持ツテ居ルヤウデアリマシマス、此ノ點ニ關スル政府ノ御意見ヲ伺フテ置キタイノデアリマシマス

○田中政府委員 増産計畫ガ机上ノ空論デアルト云フ點ニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテハサウハ考ヘナイノデアリマシマス、勿論増産シタイ増産シタイト云フ希望ガ、或ハ外部カラ見マシテハ多少無理解ハナカウツタカ、或ハ地方ニ於キマシテハ多少無理デハアルノカトモ思ヒマシマスガ、吾々ト致シマシテハ、吾々ガ立テテ計畫デアリマシマスカラ、サウ思ハザルヲ得ナイノデアリマシマスガ、サウ無理ナ計畫デアリマシマスガ、勿論サウ無理解ハナイト思フテ居ルノデアリマシマス、増産ノ目的ガ達成セラレナカウツタ點ハ、努力ノ不足ト云フコトト、勿論初メカラ豫想シ得ラレル問題デアラ關係カラ、

總量ト一致スルモノデアルト云フコトハ、或ハ言ヘナイカモ知レナイト思ヒマシマスガ、併シ何レニ致シマシテモ需要増加ヲ見越シテ一億四千万貫ノ増産計畫ヲ立テラレタ、然ルニヤハリ本年度ニ於テハ需要ガ其ノ豫想シテ居ツタ以上ニ増加ヲ致シタト云フノデアリマシマスナラバ、過去リマシタコトハ姑ク措キマシテ、十五年度ニ於テモ需要ハ是以上低下スル筈ハナイ、十四年度以下ニ下ル筈ハナイト思ハレルノデアリマシマス、益々需要増加ノ傾向ヲ示スコノスレ、是以下ニ下ル筈ハナイト思フノデアリマシマスガ、左様ニナリマシマス、本年度ノ増産計畫ガ意ノ如ク遂行サレマシタ暁ニ於テモ、明年度ハ更ニ一層増産計畫ニ拍車ヲ掛ケナケレバナラズト云フ必要ガ起ツテ參ルト思フノデアリマシマス、明年度ノ増産計畫ニ付テ御尋ニナツテ居リマシマス所ノ大要ヲ拜聴シタイノデアリマシマス

○島田國務大臣 小畑君ノ御話ノ通りニ、本年度ノ此ノ三月マデノ成績カラ考ヘマシテ、マダ御承知ノヤウニ炭ガ澤山要ル時期デアリマシマスガ、此ノ目前ノ炭ノ供給ノ不調滑ト云ヒマシマスガ、不足ト云ヒマシマスガ、全國的ニ見テハ、山元、雪ニ埋レタ方面ニマダ相當炭モアルヤウデアリマシマスガ、唯之ヲ運出シテ行クト云フコトガ價值段ト關係、運賃其ノ他ノ事情カラ致シマシテ、雪ノ中ニ在ル或ハ山ノ奥ニ在ル炭ガ出テ來ナイ、斯ウ云フ事情ガアルノデアリマシマス、此ノ二月、三月ニ對スル年度内ノ處置トシマシテ、無論燒タコトモ必要デアアルガ、燒イテアルモノガアレバ是ガ出ルヤウニスル處置ヲ執ラネバナラズ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、之ニ付テ先日來其ノ處置方ニ付テ色々考究

シマシテ、對案ヲ得次第、之ヲ大藏省ニモ相談シマシテ、何カ臨時ノ處置ヲシタイト考ヘテ苦心ヲシテ居リマシマス、明年度ノコトニ付キマシテハ、現在ノ豫算ニ提案セラレテ居ル計畫ト云フコトヲ姑ク措キマシテ、大體ノ見方トシマシテ、炭ヲ生産セズシテ一番多ク消費スル大キナ都會——六大都市ヲ初メトシマシテ、大都會ニ於ケル「ガソリン」代用トカ工業用トカ云フ特殊な炭デナイ家庭其ノ他ニ使ヒマシマス、斯ウ云フモノノ全體ノ數量ニ付テ、之ヲ確保シ、之ヲ回滑ニ供給スルノ方法ニ付テ、是亦今ノ目前ノ處置ト共ニ今研究シマシテ、適當ナル案ヲ得マシタナラバ、此ノ生産並ニ其ノ必要量ヲ確保ト云フコトニ付キマシテ成案ヲ得レバ、或ハ此ノ議會中ニモ追加豫算等ノ形ヲ以テヤルコトガ出來ルヤウニシタイ、斯ウ云フ考ヲ以テ今大體ノ目安ヲ——消費專門ノ大キナ都市ハドウ位ナ分量ガアリマシカ、總額ニシマシテ其ノ方面ダケデモ二億貫ニ近イモノガアルドラウト考ヘテ居リマシマスガ、サウ云フヤウナ炭ヲ確保シテ、之ニ付テノ處置ガ考ヘラレバ十五年度ニ於ケル炭ニ對スル問題ハ、大部分ソコデアリマシマス、ソレカラ尙ホ其ノ先ノ問題トシマシテ、造林或ハ原木ノ關係等ニ關聯シマシテ、更ニモウ一層深ク考ヘナケレバナラズノデアリマシマス、先ヅ十四年度、昨年から今日マデノ成績ニ鑑ミテ之ヲ十五年ニ及ボス場合ニ於ケル處置ニ付テ、議會中デアリマシマスレドモ、間ニ合フ限リヤリタイト考ヘテ、今協議ヲ研究シテ居ルヤウナ状態デアリマシマス

○小畑委員 是ハ獨リ木炭ノ問題ノミニ限ラズ、各種ノ物資ニ付テ同様ノ慮ミガアル

○島田國務大臣 是ハ法律ヲ要スル點モアリマシマスガ、尙ホ豫算ヲ件フ關係ガアリマシカシテ、農林省トシテハ此ノ希望ヲ持ツテ今調ベテ居リマシマスガ、併シ無論急イデヤラネバナラズノデアリマシマスガ、ソコハマダハツキリト言明スル程度ニマデハ行ツテ居リマシマス、兎ニ角成案ヲ急イデ居リマシマス

○小畑委員 能ク分リマシタガ、此ノ木炭問題ハ極メテ重要ナ問題デアリマシマスコトハ申上グルマデモナイノデアリ、尙ホ一歩其ノ處置ガ遅レマシマス、豫想セザル混亂ヲ生ズル虞ガアルト私ハ思フノデアリマシマスカラシテ、成ベク速ニ其ノ對策ヲ立テテ實行セラレンコトヲ希望致シタイト思フノデア

ノデゴザイマシマスガ、増産計畫ヲ立テルト云フ其ノ増産ノ目標ガ、單ニ物資ノ生産ト云フコトダケニアリマシテ、サウシテ配給ニ依リ消費者ノ手ニ移ルト云フ所マデ一貫的ナル綜合計畫ガ立ツテ居ラナイ所ノ缺點ガ、多分ニ禍ヲ爲シテ居ルノデアラウト思ヒマシマス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ獨リ農林省ダケノコトデアリマシマス、又木炭ダケノコトデアリマシマス、又木炭ダケニ關シテ此ノ機會ニ私ノ意見ヲ申述ベルコトハ、聊カ貴重ナ時間ノ上カラ適當デナイト思ヒマシマス、依リマシマスト消費都市ニ於ケル最小限度ノ必要量ヲ確保スル爲ニ、目下其ノ對策ヲ研究中デアルト云フ御話デゴザイマシマスガ、恐ラハ其ノ對策ト稱セザルモノハ法律ヲ必要トスルコトデアラウト存ゼラレルノデアリマシマスガ、大體今期議會ニ御提出ニナリマシマス所ノ見透シガ付イテ居ルノデアリマシマス、其ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマシマス

○田中政府委員 増産計畫ガ机上ノ空論デアルト云フ點ニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテハサウハ考ヘナイノデアリマシマス、勿論増産シタイ増産シタイト云フ希望ガ、或ハ外部カラ見マシテハ多少無理解ハナカウツタカ、或ハ地方ニ於キマシテハ多少無理デハアルノカトモ思ヒマシマスガ、吾々ト致シマシテハ、吾々ガ立テテ計畫デアリマシマスカラ、サウ思ハザルヲ得ナイノデアリマシマスガ、サウ無理ナ計畫デアリマシマスガ、勿論サウ無理解ハナイト思フテ居ルノデアリマシマス、増産ノ目的ガ達成セラレナカウツタ點ハ、努力ノ不足ト云フコトト、勿論初メカラ豫想シ得ラレル問題デアラ關係カラ、

其ノ點モ豫想ハシテ計畫ヲ立テテハハリマシマスレドモ、事變ノ進展、ソレカラ廣範圍ノ努力、經濟界ノ事情カラ見マシマス、十分ノ豫想ガ或ハ出來ナカウツタト云フコトニナルノカモ知レマセウカ、兎ニ角豫想以上ノ努力ノ不足ト云フコトガ伴ツテ居ツタ、ソレカラ中國地方、九州其ノ他ニ於ケル早害ニ因リマシテ木炭ガ減産シタ、其ノ他價格ノ點ニ付キマシテモ、吾々トシテハ十分デナカウツタト考ヘテ居ルノデアリマシマス、併シ國策ト致シマシテハ、少クモ其ノ當時ノ國策ノ情勢、經濟界ノ情勢ニ於キマシテハ、低物價政策ト云フ大キナ目標ノ下ニ、吾々トシテモ行動セザルヲ得ナイ事情ニアツタ關係カラ致シマシテ、成ベク國民消費層ニ迷惑ヲ掛ケナイヤウナ考ヘ方モ持チマシテ、公定價格ガ定メラレタ譯デアリマシマス、隨ヒマシテ其ノ公定價格ノ安カウツタト云フコトモ、確ニ或ル程度ノ生産費ノ増高ニ伴ハナカウツタト云フ關係ニ於キマシテ、増産ヲ多少妨ゲタト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシマス、ソレデ十月以降ニ於キマシテハ、公定價格ヲ或ル程度ニ引上ゲタノデアリマシマス、國有林ノ製炭資材ノ拂下ニ付キマシテハ、産業組合、實行組合ダケニシテ、或ハ場合ハ一般的ナ製炭業者ニ拂下ヲ止メハシナカウツタト云フ御話デアリマシマスガ、吾々トシテハサウ云フコトハナイト思ヒマシマス、實際隅々マデ調ベテ居ナイノデ、或ハサウ云フ所ガアツタカモ知レマセウカ、併シ假ニアツタトシテモ、ソレハ從來御承知ノ通りニ、國有林ノ拂下ニ付キマシテ、殊ニ此ノ薪炭材ニ付キマシテハ、相當其ノ地元ノ山村民ノ生活經濟、又緣故ト云フヤウナ

○田中政府委員 増産計畫ガ机上ノ空論デアルト云フ點ニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテハサウハ考ヘナイノデアリマシマス、勿論増産シタイ増産シタイト云フ希望ガ、或ハ外部カラ見マシテハ多少無理解ハナカウツタカ、或ハ地方ニ於キマシテハ多少無理デハアルノカトモ思ヒマシマスガ、吾々ト致シマシテハ、吾々ガ立テテ計畫デアリマシマスカラ、サウ思ハザルヲ得ナイノデアリマシマスガ、サウ無理ナ計畫デアリマシマスガ、勿論サウ無理解ハナイト思フテ居ルノデアリマシマス、増産ノ目的ガ達成セラレナカウツタ點ハ、努力ノ不足ト云フコトト、勿論初メカラ豫想シ得ラレル問題デアラ關係カラ、

コトカラ致シマシテ、從來其ノ山付キノ部
落民ニ優先的ニ拂下ガレ所謂縁故拂下ヲス
ルト云フヤウナ仕来リヲヤツテ居ルコトハ
御承知ノ通りデアリマス、ソレ以上ノ薪炭
材ニ付キマシテハ、勿論誰ト云フコトナ
ク、希望者ニ對シテ適當デアルトスレバ拂
下ヲ致シテ來テ居ル譯デアリマス、殊ニ本
年度ニ於キマシテハ極力此ノ國策的ナ増産
計畫ヲ遂行ノ爲ニ、國有林ノ薪炭材ノ拂下
ニ付テハ、機會アル毎ニ其ノ拂下ノ促進ヲ
圖ツテ來ウツ今日マデ來テ居ル譯デアリマ
シテ、來年度ニ於キマシテモ、勿論積極的
ニ薪炭材ノ拂下ニ付キマシテハ努力スルヤ
ウニ、所屬營林局長ニ注意ヲ與ヘテ居ル大
第デアリマス

○小畑委員 政府ハ木炭ノ公定價格ノ修正
ヲ行フ考ハナイカト云フコトヲ伺フテ見タ
イノデアリマス、今日國策トシテ低物價ノ
政策ヲ堅持致シテ居ルコトハ、私共モ承
知致シテ居リマス、ドウシテモ今後ノ日本
經濟ノ進路ト致シマシテハ、低物價政策ヲ
執ラナケレバナラスコトハ、恐ラク天下ニ
異論ノナイ所デアラウト思フデアリマス、
隨ヒマシテ農林省ガ此ノ國策ノ大本ニ準據
シテ、物資ノ品種ニ依リマシテハ心ナラズ
モ低物價ノ方針ヲ御執リニナツテ居リマス
所ノ御苦衷ハ、十分御察シスルコトモ出來
ルノデアリマス、併シ私ハ生産費ト云フモ
ノヲ少シモ算盤珠ノ中ニ入レナイ所ノ矢鱈
ナ低物價ト云フモノハ、大衆的ニ見テ國家
ノ低物價政策ニ必ズシモ順應スルモノデハ
ナイト思フデアリマス、生産費ヲ無視シ
タ所ノ或ル品種ニ對スル低物價ノ極端ナル
政策ガ、遂ニ間取引ヲ生ジ、配給ノ紊亂ヲ
生ズル結果、國家全體ノ低物價政策ニ惡影

響ヲ及ボスト云フコトハ、容易ニ想像セラ
ルル所デアアルノデゴザイマス、私ハ農林水
産物ニ付キマシテモ、勿論低物價政策ヲ堅
持シナケレバナラスコト云フコトニハ、實成
ヲ致シマスルケレドモ、盲滅法ナ低物價政
策デハ困ル、十分農林省ノ立場ヨリ農林水
産物ノ性質ヨリ嚴密ナル檢討ヲ加ヘテ敢カ
ナケレバナラスト思フデアリマス、此ノ
意味ニ於キマシテ、現在決定セラレテ居リ
マスル所ノ木炭ノ公定價格ト云フモノハ、
果シテ適當デアアルカドウカ、之ニ付テ再檢
討ノ必要ナキヤ否ヤ、此ノ點ニ關シテ農林
大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○島田國務大臣 低物價ノ方針ヲ堅持スル
ト云フコトハ、是ハ現内閣ノ方針デアリマ
シテ、私モ同意致シマス、小畑君モ大體ニ
於テ御同意ノ所デアリマスガ、御話ノ如ク、
唯低物價デアアルカラト云ツテ生産費ヲ割ツ
テ物ヲ増産セヨト云フコトノ出來ナイコト
ハ亦自明ノ理デアリマシテ、左様ナ道理
ハアルベキ筈ハナイノデアリマス、故ニ政
府ハ低物價政策ヲ堅持スルト共ニ、此ノ釘
付ケニサレテ居ル物價ニ對シテ簡キニ檢討
ヲ加ヘテ、低物價ノ方針ヲ堅持シツツレ
ニ副ベキ適當ナル價格ヲ定メテ行クコト云
フ方針ヲ持ツテ居ル譯デアリマシテ、先般
豫算總會ノ質問ニ於キマシテモ、私ハ其
ノ場合ニ特ニ農林水産物ニ付キマシテハ、
色々農民ノ生活ト考ヘ合セマシテ、特殊ノ
事情ニアルト云フコトヲ申シテ置イタ譯デ
アリマスガ、斯様ナ點カラ申シマシテ、農
林水産物ノ價格ノ決定ト云フコトニ付テハ、
産物其ノ物ニモ普通ノ工場等ニ於テ生産
スルモノトハ全ク性質ノ違ツタモノガア
ル、米麥ノ問題ニ致シマシテモ、是ノ最高

價格、最低價格ヲ決定スルト云フモノニ、生
産費其ノ他ノコトニ付テハ是ハ何處デヤル
ノモ同ジデアアルケレドモ、色々ナ條件ヲ加
ヘテ考ヘマス、其ノ調査ヲスル統計材料
トシテ集メルモノニ依リマス、非常ニ高
イモノト非常ニ安イモノガアル、ソレヲ各
階級ニ依ツテ集メテ平均致シマシテ、其
ノ間ニ於テ適當ナル程度ニ他ノ材料ヲ參照
シテ決定スル次第デアリマスガ、只今問題
ニシテ御話ニナツテ居ル木炭等ニ付キマシ
テモ、ヤハリ同ジ炭ト云ヒ、同ジ原木ノ種類
カラ出來ル炭デモ、其ノ生産スル條件カラ考
ヘマス、非常ニ高ク掛ルモノト、又非常ニ
安ク掛ルモノトガアル譯デアリマス、之ヲ適當
ニ考ヘテ極端ナルモノヲ除外シテ、所謂適正
ナ程度ニ考ヘテ行カネバナラスコト云フコトガ
原則デアラウト思ヒマスガ、現在ノ炭ノ供給
不足、出廻リノ窮乏、斯ウ云フナ點カラ考
ヘテ見マス、現在ノ木炭ノ公定價格レテ居
ル價格ハ所謂適正デアアルカナイカト云フコ
トニ付テ檢討ヲ加ヘル必要ガアルノデアラ
ウト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯
是ガ今申上ゲマスヤウニ生活ノ必需品デ
アリマスカラ、ソコデ米麥トハ違フケレド
モ炭ナクシテ暮スコトノ出來ナイ事情ニア
ルモノデアリマスカラ、此ノ炭ノ値段ヲ上
ゲルト云フヤウナ意味ニ適正ト云フコトヲ
考ヘテヤルト云フコトハ、即各家庭ノ生活
費ノ上ニ非常ナ影響ヲ及ボスコト云フコトデ
アリマス、之ニ影響ヲ及ボスシテ是ノ對
策ヲ考ヘ之ニ對シテ或ル種ノ助成トカ補助
トカ云フヤウナ方法ニ依リマス、是亦國
費ノ支出ガ非常ナモノニナツテ來ル、ソコ
デ此ノ間ニ處置シテ生産者ニシテモ餘リ多

クノ損害ヲ加ヘルヤウナコトガナイヤウニ、
消費者ニ對シテハ生活ノ基準ガ上ルト云フ
ヤウナコトノ影響ノ少イヤウニ考ヘテ處置
シナケレバナラスノデアリマシテ、左様ナ意
味カラ考ヘマシテ、直チニ現在ノ炭ノ値段
ニ付テ之ヲ動カス意思ガアルト云フコトヲ
申上ゲルコトハ出來ナイケレドモ、今御言
葉ノヤウニ之ニ對シテ一段ト檢討ヲ加ヘル
ト云フコトノ必要ハアルダラウ、斯ウ云フ
程度ニハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○小畑委員 只今ノ御答辯能ク分リマシタ、
木炭ノ公定價格ハ今日マデ三回ニ互ツテ決
定セラレタヤウデアリマス、即チ其ノ第一回
ハ昭和十三年ノ八月デアリマスガ、此ノ際
ニ決定セラレマシタ公定價格ハ、當時時價
ヨリ——是ハ地方ニ依ツテモ、品種ニ依ツ
テモ違フデゴザイマセウガ、大體ニ於テ
約五分位引下ゲテ決定セラレタモノノ如ク
デアリマス、所ガ當時ハ丁度十三年ノ八月
デゴザイマスルカラ、木炭ノ不需要期デア
リマシタ、各産地ニ於キマシテ例年ノヤウ
ニ冬ノ需要期ニ於ケル値上リト其ノ需要ヲ
豫想致シマシテ、相當ノ貯藏ヲ爲シテ居ツ
タノデアリマス、ソコヘ持ツテ參リマシテ
時價ヨリ多少安イ所ノ公定價格ヲ決定セラ
レマシタ爲ニ、新ナル製炭ハ頗ル活氣ヲ失
ツタノデアリマス、是ガ其ノ當時時價ガ割
合ニ思ハシク行カナカウツ所ノ一ツノ原因
デハナイカト思フデアリマスガ、政府ハ
此ノ事實ヲ御認メニナリマス、私ハ最早
過ぎ去ツタ所ノ事實ニ付テ、當局ノ處置ヲ
責メヨウトスル者デモ何デモアリマセウ、
將來木炭ノ生産計畫ヲ立テル上カラ致シマ
シテ、今日マデニ失敗致シマシタ其ノ失敗
ノ原因、ポイントヲ押ヘテ、サウシテ將來

ノ政策ニ修正ヲ加ヘテ行カナケレバナラス
所ノ必要カラ御察スルノデアリマスルカラ、
其ノ意味ニ御諒解ヲ願ヒタイト思フデア
リマス

○田中政府委員 前々ノ公定價格ガ増産ニ
影響ヲ及ボシト思フカドウカト云フ點ニ
付キマシテ、實ハ甚ダ斯ウ申上ゲテハ如何
カト思ヒマスガ、正確ニ増産ニ影響シタ
云フコトヲ申上ゲルコトハ困難デアリマス
ルガ、或ハ想像ニナルカモ知レマセウガ、
多少因トナリ或ハ果トナツテ影響ガアツタ
ノデハナイカト云フコトヲ想像ヲ致シテ居
ルノデアリマス、其ノ後ニ於キマシテ、隨
ヒマシテ御話ノヤウニ公定價格ヲ定メタノ
デアリマスガ、何レモ多少引上ゲテ居
ル譯デアリマス

○小畑委員 十四年ノ六月ニ第二回目ノ公
定價格ヲ決定ニナツタノデアリマスガ、
ソレハ從來ノ價格デハ増産ノ實現ガ困難ト
御觀察ニナツテコトデアラウト思フデア
リマス、此ノ際ニ大體ニ於テ五分程度、
一依七錢カラ十錢位マデノ程度ノ公定價格
ノ引上ヲ行ハレタノデアリマスガ、モウ其
ノ當時ハ生産費ガ三割五割ト増加ヲ致シテ
居ツタ時期デゴザイマシタ爲ニ、僅ニ五分
六分ノ値上デハ殆ド其ノ效果ヲ奏シナカウ
タト見ル向キモ多イト思フデアリマス、政
府ハ此ノ事實ヲ御認メニナリマスカ

○田中政府委員 前ニ申上ゲマシタヤウ
ニ、其ノ當時ト致シマシテ、必ズ其ノ公定
價格ガ十分デアルト云フコトハ、生産方面
カラ見マシテ考ヘナカウツノデアリマス、
併シ前申上ゲマシタヤウニ低物價政策、消
費者ノ生活、其ノ他ノ點カラ考ヘマシテ、
先ツアノ邊デ決メルヨリ外ハ其ノ當時トシ

テハ已ムヲ得ナカウツト云フコトヲ先程申
上ゲタノデアリマスガ、サウ云フ考テ居ツ
タノデアリマス

○小畑委員 第三回ノ公定價格ノ決定ハ十
四年九月二十九日、中央物價委員會ニ於テ
一依ニ付キ十六錢ノ比較的大幅ノ値上ヲ決
メラレテ居ルノデアリマス、之ヲ物價委員
會ガ答申致シタノデアリマスルガ、ソレト
同時ニ新聞ヤ、ラヂオ、レデ以テ、此ノ由ヲ全國
ニ放送ヲ致シマシタ、然ルニ政府ハ何ノ爲ニ
カ其ノ告示ヲ段々遅ラセテ行カレマシテ、
漸ク十一月ニ入ツテカラ之ヲ告示シテ實施
セラレタト存ジテ居ルノデアリマス、是ガ
爲ニ製炭業者ハ原木ノ準備ヲスルコトニ躊
躇ヲ致シマシタ、即チ物價委員會ニ於テハ
値上ノ答申ガ行ハレテ居ル、併シ政府ハ容
易ニ其ノ告示ヲ致サナイ、是ニ製炭業者ノ
不安ガアツタト思フデアリマス、隨ヒマ
シテ原木ヲ手ニ入レマスル所ノ準備ヲ全國
的ニ業者ガ怠ツタト云フコトハ、是ハ或ハ
蔽フベカラザル事實デナイカト思フデア
リマス、其ノ爲ニ秋ノ初メカラ行ハナケレ
バナラス所ノ製炭ノ著手ガ遅レタ、隨テ是
ダケ大幅ノ値上ヲ致シテ置キナガラ其ノ値
上ノ效果ガ減殺セラレタト云フ所ノ事實ヲ、
政府ハ御認メニナリマスカ

○田中政府委員 御話ノヤウニ公定價格ノ
決定ガ物價委員會ニ於テ、九月二十九日ニ
アリマシテ其ノ結果ガ公表サレ、公定價格
ノ告示ガ十一月九日ニ爲サレタノデアリマ
ス、其ノ間ニ於キマシテ原木ノ手當ガ或
ハ減額シタノデハナイカト云フ御話デア
リマスガ、原木ノ手當ガ減額シタカドウカ
ト云フコトニ付キマシテハ多少疑問ヲ持ツ
テ居リマスガ、唯取引ガ多少不圓滑ヲ來シ

全體ト致シマシテ三四割ノ負擔ヲ減輕致シテ居リマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、斯ノ如ク同ジ農村ニ住ミナガラモ、政府ノ國策ニ順應シテ農ニ星ヲ戴キ、タニ月影ヲ履ンデ一年三百六十五日致々暮ラシテ働ク所ノ百姓ガ、小作料ガ昂上リ、物價ガ昂上リ、生活ニ苦シンデ行クノニ、一方ニハサウシテ不勞所得ヲ殖ヤシテ行ク、是デ本當ニ國家總力ノ意義ガ發揮サレルカドウカ、更ニ又ソレガ農業ノ生産力ヲ擴充シ、食糧ノ確保ヲ強ヒル所以ナリヤ否ヤト云フ點ニ、私共ハ多大ノ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テ私共ハ先ヅ農林大臣カラ御所見ヲ承リタイノデアリマス。

○島田國務大臣 ドウ云フ御質問ノ前提トシテ御聽キニナル意味カ存ジマセスガ、農村ノ實情ト云フコトカラ申シマス、只今當吉君ノ御述ニナルヤウナ事情アルト云フコトヲ、其ノ事情ヲドツテニカ押據ゲテ推測ノ根據ニスル場合ニハ、又其ノ見方ニ付テ意見ノ述べ方モアラウト考ヘマセスケレドモ、大體ニ於テ農村ト云フケレドモ、其ノ住ンデ居ル所ノ人口ノ中ニ自ラ獨リ把リ、職ヲ把ツテ働イテ居ル者、サウシテソレニ伍シテ居ル所ノ小サイ商人、又地主ト云フヤウナ者ガ一緒ニナツテ農村ヲ構成シテ居ル生活ノ様式ガ異ツテ居ルモノガアル、國ノ全體カラ見レバ都會ト農村、斯ウ云フコトニナルケレドモ、都會ニ於ケル人々ノ生活様式、狀態ト云フモノハ複雑ニナツテ居リマスガ、農村其ノモノモ大局カラ見レバ農村生活、田舎生活、斯ウ云フ風ニ申シマスケレドモ、其ノ一ツノ農村ニ就テ實地ニ觀察スル時ニハ、只今當吉君ノ御述ニナツタヤウナ狀態ニ在ルコトハ是

ハ事實デアルト思ヒマス。

○富吉委員 ソレデハ斯ウ御答ヲ致シマス、斯ウ云フヤウナ事實ガアルカラ出來得ルダケ地主ノ利害ヲ損セシメナイト云フカ、感情ヲ害シナイヤウニ小作料ノ適正化ヲ圖ツテ、サウシテ眞ニ勤勞農民ヲシテ喜ンデ農業生産ニ從事セシムルヤウニ、有ル努力ヲスルト云フコトニ、農林大臣ハ口先ダケデナク、本當ニ心カラ御努メニナル積リデアリマス、其ノ點ヲ御伺致シマス。

○島田國務大臣 勤勞農民ニ對シテ喜ンデ此ノ時局下ニ於テ、又假ニ時局ガ終了致シマシテモ、國ノ礎トシテ自ラノ其ノ地位ヲ能ク考ヘテ、萬ンデ國家ノ爲ニ自分ノ仕事ヲ努メルヤウニシタイト云フ氣分ニ於テハ、何等私ニ異存ハアリマセス、併シナガラ此ノ事ハ勤勞農民ニ對シテ言フト同ジコトヲ他ノ者ニ對シテ、即チ商業者ニ對シテモ工業者ニ對シテモ、又其ノ他ノ自由職業ニ從事シテ居ル有ル國民ノ各階層ニ對シテ同ジ考ヲ持ツテ、私共ハ望マナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマス。

○富吉委員 結構デアリマス、私ハ何モ勤勞農民タケテ可愛ガツテ、外ノ者ハドウデモ宜イト云フヤウナ意味ニ於テ御答ヲ致シタノデアリマセス、斯ウシタ差別ト云フカ、或ハ又斯ノ如キ不公平ガ行ハレルコトガ面白クナイト云フコトニ、大體ニ於テ御共鳴デアルト云フヤウナ御意思ヲ忖度シテ、ソレデ結構ナノデアリマス、又極メテ百戰錬磨ノ農相カラハツキリト斯ウダト云フコトヲ御聽キスルコトハ困難ダト思ヒマスカラ、是レ以上ノコトハ此ノ點ニ付テハ御聽キ致シマセス、ソコデ事務當局ニ御伺致シマスルガ、總動員法ニ依ツテ御出シナリ

ト言ヒ、是等ノ事實カラ當然小作人ノ方デ起デアラウト云フコトヲ期待シ、又起スト云フ事實ニ付テ政府ガ完全ニ認メラレタコトハ、今更ドウトモナラナイ事實デアリマスルガ、故ニ私共ハ農民組合運動ニ多年從事致シマシテ、所謂種々ノ惡口難言ノ下ルトカ、或ハ特殊ノ野心家トカ、或ハ煽動ガ争議ヲ起シテ居ルト云フ風ニ從來考ヘラレテ來タノデアリマスルガ、併シナガラ事實ハ——サウ云フ場合モアツタノデアリマセスルガ、必ズシモサウデナク、現在ニ於テハ先程政府委員ガ御答辯ニナリマシタ、農地委員會ノ方ニ掛ケテ、ソコデ解決スレバ宜シト仰シヤイマシタガ、事實ハ農地委員會ト云フモノガ、殆ド閉店休業ノ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ諸種ノ報告デ既ニ御承知ト存ジテ居リマス、若シ此ノ事實ヲ御承知ナイトスレバ是ハ不明モ甚シイモノダト思フテ居リマス、ソコデ此ノ從來ノ争議ト云フモノハ大體ニ於テ耕作反別ガ二三反或ハ四五反ト云フヤウナ、極メテ過小農ガ多カツタノデアリマシテ、其ノ農業收益カラ食ツテ行クニハ耐ヘラレナイ切實ナコトカラ起ツタノデアリマシタガ、最近ハ勞銀率ギニ出マスル關係デ、二三反、四五反ト云フ方面ニハ少クテ、一町歩デアルトカ、或ハ二町歩デアルトカ云フ比較的中農大農ト云フ方面ニ、此ノ小作料ヲ輕減シナケレバナラヌト云フ要求ガ起リ出シタト云フコトハ、是非當ニ顯著ナ事實デアリマシマス、是ハ要スルニ所謂時局ハ極メテ重大デアツテ、何人ト雖モ國民齊シク上下心ヲ——シテ協力シテ行カナケレ

マシタ、昨年十二月一日デシタカ、日ハ能ク覺エマセス、小作料統制令ト云フモノハ、即チ適正小作料ヲ狙ツタモノデアルト私共ハ理解致シテ居リマスガ、其ノ點如何デスカ。

○土屋政府委員 小作料統制令ノ狙ヒドコロハ二點デゴザイマシテ、其ノ第一點ハ昨年九月十八日現在ノ小作料ヨリ實納小作料ヲ高クシテハイケナイト云フ點ガ一點デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマス、九一八現在ノ小作料デ「ストップ」スル、是ガ第一點デアリマス、只今ノ第一點ノ九一八デ「ストップ」スルト云フノハ、總テノ小作料ニ當然適用サレマス、ソレカラ第二點ハ只今當吉君ノ御話ノ適正小作料デアリマス、是ハ適正小作料ヲ定メルノニハ、アノ勅令ノ所定ノ手續ヲ踏ミマシテ定メラレタモノノミニ適用ガアルト云フコトデ、アノ勅令ノ狙ヒドコロハ只今申上ゲマシタヤウニ二點ニナツテ居リマス。

○富吉委員 サウシマス小作料ノ適正ト云フヒマスト、大體ドウ云フ點ニ基礎ヲ置イテ御考ヘナリマスカ。

○土屋政府委員 何方適正ノ小作料デアラカト云フコトハ、是非當ニ難カシイ問題ト思ヒマス、ソコデ私共ハ先ヅ其ノ村ナリ村落ナリノ關係者ガ適合ヒマシテ、ソレデ大體是ナラバ此ノ村ノ適當ナル小作料デアラウト云フ所ニ意見ガ纏リマス、ソレヲ地方長官ニ提出致シマシテ、地方長官ナリ農地委員會ニ掛ケマシテ、地方長官ナリ農地委員會ナリ、其ノ案ヲ拵ヘマシタ村ヲ便宜カラウト云フ所ガ適正デアラウト云フヤウニ只今ハ考ヘテ居リマス。

○富吉委員 御尤ナ考ダト思ヒマス、由來此ノ適正小作料ト云フ問題ニ付テモ多年論議ガアル所デスガ、中々是ガハツキリ致サナイノデアリマシテ、色々論争ノ種トナツテ居リマスカラ、今ノ政府當局ニ之ヲハツキリドノ點ト云フコトヲ聽クコトモ亦無理カト思ヒマスルノデ、大體只今ノ御返答デ結構ダト思ヒマスルガ、然ラバ事務當局ニ御談致シマスルガ、先程私ガ申上ゲマシタヤウニ地主ノ農地カラ得ル所ノ利益ニ對スル負擔ガ輕減シタト云フ事實ハ御認ニナリマスカドウカ。

○土屋政府委員 數回ノ稅制改正ニ依リマシテ土地負擔ハ相當ニ輕減サレタト思ヒマス。

○富吉委員 小作人ノ方ノ負擔ガ増大シタト云フコトヲ御認メニナリマスカ。

○土屋政府委員 小作人ノ負擔ガ増大シタカドウカト云フコトハ、一寸御質問ノ御趣旨ガ私ハツキリ諒解出來マセスカラ、モウ一度御説明願ヒタイ。

○富吉委員 小作人側ノ同ジ小作地ニ對スル負擔ガ増大シタト云フヤウニ御考ヘナリマスカドウカト伺ヒタイ。

○土屋政府委員 其ノ土地ニ關スル小作人側ノ負擔ガ別ニ増大シタト云フ風ニハ、只今考ヘテ居リマセス。

○富吉委員 サウスルト肥料代ノ値上リ、手間賃ノ値上リ、牛馬農具代ノ値上リト云フヤウナモノハ御認メニナリマセスカ。

○土屋政府委員 私ガ只今申上ゲマシタノハ稅制ノ關係デ、地主ノ方ガ——地主ト申シマスルヨリ土地所有者ノ負擔ノ輕減ヲシタ、ソレニ比例シテ意味デ小作人ノ方ノ土地ニ對スル負擔ガ増大シタトハ考ヘテ居

ラナイノデアリマシテ、小作人ノ生産費ハ、只今御指摘ニナリマシタヤウナ肥料、勞力、資材等ニ於テ相當ノ値上リガアルコトト存ジマス。

○富吉委員 ソレデハ地主ノ方ハ大體土地ノ稅及ビ公課ノ負擔ト云フコト、ソレカラ小作人ノ方ト致シマシテハ、大體米ノ生産費ト云フヤウナモノヲ觀ミ合セテノ負擔ト云フコトト、兩方ニ於テ考ヘテ宜シイト斯ウ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、大體其ノ考ヘ方ニ於テ間違ヒナイト御考ヘナリマスガ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、其ノ土地ニ要スル改良費デアルトカ、或ハ農會費デアルトカ、サウ云フヤウナ公課ト租稅、サウ云フモノガ地主ノ土地ニ要スル負擔デアルト斯ウ私共考ヘテ居リマス、小作人ノ方トシテハ、生産費ハ先程舉ゲタヤウニ、ツマニ肥料代、或ハ小作料、或ハ農具其ノ他ノ損料、斯ウ云フ風ニ見テ居ルガ、ソレデ大體才間流ナイト御考ヘナリマスカト斯ウ云フノデアリマス。

○土屋政府委員 一寸御質問ノ趣旨ガ吾達メナイノデゴザイマセスガ、例ヘ六米ノ生産費トカ何トカト云フコトニ御答ヲ限局シテ御答願ヘレバ、モウ少シハツキリ分ルト思ヒマス。

○富吉委員 私人頭ガ散漫ナセイカドウモ的確ナコトハ言ヘマセスガ、其ノ問題ハソレト致シマシテ、以上大體質疑應答ニ依ツテ得ラレマシタ事柄、更ニ又政府ガ統制令ヲ適正小作料或ハ小作料ノ「ストップ」令ヲ出サレタ點ト言ヒ、更ニ又争議ガ頻發スルト云フ事情ヲ御認メニナツテ、古イコトデアリマスルケレドモ、争議ノ調停法ヲ出シタ上デ更ニ農地ノ調整法ヲ御出シナツタ事實

バナラヌト云フ心構ニハ、決シテ變リハナイト考ヘル、隨ヒマシテ之ニ何等ノ思想的背景ヤ、或ハ偏見ノ偏見ニ依ツテ起ルモノニアラズシテ、是ハ恐ラク來ルベキ生産擴充ニ備ヘル爲メ肥料代、或ハ農具代、サウ云フ物ニ備ヘル爲メハ、ドウシテモ是ニ於テ小作料ヲ低下シナケレバナラヌト云フ必然ノガ生起スルモノデアルト云フコトヲ私共ハ考ヘテ居ル、又斯ノ如ク農民ハ主張致シテ居ルノデアル、斯ノ如ク致シテ農地委員會ニ色々ナ訴ヲ起スノデアリマス、此ノ件數ハ恐ラク農林省デ集メテアリマスル所ノ統計デモ相當ナモノデアルト思フノデアリマセスガ、農地委員會ハ之ヲ受理シテ受理シ放ニ致シテ居ルノデアリマス、サウシテ殆ド之ニ依ル所ノ解決ノ付カナイノガ多イ、偶解決致シマスカト思フト、一年小作料シテ置イテ、モウ後ハ返セト云フヤウナ、極メテ農地調整法ノ精神ヲ沒却セル方向ニ此ノ委員會ノ運用ガナツテ居ルト云フコトハ、洵ニ私共ハ遺憾千萬ダト考ヘル、ソコデ私ハ此ノ農地委員會ヲドウシテモ是ハ改組シナケレバ、絕對ニ此ノ適正ナル運用ハ期シ難イ、隨テ此ノ立法ノ趣旨モハツキリシナイ、更ニ又大キク言ヘバ生産力擴充モ出來ナイ、斯ウ食糧ノ確保ニ資スルコトモ出來ナイ、斯ウ信ズルモノデアリマスルガ、其ノ點ニ對スル政府當局ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス。

○土屋政府委員 農地委員會ノ活動ノ情勢カラ、其ノ改組ニマデ御言及ニナツテノ御質問デゴザイマシタガ、御承知ノ通り農地調整法施行以來、マダ日方淺ウゴザイマスノデ、農地委員會ノ活動ハ、今日ノ狀態ニ

於テ満足スベキモノデアルトハ申上ゲ難ネマスガ、併シナガラ設置ノ數モ段々ト殖ヘテ參リマス、又取扱ヒマス所ノ仕事ノ件數モ段々ト殖ヘテ參リマシテ、先ヅ初期ニシテハ相當ノ效果ヲ擧ゲテ居ルノデアリナイカト考ヘマス、尙ホ先刻申上ゲマシタ小作料統制令等ガ動イテ參リマス、此ノ方面ニ關シマシテモ農地委員會ノ活動ハ、ズツト殖エテ來ラダラウト思ヒマス、又現在ノ農地委員會ノ構成ノ點デアリマスガ、只今ノ所デハ地主側ノ代表者又小作人側ノ代表者、自作農ノ代表者ト云フヤウナモノノ按分ガ大體適正ニ行ハレテ居ルヤウデゴザイマシテ、ソレハ違フゾト呼フ者アリ、今日直ニ改組ヲシナケレバナラヌトハ考ヘテ居リマセス。

○富吉委員 ドウモサウ云フコトヲ言ハレルノハ甚ダ宜シクナイト思フ、此ノ委員會デ何トカカトカ言ヒ通レテ通シサヘスレバ宜イト云フヤウナ御態度デハ困ルト私ハ思フ、ソレニ付テハ私共ハ事實ヲ持ツテ居ル、昭和十三年九月九日付テ農林次官カラ地方長官宛チヤント通牒ヲ御出シナツテ居ル、農地調整法ノ實施ニ關スル件ト云フ通牒ノ中ニ、市町村農地委員會ノ委員ハ地主、自作農、小作農其ノ他農地關係ニ付テ深イ理解ヲ有スル者ノ中ヨリ適正ナル者ヲ選任スルコト、其ノ場合ニ於テハ可及的ニ夫々其ノ一方ニ偏セザルヤウ考慮セラレタキコト、此ノ一方ニ偏セザルヤウ考慮セラレタキコトト云フノハ、偏スル儘ミガアルト云フコトヲ豫想シテ居ルカラ、斯ノ如キ通牒方出サレテ居ルノデアル、又事實ニ於テ……殊ニソレハ新潟縣ニ於ケル實例ニ依レバ、地主ガ一、自作一、小作二ト云フ割合ニナツテ居リマス、新潟ト云フ所ハ御承知ノ通り最

○富吉委員 地方長官ノ報告ハサウナウツテ居ルカ知レマセケレドモ、私共ノ調ベタテ少イト云フコトト、今一ツ警察官、ソレカラ無職、農會技術員、僧侶、酒造家、町長ト云フヤウナコトト、無職ガ非常ニ多イ地主、支配人、斯ウ云フヤウナ者ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ或ハ地方長官カラノ報告ハ、警察官ノ外ハ小作農ノ數ノ中ニ私ハ入レテアルノデハイカト思フ、モウ少シ、實際ニ地方ヲ一々歩イテト云フヤウナコトハ出來マスマイケレドモ、モウ少シ地方ヲ能ク御調ベニナリマセスト、實際私共ノ研究シテ所ニ依リマスト殆ド農地委員會ガ適正ナ活動ヲ致シテ居ル所ガナイト云フテモ差支ガナイデアリマス、此ノ點ニ付テハ私共ハ第六十九議會ニ於ケル米穀自治管理法案ノ時ニモ、當時ノ農林大臣デアラレマシタ現島田農相ニ對シマシテモ相當強ク此ノ問題ヲ解決スベシト云フコトヲ約束シマシタガ、併シテ致スト云フコトヲ約束シマシタガ、併シテガ最近ニ於ケル内閣ノ短命、ヨク迷リマシタルノ、島田農相ニ負フ所ガ少ナカツタノデアリマスルガ、兎ニ角モ農地調整法ト云フヤウナ極メテ不徹底デアリマスルケレドモ法律ガ出來テ、其ノ法ノ運用ガ宜シキヲ得タナラバ、何トカ少シハ此ノ問題ノ解決モ付クノデハナカラウカト云フヤウナ所ノ微カナル期待ヲスラ私共ハ持ツテ居タノデアリマス、然ルニ事實ハサニアラズ致シマシテ、少シ地主側ニ不利ナ問題ガアレバ延期期デ全ク何モ仕事ガ出來ナイノデアリマス、ソコデ私ハ直接農協及ビ小作官等ヲ訪問致シマシテ、是ハ餘程活動的ナ有能ナ人ヲ推薦シ、サウシテソレヲ決定シナイ

ト、トシデモナイ中風ミタイナ委員會ニナツテシマフゾト云フコトヲ警告シマシタケレドモ、アナタ方ノ言フ所ヲ聽イテ見ルト、ドウモ色々ナコトガアルノデ、ソレハサウダケレドモ、サウバカリモ色々ノ關係ガアツテ行キマセ、ソレデハ駄目チヤナイカ、ソレガ本當ダト思フタラヤラナケレバナラナイチヤナイカト知事ニ言ツタ所ガ、ドウモサウモ行カス、ソレデハ意氣地ガナイチヤナイカト云フト、知事ハ全クサウデス、ソレハ意氣地ガナイト云フコトヲ認ムルケレドモ、ドウモ仕方ガナイ、斯ウ云フヤウナ話デアル、是ハ打明ケ話デアリマス、實際地方ニハ色々ナ喧マシイ連中ガ居リマスカラ、中央デ御考ニナツテ居ルヤウニサウ「スムース」ニ參リマセ、其ノ點ハ餘程御注意ニナリマセトイカスト思フ、アナタノ持ツテ居ル統計ト私ノ持ツテ居リマスル事實トガ甚ダ齟齬致シテ居リマスノデ、此處幾ラ論議致シマシテモ致シ方アリマセ、此ノ點ニ付テ私共決シテ是ニ處構ノ事ヲ申立テテ、敢テ農林當局ニ向ツテ喧嘩ヲスル爲ニ私ハ能ク此ノ貴重ナ時間ヲ潰スノデハアリマセ、皆ク行ツテ居ナイカラ、然ルベク御考慮サレ、御努力ヲ願ヒタイ、又殊ニ島田農相ハ此ノ問題ニ付テモ深イ理解ト認識ヲ有スル人デアツテ、決シテ地主ノ番犬デアルト私ハ考ヘテ居ラナイカラ、如キコトヲ言フノデアリマス、地主ノ番犬ナドト思フテ居レバ初メカラコンナコトヲ問題ニシテ居ラナイ、デアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ當局ハ、再度御イコトヲ申シヤウデアルガ、適當ニ調査シテ考慮致ス意思ハナイカドウカ、承リタイト思ヒマス

○島田國務大臣 農地委員會ノ運用ニ關シテ段々御意見ガアリマシタガ、其ノ精神カヲ考ヘマシテ、農地委員會ヲ適當ニ運用シテ效果アラシメルト云フコトハ、最も肝要デアリマシテ、其ノ實情及ビ運用ノコトニ付キマシテハ、尙ホ自分ト致シマシテモ實際ノ能ク調ベ、報告ヲ聽キ、サウシテ其ノ運用ニ關シテハ十分注意ヲスルヤウニ致シマス、左様御承知願ヒマス

○富吉委員 只今農林大臣カラ御答辯ヲ得マシテ満足致シマス、會テ「マオラン」ガ農林省カラ非常ニ壓迫ヲ受ケマシタ、想起セバ私ハ島田農林大臣時代ニ——ソレハ即チ前ノ山崎達之輔農林大臣ガ壓迫致シタノデアリマシタガ、私ハアレヲ見テ決シテインテキデナイ、此ノ「マオラン」ハ必ズ日本ノ硬質纖維トシテ將來物ニナルト云フ見込ヲ付ケテ、有ユル壓迫ノ中ニ「マオラン」ヲ守リ續ケテ參ツタノデアリマス、所ガ是ハ餘計ナコトデアリマスルケレドモ、其ノ時ニ於キマシテ内閣ガ選リマシタカラ、早速島田農林大臣ヲ御訪ネ致シマシテ事情ヲ具申致シマシタ、所ガ農林大臣ハ能ク分ツタ、事情ヲ聽イテ然ルベク善處スルト云ハレタノデアリマス、所ガソレ以來「マオラン」ノ「マオラン」ニ對スル彈壓ガ餘程緩和サレマシテ、サウシテ其ノ緩和サレタコトニ依リマシテ「マオラン」栽培業者ガ一息吐イコトガ「マオラン」ガ度此ノ事變ガ突發致シマシテ、所謂麻ガ外國カラノ關係上輸入ガ出來ナクナリマシテ、國産品ヲ以テ之ヲ代用セシメナケレバナラズト云フコトニナツタ、所ガ日本ニ硬質纖維ガナイ、ソレデ「マオラン」ガ一躍時代ノ寵兒トナリマシテ、今日デハ有ユル方面ニ活躍致シテ居ルデアリマス、斯ノ如キ事實ヲ想起シマシテ、決シテ單ナ

ル其ノ場限リノ答辯トセズニ、其ノ時ト同様ニ一ツ本氣デヤツテ戴キタイト思フノデアリマス

此問題ニ付テハ是ダケニ致シマシテ、モウ一ツ私ハ農村問題ニ付テ極メテ簡單ナ御同ヲ致シタイト思フノデアリマス、ソレハ地下足袋ノ問題デアリマスルガ、地下足袋ハ是ハモウ曩ニ協力三善君デアリマシタカ豫算總會デ御質問ニナリマシタガ、ソレハ石炭増産ニ關スル問題トシテ御述ニナツタヤウデアリマシタガ、私ハ主トシテ農業用ノ地下足袋ノ問題ヲ御詳致シタイノデアリマス、今日此ノ地下足袋ノ不足ト云フコトハ實ニモウ御話ニナラナイノデアリマス、三善君ノ御話ニ依リマスト、鑛山ノ労働者ガ三十人居レバ三十人皆ガ休ノ日ニ貫ヒニ行ク、斯ウ云フノデアリマスカラ、三十人が皆一緒ニ貫ヒニ行ツテ貫ヒレバソレデ結構ナシデアリマス、所ガ農村ノ方デハ地下足袋ガ申込四十人ニ對シマシテ二足カ三足シカ配給ガ出來ナイノデアリマス、ソレデ産業組合デ抽籤ヲヤリマシテ、サウシテ其ノ抽籤ニ當ツタ者ダケガ一組合、一部落ノ三十戸數、四十戸數ノ中デ二人カ三人ト云フヤウナ配給ヲ受ケル状態デゴザイマス、是ハ農民ヲ非常ニ苦シメテ居ルコトハ今更中上ゲルマデモアリマセマカ、一體ハ本綿ノ關係デアルカ、護謨ノ關係デアルカ、ドツチノ關係デゴザイマスカ、其ノ點ヲハツキリ一ツ御教ヲ願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 護謨ノ關係ガ多カラウト思ヒマスガ、勿論棉花ノ關係モアリマス、地下足袋ノ問題ハ屬、農業關係ニ於テモ、林業關係ニ於テモ、或ハ又商工省方面ノ鑛山ノ關係デモ言ハレルノデアリマシテ、農業

關係ニ於キマシテモ、今御述ニナリマシタヤウナ十分ニ其ノ配給ガ行ツテ居ナイト云フコトハ、吾々モ承知致シテ居ルノデアリマス、十五年度物動計畫ニ於キマシテハ相當數ノ地下足袋ノ配給ヲ増シ得ルヤウナ原料ヲ獲得致シタイト思フテ、今努メテ居ル次第デアリマス

○富吉委員 大體ノ位ノ足數ガ確保セラレル御見込デアリマスカ

○重政政府委員 現在ノ所デハマダ決ツテ居リマセマカ、出來ルダケ多ク確保致シタイト考ヘテ居リマス

○富吉委員 私ハ農林當局ノ御努力ニ信頼致シマシテ多ク追究致シマセマカ、大體農林省ハ今マデノ例カラ致シマセマカ、殆ド商工省ニ押サレ氣味デアルト云フテ差支ナイト私ハ思フノデアリマス、今マデハ總テサウ云フ風ニナツテ來テ居ツタヤウニ思フノデアリマス、此ノ上ハ一層努力ヲ致シマシテ、其ノ點確保ニ御努力ヲナスツテオヤリニナリマセマカ、色々御計畫ヲ御立テニナリマシテモ、百姓ノ方ガ農林省ヲ馬鹿ニスルヤウニナリマスト、増産計畫ナド以テノ外デアルト云フコトヲ申上ゲテ、此ノ地下足袋ノ問題ハ是デ承服スルコトニ致シマス

ソレカラ農業用ノ衣服ノコトデゴザイマスガ、大體一昨年ノ六月二十九日デ、純綿ハ織ツテハナラナイト云フヤウナコトニ相成ツタヤウデアリマス、即チモウ機ニ、糊ヲ付ケテ居ルヤウデモイケナイ、所ガ九月ニ至ツテ糊ヲ付ケテ居ルモノハ織ツテモ宜シイト云フコトト、モウ糊ノ付イタモノダケハ織ラレルト云フコトニナツタヤウデアリマスルガ、其ノ以後ニ於キマシテハ

殆ド純綿ト云フモノハ農村ニ配給サレテ居ラナイヤウニ思フノデアリマス、僅ニ久留米耕デアリマストカ、伊豫群、ソレカラ琉球耕ガホンノ少シ、是ハ商工省ノ所管デアリマスカレドモ、サウ云フヤウナ工合ニホンノ少シツツ特免ガ配給サレテ居ルヤウデアリマス、ソコデ農民ハ實際ノ所是カラ夏分ニナリマスト、非常ニ汗ナカキマスノデ、既ニ御承知ノコトトハ思ヒマセケレドモ、「ス・フ」デハ進モ活動ニ堪ヘマセケレドモ、之ニ付テハ幾多ノ笑ヘナイ、「ナンセス」ガアルノデアリマス、又之ヲ混紡ニ致シマシテモ、殆ド堪ヘ得ラナイノデアリマス、殊ニ濕氣ノ多イ地方ナドニ參リマスト、本藍染デゴザイマセマカ、硫化染デハ駄目ナノデ、サウシマスト、「ス・フ」ト云フモノハ紋リガ效キマセマカ、本藍染ニナリマセマカ、特ニ又番手モ大キイワ用ヒナイトイカスト云フ關係上、中々商工省ノ方デハソレヲ農村ニ廻シテ呉ラナイノデアリマス、織物業者ハ又織物業者デ、自分達ノ生活ノ建前カラ、色々ト運動致シテ居ルヤウデアリマスガ、中々呉ラナイ、一般ノ所謂市民用ト致シマスト、ソレハ、マア或ル程度マデ仕方ガナイト私ハ思フ、ケレドモ、活動シテ行キマスル者ニ「ス・フ」ヲ著セテ見タ所デ、是ハ始マラナイ、少クトモ労働者ト農民ダケハ、ドウシテモ本綿デナケレバ駄目ト思フ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ニ對シテ農林當局ハ何カ商工當局ト特ニ交渉サレテ、本年度ニ於テハ百姓ニ潤澤ニトハ言ハナイケレドモ、少クトモ事ヲ缺カサナイ、辛抱サレバ事足リル範圍ニ於テ、本綿ノ労働者ヲ著セ得ルト云フ見込シハゴザイマ

セスカ、其ノ點ニ付テノ見込ヲ御伺シテ置キタイノデアリマス

○重政政府委員 農山漁村用ノ綿製品ニ付テ今御述ニナツタノデアリマスガ、是ハ地下足袋同様ニ、農山漁業者ノ生産資材トシテ極メテ重要ナモノデアルト云フコトハ、今御述ニナツタ通りデアリマス、吾々モ其ノ必要ヲ十分ニ強調致シマシテ、所謂特選製品トシテ、或ル程度ノモノヲ其ノ方面ニ物動上振向ケルコトニ致シタノデアリマスガ、御話ノヤウニ是ハ半年ノ需要カラ考ヘテ見マスト、非常ニ規制率ガ強クナツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ前内閣ノ當時デアリマシタカ、地下足袋及ビ綿製品等ノ農山漁村用ノモノニ付テハ、特ニ潤澤——ト云フハ語弊ガアリマスガ、其ノ方面ニ出來ルダケ多ク物資ヲ廻ス、斯ウ云フヤウナ御相談ガ出來タト云フヤウナコトモ、新聞紙上デ拜見シタコトモアルノデアリマスガ、遺憾ナガラ現狀ニ於キマシテハ、今御希望ニナリマシタ程度ニハ、恐ラク行クマイト考ヘテ居ルノデアリマス、來年度ノ物動ニ於キマシテハ、其ノ點ハ出來得ル限リ其ノ必要性ヲ強調致シマシテ、棉花ノ確保ヲ致スト云フ考ヘテ居リマスガ、ザツタランニ申上ゲマスト、現狀ニ於テハ非常ニ事缺カナイ程度ニ、股引トカ、或ハ作業著其ノ他ノ綿製品ヲ廻スト云フコトハ、今ノ所ハ一寸見當ハ立ツテ居リマセマカ、商工省デ特免トシテ現在配給シテ居リマスモノハ、私ガ先程申上ゲタヤウニ、例ヘバ伊豫群トカ、久留米耕トカ、琉球耕トカ云フヤウナ、長イ間名聲ヲ博シテ來タモノハ、サウ云フモノニ對シデアリマス、

所方農業用ノ著物ハサウ云フ耕ナ何カト云フモノハ、ソレハ役ニ立タナイノデハナク...

ナケレバナラヌカモ知レナイトカ何ト云フヤウナ、イイ加減ノ、ハツキリシナイヤ...

ドウカサウ云フ御諒承願ヒマス ○石坂至查 吉田君 ○吉田委員 先づ早害対策ニ付テ質問シマ...

シテ、一万二千圓ノ基本金ヲサツト昨年作リ上ゲマシテ、村ノ經營ニ付テ稍、將來ヘ...

マスト、先づ村財政ヘノ影響ヲ見マスト、ト、大體此ノ村ハ經常費四萬圓デ財政ヲ賄ツ...

理的、思想的ナ影響ハドウカト見マスト、是ハ丁度山陽本線ノ北一里半バカリノ所ニ...

ノ事業トニ大別シテ申上ゲラレト思ヒマス、農業土木事業ハ耕地事業ガ一番多ウゴ...

リマスガ、大抵ノ所ハ今年ノ雨量不足ノ爲ニ池ノ水ハ非常ニ少ウゴザイマス、多イ所...

○土屋政府委員 只今吉田委員カラ御話ノアリマシタヤウニ應急事業ヲヤリマシタ爲ニ、却テ十五年ノ耕作ニ支障ヲ生ズルヤウナ事態ガアツテハハ宜シクナイト思ヒマスカラ、早速取調ベマシテ適當ナ注意ヲスルヤウニ致シタイト思ヒマス。

○吉田委員 ソレカラ今述ベマシタ岩岡村ニ其ノ一例ガ殘ツテ居リマス如クニ到ル所デ早害ノヒドカウツタ村ノ財政缺乏ガ言ハレテ居ルノデアリマス、此ノ問題モヤハリ非常ニ重大ナルコトゴデザイマシテ、是ハ或ハ農林省ノ所管デハナクシテ大藏省ノ所管ニナルカトモ思ヒマスレドモ、併シ事ヤハリ農林關係ノコトデアリ、主トシテ農林省ガ早害諸対策ヲ御立テニナツタモノト考ヘラレマス、サウ云フ私ノ觀測カラ伺ヒマスルガ、斯様ニ村財政ガ早害ノ爲ニ行詰ルト云フヤウナコトハ十分ニ救済乃至ハ打

別トシテ、先ヅ都會地ヨリ五里十里ノ所デアリマス、ドウシテモ通常ハ二回以上ノ勞賃ニナツテ居リマス、激シイ筋肉勞働ニナリマスルト三回五十錢位ヲ出スヤウナ所モ隨分アルノデゴザイマス、又山ノ方ニ於キマシテモ、最近ノ林業ノ關係上、木材ノ運搬等ノ運賃ガ非常ニ上ツテ居リマス、事實上勞賃ハヤハリ二回以上ニ普通ハナツテ居リマス、ソコデ縣ノ調査ニ依ツテ見マシテモ、事實上此ノ勞賃ガ一四七八十錢ト云フヤウナハホンノ僅ナ例デアリマシテ、實際ハ時間ノ延長等々ノ關係デ二回以上ヲ拂ツテ居ルノガ實例デアリマス、サウ云フ際ニ一四三十錢位ヲ標準ト致シマシテハ、各地方ノ村デモ其ノ一定ノ計畫ヲ立テテ、ソレニ依ルル夫ノ數、其ノ人夫ノ數ノ積算ノ勞賃、是ガ主トナルノデアリマス、カニ結果ニナル、仕事ヲ疎カニスルカ一部放棄スルカ、變ヘルカ、或ハソレトモ勞賃ヲ村別ノ方法デ出スヤウニスルカ、要スルニ其ノ爲ニ此ノ現實ニ合ヒマセヌノデ、村ノ負擔ガ非常ニ増シテ居ルト云フノガ到ル處ニ見ル例デアリマス、ソレナラバ大體今日ノ現實ノ勞賃ガ全國的ニ上ツテ居ル時デアリマスルカラ、縦シバ愛村ノ心ニ懸ヘテ無料デモ奉仕ノ心デヤラウト云フ精神ヘソレハ分リマスケレドモ、先ヅソレノ對策ハ別ト致シマシテ、經濟ノ關係ハ實際ノ實情ニ合ハス所ノ安イ數字ガ出サレルト云フ風ニナリマシタハ、恐ラクヤハリ農林省ノ數字ノ基礎ガサウ云フ風ニアツタ爲デハナイカ、斯ウ思ハレルノデアリマス、就キマシテハ、其ノ數字ノ前提ト根據ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○土屋政府委員 吉田委員ノ御話ノ通り、今回ノ救済事業ノ勞賃ハ民間行ハレテ居リマス所ノ他ノ一般ノ事業ノ勞賃ヨリ少イト云フコトハ、私モ認メマス、唯事業ノ性質ガ性質デアリマスカラ、其處ヘ出テ働ク人々ノ普通ノ勞働ニ出ルトハ違ヒマシテ、一ツハ救済事業デモアリ、又一ツハ出來上リマシタ仕事ガ結局自分達ガ皆恩典ニ浴スルコトデゴザイマスカラ、或ル程度ハ辛抱シテ戴イテ、オ氣ノ毒ニ思ヒマスケレドモ、先ヅ豫算ノ範圍内デ仕事ヲヤツテ行ケルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尤モ是ハ政府ノ豫算ノ都合モゴザイマスノデ、豫算ガ潤澤ニアリマスレバ吾々ハ決シテ賃銀ノ低イコトヲ以テ満足スルモノデアリマセヌガ、何分ニモ政府豫算ノ都合デ吾々ノ希望通りニ殖エナイノデアリマス、尤モ從來地方ノ土木事業ハ一日一圓デゴザイマシタ、ソレヲ今回ハ特ニ一圓三十錢ニ上ゲタノデアリマス、ソレニ致シマシテモ、一般ノ賃銀ニ比ベレバ決シテ潤澤デアルトハ申サレナイノデアリマス。

○石坂至查 吉田君ニ相談致シマス、大臣ハ御用ガアルサウデスガ、アナタハ大臣ニ御質問ガアリマスカ。

○吉田委員 宜シウゴザイマス——斯ウ云フコトハ如何ナモノデゴザイマセウカ、刑務所ノ囚人ノ食費ガ、是ハ物價等ノ色々ナ關係デ違ヒマスケレドモ、大體ニ於テ一日十四錢位ニナツテ居リマス、ココデ十四錢ト致シマシテ、家族五人デ七十錢、ソレデ此ノ救済事業ハ勞銀ヲ散布スルノガ主タル目的デアルカラ、生活ヲ救済スルノデアル、生活ヲ救済スルノデアルカラ、普通ノ經濟

○土屋政府委員 一圓三十錢ノ賃銀ハ洵ニ少イ賃金デアルコトハ先刻私モ認メタ次第デアリマス、之ヲ算出致シマシタ基礎ハ、大體從來ノ救済事業ガ其ノ基礎ニナツテ居ルノデゴザイマシテ、例ヘバ先年ハ千葉縣ニ於テ水害ノ爲ニ應急事業ヲヤリマシタ、或ハ其ノ前ニハ昭和九年當時早害救済ノ應急事業ヲ行ヒマシタ、其ノ場合ニハ總テ一圓計算セラレテ居ルノデアリマス、ソレヲ今回ハ特ニ値上ヲ致シマシテ、三割ノ値上ヲシテ、一圓三十錢ト云フ單價ニシテ賣ツタ、是ハ豫算ヲ編成シマス當時ニ、ソレニ付テハ私共モ相當苦心ヲ致シタ譯デゴザイマスガ、政府豫算ノコトデゴザイマスカラ、物價ノ變動ニ連レテ之ヲ多額ニ編成スル譯ニ行キマセヌノデ、其ノ點相當骨ノ折レルコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス、ソレデハ豫算單價デアリマシテ、此ノ範圍内ニ於テ縣デ設計ヲ致シマス、其ノ設計ノ範圍内デ經理致シマス場合ニハ、例ヘバ一人ニ對シテ一人二分或ハ一人三分ト云フヤウナ歩掛リヲ付ケマシテ、一圓五十錢ト一圓六十錢トカ云フヤウニヤルコトモ相當アルト思ヒマス、併シ全部ガ全部一圓三十錢デ、ソレ以上一錢モ拂ハスト云フコトハ決シテナイト思ヒマス、尤モ此ノ賃銀ガ決シテ多イトハ思ヒマセヌケレドモ、前ニ申シマシタ通りノ理由デ遺憾ナガラ此ノ程度ニ止ツタ次第デゴザイマス、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○吉田委員 實ハ其ノ點ニ付テデアリマスガ、例ヘバ二千人ノ勞力ヲ要スル際ニ、一圓三十錢デ二千六百圓ノ經費ヲ見積ツテ、或ル土木事業ナリ計畫ヲ立テタ場合ニ、現實ニハ二圓六十錢假ニ拂ハナケレバナラス

トスルナラバ、仕事ガ半分シカ出來ナイデハナイカ、サウ云フコトハ目的ヲ達シ得ナイト云フコトニ歸著スルノデアリマス、之ヲ恨レルノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ點ニ對スル將來ノ御考慮ヲ希望シ、且ツソレガ出來ルヤ否ヤヲ質シタイノデアリマス、豫算ノ單價デアル限リハヤハリ現實ノ經濟事情ヲ十分ニ考慮スベキモノデアラウト思ヒマス、現實ニ適合シナイト云フ結果ニナレバ、仕事モ現實ノ結果ヲ得ナイノハ當然デス、將來村ニ於テ無理ノ生ゼヌヤウニ勞賃ノ單價ヲ更ニ改メル御考ハナイデセウカ、若シソレヲシナイト致シマシタナラバ、ヤハリ「インチキ」ノ計畫ヲ致シマシタナリ、村ト縣ト縣ト政府トノ間ニソレ、インチキ」ガ往キ來スルト云フコトニナリマス、是ハヤハリ國ノ政治ノ上ニ誠ニ憂フベキ現象デアル、醇朴ナ農村ノ爲ニモサウ云フコトハ實ニ遺憾ナコトデアリマス、尙ホ御伺シテ置キマス。

○土屋政府委員 其ノ點ヲ考慮致シマシテ從來一圓ノモノヲ一圓三十錢ニシテ、三割ノ値上ヲ今度致シテデアリマス、併シ一圓三十錢ト雖モ今日ノ情勢ニ於テハ適當デナイトモ思ハレマス、又物價ガ急ニ下落スルトモ考ヘラレマセヌカラ、將來斯様ナ事業ヲ起シマス場合ニハ今日ノ情勢ニ願ミマシテ、只今ノ御趣旨デ能ク考慮シテ行ク積リデアリマス。

○吉田委員 ソレカラ應久ノ對策ノ一ツデアリマスガ、桑園ノ被害ニ對シテ相當補助モ出來タヤウデアリマスガ、先般モ丁度兵庫、徳島、山口、京都、滋賀、是ナド問題ニナツタノデアリマスガ、是等ノ府縣ガ全ク何等ノ補助ナク、ソレカラ他ノ數縣ノミニ補助ガアツタ、是ハ數字上カラ見マシテモ、例ヘバ徳島ニ於キマシテハ五千九百八十餘町歩ノ被害ガアル、兵庫縣ニ於テモ五千八百餘町歩ノ被害ガアル、之ヲ受ケマシタ岡山ハ三千三百町歩ノ被害デアリ、香川ハ千八百七十二町歩ノ被害デアリ、ウ云フコトニナツテ居リマスノデヤハリ是ハ何カノ喰違ヒト言ヒマスカ行違ヒガアツタノデヤナイカト思フノデアリマスガ、補助ヲスルト云フヤウナ場合ニハ出來ルダケ公平ニ均當スルト云フコトガ斯ウ云フ對策ノ一ツノ要點デナイカト考ヘマスルノデ、其ノ點ニ付テ何カ方法ガアルカドウカ、或ハソレトモ何等カノ理由デモアルノデゴザイマセウカ、一言御答辯ヲ願ヒマス。

○吉田政府委員 桑園ノ早害地方ノ中今御話ニナリマシタ徳島縣ナドガ桑園ノ救済カラ除外サレタト云フ御話デアリマスガ、大體是ハ滿ノ早害ノ基準額ト申シマスルカ、早害ノ基準額ト云フコトハ勿論吾々ト致シマシテハ、其ノ他ノ縣ニ對シマシテモ同様ノ助成ヲ致シタイト云フコトデ極力努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、何シロ財政經費多端ノ折柄デ三割以上ト云フ基準額決リマシタコトハ吾々トシマシテ遺憾デアルト存ジマス、今申シマシタ基準額ヤツテ居ルト云フコトヲ御諒承願ヒマス。

○吉田委員 一寸今ノ點デアリマスガ、縣全體ハ三割トカ二割トカ、サウ云フ被害ノ程度ヲ基準ニシテ御決メニナル、其ノ基準ノ取り方ハ具體的ニ或村ハ全減シテ居ル、併シ或村ハ非常ニ多イ、斯ウ云フヤウナ場

マウ、或ハ又村カラハ町ノ工場へ、ドン
 フント働ク人ガ出テ行ク、恐ラクハ夜逃ゲ
 スル人スラ働テ出ルノデハナイカト云フコ
 トヲ思ヒマス、經濟的理由カラ來テ居リ
 マス爲ニ、農村ニ於ケル思想精神ト云フコ
 トガ、此ノ早害対策ノ一ツノ重要ナ課題ト
 シテ取上ゲラレナケレバナラスノデハナイ
 デアラウカ、農林省ハヤハリ此ノ早害ニ對
 スル最重要ナル御立場ニオアリニナルノデ
 アリマスカラ、他省トモ協力ナサツテ、此
 ノ新シイ村——私ヲシテ言ハシムレバ、全
 村一家ノ理想實現、斯ウ云フ方ヘ精神のナ
 モノヲ現ハシテ行ク、サウ云フコトガ最も
 大事ナル點デハナカラウカト思フノデアリマ
 ス、併シナガラドウモ是マデノ現ハレマシ
 タ所ニ依リマス、物カラ精神ガ支配サレ
 テ行タカラ、唯腹サヘ膨ラマヌヤウナ方法
 フ何カ講ジタラ、ソレデ事ガ済ムノデヤナ
 イカト云フ風ニ、簡單ニナツテ居ルノデハ
 ナイカラ慮レルノデアリマス、左様ニ簡單
 デハナイト思ヒマスケレドモ、常ニ物ノミ
 ガ扱ハレテ居リマス云フコトガ、私ノ非
 常ニ不滿ナル點デアリマラス、其ノ點
 ニ付テ一ツ御所見ヲ御伺シタイノデアリマ
 ス

○土屋政府委員 早害救済ノ対策トシテ補
 助金ヲ出ス、單ナル物質的方面ノミデ早害
 ノ救済ヲスルト云フコトハ宜シクナイ、是
 ハ宜シク精神の方面カラ出發スベキモノデ
 アル、サウ云フ只今ノ御意見ハ洵ニ御尤ト
 存ジマス、昨年ノ早害ノ際ニ私モ二度バカ
 リ實地ニ歩イテ見マシタガ、農民ハ損得ヲ
 全然考ヘナイデ、唯自分ノ田ニ米ヲ一粒デ
 モ多ク作りタイト云フノデ、一生懸命ニヤ
 ツテ居ルト云フ實例ヲ所々見致シマシ
 テ、大イニ意ヲ強ウ致シタノデアリマス、
 今日ノ農村ハ決シテ物質主義、唯物主義デ
 ハ恐ラクナイト思ヒマス、又唯物主義デ之
 ヲ指導スベキモノデハ決シテナイト思フノ
 デアリマシテ、只今ノ御趣旨ニ從ヒマシテ
 其ノ對策ヲ立テルヤウニ、關係ノ省ト相談
 シテヤリタイト思ヒマス

○吉田委員 ソレカラ恒久對策ニ付テ尙ホ
 一寸一ツ伺ツテ置キタイト思フノデアリマ
 スガ、政府ハ色々準備中ト伺フノデアリマ
 スケレドモ、恒久對策ハヤハリ耕地水利ガ
 主トナルモノデセウカ、或ハモソツト積極
 的ナ村ノ建設ト云フヤウナ綜合的ナモノモ
 入ルノデアリマセウカ、其ノ恒久對策ノ方
 面ニ付テ一寸伺ヒタイト思ヒマス

○土屋政府委員 只今私ノ所考ヘテ居リ
 マス恒久對策ハ、専ラ耕地水利ノ改善ノコ
 トデアリマス

○吉田委員 是ハ非常ニ重大ナ此ノ問題ノ
 將來ノ爲デアリマスカラ、形ハ何レデモ宜
 イノデスガ、例ヘバ精神の方面ヤ學校ノ方
 面ニ付テハ文部省モ關係ガアリマスコトデ、
 是ニ付テハ他省トモ聯合協議ノ下ニ、恒久
 對策ヲ講ジテ行カレルトコトヲ私ハ希望スル
 ノデアリマス、ソレハ當然爲サルカトモ思
 ヒマスガ、尙ホ一言伺ツテ置キタイト思ヒ
 マス

○土屋政府委員 農林省ノ立テマシタ應急
 對策ニ付キマシテハ、此ノ前ノヤウニ各省
 ノ協議デヤツテハ居リマセス、此ノ前ハ非
 常ニ急ヲ要スル場合デアリマシタガ、聯絡
 ヲシテヤリナイト效果ガナイト云フ所カラ
 協議ヲヤツタノデアリマス、恒久對策ニ付
 キマシテハ、只今ノ所考ハ協議ヲヤツテ出
 來タ案デアリマセスガ、御質問ノ御趣旨

御尤ト拜聽致シマシタカラ、尙ホ其ノ點ハ
 一ツ考ヘテ見タイト思ヒマス

○吉田委員 色々各方面ニ互リマシテ早
 害ノ對策ヲ伺ヒ、又將來ヘノ希望ニ對スル
 御所見ヲ伺ツテ意ヲ強ウ致シタノデゴザイ
 マス、私ハ早害ニ付キマシテハ是デ打切ル
 コトニ致シマシテ、耕地ノ問題ニ付テ少シ
 ク御尋シテ見タイト思フノデアリマスガ、
 西日本ノ股販産業地帯附近ノ耕地ハ次第ニ
 減ツテ參リマス、此ノ減ツテ參リマスノモ
 直ク其處ガ重要ナル場ノ敷地ニナルト云フ
 ナラバ、マダシモデアリマスカレドモ、一
 例ヲ舉ゲマス、兵庫縣ニ於キマシテモ、
 海岸地帯ダケデ五百町歩ニ互ツテ休閑地ト
 シテウツチヤツテアルノデアリマス、大阪
 府ニ於キマシテモ大阪府下ニ於キマシテハ、
 三町歩ノ休閑地帯ガアルノデアリマス、
 大阪府ヤ兵庫縣ノ休閑地帯ニ於ケル最近ノ
 地主ノ人々ノ考ヘ方ハ、總テハ全都市街
 化、工場地帯化スルノデアル、ダカラ成ベ
 ク有ユル機會ヲ見テ小作人カラ土地ヲ返シ
 テ貰ツテ、數年間遊バシテ置イテモ宜イ、
 値上リヲ見ルナラバ、小作料位ハ入ラス方
 ガ宜イ、斯ウ云フ思想マデ段々ト出來テ來
 ルコトヲ思ヒマシテ、非常ニ私ハ社會上憂
 慮スベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス、
 ソコデ休閑地ノ利用ハ色々御考モアルコ
 トト思ヒマスルガ、私ハ進シテ現ニ使用シ
 ツツアルヤウナ耕地ニ付テハ、之ヲ取ラレ
 ルナウナ時ハ、嚴重ニ干涉スル位ナ建前ヲ
 農林省デ御執リ下サツテ、地方官廳ヘソ
 レゾレ嚴重ニ御指令ヲ願ツタラ如何カト思
 フノデアリマス、尤モ土地ノ所有權ガ自由
 ニ讓渡サレルト云フヤウナコトニ付キマシ
 テ、法律的ニソコナニ干涉ガマシイコトハ

出來ナイノデアリマスカレドモ、併シ農
 地調整法ノ第八、九條等ニ依ツテ見マシテ
 モ、ヤハリ現在ノ耕作關係ト云フモノハ
 土地ノ所有權ノ移轉ニ拘ラズ、十分ニ保護
 サレテ居ルノデアリマスルガ、悲シイ哉、
 社會ノ現實ハ法律ヲ無視シマシテ、之ヲ無
 理ヤリニ近イ色々ナ方法ヲ以テ取上ゲル者
 スラアルノデアリマス、デアリマスカラ出
 來ルゲ耕地ヲ積極的ニ保護スルト云フコ
 トハ、此ノ際一ツノ重要ナル課題デアリ
 デアラウカ、休閑地ヲ進シテ利用スルト云
 フコトモ大事デアリハ致シマス、何シロ大
 阪兵庫縣ノ二ツノ府縣ダケノ休閑地ヲ計算
 致シテ見マシテモ、年ニ十萬石位ナ米ガ獲
 レハシナイカ、斯ウ思フ程デアアルノデゴザ
 イマス、私ハ進シテ或ハ小作官モアルコト
 デアリマスコシ、或ハ耕地課其ノ他ノモノモ
 各縣廳ニアルノデアリマスカラ、全國ノ斯
 ウ云フ地帯ニ於ケル耕地ヲ積極的ニ保護ス
 ル、何等カノ形式ニ依ツテ斯ウ云フ方針ヲ
 立テテ裁クナラバ、今日ノ農村ノ社會問題
 フ未だニ防グコトニモナリ、或ハ又増産ノ
 精神ニモ副ヒ、又耕地其ノモノヲ保護スル
 フト云フコトニモナル譯デアリマスコトデ、是
 ハ強ク要望スル次第デゴザイマス、此ノ點
 ニ付テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○土屋政府委員 時局ノ影響ニ依リマシテ、
 田畑等ノ耕地ノ剩廢シテ行クコトハ御説ノ通り
 デアリマス、併シ最近ハ幾ラカ其ノ傾向ガ
 緩和シタヤウデアリマス、昭和十二年カラ
 十三年ニ掛ケテガ一番多クゴザイマシテ、
 十四年ニナリマスコト數字ノ上デハ幾ラカ下
 リ坂ニナツタヤウデアリマス、何レニシマ
 シテモ、食糧問題ノ非常ニ重要ナル際ニ、立
 派ナ耕地ガドシク潰サレテ行ク、而モソ

レガ直ク利用セラレナイデ、土地思惑等ノ
 爲ニ、休閑地トシテ放任セラレテ置クト云
 フコトハ、甚ダ由々シキ事デアリマス、
 政府トシテハ之ニ對シテ何等カノ對策ヲ至
 急ニ立テル必要ガアルト考ヘマシテ、今回
 隨カ一昨日ノ官報デ公布ニナリマシタガ、
 農地審議會ト云フ委員會ガ政府部内ニ設ケ
 ラレマシテ、其ノ委員會ニ於テ農地問題全
 般ヲ取扱フノデアリマスガ、只今ノ問題ヲ
 先ツ第一ニ取上ゲマシテ、時局下ニ於ケル
 農地問題トシテ研究シテ、適當ナ對策ヲ樹
 立シタイト考ヘテ居リマス

○吉田委員 私人ノ質疑ハ是デ打切リマス、
 御答辯有難ウゴザイマシタ

○石坂主査 十九日月曜日八時十分時カ
 ラ開會致シマス、本日は是ニテ散會致シマ
 ス

午後五時三十五分散會

會議

昭和十五年二月十九日(月曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

- 主査 石坂 養平君
- 小畑虎之助君
- 村松 久義君
- 吉田 賢一君
- 田村 秀吉君
- 富吉 榮二君

兼務

- 矢野庄太郎君
- 山本 厚三君
- 吉植 庄亮君
- 牧野 良三君
- 小山 亮君
- 松村 謙三君
- 北 吟吉君
- 石坂 豐一君
- 加藤 知正君
- 三宅 正一君
- 川島正次郎君
- 平野 力三君

出席國務大臣左ノ如シ

- 農林大臣 島田 俊雄君
- 農工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

- 大藏省銀行局長 入間野武雄君
- 農林政務次官 岡田喜久治君
- 農林省農務局長 土屋 正三君
- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 農林省水産局長 栗屋 仙吉君
- 農林省畜産局長 岸 良一君
- 農林省蠶絲局長 吉田 清二君
- 農林省經濟更生部長 周東 英雄君
- 農林省臨時農村對策部長 重政 誠之君

第一類第七號

豫算委員第六分科會議錄

第三回

昭和十五年二月十九日

農林書記官 岡本 直人君
馬政局長官 村上富士太郎君
農工參與官 喜多壯一郎君
農工省監理局長 牧 楢雄君
主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員 沖島 鍾三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中農林省所管
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス
ヲ要スル件中農林省所管
(第一號)昭和十五年度歳入歳出總豫算案追加案中農林省所管
○石坂主査 ソレデハ是カラ開會致シマス
○加藤知正君

○加藤委員 私ハ質問ト云フヨリモ寧ロ御相談ト云フ意味ヲ御尋申上グルノデアリマスカラ、ドウゾ政府委員ニ於カレマシテモ、其ノ御積リテ御答ヲ戴キタイト思フノデアリマス、昨年ノ春吉植代議士ガ十一年、十二年、十三年共豐作ガ續イテ、年々豐作ガ續イタ後ハ必ズ凶作ヲ免レナイ、又大戦後ニ於ケル凶作ハ必ズアルモノト覺悟センケレバナラヌト云フコトデ、古來ノ歴史ヲ引用シマシテ、各大戦後ノ凶作ヲ述ベラレマシテ、大イニ昭和十四年度ニ於ケル作柄ニ付テハ、注意警戒ヲセナケレバナラヌト云フコトヲ言ハレタデアリマス、然ルニ幸ニモ昨年ハサウ云フコトガ殆ド一片ノ杞憂ニ歸シタヤウナ次第デ、去ル昭和八年ニ次グ

大豐作デアツタ、若シ早魃ト云フモノガナカツタナラバ、恐ラク從來ノ「レコード」ヲ破ツク豐作デアツタニ違ヒナカラウト思フノデアリマスガ、洵ニ天佑トハ申シナガラ國家ノ爲ニ非常ニ之ヲ喜ンダ次第デアリマス、併シナガラ本年ノ作柄ニ付キマシテハ、實ハ非常ニ心配ヲセナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、其ノコトハ此ノ間ノ米穀需給ニ關スル改正法律案ガ、本會議ニ上程セラレマシタ際ニ御話シタノデアリマスカラ、是ハ能ク政府委員モ御聽キ下サレテアルコトト存スルノデアリマス、ソコデ私ノ眼カラ見マスルト、政府ハ此ノ需給關係ニ付テハ非常ニ御心配ニナツテ居テ居ルヤウデアリマス、又御心配ナサルノハ當然ト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ凶作ニ對スル豫作、萬一ノ場合ニ處スル作柄ニ對スルコトニ付キマシテハ、抽象的ノ御意見ハ承ツテ居リマスケレドモ、具體的ニ此ノ凶作ヲ轉ジテ豫作トスルニハドウスレバ宜シイカ、斯ウ云フコトニ付テハ在外ニ御力ガ入ツテ居ラスカノ如クニ思ハレルノデアリマス、併シソレハ私ガ能ク事情ヲ知ラズシテ申上グルトスレバ、洵ニ結構デアリマスケレドモ、若シ今私ノ言ヒマシタヤウナ次第デアルトシマスルナラバ、實際ノ場合ニ臨ンデソレヲドウスルカ、問題ガ出來テシマツテ後ニ後悔シタ所ガ何ニモナラヌノデアリカラ、今カラ能クソレニ對スル用意ト準備ガ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、所ガドウ考ヘマシテモ努力ガヤハリ不足デ

アリ、又肥料モ十分デナイコトハ言フマデモナイ、併シナガラ其ノ不足ノ努力ヲ巧ニ利用スル、又不足ノ肥料ヲ巧ニ用ヒマシテ十分ニ效果ノ舉ルヤウニスルコトガ、ソレガ即チ凶作ニ對スル吾々ノ最モ重キヲ置カナケレバナラヌ點デハナカラウト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於テ私ノ話ヲ進メテ見タイ、ドウカ其ノ積リデーツ政府委員カラモ御答ヲ戴キタイト思フノデアリマス
先ツ第一ニ此ノ間私ガ申上ゲマシタ努力ノ不足、肥料ノ不足、天候ノ悪カツタ場合等ニ當リマシテハ、ドウシテ之ヲ巧ク切り抜ケルカ、斯ウ云フ點ニ付テ政府ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラルルカ、政府ノ心構ヘト申シマセウカ、御考ノアル所ヲ一ツ改メテ政府委員カラ御答ヲ戴キタイト思フノデアリマス
○土屋政府委員 本年度ノ米作ニ付キマシテハ、只今加藤委員ノ御話ノ通り三年ノ豐作ガ續キ、地方ニ依リマス、四年モ豐作ノ續イタ後デゴザイマスカラ、ソコヘ持つテ行ツテ努力ノ不足、其ノ他農村ノ不足、地方モ相當消耗シテ居リマスシ、計畫ノ生産ヲ舉ゲルコトハ非常ニ困難デアルト考ヘテ居リマス、其ノ點ニ於テハ洵ニ同感デゴザイマス、ソコデ七千万石ノ生産目標ヲ立テマシテ、色々ナ方法ヲ増産ノ手段ヲ考ヘテ居リマス、其ノ手段ヲ先ツ申上ゲマシテ御參考ニ供シタイト思ヒマスガ、昭和十五年ノ米ノ生産目標ハ、十四年ノ計畫數量ガ六千七百四十六万五千石デゴザイマシ

タ、實收ハ幸ヒニシテ是ヨリモ突破シテ居
リマス、即チ此ノ六千七百四十六万五
千石ノ上ニ、更ニ三百五十二万六千石ノ
増産ヲスル、斯ウ云フ計畫ヲ持ツテ居ル
デアリマス、其ノ計畫ノ方法デゴザイマ
ス、是ハ一部分ハ耕地ノ改良ニ依ツテ之ヲ
行ヒタイ、耕地ノ改良ハ小水田ヲ新ニ拵
マシテ陸田モ植エマス、開墾モスル、ソレカ
ラ畦畔排水トカ、客土トカ、床締トカ、農
用公共施設ノ新設デアリマス、トカ云フヤウ
ナ既耕地ノ改良デゴザイマス、斯様ナ事業
ヲ致シマシテ、ソレニ依ツテ四十万八千石
位ヲ見込メ居リマス、ソレガ第一、第
二段ニハ栽培法ノ改善ニ依リマシテ反收
増加ヲ圖ル、ソレニハ多收穫ノ品種ノ普及
ヲ致シマス、ソレカラ温床苗代ヲ奨励シテ
健全な苗ヲ作ル、ソレカラ東北地方ニ於キ
マシテハ通シ苗代、跡地ノ利用或ハ稻熱病
ノ防除、泥負土云ウタヤウナ病害蟲ノ防
除、斯様ナ方法ニ依リマシテ約八十万石
千石ノ増産ヲ得タイ、最初昨年ノ八月ニ七
千百万石ノ生産計畫ヲ立テマシタ當時ニ於
キマシテハ、肥料ノ増肥ニ依ツテ此ノ計畫
ヲ行ハル積リデゴザイマシタ、併シ歐州戰
ガ勃發致シマシタリ、其ノ他諸般ノ事情カラ
致シマシテ、肥料ノ増肥ソレ以上ノ生産
ヲ舉ゲルコトハ、今日言フベクシテ行ハレナイ
状態ニナツテ参リマシタ、ソレデ只今申上
ゲマシタ第一第二ノ點ハ、既ニ豫算ヲ立
テテ只今御審議ヲ願フテ居ルノデゴザイマ
ス、其ノ他ノ殘リノ部分ニ付キマシテハ、
只今大藏省ト協議中デゴザイマシテ、近
追加豫算ニ依ツテ現レコトト思ヒマス
ガ、其ノ内容ハ多收穫品種ノ普及ヲ更ニ一
層ヤリマストカ、或ハ葉精變色莖ヲ摘採シ

テ、螟蟲ノ防除ヲ更ニ一層徹底致シマス
カ、或ハ乾土燒土ト云フヤウナ方法ヲ講
ジマス、其ノ外施肥方法ヲ改善ヲ致シマス
トカ、斯様ナ方法ニ依ツテ合計三百五十
二万石ノ増産ヲ圖ラウトスルノデゴザイマ
ス、併シ何分ニモ御話ノ通り、又只今申上
ゲマシタヤウニ色々ナ惡條件ガ加ツテ居ル
際デゴザイマスカラ、唯是ダケノ豫算ヲ出
シタト云フノデハ中々増産ハ困難デアリマ
シテ、結局官民一致致シマシテ、専ラ農村
ノ部落團體ノ活動ニ依リマシテ、ソレト指
導人員ト合體シテ此ノ大事業ヲ行ハル外
ナト思ヒマス

○加藤委員 此ノ第一ノ方ハ本年ノハ間ニ
合ハヌノデハナイデスカ、ソレガウマク間
ニ合ヘバ至極結構ト思ヒマスケレドモ、今
承ツタ所デハ中々本年ノ米作ニハ間ニ合ハ
ナイコトト思ヒマスガ、其ノ邊ハドウ云フ
御計畫ニナツテ居リマスカ

○土屋政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤
モト思ヒマスガ、此ノコトハ既ニ前年中カ
ラソレヲ豫想致シマシテ、豫算ハ昭和十四
年ノ第二豫備金、追加豫算昭和十五年ノ追
加豫算ト三段組ニ致シマシテ、既ニ昨年ノ
内カラ各府縣ニ配當ヲ致シマシテ、六月マ
デニハ是非ヤル積リデゴザイマシタ、六月マ
デニハ是非ヤル積リデゴザイマシタ

○加藤委員 ソコデ第二第三ノ事柄ハ至極
結構ト思フノデアリマスガ、是ハドウモ現
在ノヤウナヤリ方デハ、中々御計畫ハ至極
結構デアリマスケレドモ、其ノ實績ヲ舉ゲ
ルコトハ容易デハナカラウト思フノデアリ
マス、ソレデ豫算私ガ本會議ニ於テ申シ
マスシ、當ニ本會議ニ於テ申シタバカリデ
ナク、平素カラノ私ノ持論デハアリマス、

斯ウ云フ場合ニハ指導員ノ總動員、之ニ專
ラ全力ヲ御注ギ下サルコトガ、一番有效適
切ナ御キヲ爲スコトト思フノデアリマス、
殊ニ此ノヤウナ場合ニハ全國ニハ農業實業
ヲ通ジマシテ約二万前後ノ指導員ガ居ルヤ
ウデアリマスガ、ソレハ本會議申述ベマ
シタカラ、今此處ノ時間ノナイ所ヲ摩シ
ク申上ゲマセスケレドモ、更ニ私ハ斯ウ云
フ年ニハ老農家、篤農家、サウ云フモノヲ
總動員シテ、ソレヲ一ツ十分働カシメル、
斯ウ云フ御計畫ヲシテ戴キタイト思フノデ
アリマス、ソレデドウノ地方ヘ行キマシテ
モ、ヤハリ置ニバカリオ天狗サンガアル譯
デハナイ、米ニモオ天狗サンガアル、サウ
云フ自信ノアル老農家篤農家ヲ動員シマシ
テ、ソレニ指導員ノ名稱ヲ與ヘルナリ、或
ハ其ノ他ノ名稱モ宜シイト思ヒマスガ、
兎ニ角之ヲ起用シテ斯ウ云フ場合ニ働カシ
ムルト云フコトガ、一番宜イト思フ、其ノ
指導員ノ働キ、サウ云フ老農家、篤農家ノ
働キト云フコトニ付キマシテハ、今效能ヲ
申上ゲナクテモ政府委員ハ疾ニ御存ジノコ
トデスカラ申上ゲマセマスガ、私ハドウシテ
モ官民一致ト仰シタルケレドモ、官民一致
ノ連絡係ニハ、ヤハリ指導員ノ力ガナクテ
ハ駄目ナンデス、唯口ニ官民一致ト言ヒマ
シタ所デ、ドウ一致スルカト云フコトナン
デス、唯部落常會ヤ部落團體ガ一時ソコヘ
人ヲ集メマシテ、サウシテ色々ナ話ヲシマ
シタ所デ、中々ソレガ巧ク行クモノデハナ
イ、ソレヲ指導員ガ居リマシテ實際ニ於
テ色々世話ヲ焼イテ呉レル、詰リ油斷ノ爲
ニヤリ損ヒラスルコトガ多イ、斯ウ云フヤ
ウナ次第デアリマスカラ、此ノ點ハ一ツ特ニ御
考慮ヲ戴キタイ、老農家篤農家ヲ集メル爲

スレバ、サウ太イシテ面倒ガナクテ之ヲ實
行シマスレバ、内輪ニ見積ツテ——是ハ見
積リデアルカラ果シテサウ云フ風ニ行クモ
ノカドウカ疑問デアリマスケレドモ、先ヅ
一段歩ニ付テ一斗ノ増收ハ確實ニ得ラレ
ト思フ、サウシマスト之ヲ百万町歩ニ實施
シマスレバ百万石ノ増收ハ得ラレル、之ヲ
遺ルニ太イシタ經費ガ掛ル譯デハナイノデ
アリマス、併シ此ノ方法ヲ全國ニ普及セシ
ムルト云フコトニナリマス、全國ノ五百
六十万户ノ農家ニ一部ツツ配布スルトシマ
シテ印刷費郵費等ヲ加ヘテ十二万圓モアレ
バ宜シイノデアルカラ、政府デモ一ツ考ヘ
テ戴キタイト思ヒマス、此ノ田植法ノ發明
者ハ新潟ノ古志郡平東谷村五十嵐末五郎ト
云フ者デ、是ハ本當ノ篤農家デアリマス、
本人ハ此ノ時局下ニ於テ米ノ増産獎勵ヲス
ル場合ニ於テハ、是非此ノ田植法ヲ全國ニ
普及セシメタイト云フ信念ニ基キテ、一生懸
命ニヤツテ居ル次第デアリマス、斯ウ
云フモノコソ一ツ大イニ御獎勵ニナツタラ
ドウカト思フノデアリマス、尤モ此ノ方法
ハ新潟縣ノ農事試驗場デモ調査ヲシテ居
リマス、昨年春ノ議會ニ私ハ請願委員會デ初
メテ實ハ之ヲ提出シマシテ此ノ御話ヲシタ
譯デアリマスガ、其ノ爲カドウカハ知りマ
セスガ、本省ノ方カラ新潟縣ノ農事試驗場
ヘ御連絡ガアリマシテ、農事試驗場ノ方カ
ラ調査ヲ行ツタノデハナイカト思ヒマスガ、
新潟縣農事試驗場デモ能ク調査ヲシタヤウ
ニ聞エテ居リマスカラ、政府ニ於テモ之ヲ
等閑ニ附セズ全國ニ御獎勵下サレラド
ウカ、之ニ對スル政府委員ノ御考ノアル所
ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○土屋政府委員 加藤委員ノ御話ノ前段ノ

篤農家ヲ指導員ニ囑託シテ、之ヲ總動員シ
テヤツタラドウカト云フ御意見ハ、私共モ
豫テ考ヘテ居ル所デゴザイマス、洵ニ適
切ナル御意見ト思ヒマスカラ、是ガ更ニ實
現ノ出來ルヤウニ十分考慮シテ見タイト思
ヒマス、第二ノ時局正條種植デゴザイマス
ガ、是ハ御話ノ通りノ經過ガゴザイマシテ、
新潟縣ノ農事試驗場ニ調査ヲセシメ居リマ
スガ、マダ一般的ニシテ之ヲ獎勵スル
程、技術者ノ方デソレニ對スル確信ガ、今
日ノ所デハナイサウデゴザイマス、尙ホ十
分ニ之ヲ研究致シマシテ、確信ガ出來マス
レバ實現致シタイト思ヒマス

○加藤委員 其ノ新潟縣ノ農事試驗場ニ調
査ヲシマシタノハ、一回十二回デハナイ答
デアリマスガ、昨年ハ政府カラノ命ニ依リ
正式ニ之ヲ調査シタモノト思ヒマスガ、其ノ
調査ノ方モ私ノ聞イタ所デハ、實ハ徹底シタ
調査ヲシタカクヤウデアリマス、兎ニ角
政府トシテハ責任ノアル關係上、俄ニ之ヲ
全國ニ獎勵シ難イト云フヤウナ御意見デ
アルナラバ止ムヲ得マセマスガ、併シ西ヶ原
ノ農事試驗場ヘナリト本人ヲ呼ンデ、能ク
其ノ實地ノ試驗ヲヤラシテ見ラレテハ如何
デアリマスカ、私ノ考カラ申シマス、此
處ニ圖面モアリマスガ試驗ナドヤラセル
迄モナク、圖面デモ直ニ分カル方法デア
ルデアリマス、ソレヲ新潟ノ農事試驗場デ
マダ技術的ニ自信ガナイト云フヤウナ答申
ヲスルト云フコトハ、一體ドウ云フモノデア
リマセウカ、コンナハツキリシテ面倒ノナ
イモノヲ、ナゼ技術的ニ何故ニ自信ガナイ
ト云フノデアラウカ、併シ左様ニ承ツタ以
上ハ、私ノ方デモ更ニ新潟農事試驗場ニ付
テ調べテ見マスガ、農林省ニ於テモ一ツ此

ノ事ハ西ヶ原ノ農事試驗場長ト御打合せ下
サイマシテ、本人ヲ呼ンデ、能ク實際ヲヤ
ラシテ見テ、ソコデハ良イモノデアルカ
ドウカト云フコトヲ能ク調べ戴キタイ、
ソレハ田植時ニ實地ヲヤラシテ見レバ最モ
宜シイト思ヒマスガ、必ズシモ田植時トハ
限ラナイカラ、今直ク御呼ビ下サツテ、能
ク説明ヲ聽イテ下サレバ、直チニ御分カリ
ニナルコトト思ヒマスカラ、此ノ事ヲ特ニ
御希望申上ゲタイト思ヒマスガ、如何デゴ
ザイマス

○土屋政府委員 御希望ノ通り農事試驗場
長ト相談シテ、至急研究シテ見タイト思ヒ
マス

○加藤委員 ソレカラ今度ハ肥料ノ配給ノ
コトニ付テ御申上ゲタイト思ヒマス、實
ハ肥料ノ問題ハ新潟縣ノミニ問題デハアリ
マセス、全國ノ大問題デアルノデアリマ
スガ、併シ新潟縣ノ一例ヲ申上ゲレバ、全
國ノコトヲ之ニ依ツテ律スルコトガ出來ル
ト思ヒマスカラ、一ツ新潟縣ノコトヲ申上
ゲタイト思ヒマス、新潟縣ノ春季ノ肥料ト
致シマシテハ、實ハ一月カラ四月マデノ分
ト致シマシテ制當テラレマシタ無機質統制肥
料、ソレガ、硫酸「アンモニヤ」ガ三万六
千二百二十噸、石灰窒素ガ三千七百二十一
噸、過燐酸石灰ガ四万九千八百三十噸、加
里鹽ガ二千六百一噸此合計ガ九万一千八百
三十二噸ニナツテ居ルノデアリマス、ソコ
デ今度月別割配給下サルノガドウナツ
デ居ルカト申シマス、硫酸「アンモニヤ」
ガ一万二千四百噸、二月ガ三千八百噸、三月
ガ一千二百八十噸、四月ガ九千八百二十噸
五月ガ二千八百三十噸、六月ガ一千三百噸
七月ガ九百七十噸、石灰窒素、一月ガ三百

五十五噸、二月ガ三百五十五噸、三月ガ三
百五十六噸、四月ガ二千八百八十噸、五月ガ
四百七十五噸、此ノ合計ガ三千五百二十一
噸、過燐酸石灰ガ、一月ガ三千四百噸、二
月ガ六千八十噸、三月ガ一万六千六十噸、
四月ガ一万四千四百噸、五月ガ七千五百噸、
六月ガ一千八百九十噸、七月ガ一千五百十
噸、合計ガ四万九千八百三十噸デアリマス、
加里鹽ガ一月ガ六百二十二噸、二月ガ六百
二十六噸、三月ガ五百四十三噸、四月ガ五
百二十七噸、此ノ合計ガ二千六十噸デアリ
マス、斯様月別割配給數量トナツテ居リマ
スガ、此ノ通りニ開運ナク配給下サレバ、
先ヅ心配ハ要ラスト考ヘマス、所ガ實際ニ
於テドウカト云ヒマス、硫酸「アンモニヤ」
四千四百噸配給下サルモノガ、僅ニ其ノ五割
弱サヘマダ配給ガ出來テ居ラナイ、既ニ二
月モ中旬ヲ過キントシテ居ル今日、斯様ナ
状態デ果シテ硫酸「アンモニヤ」ニ行キマセ
ウカ、斯ウ云フコトヲ農家ハ非常ニ心配シ
テ居リマス、ソレカラ石灰窒素ハドウデア
ルカト云フト、一月中ニ三百五十五噸ノモ
ノガマダ一ツモ入荷ガナイ、硫酸「アンモニヤ」
ノ入荷ハマダ成績ノ好イ方デア、所ガ石
灰窒素ニ至ツテハ一ツモナイ、斯ウ云フ有
様デア、ソレカラ過燐酸石灰ハ、是ハ全
部入荷シテ居リマス、又二月ノ分ハ六千八
十噸ノ配給ニ對シテ三四割ノ入荷デア、
是ハマダ別ニ心配ハナイト思ヒマス、所ガ
加里鹽ノ方モ是モ入荷ガナイ、併シ加里鹽
ノ方ハ段々承ルト絶對ニ心配ガナイト云
フヤウニ云フハ、承ツテ居リマスカラ今ハ
入荷ガナクテモ此ノ方ノ心配ハ要ラヌカト
考ヘルノデアリマスガ、唯硫酸「アンモニヤ」
ノ二ツノ肥料ニ付キマシテハ、實ハ農民ガ

非常ニ心配ヲシテ居ルノデアリマス、斯様ナ成績デアツテ、果シテ是ダケノモノガ圓滿ニ行カドウカ、農家ニ迷惑ヲ掛ケナイデ済ムカドウカ、斯ウ云フコトヲ一ツ此ノ場合ハツキリト仰伺シテ置キタイト思フノデス

○重政政府委員 新潟ガ硫安ノ配給ガ遅レテ居ラレト云フノハ、或ハサウカモ知ラント考ヘラレマスガ、其ノ内容ヲ調べテ見マスガ、御承知ノヤウニ、年末カラ年初ニ掛ケマシテノ鐵道ノ貨物ノ滞延ハ、殆ド百萬噸ヲ超ユルト云フヤウナ状態デアツタノデアリマス、年末カラノ輸送状態ガ非常ニ悪クツタノデアリマス、サウ云フヤウナコトト恐ラク手ガ詰ツテ多少遅レテ居ルノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、實情ハ能ク調べ見マス、硫安ノ配給ニ付キマシテハ出来ルダケ其ノ割當ノ數量ハ缺カサナイヤウニ、適當ナ時期ニ配給ノ出来ルヤウニ日夜努メテ居ルデアリマスノデ、出来ルダケノコトハ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ石炭運送モ御承知ナリマシタガ、是モ私能ク事情ヲ承知シテ居リマセマスガ、石炭運送ノ賣出ハモ御承知ノヤウニ致シテ居リマスガ、其ノ買付ガ遅レテ居ルノデハナイカト考ヘラレマスガ、具體的ニ送付ノ先ガハツキリ分リマセスト、御承知ノヤウニ鐵道ニ荷物ヲ積ミマス際ニハ、最後ノ消費地マデ鐵道ヲ持ツテ行カサレバナリマセストノデ、私ノ方デ一應ノ割當ヲ致シ統制中樞機關ノ方デ賣出ヲ致シマシテモ、具體的ニ何處ノ村ニドレダケト云フコトガ分ラナイト、積出ヲスルコトガ出来ナイノデアリマス、今申上ゲマシタヤウナ石炭運送ノ事情ハ、硫安ニ付テモ同様デアリマシ

テ、硫安ノ割當ヲ致シマシテモ、縣ニ於テ是ガ村ニ對スル割當ヲシ、ソレダケデハマダイケナイノデアリマス、ソレカラ配合肥料ト單肥トノ割合ヲ決定シ、ソレカラ各産業組合ノ個々ノ取扱ト云フモノガ月別ニ決マリ、ソレカラ商人ノ方モ同様デアリマシテ、商人ニ對スル割當量、配合ト單肥トノ比率ガ月別ニ決ツテ參リマシテ、今度ハ個個ニ扱フ商人ノ住所氏名ト云フモノガ分ツテ來ナイト、コツチハ送リヤウガナイノデアリマス、デアリマスカラ現在ノ所硫安ハ一月、二月ニ配當スルダケノ硫安ハ整ヘテアル譯デアリマス、ト云フ譯「ストット」ヲソレダケ持ツテ居ル譯デアリマセマスガ、大體一月、二月ヲ略ス程度ノモノハアルト思ヒマスノデ、恐ラク縣ハ割當ヲ致シマシテモ、商業團體、統制團體ノ方デサウ云フヤウナ割當ガ付カナイト云フコトガ、ハツキリ割當テシタ一月分ヲ送ルコトガ出来ナイ理由ニナツテ居ルモノダト思ヒマス、實ハ一月ノ五割ト云フ御話デ私思出シマシタガ、一月中ニドウモソレガ来ナイ、ハツキリシタ具體的ノコトガ決定シテ、コチヲノ中樞機關ノ方ニ來ナイカラ、ソレデハ配給ガ止ツテ後送リニナツテ、一度ニドツト出サナケレバナラヌト云フコトニナツテ、色々手遣ヒヲ起ストイケナイト云フ考ヘラレマス、取收ズ一月分ハ何モ具體的ニサウ云フコトガ決ラヌデモ、縣ニ對シテ五割平均ニ流セト云フコトヲ、私ノ方デ言フ譯デアリマス、ソレガ行ツテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、何時頃御調査ニナリマシタカ知レマセスガ、サウ云フ状態ニナツテ居リマスカラ、是ガ具體的ニ決定シマセバ、ドンク行クコトガ出来ルト思ヒマス

○加藤委員 只今ノ政府委員ノ御答辯ハ甚ダ失禮デスガ、サツバリ要領ヲ得ナイ御答辯ダト申上ゲナケレバナラヌ、此ノ調査ハ數日前ノ調査デアリマス、而モ此ノ割當ト云フモノハ、ズツト前ニ何時頃デアリマシタカ此ノ邊ハ確リト申上ゲ難キマス、ソレハ御手許ヲ御調査サレバ直ダ分ルコトデス、兎ニ角私ガ具體的ニ數字ヲ先刻御讀致シマシタヤウニ、チヤント決ツテ、サウシテ政府ノ方カラ縣ニ通牒ガ行ツテ居ル譯デス、デアルカラ今五割ト云フモノハドウ云フ所カラ入ツタカ、ソレハ分リマセマス、其ノコトマデ調べテ居リマセマスカラ分リマセスケレドモ、兎ニ角其ノ割當數量ノ五割ダケハ入ツタ、ケレドモ、後ガ一向入ラヌデ居ルノダ、斯ウ云フ譯デス、輸送機關ガドウノ斯ウノト云フ御辯明デアリマスケレドモ、サウ云フコトハ私共別ニ御尋シテ居ルノデハナイ、色々ノ事情ハアリマセウ、併シ少クトモ斯ウ云フ工合ニ月別ニシテ、是ダケノモノハ配給スルソトナツタ以上ハ、如何ナル事情ガアラウトモ、ソレヲ排撃シテ御配付下ルコトガ責任上至當デアリナイカト思フ、ソレダケノ御自信モ御見込モナイ所ノ斯様ナ割當數量デアツテ、事實ガ之ニ伴ハヌト云フコトニナルト、農民ガ騒ギ出ス、是ハ騒ギ出スノガ當然デアリナイカト思フ、此ノ割當數量ガナケレバナイデアリガアル、割當數量ガナケレバナイ以上、而モ是ハ他人ガスルノデハナイ、政府ガスルノダカラ、責任ダケハ重シジテ、御實行下サレバ宜イト思フガドウ云フモノデセウカ、今ハ雪ガアリマスカラ、今要ル譯デアリナイノデアリマスガ、今デサヘ斯様ナ有様デアルカラ、是ガ大事ナ四月五月ノ

肥料ノ一番要ル時ニ於テ、割當テラレタ數量ガ来ナイト云フコトニナツタラ、ソレコソ農家ハ本當ニ困ル、ソレヲドウナル御考デアリマスカ、之ヲ案ズルノデスガ、斷ジテサウ云フ心配ハ掛ケナイト此處斷言シテ下サレバ、私ハ此ノ質問ヲ打切りマス、只斷ノ一字デ宜シイ、若シ自信ガナイナラバナイト仰シヤツテ下サレバ、又ソコニ質問スルコトガアル、是ハ理窟ノ問題デアハナイ、實行ノ問題デアルカラ、農民ニ心配シナイヤウニ、斷ジテヤルノダ、斯ウ仰シヤツテ戴ケレバ宜シイ、若シ其ノ自信ガナケレバ、ナイデ宜イカラ、ソコヲ承リタイ

○重政政府委員 其ノ御心配ハ御尤モダト思ヒマスガ、是ハ先般豫算總會ニ於キマシテ、大臣カラ其ノ點ハ或ル程度ノ御辯明ガアツタノデアリマスガ、私ヨリ重ねテ申上ゲマスト、現在割當ヲ致シテ居リマス、數量ハ、ドウシテモ、是ハヤリ送レルト云フコトデ、御承知ノヤウナ電力ノ問題其ノ他色々困難ナ事情ガアリマスケレドモ、農林當局トシテハ、日夜其ノ割當ノ完遂ヲ致シマス爲ニ、努力致シテ居ルコト云フ次第デアリマシテ、大體ヤレバハナイカト云フ風ナ見透シヲ持ツテ居ル次第デアリマス、尙ホ此ノ際先程配給ノコトニ付テ、ドウモ能ク御諒解ヲ戴イテナイヤウデアリマスカラ、重ねテ申上ゲマスカ、私ノ方デ各縣ニ配給ノ割當ヲ致シマシタノハ、前年ノ確力十一月ノ終リダト思ヒマス、ソレカラ御承知ノヤウニ配給ト申シマスノハ、吾々ノ方デ數量ヲ各縣ニ割振ツタダケデ、直ニ荷物ヲ送ルコトハ出来ナイノデアリマス、荷物ハ御承知ノ通り縣デ一遍降ロシテ又他處ヘ輸送スルト云

フコトハ出来ナイノデアリマス、中樞機關カラノ指圖ニ依ツテ工場カラ直接鐵道ヘ積ンデ、其ノ鐵道ハ最後ノ消費地マデ其ノ荷物ヲ運バナケレバナラヌ譯デアリマス、ソコデ私共ノ方デ縣ニ割當シマシタナラバ、縣ハ村ニ割當スル、縣ハ産業組合ト商人ノ團體ノ取扱分ヲ決メテ、又ソレヲ配合肥料用原料、單肥用原料ト云フモノニ分ケテ、而モソレガ各月ニ全部分レテ來テ、商人ノ方ガ誰ノ取扱分ト云フコトガ分レテ來ナイト、私ノ方デハ此ノ中樞機關カラ工場ニ命ジテ、何處々ノ何ニト云フ指圖ヲスルコトガ出来ナイ、ダカラ茲ニ縣ニ於テ、或ハ民間ノ團體ニ於テ、非常ニ詳細ナル割當ノ工夫ヲ致サナケレバナラヌ譯デアリマス、ソレガ中々縣ニ依ツテハ遅レテ參ルノデアリマス、遅レテ參リマシテ、其ノ間チツトモ輸送ヲシナイト云フコトデアレバ、後ニソレガ繰返ニナツテ一度ニ輸送機關ヲ使ハナケレバナラヌ、ソコデ非常ニ幅轉スル、サウ云フ處モアル次第デアリマスカラ、大體私ノ方デ割當テマシタ數量ノ半分ト云フモノハ、其ノ十二月ノ實績、或ハ過去ノ實績ニ依ツテ然ルベク一應取扱ツテ行クト云フコトデ、輸送ヲヤラシテ居ルノデアリマス、其ノ御調査ガ二三日前ノ御調査デアルト致シマスレバ、非常ニ新潟縣ノ諸般ノ配給ノ準備ガ遅レテ居ルモノト、私ハ想像致スノデアリマス、其ノ點ハ能ク調査ヲ致シマシテ、サウシテ至急ニ具體的ノ配給ノ準備ヲ整ヘテ、申告セシムルヤウニ致シマス

ウニ聽イテ居リマスカ、實際ハ知リマセマスガ、此ノ内新潟縣ニ對シテノ配給ハ、僅カ二千五百餘噸ニ過ギナイ、是ハドウ云フ基準ニ依ツテ斯ウ云フ風ナコトニナツタカ、其ノ點ヲ承ツテ見タイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ新潟縣ニドノ位ノ大豆粕ガ要ルカト云フト、一万二千噸要リマス、是ガ配合原料トシテ必要ナ譯デアリマス、所ガ其ノ配合原料トシテ必要ナモノガ今日マダ一應モ新潟縣ニハ參ツテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ状態デアアルノデアリマス、是ガ若シ間ニ配合ト云フコトニナリマスト、配合肥料ノ配給ト云フコトハ絕對ニ困難ニナツテ來ル譯デアリマス、此ノ點ニ付テハ農林省ハドウ考ヘテ居ラレカ、是モ一ツ此ノ場合御尋申上ゲテ見タイト思フノデアリマス

○重政政府委員 割當ノ基準ハ、大體ニ於キマシテ昭和十三年ノ一月乃至七月ノ實績ヲ基準ニ致シテ居ルノデアリマスガ、併シ是ハ各肥料毎ニ其ノ實績ダケヲ基準ニ致シマシテ、アルダケノモノヲ、バラ撒クト云フコトデ行キマスト、縣ニ依リマシテハ非常ナ不公平ガ出テ參ルノデアリマス、例ヘバ或ル縣ノ如ク、化學肥料ハ僅ニ全體ノ空素ノ三割シカ使ツテ居ナイ、殘リノ七割ト云フモノガ大部分ガ大豆粕デ、一部分ガ魚肥デアルト云フヤウナ縣ニ對シテハ、化學肥料ノ方ハ米麥重點主義ニ依ツテ、相當程度ノ八割ナラバ八割ト云フモノヲ賣ツタニシテモ、ソレハ全體ノ肥料カラ考ヘテ見レバ三割ノ八割ト云フコトニ過ギナイト云フコトニナルノデアリマス、隨テサウ云フ縣ニ對シテハ大豆粕ノ配當、魚肥ノ配當ニ付テハ、相當考慮ヲシテ配當ヲシナケレバナラヌ、詰リ肥料用大豆粕、魚肥ト云フモノ

ノガ豐富ニアレバ問題ハナイノデアリマスカ、是ガ平均シテ見レバ全體ノ六割シカ行カス、或ハ七割シカ行カヌト云フコトニナレバ、サウ云フ縣ニ對シテハ肥料全體ヲ考慮ニ置イテ、大體有機無機ノ割合ニ空素ノ施用ノ分量トシテハ、各府縣或ル程度、バラシスラ取ルコト云フ行キマシタナラバ、斯ウ云フ考ヲ持チマシテ、此ノ昭和十三年ノ一月乃至七月ノ實績ノ補正ヲ致シテ居ルノデアリマス、化學肥料ヲ主力トシテ施用シテ居ル縣ガ、其ノ逆ノ場合ガ當然考ヘラレルコトト思フノデアリマス、大體サウ云フヤウナコトモ色々考慮シマシテ、配分ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ一言附加ヘマスガ、大豆粕ノ配當ニ付キマシテハ、二月分ハ取敢ズ漸定的ニ致シタノデアリマスト、ト申シマスノハ、六月、七月ノ候マデノ月々ノ輸入ノ數量ト云フモノノ見當ガ、實ハハツキリ現在ノ所、立チ兼ネマスノデ、近ク其ノ見透シガ付キマシタラ各府縣別ニ出來ルダケ速カニ配當ヲ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ致シテ居リマス、ソレカラ三月以降ノ配當ニ付キマシテハ、一月マデノ各府縣ノ大豆粕ノ出入ヲ調べマシテ、之ニ依リマシテ各府縣ガ一月マデニ現實ニ入手シテ居ル分量ガ、各府縣ニドノ位アルカト云フコトヲ見マシテ、其ノ位ノコトモ三月以降ノ割當ニ付キマシテハ、一應ノ考慮ノ材料トシテ考ヘラレト云フコトニ、現在ノ所ハ考ヘテ居リマス

○加藤委員 全國ヲ通ジマシテ配合原料トシテ大豆粕ハ、二十八萬噸乃至三十萬噸ヲ要スルヤウニ伺ツテ居リマス、所ガ此ノ間豫算總會ノ席上デ、澁力大臣ノ御答辯中

ニアツタヤウニ私考ヘテ居ルノデアリマスカ、大連ニ三十萬噸ノ大豆粕ガ實ハ空シタ堆積サレテ居ル、唯輸送機關ノ十分デナイ爲ニ、殘念ガ方内地ニ持ツテ來ルコトガ出来ナイト云フヤウナ、御答辯ヲ伺ツタヤウニ承知シテ居リマス、デアリマスカラ私ハ本會議ノ席上デ、サウ云フコトガアルナラバ、軍艦ヲ一ツ利用シテ、早ク内地ヘ輸送シテ來テ賣フヤウニシタラドウカト云フコトヲ申上ゲタノデスガ、之ニ付テハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレドセウカ

○重政政府委員 ソレハ私能ク存ジマセマスデスガ、恐ラク三十萬噸ノ大豆粕ガ堆積シテ居ルト云フコトヲ大臣ガ仰シヤツタトスレバ、何カノ誤解ダラウト思ヒマス、豆ノ專管公司ガ現實ニ買付ケテ居ル豆ノ話デハナイカト思ヒマスガ、其ノ點尙ホ能ク調査ヲシテ見マス

○竹内政府委員 只今ノ御質問ニ關シテ、三十萬噸ト云フコトハ、前日私ガ大連ニ於ケル大豆ノ集荷状況、此ノ一月末アタリ約三十萬噸ノ豆ガ、大連ニ集ツテ居ルコト云フコトヲ申上ゲタ其ノ言葉ヲ、御記憶ノコトニゴザイマス油房ニ供給サレマスモノト、兩方アル譯デアリマス、大體ノ當時ノ状況カラ致シマスト、其ノ中大連ノ油房ニ供給サレルモノハ十萬噸程度デゴザイマシタガ、是ハ大連デ油ヲ取りマシテ、其ノ粕ノ形デ内地ニ入ツテ來ルモノデゴザイマス、内地ヘ直接參リマス豆ハ、御承知ノ如ク内地ノ製油會社ヘ入リマシテ、此處デ油ヲ取ツテ粕ヲヤハリ内地ヘ同ジク供給サレルコトニナツテ居リマス、只今御質問ノ船ノ輸送ガ

○加藤委員 私モ亦或ハ豆ト豆粕トヲ聞キ
遠ヘタカモ知レマセス、何レハ速記録ヲ
調ベマシテ、ハツキリ致シテ置キタイト思
ヒマスガ、今ノ御説明カラ伺ヒマス、豆
ノ間違ヒデアツタヤウニ思ハレマス、サ
ウスルト、是ハ已ムヲ得ナイ話デアリマシ
テ、何ト考ヘタ所ガ仕様ガアリマセス、併
シナガラ若シ大豆粕デアルトスルナラバ、
サウ云フ風ニ取計ハレタ方ガ宜イチヤナイ
カト考ヘテ御申上ゲテ譯デアリマス、兎
ニ角此ノ配合肥料ノ原料タル其ノ大豆粕、
ソレガ今日一枚モ新潟縣ヘ入ラス、全國推
シテ知ルベシト想像スルノデアリマス、全
國農家ガ此ノ點ニ付テ非常ニ心配スルノモ
無理ハナイト思フ、是ガ季節ニナツテモ
間ニ合ハスト云フコトニナリマス、農家
ハ配合肥料ノ上ニ於テ非常ニ迷惑ヲシナケ
レバナライコトニナルノデアリカ、間
違ヒナク肥料季節ニ間ニ合ハスル見込ガ有
ルナラ有ル、無イナラ無イト云フコト此
處デハツキリト言明シテ貴ヒタイ、兎見込
ガナケレバナライヤウニ配合肥料ノ上ニ付テ
農家トシテモ考ヘナケレバナラスコトチヤ
ナイカト思ハレマス、ドウカ此ノ點ハ

○加藤委員 幾たび繰返シタ所ガ殆ド同ジ
カラ、此ノ程度ニ止メタイト思ヒマス、ケレ
ドモ、尙ホ一言申シテ置キマスガ、本年ノ
ヤウナ年柄デハ米麥重點主義ト云フコトニ
付テ別ニ彼レ申ス譯デアリナイガ、代用食
物ノ獎勵ト云フコトヲ忘レテハナラナイ、ド
シナニシタ所ガオ米ノ足りヌト云フコトハ
分ツテ居ルコトデス、オ米ヤ麥ノ足りナイ
コトハ、是ハモウ當然ナコトデス、又サ
ウシナケレバ非常ニ困ル事ガアルニ違ヒナ
イ、所ガ其ノ代用食物ヲ何處ニ栽培スルカ
ト云フコトニナルノデス、是ハ本會議ノ席
上デモ申シタノデアリマスガ、桑園ヲ利用
スルト云フコトガ一番宜イコトト思フノデ
アリマス、全國的ニ桑園ガ減リマシテ、五
十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
五十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
シテ代用食物ノ馬鈴薯ナリ、或ハ種ナリ粟
ナリ、其ノ地方々々ニ適切ナモノヲ開作サ
セル、斯ウ云フコトニナリマス、桑園モ良
ク出來ルシ、開作モ能ク出來ル、勿論開作

○重政政府委員 加藤君ノ御意見ハ私ニ
ハ能ク分リマス、能ク分リマスガ、繰返シ
テ申上ゲルコトニナリマスケレドモ、現在
ノ状態ニ於キマシテハ電力ノ消費調整令ヲ
ヤルニ致シマシテモ、是ハ産業ノ種類ヲ決
メマシテ、重點主義ニ依ツテ電力供給モ制
限率ヲ變ヘテ行クト云フヤウナコトニナツ
テ居ル譯デアリマス、碓安及ビ石灰窯素ノ
如キ製造工場ハ、食糧ノ第一主義ト云フ見
地ニ立ツテ、是ハ砲兵工廠、或ハ海軍工廠ト
同率ニ電力ノ供給ヲ受ケルコトニナツテ
居ルノデアリマス、是ガ爲メハ他ノ平和
産業ノ「ランキン」ラ低ク決メラレタモノ
ガ相當ノ消費規正ヲ受ケテ、ソレガ爲メ個
人トシテハ非常ナル犠牲ヲ拂フコトニナル
トデアリマスガ、是ハ國家的見地カラ見
テ、聖戰ノ目的ヲ貫徹スルト云フ立場カラ
見テ、已ムヲ得ズ重點主義ノ電力供給ヲ致
サレルコトト思フノデアリマス、只今ノ産
業關係ニ付テ考ヘマシテモ、工業關係ニ付テ
考ヘマシテモ、無イモノヲ分ケルノデアリ
マスカラ、已ムヲ得ズ食糧重點主義デアル
ヨリ外ハナイ、ト言ツテ他ノ食物ニ付テ極
度ニ其ノ供給量ヲ制限スルト云フコトハ、
是ハ考ヘナケレバナラスト云フ見地カラ、
食糧作物ニ付テモ是ハ二割ノ規正ヲヤル
ト云フコトデ、一應アア云フ風ナ配分ヲ致
スコトニナツタ次第デアリマス、是ガ爲メ
米麥作以外ノ作物ノ栽培ヲ致シテ居ル農家

政府ニ於カレテモ至急ニ能ク御調ベ下スツ
テハツキリシタ所ヲ一般農家ニ御示シ下サ
ルヤウニセラレタイ、農家ニシテ處デソレ
ソレ準備ノ都合モアルコトデアリカ、其
ノ時ニナツテ、斯ウ云フ理由由由間ニ合ハスト
カ、アア云フ都合の間ニ合ハナクツタカ
ト仰シヤウタ所デ、後ノ祭りデ仕様ガナイ、
今カラ能ク其ノ點ヲ御調ベ下スツテ農家ノ
肥料ニ心配ノナイヤウニ今カラ全力ヲ注
グ御手配ヲシテ戴キタイ、又豆粕バカリ
デハアリマセヌ、碓安デアラウガ石灰窯
素デアラウガ、先刻申シマシタヤウナ事
情ノ下ニアルトシマスレバ、是ハ農家ト
シテ心配スルノハ當然ナラデス、理窟ナ
ドヲ致シテ言譯シテソレレ一時ヲ凌イ
デソレレ治マリガ付クモノナラソレレ宜
イケレドモ、先刻申上ゲマシタ通り肥料
ノ配給如何ハ即チ今年ノ作物ニ大關係ヲ有
スルノデアリマス、此ノ點ハ一ツ十分
御考慮下サイマシテ農民ノ心配ノナイヤウ
ニ御配慮アラソコトヲ切ニ政府ニ對シテ御
希望申上ゲル次第デアリマス

○重政政府委員 一ツソレニ御答致シマス
前ニ、配給肥料ノコトニ付テ重ネテ御質
問デアリマスカラ申上ゲテ置キマスガ、二
月分ノ碓安ヲ十萬噸全國ニ割當テマシタガ、
其ノ中ニハ配給肥料ハ何處行クト云フコト
ヲ各縣ニ通牒シテ居ルノデアリマシテ、一
切考ヘナイト云フコトデアリマセヌ、是
ハ配給肥料用原料ト云フモノハ、前ニ何處
ト云フモノヲ控除シテ、サウシテ縣ノ出來
ルケケノ配合肥料ノ計畫ニ副ヒタイト云フ
考ヲ以テヤツテ居リマス、唯一言附加ヘテ
申上ゲテ置キタイコトハ、縣ニ依リマシテ
ハ前年ノ三倍位ノ配合肥料ノ所用原料ノ要
求ガ出テ參ツテ居リマス、是ハサウ云フコ
トガ出來レバ、出來ルケケニシテハ其ノ
希望ニ副フヤウニ努力シテ居リマスガ、大體
是ハ困難デアルト云フ縣ガ六七縣アルダラ
ウト思ヒマスガ、新潟縣ガソレニ入ツテ居
ルカドウカ一寸記憶シテ居リマセヌガ、サ
ウ云フ縣ニ對シテハ各縣經濟部長其ノ他ノ係
官ノ上京ヲ促シテ居リマス、ソレニ依リマ
シテ配合肥料ノ變更ナリ、或ハ配合肥料ノ
數量ノ削減ヲシテ、サウシテ單肥配給ヲ
其ノ分ハスルト云フヤウナ、適當ナル措置
ヲ今カラ講ジヨウト云フノデ、サウ云フ手配
ヲ致シテ居リマス、御懸念ノヤウナコ
トハ恐ラクナイコトト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ米麥重點主義デ、碓安、過磷酸石灰

○加藤委員 幾たび繰返シタ所ガ殆ド同ジ
カラ、此ノ程度ニ止メタイト思ヒマス、ケレ
ドモ、尙ホ一言申シテ置キマスガ、本年ノ
ヤウナ年柄デハ米麥重點主義ト云フコトニ
付テ別ニ彼レ申ス譯デアリナイガ、代用食
物ノ獎勵ト云フコトヲ忘レテハナラナイ、ド
シナニシタ所ガオ米ノ足りヌト云フコトハ
分ツテ居ルコトデス、オ米ヤ麥ノ足りナイ
コトハ、是ハモウ當然ナコトデス、又サ
ウシナケレバ非常ニ困ル事ガアルニ違ヒナ
イ、所ガ其ノ代用食物ヲ何處ニ栽培スルカ
ト云フコトニナルノデス、是ハ本會議ノ席
上デモ申シタノデアリマスガ、桑園ヲ利用
スルト云フコトガ一番宜イコトト思フノデ
アリマス、全國的ニ桑園ガ減リマシテ、五
十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
五十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
シテ代用食物ノ馬鈴薯ナリ、或ハ種ナリ粟
ナリ、其ノ地方々々ニ適切ナモノヲ開作サ
セル、斯ウ云フコトニナリマス、桑園モ良
ク出來ルシ、開作モ能ク出來ル、勿論開作

○重政政府委員 一ツソレニ御答致シマス
前ニ、配給肥料ノコトニ付テ重ネテ御質
問デアリマスカラ申上ゲテ置キマスガ、二
月分ノ碓安ヲ十萬噸全國ニ割當テマシタガ、
其ノ中ニハ配給肥料ハ何處行クト云フコト
ヲ各縣ニ通牒シテ居ルノデアリマシテ、一
切考ヘナイト云フコトデアリマセヌ、是
ハ配給肥料用原料ト云フモノハ、前ニ何處
ト云フモノヲ控除シテ、サウシテ縣ノ出來
ルケケノ配合肥料ノ計畫ニ副ヒタイト云フ
考ヲ以テヤツテ居リマス、唯一言附加ヘテ
申上ゲテ置キタイコトハ、縣ニ依リマシテ
ハ前年ノ三倍位ノ配合肥料ノ所用原料ノ要
求ガ出テ參ツテ居リマス、是ハサウ云フコ
トガ出來レバ、出來ルケケニシテハ其ノ
希望ニ副フヤウニ努力シテ居リマスガ、大體
是ハ困難デアルト云フ縣ガ六七縣アルダラ
ウト思ヒマスガ、新潟縣ガソレニ入ツテ居
ルカドウカ一寸記憶シテ居リマセヌガ、サ
ウ云フ縣ニ對シテハ各縣經濟部長其ノ他ノ係
官ノ上京ヲ促シテ居リマス、ソレニ依リマ
シテ配合肥料ノ變更ナリ、或ハ配合肥料ノ
數量ノ削減ヲシテ、サウシテ單肥配給ヲ
其ノ分ハスルト云フヤウナ、適當ナル措置
ヲ今カラ講ジヨウト云フノデ、サウ云フ手配
ヲ致シテ居リマス、御懸念ノヤウナコ
トハ恐ラクナイコトト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ米麥重點主義デ、碓安、過磷酸石灰

○加藤委員 幾たび繰返シタ所ガ殆ド同ジ
カラ、此ノ程度ニ止メタイト思ヒマス、ケレ
ドモ、尙ホ一言申シテ置キマスガ、本年ノ
ヤウナ年柄デハ米麥重點主義ト云フコトニ
付テ別ニ彼レ申ス譯デアリナイガ、代用食
物ノ獎勵ト云フコトヲ忘レテハナラナイ、ド
シナニシタ所ガオ米ノ足りヌト云フコトハ
分ツテ居ルコトデス、オ米ヤ麥ノ足りナイ
コトハ、是ハモウ當然ナコトデス、又サ
ウシナケレバ非常ニ困ル事ガアルニ違ヒナ
イ、所ガ其ノ代用食物ヲ何處ニ栽培スルカ
ト云フコトニナルノデス、是ハ本會議ノ席
上デモ申シタノデアリマスガ、桑園ヲ利用
スルト云フコトガ一番宜イコトト思フノデ
アリマス、全國的ニ桑園ガ減リマシテ、五
十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
五十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
シテ代用食物ノ馬鈴薯ナリ、或ハ種ナリ粟
ナリ、其ノ地方々々ニ適切ナモノヲ開作サ
セル、斯ウ云フコトニナリマス、桑園モ良
ク出來ルシ、開作モ能ク出來ル、勿論開作

ノ如キモノハ米麥ニ限ツテヤツテ、桑ニモ
ナゼ八割ヲラスカト云フ御質問デアリマス
ガ、勿論吾々トシテモ全部ニヤリタイコト
ハ山々デアリマスケレドモ、現下ノ情勢カ
ラ考ヘマシテ食糧第一主義ト云フ見地ニ立
ツテ考ヘレバ、養蠶ノ如キ大イニ外貨獲得
ニ非常ニ役立つテ居ルヤウナモノニハ、甚
ダ遺憾ニ存ズルノデアリマスケレドモ、是
ハドウモ食糧第一主義ノ見地ニ立ツテ、而
モソレニモ百パーセント「ヤラナイ、之ニ
マシテ、根本ハ總量ガナイ、總量ニ於テ非
常ニ不足ヲシテ居ルコトカラ來ルノ
デアリマスルノデ、是ハドウモ已ムヲ得
ナイコトト實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 食糧重點主義ト云フコトハ、是
ハ何人モ異論ノナイトコロデ是非サウ願ハ
ナケレバナラス、オ五ノソレニ依ツテ生キテ
居ルノデアリカ、ソレヲドウスウト申上
ゲルノデアリナイ、併シナガラ食糧重點主義
デアレバ、稈ト桑ニ差別ヲオケテ下
サルコトハ私ハ分ラヌト思フ、ト云フノハ
只今政府委員ハ、外貨獲得ト云フコトノミ
ヲ桑ニ付テ御考ヘノヤウデアリマス、先刻
私ガ申上ゲタ通り、水田ノナイ畑バカリニ
デハ稻ヲ作りクタクテモ作ルコトガ出來ナイ、
已ムヲ得ズ一番利益ノ多い作物ヲ作ラウト
斯ウ云フ譯デス、桑ヲ作ラヌデモ宜イ所ハ
馬鈴薯ナリ其ノ他ノ作物ヲ作ツテ居ルコト
ハ御承知ノ通りナラデス、併シドウシテモ
桑ヲ作ラナケレバナラス所ハ、何ント云ハレ
テモヤハリ桑ヲ作ラナケレバナラス、如何ニ
シテモ田ニ依ツテ食糧ヲ得ラヌ、ト云フ所ハ
已ムヲ得ズ桑ヲ作ツテ食糧ヲ得ラヌ、依ツ
テ、オ米ヲ買フ譯デス、水田ノアル所ハ稻ヲ

○重政政府委員 一ツソレニ御答致シマス
前ニ、配給肥料ノコトニ付テ重ネテ御質
問デアリマスカラ申上ゲテ置キマスガ、二
月分ノ碓安ヲ十萬噸全國ニ割當テマシタガ、
其ノ中ニハ配給肥料ハ何處行クト云フコト
ヲ各縣ニ通牒シテ居ルノデアリマシテ、一
切考ヘナイト云フコトデアリマセヌ、是
ハ配給肥料用原料ト云フモノハ、前ニ何處
ト云フモノヲ控除シテ、サウシテ縣ノ出來
ルケケノ配合肥料ノ計畫ニ副ヒタイト云フ
考ヲ以テヤツテ居リマス、唯一言附加ヘテ
申上ゲテ置キタイコトハ、縣ニ依リマシテ
ハ前年ノ三倍位ノ配合肥料ノ所用原料ノ要
求ガ出テ參ツテ居リマス、是ハサウ云フコ
トガ出來レバ、出來ルケケニシテハ其ノ
希望ニ副フヤウニ努力シテ居リマスガ、大體
是ハ困難デアルト云フ縣ガ六七縣アルダラ
ウト思ヒマスガ、新潟縣ガソレニ入ツテ居
ルカドウカ一寸記憶シテ居リマセヌガ、サ
ウ云フ縣ニ對シテハ各縣經濟部長其ノ他ノ係
官ノ上京ヲ促シテ居リマス、ソレニ依リマ
シテ配合肥料ノ變更ナリ、或ハ配合肥料ノ
數量ノ削減ヲシテ、サウシテ單肥配給ヲ
其ノ分ハスルト云フヤウナ、適當ナル措置
ヲ今カラ講ジヨウト云フノデ、サウ云フ手配
ヲ致シテ居リマス、御懸念ノヤウナコ
トハ恐ラクナイコトト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ米麥重點主義デ、碓安、過磷酸石灰

○加藤委員 幾たび繰返シタ所ガ殆ド同ジ
カラ、此ノ程度ニ止メタイト思ヒマス、ケレ
ドモ、尙ホ一言申シテ置キマスガ、本年ノ
ヤウナ年柄デハ米麥重點主義ト云フコトニ
付テ別ニ彼レ申ス譯デアリナイガ、代用食
物ノ獎勵ト云フコトヲ忘レテハナラナイ、ド
シナニシタ所ガオ米ノ足りヌト云フコトハ
分ツテ居ルコトデス、オ米ヤ麥ノ足りナイ
コトハ、是ハモウ當然ナコトデス、又サ
ウシナケレバ非常ニ困ル事ガアルニ違ヒナ
イ、所ガ其ノ代用食物ヲ何處ニ栽培スルカ
ト云フコトニナルノデス、是ハ本會議ノ席
上デモ申シタノデアリマスガ、桑園ヲ利用
スルト云フコトガ一番宜イコトト思フノデ
アリマス、全國的ニ桑園ガ減リマシテ、五
十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
五十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
シテ代用食物ノ馬鈴薯ナリ、或ハ種ナリ粟
ナリ、其ノ地方々々ニ適切ナモノヲ開作サ
セル、斯ウ云フコトニナリマス、桑園モ良
ク出來ルシ、開作モ能ク出來ル、勿論開作

○重政政府委員 一ツソレニ御答致シマス
前ニ、配給肥料ノコトニ付テ重ネテ御質
問デアリマスカラ申上ゲテ置キマスガ、二
月分ノ碓安ヲ十萬噸全國ニ割當テマシタガ、
其ノ中ニハ配給肥料ハ何處行クト云フコト
ヲ各縣ニ通牒シテ居ルノデアリマシテ、一
切考ヘナイト云フコトデアリマセヌ、是
ハ配給肥料用原料ト云フモノハ、前ニ何處
ト云フモノヲ控除シテ、サウシテ縣ノ出來
ルケケノ配合肥料ノ計畫ニ副ヒタイト云フ
考ヲ以テヤツテ居リマス、唯一言附加ヘテ
申上ゲテ置キタイコトハ、縣ニ依リマシテ
ハ前年ノ三倍位ノ配合肥料ノ所用原料ノ要
求ガ出テ參ツテ居リマス、是ハサウ云フコ
トガ出來レバ、出來ルケケニシテハ其ノ
希望ニ副フヤウニ努力シテ居リマスガ、大體
是ハ困難デアルト云フ縣ガ六七縣アルダラ
ウト思ヒマスガ、新潟縣ガソレニ入ツテ居
ルカドウカ一寸記憶シテ居リマセヌガ、サ
ウ云フ縣ニ對シテハ各縣經濟部長其ノ他ノ係
官ノ上京ヲ促シテ居リマス、ソレニ依リマ
シテ配合肥料ノ變更ナリ、或ハ配合肥料ノ
數量ノ削減ヲシテ、サウシテ單肥配給ヲ
其ノ分ハスルト云フヤウナ、適當ナル措置
ヲ今カラ講ジヨウト云フノデ、サウ云フ手配
ヲ致シテ居リマス、御懸念ノヤウナコ
トハ恐ラクナイコトト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ米麥重點主義デ、碓安、過磷酸石灰

○加藤委員 幾たび繰返シタ所ガ殆ド同ジ
カラ、此ノ程度ニ止メタイト思ヒマス、ケレ
ドモ、尙ホ一言申シテ置キマスガ、本年ノ
ヤウナ年柄デハ米麥重點主義ト云フコトニ
付テ別ニ彼レ申ス譯デアリナイガ、代用食
物ノ獎勵ト云フコトヲ忘レテハナラナイ、ド
シナニシタ所ガオ米ノ足りヌト云フコトハ
分ツテ居ルコトデス、オ米ヤ麥ノ足りナイ
コトハ、是ハモウ當然ナコトデス、又サ
ウシナケレバ非常ニ困ル事ガアルニ違ヒナ
イ、所ガ其ノ代用食物ヲ何處ニ栽培スルカ
ト云フコトニナルノデス、是ハ本會議ノ席
上デモ申シタノデアリマスガ、桑園ヲ利用
スルト云フコトガ一番宜イコトト思フノデ
アリマス、全國的ニ桑園ガ減リマシテ、五
十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
五十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
シテ代用食物ノ馬鈴薯ナリ、或ハ種ナリ粟
ナリ、其ノ地方々々ニ適切ナモノヲ開作サ
セル、斯ウ云フコトニナリマス、桑園モ良
ク出來ルシ、開作モ能ク出來ル、勿論開作

○重政政府委員 一ツソレニ御答致シマス
前ニ、配給肥料ノコトニ付テ重ネテ御質
問デアリマスカラ申上ゲテ置キマスガ、二
月分ノ碓安ヲ十萬噸全國ニ割當テマシタガ、
其ノ中ニハ配給肥料ハ何處行クト云フコト
ヲ各縣ニ通牒シテ居ルノデアリマシテ、一
切考ヘナイト云フコトデアリマセヌ、是
ハ配給肥料用原料ト云フモノハ、前ニ何處
ト云フモノヲ控除シテ、サウシテ縣ノ出來
ルケケノ配合肥料ノ計畫ニ副ヒタイト云フ
考ヲ以テヤツテ居リマス、唯一言附加ヘテ
申上ゲテ置キタイコトハ、縣ニ依リマシテ
ハ前年ノ三倍位ノ配合肥料ノ所用原料ノ要
求ガ出テ參ツテ居リマス、是ハサウ云フコ
トガ出來レバ、出來ルケケニシテハ其ノ
希望ニ副フヤウニ努力シテ居リマスガ、大體
是ハ困難デアルト云フ縣ガ六七縣アルダラ
ウト思ヒマスガ、新潟縣ガソレニ入ツテ居
ルカドウカ一寸記憶シテ居リマセヌガ、サ
ウ云フ縣ニ對シテハ各縣經濟部長其ノ他ノ係
官ノ上京ヲ促シテ居リマス、ソレニ依リマ
シテ配合肥料ノ變更ナリ、或ハ配合肥料ノ
數量ノ削減ヲシテ、サウシテ單肥配給ヲ
其ノ分ハスルト云フヤウナ、適當ナル措置
ヲ今カラ講ジヨウト云フノデ、サウ云フ手配
ヲ致シテ居リマス、御懸念ノヤウナコ
トハ恐ラクナイコトト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ米麥重點主義デ、碓安、過磷酸石灰

○加藤委員 幾たび繰返シタ所ガ殆ド同ジ
カラ、此ノ程度ニ止メタイト思ヒマス、ケレ
ドモ、尙ホ一言申シテ置キマスガ、本年ノ
ヤウナ年柄デハ米麥重點主義ト云フコトニ
付テ別ニ彼レ申ス譯デアリナイガ、代用食
物ノ獎勵ト云フコトヲ忘レテハナラナイ、ド
シナニシタ所ガオ米ノ足りヌト云フコトハ
分ツテ居ルコトデス、オ米ヤ麥ノ足りナイ
コトハ、是ハモウ當然ナコトデス、又サ
ウシナケレバ非常ニ困ル事ガアルニ違ヒナ
イ、所ガ其ノ代用食物ヲ何處ニ栽培スルカ
ト云フコトニナルノデス、是ハ本會議ノ席
上デモ申シタノデアリマスガ、桑園ヲ利用
スルト云フコトガ一番宜イコトト思フノデ
アリマス、全國的ニ桑園ガ減リマシテ、五
十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
五十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
シテ代用食物ノ馬鈴薯ナリ、或ハ種ナリ粟
ナリ、其ノ地方々々ニ適切ナモノヲ開作サ
セル、斯ウ云フコトニナリマス、桑園モ良
ク出來ルシ、開作モ能ク出來ル、勿論開作

○重政政府委員 一ツソレニ御答致シマス
前ニ、配給肥料ノコトニ付テ重ネテ御質
問デアリマスカラ申上ゲテ置キマスガ、二
月分ノ碓安ヲ十萬噸全國ニ割當テマシタガ、
其ノ中ニハ配給肥料ハ何處行クト云フコト
ヲ各縣ニ通牒シテ居ルノデアリマシテ、一
切考ヘナイト云フコトデアリマセヌ、是
ハ配給肥料用原料ト云フモノハ、前ニ何處
ト云フモノヲ控除シテ、サウシテ縣ノ出來
ルケケノ配合肥料ノ計畫ニ副ヒタイト云フ
考ヲ以テヤツテ居リマス、唯一言附加ヘテ
申上ゲテ置キタイコトハ、縣ニ依リマシテ
ハ前年ノ三倍位ノ配合肥料ノ所用原料ノ要
求ガ出テ參ツテ居リマス、是ハサウ云フコ
トガ出來レバ、出來ルケケニシテハ其ノ
希望ニ副フヤウニ努力シテ居リマスガ、大體
是ハ困難デアルト云フ縣ガ六七縣アルダラ
ウト思ヒマスガ、新潟縣ガソレニ入ツテ居
ルカドウカ一寸記憶シテ居リマセヌガ、サ
ウ云フ縣ニ對シテハ各縣經濟部長其ノ他ノ係
官ノ上京ヲ促シテ居リマス、ソレニ依リマ
シテ配合肥料ノ變更ナリ、或ハ配合肥料ノ
數量ノ削減ヲシテ、サウシテ單肥配給ヲ
其ノ分ハスルト云フヤウナ、適當ナル措置
ヲ今カラ講ジヨウト云フノデ、サウ云フ手配
ヲ致シテ居リマス、御懸念ノヤウナコ
トハ恐ラクナイコトト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ米麥重點主義デ、碓安、過磷酸石灰

○加藤委員 幾たび繰返シタ所ガ殆ド同ジ
カラ、此ノ程度ニ止メタイト思ヒマス、ケレ
ドモ、尙ホ一言申シテ置キマスガ、本年ノ
ヤウナ年柄デハ米麥重點主義ト云フコトニ
付テ別ニ彼レ申ス譯デアリナイガ、代用食
物ノ獎勵ト云フコトヲ忘レテハナラナイ、ド
シナニシタ所ガオ米ノ足りヌト云フコトハ
分ツテ居ルコトデス、オ米ヤ麥ノ足りナイ
コトハ、是ハモウ當然ナコトデス、又サ
ウシナケレバ非常ニ困ル事ガアルニ違ヒナ
イ、所ガ其ノ代用食物ヲ何處ニ栽培スルカ
ト云フコトニナルノデス、是ハ本會議ノ席
上デモ申シタノデアリマスガ、桑園ヲ利用
スルト云フコトガ一番宜イコトト思フノデ
アリマス、全國的ニ桑園ガ減リマシテ、五
十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
五十四万九千町歩ノ桑園ヲ利用シテ、サウ
シテ代用食物ノ馬鈴薯ナリ、或ハ種ナリ粟
ナリ、其ノ地方々々ニ適切ナモノヲ開作サ
セル、斯ウ云フコトニナリマス、桑園モ良
ク出來ルシ、開作モ能ク出來ル、勿論開作

○重政政府委員 其ノ米麥重點主義ノ制當ノ決定ハ、實ハ御承知ノヤウニ役人ダケデ致シタルハアリマセス、是ハ御承知ノヤウニ農林計畫委員會ト云フモノヲ設ケテ、ヤウテ居ルノデアリマセガ、其ノ肥料配給部會ニ於テ、是ハ重要事項デアリマス、十分討論ヲ遂ゲテ、サウ云フコトニ決定ヲ見テ、吾々ハ其ノ決定ニ從ツテ實行ヲ致シテ居ル次第デアリマスカラ、私達ダケテ勝手ニヤウテ居ルト云フ風ナ御想像ハ、數カス方宜カラウカト思ヒマス、ソレカラ農民ガ不平等アルト云フ御話デアリマスガ、勿論養蠶地帯ニ於テハサウ云フヤウナ聲モアラウトハ思ヒマスガ、私ノ所ニ當時各府縣ノ養蠶地方カラ連日陳情ガアリマシタケレドモ、此ノ米麥重點主義ノ配給方法ニ付テハ、今加藤サノ仰シヤルヤウナ非常ナ不平ハ、私總カナカウツナデアリマス、其ノ他有機質肥料ノ配分ニ付テ考慮スベシト云フ要求ガ、強カウツヤウニ思ツテ居リマス、現ニヤウテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 諄イヤウデアリマスガ、今委員會云々ノ御話ガアリマシタガ、其ノ委員會ガ私ハイカスト思フ、宜イ加減ノモノダト思フ、宜イ加減ト云フハ失禮デスガ、實際ノ實情ニ通ジテ者ヲ御集メニナラナイデ、ドツチカト云フト、實際ニ疎イ者ヲ多ク集メテ居ラレル、ト云フ非難ガ大分アリマス、是ハ今言ハレタ委員會バカリデハナイ、外ノ委員會モ同様ナ非難ガアル、サウ云フモノノ主キヲ置カレテヤラレルト云フコトガ、甚ダ分ラヌコトデアラガ、併シナガラ決定シテシマツタモノヲ、今彼此レ言ウタ所テ取返シノ付カス話デアラカラ、

唯今後ドウカサウ云フ點ニ付テ十分御注意願ヒタイ、又只今政府委員ハ農民ガ色々言ウタヤウニ言ハルケレドモ、此ノ點ニ付テハ自分ノ處ニ來テ者カラハ不平ノ聲ナド聽カナカウツト言ハレルガ、私ノ言フノハ養蠶農民ノ聲ヲ申上ゲテ諒デ、地方ニ居ル農民ハ心ニ何シト思フテモ役人様ノ前ヘ出テハ大概皆遺憾シテ居ルノデアリマス、併シ左様ニ遺憾シテ何モ申サスト言ツテ不平等ナイト考ヘテ居ラレタナラバ、ソレハ大變ナ違ヒデアルト云フコトヲ申上ゲテ置ク

尙ホ政府委員ノ所ヘ行ク人達ハ、ドチラカト云フト多クハ米麥ニ重點ヲ置ク人達ガ大部分ヲ占メテ居リマセウカラ、ソレ等ノ人達ノハアナタノヤウナ政府委員ノ處ヘ行カナイ人達ノ不平ノ聲ヲ此處ニ私ガ代表シテ申上ゲルノダカラ、今後左様ナ道方ハ爲サラスヤウニ願ヒタイノデアリマス

○石坂主査 加藤サノ一申上ゲマスガ、實ハ時間ヲハツキリ制限シテ居ル譯デアリマセスガ、アナタノハモウ一時間五分デアリマスカラ、成ベク簡單ニ御願シマス、外ニモ大分今日ハ質問ガ多ウゴザイマスカラ、成ベク一時間以内ト思ツタノデスガ……

○加藤委員 ソレハドウデモ私ノミガ非常ナ時間ヲ取ツテ相濟シマセウカラ、此ノ程度ニシテ置キマシテ、後ハ農林大臣ニ御尋申上ゲルコトニ致シマス

○石坂主査 平野力三君

○平野委員 蠶絲問題ニ付テ御尋ヲ致シマス、生絲ノ値段ガ一月ノ八日ニ二千四百圓デアリマシタノガ、二月十二日ニ千四百圓

ニナツタ、此ノ事實ハ養蠶ヲヤツテ居リマスル農民ト致シマシテハ、經濟的ニ非常ナ動搖デアルトコトハ多言ヲ要シナイノデアリマス、而モ養蠶ニ對シテ非常ニ高價ナル肥料ヲ欲スルメテ居リマス農民カラ言ヒマス、之ニ對スル對策ヲ承リタイノデアリマス、之ニ對スル對策ヲ先ヅ第一トシテ、ドウ云フ譯デスノ如ク一千元以上モ急激ニ値段ガ下ツタカ、此ノ事ニ付キマシテハ、既ニ他ノ委員諸君カラ色々質問ガアツタラウト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハドウ云フコトガ作用シテ、斯ノ如ク急激ナル變動ガ來タノデアルト御考ニナツテ居リマスガ、内容ヲ承リタイ

○吉田政府委員 御話ノ通り昨年ノ暮カラ今年ノ初メ、一月ノ下旬ニ掛ケマシテ絲ガ非常ニ上リマシタ、極メテ猛烈ナ上リ方ヲ致シタノデアリマス、是ハ主トシテ思惑ガ非常ニ影響シテ居ルト云フテ宜シト思ヒマス、ト申シマスノハ、大體昨年來絲ガ上昇傾向ヲ取ツテ參ツテ居リマス、歐洲戰争ガ始ツテ其ノ影響ガアリマシテ、亞米利加ノ方ニモ多少ノ買氣ガ出テ參リマシタ、爲替ノ値下リト云フヤウナ關係ガ、絲ニ反映致シマシテ上リマシタ、所謂基礎ノアル結構ナコトデアリマシタ、斯ウ云フコトハ上リ方デアリマス、其ノ後内地ニ於テ織物ノ公道價格ガ發表サレマシタコトガ動機ニナリマシタ、又多少上リマシタ、是モ或ル程度織物公道價格ト關係カラ、多少裕リガアルト云フコトデ、機屋ガ立ツタト云フコトニ原因シテ、是モ原因ガアルト思ヒマスガ、斯ウ云フ上昇傾向ヲ取ツタ爲ニ、之ニ附隨シテ非常ニ思惑ガアリマシタ、當時新

開紙上等デモ御承知デアリマセウガ、唯一ノ統制外ノ商品デアルト云ツタヤウナコトカラ、無暗ニ之ヲ買煽ツタト云フヤウナ不健全ナ傾向ガハツテ參ツタノデアリマス、生絲ノ價格ニ付キマシテハ、外貨獲得ノ見地カラ、之ヲ餘リ一定不變ニ釘付ニスルコトハ宜シクナイ、ドウシテモ是ハ或ル程度活キテ居ルヤウナ形デ、適當ナ程度ニ於テ動ク形ニシテ置クコトガ宜カラウト云フ考ハ、持ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ事ガ動トモスルト、斯ウ云フ方面ニ惡用サレルト云フ懸念モアルノデアリマス、二千圓以内ノ程度マデハ徐々ニ上ゲテモ宜イ、無論亞米利加ノ方デモ踵イテ來テ居ツタト云フ程度デアツタガ、之ヲ突破致シマスレバ、無暗ニ實需ト云フ方面ヨリモ、思惑ト云フ方面ガ非常ニ活躍シマシテ、極メテ短期間ニ非常ニ急騰スルト云フ情勢デアリマシタ、隨ヒマシテ此ノ不健全ナ上ゲ方ト云フモノハ、蠶絲業ノ爲ニ百害アツテ一利ナシト云フ風ニ見テ居リマス、ソレデ商工者トモ能ク連絡ヲ執リマシテ、清算市場其ノ他ニ對シマシテモ、色々ナ警告ヲ致シタノデアリマス、先ヅ穩健ナ手段カラヤラウト云フコトデ、十分警戒ヲ注意シ與ヘテ居ツタノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ情勢デ中々止マラナイ、ソコデ結局監督官廳トシテハ、清算市場ノ玉ノ内容ヲ報告ヲ求メルコトニ致シマシタ、斯ウ云フコトガメルトトニ致シマシタ、且又一面カラ申スルコトニナリマシタ、且又一面カラ申スルコトニナリマシタ、消費ト云フモノガ非常ニ増加傾向ガ著シクナリマシタ、段々織維ガ少ナリマシタ爲ニ此ノ傾向ガ著シクナリ、之ヲ此ノ儘放任致シテ置クコトモ適當ナイカラ、或ル程度内地消費ノ規制

ヲヤルコトガ必要デアルト云フノデ、配給制度ヲ立テルコトニ致シマシタ、斯ウ云フヤウナ二ツノコトガ動機トナリマシテ、非常ニ内地ノ思惑買ト云フモノノ人氣ニ影響ヲ及ボシマシタ、サウシテ下ガ傾向ニナツタノデアリマス、其ノ結果清算市場ニ於ケル買玉——ノ賣逃ゲト云フヤウナ現象ニナツテ下ガ始メテ譯デアリマス、要スルニ過度ノ思惑ガ是正サレタ其ノ反動ノ値下リデア、一口ニ申セバサウ云フ關係ニナツテ居ルノデアリマス、無論一時的ノ現象デアリマシテ、此ノ變動ハ決シテ好マシイ現象デア、ハアリマセスガ、近クソレハ落著ク所ニ落著キ、相場モ漸次堅實ナ形ニナリマシタ、スタート、スルモノトス様ニ觀察致シテ居ルノデアリマス

○平野委員 理由ハサウ云フ理由デアラウト私モ思ヒマスガ、兎ニ角斯ノ如ク急激ナル變動ヲ與ヘシムルト云フコトニ付テハ、蠶絲業者ト致シマシテハ蠶絲局長ニ少カラザル責任ガアルト思フノデアリマス、而モ商工者ノ處置ニ對シテ農林省トシテノ態度モ相當考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此ノ問題ニ付テ今後假ニ上ルニシテモ下ルニシテモ、斯ウ云フヤウナ急激ナル變動ヲ與ヘシムルト云フコトハ、養蠶地帯ニ非常ナル動搖ガアルト云フコトニ付テ、蠶絲局長トシテ十分ナル御考ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望シマス、同時ニ然ラバ現在此ノ値段ト云フモノガ、凡ソノ程度ニ至ツテ安定スルモノデアラウカト云フコトニ關スル御見込ヲ、一ツ御發表願フ譯ニハ參リマセウカ

○吉田政府委員 相場ニ付キマシテハドウ程度ガ宜シトカ、ドウ程度ニナルモノダラウカト云フコトハ、甚ダ是ハムツカシイ問題デアリマス、且又役所ノ人間ト致シマシテ、輕々ニ相場ハドウ程度ガ宜イトカ、ドウ程度ニナルカト云フヤウナコトヲ申上ゲルコトハ、適當ナイト思ヒマス、唯昨年ノ情勢カラ申シマスルト、亞米利加ニ對スル賣レ工合カラ申シマスト千七百圓、千八百圓程度ノ頃ガ洵ニ賣行ガ宜カウツヤウニ思ヒマス、今後ノ問題ト致シマシテハ、歐洲戰争其ノ他ノ影響デ、亞米利加ニモ購買力ガ更ニ出テ來ルト云フコトニナリマスレバ、必ズシモソレデナクテモ今少シ高クテモ宜イト云フコトニナルカト思ヒマスガ、其ノ見透シハ中々困難ナ問題デアリマス、大體役所トシテドウ程度デ宜イト考ヘテ居ルコトカ、ドウ程度ニシタラ宜カラウト云フヤウナコトヲ申上ゲルコトハ、適當ナイト思ヒマスガ、昨年ニ於キマシテハ其ノ程度ノ時ニ能ク賣レキマシタト云フコトヲ申上ゲマス、答辯ニハナラナイカモ知レマセウカ、是デ御承承願ヒマス

○平野委員 モウ一點蠶絲局長ニ承ツテ置キマスガ、先程加藤委員カラ米麥重點主義ノ問題ガ出マシタガ、私ハ此ノ農林省ガ執ツテ居ル米麥ノ肥料ニ對スル重點主義ニハ、當然ノ理由ガアルト思フノデアリマス、是ハ私ノ蠶絲局長ニ對スル持論デアリマスガ、日本ノ蠶絲業ト云フモノハ、養蠶ヲ以テ其ノ縣ノ生命トシテ居ル府縣ガ數府縣アルノデアリマス、中ニハ養蠶ヲヤツテ居リマシテモ、ソレガ單ナル湖業デアツテ、時局柄養蠶ヲ止メテモ宜イ、若シ國家ガ本當ニ副業、或ハ農業ノ計畫經濟ヲ行フナラバ、其ノ地方ノ養蠶ヲ止メテ、此ノ地方ノ養蠶ニ重點ヲ置イタラバ宜シト云フコトガ、

吾々ノ持論トシテ考ヘラレテ來テ居ルノデアリマスガ、肥料ノ割當ニ對シテモ、單ニ蠶絲省ノ臨時對策部長ノ手許ニ於テ、米麥重點主義トスルナルト云フコトヲ蠶絲局長ガ放任セラレルノデナクシテ、眞ニ蠶絲局長ガ一貫セル日本ノ蠶絲業ニ付テ確固タル信念ガアルナラバ、此ノ米麥重點主義ニハ反對スルノデアリマセウケレドモ、特別ニ養蠶業ヲ主トシテ居ル府縣、山梨トカ長野トカ、群馬ト云フヤウナ府縣ノ養蠶業ニ對スル肥料ノ問題ニ對シテハ蠶絲局長カラ何カ特別ニ對策部長ニ一ツノ意見ヲ付セラレルトカ、或ハサウ云フヤウナコトニ對スル考慮ヲサツタコトガアリマスルカ、尙ホ今後サウ云フ努力ヲ拂ハレル意思ガアリマスルカドウカ、承ツテ置キタイノデアリマス

○吉田政府委員 御話尤モデアリマスガ、是ハ對策部長ガ先程申上ゲタヤウナ關係デ、米ト麥所消費糧ノ生産ト云フコトニドウシテモ重點ヲ置イテ行カナケレバナラヌコトハ、已ムヲ得ナイノデアリマスガ、今平野サノ仰シヤウツ山梨トカ、長野トカ、群馬トカ、斯ウ云フ所ニハ先程加藤サノガ言ハレタヤウナ關係モアリマスノデ、是ハ篤ト對策部長ト御話ヲシ、相談モ致シテ居ルノデ、此ノ意味ハ十分對策部長ノ方トシテモ諒トシテ居ルト思フノデアリマス、無論統制肥料ノ配分ニ付キマシテハ、食糧重點主義ト云フ原則行カナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、肥料ノ配給其ノ他出來ル限り今ノ事情モ能ク考慮シテ、肥料ノ配給ニ付テハ遺憾ノナイヤウニ話合ヒテ致シテ居リマス

○平野委員 大體ソレ意味ハ分ツテ居リマスガ、私ノ言フノハ、特ニ養蠶ヲ以テ主トシテ居ル府縣ニ對スル肥料ノ割當ト云フモノニ、蠶絲局長モ一ツ御協力ヲ願ヒタイ、我國ノ蠶絲業ノ發展ノ爲ニ臨時對策部長ノ方ヘ色々陳情ガアルコトデアリマスカラ、十分ナル御協力ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望シ御願致シマス、次ニ農務局長ニ一ツ承リタイノデアリマスガ、今年増産政策ノ線ニ沿ツテ陸稻ニ關スル豫算ヲ豫算面ニ御組ミナツタコトハ私洵ニ敬意ヲ表スル者デアリマス、是ハ私モ從來持論トシテ、我國ノ山間部ニ陸稻ヲ普及スルコトニ依ツテ、山間部ニ於ケル飯米ノ自給ヲ爲サシムルト共ニ、現在ノ食糧増産ト云フコトニ對シテ陸稻ヲ見逃スベカラズト云フコトヲ、殆ド毎議會提唱シテ來タノデアリマスガ、昨年マデハ殆ド豫算ノ上ニ何等見受ケル所ガナカウツ、今年初メテ豫算面ニ陸稻ノ普及ト云フコトガ現ハレタコトハ、洵ニ愉快ニ思フノデアリマス、ソコデ承リタイノハ、此ノ陸稻ガ早熟冷害ニ堪ヘテ相當ナル豐作ヲ爲シ得ルモノデアルカ、言換ヘレバ、從來ノ常識カラ言ヘバ、陸稻ト云フモノハ早熟ト冷害ニハ堪ヘ得ラレナイカラ、陸稻ハヤツテモイケンナイ、斯ウ云フコトガ當然タル一ツノ考デアツタ、所ガ農事試驗場、特ニ農林省ガ指定シテ居ル陸稻ノ試驗所ニ於テハ早熟及ヒ冷害ニ對抗シテ爲シ得ルノダト云フコトガ、試驗ノ結果ニナツテ居ツタ、所ガ從來ハ餘リ米ヲ澤山穫リ過ギルト米ガ下ルト云フコトデ、是ガ實際上ニ普及サレナカウツヤウニ解釋シテ居ツタノデアリマスガ、今日豫算ヲ組マレテ陸稻ヲ普及サレル限りニ於テハ、陸稻ハ耕作ノ方法如何ニ依レバ、早熟冷害ニ對抗シテ、而モ其ノ數

量ノ上ニ於テモ、水稻ニ劣ラザルガケノ生
産能力ヲ擧ゲルモノナリト私共ハ考ヘテ居
ルノデアリマス、之ニ對スル御當局ノ今少
シ明快ナル御研究ノ結果ヲ御發表願ヒタイ
ト思ヒマス

○土屋政府委員 陸稻ノ問題ニ付テ御質問
ガゴザイマスカラ、此ノ機會ニ申上ゲマス、
陸稻ハ昭和九年カラ十三年ニ至ル五箇年間
ノ平均デ申上ゲマス、作付反別ガ十三万
九千六百町歩、收穫ガ百三十九万四千五
百三十九石ト云フ數字ヲ示シテ居リマス、
是ハ我國ノ食糧政策ノ點カラ申シマシテモ、
相当地ノ經營ト云フ點カラ見マシテモ、相當
重大視スベキ問題ト考ヘラレテ居リマス、
農林省ガ從來陸稻ニ關シテヤツテ
居リマシタコトヲ簡單ニ申上ゲマス、大
正十五年以來地方ニ於ケル陸稻ノ優良品種
ノ普及事業ヲ助成シテ參ツテ居リマスガ、
昭和四年カラ陸稻ノ優良品種育成、栽培法
ノ改善ニ關スル研究ニ著手致シマシテ、昭
和十四年ニ於キマシテハ増産計畫モゴザイ
マスシ、水稻ト共ニ増産獎勵ノ方ハ力ヲ入
レテ居リマス、其ノ結果ハドウデア
カト申シマス、昭和十四年ノ作付面積ハ
十五万七千七百六十九町歩、收穫高ガ百九
十四万九千九百九十四石トナツテ居リマス、先
前申シマシタ前五年間ノ平均ニ比ベマス、
作付面積ガ一万二千六百五十三町歩増シ、
收穫高ガ五十五万四千六百五十四石増シ
テ居リマス、是ハ固ヨリ天候ニ惠
マレテ結果デハゴザイマスガ、農民ノ努力
ト指導獎勵ノ齎シテ結果ダラウト考ヘラレ
マス、最近ニ於ケル米穀事情ニ鑑ミマシテ、
更ニ積極的ニ陸稻ヲ増殖スルコトガ必要デ
アル、全國一帯ト云フ譯ニハ參ラヌト思ヒ

マスガ、地方的ニハ非常ニ有望デアリマス
カラ、昭和十五年度ニ於キマシテハ從來ノ
施設ハ繼續致シマシテ、更ニ只今平野委員
カラ御話ノアリマシタヤウニ、陸稻ノ改知
事業ヲ助成スル豫算ヲ只今提出致シテ居
マス、是ハ段々ト栽培ノ研究モ積ンデ參
マシテ、ヤリヤウニ依ツテハ相當有望ナ事
業デアリ、又獎勵スベキモノデアルト考
テ居リマス

○平野委員 此ノ陸稻モ相當金肥ハ要ル
デアリマスガ、是ハ特ニ陸稻ニ對スル肥料
ヲ要求スルト云フヤウナ態度ヲ執ツテ居
レナイノデアリマスガ、唯漠然ト割當肥料
ガ來タラ陸稻ヲヤルト云フコトニナツテ居
リマスガ、其ノ點ヲ一ツ……

コトハ大體其ノ方面ニ精通スル者ノ輿論ニ
ナツテ居リマス、然ラバ炭價ノ上ゲルノカ、
獎勵金ヲ出スノカ、此ノ二ツノ問題デアリ
マスガ、是ハドチラニナルモノカト云フ御
考ヲ、此ノ際御發表ヲ願フ譯ニ參リマセ
カ

○田中政府委員 神話ノ通りニ最近殊ニ此
ノ一月ハ、昨年ヨリ山火事ハ非常ニ多イ
ノデアリマス、之ニ付テ吾等トシテハ非常
ニ實ハ憂慮致シテ居リマシテ、特ニ地方廳
ニ對シマシテモ、山火事ノ防止ニ付テ
ハ、從來モ注意サシテ居ツタノデアリマス
ケレドモ、格段ノ注意ト更ニ適當ナ方法ヲ
以テ防止ノ出來ルヤウニト云フコトヲ地方
廳ニモ申シテ居ルノデアリマスガ、御承知
ノ通りニ斯ウ云フヤウナ事天候キデア
ル係カラ、從來トモ旱天ガ續ケバ必ズ山火事
ガ多クナルト云ハレテ居リマス、色々ナ理
由ガアルト思ヒマスケレドモ、兎ニ角旱天
ガ續イテ少シノ火氣ニ依ツテモ火ガ點キ易
イト云フコトガ、大キナ理由ノ一ツデア
ルヤウニ思ツテ居ルノデアリマス、就キマシ
テハ、先程申上ゲマシタヤウナ特別ノ指導
防除方法ヲ講ズルヤウニト云フコトヲ、地
方廳ニ申シテ居ル次第デアリマス

○平野委員 此ノ陸稻モ相當金肥ハ要ル
デアリマスガ、是ハ特ニ陸稻ニ對スル肥料
ヲ要求スルト云フヤウナ態度ヲ執ツテ居
レナイノデアリマスガ、唯漠然ト割當肥料
ガ來タラ陸稻ヲヤルト云フコトニナツテ居
リマスガ、其ノ點ヲ一ツ……

○田中政府委員 木炭ノ増産ガ段々ト困難
ナル事情ハ御話ノ通りデアリマスガ、隨
マシテ之ニ對シマシテハ十五年度豫算ニ於
キマシテモ、相當之ニ關聯シテ豫算ヲ以テ
マシテ、出來ルガ増産ヲスルト云フコト
ニシテ居リマスガ、炭價ノ上ゲルト云フ點
ニ付キマシテハ吾等トシテハ、只今
ノ所ハ考ヘテハ居ナイノデアリマス、ソレ
カラ獎勵金ノ範圍デアリマスガ、御承知
ノ通り從來トモ炭價ノ助成デアリマス、
或ハ雲中製炭ニ對スル助成デアリマス、
或ハ共同製炭ニ對スル助成デアリマス、
或ハ講習傳習ニ對スル助成デアリマス、
直接ト云ヒマスガ間接ト云ヒマスガ未熟林
分ノ開發ヲ目的トシテ林道ノ豫算デアリ
マシタカ云フヤウナ仕事ヲシテ來テ居
ルガ、來年度ニ於キマシテモ是等ノ仕事
ハハリ繼續或ハ擴充シテ參ルノデアリ
マス、更ニ原木ノ共同購入ニ對スル一部ノ補助
デアリマス、是ハ無論大臣モ御見エニナ
ラヌコトデアリマスガ、私ハ自分ノ研究ニ依

ツテ見マスルナラバ、炭價ノ上ゲルノ人
ニ依ツテ各、差ガアリマスケレドモ、ドウシテ
モ是ハ現在ノ原價デアツテハ炭價ト云フ
ノハ馬鹿ラシイモノダ、炭價ノ上ゲル
ダ、無論君等ハ國家ノ爲ニ炭價ノ上ゲル
コトハ相當理窟ハ立ツノデアリマセウガ、
ハハリ炭價ノ上ゲルノ人ガ經濟觀念カラ燒
タト云フコトニナレバ、是ハドウシテモ炭
燒ト云フモノハ引合ハナイ、假ニ現在持
テ居ル物デモ、現在ノ値段デアラト云フ
トハ大變損スルカラト云フノデアラナイヤ
ナルト云フコトハ、當然ノコトデア
ス、斯ウ云フ情勢ニアルニ拘ラズ一方ニ於
テハ議會ヲ通ジテ豫算總會等ニ於テ商工大
臣ハ石炭ノ問題ガケニ付テハ獎勵金、助成金ヲ
出ス、斯ウ云フコトヲ明確ニ答辯サレテ
居リマス、是ハ新聞紙ヲ通ジテ山間部ニ居
マス所ノ人ト雖モ、殆ド之ヲ認識シテ居
ルヤウナ斯ウ云フ極メテ貧弱ナ所ノ炭價
アルカラ、補助ヲ受ケルコトハ出來ナイ
デアラウカ、石炭ヲヤツテ居ル所ノ大キ
資本家、大キナ財力ヲ持ツテ居ル者ハ議會
ノ力ヲ得テ補助金ガ取レル、或ハ獎勵金
取レル、遂ニ商工大臣カラシテ獎勵金補助
金ヲ出ストマデ其ノ方面ノ代議士ガ答辯ヲ爲
サシメタ、木炭ノ方ダケハ曖昧ニシテ補助金
モ出サナケレバ炭價モ上ゲナイ、炭價ノ上
カラ出セト云フテモ是ハ無理デハナイカト
云フコトガ、頻々トシテ吾等ノ方面ニ傳ツテ
居ルノデアリマシテ、私ハ此ノ事ニ付テハ
若シ今山林局長ダケ答辯ガ出來ヌト云
ナラバ、是ハ非常ニ重大ナ問題デア
ラヌ、當然デアルカモ知レマセウガ、今少シク大
臣トモ御相談ニナリマシテ、本當ニ補助金

○平野委員 次ニ山林局長ニ御伺致シマス
炭ノ問題ハ既ニ他ノ委員カラ相當重大ナ御
質問ガアツタノデアリマスガ、之ニ對スル
大臣ノ御答辯モ結局要領ヲ得テ居リマセウ、
即チ今日ノ情勢カラ行ケバ炭價ノ増産ガ出來
ナイ、現ニ炭價ノ話ヲ聽キマスナラバ、現
在ノ公道値段デハ最早燒ケナイ、斯ウ云フ

○平野委員 次ニ山林局長ニ御伺致シマス
炭ノ問題ハ既ニ他ノ委員カラ相當重大ナ御
質問ガアツタノデアリマスガ、之ニ對スル
大臣ノ御答辯モ結局要領ヲ得テ居リマセウ、
即チ今日ノ情勢カラ行ケバ炭價ノ増産ガ出來
ナイ、現ニ炭價ノ話ヲ聽キマスナラバ、現
在ノ公道値段デハ最早燒ケナイ、斯ウ云フ

○平野委員 其ノ程度ノ答辯ヲ願フナラバ
大體略同ジコトデアリマスガ、併シ結局
答辯ガ出來ヌト云フ御話デアリマス、
私ハ炭價ノ上ゲルコトヲ結果ヲ深ク認識
スルノデ、非常ニ無理ナ答辯ヲ願フヤウ
デアリマスガ、今少シク明確ニシテ戴キタイ
デアリマス、是ハ無論大臣モ御見エニナ
ラヌコトデアリマスガ、私ハ自分ノ研究ニ依

○田中政府委員 炭ノ公道價格ノ決定ニ付
テノ生産費ノ御尋デアリマスガ、精確ナル
數字ヲ詳細ニ申上ゲナイノデ、後デ取調
ベテ御答辯シタイト思ヒマス

○田中政府委員 例ハバ原木ガ大體生産費
ノ三割ニナルトカ、サウ云フ大體ノ事ハ分
リマスケレドモ、精確ニ申上ゲタガ宜カ
ラウト思ヒマス

○田中政府委員 例ハバ原木ガ大體生産費
ノ三割ニナルトカ、サウ云フ大體ノ事ハ分
リマスケレドモ、精確ニ申上ゲタガ宜カ
ラウト思ヒマス

○田中政府委員 例ハバ原木ガ大體生産費
ノ三割ニナルトカ、サウ云フ大體ノ事ハ分
リマスケレドモ、精確ニ申上ゲタガ宜カ
ラウト思ヒマス

○田中政府委員 例ハバ原木ガ大體生産費
ノ三割ニナルトカ、サウ云フ大體ノ事ハ分
リマスケレドモ、精確ニ申上ゲタガ宜カ
ラウト思ヒマス

○平野委員 原因トシテ、近時山村ニ於ケル地方民ノ持
ツテ居ル入會地、是ガ非常ニ重要ナル、
入會地ト云フモノガ色々ナ關係ニ於テ、新
シク山ヲ買ツタ人デアルトカ、或ハ其ノ他
ノ關係ニ於テ蹂躪サレテ居ル、入會地デア
ツタ時代ニハ、自分ノ物デアルト云フヤウ
ナ觀念ノ下ニ、監督管理ニ付テ相當ナ事
ヤツテ居ツタ、所ガ入會地ガ蹂躪サレテ、
恰モ人ノ物ニナツタト云フヤウナ觀念ヲ持
ツ結果、無論火事ニナレバ自分モ困ルノデ
アルカラ、ソレガ爲ニ特ニ火事ニナルト云
フヤウナコトガアルベキ管ハ斷ジテナイケ
レドモ、山村ニ住ンデ山ヲ監督シテ居ル者
ノ、思ハザル、無意識ノ間ニ入會地ガ蹂躪
サレタ結果、火ノ監督ヲ怠ツテ火事ニナツ
タト云フヤウナ例モ二三開イテ居ルノデア
リマスガ、此ノ點ニ付テ山林局長ハ御氣付
キニナツテ居ルカ、或ハ御調査ニナツテ居
ルカ、若シサウ云フ點ヲ御認メニナリマス
レバ、今後之ニ對シテドウ云フヤウナ考ヲ
以テ對策ヲ講ゼラレントスルカ、一ツ承ツ
テ置キタイ

○田中政府委員 自分ノ山デアレバ愛林ノ
念ガ強ク、且ツ防火ニモ努メルコトハ御承
知ノ通りデアリマス、山ノ賣買ガ相當アル
ト云フコトモ勿論其ノ點ハ分ツテ居ルノデ
アリマスガ、果シテ御話ノヤウナ關係デア
ル事ガ多クナツテ居ルカドウカト云フ點ニ付
テハ、私トシテ調べテ居ナイノデアリマス
ガ、若シサウ云フ點ガアリマストスレバ
サウ云フ點ガナイニ致シマシテモ、私ト致
シマシテハ山村ノ住民ト林業ト云フコトニ
付テハ、特別ノ考モ持ツテ居ルノデアリマ
シテ、今後其ノ點ニ付テハ研究シテ何等カ

○平野委員 大體是デ質問ヲ終リタイト思
ヒマスガ、主ニ一ツ御願シテ置キマス、
只今炭ノ問題ニ對シ價格ノ釣上ゲテ行ク
カ、獎勵金デ行クカ、石炭ニ付テハドウシ
フ態度ヲ執ツテ、炭價ニ付テハドウシテ
政府ノ方針ガ決マラナイカ、此ノ一點ダケハ
一ツ明確ナル御答辯ヲ願ヒタイノデアリ
マス、是ハ無論山林局長ニ強ク此ノ問題ヲ申
上ゲルコトハ、困難ナコトヲ強ヒルヤウニ
考ヘマスカラ打切ツテ置キマスガ、山林局
長カラモ豫算委員會ノマダアリマス間ニ大
臣ニ御話ヲ願ヒマシテ、是非此ノ席上ニ於
テ何レノ方法ヲ執ラレルト云フ點ダケヲ
一ツ、全國ノ炭價ノ上ゲル諸君ニ炭價ノ
カシメルト云フ御考ガオアリニナリマスナ
ラバ、明確ナル答辯ヲ以テ臨マレンコトヲ
希望シテ私ノ質問ヲ打切りマス

○石坂主査 諒承致シマシタ、ソレデハ時
間デモゴザイマスカラ、午後一時マデ休憩
致シマス

○石坂主査 午後一時三十分開議
午後一時三十分開議
午後一時三十分開議

○石坂主査 午後一時三十分開議
午後一時三十分開議
午後一時三十分開議

○石坂主査 午後一時三十分開議
午後一時三十分開議
午後一時三十分開議

○石坂主査 午後一時三十分開議
午後一時三十分開議
午後一時三十分開議

○小山委員 簡單ニ炭ノ問題ニ付テ伺ヒマ
ス、炭ノ生産費ニ付テ只今委員會ニ於テ問
題ニナツテ居リマスガ、農林省ガ炭ノ價格
ヲ御決メニナリマシタ時、原木ノ代金ヲ
ドノ位ノ計算ニシテ、炭ノ生産費ヲ御決メ
ニナリマシタカ、モウ一ツハ農林省ノ方デ
ハ百貫目ノ原木ニ對シテ、ドノ位ノ炭價出
來ル見込デ生産費ノ計算ヲオヤリニナリマ

○小山委員 簡單ニ炭ノ問題ニ付テ伺ヒマ
ス、炭ノ生産費ニ付テ只今委員會ニ於テ問
題ニナツテ居リマスガ、農林省ガ炭ノ價格
ヲ御決メニナリマシタ時、原木ノ代金ヲ
ドノ位ノ計算ニシテ、炭ノ生産費ヲ御決メ
ニナリマシタカ、モウ一ツハ農林省ノ方デ
ハ百貫目ノ原木ニ對シテ、ドノ位ノ炭價出
來ル見込デ生産費ノ計算ヲオヤリニナリマ

○小山委員 簡單ニ炭ノ問題ニ付テ伺ヒマ
ス、炭ノ生産費ニ付テ只今委員會ニ於テ問
題ニナツテ居リマスガ、農林省ガ炭ノ價格
ヲ御決メニナリマシタ時、原木ノ代金ヲ
ドノ位ノ計算ニシテ、炭ノ生産費ヲ御決メ
ニナリマシタカ、モウ一ツハ農林省ノ方デ
ハ百貫目ノ原木ニ對シテ、ドノ位ノ炭價出
來ル見込デ生産費ノ計算ヲオヤリニナリマ

○小山委員 簡單ニ炭ノ問題ニ付テ伺ヒマ
ス、炭ノ生産費ニ付テ只今委員會ニ於テ問
題ニナツテ居リマスガ、農林省ガ炭ノ價格
ヲ御決メニナリマシタ時、原木ノ代金ヲ
ドノ位ノ計算ニシテ、炭ノ生産費ヲ御決メ
ニナリマシタカ、モウ一ツハ農林省ノ方デ
ハ百貫目ノ原木ニ對シテ、ドノ位ノ炭價出
來ル見込デ生産費ノ計算ヲオヤリニナリマ

○田中政府委員 例ハバ原木ガ大體生産費
ノ三割ニナルトカ、サウ云フ大體ノ事ハ分
リマスケレドモ、精確ニ申上ゲタガ宜カ
ラウト思ヒマス

○田中政府委員 例ハバ原木ガ大體生産費
ノ三割ニナルトカ、サウ云フ大體ノ事ハ分
リマスケレドモ、精確ニ申上ゲタガ宜カ
ラウト思ヒマス

○田中政府委員 例ハバ原木ガ大體生産費
ノ三割ニナルトカ、サウ云フ大體ノ事ハ分
リマスケレドモ、精確ニ申上ゲタガ宜カ
ラウト思ヒマス

○田中政府委員 例ハバ原木ガ大體生産費
ノ三割ニナルトカ、サウ云フ大體ノ事ハ分
リマスケレドモ、精確ニ申上ゲタガ宜カ
ラウト思ヒマス

トハ餘リニハツキリシ過ギテ居ル、此ノ點ヲ御考ニナラナイデ、唯政府ハ努力シテ炭ヲ出ストカ、補助金ヲヤツテ炭ヲ出ストカ言フテ居ルモ炭ノ出ヤウ譯ガナイ、最モ熱心シタル炭焼ハ親代々炭ヲ焼イテ居ルテ、炭ハ検査ヲ受ケテ一等、二等、三等ト云フ風ニ等級ガ付ケラレドモ、其ノ一番熱心シタル炭焼ガドノ位焼タカト云フト、一日ニ一駄シカ焼ケナイ、一駄ト云フノハ、五貫目ノ煤ガ八俵、馬一頭ニ載セルダケシカ焼ケナイ、サウシマスト、現在デハ原木ガ其ノ位ノ値上リヲシテ居ルベカリデナク、從來ハ二錢五厘乃至三錢デ依ガ出来タモノガ、今デ八十錢以上デス、隨テ今ノ統制價格デハドシナニ炭焼ガ炭ヲ焼カウト思ツテモ焼ケナイ、政府ガ價格ヲ御決定ニナリマシタ時ニハドウデアツタカト云フト、一番最初ニ政府ガ炭ノ値段ヲ決定サレマシタ時ニ炭焼ガドノ位ノ收入ガアルカト勘定シテ見マス、煙草ハ政府ハ遠慮ナクドンドン値上ラス、地下足袋ノ配給ガ十分デナイカラ、闇取引デ三倍モスル、サウ云フ物モ履カケレバナラス、炭焼ガ少シモ自分ノ日常モ勘定セズ、労働賃金ナド少シモ勘定セズ、一俵ノ炭ヲ焼イテ幾ラ儲カルカト云フト二錢シカ儲ケラレナイ、二錢デスト一日ニ十六錢シカ儲カラナイ、ドシナ山奥ニ住ンデ居ル炭焼デモ飯ヲ食ツテハ居レナイ、家内ヲ養フテ行クコトガ出来ナイ、ソコデ抵抗力ノ弱イ炭焼デスカラ政府ニ陳情ナドハシナイ、時恰モ靜岡附近デハ輸出ノ蜜柑ノ爲ニ多クノ人ヲ募集シテ居ル、其處ヘ行ケバ一箇月ニ向フデ飯ヲ食ツテ三十五圓ノ收入ガ得ラレドノデアリマスカラ、炭ノ生産地デアル長野縣カ

テ考究ヲ致シテ居ル次第デアリマスカラ、只今御述ニナリマシタ原本並ニ此ノ炭焼ニ對スル關係等ニ付テモ、細カク計算ノ事柄ニ付テハ十分調ベテ處置スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○小山委員 私人御尋シテモ今局長ガ材料ガ御持合セニナラナケレバ致シ方アリマセスカラ是レ止メマス

○平野委員 午前中大臣ニ答辯ヲ要求シテ置イタノデスガ、此ノ際御答辯願ヒタイ

○島田國務大臣 平野君ノ御質問ハ炭ノ公定價格ヲ引上ゲルカ、或ハ獎勵金等ノ方法ヲ採用スルカト云フ意味デアツタサウデアリマスカ...

○平野委員 サウデス

○島田國務大臣 公定價格ヲ引上ゲルト云フ問題ニ付テハ、只今マダソレヲ考慮シテ居リマセズ、併シナガラ炭ノ出荷ノ爲ニ山元ニ停滯シテ居ルヤウナ炭ヲ市場ニ出シテ來ルト云フ事柄ニ付テハ、相當ノ方法ヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマシテ、ソレニ付テ考究ヲ致シテ居リマス、マダ成案ヲ得ルト云フマデニハ至ツテ居リマセズガ、急イデニ對スル處置方ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、是レダケ此ノ際ハ答辯申上ゲテ置キマス

○平野委員 請イヤウデスガ、石炭ニ付テハ略々獎勵金、補助金ト云フモノヲ御決定ニナツテ、商工大臣ハ御答辯ニナツテ居ルノデスガ、炭ノ問題ニ付テハ農林大臣カラドウスルヤト云フコトニ付テハ農林大臣カラドウスルヤト云フコトニ付テハ、其ノ點ニ付テモト、斯様ニ思フノデスガ、其ノ點ニ付テモ一回御答辯願ヒマス

○島田國務大臣 是ハ申サマデモナイコトデアリマスカ、政府部内シテハ豫算ニ關

○石坂主査 松村君ニ申上ゲマスガ、今商工大臣、其ノ他ヲ呼ビニヤツテ居ルノデスガ、マダ見エナイノデ直グ農林大臣ニ...

○松村委員 順序ノ上カラ申上ゲマス、私ハ商工大臣ガ來ラレマセヌナラバ、商工省ノ保險ノ係ノ方ダケデモ宜シウゴザイマス、若シ時間ヲ取リマスナラバ、私ハ後ニナツテモ宜シウゴザイマス

○石坂主査 ソレデハ田村君

○田村委員 農林大臣ニ三私承リタイコトガアルノデアリマス、一ツハ北洋漁業ヲ如何ニ統制スルカト云フコトニ付テデアリマス、現在日本ノ北洋漁業ハ、日露戰爭ニ於ケル、我國ノ大ナル犧牲ニ對スル代價トシテ得タ大キナ權益デアリマスガ、是ガ個々ノ民間ノ會社ガ經營スルコトニナツテ居ル、今日ノヤウナ時代ニナツテ、聯ガ個人ノ名前デヤツテ居ルケレドモ、實際ハアア云フ國柄デアリマスカラ、ソノ聯ノ政府ガ北洋漁業ノ直接ノ擔任者ニナツテ來テ居ル、是ト對抗シテ、我國ノ日露戰爭以來ノ重大ナル權益ノ擁護スルコトニ當ツテ、個々ノ民間ノ會社ガヤツテ居ルト云フヤウナコトデアハ、此ノ權益擁護ノ上ニ缺陷ヲ生ズルコトガアルト思フ、殊ニ此ノ頃ハ日ソノ漁業條約云フモノガ暫定々々デ、ソレヲヤル度ニ其ノ運用ノ上ニ我國ハ非常ナ損失ヲ來シテ居ルコトハ、申上ゲルマデモナイコトデアアル、モウ一ツハ北洋漁業ニ關シテノ監督關係ガ、露領漁業ニ關シテハ外務省、沖取工船關係ニ付テハ農林省、北千島關係ニ付テハ北海道、斯ウ云フ風ニ所管官廳ガ異ツテ居リマスカラ、之ヲ如何ニ行政ノ上ニ統一スルカト云フコトガ一ツノ問題、ソレカラ今一ツハ資料デアリマス、今日ノヤ

ウナ時代ニ資料ヲ如何ニスルカ、儲ガ少イ、網ガ少イ、其ノ他ノ色々ナ資料ドウスルカ、ソレカラ労働問題、現在努力ノ不足ナ時代ニ、漁業關係ノ努力ヲ集メルコトニナルト、北海道ト青森ト秋田デスガ、民間各個ノ會社ガ爭奪ヲヤルト云フコトハ、今日ノ時局柄極メテ不適切アルト思フノデス、ソレカラ又稚漁ヲ擁護スルカ、或ハ其ノ他ノ資源ヲ保護スルカ、蓋シテ防止スルコト云フ意味ニ於テ、行政法規ノ統一ト云フコトモ必要デアラウト思フ、又生産物ノ處分販賣等ニ關シテモ、統一ヲシナケレバナラスト思フノデス、是等ノ點カラ考ヘマシテ、綜合的ニ判斷致シマス、北洋ニ關スル我國ノ重大ナル權益ヲ擁護スルニ當ツテ、吾々ガ假ニ北洋漁業ノ問題ノ爲ニ起タウト云フ場合ニ、國家ガ其ノ實益ニ對シテノ程度ノ關係ヲ持ツテ居ルカ、個々ノ民間會社ガヤツテ居ルコトニナルト、之ヲ擁護シヨウトシテモ、何カ一寸民間會社ノ先權ヲ擡グト云フヤウナ感シガ出ル、ソレハ日ソノ漁業條約ノ暫定協定ガ一昨年ノ暮ニ巧ク出来ナカツタ時ニ、去年ノ春大問題ニナツテ、第七十四議會ニ於キマシテモ、各派ノ決議ガ出タコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フ點カラ言ツテモ、何トカ北洋漁業ノ統制ヲ私ハヤラナケレバナラスト思フ、此ノ點ニ對スル先ツ農林大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今ノ北洋漁業ノ統制ノ必要ト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ政府ニ於テモ御述ニナリマシタヤウナ理由ニ同意ニ依リマシテ、統制サルベキモノデアリ、統制ノ必要ガアルコトヲ認メテ居ル次第デアリマスカ、唯ドウ云フヤウナ機構、ドウ

云フヤウナ區域ニ互ツテ、之ヲ實際ニ處理スルカト云フ點ニ付キマシテハ、尙ホ議會ニ提案スル程度マデノ結論ニ到ツテ居リマセズ、是レダケ申上ゲテ置キマス、尙ホ詳シイコトニ付キマシテハ、只今水産局長ガ貴族院ノ委員會ニ行ツテ居ルヤウデアリマスカラ、ソレガ參リマシタラ更ニ詳シク申上ゲルコトニ致シマス

○田村委員 此ノ議論ヲ進メルニハドウシテモ水産局長ガ居ツテ載カストマツイト思フノデスガ、今大臣ガ仰セラレタヤウニ統制ノ必要ヲ御認メニナルトスレバ、詰リ「ソノ聯ハ國營的ノ方法デヤツテ來テ居ル、之ニ對シテ北洋漁業ノ權益ヲ擁護シテ行クニハ、コツチモ政府ガ之ニ直接關係ヲ持ツテ、向フガヒドイコトヲヤレバ、最後ノ手段ニマデ出ナケレバナラス、ソレガ民間個々ノ會社ガ設立シテ居ルノデハ駄目ダカラ、統制シナケレバイカスト云フコトヲ吾々ハ主張スルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ切望シテ置キマス、ソレカラ其ノ内容ニナリマスカ、私共ノ承ル所ニ依リマスト、農林省ハ昨年此ノ統制ニ乗出シテ、北洋漁業ニ關スル國策會社ヲ作ラウト云フノデ、是ハ官治統制ノ意味カララセウガ、政府資金ヲ七百五十萬圓出サウ、七百五十萬圓四分一拂込ト致シマス、ソコデ國家ガ三千万圓ノ資本金ヲ持ツテヤラウトスル所謂半官半民會社ト申シマスカ、國策會社ヲ作ラウト云フコトヲ計畫シテ居ラレタコトヲ、私共ハ漏承ツテ居ルノデアリマス、是ハ議會ニ出マセヌデシタガ、七百五十萬圓ノ拂込ト政府ガヤル、ソレガ四分一ダト三千万圓、サウスト民間ノ方ハ世

間傳フル所ニ依ルト一億圓ノ國策會社ヲ作ツテ政府三千万圓、民間七千万圓ト云フヤウナ案ガアツタコトヲ私ハ承ツテ居リマス、此ノ案ノ内容ニ付テハ水産局長ガ御存ジナイカラナケレバ、或ハ大臣詳シク御存ジナイカモ知レマセズガ、此ノ案ハ大藏省トノ關係カラ此ノ議會ニハ出ナカツタノデアリマスカ、此ノ案ノ内容ハ果シテドウ云フモノデアリマセウカ、大臣ハ此ノ問題ニ對シテ將來ノ御方針、並ニ現在ドウ云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレカ承リタイト思ヒマス

○島田國務大臣 政府ノ計畫ヲシテ居ル所謂國策會社トシテヤル、ソレニ政府ガ一部ノ出資スル、斯ウ云フ考ヘ方デ行クト云フ事柄ニ付テハ、大體サウ云フヤウナ方針ガ然ルベキデナイカト考ヘテ居リマスカ、此ノ點ニ付キマシテハ更ニ議會後ニ於キマシテ十分研究ヲシテ、サウシテ其ノ方針ヲハツキリ定メタイト思フノデアリマス、唯政府ガ斯様ニ提案ヲシ統制會社ヲ作ラウト云フ方針ニ向ツテ進ムト假ニ致シマシテモ、其ノ間ニ於テ、民間會社ダケデ隨意ニ、任意ニ合同スルト云フヤウナコトガ動カ場合ニ、ソレハ其ノ場合ノ處置トシマシテ、サウ云フ風ニ統合シレバ必ズシモソレヲ阻止スル、阻止シテ政府ノ提案ヲ待テト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナ嚴格ナ意味ニハマダ考ヘテ居リマセズ、併シハ先ノコトニナリマスカラ、此ノ議會ヲ經テ其ノ後ニ於テ十分研究致シタイト考ヘテ居リマス

○田村委員 今大臣ノ御答辯中、民間ノ方カラ合同シタ場合ニハト云フ御言葉ガアリマシタガ、會社側ノ方ニ於キマシテモ、サウ云フ意見ノアルコトモ承ツテ居リマス、私ハ一方國策會社トシテ半官半民會社ヲ作

ラウトスル昨年來ノ政府ノ案、農林省ニ立案サレツウアツタ案ト對應スベキモノニ所謂民間會社ノ合同案、所謂自治統制ト申シマスカ、此ノ自治統制ト云フコトガ動イテ居ル、今大臣ハ合同ガ進んで來レバ、ソレニ對シテ又考慮シヨウト云フ御言葉デアツタノデスガ、私ハ斯ウ云フ考ヲ一ツ入レテ置イテ載キタイト思フ、自治統制、是モ一ツノ方法ト思フ、ソコデ國策會社ト自治統制トノ間ガ皆ク調和シ得ルヤウナ方法ニ依ツテ、少クモ北洋漁業ニ關シテハ國家ガ之ニ入ツテ居ルト云フコトガ、權益保護ノ上カラ必要デナイカト思フ、國家ノ統制ノ下ニ自治の合同、ソレニハ資本參加ノ問題ガドウシテモ必要ニナツテ來ルト思ヒマス、サウスルト半官半民會社トハ遠フ意味ノ資本參加ト云フコトト、ソレカラ此ノ自治統制ニ關シテハ唯合同會社デアツテ、ソレヲ唯監督スルト云フダケデハ足ラヌデ、ハナイカト思フノデスカラ、取締法規ヲ新ニ作ツテ、重役ノ任免權トカ或ハ其ノ利益配當ニ對シテハドウスルトカ云フヤウナコトマデ進んで行ツテ、自治統制ヲ強化スルト云フコトガ、假ニ民間會社ト合同、自治統制ト云フモノガ出來ル場合ニ考慮シテ裁カナケレバナラヌノデハナイカト思フツテ居ルノデスガ、此ノ點ニ對シテ尙ホ御所見ヲ承リタイト思ヒマス。

承ツテ居ツタノハ北洋漁業ノ資源ノ關係カラ、或ハ資材ノ關係、努力ノ關係、ソレカラモウ一ツハ露西亞ガ殆ド國家直營ト云フコトデ來テ居ル、日ソ漁業條約ハ暫定協定、暫定協定ニ毎年ヤツテ居リマスガ、其ノ間ノ運用ノ上ニ於テ我國ハ年々不利ヲ蒙ツテ居ル、斯ウ云フ場合ニ此ノ北洋漁業ノ利益ヲ飽クマデ我國ガ保護スルト云フコトニ付テハ、個々ノ民間會社デアツテ居ツタノデハイカスカラ、之ヲ國家ガ後ニハツキリ「パツ」シ得ルヤウナ統制ノ方法ガ必要デアルト思フガ、其ノ點ニ對シテ大臣ノ御所見ヲ承ツタ、ソレカラ昨年政府ハ七百五十万圓ノ出資、四分ノ一トスレバ三千万圓、三千万圓出資ノ下ニ半官半民ノ統制會社ヲ作ラウトシテ居ツタガ、其ノ内容如何、民間カラ七千万圓出シテ一億圓ノ會社ヲ作ラウトセラレタヤウニ民間ニ傳ツテ居ツタガハ如何、之ヲ今後農林省當局トシテハドウ云フヤウニシヨウトシテ居ルノカ、ソレカラ又業者ノ方ニハ自治統制、所謂合同案ト云フモノモ、ボツ／＼計畫セラレテ居ルコト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、之ニ對シテ事務當局トシテ考ヘ方、自治統制ニ對シテ國家ガ強キ力ヲ與ヘ得ル、サウシテ權益十分ニ擁護シ得ル、收益ヲ全ウシ得ルコト云フコトニ對シテ事務當局トシテ御方針ガアレバ、大臣ノ御所見、御方針ハ今承ツタノデスガ、此ノ際御説明ヲ願ヒタイ

トニ付テハ、今更申上ケルマデモナイト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ漁業ヲ長ク持續致シマシテ、其ノ權益ヲ國民全體ニ歸セシメテ行クコト云フコトニ付キマシテハ、政府ハ十分ナル關心ヲ持テ、力ヲ盡スベキデアラト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ意味カラ致シマシテ此ノ方面ノ漁業ヲ、唯捕ルニ委テ何等ノ計畫的ノ方法ヲ持ツテ進メテ行クコト云フコトハ、是ハハナリ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、其ノ漁業資源ガハナリ一ツノ系統ノモノデアルト考ヘマシテモ、亦今御話ノアリマシタ通り、露西亞トノ關係ガ極メテ複雜ニ色々外交上ノ問題モアリ、困難デアリ、複雜デアル關係ニ鑑ミマシテモ、國家的ニ之ヲ統制ラシ、相當ノ強キ態度ヲ以テ當ラナケレバナラヌコト云フコトモ、是亦御議論ノナイコトデアラナイカト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ政府ニアリマシテモ此ノ漁業ニ對シテ何等カ統制ノ方法ヲ執リ、一元的ノ態度ヲ以テ臨ムト云フコトニスル必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、御尋ノ今年度豫算ニ政府部内ニ於テ其ノ統制ニ付テ考ヘマシテ、内部デハ色々折衝ヲ致シマシタガ、不幸ニシテ實現ヲ見ル所マデ參リマセシデアリマシタガ、其ノ内容如何ト云フコトニ付キマシテハ、色々關係モアリマスノコト、直チニ此ノ場所デドウ云フ内容ノモノデアツタト云フコトヲ申上ケルコトハ、或ハ是ハ差控ヘルベキデナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、要スルニ此ノ問題ハ單ニ營利ノ立場ノミデ進メテ行クベキデハナイ、ヤハリ國家ガ其ノ國家ノ意思ヲ十分ニ反映シ得ル體制ヲ整ヘ、民間ノ今マデノ發達、今日アリマス所ノ十分ノ此ノ力、之ヲ動員シテ

ヤルコトハ勿論デアリマスガ、ソレニ更ニ國家モ一肌脱イテ之ニ相當ノ關心ヲ持テ得ル所ノ組織ト致シマシテ、其ノ資本ノ性質等ガヤハリ國家ノ立場ヲ反映スルヤウナ性質ノモノト致スコトガ、必要デアルト考ヘマシテ、政府出資ト云フコトヲ計畫シテ參ツタノデアリマス、先程申シマシタ通り是ガ實現シ得ナカツタコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、私モ此ノ問題ニ付キマシテハ將來努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。

○田村委員 サウシマスト今ノ政府委員ノ御説明ニ依リマス、大體官治統制ノ半官半民會社ノ國策會社トシテ行カウト云フヤウナ方向ニ進んで居ルト云フ風ニ吾々承ルノデスガ、是ハ世間ノ聲ガ正シイカドウカ分リマセスガ、私共農林省當局ニ御考願ハナケレバナラヌノ、此ノ國策會社ヲ作ルト、役人ガ國策會社ト「ポスト」ニ就カウト云フヤウナ動キガアルノデハナイカト云フコトヲ業者側モ言ウテ居ルシ、又此ノ頃ノ風潮トシテヨク言ハレテ居ル、議會ニ於テハ役人ヲヤツタ者、即チ其ノ監督官ヲシテ居ツタ者ハ五年間ハ退職後モサウ云フモノノ會社ニ行ツテハ入レタコトハ皆サン御承知デアル、ソコデサウ云フヤウナ弊風ノナイヤウニ國策會社ヲヤルニ付テハ、今御話ノ中ニ國家ガ之ニ關係シ得ル、是ハ吾々ハ全ク賛成ナシタ、サウ云フ風ナコトデナケレバ、アア云フ變轉極リナイ所ノ「ソ」聯ノ漁業對策ト吾々ガ對抗シテ、粘り強ク一貫シテ變ラナイ所ノ北洋對策ト云フモノハ立テラレナイカラ、其ノ第一線ニ立ツ所ノ會社トシテハ、統一スル上ニ國家ガ之ニ關係シテ直接ノ關係ヲ持

ツコトノ必要デアルコトハ、私共モサウ思ツテ居ルノデアリマス、唯自治統制ト云フコトガ今世間カラ色々ナ疑惑ヲ以テ見ラレルコトニ對シテ、一ツノ國策會社ニ對シテノ自治統制案、所謂民間會社ト合同案ト云フモノヲ深ク考ヘナケレバナラヌト思フ、併シ民間ノ會社ガ一ツニ合同シテ、ソレダケデ上カラボヤツト監督スルダケデハ私ハイカスト思フ、一步進んで所謂國策會社ニアラザル資本參加ノ方法トカ、或ハ又取締法規ヲ新ニ拵ヘテ、重役トカ配當ニ對スル一ツノ取締ヲヤルトカ云フヤウナコトガ必要デアルト思フノデアリマス、先程大臣ニ申上ケタノデスガ、自治統制會社ト合同案、ソレニ對スル政府監督權ノ強化ト云フヤウナ考ヘ方ニ付テ、事務當局トシテ何カ御考ガアレバ承リタイト思ヒマス。

ハ考ヘテ居ラナイデアリマシテ、ソレニ更ニ又將來一步二歩ヲ進メマシテ、完全ナル北洋統制ニマデ到達シナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○田村委員 次ニ大臣ニ伺ヒタイ問題ハ、昭和十五年度カラ各縣ニ農産物ノ増産計畫ニ付テノ豫算ガ出テ居リマスガ、倍此ノ増産計畫ヲヤルニ付テハ、之ニ對スル十分ノ組織ト内容ヲ具備シナイト、豫算ヲ組ンデモ旨ク行カヌノデハナイカト思フ、私ハ農産物ノ増産計畫ノ根本ヲ成スモノニ先ヅ努力ノ問題ガアリ、次ニ肥料ノ問題ガアルト思ヒマス、現在化學肥料ハ私ガ申上ケルマデモナク不足シテ居リマス、一方ニ於テ其ノ化學肥料ハ、農家ニ總イテ見マスト毎年一割位ツツ増シテ行カスト、同生生産額ヲ維持出來ナイ、隨テ化學肥料ハ年々殖エテ來ル譯デス、殖エテ來ナケレバ肥料ノ方面カラ見テ増産ハ出來ナイ、之ニ對シテ肥料ノ計畫ヲドウスルカ、所ガ此ノ頃ハ非常ニ化學肥料ガ殖エテ來タガ、化學肥料バカリヲヤツテ居ルト、土地ガ酸化シテ非常ニ弱ツテ來ル、昨年ノ中國、四國方面ノ旱害ヲ見テミマシテモ、堆肥ヲ使ツテ居ツタ所ハ桑園ガ枯レテ居リマセス、所ガ化學肥料バカリヲ使ツテ居ツタ所ハ、一時ハ非常ニ繁茂シテ居ルノデスガ、基礎ガ弱イ、隨テ殆ド化學肥料ダケデアツテ居ツタ桑園ハ枯レテシマツテ居ルノデス、所ガ一方堆肥ヲ造ラウトスルト現在家畜ノ問題、或ハ牛トカ豚トカ鶏トカ云フモノノ關係ヲ考ヘナケレバナラヌ、是ハ飼料ノ不足ノ問題モアル、化學肥料モ足ラナイシ、堆肥モ中々出來ナイト云フ點カラ言ツテ、肥料ノ不足ト云フコトガ甚アルノデス、一方ニ努力ノ

問題ニ付テハ、是ハモウ既に各農村トモ非常ニ不足デアル、其ノ努力ノ不足ト肥料ノ問題、斯ウ云フモノカラ考ヘテ、今回増産施設ニ關スル費用トシテ相當額ヲ組ンデ居リマスガ、果シテサウ云フ風ナ組織、見込ト云フモノガ立ツテ、斯ウ云フ豫算ヲ組ンデ居ルノカドウカ、私共ハ其ノ點ニ一脈ノ疑惑ヲ抱カザルヲ得ヌノデガ、斯ウ云フ方法ニ付テハ基礎ガ確立シナケレバナラヌト思フガ、其ノ基礎ト見込ニ付テノ確信ヲ御持テアルカドウカ、農産物ノ増産計畫ニ對スル豫算ガ出テ居ルコトニ關係シテ、ハツキリシタコトヲ大臣カラ此ノ際承ツテ置キタイト思ヒマス。

バナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、然ラザレバ毎年此ノ肥料ノ問題ニ付テ此ノ部面ニ於キマシテモ非常ナ困難ヲ爲シ、サウシテ外安ノ輸入ト云フヤウナ困難ナ問題ヲ常ニ伴ツテ來ル次第デアリマスカラ、是ノ原因ヲ排除シテ國內ニ於テ化學肥料、殊ニ硫酸ニ付キマシテハ之ヲ自給出來テ、尙ホ或ハ餘リノアル位ナ計畫ヲ立テ進ム必要ガアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ無機質肥料ノ中デモ此ノ自給肥料ニ付キマシテハ、是亦資材ノ不足其ノ他色々ナ點ニ於テ非常ナ困難ガアルコトハ之ヲ認メテ居リマスケレドモ、現在ノ只今ノ事情ト致シマシテ、之ヲ克服スルニ付テノ特別ナ處置ト云フコトハ考ヘルトガ中々困難デアリマシテ、官民舉ゲテ之ニ出來ルダケノ努力ヲシ、サウシテ全キヲ期スルト云フ意味デ進ムト云フコトヲ熱願シテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ此ノ計畫ニ付テノ確信根據アリヤ否ヤト云フコトノ御尋ニ對シマシテハ、大體豫算ノ計畫ニ於テ述ベテ居ル事柄ヲ實行ニ現ハシテ行ク、之ヲ先ヅ努メルト云フコトヲ申上ケルノ外ハナイ次第デアリマス。

○農産政府委員 北洋漁業ニ對シマスル事務當局ノ考ヘ方ハ先程申シタ通りデアリマス、其ノモノト自治統制ト此ノ場合ヤルト云フコトニ付テ、吾々事務當局ノ考トドウ云フ風ニ關係ニナルカト云フ風ナ御尋ト思ヒマスガ、之ニ付キマシテ私共ノ考ヘテ居リマス北洋漁業ヲ如何ニスベキカト云フコトハ、前申シタ通りデアリマスガ、其ノ考ヘ方ノ線ニ沿ウテ自治統制ト此ノ場合ヤラレルト云フコトニ付キマシテハ、將來政府ノ狙ツテ居リマス其ノ考ヘ方ト、矛盾シナイヤリ方デ自治統制ヲヤラレルトハ、現在ノ場合トシテヤハリ其ノ方向ニ向ツテ一步ヲ進メルモノト考ヘマスノデ、ヤリ方如何ハ問題デアリマスケレドモ、大體其ノ線ニ沿ウテ進メラレルトコトナラバ、事務當局ノ立場トシテ強ヒテ支障ハナイカト思ヒマス、併シソレガ最後ノ到着點デアルト云フ風ニ

○島田國務大臣 只今ノ田村君ノ御意見ハ、立案ノ際ニ十分參考ニシテ參リタイト思ヒマス。

○田村委員 ソレデハ水産局長ガ御見エニナリマシタカラ、今ノ北洋漁業ノ質問ノ内容ニ付テモウ一度申上ケマス、實ハ大臣ニ

○島田國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ、現在ノ豫算ニ計上シテ居ル其ノ金額ト方法ニ從ヒマシテ、先ヅ以テ出來ルダケノコトヲスル考ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申上ケルヨリ外ハナイノデアリマスガ、此ノ肥料等ノ將來ノ問題ト云フコトニ付キマシテハ、只今御話ノ化學肥料、其ノ中デモ硫酸等ノモノニ付キマシテハ、現ニ電力其ノ他ノ制限ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ、之ヲ「フル」ニ働カセマシテモ、總生産額ト云フモノハ、二百万圓ニ足ラナイト云フヤウナ狀況デアリマス、サウシテ此ノ性質ノ肥料ハ、御話ノ通り今年ヤレバ來年ハソレ以上ヤラナケレバ效果ガ擧リタイト云フヤウナ事情ガアリマスカラ、一ト云ウテ、此ノ化學肥料ト云フモノヲ漸減スルトカ全廢スルトカ云フコトハ、到底今日ノ農作ニ於テ出來難イコトト考ヘルノデアリマス、隨テ之ニ付キマシテハ、ドウシテモ増産ノ方法ト致シマシテ、全國ノ總生産量ニ對シテ相當ノ増産ヲスル所ノ根本ノ方針ヲ立テ進マナケレ

○田村委員 農産物ノ増産計畫ニ付テハ先程申上ケルヤウニ一方ニ努力難デスガ、勞力問題ニ關係シテ一ツ承ツテ置キタイノハ、明年度カラ内地ノ牛トカ豚トカ鶏トカノ飼料ノ不足ヲドウスルカト云フコトカラ、主トシテ拓務省デセウガ、農林省ガ賛成ノ下ニ滿洲國建設勤勞奉仕隊ト云フモノガ今度出來ル、サウシテ日本ノ方デ九十七万七千圓、約百万圓、滿洲國政府ガ二百萬圓、サウシテ日本ノ農村カラ七千七百六十一名ノ人員ヲ集メテ、之ヲ滿洲ニ三箇月ツツ二回

ニ互ツテ派遣スル、サウシテ飼料ヲ持ヘテ滿洲カラコウチヘ入レヨウ、斯ウ云フ案デ、滿洲ト日本ト合セマスト約三百万圓ニナル譯デスガ、斯ウ云フ計畫ガ進メラレテ居ル一方ニ於テハ國內ニモ努力ガ不足非常ニ困難シテ居ル、厚生省關係ニ於キマシテハ、町村勞務員協議會ト云フモノヲ作りマシテ、勞務員ノ協議會ヲ各町村デヤラウトシテ居ルノデスガ、職業紹介所ト連絡シテ幾ヲ勞務員ヲヤラウトシテモ、努力ガナケレバ動員ナド立チ得ル管ガナイ、現在農村ヘ行ツテ見マスト、努力ガ足ラヌデ猫ノ手マデ借リタイ、斯ウ云フ時ニナツテ居ルソコヘ飼料ノ不足、是ハ何トカシナケレバナラヌト私共思フノデスガ、是ハ拓務省ノ計畫ガト思ヒマスガ、此ノ計畫ニ農林省モ文部省モ、選信省モ、鐵道省モ一運搬ノ問題カラデセウガ關係シテ居ル、之ニ日滿ヲ通ジテ三百万圓、日本カラ派遣スル人ハ實ニ八千人、之ヲ三箇月ツツ奉仕隊員トシテ滿洲ヘ派遣シテ飼料ヲ作ル、是ハドウモ少シ實情ニ即セヌヤウニ私共思フ、三箇月デハ物見遊山ミタイナモノデアル、三箇月行ツタガ爲ニ飼料ヲ其ノ村ニハ特別ニ配給スル、斯ウ云フ建前デヤツテ居ルノデスガ、農村ノ努力不足デ堪ラヌ時ニ、今ノ所謂國策ノ線ニ沿フ意味デ日滿一體ト云フ考ヘ方ヨリモ農村ノ少イ努力ヲ如何ニ活用スルカト云フ場合デアル、ソコヘ八千人モノ努力ヲ滿洲ニ建設奉仕隊ト云フコトデ遺ル、之ニ農林省ガ賛成シテ居ラレハ、私共今日ノ農村ノ努力不足ノ實情ニ即シテ考ヘテ見ル時ニ、實ニ不可思議デアル、理解ニ苦シム、コンナコトヲスルナラバ、日滿兩國

カラ出ス三百万圓ノ金ヲ以テ、苦力デモ使ツタナラバドウカト思フ、苦力ヲ使ツタナラバモウ少シ安クテ澤山ニ滿洲カラ飼料ヲ出ス方法ガアリハシナイカト思フ、ソコハ農林省ガ拓務省ニ勸メテ、苦力ヲ使ツタナラバ内地ノ少イ努力ヲ使ツテ一三箇月ツツ二回ニ分ケルト云フノデスガ、飼料ヲ拵ヘヨウトシテモ、ソレハ日滿一體ト云フ考ヘ方ヲ作ラヌ意味ナラバ別デスガ、飼料ヲ取入レル爲ニ建設奉仕隊ト云フ名前ヲ附ケテヤル、金ハ三百万圓モ使フ、其ノ結果果シテ飼料ガ十分ニ取レルカドウカ分ラヌ、取レナイトスレバ遊ビニヤルヤウナモノデアル、遊ビニヤル暇ガアレバ國內デ猫ノ手モ借リタイト云フヤウナ農村ノ努力ノ充實ヲヤラナケレバナラヌ、其ノ建前ヲ農林省ガ堅持シナケレバナラナイニ拘ラズ、之ニ賛成シテ居ル、其ノ場合ニ私共苦力ヲ使ツテ飼料ヲ澤山取ルト云フ御考ノ下ニ協議ヲサレタラドウカ、ドウモ農村ノ努力不足ニ即應シナイ方法デアラウト思ヒマスガ、此ノ問題ニ對スル農林當局ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス。

○周東政府委員 只今ノ御話デゴザイマスガ、御話ノ通り現在ノ農村ニ於ケル事情、軍需方面ニ必要ナ努力ノ供出等、各般ノ點カラ考ヘマシテ、努力ノ供出ニ付キマシテ、慎重ナル研究ヲ加ヘテ實行致サナケレバナラヌト云フコトハ、御話ノ通りデゴザイマス、只今ノ御話ノ點ニ付キマシテ滿洲ニ於ケル飼料生産隊ノ問題デゴザイマスガ、之ニ關シマシテモ此ノ生産隊ヲ送りマスニ付テハ非常ナル注意ヲ計畫ノ下ニ、努力ノ稍、餘ツテ居ル地方、竝ニ主トシテ學生生徒ヲ動員致シマシテ、文部省ナル私共ノ方

ガ連絡ヲ致シマシテ、必要ノ數ヲ出シテ、御話ノヤウニ三箇月ツツ二回、六箇月ノ間ニ飼料ヲ生産サシタイト云フコトデ、送り出シテ居ル譯デアリマス、來年度ノ計畫ト致シマシテモ一今八千人ト仰シヤイマシタガ、實際ノ計畫ハ二回ニ四千五百人ヲ送リ出スト云フコトニナツテ居リマス、大體滿洲ニ飼料ノ生産特設農場約七千五百町歩臨時ニ設ケマシテ、其處ヘ二回ニ四千五百人ヲ派遣シテ、大體生産飼料七千五百町歩豫定シテ計畫シテ居ルヤウナ譯デアリマス、ニ於ケル努力ノ不足ノ起ラヌヤウニ、各般ノ點ヲ十分研究致シマシテ、計畫ヲ進メテ居ルヤウナ譯デアリマス、御話ノヤウナ事情ハ起ラナイモノトスレバ、只今ノ計畫ニ依ツテ出來マシタ飼料ノ運送等ニ付テ受持ヲ致シテ、内地ニ持込ムコトヲ計畫シテ居ル次第デアリマス。

○田村委員 二三アリマスガ、今監督局長御見エニナツタヤウデスカラ、松村君ニ讓ツテ、保留致シマス。

○松村委員 私人重ネテ産業組合ノ保險會社ノ經營問題ニ付キマシテ御同致シタイト思ヒマス、實ハ私ハ先般御致シマシテ、重ネテ御同スル考ハ持ツテ居ラナカウツノデアリマス、アレダケノ大體ノ御同致シテ、ソレデ事情ガ正シク收マリアスナラバ洵ニ結構デアルト存ジマシテ、重ネテ御同スル考ヲ持ツテ居ナカウツノデアリマス、併シナガラ此ノ問題ガ相當ニ世間ノ注意ヲ惹キマシテ、私共方此ノ問題ニ關シテドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカ、ドウ云フ點ニ愛ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ明ニシテ置キマ

シテ今回ノ産業組合側ニ於テ、保險會社ヲ買収スルト云ヒマスガ、之ヲ自分ノ經營下ニ置クコト云フコトニ付テノ動機トシマシテハ、是ハ餘程以前カラ、組合ノ役職員ノ生活ノ状態ガ所謂待遇ト云フモノガ非常ニ低イ爲ニ、是等ニ對シテ共済ノ意味ヲ以テ、生活安定、斯ウ云フ方面カラ考ヘマシテ、共済ノ制度、或ハ相互保險ト云フヤウナ意味ノ計畫ヲシテ實ヒタイト云フコトノ意味ガ、以前カラ各地方ノ組合カラ決議トナリ、或ハ進言トナツテ、中央會ノ方ニ集メラレテ居ルノデアリマシテ、左様ナ事情ニ付テ中央會ニ於テ一任ノ形ニナツテ研究ヲシテ居ツタ、其ノ際ニ偶々今問題ニナツテ居ル所ノ三保險會社ヲ引受ケルコトガ可能デアルト云フヤウナ事情ガ發生致シマシテ、之ニ結び付ケテ此ノ問題ノ解決ヲシヨウト云フ意味デ、其ノ動機、目的ト云フモノハ畢竟スルニ、此ノ組合役職員ノ共済互助ノ方面ニ之ヲ役立テタイ、斯ウ云フノデアリマシテ、ソレヲ引受ケテ後ノ經營ノ仕方ニ付テモ、ヤハリ其ノ點ヲ目標トシテ計畫ガ進メラレテ居ツタモノ、又居ルモノノヤウニ考ヘラレノデアリマスガ、之ヲ監督官廳タル農林省ノ建前カラ見マスト、之ニ付キマシテハ、中央會ノミナラズ、各縣ノ信聯等ニ極メテ密接ナル關係ガアリマス、中央會ノ方面カラノ報告ノミヲ以テシテハ、未ダ判斷スル所ノ資料ニ十分デナイト考ヘテ居リマス、又中央會カラ提出ニナツテ居リマス資料ニ付キマシテモ、尙ホ色々質シテ置カネバナラヌヤウナ點ガアリ、又補足ヲ得ナケレバナラヌヤウナ點ガアリノデアリマシテ、只今ソレ等ノモノニ付テ正確ナル判斷ヲスベキ資料ヲ蒐集シテ居

ル次第デアリス、既ニ衆議院ニ於テ、又貴族院ニ於テモ、本會議ニ於テ話題ニナリ、質問應答ノ題目ニ供サレタ事情デアリマスカラ、之ヲ至急ニ解決スルヤウニ、段落ヲ付ケタイト考ヘテ居リマスガ、以上申上ゲルヤウナ次第デアリマシテ、只今ノ程度ニ於キマシテハ、必要ナル資料ヲ蒐集中デアリス、斯ウ云フコトニ申上ゲマシテ、遠隔ノ地ニアルモノニ對シマシテハ電報其ノ外ノ方法ニ依ツテヤルトカ、出來ルダケ速ニ其ノ資料ヲ集メテ、正確ナル判斷ヲスルヤウニシテ、其ノ上デ之ニ對スル處置ヲシタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、固ヨリ農林大臣トシテハ産業組合ニ對スル監督ノ立場ニ於テ之ヲスルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ適正ヲ失シナイヤウニ、且ツ迅速ニ處置シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ガ概括的ニ御答ヲ申上ゲマシテ、マダ爾餘ノ問題ニ付テ御質問ガアルカモ知レマセマスガ、明確ナル御答ヲスル程度ニ今日ハ達シテ居ラヌト云フコトヲ御承諾願ヒタイト思ヒマス。

○松村委員 産業組合ノ發達スルニ伴ヒマシテ、相互保險ノヤウナモノヲ作りタイ、或ハ從業員ガ非常ニ薄給デ働イテ居リマスカラ、之ニ對シテ共済的ノ施設ヲ致シタイト云フコトハ、是ハ多年ノ産業組合トシテノ問題デアリヤウデアリマシテ、私共モ其ノ氣持ハ能ク了解ガ出來ルノデゴザイマス、併シナガラ今度ヤラレタコトデ果シテ其ノ目的ガ達成出來マスカ出來マセスカト云フコトニ問題ノ重點ガアルノダト思フノデゴザイマス、ソレニ付キマシテ、商工省ノ監督局長ニ御尋ヲ致シマスガ、今度買収セラレマシタノ生命及ビ火災保險會社、是ハ

普通ノ營利的ノ保險會社デアリマスガ、之ヲ非營利的ノ相互保險會社、即チ産業組合ガ組合員ノ福利ノ爲ニヤルト云フ組織ニ變更スルコトガ、現在ノ行政ノ考ヘ方ニ依ツテ出來得ルモノデアリマスガ、アリマセスカ、其ノ點ヲ承リタイト思ヒマス。

○牧政府委員 現在問題ニナツテ居リマス保險會社ハ、御承知ノ通り營利會社タル株式會社デゴザイマスガ、之ヲ御尋ノヤウニ相互保險ニ直スコトガ出來ルカドウカト云フ問題デアリマスガ、昨年ノ議會ニ於キマシテ法律ノ改正ヲ戴キマシテ、法律上ハ出來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ營利保險ヲ相互保險ニ直スコト云フコトハ、行政上ノ問題ガアリマス、法律上ノ問題ガアリマシテ、具體案ヲ御聞キシナイデハ御答ガ出來ナイト思ヒマス。

○松村委員 其ノ點ニ付キマシテモウ一ツ承リタイト思ヒマスガ、私共ハ概念ヲ作レバ宜イノデアリマス、之ヲ必ズ許ストカ、必ズ許サストカ、此ノ會社ニ付テ特別ノ關係ヲ承ラヌデモ宜ウゴザイマスガ、大體ノ概念ト致シマシテ、今日既ニ營利會社ト致シテ營利保險ノ形ニ於テヤツテ居ル、ソレヲ途中デ相互保險ノ形ニ變ヘルコトガ、實際的ニ出來マスカ出來マセスカ、此ノ會社ニ付テハ今御話ノヤウナ御答カモ知レマセマスガ、之ヲモウ少シ明確ニ御答ヲ願フ譯ニ行キマセスカ。

○牧政府委員 營利保險ヲ相互保險ニ直ス方法ハ、此ノ一月ニ施行ニナリマシタ法律デ初メテ認メラレタノデアリマスガ、實際的上ハ中問題デアラウカト考ヘルノデアリマス、從來サウ云フ考ヲ持ツタコトモアリマシタガ、技術上其ノ他色々難カシイ問題ニ

打突カリマシテ、サウ云フ實例ハナイノデアリマス、ヤハリ具體的ノ計畫ナリヤリ方ナリヲ御尋キマセスト、明確ニ御答ハ出來ナイヤウニ思ヒマス。

○松村委員 農林省ノ事務ノ方デ結構デゴザイマスガ、共済組合、所謂共済的ノ目的ニ此ノ保險ヲ利用スルト云フノハ、ドウ云フ風ニシテ結付ケルノデアリマスガ、其ノ點ハ御尋キダト思ヒマスガ、是ハ御答ニナツテモ差支ナイト思ヒマス。

○島田國務大臣 私カラ御答致シテ置キマス、共済組合ヲ通シテヤルト云フ場合ニ、共済組合ヲ法人組織デヤルノカ、或ハ又唯所謂組合デ出資ヲシテ、各産業組合ガ金ヲ出シテヤルト云フノカ、其ノ點ニ關シマシテハ組合側ニ於テマダ共済組合ヲ拵ヘルト云フコトニ付テ、ハツキリシテ斷案ヲ持ツテ居ル譯デアリヤウデアリマス、隨テ此ノ點ヲ能ク確メテ見マセスト、法人トシテヤル場合ト、單ニ組合トシテヤル場合ト、色色違ツテ來ルモノガアルト思ヒマシテ、是等ノ點ニ付キマシテモ只今ハツキリシテ報告ヲ得ルヤウニ致シテ居リマス、詰リ考トシマシテハ法人トカ或ハ組合デヤルト云フコトヲ離レテ、謂ハバ組合ニ金ヲ集メテ、其ノ金ヲ以テ保險會社ヲ買収シヨウ、表面ノ關係ハサウ云フ風ニナツテ居ルケレドモ、之ヲ現行ノ法規等カラ考ヘマスト、法人トシテヤル場合ト、法人トシテヤル場合ト云フノハ、詰リ組合トシマシテハ信用購買利用販賣ト、斯ウ云フヤウニ産業組合ノ事業ガナツテ居リマスカラ、其ノ以外ノ出資ヲシテ共済組合ト云フモノヲ作ツテ、ソレヲ一ツノ法人ニスルカシナイカト云フコトニ付テ、ソコニ一ツノ法律關係ノ解釋スベ

キ點が起つて來ルノデアリマス、ソレカラ其ノモノガ法人デナシニ保險會社ヲ買フ、或ハ法人トシテノ獨立ノ人格トシテ其ノ金ヲ運用シテ買フ場合ト、ヤハリ法律ノ關係ハ變つテ來ルト考ヘルノデアリマス、而シテ其ノ上ニ保險會社ヲ買收シタ上ニ於テ此ノ保險會社ノ組織ノ問題ハ、只今商工省ノ政府委員ガ述ベマシタ通りデアリマスガ其ノ保險會社ハ何レノ組織ニ致シマシテモ、是ハ御承知ノヤウニ商工省ノ專管ニナリテアリマス、ソコデ商工大臣ノ監督ニ屬スルコトニナリマス、産業組合ノ監督ヲスル上カラ言ヘバ、農林大臣ノ監督ヲ逸脱スル結果ヲ來スコトニナルノデアリマス、ソコデ此ノ點ニ付キマシテハ組合ガ組合ノ資金ヲ如何ナル性質ノ資金ニ致シマシテモ、組合ノ資金ヲ以テテウ云フ風ニ徑路ヲ取ツテ行クト云フコトヲ、農林大臣ノ立場トシテドウ云フ風ニ捌ケバ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、ドウモ法律問題等ガ關ニ決マリマスカラ、各關係者ノ適確ナル資料ヲ集メテ、ソレニ依ツテ個々ニ判斷ヲシテ立案ヲ致シマセスト、唯趣旨ニ合フハスト云フヤウナ大體把テ意味ヲ以テ判斷スルコトハ、相當困難デアリマス、是ガ事前ニ於テ斯ウ云フヤウナ考ヲ實行シヨウト思フガト云フヤウニ協議ヲ受ケテヤル場合ト、今日事後デアリマセスガ、相當進行シタ中途ニ於テ之ニ對シテ處理スル場合ト、ソコニ當局ト致シマシテ、ヤリ方ニ違ヒガ生ジテ來ルコトヲ御承知ヒマス、事前ニ於テ斯ウ云フコトヲ相談サレタ場合ナラバ、或ハ其ノ成行キ結果等ニ付テモ隨分研究ヲシテ、協議ニ應ジテヤリ得タノデアラウト思ヒマスケレドモ、今日或ル程度進行ヲ見タ

上ニ於キマシテハ、當面ノ問題ノ處置ト共ニ、善後ノ關係ニ付テモ考ヘナケレバナラスト云フ立場ニ、監督者トシテハ置カレテ居ルト思ヒマスカラ、結局最初申シマシタヤウニ、各般ノ資料ヲ集メテ研究ヲ致シマシテ、假ニ是ガ法律上差支ナシ、事業上之ヲ許スト致シマシテモ、更ニ進メデ之ヲ産業組合ガ買收スベキ豫定ニナツテ居ル此ノ三保險會社ヲ、買收後ニ於テ運用シテ行ク上ニ、ソレガ産業組合ニ向ツテ如何ナル效果ヲ舉ゲルカ、斯ウ云フヤリ方ニ付キマシテモ尙ホ行政廳トシテハ、農林大臣ノ監督ニ屬スルモノト云フ建前カラ致シマス、其ノ點ニ付テモ十分ニ調査研究ヲ致シマセスト、之ニ對シテ可否ヲ言フコトハ難シイコトデアラウト思ヒマス、何分一應ノ報告ハ受ケテ居リマスケレドモ、尙ホ補充ヲ受クベキ點ガアリ、又新ニ報告ヲ徵スベキ向モアリマスノデ、慎重ニ調べマシテ、成ルベク迅速ニ處置ヲシタイト云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

ノ目的デアリマセウ、隨ヒマシテ斯ウ云フ風ニ共濟組合ノ基金ヲ作ルノニ、其ノ基金ノ目標ニ豫メ斯ウ云フ事業資金ヲ目安ニシテヤツテ行クト云フコトヲ、商工省ナリ當局ニ於キマシテ保險會社ヲ併ヘル上ニ、ソレヲ御許シ下サイマセウカ、ドウデセウカ

○牧野委員 ドウ云フ仕組共濟金ノ資金ヲ作ルカ、保險會社トドウ云フ風ニ結ビ分ツテ居リマセウ、ト申シマスハ、産業組合ニ對シマシテ私ノ方ト致シマシテ何等取調上其ノ他ノ手掛リガゴザイマセウカ、今松村サンノ仰シヤツタヤウニ新聞ヲ拜見スル所ニ依リマス、保險會社ノ事業ノ一部ヲ共濟組合ノ資金ニ持ツテ來ヤウト云フカノヤウデゴザイマス、此ノ點ハツキリシテ居リマセウガ、サウ云フコトデアルト致シマシテ商工省デ考ヘサセラレルハ、今松村サンノ仰シヤツタ通りノ保險會社ノ募集費、所謂事業費デゴザイマスガ、事業費ガ保險經營上餘リニ多額ニナルト云フコトハ好マシクナイノデアリマシテ、ソレ等ハ募集ニ適當ナル額デアレバ宜イノデアリマセウガ、ソレヲ超スヤウデアリマス、昨年御協賛ヲ經マシタ法律改正ノ一ツノ趣旨ト致シマシテ、事業費ヲ出來ルダケ節約セシマシテ、一般契約者ノ利益ヲ増進スルコトヲ趣旨モゴザイマシテ、是等ノ點ハヤハリ具體的ニドウ云フ風ニヤルカト云フ計畫ヲ聞キマシテ、相當批判的ノ態度ニ出ナクテハナラヌカトモ考ヘテ居リマスガ、詳細ガ分リマセウカ、ハツキリシタコトヲ申上ゲ兼ネマス

御調ヲ事務的ニナサツタコトガアリマセウカ、火災保險モ出來ルダケ自己保險タケヲヤリタイト云フ産業組合側ノ話デアリマス、即チ農業倉庫或ハ組合ノ店舗、組合關係ノ工場、組合取扱物資ノ自己ノ保險、斯ウ云フヤウナ意味デアリタイト云フコトデアリマセウカ、如何デセウカ、是ダケデ一ツノ火災保險ガ成立ツ位ノ金額ニ達スルモノデアリマスガ、ドウデスカ、其ノ點ノ御調ガアリマシタラ承リタイト思ヒマス

○周東政府委員 御質問ノ點ニ付キマシテハ、只今保險事業經營ニ關スル計畫ノ目録見等ニ付キマシテ、資料ノ提出ヲ願フテ居ル次第デアリマス、具體的ニハマダ全部ハ分リ兼ネマス

○島田國務大臣 私カラモ一言加ヘテ置キマスガ、是ハ自家保險ト云フヤウナ意味デ、外ノ場合ニモ建物ナドニ付キマシテハヤツテ居リマスガ、サウ云フ場合ニハ營業的ニヤル保險トハ違ヒマシテ、共濟式ニヤル場合ニハ其ノ建物ニ對スル火災保險等ニ依ツテ利益ヲ舉ゲルト云フコトハ、餘程困難ナモノデアリマス、御承知ノ農林省デヤツテ居リマス家畜保險デアリマス、色々ナ保險ニ付テ考ヘマシテモ、互助的ノ共濟的ノ意味デアツテ居ルモノニ付キマシテハ、サウ餘裕ハナイ、況ヤ相當數ハ多イノデアリマスケレドモ、産業組合ノ持ツテ居ル倉庫トカ或ハ店舗等ニ付キマシテ、ソレダケノモノヲ目的トスルト云フコトハ相當困難ナカラウカ、隨テ之ヲヤルト云フ今日ノ目録見ノ方カラ考ヘマシテ、ヤハリ是ハ一般ニヤルニ互助ノ性質ト云フヨリハ一般ニヤルト云フヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ外ナイノデアリマセウカ、此ノ點材料ヲ十分集

メテ居マセウケレドモ、大體ハサウ云フヤウニ聽取ツテ居リマス

○松村委員 是ガ組合内部ダケノ自己保險デアリマスナラバ、宜シウゴザイマスガ、是ガ一般火災保險ニ乗出シテ參リマス、中々私ハ經營ハ困難デアリ、火災保險ハ危険ガ多イノデアリマスカラ、一般ニ手ヲ出サナクテハナラナイダラウト云フ大臣ノ話ヲ承リマス、火災保險ニ付テハ特ニ杞憂ヲ持ツ者デアリマス、ソコデ先ツ火災保險ニハ自己保險、生命保險ハ相互保險ニズツトナツテ參リマスレバ、是ハ問題ハ又別デアリマスケレドモ、今商工省ノ方ノ話ニモ相當ソコニ難色ガアルヤウデアリマス、サウシマスレバ出來ナイモノトシテ考ヘマスル場合、此ノ保險ハ畢竟今ドウ云フ所デアリナイナルカ分リマセウガ、其ノ株ヲ持タレタ産業組合デアルカ、共濟組合デアルカ知リマセウケレドモ、株ヲ持タレタ一般ノ普通保險ヲ經營スル、謂ハバ一ツノ營理事業ノ株ヲ持ツタ、投資ヲシタト云フニ過ギナイヤウニナルノチヤナイカ、サウシマスレバ保險ヲヤルト云フコトモ、近頃儲カルカラ戰時工業ヤルト云フコトモ、船會社ノ株ヲ買ツテヤルト云フコトモ、營理事業ニ投資スルト云フコトニナルダケダストルト同ジコトニナツテシマフ、極端ナコトヲ申サウデアリマスガ、理論的ニ言ヘバ左様デアリマス、サウ云フ考ヘ方ヲ致シテ見マシテ、是ハ果シテ利益ノ利益ガ舉ルカト云フコトモ當然考ヘナクテハナラヌコトデアリマスガ、私ハサウ云フ計數ハ極メテ不得手ノ方デアリマス、此ノ三ツノ保險會社ヲ七百萬圓デアラハレタ、ソレガ高イトカ安イトカ云フヤウナ議論ヲ私ハスルノチヤ

アリマセウ、斯ウ云フコトハ私等ハ分リマセウ、ソレナラズ高イトカ云フヤウナ穿鑿ヲ致シマス、是ハ問題ガ構造ニ外レマスカラ、私ハソレニハ觸レタハアリマセウ、アリマセウガ、此ノ投資ヲシテドレダケノ利益ヲ産業組合ナリ、ソレヲ持ツテ居ルモノガ收メ得ルカト言ヒマス、私ノ計算ニ依リマス、大體此ノ火災保險ハ長ク無配當デアリマス、又政府ヘ納ムベキ負債モ相當ニアリマシテ、是ガ收得ヲ見ルト云フコトハ當分豫期ハ出來ナイ、ソコデ現實ニ收得アリマスハ、大正生命ガ五千萬圓ノ拂込ニ對シテ配當率四分デアリマス、日本教育生命ガ七千五百萬圓ニ對シテ配當率五分デアリマス、是ダケヲ合セマスト見ニ角入り得ルモノハ二萬三千七百五十萬圓、七百萬圓ノ利息ニ對シテ二萬三千七百五十萬圓ノ過ギヌノデアリマス、サウシレバ是ハ投資トシマスト非常ニ惡イ投資チヤナイデセウカト云フコトヲ心配スル者デアリマス、組合ガ保險ヲ經營セラルレバ此ノ成績ハズツト舉ツテハ參リマセウ、參リマセウガ假ニ此ノ三倍ノ利益ガアリマシタシテモ僅カ十萬圓ニシカナリマセウ、七百萬圓ノ公債ヲ買ツテモ二十五萬圓ノ金ガ入ル管デアリマスガ、此ノ經營ヲドレダケ良クサレテモ、此ノ三倍ニナツテモ十萬圓ニ足ラヌ收入シカナイト云フコトニナルト、ドウモ七百萬圓ヲ投ジテ受タル報酬ハ非常ニ少イモノノヤウニ思フ、其ノ點私ハ非常ニ心配ヲ致スノデアリマス、火災保險ガ之ヲ補フナレバ別デアリマスガ、是ハ産業組合ガヤリマシテモ當分利益ヲ舉ゲ得ナイコトハ、只今大臣ノ言ハレタ通りデアリマシテ、生命保險デ是ダケシカ取レナイト

云フコトニナルト、何ノ爲ニ投資ヲスルノカ分ラナイ、隨テ是ガ産業組合ト、保險事業ト云フモノデ、特殊ノ目安ガアツテ綜合保險ノヤウナ形ニ依ツテ組合ダケヤラウ、共濟制度モ直接其ノ中ヘ押込メルト云フコトデアリタイケナイノデアリマシテ、其ノ見込ガナイナラバ、此ノ投資ハ産業組合ニ大キナ不利益ヲ與ヘルモノデアリマセウカト云フコトヲ心配スル次第デアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ何カ組合側カラ確信ノアル話ガゴザイマシタデセウカ、事業資金ヲ積立テルト云フヤウナコトノ不確實デアリマスコトハ、只今商工省ノ方ガ御話デアリマスガ、經營ヲ良クヤツテ行ケバ斯ウ云フ風ニ利益ガ出ルト云フヤウナコトガアルノデアリマセウカ、承リタイト思ヒマス

ウデアリマセウケレドモ、其ノ残りハ大正生命ノ方ガ何處カノ方ヘ入ツテ居リマス、畢竟全部買ツタコトニナルト思ヒマスガ、火災保險ノ方ハ全部買ツタノデアリマスカドウデアリマスガ、其ノ點ヲ御調ガアレバ承リタイト思ヒマス

○島田國務大臣 大體三社ヲ全部買フト云フ計畫ニナツテ居ルヤウデアリマス

○松村委員 其ノ點ガシツカリ分リマセウガ、兩方ノ契約ニ依リマス、表面ニ現ハレタ新日本火災ノ株數ハ約五萬五千株見當ノヤウデアリマス、サウ致シマスレバ四萬五千株ト云フモノハ是ハ或ハ他ノ生命保險會社ガ持ツテ居ルノカモ知レマセウ、ソレハ此ノ買收ノ外ニアルヤウニ見エマスガ、是ハ生命保險ノ方ヘモ入ツテ居ルノカドウカ、其ノ邊ノコトハ商工省ノ方デ御分リデアリマセウカ、農林省ノ方デ御分リデアレバ尙ホ結構デアリマス

○島田國務大臣 今申上ゲマシタヤウニ大體三社ヲ全部併セテ買收スレバ、三社ノ株ガ全部買收ニナル、斯ウ云フ關係ニナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、尙ホ兩方ノ間ノ關係ノ錯綜シテ居ル事情等ニ付キマシテハ、モット材料ヲ正確ニシマシテ必要ガアレバ御答致シマス

○松村委員 是ガ全部デアリマスナラバ彼此レ申シマセウガ、一部デアリマスト産業組合ガ苦心經營シテ、ソレガ他ノ全ク關係ノナイ株主ガ、手ヲ懐ロシテ之ニ對スル

○松村委員 是ガ全部デアリマスナラバ彼此レ申シマセウガ、一部デアリマスト産業組合ガ苦心經營シテ、ソレガ他ノ全ク關係ノナイ株主ガ、手ヲ懐ロシテ之ニ對スル

○松村委員 是ガ全部デアリマスナラバ彼此レ申シマセウガ、一部デアリマスト産業組合ガ苦心經營シテ、ソレガ他ノ全ク關係ノナイ株主ガ、手ヲ懐ロシテ之ニ對スル

○松村委員 是ガ全部デアリマスナラバ彼此レ申シマセウガ、一部デアリマスト産業組合ガ苦心經營シテ、ソレガ他ノ全ク關係ノナイ株主ガ、手ヲ懐ロシテ之ニ對スル

利益ヲ得ル、斯ウ云フコトニモナリマス、私モ是ハ全部デアラウトハ思ヒマスケレドモ、其ノ點ヲ一寸申上テ置キマス、尙ホ色々承リタイコトハアリマスケレドモ、既ニ大臣ガ只今尙ホ手續中、調査中デアアルカト云フコトデアリマスカラ、是ハ私カラハ御尋致シマセウガ、唯茲ニ承ツテ置キタイト思ヒマスコトハ、此ノ契約ガ私ノ承ル所ニ依リマスルト、形ハ全然個人ノ買賣契約デアリマス、サウシテソレノ立會人ニハ産業組合ノ代表ノ方、又賣ルル方ノ代表ノ方ガ立會人ニナツテ居ラレマス、ケレドモ形ハ全然個人ノ買賣ノ形ニナツテ居リマス、ソコデ是カラ其ノ契約ヲ履行スル爲ニ支拂ツタ金額ハ、今日マデ二百萬圓ニナツテ居リマスガ、其ノ出所モ新聞ノ傳フル所ニ依リマス、地方ノ信聯カラ百六十萬圓デアリマス、産業組合中央會カラ四十萬圓ト云フ數ガ出テ居リマス、是ハ資金ノ放出ニ付キマシテハ組合ニ規定ガゴザイマス、中央會ニモ規定ガアルト思ヒマスガ、併シ斯ウ云フコトハ隨カ出來ナイ筈ダ、個人ニ斯ウ云フ金ヲ出ス途ハナイデアアル、斯ウ云フ風ニ私ハ心得テ居リマス、勿論ソレハ個人ノ契約デアリマシテモ、畢竟組合ノ關係ニナルデアアルカラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ意味カラ申シマセウ、私ハ動機ハ必ズシモ惡イトハ申シマセウ、ヤラルル方ハ非常ナ善イコトヲスルノダ、斯ウ云フ氣持デヤツテ居ルルコトト思ヒマシテ、動機ハ惡イトハ思ヒマセウガ、手續ノ上ニ於テ是ハドウ云フコトデ個人ニ貸出スコトガ出來タカ、其ノ點ハ農林省ト致シマシテドウ云フ風ニ御考デアリマスガ、私ハ茲ニ産業組合ノ基本財産ノ管理ノ規則、ソレカラ

信聯ノサウ云フ規則ヲ參考ニ集メテ見マシタガ、ドウモサウ云フコトガ出來ルヤウニ解釋ハ出來マセウ、此ノ點ハ御調査ニナラヌデモ出來ルトカ出來ヌトカ云フコトハ、此處デ御答ニナルコトガ出來ルト思ヒマスガ、是ハ如何デアリマセウ、一寸承リタイト思ヒマス

法ヲ守ツテ行クト云フ觀念ヲ組合精神ノ根柢ニ植付ケテ行カカツタナラバ、此ノ事業ト云フモノハ中々ウマク行カナイト思フノデアリマス、然ルニ全國ノ組合ヲ統率シ、是等ノ組合ニ範ヲ示サナケレバナラス中央會、信聯カラ、若シモ農林省ノアル法ノ上ニ於テ——法ト云フモノ國家ノ法律ト云フ狹義ノモノデアリマセウ所謂自己ノ定款ニ定ムル所、農林省ノ指示スル所、皆ソレ等ノモノニ間違ヒナイヤウニシテ進んで行クト云フコトガ、是ガ私ハ産業組合ノ動力方針デアアルト思フデアリマス、假ニ事ガ幾ラ良クテモ、動機ガ良イカラサウ云フコトハメチヤウツテモ宜シイノダト云フ考ヘ方ハ、是非非常ナ間違ヒデアリマシテ、手許デ一寸違ヘバ、ソレハ最終ニハ千里ノ差ガ出テ來ル譯デアリマス、私ハ此ノ意味ニ於キマシテ、此ノ點ニ遺憾ノナイヤウニ大臣ガ措置ヲ執ツテ置キマセウトイケナイ、保險事業ノ善シ惡シト云フコトヨリモ、寧ロ其ノ根本ノ精神ガ何ヨリ大キナ問題デアラウト思ヒマシテ、私ノ之ニ特ニ關心ヲ持チマスルノモ此ノ點ニ他ナラナイ譯デアリマス、其ノ點カラ申シテ、私ハ是マデノ間違ツタコトハ致シ方ナイガ此ノ間違ツタコトヲ出來ルルダ正シク直シテ置キタイ、併シナガラ是マデモ二百萬圓ヲ出シタ、今度ハ更ニ又五百萬圓ノ資金ヲ契約ヲ履行スルノニハ出サナクテハナリマセウ、此ノ五百万圓ノ資金ヲ、今日産業組合ノ代表者ノ方々ノ御話ヲ承リマス、今月中ヲ經ルト契約ガ無効ニナルカラ、是ガ非デモ是ハヤルノダ、斯ウ云フコトデアリマスガ、産業組合ノ精神ノ上カラ言ツテモ、斯ウ云フ過テ又此ノ殘リノ金額ニ於テモオヤリニ

ナツテハ、是ハ本當ニ遺憾ノコトダト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ點ニ付テダケハ大臣カラ茲デ明ニ御方針ヲ仰シヤツテ戴キマシテ、サウ云フ間違ツタコトハヤラセナイノダト云フコトヲ仰シタルコトガ、必要デアラウト思フデアリマス、尙又既ニ波シタモノモ、代表者ノ御話ニ依ルト、是ハ破ルト實損ノ問題ダカラ、ヤラナケレバソレガ間違ツテ居タコト云フコトガ明カデアリマスナラバ、實損ガアルカラト云フノデ惡イコトヲ無理ニヤツテ行ツテ、後デ非常ナ困難ヲ來シマスヨリモ、茲デサウ云フ契約ヲシマシテモ、是ハ何トカ話合ヲ付ケテ、正シイ方法ハ直スコトガ出來ルノデアリナイカ、一方ノ賣渡シタ方モ相當ニ身分ノアル方デアリマスカラ、是ハ國家ノ爲ニ良クナイコトト役所デ決定シタカラト言ヒマスナラバ、其ノ間ノ契約ノ事ハ何トデモオ五ニ諒解ガ出來ルモノダト云フ風ニ私ハ考ヘルデアリマス、私ハ繰返シテ申上テマスガ、ドウカ法ヲ守ツテ置キタイ、法ヲ尊重シテ置キタイ、是ハ決シテ産業組合バカリノ問題デアリマセウケレドモ、組合トシテモ斯ウ云フコトヲヤラレタ其ノ精神ニ於テ動機ガ良イナラバ法ハ少シ位何デモ構ハヌデヤナイカト云フヤウナ感じガアルノデアリナイカ、代表者ガ昨日新聞ニ言ハレタコトナドヲ見マシテモ、譬ヘテ申シテ見マス、丁度議會中デアツタカラ時期ガ惡クツタ共濟組合ヲ財團トシテヤルト厚生省ノ監督ヲ受ケルカラ、ソレデ法制ニ依ラザル制度ニスルノダ、或ハ共濟組合若クハ相互保險ト云フモノハ、政府モ議會中々ヤツテ吳レナイカラ、斯ウ云フ方便ヲ執ルノダト云

フヤウナ所謂方便主義、成ベク眞直クニ通ラナイデ、事サヘ出來レバ宜イト云フヤウナ考ヘ方ガアルノデアリナイカ、是ガアツタラ大變ダト私ハ考ヘマス、私ハ此ノ點ニ付キマシテ大臣カラ明確ナ御方針ヲ承リタイト存ジマス、殊ニ今月中ニ始末ヲ付ケネバナラスノデアリマスガ、過チヲ再ビ繰返サナイト云フコトヲ明ニシテ戴キタイト存ジマス

金ノ運用ニ付テモ重大ナル責任ヲ御持チニナツテ居ルコトデアリマス、ドウカ此ノ問題ヲ正シク解決シテ置キマスヤウニ、先刻來農林大臣ニモ御願ヲ申シテ居ルノデアリマスガ、農工大臣ニ於カレテモ是ノ趣意ヲ能ク御検討下サイマシテ、適當ノ御處置ヲ御願致シタイト存ジマス、私ハ此ノ以外ニモ御願致シタイコトガアリマスケレドモ、以上申上テマシタ所ガ大體御分リ下サツ所、考ヘテ居リマス所ガ大體御分リ下サツタコトト思ヒマスカラ、此ノ程度デ止メテ置キマスガ、實ハ斯ウ云フ問題ヲ取上ゲルコトハ私ハ甚ダ不愉快ニ感ジマス、私ノ先輩、私ノ同志ノ人達ガヤツタコトニ對シテ、斯ウ云フコトヲ言フコトハ私ハ非常ニ苦痛ニ思ヒマスケレドモ、産業組合ヲ守ルノニハ嫌ヤナコトモ言ハナクテハナラスト思ヒマシテ、此ノ質問ヲ致シマシマス、私ハ政府ノ善處ヲ深く御願致シマス

ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 大體先程申上テマシタヤウニ滿洲ニ參リマス飼料生産隊ハ一回二千六百名位ニナツテ居リマス、合セマシテ四千五百人ト申シマシタノハ、其ノ他ニ醫者トカ、之ニ關聯シタ種々ナ業者ガ附イテ參リマスノデ、合計致シマストサウナリマスガ、生産隊ト致シマシテハ一回千六百名ヲ全國ノ農村カラ連レテ行クヤウナコトニナツテ居リマス、平均約六七箇村ニ一名位ノ割合デアリマス、大體滿洲ニ於テハ八ツ位特設農場ト云フモノヲ設ケマシテ、ソコデ生産ニ當ル次第デアリマス、勿論之ニ對シマシテハ滿洲國ノ方デモ大イニ援助シテ呉レテ居ルノデアリマシテ、人力ダケデナク、色々機械力等モ合セマシテ生産ヲ圖ルコトニ計畫ヲ致シテ居リマス、生産飼料ハ先程申上テマシタヤウニ大體七千五百名位デゴザイマス、之ヲ内地ニ配給致シマスニ付キマシテハ、必ズシモ勤勞奉仕ヲ致シマシタ所ニダケ持ツテ行クト云フヤウナ計畫デハゴザイマセウ

ト云フヨリモ、滿洲ニ行ツテ訓練スル、日滿關係ノ連絡ヲ人的ニ密接ニスルト云フ意味ガ主體ニナツテ居ルノデ、飼料ノ不足ヲ補フト云フアラバ苦力ヲ使ツタ方ガ適ニ效果デアリ、費用モ掛ラヌト思フノデアリ、其ノ點ハ御考ヘドウナツテ居ルノデアリ

○周東政府委員 御話ノヤウニ一面ニ於キマシテハ勿論學生等ヲ大陸ニ送りマシテ、精神的ナ訓練ヲシテ大陸ニ對スル各種ノ觀念ヲ植付ケルト云フヤウナ事柄ガ、一ツノ目的ニナツテ居リマス、併セテ現在ノ不足飼料ヲ補フ意味ニ於キマシテ、之ヲ内地ノ方ニ供給セシムル爲ニ勞働奉仕ヲセシムル、斯ウ云フヤウニ並行的ニナツテ居ル譯デアリマス

○田村委員 苦力ヲ使ツテヤレバ兎モ角、是デ相當ノ飼料ガ入ルトハ思ハス、苦力ヲ使フトカ、滿洲カラコチラニ飼料ヲ取入レルニ付テノ御考ガ、此ノ際ニ何カアリマシタカドウカ

○岸政府委員 其ノ點カラ御答申上テマス、我國ノ飼料ノ中デ滿洲カラ期待致シテ居リマスモノハ日滿間ノ物動デ、此ノ數量ガモウ決マツテ居リマス、其ノ外ニ色々各種ノ雜穀ニ付テモ成ベク入ルヤウニ骨ヲ折ツテ居ル次第デアリマス、其ノ雜穀ノ數量等ニ付テハ一寸申上ゲルコトヲ差控ヘタイト思ヒマスガ、相當量入ツテ居リマス、其ノ外ニ大豆トカ大豆粕ガ主トシテ入りマスカラ、サウ云フヤウナ方法ヲ以チマシテ、飼料ノ關係ニ於テハ、昨年ハ殆ド外國カラ入ツテ來ル飼料ノ中ノ七割五分位ハ、滿洲カラ來テ居リマス

○田村委員 此ノ點ハ水掛論ニナツテ來マスカラ是デ止メテ置キマスガ、滿洲カラ飼

○島田國務大臣 只今松村君ヨリ續、御述ベニナリマシタ御熱心ナル御意見ニ付キマテハ、能ク其ノ御趣意ヲ了解致シマシタ、私トシマシテモ慎重ニ、且ツ其ノ機ヲ誤ラナイヤウニ處置スル考デアリマス、是ダケヲ申上テ置キマス

○松村委員 農工大臣モ出デニナリマシタカラ、私ハ先程來ノコトヲ繰返シテ御尋ヲ致シタク存ジマスガ、併シナガラ事務ノ方カラ既ニ大臣ガ出デニナル前ニ承ツタコトデアリマスガ、諄イコトハ申上テマセウガ、産組ノ問題デアリマス、私共ハ産組ガ正シイ方法デ相互保險ヲヤルトカ、若クハ共濟組合ヲ作ルトカ云フコトニハ、殊ニ共濟組合ニ付テハ政府トシテモ相當ニ御考ヘニナツテ然ルベキダト考ヘマス、ソレヲ此ノ保險ニ依ツテ、現在ノサウ云フ目的デアリナイ純然タル營利保險ノ會社ヲ使ツテ、サウシテ曲リナリニサウ云フ目的ヲ達シヨウトスル所ニ、無理ガアルノデアリナイコト思フノデアリマス、隨ヒマシテ農工大臣ニ於テ茲ニ御答辯ガアレバ承リマスガ、サウデナイナラバ答辯ハ求メマセウ、併シ農林、商工、大藏ト云フ三ツノ官廳ニ關係ガアルコトデアリ、大藏省ノ如キハ、先刻御聽キ下サツタコトト思ヒマスガ、資

田村委員 此ノ點ハ私ハ簡單ニ先程保留シテ置キマシタ點ヲ一二御伺致シマス、ソレハ先程滿洲ノ建設勤勞奉仕隊ノコトデゴザイマス、政府委員ノ方カラ承リマシタガ、來年度ハ四千五百人、其ノ次ニハ七千人ニナル豫定ノヤウニ承リマスガ、取敢ズ四千五百人ヤルノカ、或ハ人ガ進モ出來サウニナイノデ四千五百人ナノカ、ソレカラ學生ヲ充テルト云フ御話デスガ、學生バカリヲ充テラレルトデアリマスガ、更ニ充テタナラバ其ノ充テタ所ニ對シテ協力勤勞奉仕ニ報イタル爲ニ、飼料ノ配給ヲヤルト云フコトニナツテ居リマスガ、隨テ奉仕隊員ヲ募集スルニ當ツテハドウ云フ基準、ドウ云フ目標デヤルカラ重テ政府委員ノ方カラ御説明願

○田村委員 ドウ云フ學生デスカ

○周東政府委員 是ハ夏休ニ於キマシテノ青年學校ノ生徒トカ、或ハ農學校ノ生徒トカ言フヤウナモノガ加ハツテ居リマス

○田村委員 サウシマストト云フ計畫スル際ニ、學生ヲヤルト云フノハ、飼料ヲ得ル

○田村委員 此ノ點ハ水掛論ニナツテ來マスカラ是デ止メテ置キマスガ、滿洲カラ飼

料ヲ入レル、滿洲ニ於ケル飼料ノ増産方法ト云フモノニ對シテハ、勤勞奉仕隊ト云フヤウナモノニ期待スルコト云フノハ、吾々ハ承認出来ナイト思フ、ソレヨリモ寧ろ苦力ヲ使フナリシテ、急場ノ間ニ合ハセルヤウニシテ方々効果的デアリ、又値段モ安く取入レルコトガ出来ルト思フ、此ノ際一言此ノ問題ニ付テ私共ノ希望ヲ申上ゲテ置キタイノハ、先程ノ學生等ノ御話デスガ、青年學校ノ生徒ハ農村ニ於ケルヤハリ基本勞力ヲ成シテ居ルモノデアル、之ヲ三箇月ナリ、五箇月ナリ、夏休ト云フモノヲ目標ニサレテ居ルノデスガ、青年學校ノ生徒ヲ使フト云フコトハ、今日ノ非常時局下ニ於テハ餘程慎重ナル態度ヲ以テ扱ハナケレバナラズ、滿洲問題、支那問題ト云フモノガ色々國策關係カラ出テ來マスガ、農村ノ國家構成ノ基調トシテ居ル我國ニ於テ、其ノ農村ヲ取扱フテ居ラレル所ノ農林省トシテハ、斯ウ云フ問題ニ對シテ、餘程慎重ナル態度ヲ今後執ツテ居ラレト、農村ガ今困ツテ居ルノダカラ、此ノ農村ノ一人ノ努力ト雖モ荷モセザルヤウニ、特ニ私ハ御忠告ト申シマスガ、希望ヲ致シテ置キマス、ソレカラアト一二點デスガ、簡單ナコトヲ伺ヒタイノハ、ヤハリ農産物ノ増産ニ關聯シテデスガ、農産物ノ成育ノ主タル要素ハ太陽ノ光線デアル、此ノ光線ヲ如何ニ採入レルカ、日蔭デハ物ガ育タナイ、米ノミデナクシテ、大豆デモ何デモサウデスガ、日蔭デハ育タナイ、色々調ベテ見マス——調ベナクテモハツキリシテ居ル事實デスガ、昔カラ日本ニハ日蔭林伐採ト云フ慣習ガアリマシタコトハ當局モ御承知デアリマセウ、日蔭林ノ伐採ニ依ツテ——日本ニハ大體耕地ガ少イ、

此ノ耕地ノ生産能力ヲ十分ニ發揚スニ付テハ、太陽ノ光線ガ何處ニモ届キ得ル、サウシテ耕地ノ全部ニ十分ノ太陽ガ注イデ、農産物ノ成育ニ資セシムル、斯ウ云フコトガ耕地ノ少イ日本トシテハ餘程重視シナケレバナラズ、サウ云フ意味カラデアリマセウ、又人口ノ少カク、農産物ガソレ程今日ノヤウニ喧シクナカッタ、時代カラ日蔭林伐採ト云フ慣習ガアツタ、是ハ徳川時代ニ於キマシテモ各藩ガサウ云フ掟ヲ作ツテ、各藩ノ統制ノ下ニ屬行シテ居ツタヤウニ私共ハ承知致シテ居ルノデアリマスガ、ソレガ明治維新ニナツテ、私有財産制度ガ確立シテ、個人ノ所有權尊重ノ風潮ガ出來テ參リマス、何時ノ間ニカ此ノ各藩ノ掟ト云フモノガナクナツテシマツテ、日蔭林伐採ト云フコトガ何時ノ間ニカ段々ナクナツテ、現在ハ耕地ニ對スル日蔭林モ耕地ヲ持ツテ居ル人間ト其ノ耕地ノ側ニアル山ヲ持ツテ居ル人間ト、所有權ガ人ガ違フカラ、所有權尊重ト云フコトデ、耕地ニ蔭ガ出來ルト邪魔ヲ拂フコトガ出來ナクナツテ來テ居ル、ソレガ段々擴大シテ現在デハ日蔭林伐採ト云フ古イ良習慣ト云フモノガナクナツテシマツテ居ルト思フ、ソコデ耕地ノ少イ我國トシテハ、此ノ問題ハ何カ餘リ大キナ問題ニ見エマセウガ、集ツテ來ルト、日本全國カラ言ヘバ、農産物ノ生産ニ非常ナ影響ヲ與ヘルト私共ハ思フノデスガ、耕地ガアツテ、其ノ次ニハ草地ヲ拵ヘル、其ノ次ニハマア灌木ト申シマスガ、小サナ木ヲ植エテ日蔭ニナラヌヤウニスル、其ノ次ニ大キナ竹木ヲ植エサスト云フヤウナコトニシテ、少イ耕地ヲ最高度ニ利用スルト云フ方面カラ申シマシテ、日蔭林伐採制度ヲ考ヘ

テ見ル必要ガアリハシナイカ、此ノ良イ習慣ガナクナツテ居ル、此ノ點ニ對スル農林省トシテハ施設、將來ニ對スル御方針ガアレバ承ツテ置キタイト思ヒマス。

○田中政府委員 農業及林業、林業ニ關係ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスカラ、私カラ御答ヲ致シマス、御話ノ御趣旨ハ吾々ト致シマシテモ非常ニ同感デアリマス、例ヘバ經濟更生計畫ノ指導ガ御承知ノ通り爲サレテ居リマスガ、ヤハリ村ニ依リマシテハサウ云フヤウナ考ヘ方、殊ニ採草地ヲ潤澤ニスルト云フ色々意味カラ致シマシテ、農耕地ニ於ケル隣地ノ問題、或ハ御承知ノ通り新潟縣等ニハ相當額木ガアツテ、其ノ稻架木ノ枝葉ヲ伐ルト云フコトニ付キマシテモ、御話ノヤウナ點ガ考ヘラレテヤウテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテモ出來ルダケサウ云フ趣旨デ、農地林業經營ヲ指導シタイト云フ考デ居リマス、唯御話ノヤウニ所有權關係デ、殊ニ私有ノ林ニ於キマシテハ、何處マデ干涉出來ルカト云フ問題ガ大キナ問題トシテ殘サレテ居リマス、急ニハ參ラヌト思ヒマスガ、指導上ニ於キマシテハ、サウ云フヤウニ指導スルコトガ適切デアルト考ヘテ居リマス、農地調整法ノ何條デシタカ、農地ノ利用ニ付テハ障礙ガアル場合ニハ調整出來ルヤウナ規定ガ、農地調整法ニ新シク設ケラレタノデアリマスガ、ヤハリ其ノ趣旨モ此ノ規定ノ中ニハアルト考ヘ居ルノデアリマス。

○田中委員 私人ノ點ハ特ニ大臣ニモ御考慮ツテ置キマス、最後ニ一點、是ハ大臣ニ承リタイノデスガ、米、炭ニ付テ生産ノ問題ガアルト共ニ、配給ノ問題ガアル、

商工省ノ關係デアリマスガ、米ト炭トカ云フ國民ノ生活必需品、國民ノ主要消費物ニ對シテ、此ノ配給ノ回滑ヲ缺ケバ配給ガドウシテモナクナラヌト私ハ思フ、片一方ニ公定相場ト云フモノヲ拵ヘル、ソコデ先程松村君モ言ハレマシタガ、法ニ對スル尊重ガナクナルト云フコトハ、法律ヲ拵ヘ、ソレヲ運用スル途ニ無理ガアル、從來發達シタ制度、發達シテ來タ社會組織ニ無理ヲ生ズルト、法律ガ出來テモ法ヲ尊重スル能ハズ、遂ニ法ヲ無視スルノ間取引ガ行ハレテ來ルト思フノデアリマス、間取引ヲ取縮リ、生産ノ増加ヲヤルト共ニ、相俟ツテ此ノ配給機構ヲ如何ニシテ行クカ、間取引ノ取締ヲヤル一面ニ、配給機構ノ改善、實情ニ即應スルコトヲヤツテ行カナケレバイカスト思フ、中小商業者ト云フモノヲ歴史的ニ見レバ、相當ノ必要ガアツテ發達シテ來タモノデアル、之ヲ手數料主義ニ依ツテヤラレト云フコトニナルト、必要アツテ生ジタモノガ、真ニ隠レテ色々間ノ途ヲ辿ラナケレバナラヌヤウニナル、又社會ノ改良、國家機構ノ上ニ對スル改革革新ト云フモノガ必要デアリマスガ、革新ガ飛ビ過ギテ、國民生活、社會組織ト云フモノト離レテ來タ場合ニハ、社會ニ非常ナ混亂ヲ來ス、ソレガ昨年來ノ物資配給ノ上ニ一ツノ操作トシテ現ハレテ居ルノデ、如何ハシイ洵ニ遺憾千萬ノ現象デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ觀察致シマシテ、農林大臣ハ配給機構ノ改善ノ上ニドウ云フ御考ヲ持チ、ドウ云フ今後ノ方針ヲ御持チニナツテ居ルカラ、此ノ際承ツテ置キタイト思フノデアリマス。

○島田國務大臣 生産セラレタモノヲ一元

的ナ方法ニ依ツテ集荷シ、之ヲ更ニ一元的ニ成ベク流シテ行キ、需要者ニソレヲ配給シテ行クト云フコトガ理想的ナコトデアアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、サウ云フ根本ノ考ヘ方ヲ以テ、現在ノ生産ヨリ配給ヲ經テ需要者ニ行クマデノ徑路——各種ノモノニ付テ、就中米穀、肥料、飼料、木炭、左様ナ物ニ付キマシテ、生産カラ消費ニ至ルマデノ此ノ途行キヲ成ベク簡單ニシテ、且ツ速ニシタイト云フ考ヘ方ヲ以テ、各種ノ物ニ付キマシテ、ソレノ考究ヲ致シテ居リマス、其ノ中デ特ニ考慮ヲ要シ、又成案ヲ得タモノニ付キマシテハ、此ノ議會ノ協賛ヲ得ルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ以テ進ンデ居ルノデアリマス、其ノ間ニ於テ所謂法ヲ尊重スルノ精神、又其ノ意味カラシテ、法ノ運用ニ付テ其ノ責任ニ在ルモノガ無理ノナイヤウニスル、民ヲシテ悅服セシムル、法ヲ恐レシメルヤウナ結果ニ陥ラナイヤウニスルコトガ最モ肝要ナリト考ヘテ居リマス、只今田村君ノ御述ベニナリマシタ御趣旨ニ付キマシテハ、全然同感デアル、又其ノ趣旨ニ依ツテ配給機構ノ問題ニモ解決ニ當リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。

○田村委員 終リマシタ

○石坂委員 川島君

○川島委員 只今大臣ヨリ配給機構ヲ簡易化スル御方針ノ御話ガアツタノデアリマスガ、此ノ場合承リタイノハ最近農林省デハ生鮮食品ノ配給統制ヲ御計畫ナサツテ、殊ニ差當ツテ蔬菜果實ヲ取上ゲテ、何等カノ方法ニ依ツテ統制スルト云フ御話デアリマスガ、ドウ云フ御計畫デアリマスガ、此ノ問題ハ恐ラク差當ツテ蔬菜果實ニ

配給統制ヲ爲シ、引續イテハ魚介類ニモ同様ナ方法ヲ御執リニナル御計畫ト、斯様ニ私ハ御察シスルノデスガ、水産局長カラ此ノ點ニ對スル御説明ヲ承リタイト思ヒマス。

○粟屋政府委員 御説明ノ通り現下生鮮食品ガ相當騰貴シテ居リマシテ、之ニ對シテ何トカ政府部内ニ於テモ成案ヲ得テ、之ニ即スルヤウナ方針ヲ講ジタイト云フノデ目下考究中デゴザイマス。

○川島委員 考究中ノ御計畫ノ内容ハドウ云フノデアリマスガ、相當新聞ニモ傳ハツテ居ルノデアリマスガ、此ノ際ハツキリ承リタイノデアリマス。

○粟屋政府委員 考究中デアリマシテ、未ダ決定ニ至リマセヌノデ、之ヲ公表スルコトハドウカト存ジマス、大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、出來ルダケ都市ノ如キ人口ノ稠密シテ居ル所ニ十分ニ魚介類ヲ集荷致シマシテ、其ノ物ノ足ラザルガ爲ニ騰貴ヲ生ズルガ如キコトノナイヤウニ、出來ルダケノ施設方針ヲ講ジタイ、斯ウ云フ考ヘ方ノ下ニ案ヲ練ツテ居ル次第デアリマス。

○川島委員 サウシマシタ統制ノ目的ハ價格ニ關係シテ居ル譯デスカ、現在生鮮食品ガ九・一八ノ「ストップ」令ニ除外サレテ居ルカラ、之ヲ何トカシテ生鮮食品モ低物價政策ヲ實行シナケレバナラズ、ソレニハ配給統制ヲシマシテ物ノ需給ヲ平均化スルト云フコトガ必要ダト云フコトカラ御出發ナサツテ居ルノデスカ。

○粟屋政府委員 問題ノ粗ヒ所ハヤハリ騰貴セル今日ノ生鮮食品ヲ出來ルダケ安クデアリマスガ、此ノ事ニ付テハ唯農林省ノミデ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデ

配給ガ完備シテ居ナイガ爲ニ、非常ナ不足ヲ來ス、物ガアツテモ配給ニ缺陷ガアル爲ニ間取引ガ行ハレ、農林大臣ハ木炭ナドモ増産計畫ヲセラレト云フコトデアリマスガ、果シテ農村ノ努力デ旨ク行クカドウカト云フコトハ、相當困難ナ問題ガアルト思ヒマス、相當増産シタコトヲ御説明ニナツテ居ラレルガ、其ノ増産ヲシタモノノ配給ヲ如何ニスルカ、配給機構ガ旨ク行カナケレバ、物ガ出來テモ消費者ノ手ニ渡ラヌ、波ルニ付テモ値段ガ旨ク行カナク、ソコニ間取引ガ横行スル、間取引ハ現在取締ノ方向ニ進ンデ居リマスガ、私共ハ昨年末ノ物資配給ノ回滑ヲ缺イタ際ニ間取引ガ行ハレタ、國家ノ取締機構ノ上カラ言ツテ、洵ニ不愉快ナコトデアリマスガ、併シ實際ハ間取引ガ行ハレタカラ物ガ不足セズニ、兎モ角モ國民ガ冬寒イ時ニ炭ヲ手ニ入レルコトガ出來タ、今日デモ警察官ガ喧シク言ヒナガラ、實ハ自分ノ所デ使フモノハ間取引デナケレバナラヌト云フ例ガマダ殘ツテ居リマス、公定價格ヲ拵ヘテモ間取引ガ行ハレルト云フコトハ、配給機構ノ上ニ缺陷ガアル、間取引ヲ取締ル上ニ付キマシテハ、間取引ノ起ツテ來ル所以ヲ能ク洞察シテ、ソレニ對應スルヤウナ配給方法ヲ考ヘナケレバ、取締法ヲ嚴罰ヲキツクテ所デ進モ行カス、農林大臣ハ能クサウ云フコトハ御體験デモアリマセウガ、十人ノ中ニ三人以上法ヲ犯ス者ガ出來タラ、其ノ法律ハ死文ニ化スル、間取引ガドウノ行ハレタラ、結局其ノ價格ヲ法律ニ依ツテ引上ゲルヨリ外ナイ、ソレハ昨年ノ米價引上ニ依ツテ明カニ現ハレテ居ルト思フ、全面的ノ配給機構ノ問題ハ

斯ウ云フ考ノ方ニ進ンデ居リマス
 ○川島委員 サウシマスト受ケル方ノ消費地トハ中央市場ヲ目標ニシテ、之ニ出サレルコトニナルノデスカ
 ○農産政府委員 私共ノ大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、消費地ニ於テハ中央市場ガアリマシテ、ソコニ圓滑ニ品物ガ集マルヤウニ生産業者モ協力シテ行ク、斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ居リマス

○川島委員 現在ノ中央市場ノ機構ト云フモノヲ是デ十分ダト、御考ニナツテ居ルノデスカ
 ○農産政府委員 是モヤハリ研究中ノ問題デアリマスガ、商工省側等トモ寄リマシテ、低物價ニ導ク爲ニ現在ノ中央卸賣市場ノヤリ方デハ十分デアルト云フ點ニ付テハ種々研究ヲシテ居リマシテ、是ノ改革等ニ付テモ練ツテ居ルヤウナ次第デアリマス
 ○川島委員 現在中央市場ノ機構ノ上デ大體ドウ云フ點ニ缺點ガアルノデスカ、此ノ改革ヲ御考ニナツテ居リマスガ

○農産政府委員 是ハ商工省所管ニ互リマシテ、私共ガソレヲ答ヘマスコトハ或ハ適當ナイカト存ジマスカラ、強ヒテ特ニ言及ヲシナイコトガ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス
 ○川島委員 現在ノ中央市場ノ機構ニ缺點ガアルト云フノデ、生鮮食料品配給統制法案ト云フモノノ綱領ガ出來テ此ノ點ニ付テハ數次農林省ノ方ト商工省ト交渉サレタ、所ガ雙方ノ意見ガ一致シナイ爲ニ停頓シテ、此ノ議會ニハ提案セラレナイ筈サウデアリマス、相當此ノ點ニ付テモ農林省ハ御考ガアル筈デス、例ヘバ現在ノ中央市場ノ制度ニ付テドウ云フヤウニ御考ニナツテ居

リマスガ
 ○農産政府委員 サウ云フ法案ガ立案サレツツアルコトハ聞イテ居リマスガ、又是ガ農林省ト深キ關係ノアルコトモ申スマデモナイノデアリマスガ、唯農林省ノ反對アルガ爲ニ是ガ成立シナイト云フコトニ付キマシテハ、私此ノ際言明ノ限デハナイト思ツテ居リマス、又之ニ對シテ農林省ノ意見ヲ申上ゲルト云フコトモ、此ノ機會ハ適當ナ機會ノヤウニモ思ハレマセヌノデ、此ノ點ニ付テハ速處サシテ戴キタイト思ヒマス
 ○川島委員 現在ノ中央市場ト云フモノハ自治團體ニ經營サシテ居ルノデスカ、自治團體デスト大體消費者ノ代表ト云フコトニナル、食料品ノ生産ヨリ消費ニ至ル中概ノ經濟機關トシテ、消費者ノ代表者ニ經營サセルコトガ適當デアルクドウカ、ヤハリ生産者ガ之ニ參畫シテ行クコトガ適當デアリナカ、斯ウ云フヤウニ私共ハ理論的ニ考ヘルノデスカ、斯ウ云フコトニナルトモ商工省ヨリモ、農林省ノ考ガ必要ニナツテ來ルコト云フ譯デアリマス、之ニ對シテ農林省當局ハ考ガナイトカ、計畫中デアルト云フコトデハ濟マサレナイト思ヒマス、サウ云フ意味デ御聽キシテ居ルノデアリマスカラ、此ノ意味ヲ含ンデ御答辯願ヒタイノデアリマス
 ○農産政府委員 中央卸賣市場ハ六大都市ニ於ケル配給ノ中心デアリマス、其ノ市場ハ一面ニ於キマシテハ消費者ノ爲ニ必要ナ機關デアリマスガ、同時ニハ生産者ノ生産致シマシタ物ヲ其處ニ送り届ケマシテ、サウシテ消費者ノ消費ニ充テルノデアリマシテ、此ノ機關ハ生産者ニ取リマシテモ、非常ナ關心ヲ持ツベキ機關デアリマス、隨ヒマシテ商工省當局ニ於テ之ヲ主管サレル

コトモ必要デアリマス、同時ニ是亦農林省トシテモ重要ナ關心ヲ持タナケレバナラヌモノデアル、サウ云フヤウニ中央市場ニ付テハ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス
 ○川島委員 サウ云フ御考ノ見地カラ中央市場ノ改正案ガ當然生レテ來ル筈デアリマスガ、ソレニ付テ何カ御考ガアリマセヌカ
 ○農産政府委員 之ニ付キマシテハ相當考ヲ持ツテ居リマス、持ツテ居リマスガ、今其ノ仰セラレマシタ法律等ニ付テハ農林省側ノ意見ハ、斯ウダト云フ風ニ、茲ニ御話ヲ申上ゲルコトハ、却テ如何カト存ジマシテ、先程申上ゲマシタ通り御答辯ハ致シ兼ねマス
 ○川島委員 先程モ一寸申上ゲマシタガ、現在有ニル物價ガ九月十八日マデ「ストツブ」ニナツテ居ルニ拘ラズ、生鮮食料品ダケハ野放シニナツテ居ル、而シテ此ノ價格ノ決定方法ハドウカト云フト、六大都市ニ於テハ中央市場ヲ依ツテ決定サレテ居ル、練ツテ居ル上ゲテ來テ最高價落スアリマス、段々練リ上ゲテ來テ最高價落スト云フコトガ根本精神デアル、結局是ハ低物價政策ニ反シタヤリ方デアル、之ニ對シテハ早急ニ何トカ農林省ハ御考ニナラナケレバナラヌ筈デアルク、之ニ對シテハドウ御考ヘニナリマスガ、御同致シマス
 ○農産政府委員 今練ノ御話デアリマスガ、練ニ付キマシテ是ハ低物價政策ト相對照シマシテ、洵ニ不適當ナヤリ方デアルト云フコトハ吾々モ考ヘテ居リマス、ソレニ付テ市場ノ改善案ト致シマシテ、商工省側トモ色々話合ヲ致シテ居リマシテ、之ニ付テハ場合ニ依レバ最高ノ價格ヲ決メテ、サウシテ其ノ範圍内デ練ヲヤルトカ、色々ナ方策

ニ付テ案ヲ練ツテ居ル譯デアリマス
 ○川島委員 其ノ方策ヲ御練リニナルト云ヒマスガ、長イ間商工省ト農林省デハ此ノ問題デ議論ガ盡サレテ居ルト思ヒマスガ、何時ソレノ成案ヲ得ラレマスカ、又ドウ云フ形式デ實行サレルカ、或ハ法律ノ形式デスカ、ソレトモ省令ノ形式デスカ、ドウデアリマスガ
 ○農産政府委員 是ハ獨リ農林省ノ商工省ノミナラズ企業院モ入ルコトニナツテ居リマス、其ノ他厚生省或ハ内務省ガ寄ツテ總テ案ヲ練ツテ居ルノデアリマシテ、農林省ノミニ依ツテ之ヲ決定シテ、何時決定スルカト云フコトハ申上ゲラレナイノデアリマス、事實案ヲ練ツテ居リマス、中心ハ企業院デアリマシテ、企業院ニ於テ各方面ノ案ヲ持チ寄リマシテ、サウシテ先程申上ゲマシタ問題ヲ中心トシテ研究シテ居ル譯デアリマシテ、是ハ何時ドウ云フ形デ出ス考カト云フコトハ、他省ニモ關係アル譯デアリマシテ、此ノ場合申上ゲ兼ネルノデアリマス
 ○川島委員 サウスレバ農林省ノ御考ハ現在ノ欄ノ方法ヲ不適當ト認メル、何トカ改正スル、斯ウ云フ考デアリニナルノデアリマスガ
 ○農産政府委員 若シ其ノコトニ付テ決定ヲ致シマスナラバヤハリ商工省ノ事務トシテ市場機構ノ改正案ヲ提案サナケレバナリマセヌ、コウチガドウ云フ意見デアドウスルト云フコトヲ申上ゲルコトハ如何カト思ツテ居リマス、要スルニ生鮮食料品ガ高クテ困ルト云フ聲デアリマスカラ、之ニ必要ナ改正ハ各方面カラ致サナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス

○川島委員 農林省デハ全魚聯ヲ後援サレ
 ○川島委員 大臣ニ申上ゲタイノデスカ、生鮮食料品ノ配給統制ヲスル爲メ法案ノ綱領ガ出來マシテ、此ノ内容ヲ私共既ニ承ツテ居ルノデスカ、是ガ農林商工兩省ノ間デ圓滿ニ相談ガ出來レバ、此ノ議會ニ出ス筈デアツクノガ、遂ニ出ナカッタノハ、兩省ノ間ノ意見ガ一致ヲ見ナカッタ爲デアルト考ヘルノデアリマスガ、此ノ問題ハ極メテ時局柄速急ヲ要スル問題デアリマス、隨テ政府トシテハ生鮮食料品配給法ニ代ルニ、省令若クハ勅令等何カノ方法ニ依ツテ、同ジ效果ノアルヤウナモノヲ議會ニ提案サレテ私共ノ審議ニ移スナラバ、何モ言フ必要ハナイノデアリマスガ、今議會終了後ニ於テ同ジ效果ノアルモノヲ實行ナサルト想像サレルノデアリマスカラ、ソコデ特ニ斯ウ云フ問題ニ付テ、當局ノ御意見ヲ聽イテ置ク譯デアリマス、其ノ點ヲ一ツ御承認ヲテ置キタイノデアリマス——農務局長ガ見エテレマシタカラ改メテ申上ゲマスガ、蔬菜果實ノ配給機構ヲ統制スルト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、ドウ云フ方法デオヤリニナルカ、又統制ノ目的ガ何處ニアルノカ、之ヲ承リタイ
 ○土屋政府委員 生鮮食料品（例ノ九・一八ノ價格ノ「ストツブ」カラ除外致シマシテ、其ノ時ハ品物ノ性質上所謂公定價格ヲ決メルコトガ困難デアルカラ、他ノ方法ニ依ツテ

テ、大都市ニ全魚聯直接ノ販賣所ヲ設ケルト云フ計畫ガオアリダサウデアリマスガ、是ハドウナリマシタカ
 ○農産政府委員 大體ノ生鮮食料品ヲ抑ヘテ行ク、之ヲ餘リ騰貴セシメナイヤウニスルト云フコトニ付キマシテハ、先程申シタヤウニ大體ノ方策トシテハ、生産地カラ出來ルダケ潤澤ニ平均的ニ消費都市ノ中央市場ニ集荷スル、是ガ本筋デアリマシテ、若シサウ云フ方面カラ漸次小賣商ニ渡ツテ、低物價ニ導クベク指導致シマシテモ、尙ホ所謂間取引トカ色々ナコトガ行ハレテ、其ノ目的ヲ達シナイヤウナ場合、又市民ノ聲トシテ或ハ國民ノ聲トシテ、ドウシテモ直接生産者カラ安價ニ物ガ得タイト云フ要求ガ起リマシタ場合ニハ、サウシタ情勢ト混シ合セテ、場合ニ依ツテハ全魚聯ナリ、サウ云フモノガ、消費者ニ魚ヲ提供スルト云フコトモ、案ノ一ツトシテ考ヘテ居ルノデアリマス、今直チニ之ヲ實現スルトカ云フヤウナ所マデハ進ンデ居ラナイノデアリマス

○川島委員 此ノ生鮮食料品ノ生産者トシテ中央市場ニ出ス、中央市場カラ市内ノ小賣商人ヘ出スト云フコトガ、是ガ一貫シタ方策トシテ今マデ採リ上ゲラレテ來タノデアリマスガ、之ニ對シテ特ニ今其ノ全魚聯等ガ進出シテ、直接販賣スルト云フコトニナルト、一貫シタ販賣機構ヲ破壊スルヤウニナルト思フノデアリマスガ、ドウデアリマスガ
 ○農産政府委員 只今申上ゲタヤウナ方策ハ、是ハ本筋トシテ之ヲ實行スルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、實際ニ此ノ本筋ノヤリ方ニ於テ目的ヲ達シナイ場合モアルノ

デアリマシテ、サウシタ場合ニハ漁業組合ガ、即チ漁業組合ノ許サレタ法律活動ニ於テ、共同販賣ガ出來ルヤウニナツテ居リマスカラ、若シ其ノ必要ガ迫ツテ參リマシタ場合ニハ、或ハサウシタ方法ヲ採ルト云フコトモ、時ニ依リマシテハ已ムヲ得ナイカトモ考ヘマス
 ○川島委員 産業組合ノ問題ガ頻ニ問題ニナツテ居ルノデスカ、産業組合ガソコマデ進出スルト云フコトガ、果シテ適當デアラカドウカト云フコトガ、茲ニ又生レテ來ル譯デアリマス、併シ農林省ノ御考トシテハ是非東京市内ニ數十箇所ニ全魚聯直營ノ販賣所ヲ設ケルコトヲ、御考ニナツテ居リマスガ、之ニ對スル經費ヲ大藏省ニ要求サレテ、大藏省カラ斷ハラレテ居ルト云フコトモ、私共承知致シテ居ル譯デアリマス、是ハ最近ニサウ云フコトヲ實行サレル御考ガアルノデアリマスガ

○農産政府委員 先程申シマスヤウニ政府部内ノ進行中ノ問題ヲ、此處デ言明致スト云フコトハ適當デアリト思ヒマス、斷ハラレタトカ斷ハラレナカッタト云フコトモ、是本申スベキモノデアリナイト思ヒマスガ、兎ニ角生鮮食料品ヲ安價ニ供給スル、少クトモ高クナラヌヤウニ努力スルト云フコトニ付キマシテハ、各方面ト相寄リマシテ目下鋭意研究中ナシデアリマス
 ○川島委員 中央市場ノ問題デスカ、中央市場ハドウモ私ハ地方ノ自治團體ダケニ任スト云フコトハ、非常ニ危險ガアルト思ヒマス、殊ニ東京ノ如キハ中央市場ノ成績ガ非常ニ好イヤウデアリマスガ、大體今日市ハ七分程度ノ利益リニナツテ居ツテ、而モ三十五年掛ルト回収サレテ、アノ歴大ナ

第一類第七號 豫算委員第六分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日

價格ノ統制ヲ圖リタイト云フ趣旨アリマシタ、其ノ具體的ノ方法トシテ只今配給統制ノコトヲ企畫院ヲ中心トシテ、農林、商工ト協議シテ、大體事務的ニハ本筋ニ乗ツテ參ツテ居ルヤウニ思ヒマス、近ク何等カノ形デ表面ニ出ルノデハナイカト思フテ居リマス、其ノ考ヘ方ハ、蔬菜果實ニナリマス、其ノ價格ニ大キナ幅ガゴザイマス、其ノ原因ハ供給ガ或ル時ハ澤山參ル、或ル時ハ少シカ參ラス、其ノ點ニアルノデアラトスレバ、非常ニ或ル時ニウシト儲ケテ置イテ、將來ノ暴落ニ備ヘル必要モナイノデゴザイマスカラ、ソコデ或ル適當ナ數量ガ常ニ潤澤ニ流レコトガ必要デアリ、ソコガ旨ク行ケバ暴落ガナクテ済ムダラウ、斯様ニ基礎觀念デアリマス、ソコデ生野菜或ハ果實ノ全部デハゴザイマセヌガ、其ノ主ナルモノニ付キマシテハ、既ニ現在デモ帝國農會等ノ統制ニ依リマス、或ル程度ニ據テ調査ガ出來テ居リマス、又成績ヲ示シテ居リマス、ソコデ今回ハ生産者團體ガ市場ト連絡ヲ取リマシテ、サウシテ或ル種ノ品物ニ付キマシテ、大體其ノ品物ハ下ノ市場ニ於テハ何時頃ハ下ノ位ノ量ガ要ルカト云フコトヲ能ク打合セマシテ、其ノ需要ニ應ジテ產地ノ方カラ出荷計畫ヲ立テル、サウシテ其ノ出荷計畫ニ依リマシテ先ヅ多少ノ差ハアリマシテモ、萬遍ナク市場ニ品物ガ集マルヤウニ致シタラ宜カラウト思フテ、其ノ具體的方法ニ付テ只今關係省デ、先刻申シマシタヤウニ協議ヲ進メテ居ル狀態デアリマス

○川島委員 是ハ大體帝國農會ニヤラセルヤウニ承ツタノデアリマスガ、サウデアリマスカ、モウ一ツ、何レニシテモ出荷團體ガ出來テ、出荷團體ニソレヲヤラセルトカソレニ對スル手續料、利益割合ト云フモノハドウ云フヤウニナルノデスカ、ソレカラモウ一ツハ消費地へ出スノハ、相手ハヤハ中央市場ヲ目標トシテ出スノデアリマスカ

○土屋政府委員 只今ノ所デハ統制團體シテハ、系統農會ヲ使フ積リテ話ガ進シテ居リマス、ソレカラ出荷團體ノ中間手續料ノ率等ニ付テハ、マダソコマデ話ガ進シテ居リマセヌ、ソレカラ中央市場ニ出ス積リテゴザイマス

○川島委員 農産物ノ方ハ中央市場以外ニ直接消費地へ直賣サセルヤウナ方法ハ、御考ニナツテ居ナイノデセウカ

○土屋政府委員 現在近縣ノ千葉、埼玉ト云フ所カラ擔イデヤツテ來ルモノガアリマセヌガ、サウ云フモノニ付テハ統制ノ中ニ入レルカ、或ハ統制外ニ於テ自由ニ賣ラセルカト云フ點ハ、今問題トシテ研究シテ居リマシテ、其ノ點ニ付テハ方針ガマダハツキリ決ツテ居リマセヌ

○川島委員 水産局長ノ御話ニ依リマス、水産物ハ場合ニ依ツテハ全漁聯ナドヲシテ、直接必要ニ依ツテ販賣サセルコトガアルカモ知レヌ、斯ウ云フヤウナ御説明ガアルノデスカ、農産物ハ如何デスカ

○土屋政府委員 農産物ハ只今ノ所サウ云フ計畫ハ話ニ上ツテ居リマセヌ

○川島委員 此ノ生鮮食料品ガ最モ消費者ニ高ク入ル原因ハ、卸價格ヨリ小賣價格ニアルト思フノデス、卸價格ハ相手方素人デスカ商人ノ一方行爲ニ依ツテ決定サレテ居ル、而モ生鮮食料品デスカ規格外ナ

イノデス、ドウシテモ小賣價格ニ何等カノ統制ヲシナケレバ、今御話ニナツテ居ルヤウナ値段デ消費者ノ手ニ渡スコトガ出來ナイノデスカ、之ニ對シテ何カ農林省デ御考ニナツテ居リマスカ

○土屋政府委員 蔬菜果實ノ小賣價格ノ問題デゴザイマスガ、ソレハ卸賣ノ方面ニ於テキマシテハ、只今申上ゲマシタヤウナ方法デ荷ヲ致シテ參リマシテ、市場ニ於ケル口錢其ノ他ニ對シテ合理的ノ制限ヲ加ヘマスカラ、隨テ市場ニ出テ參リマスル、コスルカ、今日ヨリスツト安クナル、尙ホ小賣ノ方面ニ付キマシテハ、配給ノ方ノ仕事ヲ預ツテ居リマス商工省ノ方トモ能ク相談致シマシテ、或ハ小賣市場ト云フ形式ヲ執ルカ、何等カノ方法ニ依ツテ之ヲ安クスルヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○石坂全奎 保留シテ居ツタ沖島君

○沖島三君 昨ハ早對策ノコトデ大藏省當局ニ質問ヲシタイト思ヒマシタガ、大藏省ノ方ガ御見エニナリマセヌカラソレハ申シマセヌ、ソコデ此ノ分科會ノ質問モ全部終了シタヤウニ思ヒマスカラ、一寸最後ニ大臣ニ御伺シテ見タイト思ヒマス、農林省ニ計畫デアリマスガ、農林省デハ農林土木事業ニ付キマシテ、山林ノ方面デ林道トカ、或ハ水産ノ方デ漁港アルトカ、或ハ耕地ノ開墾水利事業、毎年地方カラノ申請ヲ調査サレテ、ソレニ對シテ補助助成ノ方針ヲ御決定ニナツテ居ル、之ヲ今少シタ全般ニ互ツテ調査サレテ、豫メ計畫ヲ確立シテ置カレル必要ハナイカ、ツイ先刻モ私ハ他ノ委員會ニ臨ミマシテ、例ハ巴臺灣ノ米ノ増産計畫、或ハ砂糖ニ對スル對策ガ十年チヤント計畫ガ立ツテ居リマシテ、毎

年度ノ耕地ノ増加、ソレカラソレニ依リ農産物ノ増加、大體ニ於テ十年位ノ計畫ハ立ツテ居リマス、農林省ニ於カレマシテモ毎年々々ノ地方ノ申請ニ依ツテ、其ノ年々ケノコトヲ決定スルト云フノデハナシニ、滿洲支那程ノ廣イ區域デアリマセヌ、例ハ大體ニ於テ狭イ地域デアリマスカラ、例ハ巴漁村ニ關スル漁港ヲ日本ノ全沿岸ニ互ツテ調査シテ、昭和十五年度ニハ何處ヲ實行スルトカ、其ノ次ハ何處トカ、大體十年位ノ程度デ著手サレルベキ漁港ニ付キマシテモ、計畫ガ立ツダラウト思ヒマス、林道デモ其ノ通り水利事業デモ開墾助成デモ其ノ通り、サウ云フ風ニ一定ノ計畫ガ立ツテ居リマスレバ、其ノ時ノ推移ニ依ツテ多少ノ變化ハ免レヌトシマシテモ、地方ニ於テソレニ順應シテ豫メ計畫ガ立チ、サウシテソレニ期待ヲ持ツ、ソレノ計畫ガ出來ルノデアリマシテ、非常ニ計畫ガ效果的ニナラダラウト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ農林施設ニ對スル全般的ノ計畫ト云フモノヲ、御立デニナル御考ハゴザイマセヌカト云フコトヲ伺ツテ置キマス

○島田國務大臣 農林省ノミデアリマセヌ、全體ノ政府ノ事業、殊ニ經濟關係ノ方面ニ於キマシテ、一定ノ計畫ニ從ツテ國務ヲ進メテ行クト云フコトノ必要ナコトハ、是ハモウ御話ノ通りデアリマス、又農林省トシマシテハ御承知ノヤウニ、其ノ計畫ヲ以テ進ム方針デ年々各種ノ事業ニ付テヤツテ居ルノデアリマスガ、何分財政等ノ關係カラ致シマシテ、ソレガ十分ニ豫算ノ上ニ實現ヲシテ行クコトガ出來難イ、其ノ點ニ於キマシテハ臺灣或ハ滿洲朝鮮等ノ事情ト違ヒマシテ、内地ハ社會事情其ノ他ガ複雑

デアリマスノデ、困難ノ點ガ相當ニアルト思フノデアリマス、併シナガラ御趣意ハ其ノ通りデアリマスカラ、將來此ノ治水ノコトニ致シマシテモ、或ハ其ノ他ノ農事ノ改革、増産計畫、有ニルモノニ付キマシテ、計畫的ニヤルヤウニ致シタイト思ヒマス、又セネバナラヌモノデアルト云フ御趣意ニ付テハ、全然同意デアリマシテ、其ノ趣意ニ從ツテ將來引續イテ、ソレノ實現スルヤウニ努力シタイト考ヘテ居リマス

○沖島委員 外地ノ如ク綜合行政、特別會計デ簡單ニ參ラナイト云フ事情ハ十分ニ御察シ致シマスガ、是ハ是非一ツ御在任中ニ一大調査會デモ御設置ニナリマシテ、十分農林政策ノ計畫ヲ樹立サレンコトヲ希望致シマス、ソレカラ先日早對策ニ付キマシテ論議致シマシテ、農務局長カラ再檢討シテ恆久對策ニ付テハ十分考慮スルト云フ御言明ガゴザイマシタ、是ハ一ツ大臣ニモ之ニ對スル御方針ヲ此ノ席デ御言明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 先日農務局長ヨリ御答ヲシタヤウナ方針ニ依ツテ、之ニ再檢討ヲ加ヘテ立案シテ居リマス

○石坂全奎 是デ第六分科會ニ於キマスル質疑ハ一應終了致シマシタ、次會ハ明後日十一日午前十時カラ、當委員室ニ於テ開會致シマシテ、討論採決ヲ致シタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時三十分散會

昭和十五年二月十九日印刷

昭和十五年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第一類 第七號

第七十五回帝國議會 院 豫算委員第六分科(農林省)會議錄(速記)第四回

(七五〇)

會 議

昭和十五年二月二十一日(水曜日)午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

- 主席 石坂 養平君
- 小畑虎之助君 田村 秀吉君
- 村松 久義君 三善 信房君
- 富吉 榮二君 篠原 義政君
- 兼務 松尾 四郎君 矢野庄太郎君
- 工藤 鐵男君 松尾 孝之君
- 牧野 良三君 三宅 正一君
- 小山 亮君

出席政府委員左ノ如シ

- 農林省農務局長 土屋 正三君
- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 農林省水産局長 粟屋 仙吉君
- 農林省畜産局長 岸 良一君
- 農林省蠶絲局長 吉田 清二君
- 農林省米穀局長 横山 敬教君
- 農林書記官 岡本 直人君
- 馬政局長官 村上富士太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中農林省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中農林省所管

○石坂主査 是ヨリ開會致シマス、本分科會ニ於キマスル質疑ハ一昨日ヲ以テ全部終了致シマシタ、就キマシテハ、是カラ昭和

十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中農林省所管、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中農林省所管(第一號)昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案中農林省所管、右ノ各案ヲ一括シテ議題ト爲シ、直チニ討論ニ移リマス

○小畑委員 議事進行ニ付テ發言ノ許可ヲ求メマス—討論ヲ省略致シマシテ、直チニ採決ニ入ラレンコトヲ望ミマス

○石坂主査 只今ノ小畑君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○石坂主査 異議ナシト認メマス、仍テ是ヨリ採決ニ入リマス、右ノ各案ヲ豫算委員會ニ於テ可決スベキモノト議決スルコトニ御贊成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

(議員起立)

○石坂主査 起立議員、全員一致ヲ以テマシテ本案ヲ可決致シマシタ、本分科會ハ之ヲ以テ終了致シマシタ、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午前十一時二分散會

第七十五回帝國議會 豫算委員第七分科(商工省)會議錄(速記)第一回

會 議
昭和十五年二月十六日(金曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 原 夫次郎君

松本 忠雄君

岸田 正記君

肥田 琢司君

松村 光三君

兼務

小川郷太郎君

松尾 四郎君

前田房之助君

牧野 良三君

吉植 庄亮君

小笠原三九郎君

田原 春次君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

商工事務次官 加藤鐵五郎君

商工參與官 喜多壯一郎君

商工省鐵道局長 小金 義照君

商工省鐵道局長 塩谷狩野吉君

商工省化學局長 永田彦太郎君

商工省機械局長 鈴木 英雄君

商工省機械局長 辻 謹吾君

商工省監理局長 牧 楯雄君

商工省振興部長 妹川 武人君

商工書記官 山本 茂君

商工書記官 椎名悦三郎君

特許局長官 大貝 晴彦君
燃料局長官 東 榮二君
貿易局長官 小島 新一君
物價局長官 新倉 利廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中商工省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ為ス

ヲ要スル件中商工省所管

○原主査 ソレデハ是カラ第七分科會ヲ開

會致シマス

○加藤政府委員 昭和十五年度商工省所管

歳出豫算概要ヲ御説明申上ゲマス、昭和十五年度商工省所管歳出豫算ノ要求額ハ、經常部ニ於キマシテハ九百四十一万二千九百六十四圓、臨時部ニ於キマシテハ八千五百九十二万九千四百八十九圓、合計八千九百九十三万九千四百八十九圓、之ヲ前年

度豫算額九千八百七十七万三千三百一圓ニ比較

致シマス、増減ヲ差引キ、經常部ニ於

キマシテハ百一十五万五千六百八十二圓増加

致シテ居リマス、臨時部ニ於キマシテ

九百七十七万九千二百九十四圓減少シテ

居リマス、合計ニ於キマシテハ七百七十

六万三千六百十二圓ノ減少トナツテ居ル文

第デアリマス

右増減ノ主ナル事項ヲ申上ゲマス、

第一ハ貿易振興ニ關スル經費デアリマス、

其ノ内容ト致シマシテハ、先ヅ圓「プロ

ク」向貿易調整ニ要スル經費デアリマス、

圓「プロク」内ニ於ケル建設諸工作ノ進捗ニ伴フ物資ノ需要増加ニ對處致シマス、並ニ共ニ、他面本邦ニ於ケル生産力擴充、並ニ第三國向貿易振興ニ支障ナキヲ期シマス、爲ニ、圓「プロク」ニ對スル貿易調整ヲ行

ハントスルノデアリマス、之ニ要スル經費

ト致シマシテ三万九千五百一十一圓ヲ計上致シ

マシタ

次ハ輸出毛織物ノ國營検査實施ニ要スル

經費デアリマス、本邦輸出毛織物ノ海外ニ

於ケル廉價ヲ確立シ、積極的ニ品質ノ改善

向上ヲ圖リマス爲、輸出毛織物ノ國營検査

ヲ實施セントスルノデアリマス、此ノ經費

ト致シマシテ十八万五千六百五十五圓ヲ計

上致シテアリマス

次ハ輸出入造絹織物ノ格付検査施行ニ要

スル經費デアリマス、輸出入造絹織物ノ最

低標準主義ニ依リマス、現行ノ検査方法ヲ

改正致シマシテ、検査合格品ヲ適當ニ格付

シ、積極的ニ品質ノ向上ヲ圖リマス、格付

ニ、海外市場ノ需要ニ適應シタル検査ヲ施

行政サントスルノデアリマス、之ニ要スル

經費ト致シマシテ十一万九千八百八十六圓ヲ計

上致シテアリマス

第二ガ生産力擴充ニ關スル經費デアリマ

ス、其ノ内容ヲ御説明申上ゲマス、先

ヅ産金獎勵ニ要スル經費ノ増加デアリマス、

金ノ増産計畫ノ達成ヲ確保致シマス、爲ニ、

是ガ遂行ニ當ルベキ職員ヲ充實致シマス、

ト共ニ、探鑛獎勵金及ビ選鑛場、製鍊場ノ

建設助成金ヲ増額致シマシテ、速ニ各鑛山

ノ開發ヲ圖リマシテ、生産設備ノ完成ヲ促

進セントスルノデアリマス、之ニ要スル經

費ト致シマシテ四百四十八万八千八百三十三

圓ヲ計上致シテアリマス

次ハ重要鑛物ノ選鑛場設置獎勵ニ要スル

經費デアリマス、銅、鉛、亜鉛、錫其ノ他

重要鑛物ノ増産計畫ノ實施ニ當リマシテハ、

各鑛山ニ於キマシテ、從來ニ比シ低品位鑛

ヲモ加ヘテ、多量ノ鑛石ヲ採掘セシムル關

係上、是ガ選鑛能力ノ増加ヲ必要トスルコ

トニ相成リマス、選鑛場ノ設置ヲ獎

勵致シマシテ、増産計畫ノ達成ニ遺憾ナカ

ラシメントスル次第デアリマス、之ニ要ス

ル經費ト致シマシテ百二十万七千四百四十

圓ヲ計上致シマシタ

次ニ自給原料ニ依ル「アルミニウム」製造

獎勵ニ要スル經費デアリマス、時局ニ鑑ミ

マシテ輕金屬製造事業ノ發達ヲ促進致シマ

スル爲ニ、從來ノ施設ヲ一段ト強化致シマ

シテ、明礬石、礬土頁岩、煨酸礬土等ノ自給

原料ニ依ル「アルミニウム」製造者ニ對シ獎勵

金ヲ交付致シマシテ、斯業ノ確立ニ資セン

トスルノデアリマス、之ニ要スル經費ト致

シマシテ百一十四万五千五百五十二圓ヲ計上致

シテアリマス

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

セントスルノデアリマス、之ニ要スル經費ト致シマシテ三十一万五千二百二十九圓ヲ計上致シマシタ

次ハ國産(タンニン)生産助成ニ要スル經費デアリマス、國防及ビ産業資源トシテ缺

クベカラザル(タンニン)ニ其ノ需要ノ全部ヲ輸入ニ俟ツ現況ニアリマスノデ、是ガ

國內生産ヲ圖リマスル爲メ製造事業ヲ助成致シマシテ、斯業ノ確立ヲ期シテ居ル次第

アリマス、之ニ要スル經費ト致シマシテ五

十萬六千八百八十五圓ヲ計上致シテアリマス

次ハ機械試驗所ニ自動車部設置ニ要スル經費デアリマス、本邦ノ自動車製造事業ハ

急速ナル發展ヲ致シマシテ、其ノ生産能力ハ略自給自足ノ域ニ達シテ居リマスルガ、

品質、性能上改善ヲ要スル點ガ非常ニ多イノデアリマシテ、新ニ機械試驗所ニ自動車

部ヲ設置致シマシテ、之ニ關スル研究ヲ遂

ゲ、我國自動車工業ノ進歩發展ニ資セントスルノデアリマス、之ニ要スル經費ト致シマシテ

百三十三萬六千七百九十二圓ヲ計上致シテアリマス

次ハ石油試驗助成金ノ増加デアリマス、液體燃料ノ自給促進ヲ圖リマスルガ爲メ、

現在マデノ地質調査ニ基キマシテ、特ニ有望ト認メラルル地域ヲ選定致シマシテ、更

ニ積極的ニ試験ノ助成ヲ致シ、内地ニ於ケル石油資源ノ開發促進ニ資セントスルノデアリマス、之ニ要スル經費ト致シマシテ

百三十三萬六千七百九十二圓ヲ計上致シテアリマス

次ハ工業總力發揮ニ要スル經費デアリマス、現下内外ノ情勢ノ推移ニ即應シ、本

邦自主經濟力ノ増進ヲ圖リマスル爲メ、鑛工業部門重要産業ニ付委員會ヲ設置致シマシ

テアリマス

テ、是等産業ニ於ケル技術及ビ經營ノ整備向上ヲ圖リマシテ、是ガ綜合的生產力ヲ最

モ效率的ニ發揮セシムル爲メ、必要ナル具體策ヲ審議セシメントスルノデアリマス、是ガ經費ト致シマシテ四萬三千四百八十四圓ヲ計上致シテアリマス

次ハ有機合成化學工業法ノ施行ニ要スル經費デアリマス、有機合成化學工業ヲ振興

確立致シマシテ、國防ノ整備並ニ産業ノ發達ニ資スル爲メ、有機合成化學工業法ヲ制定

致シマシテ、是ガ製造事業ヲ許可制トシ、必要ナル指導監督ヲ致シマスルト共ニ、諸

般ノ助成策ヲ講ジマシテ、斯業ノ確立ヲ期セントスルノデアリマス、之ニ要スル經費ト致シマシテ百一十九萬九千三百三十三圓ヲ計上致シテアリマス

第三ガ事變對策ニ關スル經費デアリマス、其ノ内容ト致シマシテハ、先ツ轉業對策ニ

要スル經費デアリマス、物資動員計畫並ニ物價統制ノ徹底強化ニ伴ヒマシテ、商工業

者ノ中デ休業、廢業又ハ操業短縮ノ已ムナキニ至レルモノガ少クナイノデアリマシテ、

是等ノ業者ヲ軍需品、代用品、輸出品産業等ヘノ轉換其ノ他必要ナル對策ヲ講ジマシ

テ、是等ノ事業主及ビ其ノ従業員、家族等ノ不安ヲ除去スルコトニ努メントスルノデアリマス、是ガ經費ト致シマシテ、八百二十八萬六千二百七十圓ヲ計上致シテアリマス

マシタ結果、之ニ關スル事務ハ益々擴大ヲ來シツツアリマスノデ、物價局ノ機構ヲ擴充

致シマシテ、是ガ處理ニ遺憾ナキヲ期セントスルノデアリマス、是ガ經費ト致シマシ

テ百五十七萬四千四百十五圓ヲ計上致シテアリマス

最後ニ代用燃料自動車普及促進ニ要スル經費デアリマス、石油消費規正ノ強化ニ伴

ヒマシテ、自動車業者ニ及ボス影響ヲ緩和シ、又交通運輸能力ニ支障ヲ來サシメザル

爲メ、薪炭瓦斯自動車ノ使用普及ノ徹底ヲ期スルト共ニ、天然瓦斯或ハ液化瓦斯等ノ互

換體燃料ノ使用普及ヲ圖ラントスルノデアリマス、是ガ經費ト致シマシテ二百九十四

萬七千七百二十八圓ヲ計上致シテアリマス

其ノ他補助及ビ獎勵費、事業上必要ニム

ヨ得ザル經費ノ増加、前年度要求濟經費月割差額、繼續費及ビ豫算外契約既定期間額

ノ増、既定計畫ニ依リ經費ノ増加等ノ三千四百五十五萬九千九百九十九圓ヲ加ヘマシテ、

合計六千二百二十七萬三千六百二十七圓ヲ増加致シマスルケレドモ、繼續費及ビ豫算

外契約既定期間額ノ減、前年度限リノ費途ノ減、節約額等デ七千三百七十九圓ヲ減

少致シマスルノデ、之ヲ差引キマスルト、前年度豫算額ニ比シテ結局八百七十六

萬三千六百七十二圓ヲ減少致シマスル次第デアリマス

以上デ昭和十五年度商工省所管歲出豫算ノ大體ヲ御說明申上ゲマシタガ、御質問ニ應

ジマシテ御答申上ゲタイト存ジマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラントヲ希望致シマス

○原至查 大臣ハ只今參内中デオ出デガ出

テ、國民一同ハ非常ニ迷惑ヲ蒙ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ナゼ丈夫ナ高級

品ノ規格ノ制定ヲ行ハナイノカ、又織物強

力検査ヲ行ハズニ價格ノ公定ヲ行ツタガ爲メ、

「ス・フ」製造ノ技術ハ大ニ進シタ今

日依然トシテ劣等ノ「ス・フ」製品ガ幅ヲ利

カセテ、甚ダ不都合ナ現狀ニアルコトハ、國

民一同ノ最モ能ク知ツテ居ル通りデアリマ

ス、是ハ大部分ハ政府ノ責任デハナイカト

考ヘマス、併シ如何ナル國內ノ天然纖維

モ、數量ニ於テ棉花、羊毛ノ代用ヲ得ナ

イノデアリマスルカラ、日本ノ現狀ト致シマシテハ、是非政府ハ統制制度ヲ改善シテ

「ス・フ」ノ生産ヲ善導シナケレバナラズト

○小笠原委員 序デアリマスカラ、是ハ

大臣カテ御答辯ガ願ヒタイノデスガ、此處

デ述ベキ置キマスカラ、政府委員ヨリ大臣

ニ御話ノ上、午後ニデモ御答辯ガ得ラレ

レバ結構デアリマス、ソレハ政府ハ有價證

券取締法改正ノ意思ナキヤ、斯ウ云フコ

トデアリマス、此ノ有價證券取締法第一

條ヲ見ルト「本法ニ於テ有價證券業トハ取

引所ニ依ラザル有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒

介ヲ爲ス營業ヲ謂フ但シ銀行、信託會社及

有價證券割賦販賣業者ノ營業ムハ此ノ限

ニ在ラズ、斯ウ云フ風ニナツテ居ル、此ノ有

價證券取締法カラ除外スルモノハ、銀行、

信託會社及ビ有價證券割賦販賣業者、是ガ

ケニナツテ居ルノデアリマス、所ガ是デハ

事實ニ於テ非常ニ不便ナルノデアリマシ

テ居ル、此ノ有價證券引受業法デ、有價證

券引受業者ハ大藏省カラ監督ヲ受ケテ居ル

モノニ、更ニ又此ノ有價證券取締法ト云フ

モノニ依リマシテ商工省カラ監督ヲ受ケル、

是ハ政府ノ重大ナル責任デアルト考

テ、國民一同ハ非常ニ迷惑ヲ蒙ルコトハ

御承知ノ通りデアリマス、ナゼ丈夫ナ高級

品ノ規格ノ制定ヲ行ハナイノカ、又織物強

力検査ヲ行ハズニ價格ノ公定ヲ行ツタガ爲

メ、「ス・フ」製造ノ技術ハ大ニ進シタ今

日依然トシテ劣等ノ「ス・フ」製品ガ幅ヲ利

カセテ、甚ダ不都合ナ現狀ニアルコトハ、國

民一同ノ最モ能ク知ツテ居ル通りデアリマ

ス、是ハ大部分ハ政府ノ責任デハナイカト

詰り二重監督ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ルノアリマス、所ガ御承知ノ如クニ有價證券引受業法ト云フモノハ、非常ナ面倒ナ規則ノ下ニ出来テ居ツテ、例ハバ資本金二百萬圓以上ノ株式會社ヲナケレバナラスト云フヤウナ工合ニ、最低資本金ナドモ大都市ニ於ケル銀行ト同様ニナツテ居ル、其ノ規模、組織等カラ考ヘマシテモ、銀行ト同様ナ大規模ナモノデアリマス、所ガ之ヲ除外セズニ、斯ウ云フヤウナコトニヤラレバ結果ト致シマシテ、元々此ノ有價證券業取締法ハ當時ノ説明ニモアル如ク、所謂現物業者ノ不法行爲を取締テ、謂ハバ、インチキナ株屋ヲ取締ル爲ニ出来テ居ルノデアリ、之ヲ此ノ中カラ除外シテ居ルノデアリ、商工省ノ關係ガト店先ハ警視廳ノ者ガ来ルノデス、巡査ガ来テヤル、或ハ帳簿ナドニ非常ナ面倒ナ報告ヲ澤山出サナケレバナラス、又非常ナ帳簿ヲ備ヘナケレバナラヌト云フヤウナ事柄ガ澤山アツテ、當業者ハ非常ニ困惑シテ居ル、既ニ大藏省デハ此ノ有價證券引受業デ嚴重ニ取締ツテ居ルノデアリカラ、斯様ナ二重監督ハ全然不必要デアル、曩ニ此ノ點ヲ私ハ八田商工大臣ニ御話シテ所ガ、洵ニ御尤モデアリカラ必ズ是ハ除外致シマスト云フコトヲ約束サレ、ソレデハ私ハ議會デ質問スルコトヲ止メマセウカト言ツテ、ドウカ質問ハ止メテ貴ヒタイ、必ズアナタガ言ハレル通りニ實行スルト云フコトヲ言ハレタデアリマス、同様ニ前ノ石渡其ノ時分ノ大藏大臣ハ私ニ是ハドウモ商工省ガコトナモノマデ監督セズデモ宜イノニ、一遍ニ何デモ取りタガツテ實ハ困ルノダ、是非ハアナタノ方カラ主張シテ、コトナモノハ商工省カラ取除ク

ヤウニ言ツテ下サイト、其ノ時分ノ石渡大藏大臣ハ私ニ言ツテ居ラレタ、其ノ通りノ話ヲ八田サンニ言ツテ所ガ、ソレハ私モ實情ハ能ク知ツテ居ル、洵ニ御尤モダ、コトナモノヲ監督スルノハ商工省ハ實情ニ即セスカラ、直グ直シマスト言ハレタガ、ドウモ今日八田サンハ居ラレスカラ何トモ仕様ガナイ、ソレデサウ云フヤウナコトモアリマスカラ、此處デ私ガ特ニ質問ヲ致シテ置ク譯デアリマス、尙ホ當時ノ次官村瀬君ニモ話ヲシマシタ所ガ、是ハヤルトハ言ヒマセデシタ、洵ニ御尤モト思ヒマスカラ、大臣カラモサウ云フ御話ガアリマシタカラ能ク善處スルト言ツテ、能ク善處スルト言ツタカラトテ、能クヤルト云フコトニハナラヌカモ知レヌガ、特ニヤルト云フ風ニ八田サンハハツキリ言ハレタ、所ガ此ノ改正案ヲ依然トシテ御出シニナラナイ、此ノ頃ハ商工省ノ事務モ非常ニ多忙デアリカラ、コトナ煩瑣ナ事ニ於テ御監督ナレナイヤウナモノハ改正シタラドウカ、而モ當業者ハ非常ニ是レ困ツテ居ル、規則ノ上カラ見レバ巡査ガ所謂有價證券引受業ト云フ銀行ト同ジヤウナ大規模ナ所ヘ行ツテ、帳簿ヲ見セロト言フコトモ出来ル、併シサウ云フコトハ實情カラ見テ甚ダ困ルノデ、新シイ今ノ商工大臣ハ實業界出身ノ人デアリ、殊ニ色々社債等モ取扱ハレテ、有價證券引受業ノ何カハ能ク御存ジテ居ラレマスカラ、政府委員ヨリ御話下サイマシテ、前ノ八田サン同様ニ、必ズ今ノ有價證券業取締法ヲ直スト云フ風ナコトヲ言ハレ、同時ニ又必ズ之ヲ御實行願ヒタイト思フ、モウ日ニチモ少クナツテ法案ヲ審査ハ相當面倒デアリガ、是ハホソノ簡單ナ改正デ宜

シノデス、第一條ノ但書ノ「但シ銀行、信託會社」ノ次ニ「有價證券引受業」ト云フ七字ヲ加ヘラレバ宜イデアリマスカラ、至急サウ云フ風ニ取扱ハレシコトヲ望ミマス、茲ニ御答辯ガアレバ承ツテモ宜シイデアリマスガ、御答辯ガナケレバ今ノ趣旨ヲ能ク大臣ニ御説明下サイマシテ、後朝大臣カラ御答辯アランコトヲ望ミマス、
○加藤政府委員 後朝大臣カラ……
○小笠原委員 アトノ質問ハ大臣ガ来ラレデカラニ致シマス
○原主査 ソレデハ午後一時マデ休憩致シマス
午前十一時十三分休憩
午後一時十分開議
○原主査 午前二引續イテ開會致シマス
○松本委員 一番先ニ大事ナコトヲ一ツ伺ツテ置キタイノデスガ、鐵道局長ニ御同致シマス、印刷用紙ノ供給ガ相當窮乏ニナツテ居ルノデスガ、最近ノ實情ハドンナコトデゴザイマスカ
○辻政府委員 印刷用紙ノ供給ノ關係デゴザイマスガ、御承知ノ通り一昨年以來「パルプ」ノ輸入ノ制限、ソレカラ外紙ノ輸入ノ制限、更ニ最近ニ於キマシテハ、石炭ノ供給制限ト云フガ如キ色々ナ條件カラ致シマシテ、一般ニ用紙ノ生産ガ非常ニ窮乏ニナツテ居リマス所ヘ、一方需要ノ方ハ相當増加シテ居リマスシ、又一面中南支方面ニ出マス數量モ、以前ニ比ベマスト相當ノ増加ヲ示シテ居リマスルヤウナ關係カラ致シマシテ、隨ヒマシテ各用紙トモ、一般用紙トモ供給ハ相當窮乏ニナツテ居ル狀況デゴザイ

イマス、唯之ヲ数字的ニ的確ニ見透シマスコトガ、色々統計ノ關係カラ致シマシテ、ハツキリ致シマセヌノデアリマスガ、可ナリ供給ハ窮乏ナ狀況デアリマス
○松本委員 多分御話ノヤウナコトト存ジマスガ、一般民間ニ於キマシテ印刷用紙ヲ入手スルコトガ非常ニ困難デアリマシテ、隨分困ツテ居ル向キガ多クイノデゴザイマス、私共ハ自分ノコトヲ先ヅ考ヘルノデスガ、吾々ハ來年ノ四月ニハ總選舉ニ臨マナケレバナラス、其ノ總選舉ニ臨ミマスニハ相當巨額ノ紙ガ要リマス、私共ノ經驗ニ依ルト、少クとも候補者一人ニ付テ五十連ヲ下ラナイ紙ガ要ルダラウト思ヒマス、一千人ノ候補者ガ立ツトシマシテモ五萬連ノ紙ガ要ル、而モ一時ニ要ル、選舉ノコトハ皆御承知ナイデセウケレドモ、吾々ノ選舉ニ於キマシテハ、印刷用紙ノ配付スルコトガ第一期戰デアリマシテ、之ヲ手早クヤルカ、ヤラナイカト云フコトガ、結局選舉ノ全般ニモ非常ニ影響ガアルノデゴザイマスガ、今日ノヤウナ印刷用紙ノ供給ガ窮乏ナ狀況デハ、選舉ニ臨ミマシテ急遽ニ紙ヲ入手スルコトガ非常ニ困難デアル、サウ致シマスルト結局閣取引デモシナケレバナラス、片一方デハ選舉違反ヲ心配シナケレバナラス、片一方デハ閣取引ニ引掛ルコトヲ心配シナケレバナラスト云フヤウナコトデハ、隨分困難ナ譯デアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ、之ヲ容易ニ私共ガ入手シ得ルヤウナ供給關係ノ御見透シガ付テデゴザイマセウカ
○藤原國務大臣 松本君ノ只今ノ御心配ハ御尤モト存ジマス、ソレカラドンナコトヲ致シマシテモ、選舉ニ要スル用紙ノ供給ヲ圓滿ニスルコトハ、政府トシテ努力メナケレ

バナラナイ重大ナ事ト存ジマスカラ、政府トシテモ他ノ比較的急ヲ要シナイ消費ヲ節約致シマシテモ、此ノ選舉ノ用紙ニ付テハ餘リ御迷惑ヲ掛ケナイヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、ドウゾ左様御承知願ヒマス
○松本委員 實ハ私共ト致シマシテハ、サウ云フ御答辯ガ一番困ルノデス、何トカ間ニ合セルト斯ウ仰シヤイマスケレドモ、間ニ合セテ裁ク方法ハ一體ドウ云フコトデ間ニ合セマスカ、間ニ合ハナイト思ヒマスカラ、ソレハ何カ他ノ別ナ方法ヲ講ズルト云フナラ宜イケレドモ、不意ノモノヲ省イテ間ニ合セルト云フ御言葉デアリマスル、結局紙ハナイ、當局ノ御話ニ依レバ間ニ合フノダト云フコトニナル、所ガ實際ノ問題ニナツテ間ニ合ハナカツタ時ニドウシテ下サルカト云フコトデス、北海道カラ沖繩縣マデアル選舉デスカラ、今マデノヤウニ商店ニ相當ナ「ストック」品ガアル場合ニハ間ニ合フガ、立候補シタ者ニハ紙ヲ下サルト仰シヤツテモ、ドノ候補者ニモ紙ガ渡リマスカ、北海道ノ方ハ紙ノ工場ガアルカラ宜イガ、沖繩縣ト云フヤウナ所デ選舉ノ期日ハ決ツテ居ル、紙ガナイト云フコトニナリマスル、非常ニ選舉運動ニ差支ヘルノデアリマスカラ、ナイナラナイデ、吾々ハナイ方法ヲ内務省ナリ司法省當局ト相談シテ決メテ貰ハナケレバナラス、唯商工當局ニ申上ゲルト、間ヲ缺カセナイト仰シヤイマスケレドモ、愈々間ガ缺ケタ時ニ困ルノデアリマスカラ、此ノ點ヲハツキリシテ置イデ戴キタイノデアリマス
○藤原國務大臣 御尤モノ御答デアリマスガ、ハツキリドウ云フ工合ニシタラバ宜カラウト云フ案ヲ、今此ノ席上デ申上ゲルコ

トハ一寸困難ト存ジマス、併シナガラ若シ只今御説ノ通り五萬連位ナコトデアリマスレバ、選舉用紙ト云フモノヲ凡ソ五萬連ト見越シテ、前以テソレヲ準備シテ置クコトハ、不可能デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレドウ云フ工合ニ準備シテ、ドウ云フ風ニ配給ヲシテ行カト云フコトハ、今此ノ席上ニ於テハツキリ申上ゲレバ、大變御納得ノ行カトト存ジマスケレドモ、一寸申上ゲ兼ネマス
○松本委員 五萬連ト云フ數字ハ、私ノホソノ一寸考ヘタケデスカラ、其ノ數字ニ因ハレテハ困リマスケレドモ、商工大臣カラソレダケ力強イ言葉ヲ載キマスレバ私共安心致シマス、ドウカ事務當局ニ於キマシテハ、只今ノ大臣ノ御答辯ヲハツキリ記憶シテ置イデ戴キタイト思ヒマス、ソレデ大臣ニ細カイ問題デスガ一二御尋シタイノデスガ、歐洲ノ戰爭ト云フモノト日本ノ第三國貿易ノ前途ノ御見透シト云フコトニ付テ御伺シタイト思フノデアリマス
○藤原國務大臣 大體ニ於キマシテ、鐵道工業ノヤウナ日本ノ一番優越ナ工業デ、英吉利ナドト非常ニ競争ノ地位ニ立ツテ居リマシタヤウナモノハ、日本ノ稅制經濟ノ運用ガ其ノ宜シキヲ得マシタラバ、歐洲大戦ノ結果餘程都合ニ伸張シテ行クノデアリカト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ政府ト致シマシテモ、此ノ統制經濟ヲ旨ク運用シテ、物資ノ配給ヲ良クシテ、斯ウ云フ輸出貿易ヲ伸張セシムルコトニ努力ヲシナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレカラ又之ニ反シテ鐵工業デアルトカ、或ハ機械工業トカ、目下極ク急遽ニ輸入ヲシタイ精糖工業ト機械ト云フヤウナモノヲ輸入致シマスコ

トハ、段々困難ニナツテ參リマシタ、ソレガ爲ニ我國ノ産業發展上ニ多少ノ障礙ヲ來スト云フコトハ、ドウモ免レナイヤウニ存ジマス、尙ホ其ノ外ニ色々爲替關係キ其ノ他ニ於テ、今マデ歐洲各國カラ輸入シテ居リマシタモノノ輸入モ段々窮乏ニナリマスシ、米國其ノ他カラモ隨テ窮乏ニナリマスカラ、サウ云フ方面ニ於テ若干ノ障礙ヲ來スコトハ免レナイト存ジマスガ、是ハ已ム得ナイ現象デアリマスカラ、國內ニ於テ努力シテ何トカ急場ノ凌ギヲ付ケルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス
○松本委員 大臣ハ此ノ間何處カノ委員會カ本會議カデ、北歐四箇國ニ對スル日本カラノ輸出ガ相當有望デアリカノヤウニ仰シヤイマシタガ、其ノ點ヲ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス
○藤原國務大臣 先般歐洲ヲ觀察致シマシタガ、北歐四箇國、即チ「フィンランド」、瑞典、挪威、丁扶、之ニ「アイスランド」ヲ入レテ北歐五箇國ト歐洲デハ申シマスケレドモ、「アイスランド」ハ小サイ國デアリマスカラ、私共ハ北歐四箇國ト申上ゲタ方宜イト存ジマスガ、此ノ北歐四箇國ハ、其ノ國ノ狀態ニ依リマシテ多少ノ相違ハアリマスケレドモ、何レモ原料並ニ食料品ヲ輸出シテ、製造品ヲ輸入シテ居ル國デアリマシテ、比較的ニ富ノ程度ガ高ク、貿易ノ高ナドモ非常ニ多クイデアリマス、此ノ四箇國ノ貿易ハ日本ノ一倍半位ニナルヤウナ大キナ貿易ヲ致シテ居リマス、人口ハ僅カデアリマスケレドモ、貿易ノ高カラ見ルト非常ニ多クイデアリマス、サウシテ國民ハ皆富シテ居リマス、斯ウ云フ國ニ行ツテ見マシテモ、英吉利若クハ獨逸ト云フ國ガ、此ノ北歐四

箇國ノ貿易ヲ殆ド占有シテ居リマシテ、他ノ各國ハ指ヲ染メルコトモ出来ナイヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ私共ノ考デハ、斯ウ云フ國ニ日本ガモウ少シ努力シテ、日本ノ製造品ヲ輸出シテ、向フ原料品ヲ輸入スルヤウニ努力シタラバ、將來ハ餘程有望デアリカカラウカト考ヘテ居リマス、併シナガラ今回ノ戰爭ニ依リマシテ「フィンランド」ハ戰爭ノ渦中ニ投ジテ居リマスシ、瑞典モ今ハ戰爭ニハナリマセマスケレドモ、餘程戰爭ノ危險ヲ蒙ツテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、今直グニ此ノ國ニ對シテ日本ノ製造品ヲ輸出スルコトハドウカトモ思ヒマスシ、又運輸スル船ノ關係モアリマスカラ、今日直チニ其ノ目的ヲ達スルト云フコトハドウカトモ思ヒマス、將來ニ於テ戰爭ノ進展ノ模様ニ依ツテハ、是非努力シテ見タイモノデアルト考ヘテ歸リマシタ、是ハ商工大臣トシテノ考デナクシテ、私一人ノ考ヘカモ知レマセマスガ、サウ云フコトヲ歸ツテカラ發表シタノデアリマス
○松本委員 只今ノ御話ハ、商工大臣トシテ御答辯ノ中ニアツタコトト私ハ記憶スルノデアリマスガ、北歐ニ對スル貿易ガ有望ダト云フヤウナコトガアツタノデアリマス、只今ノ御話カラ承ツテ見テモ、現時ノ情勢ニ於テ、少クとも此ノ歐洲大戦ノ進行中ニ於テ、北歐ニ對スル貿易ガ俄ニ日本ニ有利ニ運ブトハ一寸考ヘラレヌコトデス、只今御説明ノ最後ノ點ニ於テ、戰爭ノ進展ニ依ツテ更ニ考ヘテ見タイト云フヤウナ御話ガアツタノデアリマスガ、御承知ノ通り英國ハ此ノ方面ノ外國貿易ニ對シテ或ル制限ヲ加ヘヨウトシテ居ルヤウデアリマシテ、從來何

年間の平均輸入ハ認められ、ソレ以上ニ超エテ輸入ハ許サナイト云フヤウナ建前ヲ採リテ居ルヤウデアリマス、此ノ英吉利ガ北海ヲ封鎖シテ居ル状態ニ於テマシテ、少クモ此ノ歐羅巴戦争ノ進行中ニ於テ、北歐諸國ニ對シテ貿易ノ進展ト云フコトハ、私ハ望メナイヤウニ考ヘルノデゴザイマスガ、是ハ英國ノサウ云フ障礙ヲ突破シテ、日本ノ此ノ方面ニ對シテ輸出貿易ヲ進展スルコトガ出來ルト云フ御見込デゴザイマセウカ

○藤原國務大臣 英國ガ北歐四國ニ對スル輸出、輸入ヲ制限スルト云フコトハ、英國自身ノコトト存ジマス、此ノ北歐四國ハ經濟上ニ於テハ全然獨立國デアリマスカラ、若シモ英國ガ海上ノ封鎖ヲシテ北歐四國ニ對シテ輸出、輸入ヲ禁止シテシマフトカ、之ニ障礙ヲ與ヘルトカ云フ方針ヲ執レバ兎モ、御説ノ通り今ノ所デハ、マダサウ云フ工合ニ對シテ北歐四國ノ貿易ヲ封鎖シテ居ルトモ存ジマセウカ、瑞典ト日本トノ間ニハ、マダ瑞典ノ汽船ガ航海ヲ致シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスカラ、マア今ノヤウナ状態ガ續キテ居レバ、從來英國カラ供給シテ居ル物ノ若干ハ、今後日本カラ供給スルコトガ出來ルト云フヤウニナリ得ルノデハナイカ、併シナガラ海上權ハ絕對ニ英吉利ニアルノデアリマスカラ、其ノ英吉利ノ態度如何ニ依ツテ變化スルト云フコトハ申上ゲテ置キマス

○松本委員 私共素人ノ間クコトデアリマスカラ、勿論確實性ガ乏シイノデアリマスガ、私共ノ承リマス所デハ、英國ハ是等北歐諸國カラ敵國ニ對シテ物資ガ動イテ行クコトヲ防ギ止メル、其ノ爲ニハ斯ウ云フ北歐諸國ニ對シテ貿易ヲ禁止スルト云フコトハ出來マセウカ、今マデノ平均以出入ルコトヲ止メルト云フ方針ヲ執ツテ居ルヤウニ承ツテ居リマス、之ニ對シテ中立國ガ同意ヲシナイコトハ勿論デアリマセウケレドモ、遺憾ナガラ英國ハ力ヲ以テサウ云フコトヲヤリツツアルヤウニ承ツテ居リマス、ソレデハ商工大臣ニ御願ヲシテ置キタイノデス、ドウモサウ云フ情勢ノ下ニ於テ、北歐諸國ニ對シテ日本ノ輸出貿易ガ急激ナ増加ヲ見ルト云フコトハ、私ハ出來ナカラウト思フノデアリマスガ、併シモ吾々ノ所見デゴザイマスカラ、唯ソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマス、其ノ外ニ歐洲戰爭ノ此ノ目前ノ事態ニ於テマシテ、日本ノ第三國向輸出ガ急激ニ増進シ得ル見込ガ、ドンナ方面ニ認メラレルデセウカ、其ノ御見透シヲ一ツ承リタイノデゴザイマス

○藤原國務大臣 依リマスルト、先ツ最近ニ於テ日本ノ爲ニ有利ニ輸出貿易ガ伸張スルデアラウト思フモハ人相工業デ、是ハ歐洲戰爭ニ依ツテ日本ガ非常ニ有利ノ地位ニ立ツテ居ルヤウニ存ジマス、ソレ故ニ是ハ何ヲ措イテモ電氣トカ、石炭トカ云フヤウナモノノ供給ヲ滑カニシナケレバナリマセウカ、サウシテ此ノ生産ヲモウ少シ増加シテヤリマス、第一ニ此ノ人相ノ如キモノハ餘程急進ニ發展スルノデハナイカト思ヒマス、其ノ次ニハ綿製品、是亦今マデ英吉利ト競争ノ地位ニ立ツテ居リマス所ノ各方面ニ於テ、相當ニ有利ニ發展スルノデハナイカト思ヒマス、コトデ御断リ申上ゲテ置キマスガ、斯ウ云フ時局ノ際デアリマスカラ、運送トカ物資トカ色ナ障礙ガ澤山ニアル、日本バカリデハアリマセウカ、世界各國共ニデアリマスガ、サウ云フ經濟状態ノ下ニ於テ、急激ニ棚カラ牡丹餅ガ落ちタヤウニ、非常ニ發展ヲスルト云フコトハ考ヘラレナイト思ヒマス、兎ニ角日本ガ有利ノ地位ニ立ツテ發展シ得ルモノト考ヘテ居リマス

○松本委員 實ハ何故斯ウ云フコトヲ御尋スルカト云フト、此ノ間本會議ニ於テ大口君ノ質問ニ對スル商工大臣ノ御答辯ノ中ニ、石炭ノ供給サヘ出來レバ直チニ何千万圓モ輸出ガ殖エルヤウナ現状ニアルト云フ御言葉ガアリマシタ、堤君ノ質問ニ對スル御答辯ニモ、サウ云フ御言葉ガアツタノデアリマス、サウ云フコトデアラナラバ大變結構ダト思フノデアリマスガ、果シテ直ダ何千万圓モ輸出ガ殖ヤセルヤウナ實情ニアリマスカト云フコトヲ、數學的ニ理論的ニ承ツテ見タイノデアリマス

デ、正確ニ申上ゲレバ宜シイノデスケレドモ、私ノ腰ダマカラ申上ゲルト、全體ノ我國ノ輸出貿易ノ五割一寸弱、四割何分ト云フモノガ中小工業ノ生産品デアリマス、是ハ松本君モ能ク御承知ノ通りデアリマス、是等ノ中小工業ノ生産地ハ、名古屋カラ大阪方面ガ非常ニ多イノデアリマス、大部分關西カラ名古屋方面ニ此ノ中小工業ト云フモノガアルノデアリマス、其ノ中小工業ガ電力、石炭ノ不足ノ爲ニ非常ニ打撃ヲ被ツテ居ルカラ、此ノ電力ト石炭ノ飢饉ヲ皆ク緩和スレバ、何千万圓ノ輸出ガ直チニ可能ダト云フコトハ、私ノ腰ダマデサウ云フコトヲ確信シテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ申上ゲテデアリマス、是ハ數字ハ申上ゲテ置キマス、其ノ粗但所ハ外レテ居ラスト存ジマスカラ、左様ニ御承知願ヒマス

○松本委員 ソレハソレデ承ツテ置キマス、次ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、先達テカラ大變石炭ノ問題ノ質問應答ガ多ウゴザイマシテ、私共モ靜ニ承ツテ居ツテ大イニ得ル所ガアツタノデアリマス、大臣ハ石炭ノ問題ニ最モ御心ヲ注ガレテ居ルヤウデアリマシテ、洵ニ敬服ニ堪ヘマセウカ、實ハ私共此ノ間大臣ト堤君トノ質問應答ヲ聽イテ驚イタノデアリマスガ、發送電會社ト云フ一日ニ何万噸ト云フヤウナ石炭ヲ要スルヤウナ所ガ、僅ニ三千噸四千噸ト云フ石炭ヲ民間カラ買取ツタト云フヤウナコトガ、既ニ實ニ驚クベキ事實ナノデアリマシテ、餘リニ從來ノ窮屈デアツタコト、程度ノヒドカツタコトヲ知ツタノデアリマス、此ノ石炭ノ問題ハ、モウ色々私共諒イコトハ申シマセウカ、大臣ガ御就職ニナツタ時ハ石炭ハドウ云フ状況デ、是ガ今マデノ御苦心、御心勞ニ依ツ

テドウ云フ風ニ、ドレダケ出ルヤウニナツタノダト云フコトヲ御示ヲ戴キタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 是ハ又繰返シ申上ゲルコトニナリマスガ、少シ冗長ニナツテ時間ガ長クナルカト思ヒマスガ、石炭ノコトハ詳シク申上ゲタ方ガ徹底スルト思ヒマスガ、シコトデアリマシテ、春カラ夏ニ掛ケテ貯藏シテ置キマシテ、冬ノ季節ニ備ヘルト云フノガ一般ノ産業ノ常デアリマシテ、何處デモサウ云フ工合ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ發送電會社ノヤウナアア云フ公共的ノ、國民生活ニ非常ニ影響ナル大會社ニ於テマシテハ、夏ノ間ニ十分ナ石炭ヲ貯藏シテ、冬ノ季節ニ備ヘルト云フコトハ當然ナコトデアリマス、所ガ色々ナ事情ガアツテ、昨年ノ八月頃カラ石炭ガ段々缺乏シテ、十二月頃ニ至ツテハ殆ド其ノ貯藏ガ一應モナクナツタ、斯ウ云フガ現状デアリマス、ドウ云フ譯デアリマシテ、バ色々アリマセウカト思ヒマスガ、是ハ通信大臣カラ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマス、兎モ角昨年ノ暮ニナツテ一應モ石炭ノ貯藏ガナクナツタ、ソコヘ持ツテ來テ偶々海上ハ非常ニ輸送ノ困難ナ時期ニナリマシテ、例ヘバ北海道ノ如キハ船ガ十五六杯モ碇泊シテ居ツテモ、風波ノ爲ニ積込ガ出來ナイ、御承知ノ通り北海道ハ一月、二月ハ非常ニ風波ノ多イ時デアリマシテ、斯ウ云フ惡イ天候ガ續イタ爲ニ船ハ出帆スルコトガ出來ナイ、若松カラ大阪ノ間モ、是亦時化ノ爲ニ積込ガ出來ナイ、又積込シタ船ガ豫定通り大阪ニ著クコトガ出來ナイ、斯ウ云

フコトガ重ナリマシタ爲ニ、一應モ貯藏ガナクテ、唯サヘ困ツテ居ル發送電會社ハ直チニ非常ニ困ツテシマツタ、其ノ上ニ度々運信大臣ガ申通り、非常ニ渴水デアツテ、電氣ノ出力ノ方モ非常ニ減少シタ、斯ウ云フ色々ノ原因ガ重リ重ツテ、一月ノ初旬ニナリマシテ、會社ハ電力ヲ益々削減シテ、需要者ニ多大ニ迷惑ヲ掛ケナケレバナラヌヤウナコトニ陥ツタノデアリマス、偶々私共ガ就任致シマシテカラ、先ヅ以テ此ノ問題ニ付テ臨時應急ノ處置ヲ執ツテ、國民生活ノ上ニ安定ヲ與ヘ、需要者ニ迷惑ヲ掛ラスヤウニシタイト云フ考ヲ持チマシタ、兎モ角石炭ノ不足スルノダカラ、此ノ石炭ノ不足ヲ充シテ、臨時ニ其ノ不足分ノ石炭ヲ供給スルコトガ最大ノ急務デアルト考ヘマシテ、ドレダケ不足スルカト云フ計算ヲ出シテ見マシタ所、一月カラ二月ニ掛ケテ十六萬噸ノ石炭ガ不足スルコトガ分リマシタ、サウ云フ數字ガ出タモノデアリマスカラ、當業者ニ談判ヲ致シマシテ、協力ノ意味ヲ以テ十六萬噸ノ不足ノ石炭ヲ供給セルコトヲ懇談致シマシタ、當業者モ色々困難ノ事情ガアリマシタケレドモ、之ニ應ジマシタ、此ノ不足分ノ石炭ノ供給ガ出來レバ、現在ノ難關ヲ突破出來ル譯ダト考ヘマシタ、此ノ十六萬噸ノ石炭ハ二月申ニハ供給ハ出來ルト思フケレドモ、一月ノ初メニハ差當ツテ今日、明日ノ石炭ニ缺乏シテ居ツテ、此ノ十六萬噸ノ石炭ノ來ルマデ間ニ合ハナイ、來サヘスレバ緩和スルコトガ出來ルケレドモ、來ルマデ待テナイ、斯ウ云フヤウナ状況デアリマシタ、サウ云フ其ノ石炭ガ來ルマデノ間穴ガ明イテ、需要者ニ電氣ヲ益々節約シテ貰ハナケ

レバナラヌト云フ困難ニ打突ツテ行ク、ソコデ臨機ノ處置トシテ、其ノ石炭ガ來ルマデノ間、陸海軍及ビ民間ノ貯藏炭ヲ一時發送電ニ借入レテ、其ノ穴ヲ塞イデ、何トカシテ難關ヲ突破シテ行カウ、斯ウ云フ計畫ヲ立テタ、大阪府知事ヲ中心ニシ、其ノ他ノ諸官衙及ビ大阪ノ官民一同ガ大イニ協力シテ、サウ云フ方針ヲ進シマシタ、所ガ洵ニ不幸ナコトニハ、昨年ノ八月以來度度サウ云フ石炭ノ不足ガアツテ、發送電ガ大阪ノ當業者ノ石炭ヲ借リテ、一時凌イダコトガ二度アルサウデアリマス、其ノ石炭ヲ今日マデ返サナイ、斯ウ云フ事情ガアルモノダカラ、再ビ發送電ガ當業者ニ石炭ヲ借リタイト云フテモ貸ス人ガナイ、ソレデハ非常ニ困ル、今度ハ商工大臣ト運信大臣ガ確ニ保障シテ返サセルカラ、大阪地方ノ石炭ヲ借入レテ、何トデモシテ此ノ難關ヲ凌ガウデハナイカ、斯ウ云フ方針ヲ立テテ、大阪府知事ニ其ノ旨ヲ含メタ、大阪府知事モソレヨリ外ニ方法ガナカラウト云フコトデ、其ノ趣旨ニ依ツテ民間トノ交渉ヲ進メテ見タ、所ガ民間ニモ案外世間デ言フヤウニ澤山ノ石炭ガナイモノダカラ、ソレモ皆ク行カナイ、又海上ノ風波モ、季節ガ季節デアリマスカラ、中々回復シナイ、若松カラノ石炭ヲ豫定通り來ナイ、北海道ノ色々手配ヲシテ見タケレドモ、是モ季節ガ惡イモノデアリマスカラ、總テ思フ通りニ來ナイ、是デハ捨テ置ケナイト云フノデ、一面ニ於テハ採算ヲ無視シテ外國炭ヲ買ツテ萬一ノ用意ヲシタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ積リテ外國炭ヲ買フコトヲ斷行シタ、斯ウ云フ譯デアリマス、其ノ後ノコトハ、御

承知ノ通りニドウモ是デハ心許ナイカラ、電力調整令ヲ頒布大臣ガ斷行シ、節約ヲ強シテ貯炭ヲ作ル、其ノ貯炭ノ力ニ依ツテ二月二十日頃カラハ二割ノ制限電氣ヲ供給シテ行クコトニシヨウ、斯ウ云ウ案ヲ立テマシタ其ノ案ヲ實行スル爲ニハドウシテモ此ノ儘デハ宜シクナイ、先ツ各省ノ間ノ機關ノ連絡ヲ十分ニシテ、例ハバ通信、商工、内務、鐵道、陸海軍、拓務、厚生ト云フ關係各省ノ間ノ機關ヲ總動員シテ、各省次官ヲ以テ臨時ニ石炭ノ委員會ヲ組織シ、ソレニ大阪、京都、兵庫、愛知ノ各縣知事ニ參加シテ實ヒマシテ、此ノ對策ノ實行ノ方法ヲ協議スル、石炭ガ出テモ船ガ間ニ合ハナイノデハイケナイ、是ハ要領省、石炭ガアツテモ其ノ運送ガ皆ク行カナイトイケナイ、是ハ鐵道省、其ノ外ニ陸海軍トカ總テノモノガ連絡力シテ、兎モ角モ二月二十日カラハ二割制限デ供給ノ出來ルヤウニスルコトニ、最大ノ努力ヲ拂フコトニナリマシタ、其ノ委員會ノ協議ノ結果、石炭ノ主ナル積出港、小樽、室蘭、或ハ若松トカ云フ所ニ要領省、商工省ノ役人ヲ出張セシメ、一面ニ於テハ内務省、鐵道省其ノ他ノ關係省ト連絡ヲ緊密ニシテ、積出シテ監督シ、ソレカラ輸送船ノ手配ヲスルト云フコトニ付テ、臨時應急ノ事務所ヲ作ツテ活動ヲ開始シテ、是ハ餘程效果ガアツタト存ジテ居リマス、ソコヘ偶々天候モ回復シテ來テ、雨モ降ツテ參リマシタ、旁、今日デハ相當ニ石炭ノ輸送モ滑カニナツテ來タヤウデアリマシテ、通信大臣ハ此ノ二十日カラハ二割制限デヤツテ行ケルグラウト云フコトヲ、此ノ議會デモ明言セラレテ居リマスシ、私モサウ云フ工合ニ行クノデハナカラウカ

ト考ヘテ居リマス、是ガ今マデノ經過デアリマス
○松本委員 大變御苦心ノ程ハ詳シク分リマシタガ、モウ少シ正確ニ伺フテ見タイト思ヒマス、燃料局長官ニ伺ヒマスガ、今商工大臣カラ石炭ニ付テ、組閣前、カラ御苦心ニナツタ段々ノ御話ガアツテ、御苦心ノ程ハ能ク分リマシタガ、是ガ結果ニドウ現ハレテ居ルカ、少タトモ今日發電ノ爲ニ最モ必要トスル關西地區ニ於ケル石炭ノ入荷量ハ、其ノ御苦心ノ結果、ドウ云フヤウナ數字デ浮イテ居ルカト云フコトヲ、一ツ御手數デモ御示ヲ願ヒタイ
○東政府委員 二月ニ入りマシテ發電電ヘノ入炭ノ狀況ハ、大分好クナツテ參リマシタ、今ノ所二十日マデニ約二十九萬噸バカリ入見込ニナツテ居リマス、是ハ大分内輪ニ見テ居リマス
○松本委員 何時カラデスカ
○東政府委員 二月一日カラ二十日マデニデス、ソレデハ實際ハモウ少シ殖エルノデハナイカト思ツテ居リマス
○松本委員 ソレデハ今仰シヤツタ數字ハ、商工大臣ガ非常ニ御心配下サツタ結果、ソレダケノ量ガ出ルヤウニナツタノデゴザイマセウカ
○東政府委員 ソレハ商工大臣ガ御心配ニナツタ結果、全部ガ其ノ結果デアルト云フ意味デハゴザイマセウ、併シ其ノ結果ソコマデ入炭ガ好クナツテ來テ居ルト、斯ウ御解釋戴イテ宜イと思ヒマス
○松本委員 サウナルト今商工大臣ガ御話下サツタコトハ、大變御苦心ノ程ハ推察致シマスケレドモ、別ニ特別運ツタコトデモナケレバ、少タトモ政府ノ局ニ在ラセラレ

ル人トシテハ、ソレダケノ御心遣ヒ、ソレダケノ御用意ガアツテ然ルベキコトノヤウニ私共ニハ承レルノデアリマス、然ルニ商工大臣御就任前ハソレダケノ御用意モ皆様ガ爲サレズニ、商工大臣ガ御心遣イマシタヤウニ、實ニ帝國ノ産業ヲ非常ナ危機ニ陥レルヤウナ狀態ヲ抛ツテ御置キニナツタト云フコトニ對シテハ、私共今マデノ方ニ責任ガアルノデハナイカト思フ、私ハ別ニ其ノ責任ヲ追及シヨウト云フノデハアリマセウケレドモ、商工大臣ガソレダケノコトヲヤレバ困ラナイヤウニナルト云フノデアツタナラバ、今マデガ遺憾デアツタト云フ結論ニナルノデハナイカト思ヒマス、意地悪ク其ノ點ヲ追及シヨウト云フノデハアリマセウガ、此處ニ國策研究會カラ貰ツタ數字ガゴザイマス、ソレニ依リマスト二月一日ノ入炭量、是ハ關西地區デアリマスガ、八千二百噸、二日ガ八千六百噸、三日ガ一万二千噸、四日ガ七千七百噸ト云フヤウナ數字ガ見エテ居リマス、是ハ其ノ眞價ノ程ハ分リマセウケレドモ、斯ウ云フヤウナ數字ハ、今マデノ見込ト違ツタ非常ニ殖エタ數字ト承知シテ宜イノデアリマセウカ、或ハ間違ッテ居ルカモ知レマセウガ、間違ッテ居ツタラ正確ナ數字ヲ御示シ願ヒタイノデアリマス
○東政府委員 發電電ノ所要石炭ノ發送方ニ付キマシテハ、前大臣、現大臣共ニ色々御苦心ニナツテ盡力致シテ居リマス、私共其ノ御指圖ニ從ツテ前大臣ノ時代モ、現大臣ノ時代モ、同様ニ盡力ヲ致シテ居リマス、大體發送電關係ノ石炭ノ今年一月カラ三月マデノ關係ヲ申上ゲマスレバ、昨年ノ十月一日カラノ配給ノ計畫ニ依リマシテ、發送電ニ相當テマシタ石炭ハ、一月割當トシテ

六十五萬噸、二月ノ分トシテ五十四萬噸、三月ノ分トシテ四十三萬噸程ガ、發送電ニ對スル割當ノ殘ガ殘ツテ居リマス、所ガソレデハ此ノ一月、二月ハ特ニ渴水ノ狀況ガ甚シイ爲ニ、非常ナ不足デアルカラ到底ヤツテ行ケナイ、少タトモ一月七十五萬噸、二月七十五萬噸ナケレバ、十二月ノ時ノヤウナ狀態ヲ維持スルコトガ出來ナイト云フコトガ、昨年暮カヲノ發送電側及ビ電氣廠側ノ意見デゴザイマシタノデ、其ノ一月及ビ二月ノ石炭、詰リ一月十萬噸、二月二十萬噸、所要量ニ對シテ割當ガ足ラヌト云フ關係ニナリマスノデ、其ノ三十一萬噸ノ石炭ヲドウシテ發電電ノ爲ニ確保シヨウト云フコトヲ、昨年ノ暮カラ非常ニ苦心ヲ致シタノデアリマス、ソレヲ確保致シマス爲ニ、是ハ發送電ヘノ供給ハ極メテ容易デアリマス、併シナガラサウ云フコトヲ致シマシテハ、勢ヒ又ソレ等ノ産業ニ非常ナ影響ヲ及ボシマスノデ、サウ云フコトヲセズニ、別途合計三十一萬噸ノ石炭ヲ一月及ビ二月ニ發送電ニ供給シタイト云フコトデ苦心ヲ致シマシタ、ソレハ先ツ昨年商工省及ビ通信省、鐵道省其ノ他企業院、興亞院、對滿事務局、陸海軍、拓務省等ノ關係各省寄リマシテ相談シタ結果、先ツ第一ニ北支炭ノ輸入ヲ出來ルダケ殖ヤサウト云フコトヲ考ヘマシタ、ソレカラ次ニ臺灣炭モ若干入レヨウ、ソレカラ其ノ外ノ鐵道用ノ炭モ若干振替ヘテ發電電ノ方ニ融通シテ貰ハウ、其ノ他色々ナコトヲ考ヘマシテ、其ノ三十一萬噸ノ確保方ニ付テ具體的ナ計畫ヲ立テ

テ、ソレヲ實現スベク努力致シタノデアリマスガ、併シ荷役ノ關係、輸送ノ關係等カラシテ、實ハ其ノ計畫通り入ツテ參リマセデシタ、サウ云フ譯デ、一月ハ中々發送電ニ對スル石炭ノ納入ガ計畫通りニ參リマセデシタ、ソコデ更ニ新商工大臣御就任後ハ其ノ外ニ、是ハ新聞等ニ出テ御承知ノ十六萬噸ヲ、昭和系カラ特別ニ繰上ゲテ納入シテ貰フコトニ御盡力ニナツタ譯デアリマス、最近ハ暮カラ北支炭ノ納入其ノ他ニ付テ計畫シテ居タコトガ、ヤツト效果ヲ現ハシマシテ入ツテ來テ居リマスシ、又其ノ十六萬噸ノ分モ少シゾウ入ツテ來テ居リマスノデ、旁、最近納入狀況ガ好クナツテ來テ居ル、斯ウ云フ狀況デアリマス
○松本委員 大體ノ事情ハソレデ判明致シマシタガ、ソレ等ノ石炭ノ入手、輸送狀態ハ、大體先刻商工大臣カラ願調ニ行クト云フヤウナ御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ燃料局長官モ御認メデゴザイマセウカ
○東政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ、昨年暮以來關係各廳ト協力致シマシテ計畫致シマシタコトガ、計畫通りニハ參ツテ居リマセウガ、段々ソレガ效果ヲ現ハシテ參ツテ居リマスノデ、今後ハ納入ノ狀況ハ餘程好クナルト考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ上ニ一月ノ半バカラ二月ノ二十日マデ相當大幅ノ電力ノ消費ノ制限ヲ致シマシテ、極力貯炭ニ努メテ居リマスノデ、二十日マデニハ相當ニ發送電ノ貯炭モ殖エテ行クト考ヘルノデアリマス、サウシマシレバ今マデノヤウニ、一日カ二日天候ガ荒レタ爲ニ石炭船ガ著カス、サウスルト直チニ焚ク石炭ガ無クナルト云フヤウナコトハナクナリマシテ、今後ハ相當安心シテ行ケルモノト考ヘ

テ居リマス
○松本委員 私ガナゼ斯ウ云フコトヲ御尋スルカト申シマス、吾々將來ノコトヲ考ヘルノデス、只今ノ燃料局長官ノ御説明ニ依ツテ稍私共モ了解致シマシタケレドモ、實ハ現在ノ商工大臣ハ、先般來ノ御話ノ筋デ承ツテ居リマス、ボウモ前任者ノ當時ノ手當ガ不十分デアツタ結果、就任後非常ニ御困リニナル狀況ニ置カレタト云フ風ニ、私ニハ聞エルノデアリマス、サウスルト私等ハ、現任者ニ對シテ非常ニ同情申上ゲルト共ニ、前任者ノ怠慢ト云フコトヲ責メナケレバナラスノデアリマス、現在ノ大臣ノ仰セニナル所ニ依リマスレバ、今度ハ斯ウ云フ風ニナツテ石炭ガ非常ニ願調ニナル、斯ウ云フコトデアリマス、サウスルト石炭ガアレバ貿易モ何千萬圓デモ殖エル、斯ウ云フコトニ承レルノデアリマス、此ノ内閣ハ勿論相當長ク壽命ヲ保ツテ行カレルト思ヒマスケレドモ、併シ現在ハ時々思ハザル政變ガアツタ入手ガ困難ニナツテ來ル、或ハ石炭ノ入手ハ出來タケレドモ、貿易ハ思フヤウニ仲展シナカツタト云フ場合ニ、幸ニ現大臣ガ就任シテ居ツテ下サレバ、吾々ハ又其ノ時御尋シマスケレドモ、其ノ通行力ナカツタトスレバ、後引引受ケタ人ニ對シテ、前大臣ハ此ノ通り言ツタケレドモ、前大臣ニテ出來ナクナツタ、前大臣ノ失策デハナイカ、斯ウ言ツテ責メナケレバナリマセウカ、吾々ハ長キニ互ツテ政治ノ方向ヲ見届ケテ參ラネバナラスモノデアリマスカラ、ソコデ今日ハ斯ウデアツタケレドモ、大臣ガ逃ツタカラ出來ナクナツタト云フヤウナコ

トハ困ルノデアリマスカラ、ソコヲ一ツ明ニ致シテ置キタイノデアリマス、其ノ積リテ私ハ承ツテ居ルノデアリマスカラ、モウ大臣ガ御選リニナラウトモ、他人ガ御出デニナリマセウトモ、斯ウ云フコトハ其ノ通り運ブノダト云フコトヲ、私ハハツキリ突止メテ置キタイノデアリマス
○藤原國務大臣 私ノ申上ゲヤウガ惡カツタカ、或ハ御聽達ヒガアリマシテハ遺憾デアリマスカラ、此處デ一應念ノ爲ニ繰返シテ私ノ所見ヲ申シテ置キマス、私ハ前任者ノ處置ガ宜シキヲ得ザルガ爲ニ斯ウ云フ工合ニナツタ、自分ガ之ヲ引受ケタカラ今後ハ良クナルノダト云フヤウナ積リ申上ゲタコトハ一同モノイト存ジマス、若シサウ云フ風ニ御聽取デゴザイマシタナラバ、是ハ私ノ申上ゲヤウガ惡カツタノカモ知レマセウ、サウ云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居リマセウカラ、ドウゾソレダケハ御安心ヲ願ヒタイ、詰リ度々申上ゲタノハドウ云フ事情ガアツタニモセヨ、日本發送電會社ガ貯炭ガ一應モナクシテ、アレダケノ大規模ノ發電ヲシテ居ルト云フコトデアルカラ、一寸天候ガ惡イト云ヘバ、直チニ需要者ニ迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナコトニナツタノデアツテ、ドウシテモアレバ滑カニ、アノ會社ノ營業ヲシテ需要者ニ不便ヲ來サシメナイヤウニスルニハ、少タトモ百万噸トカ百五十萬噸トカ云フ貯炭ヲ持つテ行カナケレバイカヌモノデアルト自分ハ思フ、斯ウ云フコトハ申上ゲマシタケレドモ、必ズシモ前任者ノ處置ガ惡イカラトカ、自分ガアレバサウチヤナイトカ云フヤウナ、サウ云フサウシイ考ヲ以テ申上ゲタコトハ全然ナイト存ジマス、ソレダケハ繰返シテ申上ゲテ

置キマスカラ、誤解ノナイヤウニ御願致シタイ
○松本委員 私モ其ノ點ハサウダト思ヒマスガ、併シ私共聽イテ居リマス、ドウモ實ハサウ聽エルノデアリマス、私ハ一昨日カ此處デ以テドナタカノ質問ニ對シテ御答ニナツタ大臣ノ御言葉ノ中デ、斯ウ云フコトヲ承ツタノデアリマス、商工事務當局ノ事務上ノ點ニ付キマシテノ御注意ハ確ニ諒承致シマシタ、人ハ使ヒヤウニ依ルト云フコトヲ昔カラ申シテ居リマス、庖丁ト缺トハ使ヒヤウニ依ルト云フコトヲ申シテ居リマスカラ、事務當局ヲ獎勵致シマシテ、遺憾ノナイヤウニ今日ノ統制經濟ヲ十分ニ運用致スコトニ努力致シタイト存ジマス、斯ウ仰シヤツタ、是ハ石炭ノ問題デアリマセウ、統制經濟ニ對スル協力大本君ノ質問ニ對シテダト思ヒマスガ、結局ノ裏カラ申シマス、今マデノ事務當局ハ使ヒヤウガ惡カツタカラ思フヤウニ行カナカツタ、庖丁ト缺トハ使ヒヤウニ依ル、ダカラ自分ガ是カラ使ヒヤウニ依ル、ダカラ自分ガ、是ハ大臣ノ御意見ニ對シテ悉ク敬服致シマス、又是非サウアツテ戴キタイノデアリマス、併シナガラサウ言ヒマス、ドウモ私共事務當局ニ對シテ不滿ヲ申サナケレバナラス、私ハ事務當局ハ尊敬サレル方デアツテ、使ヒヤウニ依ツテ切レタリ切レナカツタリサレテハ一寸困ルノデアリマス、併シ私ハ此ノ點ニ付テ別ニ大臣ト押問答シヨウトスルノデモ何デモアリマセウ、大臣ノ御心持ハ能ク了解致シマス、了解ハ致シマスガ、御言葉ヲ聽イテ居リマス、ドウモ今マデノコトハ大變イケナカツタト云フコトヲ度々仰シヤツテ居ラレ、

勿論御心持ハサウ云フコトハナカラウト
思ヒマスガ、言葉ノ使ヒ方カラシテ、ドウ
モ吾々ハサウ感ジラレマスノデ、私ハ此ノ
點ヲ伺ツテ居ルノデアリマス、勿論其ノ通
リ運ブテラウトハ思ヒマスガ、若シ將來左
様ニ運バナカワツトハ、吾々ハ又ドウ云
フ譯デ新ウ云フコトニナツタカト云フコト
ヲ、二應ニシナケレバナラヌ場合ガアルコ
トヲ考ヘテ伺ツタノデアリマス、ソコデ今
度ハ問題ヲ變ヘマシテ、液體燃料ノ問題ニ
付テ伺ヒタイノデアリマスガ、米國ガ今後
日本ニ對シテ益、非友誼的措置ヲ執ツタ場
合ニドウスルカト云フコトニ對シテ、米内
總理大臣ノ先般極メテ力強イ御言葉ガアリ
マシク、是ハ言葉ダケデ如何ニ強イコトヲ
仰シヤツテモ、之ニ對スル現實ノ問題トシ
テ、具體的ノ用意ガナカワツタイカスト思
フノデアリマスガ、米國カラ假ニ石油ガ來
ナクナツ場合ニ、之ヲ何處カニ振替ヘテ
取ルトカ、或ハ之ニ代ルベキ所ノ措置ヲ講
ズルトカ云フ途ガアルデアリマセウカト云
フコトヲ、一ツ承リタイノデアリマス

○藤原國務大臣 若シ米國カラ液體燃料ガ
來ナイヤウニナツ場合ニハドウスルカト
云フコトニ付キマシテハ、相當ニ考ヲ持ツ
テ居リマス、ケレドモ今此處デソレヲ具體
的ニ申上ゲルコトハ一寸御速申上ゲタイ
ト存ジマス

○松本委員 其ノ點ハソレデ諒解致シテ置
キマスガ、私共カラ考ヘレバ、少クトモ今日
輸入ノ出來得ル狀態ニアル時ニ輸入ヲシテ
置ク、サウシテ米國カラ來ナクナツ時ニ
何處カニ振替ヘルト云フコトハ、恐ラク對
策ハオアリデセウケレドモ、米國カラ輸入
シタ時ノヤウニ簡單ニハ參ラヌト云フコト

モ考ヘラレルノデアリマスカラ、米國ガ日
本ニ對シテ非友誼的ノ行動ヲ執ルカモ知レ
ヌト云フコトヲ前提トシテ、其ノ對策ヲ講
ジテ居ル以上ハ、今日輸入シテ持ツテ居ル
所ノ石油ト云フヤウナ物ハ、サウ云フ非常
時ニ際シテ、緊急缺クベカラザル用途ニ用
フル爲ニ、之ヲ貯藏シテ置クコトヲ考ヘナ
ケレバナラヌノデアリマス、口デ如何ニ
對策アリノト云フテモ、對策ヲ實際ニ行ハ
ナカワツナラバ、結局相手カラ日本ガ輕侮
サレルコトニナルノデアリマス、今日ノ如
ク米國ガ日本ニ對シテ如何ナル措置ヲ執ル
カモ分ラナイト云フコトヲ豫想シナケレバナ
ラナイ場合ニハ、液體燃料ノ消費ニ付テハ、
モツト政府トシテハ、斷乎テ考慮ヲ御執リ
ニナル必要ガアルノデアリマス、斯ウ考ヘ
ルノデスガ、其ノ點ニ對スル御所見ヲ承リ
タイト思ヒマス

○藤原國務大臣 御尤モ御尋デス、其ノ
通りデアリマス、ケレドモ今政府デ色々計
畫シテ居リ、且ツ實行セントシツツアル色
色ナコトヲ具體的ニ申上ゲマスレバ、直チニ
御諒解ノ行ク所ト存ジマスガ、ソレヲ只今
此處デ申上ゲ兼ネルノデアリマス、政府ハ
最善ノ努力ヲ盡シテ居ツテ、サウ云フ場合
ガアツテモ、ソレニ直チニ跟張リシテ何タ
レルヤウナコトノナイヤウナ準備ヲシテ居
ルト云フコトダケヲ、ドウソ御承知置キテ
願ヒタイ

○松本委員 私ハソレハドウモ大臣ガ如何
ニ仰セラレテモ一寸諒解出來ナイノデス
ガ、サウ云フ場合ガアツテモ、日本ノ現在
動イテ居ル自動車ガ支障ナク動クヤウナ情
勢ト云フモノハ、吾々ハハ考ヘラレナイノ
デスガ、サウ云フコトガアリマスレバ、是

程力強イ喜バシイコトハナイノデスガ、之
ヲ一ツ承リタイ

○藤原國務大臣 無論ソレヲ詳シク申上ゲ
マスレバ、内地ニ於テハ極力消費ノ節約ヲ
スルトカ、或ハ國內ノ產出ヲ殖ヤスコトニ
努力スルトカ、或ハ人造石油ノ產出ヲ增加
スルトカ、無水「アルコール」ヲドウスル、
或ハ貯藏ヲドウスルカ云フヤウナコト
ヤ、其ノ外ドウ云フ計畫ヲ立テ行タトカ
云フ譯ニハ行カナイコトハ當然ノコトト存
ジマス、併シ最善ノ努力ヲシテ、サウ云フ
コトガアツテモ何トデモシテ之ヲ切抜ケル
コトノ出來ルヤウニ努力ヲシ、計畫ヲシテ
居リマスト云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デア
リマス

○松本委員 大變譯イヤウデスガ、私ノ申
上ゲルコトハ、消費ヲモツト嚴格ニ抑ヘル、
一旦サウ云フコトガアツタ時ニ、急激ニ消
費ヲ抑ヘルト云フコトデナク、今日カラ或
ル程度ノ消費ヲ抑ヘテ行クコトガ必要デハ
ナイカ、此ノ點デアリマス、是ハ今日ノ消
費ヲ抑ヘナクテモ此ノ儘デ宜シイ、サウシ
テ一旦サウ云フ場合ガアツテモ、今日ニ於
テ動イテ居ル自動車ハ、大體支障ナク動ク
ルト云フ御見透シガアリマスレバ、是程結
構ナコトハナイ、私ハ是等ニ對シテ何處ニ
振替ヘルトカ、他ノ液體燃料ヲドウスル、
或ハ「アルコール」ヲドウスルト云フヤウナ
コトハ承ラナクテモ宜イノデアリマス、唯
今日ノ消費ヲ此ノ儘ニシテ置イテ宜イノカ
ト云フコトヲ一ツ承リタイノデアリマス

○藤原國務大臣 御説ノ通り今日ノ消費
ハ、其ノ意味バカリデハナク、色々ノ意味
カラ申上ゲマシテモ、モウ少シ消費節約ヲ

實行セザルヲ得ナイヤウナ事情デアリマシ
テ、無論國民ニ對シテハ若干ノ迷惑ヲ掛ケ
ルカモ知レマセウケレドモ、消費節約等ニ
付テハ今色々計畫シ、工夫シテ居ル際デア
リマスカラ、左様御承知願ヒマス

○松本委員 ソレデ宜イノデスガ、迷惑ヲ
掛ケルカモ知レヌト仰シタルガ、迷惑ハ亞
米利加カラ日本ニ來タナラバ、モウト急
激ニ掛カルノデス、是ハ私ガ申上ゲナクテ
モ御分リノ通りデアル、ソコデサウ云フコ
トガ眼ノ前ニアルトスレバ、サウ云フ場合
ニ國民ニ迷惑ヲ掛ケルコトヲ少クシテ、切
リ抜ケルト云フヤウナ對策ガ今日カラアツ
テ決定シテ、乘用自動車ハ全部禁止スルコ
トニ決メテ、而モ實行出來ナカワツト云フ
經緯モアルノデスカラ、簡單ニサウハ參ラ
ヌコトハ能ク諒解致シマスルケレドモ、モ
ツト私共ハ斷然タル處置ガナクテハナラ
ヌ、結局米國ガサウ云フ措置ヲ執ラナカ
タ場合ニハ、ソレヲ使ヘバ宜イノデスカラ、
米國ガ日本ニ如何ナル非友誼的措置ヲ執
ラトモ、之ニ對スル十分ナル覺悟アリ、用
意アリト一方ニ言ヒナガラ、現實ノ上ニ於
テ其ノ用意ト云フモノガ見エナイト云フコ
トガ、米國ニ日本ノ脚ヲ見透カサレル所
以ニナルヤウニ思ヒマスルカラ、大臣ガ用
意ガアルト仰シタルノニ、私共用意方不適
當チヤナイカト云フノハ失禮デアリマスシ、
又ソレ程行詰ツタ事情ニナイナラバ、ソレ
程結構ナコトハナイノデアリマスカラ、其
ノ點ハ只今ノ御聲明ヲ私共満足ヲ以テ承ツ
テ置キマス、モウ一ツダケ御尋致シタイ、
是ハ監理局長ニ御尋ヲ致シタイノデスガ、
皇紀二千六百年ヲ記念スル萬國博覽會、是

ガ開カレナカワツコトハ御承知ノ通りデア
リマス、政府ハ之ニ御協力ニナツテ居ツタ
ガ、一體萬國博覽會ト云フノハ、ドウ云フモ
ノヲ御考ニナツテ居ルノデゴザイマセウカ
○牧政府委員 萬國博覽會ノ件ニ付キマシ
テハ、國際博覽會ニ關スル條約カラ申シマ
スト、萬國博覽會ト云フノハ、其ノ名稱ノ
如何ニ拘ラズ、外交手續ニ依リマシテ參加
ハ數個ノ部門ニ於テ、一國ノ進歩ヲ示ス如
キ博覽會ト云フコトニナツテ居リマス

○松本委員 ソレハ能ク分ツテ居リマス
ガ、一體政府ノ御見解デハ、ドウ位ノ國ガ
入ツタモノヲ萬國博覽會ト云フノデス

○牧政府委員 數ニ於キマシテハ別段確カ
ル觀念ガナイノデスガ、普通萬國博覽會ト
申シマスルト、ヤハリ有力ナ數箇國ノ參加
ヲ要スルヤウニ存ジテ居リマス

○松本委員 ソレデ此ノ萬國博覽會ハ、一
昨年ノ七月デスカ、遂ニ御止メニナツタノ
デスガ、其ノ止メル當時マデニ、日本ノ計
畫シタ萬國博覽會參加ヲ應諾シテ居ツタ國
家ハドンナ國家デセウカ

○牧政府委員 正式ニ參加ヲ決定シタ國
ハ、十三年ノ四月ニ伊太利、ソレカラ六月
ニ「ブラジル」ガ參加ヲ決定シテ居リマス、尙
ホ大多數ノ國ニ於キマシテハ、好意的ノ態
度ヲ示シテ居リマシテ、殊ニ獨逸、佛蘭西、
漢洲等ハ參加ノ内意ヲ示シテ居リマシタ
○松本委員 萬國博覽會ノ條約ニ御印シテ
居ル國ハ、此ノ博覽會ニ對シテドウ云フ態
度、解釋ヲ執ツテ居リマスカ

○牧政府委員 調印國中參加ヲ承諾シタモ
ノハ、伊太利ト「ブラジル」ダケデゴザイマシ
テ、是ハ正式ニ參加ヲ決定シマシタガ、其

ノ他獨逸、佛蘭西、漢洲等モ其ノ内意ヲ表
明シテ居リマス

○松本委員 大體ノ事情ハ分リマシタガ、
ソコデ此ノ日本人ノ通念トシテ、萬國博覽
會ト云フト、少クトモ英國デアルトカ、佛蘭
西デアルトカ、白耳義、和蘭、獨逸、伊太
利ト云フヤウナ、所謂主要國家位ハ參加ス
ルトコトヲ諒解シテ居ツタラウト思フノデア
リマス、サウ云フ國家ノ參加ハ、或國ハ參
加ヲ承諾シタモノモアリマスケレドモ、或
國ハ參加ヲ難シクシテ居ツタヤウニ考ヘルノ
デアリマス、其點ハ宜イガ、唯其當時ニ於
テ萬國博覽會ノ割増金附入場券ト云フモノ
ガ賣出サレタノデアリマス、割増金附入場
券ヲ買フ者ハ、萬國博覽會デアルカラ、少
クトモ常識的ニ考ヘテ、主要國家位ハ此ノ
博覽會ニ參加スルモノデアル、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居ツタラウト思ヒマスガ、併シ現
實ノ問題トシテハ、申サウハ行カナカワツ
タ切符ノ金額ハ、參考資料トシテ載キマ
シタモノニ依リマス、五百萬圓バカリニ
ナツテ居リマス、是ハ割増金附入場券ノ法
案ヲ議會ニ付議サレタ當時ノ大臣ノ説明
モ、其ノ當時新倉君ハ多分政府委員デオ居
デニナツタト思ヒマスガ、其ノ新倉君ノ説
明ニ依レバ、政府ガ何トカシテ戻スベキ
デアル、是ハ商工大臣ガ仰シヤツタ、新倉
政府委員ハ不當利得ノ原則ニ依ツテ、是ハ
返すべきモノデアルト云フ風ニ言ツテ居ラ
レマスガ、此ノ點ハソレキリ止メタ以上ハ、
適當ナ處置ガ講ゼラレナケレバナラヌト思
ヒマスガ、政府ノ御所見ヲ承リタイ

○牧政府委員 萬國博覽會ヲ開催シナイコ
トニマダ定メテ居ルノデハゴザイマセス、
實ハ斯ウ云フ時局デゴザイマセウカラ、或ル
期間延期スルト云フコトニナツタノデアリ
マス、隨ヒマシテ其ノ前賣券ヲドウスルカ
ノ問題ガアルノデアリマスガ、今ノ所デハ
將來開催シタ際ニ、其ノ入場券ヲ有效ナラ
シムルト云フ方針ノ下ニナツテ居ルノデア
リマス

○松本委員 此ノ博覽會ガ唯萬國博覽會ト
云フノデハナクテ、紀元二千六百年記念萬
國博覽會デアリマスカラ、紀元二千六百年
ニハ開ケナイノデアリマスカラ、紀元二千
六百年記念萬國博覽會ト云フモノハ、アリ
得ナイコトノヤウニ思ヒマスガ、如何デゴ
ザイマスカ

○牧政府委員 紀元二千六百年ヲ記念スル
博覽會ト致シマシテハ、他ニモ記念事業ガ
アルノデアリマスカラ、ソレ等ノモノト一
緒ニ適當ノ時機ニ開催シヨウト云フ考ヲ持
ツテ居リマス

○松本委員 他ニモト仰シタルガ、ドンナ
モノデスカ

○牧政府委員 二千六百年記念ノ事業ニ關
スル色々モノデゴザイマスガ、例ヘバ、オ
リンピック「デアルトカ、他ニ色々モノ
ガ多クアルノデアリマスガ、ソレ等ノモノ
モ一應延期ニナツタノデアリマスカラ、是
等ト一緒ニヤラウト思ツテ居リマス

○松本委員 其ノ點ハ明ニ政府委員ノ考慮
デアリマス、オリンピック「協會ニ於テハ、
紀元二千六百年ノ記念トシテ、オリンピッ
ク」ノ會ヲ日本ニ開クト云フコトハ、之ヲ
否認スルノデアリマス、サウ云フコトデ、
日本ニ開クト云フコトハ絕對ニ認メナイ、
斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、是ハ

政府委員ノ御考慮ヒデアルト思ヒマスガ、將
來御開キニナルト云フコトデアリマスカラ、
其ノ御開キニナルコトヲ待ツコトニ致シマ
セウ、併シ私ハ其ノ當時ノ政府ノ御答辭カ
ラ承リマスト云フト、少シク足ラヌヤウニ
思ヒマス、吉野商工大臣ノ回數入場券ヲ購
買シタ人ニ非常ニ迷惑ガ掛ルト云フヤウナ
事情ガ、假ニ生ズルヤウナコトガアル場合
ニハ、政府ニ於テモ相當ニ考慮シタイモノデ
アリマス、斯ウ言ツテ居リマス、デスカラ
實ハ政府トシテハ相當ノ考慮ヲ爲サルベキ
ダト思ヒマスガ、是モ他ノ事デ御止メニナ
ツタノデヤナイ、國家非常ノ重大ナ秋ニ御
止メニナツタノデスカラ、國民モ勿論諒解
ハ致シテ居ルト思ヒマス、又政府ヲ責メヨ
ウトハ思ツテ居リマセウカラ、ソレダケノ
御答辭デ満足ヲ致シテ置キマス

○原主査 次ハ田原君

○田原委員 先般豫算總會デ石炭問答ヲ
聽イテ居リマシタガ、私ハ炭坑地方ニ居ツ
テ、多少斯ウモシタラト思フコトガアルノデ
アリマス、ソレヲ申上ゲテ御意見ヲ伺ヒタ
イ、ソレト今日工場ガ全國ニ設立サレル狀
況ヲ見テ居リマス、之ニ對スル全國的
ナ統制ト申シマスカ、計畫指導ガ足ラナイ
ノデナカラウカト思フノデアリマス、例ヘ
バ東京、神奈川、或ハ大阪ヲ中心トシタ地
方、總テ此ノ資本技術ノアル所ガ中心ニ
ナツテ工場ガ偏在シテ居リマス爲ニ、電力
或ハ勞務計畫、或ハ石炭ト云ツタヤウナモ
ノノ計畫ガ伴ハナイ爲ニ、今日ノ如ク石炭
ガ足ラナイノデハナイカト思フノデアリマ
ス、吾々ノ方ノ北九州ニ於キマシテハ電力
ガ餘ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ石炭
ハ勿論地元デアリマスカラ、炭坑カラ一時

間以内ノ所ニ幾ラデモ工場敷地ガアルノデ
ゴザイマスガ、從來左様ニ工場ガ備在シテ
居ツタ爲ニ、斯ウナツテ居ルノデアリマス
〔主査退席、松本主査代理着席〕

ソコデ將來ノ問題ト致シマシテ、今後日本
ノ各種ノ工場ヲ新シク設立シヨウトスル
場合ニハ、是ハ高工省アルカ、内務省デ
アルカ存ジマセウガ、高工省ト致シマシテ、
勞務計畫、ソレカラ石炭、電力ノ計畫書ナ
ド添テ出サナケレバ、工場ノ設立ヲ許
サナイト云フ位ニサレマシテ、サウシテ多
少本社ト工場トノ場所ガ違クナツテ居ル、
假ニ東京ニ本社ガアリマシテモ、工場トシ
テハ九州ニ持ツテ來ラレト云フ風ニサレ
ルナラバ、將來石炭ノ輸送ニ付キマシテハ
工合ガ好クナルト思ヒマス、左様ナ所請工
業力ト申シマスカ國土計畫ト申シマスカ、
ニ付キマシテ藤原サンノ御考ヲ聽イテ見タ
イト思ヒマス

○藤原國務大臣 只今御説ノ通りニ、成ベ
ク都會ニ集中シナイヤウニ、或ハ石炭ヲ餘
計使ヒマス工業ハ石炭ノ地方ニ、電氣ヲ餘
計ニ使ヒマス工業ハ電氣ノ地方ニ、其ノ
他特殊ノ原料ヲ餘計ニ使ヒマス工業ハ、其ノ
特殊ノ原料ノ所在地ニ、又ハ其ノ近イ所ニ、
若クハ勞務上ノ關係デ、鐵道工場ノヤウニ
人ヲ要スル工場ハ、成ベク其ノ人ヲ餘計ニ
得ラレルヤウナ、サウ云フ風ニ工場ノ所在
地ヲ分散シテ、都會ニバカリ集中スルト云
フヤウナコトノナイヤウニスルト云フコトガ
今後ノ我が工業ノ分布ノ上カラ申シマシテ
モ、其ノ外諸般ノ經濟若クハ社會ノ色々
ナ複雜ナ問題、教育ノ問題トカ、色々ナ問
題カラ考ヘマシテ、其ノ方ガ國家ノ爲ニ有
利デハナイカト存ジテ居リマスガ、今ノ所

一定ノ方針ヲ以テ政府ガ之ヲ命令シテ、指
導シテ、劃一的ニヤツテ行クト云フヤウナ
所マデハ、至ツテ居ラスヤウニ存ジテ居リ
マス

○田原委員 其ノ點ガ例ヘバ總動員法ノ發
動ニナルノカ、單行法ニナリマスガ存ジマ
セスケレドモ、至急ニキル必要ガアルト思
フノデアリマシテ、ソレハ今度ハ鐵道ノ問
題カラ見マシテモ、八幡ノ日本製鐵作リ
マスモノガ、一應船ヤ汽車ヲ以テマシテ大
阪ノ大問屋筋ニ行クノデアリマス、是ガ大
阪カラ又地方ニ卸サレル習慣ニナツテ居リ
マス爲ニ、或ル品物ニ依リマシテハ、大阪
カラ再ビ小倉ナリ、若松ニソレガ返ツテ來
ルノデアリマシテ、サウシテソレヲ小サナ
鐵工場ガ使フト云フヤウナ狀態デアリマス、
結局汽車ガ足ラヌトカ船ガ足ラヌトカ言ツ
テ居リマシテモ、サウ云フツノ何ト申シ
マスカ、自然ニ發達シテ道筋ガアリマス爲
ニ、今回ノヤウナ問題ニナツテ來ラヌト思ヒ
マスカラ、私ハ高工省デ研究ナサラヌト云
フヤウナコトデナクテ、何カ急遽ニ之ヲ一
ツ綜合的ナリ――企畫院等ニ相談サレマシテ
無駄ノナイヤウナ全國ノ計畫ヲ立テテ載
キタイト希望シテ置キマス、ソレカラ次ハ
國策會社ト全般ニ付テテチツト見テ居リマス
ト、設立サレマシテハ、非常ニ立派ナ目的デ、
設立ニ際シマシテハ必要ナ法律ヲ議會ニモ
出シマスシ、例ヘバ北支那開發會社デア
ルカ、或ハ中支振興會社デアリマストカ、
或ハ古クハ滿鐵デアルトカ、東拓デアルト
カ出來テ居リマスガ、一旦設立サレテシマ
ヒマスト、全ク民間ノ會社ト違ハナイヤウ
ニ經營主義ニナリマシテ、場合ニ依ルト國
策會社ト國策會社トノ相互ノ間ニ事業ノ獄

合ヒ、奪合ヒノ如キモノガアリマシテ、チ
ツトモ民間ノ會社ト變ラナイヤウナ狀態ヲ
示シテ居ル、又半面ニ於キマシテ國家ノ保
護ガアル爲ニ、待遇其ノ他ノ點ニ付テハ非常
ニ良イ、或ル場合ニハ免稅ノ特典モアリ、實ハ
或ハ配當保障ノ如キ特典モアル、實ハ
吾々ハ國策會社ガ多過ぎテ、無統制デア
ルコトニ不満ヲ持ツノデアリマス
〔松本主査代理退席、主査着席〕

上海ニ於ケル中支振興會社、アレハ振興ヲ
中止シテ居ルモノデアルト言ハレハレ位デ、
是ハ一例デアリマスガ、兎ニ角國策會社ニ
ナルト、急ニ能率ガ下ルト言ハレテ居リマ
ス、高工省トシテハ、通信系統ノ日本發送
電デアラウトモ、或ハ興亞院系統ノ國策會
社デアラウトモ、事務モ專業ニ關聯ヲ持ツ
テ出來テ居ル會社ハ、全般ノ指導、或ハ國
策會社ト相互ノ橫ノ連絡ト云フモノヲサレ
ルヤウナ、何カ國營局ト云フモノヲサレ
ルヤウナ作ラレレカ、現在ノ局ノ中デサ
ウ云フモノヲ作ラレレカ、ソレデ統制サレラ
宜イカト思ヒマスガ、何カサウ云フ御考ハ
アリマセウカ

○藤原國務大臣 先刻御考ノ工業地方化ノ
點ニ付キマシテハ、只今申上ゲタコトヲ若
干訂正致シマシテ、實ハ工業地方化委員會
ト云フモノガ出來テ居リマシテ、産業ノ全
國ノ分布ヲ、只今御指摘ニナリマシタヤウ
ナ趣旨ヲ以テ檢討シテ、研究スル爲ニ、陸
海軍、商工、鐵道、通信ト云フヤウナ各省
カラ委員ガ出マシテ、專ラ其ノ調査ヲシテ、
調査費モ豫算ニ計上シテ、只今其ノ研究ヲ
致シテ居リマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ
願ヒマス、次ノ第二點ノ御考ハ、御尤モデ
アリマスカラ、能ク研究致シタイト存ジマ
ス

○田原委員 其ノ工場地方分散委員會ト云
フモノガアルト云フコトハ結構デアリマス
ガ、ソレガドレダケノ強制力ヲ持ツテ居ル
カト云フコトガ問題デアリマシテ、地方ニ
工場ガ出來マス經過ヲ見マス、各府縣ノ
工場課ニ、先ヅ最初ニ敷地ヲ決メテ、建築
願ノ如キ程度ノモノヲ出シマシテ、甚シク
地方ノ縣トシテノアレニ觸レナケレバ直チ
ニ許可ニナルト云フノガ實情デアリマス、
併シナガラ今日全國ノ見マス、今日地
方廳ダケニ許シマスカラ、一種ノ取込のニ
ナリマシテ、大阪府下、東京府下等ニ出來
ルノデアリマシテ、是ガ全國ノ産業立地
計畫ガ必要デアルト云フノガ私ノ意見デア
リマスカラ、今高工省ニ出來テ居リマス其
ノ種ノ委員會モ強制力ヲ持ツテ、強制移轉
命令ヲ出セル位ノ力ヲ持タナケレバ、今日
マデノ實情ヲ調べる程度デアリマシテハ、
恐ラク又此ノ冬カラ石炭需要期ニ入りマシ
テ、又石炭問題ガゴトノスルノデヤナイ
カト思ヒマスカラ、其ノ點ヲ強ク要望スル
意味デ私ハ申上ゲタノデアリマス

○藤原國務大臣 御尤モデアリマスカラ、
其ノ御趣旨ニ依ツテモウ少シ能ク研究ヲ進
メタイト存ジマス

○田原委員 次ハ在外同胞ノ經濟指導問題
ニ觸レタ點デ、大臣ノ御抱負ヲ承リタイノ
デアリマス、御承知ノ通り爲特政策其ノ他
色シナ關係デ、成ベク海外拂テ少クスル、
併シナガラ又同時ニ日本ノ必要ナ最小限度
ノモノハ確保スルト云フ最近ノ御方針カ
ラ、例ヘバ「ブラジル」デ二十數萬ノ日本人
ガ「コーヒー」ヲ作ツテ居ルガ、「コーヒー」
ノ海外拂テ節約シテ色シナ對策ヲ立テテ居

ル、而モソレハ日本ノ貴重ナル海外拂ノ中
デノ暴利デアリマスカラ、皆斯ウ云フ業者
ト云フモノニ對シテ不愉快ヲ持ツテ居ツタ
所ニ、生産者ガ團體ヲ作りマシテ、規定ノ
二百五十萬依ノ中デ三十萬依カニナルサウ
デアリマスガ、ソレ以上ニ殖ヤスト云フノデ
ハナイ、其ノ範圍デ自分達ノ作ツタ麻ダケ
ヲ五萬依ナリ八萬依ヲ輸入スルヤウニ輸入
權ヲ認メテ貰ヒタイト云フノデ、昨年ノ八月
ニ陳情ニ參ツテ居リマシタ、外務、商工、
大藏、農林、企畫院、各方面ニ陳情書ヲ出
シテ、殆ド毎日ノヤウニ陳情ニ廻ツテ居ル
ヤウデアリマスガ、是等ノ陳情ニ對シマシ
テ、今度ハ從來輸入業者並ニ現地ノ買付業
者カラ反對ノ運動ガ起ツタノデアリマス、
其ノ反對ノ理由ニナリナイヤウナ反對デア
リマスガ、大體反對者ノ理由ナルモノヲ見
テミマス、第一ハ是ハ純粹ノ農民デア
ルカラ、商賣ニ慣レテ居ナイカラ、「コスト」ガ
高ク掛ラダラウ、ソレカラ輸入業者ニサ
ウツタ方ガ宜イ、ソレカラ貿易商ニサ
ラシタ方ガ宜イダラウ、ソレカラ貿易商ガ
中ニハ現在内地ニ陳情ニ來テ居ル代表者ノ
人物ガ惡イ、始終現地デ領事ナドト、喧嘩ヲ
シテ居ルノダカラ、アア云フ者ニヤラシテハ
駄目ダト云フ代表ノ人物ニ對スル非難、斯
ク非難ガ先手廻リニ各官廳ニ廻ツテ居ル
ノデアリマシテ、是ハ在外ノ農民アタリハ
内地ニ始終歸ツテ來ル機會ガナイカラ、内
地ノ才役人ニ會フ機會ガナイノデアリマス
ケレドモ、貿易業者ハ内地ノ支店ヲ東京ニ
持ツテ居リマスノデ、色々ノ機會ニ――實
會其ノ他ノ機會ニ各官廳ニ會フ機會ガ多イ
ノデアリマス、又學校ガ同學デアルト云フ

ルコトモ分ルノデアリマス、又南洋ノ比律
賓群島ニ於キマシテ、「ダバオ」ト云フ所ニ
一萬七千人ノ日本人ガ、三十四五年前カラ
政府ノ保護モ何モナク、素寒貧行ツテ麻
ヲ作ツテ居ル、其ノ一萬七千人ノ内三千戸
ノ麻ノ農民ガ居ルノデアリマスガ、是ガ昭
和十二年ノ事變直前マデノ數字ヲ見マス
ト云フト、日本金ニ致シマシテ二千萬圓ノ麻
ヲ生産シ、ソレガ英吉利、亞米利加ガ、日
本ト、大體七百萬圓見當ニ三分サレテ輸出
サレテ居ツタノデアリマス、日本ハ約七百
萬圓ノ麻ヲ買ツテ居ツタノデアリマスガ、
事變後ノ爲替ノ關係カ何カデ、二百四五
萬圓ニ減セラレテ居ル、是ハ日本トシテ
必要ナサウナツタノデアリマスカラ、之ニ對
シテ「ダバオ」在住同胞ガ文句ヲ言ツテ居
ルヤナクシテ、然ラバ二百五十萬圓ニナツ
タカラ、「ダバオ」ニ在住シテ居ル日本人ノ
麻ダケデモ、セメテ買ツテ與レルカト云フ
ニ、比律賓全體デ出來マス麻ノ四割ガ「ダ
バオ」ノ日本人ノ麻デアリマスガ、割當
點ニ付キマシテ、輸入業者ノ便宜上カ
ラ、輸入業者ノ從來持ツテ居ツタ實積ヲ基
礎トシテ、輸入割當ガアツタ爲ニ、「ダバ
オ」以外ノ比律賓ノ百姓ノ麻ノ方ガ餘計
ニ參ツテ、商工省ニモ他ノ關係官廳ニモ
陳情ニ行ツテ、大體在留同胞ノ經濟ヲ可能
ナル範圍デ援助ヲスル趣旨ガ認メラレテ
輸入ノ生産先ノ割當ハ或ル程度變更ガ出來
タノデアリマスガ、其ノ際商工省ノ役人デ
アリマシタカ、他ノ才役所デアリマシタカ知
リマセウガ、是等ノ陳情者ニ對シマシテ、
君達ハ唯割當地ノ變更ト云フヤウナコトデ
ナク、モツト積極的ニ、農民ナラ農民同志ガ、

丁度内地ノ産業組合ノヤウニ共同出荷組合
ノ如キモノヲ作ツテ、品質ノ改良ハ固ヨリ
値段ノ不當ナル暴落ヲ防イデ、生活ノ安定
ヲ圖ツタ方宜イデヤナイカト云フ「ヒント」ヲ
與ヘタサウデアリマス、此ノ「ヒント」ヲ
非常ニ有難ク頂戴致シマシテ代表ハ一旦歸
リマシタ、昨年ノ六月頃デゴザイマセウ
ト思ヒマスガ、其ノ三千戸ノ麻ノ生産者ノ
中デ、差當リ一人當リ五「ベツ」ツツノ出資
ヲ致シマシテ、八百名ガ「ダバオ」麻生産者
組合ト云フモノヲ作りマシテ、之ヲ比律賓
政府ガ許リ日本デ謂フ産業組合、「コーポ
レーション」ニオン、規則ニ依リマシテ認可
ヲシテ居ルノデアリマス、彼等ノ目的トス
ル所ハ、日本ガ輸入政策ヨリ突然三分ノ一
ニ減少シタガ爲ニ麻ノ値ガ上ツタカト云フ
ト、却テ現地ノ輸入買付業者ハ幾ラオ前等
ガ作ツテモ、日本デハ買ハナイソト云フ爲
ニ暴落ヲシテ居ルノデアリマス、然ラバ、
是ダケ暴落シタモノヲ安ク日本ニ輸入業者
ガ入レテ居ルカト申シマス、神戸ノ輸入
同業會等ノ數字ヲ見マシテモ、チツトモ安
クナツテ居ラナイノデアリマシテ、日本デ
ノ販賣値段ハ事變前ノ値段トチツトモ變ツ
テ居リマセウ、而モ是ハ公定價格等デナク
三倍ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ私共
九州ニ居リマス者トシマシテハ、「マオラ
シ」ヲ作レト云フコトヲ言ハレハ、麻ノ代
用ニ「マオラシ」ヲ作ツテ「ロープ」工場ニ供
給シテ見マシタガ、力ガ弱イカラ逆モ代用
ニハナラナイノデアリマス、内地デハ困ツ
テ居ル、現地ノ農民モ麻ノ値段ノ暴落ニ依
ツテ非常ニ困ツテ居ル、中間ニ居リマス七
軒ノ輸入業者ダケガ不當ノ利益ヲ貪ツテ居

ル、而モソレハ日本ノ貴重ナル海外拂ノ中
デノ暴利デアリマスカラ、皆斯ウ云フ業者
ト云フモノニ對シテ不愉快ヲ持ツテ居ツタ
所ニ、生産者ガ團體ヲ作りマシテ、規定ノ
二百五十萬依ノ中デ三十萬依カニナルサウ
デアリマスガ、ソレ以上ニ殖ヤスト云フノデ
ハナイ、其ノ範圍デ自分達ノ作ツタ麻ダケ
ヲ五萬依ナリ八萬依ヲ輸入スルヤウニ輸入
權ヲ認メテ貰ヒタイト云フノデ、昨年ノ八月
ニ陳情ニ參ツテ居リマシタ、外務、商工、
大藏、農林、企畫院、各方面ニ陳情書ヲ出
シテ、殆ド毎日ノヤウニ陳情ニ廻ツテ居ル
ヤウデアリマスガ、是等ノ陳情ニ對シマシ
テ、今度ハ從來輸入業者並ニ現地ノ買付業
者カラ反對ノ運動ガ起ツタノデアリマス、
其ノ反對ノ理由ニナリナイヤウナ反對デア
リマスガ、大體反對者ノ理由ナルモノヲ見
テミマス、第一ハ是ハ純粹ノ農民デア
ルカラ、商賣ニ慣レテ居ナイカラ、「コスト」ガ
高ク掛ラダラウ、ソレカラ輸入業者ニサ
ウツタ方ガ宜イ、ソレカラ貿易商ニサ
ラシタ方ガ宜イダラウ、ソレカラ貿易商ガ
中ニハ現在内地ニ陳情ニ來テ居ル代表者ノ
人物ガ惡イ、始終現地デ領事ナドト、喧嘩ヲ
シテ居ルノダカラ、アア云フ者ニヤラシテハ
駄目ダト云フ代表ノ人物ニ對スル非難、斯
ク非難ガ先手廻リニ各官廳ニ廻ツテ居ル
ノデアリマシテ、是ハ在外ノ農民アタリハ
内地ニ始終歸ツテ來ル機會ガナイカラ、内
地ノ才役人ニ會フ機會ガナイノデアリマス
ケレドモ、貿易業者ハ内地ノ支店ヲ東京ニ
持ツテ居リマスノデ、色々ノ機會ニ――實
會其ノ他ノ機會ニ各官廳ニ會フ機會ガ多イ
ノデアリマス、又學校ガ同學デアルト云フ

ヤウナ關係カラ、隨テ八月カラ今日マデ約
六箇月ニ互ツテ陳情ニ來テ居リマスケレド
モ、未ダ進ンデ居リマセウ、進マナイト
云フノハ商工省ダケノ關係デモナイヤウデ
デアリマシテ、外務省ガ拓務省ニ一部關係ガ
アルヤウデアリマスガ、一面此ノ「ダバオ」
ノ同胞ハ斯様ニ自分等ノ麻ノ母國ニ入ル販
路ガ縮小サレタニモ拘ラズ、支那事變ノ勃
發以來苦シイ中カラ陸軍省ニモ一黨、海軍
省ニモ一黨獻納シテ居リマスシ、時間外ノ
勞働ヲヤリマシテ、屑麻ヲ買ツテ之ヲ國防
獻金ニシテ居リマスシ、母國ニ對スル所ノ
熱情ト云フモノハ、東京邊ノ商人諸君ヨリ
遙カニ強イノデアリマス、若シ卒然トシテ
考ヘタ場合ニ、比律賓ノ政府モ免稅ノ特點
ヲ以テ許可ヲシ、特ニ輸出免稅マデ免除ス
ルト云ツテ許可シテ居ル所ノ一ツノ團體ガ
アル、而モ此ノ團體ノ目指ス所ハ、國內デ
アルナラバ産業組合法ニ基イテ農林省ガ積
極的ニ補助マデ出シテ作りマシタ所ノ全國ノ
農民ノ爲ノ産業組合デアルトカ、又南米デ
言ヒマス、南米ニ一萬ノ日本人ニ百六十
八ノ産業組合ガ出來テ居リマシテ、是モ拓務
外務カラ補助金マデ出シテヤツテ居ル、滿
洲デハ合作社ト申シマシテ、日本集團農場
ニ於キマシテハ販賣、購買、金融マデモ世
話シテ居ル、然ルニ獨リ比律賓群島ニ於キ
マシテハ、自ラノ力デ組合ヲ組織シテ居ル
ニモ拘ラズ、日本政府ガ若シモ各官廳ノ御
都合ニ依ツテ豫定通りノ認可ヲシテ與レナ
イトシタ場合ニ、私ハ日本ノ國ニ對スル所
ノ在留同胞ノ愛國心ト云フモノガ變ツテ來
ルノデアリマシテハ外務省ニ南洋局ヲ作り、拓
務省ニ南方局ヲ作り、斯ウ云フヤウニ南方

ハナカッタトカ、或ハ出鼻ニ鼻緒ガ切レタト云ヘバ、直グ工場ニ行クノ中止スルノデアル、坑内ニ行クノ中止スルノデアル、ソレハ絶エズ自分ノ危険ト云フコトガ頭ノ中ニ沁込シ居ルカデアリマス、ダカラ斯ウ云フ時ニ出レバ何カ間違ガ起リハシナイカト云フコトガ絶エズ頭ノ中ニ沁込シ居ル、ダカラ、坑道ノ中ノ設備ガ多少デモ不完全ニナツテ来レバ、其ノ事ガ入坑率ヲ低下セシメル重大ナル原因ニナルノデアリマス、誰ダツテヤハリ女子供ガアレバ働キタイ、老後ノ爲ノ用意モシタイ、働キタイノデアルケレドモ、ソレト共ニ生命ノ問題ハ、ヤハリ無意識的ニモ大事ニスルノデアル、出来ルダケ危険ト云フコトヲ頭ニ感ズレバ、勢ヒ入坑率ガ下ツテ来ル、今日ノ入坑率ノ低下ト云フコトハ、決シテ労働者ノ収入増加ニ基ク所ノ労働者ノ怠慢ニ基ク所ノ入坑率ノ低下ト云フコトハ、斷ジテ此ノ機會ニ於テ一掃シテ貫ハナケレバナラス、是ハ議員諸君ニモ、政府ノ諸公ニモ、世間ノ人々ニモ此ノ事ヲ明ニシナケレバナラス、私ハ今年ノ正月成田山ニオ詣リシマシタ、其ノ時常磐ノ地方ニ於ケル所ノ坑夫ガ汽車ノ中ニ乗ツテ居リマシタ、ソレド世間ノ政府ノ一部デハ入坑率ノ低下ハ君達ノ収入増加ノ結果ダト言ツテ居ルガドウカト言ツテ、汽車ノ中デ話シ掛ケタ、所ガ其ノ坑夫ハ明ニ飛ンデモナイコトデスト云フノデ、私ノ今申上ダコトト同ジヤウナコトヲ懇ヘテ居リマス、私ガ今日正月ノ休ミヲ利用シテ成田山ニオ詣リスルノモ、此ノ危険ナル所ニ働キテ、出来ルダケ無事息災デアリタイト云フコトヲ願フガ爲ニ、オ詣リスルノダト云フコト

ヲ告白シテ居リマシタ、是ガ眞情ダト思フノデス、商工大臣ハサウ云フ言ガ衆議院デモアツタガ、貴族院デモアツタコトヲドウ云フヤウニ御考ニナツテ居リマスカ
○藤原國務大臣 當業者ニ付キマシテ色々ノ話ヲ聴キマシタ、又當業者以外ノ人カラモ色々ノ話ヲ聴キマシタ、只今御述ベニナリマシタ通り、炭山ノ坑夫ノ収入ガ増加シタガ爲ニ、其ノ外災害保險トカ、色々勞働法ナドノ爲ニ、坑夫ガ若干怠慢ノ氣分ガ出デ困ルト云フヤウナコトヲ懇ヘテ居ル者モ随分ゴザイマス、併シ只今塚本君ノ御述ニナリマシタヤウナコトモ事實デアラウト存ジマス、ソコデ極ク完全ニ諸般ノ設備ヲ持ツテ居リマスル大衆等ニ於テキマシテハ、御承知ノ通りニ設備等モ比較的完備シテ居ル、坑夫ノ生命ニサウ多大ノ危険ヲ及ボス云フヤウナコトハ少イ存ジマスガ、又中小ノ炭山ニ於テキマシテハ、只今塚本君ノ御述ベニナリマシタヤウナ事情モ多クアルト云フコトハ、是ハ私ノ自分實驗上ニ於テ認メテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ彼此レ色々ノ全般ノニ之ヲ眺メマシテ、比較的完備シタ所トカ、比較的收入ノ多イ所トカ、又比較的不完全ナ所トカ、又比較的收入ノ少イ所トカ、少イ所トカ、色々ナ所ヲ全體ヲ眺メテ、之ヲ達觀シテ適當ナ方策ヲ講ズルノガ、即チ商工省ノ責任ト存ジマスカラ、塚本君ノ今御述ベニナリマシタ點ハ能ク考慮致シマシテ、十分ノ御満足ヲ與ヘルコトハ無論出来マイト思ヒマスケレドモ、先ヅ全體ヲ眺メテ適當ノ處置ヲ講ジタイト思ヒマス
○塚本委員 勿論戰時下デアリマスルカラ、労働者ト雖モ時局ハ十分認識シテ居ルと思ヒマス、有リ餘ツタ生活ヲスル爲ニ莫

デセウ、サウシテドウシテモナクテハナラナイ技術職工ハ、今日滔々トシテ中小工業カラ離レツツアルノデアリマス、是ハ實ニ由キシイコトダト思ヒマス、今日政府ニ於テハ輸出産業ヲ盛ニシナケレバナラス、貿易ヲ盛ニシナケレバナラヌト云フコトガ、國策ノ一ツニナツテ居リマスケレドモ、惜テ是カラ電氣ガ元通り復活シテ送電セラレルヤウニナツタ時ニ、工場ノ機械ハ廻リ始メタケレドモ、其ノ機械ヲ使ツテ居ツタ所ノ労働者ガ今居ラナイト云フヤウナコトカラ、送電セラレテモ仕事ガ元通り出来ヌト云フヤウナ小サイ工場ガ相當澤山アルデセウ、此ノ打撃ハ蓋シ其大ナモノデアリマス、幾ラ政府ガ輸出貿易ヲ盛ニシヨウトシマシテモ、其ノ輸出品ガ思フヤウニ製造出来ナイ、其ノ製造能率ハ極メテ低下シテ居ル、斯ウ云フ事ニ遭遇スルコトハ、今日極メテ明瞭ナ事實デアリマス、ソコデ是等中小工業ニ携ツテ居ル所ノ労働者ヲ其處ニ永續セシメテ、將來中小工業家ヲサウ云フ窮地ニ陥レナイヤウニスル爲ニハ、自己ノ資力ヲ以テ其ノ休業手當ヲ出シ得ナイ所ノ事業家ニ對シマシテハ、政府ガ何等カノ補助金ヲ出シテ、労働者ヲ其處ニ止メル政策ヲ執ルト共ニ、將來ニ起ル所ノ中小工業ノ破綻ヲ今カラ防禦スル所ノ政策ガ必要ナルト思フ、是ハ重大ナ問題デアリマス、商工大臣ハ其ノ點ニ御氣付キニナツテ對策ヲ持ツテ居リマスカトヒキタイ
○藤原國務大臣 御説ハ御尤モデアリマス、私ハ今回ノ如キ事變ガナクモ、此ノ時局ノ爲ニ平和産業ニ屬スル所ノ中小工業者ニ對シテ非常ナ打撃ヲ與ヘテ居ルカラ、何トカ救済ノ途ヲ講ズル必要ガアル、此ノ儘ニ

ツテ居ル譯デハアリマセヌ、要スルニ國民ノ最低生活ヲ保障スルコト云フコトガ重大ナ問題デアル、ソレト同時ニ、所謂我黨ノ河上代議士ガ一般質問ニ述ベマシタヤウニ、乏シキヲ患ヘズ均シカラザルヲ患フルデアリマシテ、一方ニ於テ事業主側ガ、労働者側カラ見テ、羨望ニ堪ヘザルヤウナ収入増加ノ爲ニ、是コソ私ハ申上ダレノデアリマスガ、酒池肉林ニ耽ツテ居ルト云ヘバ、餘リ大袈裟カ知レマセヌガ、兎ニ角サウ云フ方面ニ於テハ、非常ニ時局ニ相應シタナイ所ノ生活ヲシテ居ルト云フヤウナコトヲ見セケラレ、ソコニ均シカラザルコトガ労働者ノ頭ニ映ズルト云フヤウナコトハ、努力メテハ避ケテ行カナケレバナラスコトナル、サウ云フ意味ニ於テ是非トモ一ツ十分ナル御考慮ガ御願シタイノデアリマス、ソレカラ次ニハ中小工業者ノ問題デアリマスガ、私ハ今日ノ節電ノ爲ノ停電ニ因リマシラ業カラ來テ居ル問題ヲ、少シ御配慮ヲ願ヒタイノデアリマス、休業シテ居リマシラ労働者ニ付テハ、厚生省カラ六割以上ノ手當ヲ支給セヨ、大體斯ウ云フ指令ガ出サレテ居ツテ、六割程度ノ手當ガ出サレテ居ル、併シナガラ是モ非常ナ大キナ間違ガアルノデアリマスケレドモ、是ハ厚生大臣ニ懇ヘベキ所デアラツテ、商工大臣ニ言フベキ筋合デハアリマセヌガ、必ズシモ嚴格ナ意味ニ於ケル所ノ六割ガ支給サレテ居ルノデアリナイ、世間ノ諸君スル所ノ六割ガ支給サレテ居ルト云フコトハ、頭ニ置イテ數キタイノデアリマス、即チ實收入ノ六割デナクテ、名目賃銀ノ六割シカ支給サレテ居ナイ、是ハ關西ノ業者ガ申シテ、サウ云フ不都合ナコトヲヤウツテ

變更更スルコトモ認メラレナイト云フヤウナ事情アリマス、商工大臣ノ許可ヲ得レバ...

代ノ變遷ト共ニ、或ハ盛シヨナリ或ハ衰ヘ、一盛一衰ト云フヤウナ經過ヲ經テ、サウシ...

ヘルヤウナコトヲシテ、時局ニ必要ナル産業ニノミカヲ盡シテ、コチヲノ方ヲ顧ミナイト...

ヲ認識シマシテ、斯ウ云フ時局下ハ國策ニ順應スルヤウニ自分等ノ産業能力ヲ改メテ...

サレマシタヤウナコトガ如實ニ今日マデ繰返サレテ來タ、例ヘバ石炭ト石油ノ問題ニ...

トモ絕對許サス、他人ノ名義ニスルコトモ許サス、借金ヲ持ツテ居ル者ハ借金ノ利息...

中小工業ノ方ハ、斯ノ如ク多數ノ輕業資金ノ融資ヲ拒絶シテ居ル、斯ウ云フコトガ結...

貸出ハ大工場ニ比シマシテ十分ハ言ヘナイト存ジマス、是ハ銀行ノ方カラ申シマス...

此ノ轉業資金ト云フモノヲ、モツト積極的ニ融資ガ出來ルヤウニ致サケレバナラス、今三十萬圓ノ豫算ヲ承認スルヤウニ提出シタト云ハレタガ、三十萬圓位ノ金デハ到底此ノ需要ニ應ズル額デハナイト思フ、甚ダ不十分デアルト思フデアリマス、此ノ方面ニ付テハ商工省ガ一段ト努力ヲ盡サレナケレバナラヌト思フデアリマス、幸ニ其ノ方面ニ積極的ナ御努力ヲ一ツ御願シテ置キマス、ソレカラ最後ニモウ一ツ私見ヲ申上ゲテ意見ヲ置キタイノデアリマスガ、是カラ輸出貿易ヲ盛ニスル、輸出産業ヲ盛ニスルト云フコトニ、大體政府ガ方針ヲ決メラレタコトハ結構デアリマスガ、ドウモ是マデノ我國ノ輸出産業ト云フモノハ、其ノ多クハ原料ヲ海外ニ仰イデ、更ニ輸出シテ儲カッタ金ノ大部分ヲ原料費トシテ外國ニ支拂ハナケレバナラヌヤウナ状態ニアルト、大マカニ私ハ見テ居ルノデアリマス、是ハ我國ニ於ケル貿易ノ一大缺陷デアルト思フ、是ハ輸出業者全體ノ責任デモアルシ、又商工省ノ責任デモアルシ、大藏省ノ責任デモアルノデアリマスガ、ドウモ我國ノ輸出産業ト云フモノハ、出來ルダケ安イ品物ヲ作ツテ、海外ニ販路ヲ擴メテ行カウト云フコトニ非常ニ努力ヲ拂ヒ過ギタ、其ノ努力ト云フモノハ非常ニ喜ズベキデアリマセウケレドモ、ソレヲ餘リニ度ラ過シテヤツト思フ、安ケレバ關稅ノ障礙ヲ乘越エ、世界到處ニ我國ノ商品ガ覇ヲ占ムルヤウニナツテ來ルノハ當然デアリマス、一面カラ言ヘバ頗ル結構デアリマスケレドモ、其ノ事ノ爲ニ努力ヲ拂ツタ其ノ努力ト云フモノガ、必ずシモ國內ニ、經濟的ニドレダケ酬ヒラレテ居ルカト云フコトヲ

併セテ考ヘテ見マス時ニ、非常ニ——何ト申シマスカ心細イ、吾等トシテハ不満足ナモノガアルノデアリマス、殊ニ是ハ労働者側カラ申シマシテモ、折角吾等ガ一生懸命ニ國策ノ爲ニ産業ニ從事シテ居ルケレドモ、ソレハ實際ノ國際貿易ノ關係ニ於テハ、結局ニ於テ本當ニ國庫ノ收入ヲ殖ヤスト云フヤウナ結果ニナツテ來ルコトガ極メテ薄イト云フ點ガ、同じ仕事ヲシナガラ不愉快ニ感ズル所デアル、ソレハ從來我國ノ輸出産業ト云フモノガ、労働者ノ労働力ト云フモノヲ極メテ輕視シテ居ツタ傾キガアル、労働者ヲ出來ルダケ安クコキ使フ、サウシテ出來ルダケ安イ品物ヲ作ツテ、外國トノ貿易ニ勝タナケレバナラス、斯ウ云フコトニ一途ニ考ヘ込シテ居ル、デスカラ輸出貿易ノ盛ナル産業程私ハソレニ從事シテ居ル所ノ労働者ノ賃金ガ低イ、是ハ具サニ工場労働者ノ賃金ヲ商工省ノ諸君ガ綿密ニ調べバ大體其ノ傾向ガ分ルガ、成程外國貿易ニ打克ツコトノ爲ニ、出來ルダケ安イ品ヲ送出すト云フ——此ノ事ハ宜イノデアリマスガ、其ノ事ノ爲ニ不當ニ労働者ノ労働條件ヲ低下シテ行クト云フコトハ、自ら以テ我國ノ工業技術ト云フモノヲ無視スルモノデアリマス、私ガ言フナラバ、モツト其ノ労働者ノ技術ト云フモノヲ輸出シテ賣ヒタイ、労働者ノ労働價値ト云フモノヲ輸出シテ賣ヒタイ、原料代ニ多クノ金ヲ拂ハズニ——是ハ當然拂ハネバナラスケレドモ、其ノ率カラ見レバ、今ノ労働者ノ労働力ヲ——労働者ノ技術ヲ輸出スルト云フ方面ニ私ハ缺ケテ居ルト思フ、是ハ貿易ヲ考ヘラレル人ノ十分ニ考ヘテ貰ハナケレバナラス所デアルノデアルカラ、出來ルダケ原料

代ヲ少ク使ツテ、サウシテデゾ加工シ、其ノ技術ヲ輸出スルト云フ方面ニ深キ留意ヲシテ貰ヒタイ、サウスレバ假ニ我國ノ輸出貿易ノ總額ノ上ニ於テ多クノ成績ヲ示サズトモ、實際收支計算上ニ於テ得ラヌルヤウナコトニナルノデアリカラウカ、其ノ點ニ於テハ從來トモスレバ労働者ノ技術ト云フモノガ無視サレ勝チデアリマス、今日ニ於テハ此ノ點ニ付テモ一ツ輸出貿易振興ノ上ニ、考慮ノ上ニ考慮ヲ加ヘテ貰ヒタイト考ヘルノデアリマス、當局ノ御意見ヲ承リタイ

○藤原國務大臣 私人只今塚本君ノ御述ニナリマシタコトハ非常ニ御尤モト存ジマス、平素私モサウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス、ソコデ私個人ノ事ヲ申上ゲテ一寸失禮デスケレドモ、御許ヲ得マシテ申上ゲマスガ、今度自分デ歐羅巴、亞米利加ヲ巡ツテ見マシテ、必キ今アナタノ御説ガ實際ニ適シテ居ルコトヲ考ヘマシタ、ソレデアリマスカラ、其ノ點ヲ一應申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ト云フノハ先ヅ我國ノ産業ハ多ク皆手工工業デアリマス、内職ノヤウナ仕事ガ多イノデアリマス、隨テ非常ニ安イコトヲ第一ノ原則トシテ、詰リ先ヅ安カラウ即チ強カラウト云フヤウナコトデ、主トシテ雜貨類ガ海外ニ輸出セラレタコト云フコトハ、只今御説ノ通りデアリマス、ソレガドウシテ斯ウ云フ工合ニ安クナツテ居ルカ、即チ海外ニ於テノ販賣價段ガ安イカラ、ドウシテモ製造家ノ方ハ労働賃銀ヲ値切ル、隨テ労働者ハ非常ニ苦痛ヲ感ズル、安イ労働ヲ以テ働カナケレバナラスコトニナルコトハ、只今御説ノ通りデアリマス、併シナガラ實際ノ狀況ヲ能ク調べ見マス

ナイト云フヤウナコトニナツテ來ルノガ今日ノ現狀デアリマス、是ハ我國ノ貿易上カラ見テ、勞働政策ノ上カラ言ツテモ非常ニ憂フベキ點デアルト云フコトハ、塚本君ノ今熱心ニ御述ベニナリマシタ通りデアリマス、ソレ故ニ私ハ平素カラ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ル、此ノ日本人同土ノ競争ヲ先ヅ以テ防止シナケレバイカス、此ノ雜貨ノ販賣ニ於テ、日本人同土ガ如キ競争ヲスルト云フコトハ、是ハドウシテモ宜クナイカラ、此ノ日本人同土ノ競争ト云フモノヲ防止シテ、サウシテ二十錢デ賣レルモノナラバ二十錢デ賣ツテ、其ノ貿易取扱業者ニモ生産者ニモ労働者ニモ適當ナ分配ヲシテヤルト云フヤウナコトニシナケレバ、何時マデ經ツテモ我國ノ雜貨ノ輸出ト云フモノハ發達シナイノミナラズ、動モソレバ減退ヲ來スト云フヤウナコトニナル虞ガアルト云フコトヲ、平素ソレヲ非常ニ憂ヘ、且ツ痛切ニ考ヘテ、今回歐羅巴、亞米利加ヲ廻ツテ見テモ、其ノ現狀ヲ見セ付ケラレテ益々其ノ感ヲ深クシタ一人デゴザイマス、尙ホ其ノ次ニ第二點トシテ御説ニナリマシタ、モウ少シ高價ノ物ヲ出シテ、サウシテ労働ノ技術ヲ輸出スルト云フコトニ付テハ、是モ全然同意デアリマス、今世界ヲ見渡シマシタ所デ、今マデノヤウニ安イ物ヲ買ハフ、日本品ト云ヘバ即チ安イモノ、斯ウ云フコトハ南洋方面トカ其ノ他生活程度ノ低イ方面ニ於キマシテハ、今尙ホ安イ物ガ欲シト云フコトデアリマスカラ、安イ物ガ必ズシモ輸出貿易ニ不適當トハ考ヘマセヌ、メード・イン・ジャパント云ヘバ、モウ安物ト云フコトニナツテ居ル、ダカラ其ノ安イ物ヲ拵ヘバ、生活程度ノ低イ所ニ輸出スルノハ是ハ必要

デアリマス、併シナガラ亞米利加ニ參リマシテモ、先刻塚本君ノ御述ニナリマシタ北歐ノヤウナ所ニ參リマシテモ、或ハ中米ニ參リマシテモ安イ物ヲ好マナイノデス、特ニ歐羅巴各國、北米ノヤウナ所デハ、安イ物ハ大嫌ヒナノデス、總テドシナ物デモ、良イ物デモ保ツモノデナケレバ買ハナイノデアリマス、亞米利加ニシテ所ガ安イ物バカリ欲シト云フノハモウ昔ノコトデアツテ、今日デハ相當高クモ良イ物ヲ欲シイト云フ風ニ皆變ツテ來テ居ル、サウ云フ時代ニ當ツテ、日本デ安物バカリ作ツテ居ルト云フヤウナコトハ、私ハ貿易政策トシテ良クナイト思ツテ居リマス、ダカラ其ノ點ハ今御説ノ通りデ、今後ハドウシテモ日本ハモウ少シ良イ物ヲ拵ヘテ——日本人ハ技術ヲ持ツテ居ル、ソレカラ「デザイン」スル力ヲ持ツテ居ルノデスカラ、歐羅巴人ニ負ケナイヤウナ良イ物ヲ作り得ルノデス、ダカラ成ベク良イ物ヲ作ツテモ、ソレデモマダ歐羅巴ヨリ尙ホ安ク付ク、歐羅巴人ヤ亞米利加人ガ作ルヨリモ確ニ安ク付クノデアリマスカラ、サウ云フ物ヲ造ツテ、サウシテ安イ物ハ安イ物トシテ生活程度ノ低イ地方ニ賣リ、ソレカラ高良イ物ハ歐羅巴、亞米利加ト云フヤウナ生活程度ノ高イ所ヘ之ヲ出スコトニシテ、サウシテ國內ニ於テ一ツノ統制——是コソ本當ニ統制ノ機關ヲ設ケテ、出先ニ行ツテ五ニ競争シテ、減茶減茶ニ値段ヲ崩シシマフト云フヤウナコトヲ防止スルコトガ大事ナコトダと思フ、例ハバ鉄ナラ鉄ヲ歐羅巴ニ持ツテ行ツテ、サウシテソレデ以テ一ツノ「マーケット」ガ出來テ、相當ノ利潤ガアルトスルト、直グニソレト同ジ物ヲ持ツテ行ツテ、サウシテ

ソレヨリハ一割ナリ、二割ナリ安ク賣ルト云フヤウナコトヲ直グ始め、サウスルト其ノ次ニ又他人ガ二割ナリ三割ナリ安ク賣ルト云フコトニナルカラ、隨テドウシテモ品質ヲ低下シテシマフト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フコトノナイヤウニシテ、根本ノ方針ヲ確立致シマシタナラバ、私ハ必ず日本ノ輸出貿易ト云フモノハ、マダ非常ニ伸展スル餘地ガアルモノト信ジテ居リマス、是ハ自分ノ説ヲ混ヘテ申上ゲテ少々恐縮デアリマスガ、折角ノ御説デアリマスカラ、御答ヲ申上ゲマス

○塚本委員 私人今商工大臣カラ自分ノ私見ヲモ御發表ニナリマシテ、而モソレガ私ノ年來ノ説ト全然同一デアルコトヲ知りマシテ、愉快ニ感ジマシタ、實ハ一昨年ノ議會デアリマシタカ、輸出貿易振興ノ爲ノ損失補償法カナンガ提出サレマシタ時ニ、私ハ時ノ商工大臣ニ輸出貿易ニ關シ、今商工大臣ガ御述ニナツタヤウナコトヲ縷々申上ゲタノデアリマス、所ガソレガ御理解ニナラナカツタ、今初メテ藤原商工大臣カラ私ノ日頃抱懷シテ居リマスコトト同意見ヲ拜聴致シマシテ、愉快ニ感ジマス、ドウゾ此ノ點ハ一ツ積極的ニ指導シ、改善シテ貰ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ御同致シタイノハ、今貿易ノコトニ付テノ意見ハ商工大臣ト意見ガ一致シテ居ツタノデアリマスガ、今日私共ノ日常生活カラ見テ、第一ハ織物ニ付テデアリマス、此ノ織物ノ中ノ吾等ノ日常ノ衣服、是ハ今殆ド「オール・スフ」ニナツテ居ルノデアリマスガ、今日ノ我國ノ「オール・スフ」工業ト云フモノハ、未ダ技術ガ幼稚ト云フカ、ドウモ國民ノ經濟ニ合フヤウナ製品ガ生レテ

ソレデモ少シ國民ニ耐久力ノアル所ノ品物ヲ供給セラルコトガ、却テ國家經濟ノ上ニ於テ必要デハナカラウカ、餘リニ極端ナ今ノヤウナ斯ウ云フコトデハ、結局其ノ方面ニ於テモ國力ヲ大ニ消耗シテ居ルト思フ、無駄ヲ拵ヘテ居ルト思フ、此ノ點ニ付テハモット棉花ヲ輸入シテ、綿絲、綿織物工業ト云フモノヲ盛ニシ、サウシテ國民ニモヤハリ「オール・スフ」デナシニ相當綿絲ノ混ツタモノヲ與ヘル、サウシテ又其ノ一部ハ割イテ之ヲ輸出ニ充テル、サウシテ其ノ棉花輸入ノ減價ニ之ヲ償却スルト云フヤウニ、此ノ貿易政策ヲ執ツテ貰ヒタイ、是ハ決シテ國家ノ損ニハナラヌト思フ、國家經濟ノ上ニ於テ、ソレガ私ハ有利デアラト思フ、而モマダ今日マデサウ云フ政策ガ執ラレナイデ居ルコトヲ私ハ不思議ニ思フテ居ルノデアリマス、是ハ餘談デアリマスケレドモ、先日私共ノ働イテ居ル工場ノ前ノ安治川驛ヲ西成線ノ「ガソリン・カー」ガ顯現シタ、是ハ私ハ誰ニモ話シテ居リマセスケレドモ、アノ顯現ニ依ツテ百八十何名ト云フモノガ一瞬ニシテ九焦ゲニナツテ死ンデシマツタ、私ノ友達モ數名死ンダ、私ハ朝カラ日没前マデ其ノ死體ノ識別ニ涙ヲ流シテ掛ツテ居ツタノデアリマスガ、併シ私ハ誰ニモマダ話ハシマセスケレドモ、アノ一瞬ニシテ大キナ悲慘事ヲ起シタ原因ハ何處ニアルカ、ソレハ根本ニ於テハ轉轍手ノ過チデアル、サウシテ列車ノ顯現ニ因ル所ノ「ガソリン」ノ發火デアル、是ハ言フマデモアリマセスケレドモ、縱シ轉轍手ニ過チガアリ、或ハ「ガソリン」ノ發火ガアツタト致シマシテモ、アノ一瞬ニ於ケ

ルアノ大慘事ト云フモノガ惹起セラレタ所ノ原因ニハ、マダ大キナ原因ガ一ツアルト私ハ思フ、是ハマダ誰ニモ話シテ居リマセケレドモ、此處初メテ言フノデアリマスガ、是ハ結局「オール・スフ」ノ災害デアツタト思フ、是ハマダ誰ニモ話ハシマセケレドモ、一人ノ想像デアリマスケレドモ、アノ百二十人定員ノ所ヘ三百人近イ人ヲ詰込シタ「ボット」ニ手ヲ入レタ者ハ入レタツ切り、吊革ニ下ツタ者ハ下ツタ切り、身動キ一ツ出タリト身動キモ出來ヌ程ニ詰込シテ居ル列車ガ顯現シタ、而モ顯現シテ五分経タナイ中ニ眞黒ケニ黒焦ゲニナツテ死ンデシマツタ、身ニ付ケテ居ルモノハ唯ノ一ツモ残ツテハ居リマセケレドモ、斯ノ如キコトガアリ得ヤウカ、私ハ想像シテ想像出來ナイノデアアル、顯現シテカラ五分経タナイ間ニサウ云フ状態ニナツテ居ル、私ハ是ハ不思議ノ一ツトシテ、心算ニ自分自身其ノ原因ヲ探求シテ想像シテ居ツタ、サウシテ私ハ是ハヤハリ「ス・フ」ノ影響デハナイカト思フ、アレダケビツタリ詰込シタ人間デアラカラ、縱シ引線返ツテ「ガソリン」ノ爆發ガアリマシテモ、アレダケ全體ニ火ガ廻ルト云フコトハアリ得ナイコトダト思フノデス、ソレガ下敷ニナツテ居ル者マデ、スツカリ、身ニ付ケテ居ル物ハ何一ツ殘ツテ居ラヌ、サウシテ手ノ指ハ爛レテ居ル、足ハ爛レテ居ル、申ノモノハ臟腑マデ燒カレテ居ルト云フ状態デアル、アノ人々早ク人間ト云フモノガ燒ケルモノデセウカ、私ハ想像ガモ出來ヌコトダト思フ、併シ私ハ想ヒ起シマス、ソレハヤハリ「ス・フ」ノ影響ダト思フ、労働者ノ多クガ皆「ス・フ」ヲ着テ居ル、「ス・フ」ハ結

局ニ於テ鉤肩ヲ背負ウテ居ツタ同ジコトデアリマス、サウ云フコトガ世間ニハ知ラレテ居ラナイケレドモ、一ツハアノ悲慘事ヲシテ一層悲慘ナ状態ヲ爲サシメタ原因デハナカラウカト思フ、今日今頃ハ其ノ犠牲者ノ慰靈祭ガ大阪行ハレテ居ルデアリマセウ、私ハ涙ナクシテ此ノ事ヲ話スコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ話ハ餘談ニ入りマシタケレドモ、商工省ハ一ツ是マデノ所謂輸出入ノ貿易管理ノ上ニ於キマシテモ方針ヲ新ニセラレマシテ、モウ少シ國民ニ此ノ綿布ヲ與ヘテ下サイ、才産ヲスル時ニ、其ノ必要デアル所ノ綿ガナイト云フヤウナコトデハ困ル、實際其ノ産業ニ於ケル所ノ生産能力ヲ舉ゲル上ニ於テモ、今日ノ状態デハ生産能力ノ低下ヲザルヲ得キ思フ致シテ、サウシテ此ノ棉花ノ輸出入貿易、綿絲布ノ製造工業ノ上ニ於テモ、一ツ其ノ政策ヲ改メラレシコトヲ希望シマシテ御意見ヲ伺ヒマス——棉花ノ輸入ノ増大ヲ圖ツテ、綿絲布ノ生産ノ増加ヲ圖ツテ貰ヒタイ……

○辻政府委員 御承知ノ通り一昨年来棉花輸入ノ管理ヲ致シマシテ、一方ニ於キマシテハ軍需並ニ輸出ノ原材料ヲ賄フト云フヤウナ負擔ヲ蒙ツテ居リマス現状ト致シマシテ、國內ノ需要ニ充テラレマス棉花ノ總量ガ非常ニ限定サレテ居リマス、隨ヒマシテ出來ルダケ用途ノ範圍ヲ限定致シマシテ、絕對ニ棉花デナケレバイケナイト云フヤウナ品種ヲ限定致シマシテ、特ニ製造ヲ認メテ居リマスコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、只今労働者ノ作業服ノ御話ガ出マシタガ、昨年十一月カラデゴザイマスガ、最近或ル數量ヲ限定シマシテ、農山漁村用ノ労働者並ニ工場、礦山労働者用ノ作業服ト致シマシテ、或ル數量ノ綿製品ノ製造ヲ認メテ居ルコトヲ云フヤウナ状態デゴザイマス、棉花ノ需要ニシテ許スナラバ、出來ルダケ絕對ニ綿デナケレバイケナイ、個人經濟ノ上カラ言ツテモ、國家經濟ノ上カラ言ツテモ、綿ノ方ガ宜イノダト云フヤウナモノニ付キマシテハ、其ノ範圍ヲ擴大致シタイト考ヘルノデゴザイマスルガ、何ヲ申シマスニモ御承知ノヤウナ爲替ノ狀況デアリ、此ノ事ハ同時ニ本年度ノ物動計畫ノ編成ニモ關係スル問題デゴザイマスルガ、私ノ口カラ致シマシテハツキリト機ラノ「數字」ハドウスルト云フコトハ、此ノ場合申上ゲ衆ネルノデゴザイマスルケレドモ、諸般ノ情勢ノ考慮致シマシテ、御趣旨ノ點ヲモ十分ニ勘考致シマシテ、御趣旨ノ點ヲモ改善ト云フ方面ニ付キマシテモ、御承知ノヤウニ色々ナ方法ヲ講ジテ努力致シテ參ツテ居リマス、製造ノ關係或ハ販賣ノ關係、各方面ニ統制ガ施サレテ居リマスルコト等モ原因致シマシテ、色々中ニハ品質ノ十分デナイ、不良デアルト云フ品物モアルヤウデゴザイマスルガ、各般ノ手段ヲ講ジマシテ、品質ヲ改善ト云フコトニモ努力致シテ參ツテ居リマスノデ、旁々相俟ツテ出來ルダケ御意見ノ點ヲ實現致シマスヤウナ方法ニ付テ、今後トモ十分ニ考ヘタイト思ヒマス

○塚本委員 最後ニ希望ヲ述ベテ置キマス、今私ハ作業服其ノ他ノ綿布ノコトダケヲ申述ベマシタガ、當ニ是ハバカリデナク、地下足袋ニ致シマシテモ、或ハ護脚靴ニ致シマシテモ、労働用ノ資材ト云フモノハ一般國

民生活ノ必需品ノ中ニ於テモ、取分ケ生産力擴充ノ爲ニナリマス所ノ労働用資材ト云フモノ、サウ云フモノニ付テハ、現下ノ實情デアリマスカラ、十分トハイカナイデセウガ、努メテ一ツ裕ニシテ貰ヒタイ、今日ノヤウナ事情デハ生産力擴充ヲ如何ニ努メマシテモ、實際其ノ働タベキ用具ト云フモノガ缺乏シテ居ルヤウナコトデハ困ル、是ハ石炭ノ問題ニ付テモ、炭坑夫ニ地下足袋ヲ澤山送レト云フ要求ガアルト同時ニ、ヤハリ石炭ガ運バレテ來ル途中ニ於テ、運バレテ來テ陸揚ガラスル時ノ事情ハドウカ、更ニソレヲ工場ノ中ニ運ブ場合ニ於テモ、ヤハリ地下足袋ガ必要デアル、アノ石炭ノ不足ノ時ニ或ル發電所デ、モットアノ石炭ヲ運ンデ與レスカト言ツタ所ガ、労働者ガ地下足袋ガナイカラ、モウ今晩ハ止メサシテ與レト言ウテ斷ツテ居ル事情ガアル、見レバ足元ハ纏切レデ以テ結ンデ居ツテ、ボロ／＼ノ地下足袋ヲ穿イテ居ル、御承知ノヤウニ是ハ足ガ二寸ナリ三寸ナリ石炭ノ中ニ入ルノデアリマス、ザク／＼入ルノデア

ル、ダカラ地下足袋ト云フモノガ破レテハ仕事ガ出來ナイ、其ノ破レタ所ヲ糊テナドヲ持ツテ來テ括ツテ、裏レナ委テ石炭ヲ運ンデ居ル、マダヤツテ與レト言フノニ、足ヲ見テ與レ、此ノ状態カラ勘辨シテ與レト云フコトデ以テ、殘業ガ出來ナイト云フ状態デアル、ソレカラ家ヲ出ル時ニハ、才前ハ地下足袋ヲ探シテ來テ置ケ、俵ヲ働カサウト思ヘバ、地下足袋ヲ探シテ來イト云フコトデ、女房ハ子供ヲ負ウテ一日中ソコロコロ地下足袋ヲ探シテ居ル、併シ地下足袋ハサウ澤山アル譯チナイ、サウ云フヤウナ状態ニ於テ生産力擴充トカ

何トカ言ツテモ、結局十分ニ労働力ヲ發揮スルコトハ困難ナ事情ニアリマス、労働力ヲ十分ニ發揮シ得ラレダケノ資材ハ、不十分ナリニモ一ツ配給シテ貰フヤウニ致シタイ、私ハ百億ノ越エル豫算ヲ協賛シマシタラバ、多クノ國民ハ最低生活ヲ保障セラレル資材ガ得ラレカドウカト云フコトダケ考ヘテ居ルト思フ、私ハ結論ニ於テソレヲ問ヒタイノデアリマス、政府ハ百億ノ豫算ヲ提出シテ、サウシテ國民生活確保ノ爲ニ云々ト言ツテ居ルガ、吾々ガ此ノ豫算ニ協賛ヲ與ヘレバ、眞ニ國民ガ要求シテ居ル所ノ、贅澤ナ生活デハナイ、戰時下ニ於ケル所ノ最低ノ生活ヲ保障スル所ノ米ガ、木炭ガ、「マツチ」ガ、或ハ作業服ガ、地下足袋ガ、護脚靴ガ與ヘラレカドウカト云フコトダケヲ、國民ハ念願シテ居ルノデアリマス、ドウゾ此ノ問題ニ付テハ商工省ガ重大ナ責任ヲ持ツテ居ルト思ヒマスカラ、一段ノ努力ヲ拂ハレシコトヲ切ニ希望致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○原主査 藏原君
○護原委員 私ハ鐵鋼統制ニ付テ御同致シマスガ、質問ノ初メニ當リマシテ、私ノ立場ヲ御諒解ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ外デモアリマセケレドモ、同僚諸員ノ諸君カラ米ノ問題、或ハ電力ノ問題、石炭ノ問題、非常ニ重大ナ問題デアツテ、サウ云フ問題ニ付テハ逐一指摘セラレテ、政府モソレニ對シテ全力ヲ注イデ居ラレト云フヤウナ話ヲ承ツテ居リマス、私共ハ管ニ電力ト云ハズ、石炭ト云ハズ、今ノ世ノ中ニハ寧ろソレ以上ノ深刻ナ場面ガ一部分ニアルト思ヒマス、電力デモ、石炭デモ、米デモ、是ハ其ノ方面ノミカラ云フ

ト、或ハ電力ノ三割五分減トカ、石炭ハドウトカ斯ウトカ言ウテ、是ハ深刻ナ問題ダト言ハレテ居ル、ソレハ兎ニ角全部ニ影響スルカラ重大問題ニ相違ナイ、併シ深刻ノ程度ニ於テハ、統制ノ結果一部分ニ偏シタ方ガ、ソレヨリモ非常ニ深刻ナ問題ニ直面シテ居ル、サウ云フヤウナコトデ、私ハ實ハ一昨々年来中以下ノ工業者ノ面倒ヲ見テ居リマシテ、今マデ長イ間商工省アタリト接觸致シテ居リマスガ、今マデノ經過デハ、先程カラ問題ニナツタヤウニ、中小工業者ニ對スル商工省アタリノ考ヘ方ガ、寧ろ根本的ニ誤ツテ居ルノデアリナイカト云フ氣持ガ致スノデアリマス、併シ私ハ今マデ斯ウ云フ席上ニ出テ餘リ言ハナカツタガ、國民ノ一人トシテドウシテモ此ノ深刻ナ問題ニ付テ、之ヲドウニカシナケレバ、所謂長期建設ト云フモノハ絕對ニ難カシイ、ソレダケ申上ゲル爲ニ茲ニ質問スルノデス、併シソレヲ申上ゲルノハ、決シテ商工省ノ惡口ヲ言フノデアリナイ、ヤハリ國家ノ爲ニ是カラ先キ新シタ何カノ建設ヲセンガ爲ニ私ハ申上ゲルノデアリマス、其ノ點ヲ特ニ御諒解シテ置イテ貰ヒタイ、諸君サウデアリマスガ、私ハ實ハ此ノ間ノ有志代議士會ノ行動ニ參加シナカツタ、何故ニ參加シナカツタカト云フト、ソレハ、外デモナ

豫定通りニ出来ルノデアリマス、所ガ豫定生
産額ガ色々ノ事情デ低下致シマシテ、當初
ノ計畫ニ任ヒテ来ス譯デ、ソレヲ調節スル
爲ニ色々其ノ折衝ニ手間ヲ取リマシテ、常
ニ遅レテ居ルヤウナ状況ニナツテ居リマ
ス、私共トシテハ非常ニ遺憾ニ思フテ居ル
ノデアリマス

○豫原委員 實際生産ガ計畫通りニ行カ
ンカラ、結局配給ガ遅レト云フコトハ、
ソレハサウデアアルカモ知ラセマス、併シ若
シ其ノ間ニ生産ガ減少スルコトガアツテモ
本當ニ商工省ニ産業ニ對スル親切ガアル
ナラバ何トカナル管デアアル、昨年ノ四月カ
ラ七月マデニハ二回ニ互ツテ配給ニナツテ
居ル、所ガモウ十月カラ十二月ニナルト、
驚クベシト云フ、十一月、十二月分ガ十二
六日ニ配給ニナツテ居ル、コンナコトデハ、
碎イテ言ヘバ、ソレハ産業ヲ亡ボスコトニ
ナルデハナイカ、是ハモウ少シ厳格ニ考ヘ
ラレル必要ハナイカ、私ハマア極端ナ議論
ヲスルト、是ハ一種ノ汽車ノ時間ト同ジダ
ト思フ、ソレハナゼカト云フト、汽車ノ時
間ハ一分デモ遅ヘルトオヒニ「ダイヤ」ハ狂
ツテシマツテ、汽車ノ營業ト云フモノハ出来
ナイ、産業員ニ對スル原料ノ關係ト云フモ
ノハ、是ハ全ク汽車ノ時間以上ノモノト考
ヘテ居ル、原料ガナケレバ、産業ハ出来ナ
イ、而モソレニ對シテハ國家ガ原料ニ對ス
ル全權ヲ持ツテ、生カスモ殺スモ國家デア
ル、サウ云フコトニナルト、是ハアナタ方今
マデ經濟行政ニ携ツテゴザルノハ、是ハ外部
カラ經濟行政ニ唯獨張リヲ張ツテヤツテ居
ラツシヤル、今マデハソレデ宜カツタ、所ガ
今度ノ經濟統制ガ始マツテ、商工省ノ責任
地位ト云フモノハ、是ハ生産行爲ニ一歩足

ヲ踏入レタモノデアアル、サウスルト生産人
ノ立場ニナツテ考ヘナケレバナラス、生産
人ノ立場ニナツテ考ヘルト、今マデノヤウ
ニ願書ヲ一日遅ラストカ、或ハ一週間遅
ラストカ云フコトデハハイカス、商工大臣ハ
産業人出身ノ御方デアアルカラ直ダ分ル思
フ、此處デ私ハ商工大臣ニハツキリ同ヒタ
イ、私ハ如何ナル理由ヨリ問ハズ、内部ノ關
係トカ、或ハ企畫院ノ關係トカ、或ハ大藏
省ノ關係トカ、或ハ農林省ノ關係トカ云
フコトハ皆テ措イテ、サウ云フ抗辯ハ一切
セズニ——又抗辯ニナリマセマス、産業ノ經
營ヲ中心ニシテ考ヘルト、是ハヤハリ一種
ノ期日ヲ決メテ、一月カラ三月マデ、一月
中ニ配給スルト云フノガ、期日ガ間ニ合ハ
ナケレバ、二月一杯ニ配給スルト云フヤウ
ニシテ、其ノ時ニ對スル安心ト、或ル一定
量ノモノハ戴ケルト云フ希望ヲ持タセタイ
ト思フ、是ハ理窟ノ問題デハナイト思フ、
サウ云フ考ヘナリマセマス、商工大臣ハド
ウ御考ヘナリマセマス

○豫原委員 御尤モデス、御意意ハモ
ウ全然御尤モデス、併シ海ニ弱イコトヲ申
サウデアリマスガ、現狀ノ儘ヲ眺メマシ
テ、ドンナ事情ガアツテモ、ドンナコトガ
アツテモ、是ハ屹度ヤツテ御覽ニ入レマス
ト云フコトヲ、此ノ際聞言スルト云フコト
ハ、現狀ヲ眺メルトドウシテモ困難デアリ
マスカラ、御諒承ヲ願ヒマス、努力ヲシ
テ御希望ニ適フヤウニスルト云フヨリ外
ニ——ドウモ申上ゲタイノハ山キデアリマ
スケレドモ、御諒承ヲ願ヒマス

○豫原委員 今ノ機構デ何ハ、或ハサウ
カ知ラスト思ヒマス、併シ是ハ産業人トシ
テ御考ニナレバ、大キナ業者ナラバ、ソレ

マ、前期以降多少ツツ手控ヘマシテ、生産
豫定數量ヨリモ割當數量ヲ減ラスト云フコ
トニ依ツテ、從來ノ切符ヲ整理スルト云フコ
ト法ヲ執ツテ居リマス、更ニ過去ノ切符ニ付
キマシテハ、中ニハ既ニ要ラナクナツタヤ
ウナ切符モアリマス、色々ノ事情デ始末ノ
付イタモノモアリマス、此ノ整理ニ付キ
マシテ今案ヲ立テテ居リマスケレドモ、其
ノ案ハマダ申上ゲル程度ニハ達シテ居リマ
セス、何レ此ノ整理ガ近イ機會ニ行ハレル
モノト御諒承願ヒマス

○豫原委員 大體空切符ノ事情ニ付テハ御
説明ヲ承ツタノデスガ、是ハ私ノ意見ヲ言
フヤウデスガ、是ハモウ全ク物動計畫ノ
無理カラ來テ居ルト思フノデス無理トソレ
カラ無茶ト言ヒマスカ、手違ヒト申シマス
カ、私ハ此處ニ數字ヲ皆申上ゲル自由ヲ持
タヌカラ私ハ申上ゲナイ、唯併シ一番大キ
ナ過チヲ言フト、私ハ去年ノ數ノ問題ダト
思フノデス、是モ比較ハ申上ゲマス、試力ノ數
ハ全ク忘レテシマツタ、全ク私共御諒申
ラヌコトダト思フノデスガ、是モモウ御諒申
上ゲマス、唯茲ニ一ツ私共ガ非常ニ心配シテ
居ルノハ、現實ノ問題トシテ實際ニ割ノ生
産減、是ハ最近マデノ實績ト申シマスカ、
十四年ノ何時マデカニナツテ居ルヤウデ
ス、一番善意ニ解釋シテ二割ノ生産ノ食違
ヒ、要スルニ企業院ノ見込違ヒガアル
ト思フ、サウスルトソコニ私共非常ニ憂ヘ
ルノハ、此ノ二割全部ヲ需要家ノ方デ負擔
スルカラ、弱者ガ之ヲ負擔スルコトニナ
ツテ來ル、空切符ガ多イ、ドウニカ現實ニ貫
ヒタイト云フヤウナコトカラ、私共ガ日幾ナリ
或ハ共販ナリニ行ツテ相談スルト、時偶極メテ
不穩當ナ話ヲ聞クノデス、ドウモアナタ方ノ

ハ材料ヲ持ツテ居ルカモ知ラセマス、併シ
小サナ業者ハ、ヤハリ貫ツタ物ヲ使ツテ其
ノ日暮シナンデス、此ノ期間、一月、三月
ニ貫ツタラ、ヤハリ一月、三月ニドウシテ
モ使ハナケレバナラス、ソレマデハドウシ
テモ業ヲ休マナケレバナラス、ソレヲ配ラ
スカラ此ノ幣害ガ後ニ出テ來ルノデス、是
ハ後デ指摘シマス、サウ云フヤウナコト
デ、私共絕對ニト云フコトヲ申上ゲテモ、
例ヘバ火事デ商工省ガ焼ケタトカ云フヤウ
ナ不可抗力ニ因ルモノデアリマセマス、企
畫院ト相談トカ、或ハ鐵鋼聯ト相談トカ、
農林省トノ折合ガ付カスト云フヤウナ理由
デハ、決シテ延バシテ貫ヒタナイ、ソコ
ナンデス、ソレデ或ル一定ノ時期ニハ當然
貫ヘルノダト云フ安心ト事實ヲ示シテ戴カ
ナケレバ、産業ノ計畫ト云フモノハ出来ナ
イ、契約ト云フモノハ出来ナイ、是非ソコ
ハ一ツ商工大臣ガ強行ケルコトヲ希望シ
マス、ソレカラ次ニ移リマスガ、ヤハリ統
制ノ問題デス、今空切符ガ非常ニ多イ、是
ハ鐵山聯合會ノ方デ整理ノ問題デ協議シタ
ラシイノデスガ、其ノ時ノ話デハ、壓延鋼
材ダケデ四十萬トアル、ソレデ實際民間ニ
私共ガ聞イテ見マス、算盤デハ八九十萬
トト言ヒ、百万ト言ウテ居ルガ、空切符
デス、是ハ又非常ニ困ツタモノデ、商工省
アタリデモ、ソレノ整理ノ方法ヲ御考
ダト思ヒマスガ、ドウ云フ整理ノ方法ヲ
考ヘテ居ラレルカ

○豫原委員 切符制度デアリマスガ、
切符制度ガ完全ニ行ハレルト云フニハ、ド
ウシテモ地域のニ、又時間的ニ、品質的ニ、
數量のニ、現品ト切符トガ常ニ一致スル狀
態ニ在ルト云フコトガ必要ダト私共ハ信ジ

方ニ過サウト思フガ、黒イ手方廻ツテ來テ、
片方カラズツト持ツテ行ツテシマフノデ、
ソレガ出来ナイト云フ、サウ云フコトニナ
ツテ、結局二割ノ減産ハ、力ノ強イ方ガ十
割ヲ取り、力ノ弱イ方ガ其ノ負擔ヲ全部負
フト云フコトニナルト、是ハ國家ト資本家
ダケガ儲ケテスルコトニナル、アトノモノ
ハ要スルニ——若シソレガ例ヘバ軍需或ハ
民需ト云フコトデ半分ヲ留保シテ居ルトス
レバ、民需ノ方ヘ半分、サウスルト二割ノ
負擔ヲ民需ノ方デ負フト云フコトニナルト、
全體ノ二割ノ全部ハ民需ダカラ、實際五割
ノ配當ヲ受ケテモ、アトノ三割位シカ受ケ
ナイコトニナル、是ハ私共全般ニ付テノ配
給ノ大體ノ考ヘ方ト、ソレカラ最近殊ニ問
題ニナツタ國民生活ノ最小限度ノ確保ト云
フ點カラ考ヘテ見テモ、モウ少シ御考ナサ
ル必要ハナイカト思フ、此ノ點ニ付テ今ノ
整理ノ御話モ、私共實際問題トシテハ多
少諒解スル所ガアルノデアリマスガ、モウ
非常ニ能ク御承知デアルト思フガ、案ハ恐
ラク商工省カラ出テ居ルト思フ、鋼材聯合
會ノ理事會デ、其ノ手切符處理案ト云フ
モノヲ協議ヲ致シテ居ル、其ノ協議ノ内容
ガドウデアツタカト云フコトヲ見テミマス
ト、一番要點ハ現存未契約切符ニ對シテハ、
此ノ際特ニ賣約ニ應ズルコト、是ハ結構、
今後出サレル切符ニ對シテモ順次賣約ヲ爲
スコト、是モ結構、前二項ニ對スル賣買條
件中納期及ビ値段ハ左ノ通りトスルコト、
納期本年——是ハ何月何日ト云フコトハ入
レテアリマセマス——頃マデニ引渡可能ノ見
込ナルモ、一切其ノ賣買ハズ、是ハ「メー
カー」ノ方デス、斯ウ云フ風ニ整理案ヲ立テ
テ居ルノデアアル、是ハ商工省ノ諒解ヲ得テ、

或ハ聯合會ノ理事長ガ理事會ニ提案シタ
ト思フ、私共コンナ風ニ小田原評議デスカ、
此ノ馬鹿々々シイコトヲ論議シテ居ルヤウ
ナコトデハ、其ノ無責任ノ程度ガ思ヒヤラ
レル、切符ニ對シテモ順次賣約ヲ爲スコト、
納期頃マデニ引渡可能ノ見込テモ一切其ノ
賣買ハズ、全ク無期限ノ製造命令ヲ「メー
カー」ノ方ニ出シテ、サウシテ唯斯ウ云フ
整理案ヲスル、製造者ニ作ラセルノダ、契約
ダケサセルノダト云フヤウナコトデ、簡單
ニ責任ヲ通レルヤウナコトガアリトスルナ
ラバ、私ハ怪シカラスト思フ、此ノ話ハ一
委員ノ者カラ伺ツタノデスガ、一委員ノ反
對ニ遭ツテ、是ハ物ニナラナカツタト云フ
ヤウナ話モ聞イテ居ル、斯ウ云フ問題ニ付
テ、斯ウ云フ風ニ無責任ノ考ヘ方デ處理案
ヲ決シテ行カレルト云フコトハ、是ハ御憤
ミニナツタガ宜イト思フ、若シ本當ニヤラ
レルナラバ、何月何日マデニ材料ヲ與ヘ、
色々ナ條件ヲ與ヘテ置イテ、之ヲ整理スル
ダケノ材料ヲ「メーカー」ニ作ラセルト云フ
ノガ私ハ當然ト思フ、尙又今ノ局長ノ御
答辭ノ、現在實際製造見込ヨリモ減シテ居
ルト云フヤウナ整理ノ仕方ハ、之ハ企業院
ナリ、商工省ナリノ自己ノ失態ニ依リ影響
ヲ、立場ヲ變ヘテ言フナラバ、自分ノヤツ
タ責任ヲ他人ニ嫁スルガ如キヤリ方ダト思
フ、假ニ切符ヲ出シタト云フト、是ハ恐ラ
ク民間ノ組合アタリデ出シテ居ルノデ、自
分ノ割當量以上ノ切符ヲ出シテ居ル者ハナ
イト思フ、政府ハソレダケノ切符ヲ出シテ
宜イト云フコトニナツタ以上ハ、ソレダケ
ノ額ハドウシテモ渡シ義務ガアル、其ノ渡
シ義務ガアルノヲ、其ノ期ニ渡セナイカラ、
其ノ次ノ期ニ減シテ渡ス、自分達ハ渡シ過

テ居リマス、所ガ鐵鋼ニ於キマシテ種類、
詰リ品質デゴザイマスガ、種類ト寸法ハ過
去ノ經驗ニ依ツテ實ハ割當ヲシテ居ル譯デ
アリマス、隨テ十分ノ「ストック」ヲ用意シ
タ上デナケレバ、運用上相當困難デアリマ
スガ、今日ノヤウニ「ストック」ガ潤滑シテ
參リマス、ドウシテモ食違ヒヲ免レナ
イ、而モ其ノ需要ハ極度ニ膨脹シテ來ル、其
ノ需要ノ内容モ從來ノ經驗トハ大分違フ、
内容ガ變化シテ來ル、ソレデ食違ヒガ一層
大キクナツテ居ル譯デアリマス、更ニ割當
ハ現在ニ於キマシテハ生産ト並行シテ居ル
譯デアリマス、慾ヲ申セバ割當ノ方ガ一歩
遅レマシテ、生産ガ一歩先立ツテ、生産シ
タ物ヲ次ノ期ニ割當テルト云フコトニナリ
マスレバ、是ハ正確ニ行ク譯デアリマス、
所ガ割當ト生産トガ並行シテ居リマス關係
上、兎角割當額ト生産額トノ間ニ食違ヒガ
起ツテ參リマス、特ニ昨年ノ夏以降ノ電力
飢饉トカ、石炭ノ不足トカ云フヤウナコト
ニ依リマシテ、生産ガ遅延シテ居ルト云フ
ヤウナ始末デ、數量的ニモ食違ヒガ起ツ
テ、是ガ全國的ニナリマス、各方面デ色
色ノ食違ヒガ起ル、切符ヲ持ツテ行ツテモ
直ダニハ現品ガ手ニ入ラナイ、所謂空切符
ト云フヤウナ評ヲ受ケテ居ルヤウナ始末デ
アリマス、此ノ改善ニ付キマシテハ、兎ニ
角吾等トシマシテハ、理想ハ飽タマデモ地
域的ニ、時間的ニ、品質的ニ、數量的ニ、
現品ト切符トガ一致スルト云フコトヲ目標
トシテ居リマス、一方生産ノ障礙トナル事
由ヲ克服シテ、生産ノ増加ヲ圖ルト云フコ
トガ急務ダト信ジマシテ、只管其ノ方面ニ
付テ努力ヲ續ケテ居リマス、他方切符ノ發
行ヲ實ヲ申シマスト多少ツツ手控ヘテ居リ

ギタ、ソレヲ後ニドウシテモ出來ナイカラ
減シテシマウト云フコトニナルト、其ノ影
響ヲ需要者ノ方ニ負擔サセル、自分ノ責任
ヲ人ノ責任ニ於テ試フヤウナコトニナルト
思フ、私ハ實際經濟統制ヲヤル役人ノ考ヘ
方ハソレデハイケナイト思フ、サウ云フコ
トデハ本當ニ初メカラ經濟統制ヲヤルダケ
ノ資格ガナイノデアリマス、ドウシテモ國
家ガヤルト言ツタ以上ハヤラナケレバナラ
ス、相手方ハソレニ依ツテ計畫ヲ立テテ居
ル、現在ハドウカト云フト、モウ産業界ノ狀
態ハ、全ク其ノ日暮シデ計畫モ何モ立タズ、
浮草見タヤウニ其ノ日暮シノ日流レテ居ル
ウナモノデアアル、試力界ノ現狀ハヒドイモ
ノデアアル、是ハ私ハ試力ノ現狀ヲ能ク知ツ
テ居ル、本當ニ期限ヲ定メテ契約スルコト
ハ此處デハ出來マセス、是ハ後カラ私ハ言
ヒマスガ、輸出ノ問題デモ相當ナ輸出ガア
ル、去年ノ八月アタリノ輸出ノ契約ガマダ履
行出來マセス、事實出來テ居ナイト云フヤ
ウナ狀態デアリマス、サウ云フコトニナツ
テ居リマスカラ、殊ニ今ノ民需ヲ壓迫シタ
現狀ニ對シテハ、國家ハ責任ヲ持ツテ、或ル
一定ノ時期マデ此ノ空切符ヲ整理シテ賣
ナケレバナラスト思フ、出來ナイカラ仕方
ガナイト云フヤウナコトデアリマスガ、
是ハ私ハ國家ノ信用ヲ維持スル所以デハ
ナイト思フ、或ル場合ニ、例ヘバ實際ノ
需要ニ對シテ八割トカ九割トカ云フヤウナ
コトニナツテ居レバ、ソレハ想セマセウ、
併シ後カラ又私ハ指摘シマスガ、現在ハ二
割ノ程度ニナツテ居リマセマス、サウ云フヤ
ウナ狀態デ、本當ニ國民ヲ潤滑セシメテ戰
争ガ出來マスカ、私共ハソレヲ憂ヘル、今
ノ御考ノヤウナ風デ、其ノ次ノ期ニ減ス、

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

又次ノ期ニ減ス、一遍ニ減セバ目立ワカ
ラ、段々減額シテノコトヲ行カウト云フ消
極的ナコトト止メテ貰ヘナイカドウデスカ
○豫算委員 今御話ノ點能ク承リマ
シタ、吾々切符整理ニ際シテ十分考慮
致ス積リデアリマス、唯願クバ私共トシマ
シテハ、十ノ生産ガアル所ニハ切符ヲ出
シテ、少シデモ整理シテ行カウト云フ氣持
デ居リマスガ、ソレ以外ニ若シ名案デモア
レバ、此ノ際デナクテモ宜シウゴザイマス
カラ、特ニ吾々ニ教ヘテ戴キタイト思ヒマ
ス、今ノ御話ハ十分ニ承ツテ參考ニ致シマ
ス

○豫算委員 私ハハマダ當局ノ本當ノ認
識ガドウカト思ヒマス、ト云フノハ、極ク
輕ク普通ノ行政見タヤウニ減ジテノ答辯ノ
ヤウデス、私ハ其ノ前ノ期ニ配給シタ空切
符ヲ次ノ期ニ整理スルト云フコトハ、イカ
ス、例ヘバ百題ヤルト言ウタナラバ其ノ通
リヤル、結局其ノ次ノ期ニ少ナク配給スル
ト云フコトハ、ソレハヤハリソレダケノ配
給數ヲ若シ少ナクヤレバ、其ノ次ノ期ニ減
ジタダケノモノハ配給出來ル、現物ハア
ル、要スルニ現物ノ減少ニナルノデ、國家
ガ儲ヲ言ウタト云フコトニナル、表面ニハ
儲ヲ言ウタト云フコトニハナリマス、
併シ實質カラ見レバ、其ノ期ニ減シタモノ
ハ、其ノ次ノ期ニ配給出來ルモノヲ配給出
來ナイコトニナルノデ、サウ云フヤウナ整
理ノ仕方ガイカスト云フノデス、ソレハ一
種ノ胡麻化シデアツテ、斯ウ云フ風ナ經濟
組織ニナツテカラハ、役人ガ本當ニ生産人
ニナツタト云フ氣持ニナツテヤラナケレバ
イカスト思フノデス、ココヲ言フノデス、
ソレカラ段々次ニ移ツテ行キマスガ、ソレ

○關聯シテ「ミスロール」問題、是ハ「ミス
ロール」ト言ウテハ大臣ハ御分リニナリマ
スマイガ、當局ハ能ク御分リデス、是ハ先刻
別席デ關口君ト話合ヒマシタガ、私ハ商工
當局ノ非常ナル失態ダト思ヒマスガ、今彼
此レ追求ハ致シマス、併シナガラ見ニ角
斯ウ云フヤウナコトデ商工業者ハ非常ニ迷
惑ヲ蒙ツテ居ル、是ハ極端デス、千題ノ配
給ヲ受ケタ、所ガ事實ハドシナニ買付ヲシ
テモ七十三題シカ取レナイ、ソレデ其ノ「ミ
スロール」ヲシタガ爲ニ、今度ハ本配給ノ
方デハ、今マデ彼此レ二千題配給ヲ受ケテ
居ツタヤウナ千題ニ減ラサレタ、サウ云フ
ヤウナ因縁付ノ問題デアリマスガ、此ノ
整理ニ付テハ、是ハハ役所ハ特ニ御考ヘテ
願ヒタイト思フノデス、ソレカラ其ノ次ニ
民間ノ各團體ニ、私ガ實際知ツテ居ル鐵力
ノ問題ニ付テ、如何ニ配給ガ不公平ニナツ
テ居ルカト云フコトヲ指摘シテ見タイト思
ヒマス、ソレハ外デモアリマセ、商工大
臣ノ御態度ヲ私ハ最初カラ非常ニ好感ヲ感
ジテ居ルノデス、全ク考自體トシテハ、私
共ノ考ヘテ居ル所ト少シモ違ヒハナイ、恐
ラク是ハ商工大臣バカリデナシ、全部ノ
人ガサウカモ知レナイ、併シナガラドシナ
商工大臣ガ見エテモ、今マデ實際ノコト
ヲ御存ジナケレバ、如何ニヤル氣持デモ、
ソレハ出來ルモノデハナイ、ソコデ今日藤
原サシノ御就任ハ、私共ガサウ云フコトヲ
説明スルニ付テハ、御經驗ノ深い方デ早分
リナサレシ、此ノ危機ニ際シテノ一番私ハ
適任者デアラト思フノデス、而モ又先般來
ノ質問應答カラ、非常ニ好感ヲ感ジテ居ル
ヤウナ次第デアリマスガ、是ハ私共特ニ一
ツ御留意置キテ願ヒタイト思フ、サウシテ

サヘモ約三萬題デ、是ハ石油業者自身ト、
ソレカラ五「ガロン」ノ組合ニ配給ニナツタ
モノ、合セテ約三萬題位ニ需要ガナツテ居
ル、私共ガ實際戰前ノ狀態ヲ業者ニ就イテ
調査シテ見ルト、是ハ確實ト云フコトハ申上
ガ難ネ、併シ兎ニ角念ニ念ヲ押シテ業
者同士ノ考テ言ツテ見テモ、是ハ八年ニ六萬
題ノ需要ガアツタモノト思フ、是ハ三萬題
ト一萬二千題ト合セテノガ其ノ六萬題ニ相
當スル、サウ云フ需要ガアツタ、ソレガ現
在ニ於テハ、先程私ガ申上ガヤウナ風ナ
數字ニナツテ居ル、而モ鐵力、王冠、ソレ
カラ五「ガロン」、此ノ配給ノ數字ハ其ノ時
時ニ依ツテ相當増減ガアル、是ハ其ノ組合
アタリガ色々ノコトデ運動シタ結果ダト思
フ、唯日鐵聯ニ至ツテハ、是ハ一昨年、昭
和十三年ノ第四期分トシテ三千六百題實ツ
タ、是ガ段々減ツテ十四年ノ第一期ニ於テ
ハ二千八百題ニ減ツテ居リマス、ソレガ第
二期ニ於テハ千九百九十題ニ減ツテ居ル、
第三期ニ至ツテハ是ハ千九百九十題、アノ「ミ
スロール」ノ誤リガアツタ時、是ガ千五百
題ニナツテ居ル、去年ノ十月カラ十二月ニ
千九百五十三題ニナツテ居ルト云フ風ニ一
律ニ減ツテ居ル、一方デハ殖ヤシタリ減ラ
シタリシテ居ル、一方デハ常ニ減ラサレ
テ居ルト云フノハ、是ハ何處カラ來ルカ、
ソレヲ一ツ伺ヒタイ

政治ト行政ノ實行トガ決シテ背馳シナイヤ
ウニ、是ハ十分ノ御決心ヲ持ツテ御計リ願
ヒタイト斯ウ思ヒマス、私ガ先づ最初ニ當
局ニ御尋シタイノハ、今民間ノ團體ニ對シ
テ鐵力ガドウ配給サレテ居ルカ、又配給サ
レテ居ルノガ公平ダト思フカドウカ、前提
トシテ之ヲ承リタイト思ヒマス、是ハ私ハ
先般同僚ヲ通ジテ、配給サレテ居ル實際ノ
表ヲ頂戴致シタイト御願シテ置イタノガ、
マダ手許ニ參リマセ、併シ大體ノ大マカ
ナ所ハ實ハ私ハ知ツテ居ルノデ、此處デモ
話ハ出來ルノデス、其ノ大體數デ宜シウゴ
ザイマス、ソレカラ其ノ數デ、アナタ方此ノ
際ハ已ムヲ得ヌト思フテ居ラレカドウ
カ、ソレヲ先づ承リタイ

○豫算委員 數字ノ點ハ一寸申上ガ兼
ネルノデゴザイマス、細カク申上ゲルニハ、
ドウシテモ鐵力ノ生産ガ幾ラアツタカ、モ
トト下ゲレバ生産割當ガ幾ラアツテ、實積
ガ幾ラアルカト云フコト、又ソレガ各組合
ニドウ云フ風ニ行渡ツテ居ルカト云フコト
ヲ申上ゲナケレバナラスノデアリマスガ、
數字ハ一寸申上ガ兼ネルヤウナコトニナツ
テ居リマス、ケレドモ私共ノ氣持トシテハ、
今鐵鋼其ノ他ノ物モ隨分アルダラウト思ヒ
マスガ、鐵鋼ノ割當ハ、是ハ、理窟ニナリ
マスケレドモ、鐵ノ利用ヲ國家的ニ見テ、
最モ大キイ價值ヲ持ツヤウニスルト云フコ
ガ主眼ニナツテ居ルノデアリマス、デアリ
マスカラ、同じ一塊ノ鐵デアリマシテモ、
ソレヲ使ツテ生産力擴充ニ當テ、工作機
械ヲ造ツテ、或ハ工具ヲ造ツテ生産力擴充
ノ爲ニナルト云フコトニナレバ、是ハ國家
的ニ見テ非常ニ價值ガ大キイ、併シ其ノ鐵ヲ
以テ子供ノ玩具ヲ造ルト云フコトニナルト、

聊カ今ノ工作機械ニ比シテハ效果的ニ少イ
ト私ハ考ヘテ居リマス、隨テ公平ト云フ點
ガ、唯算術的ノ公平デハナクシテ、此處ニ
或ル「ウエイ」ト置イタ公平ト云フコトニナ
ツテ來ル譯デアリマス、其ノ結果比較的「ウ
エイ」ト輕ク置カレタ所ノ業者ハ、相當不
平ガアルノデハナイカト云フ點ハ御察シス
ル次第デアリマス、併シ私共トシマシテモ、
物資ノ利用ガ國家的ニ見テ最モ效果ヲ大キ
クスルト云フコトハ、是ハ物資割當ノ積極
的條件トモ言フベキデアリマスケレドモ、
消極的條件トシテモウツ考ヘテ居リマス、
ソレハ其ノ限界ガ個人ノ生活ヲ脅威シナイ
ト云フ點ニ置イテアル譯デス、第一ハ、詰
リ物資ノ利用ガ國家的ニ見テ最モ價值ノ多
イト云フ方面ニ多クスルト云フコトヲ考慮
シテ配給スル、第二ハ、但シ其ノ配給方法
ニ依ツテ、國民生活ヲ脅威スルコトノナイ
ヤウニスルト云フコトガ私共ノ主眼デアリ、
少クトモ私ノ信念トシテサウ云フヤリ方デ
居リマス、其ノ數字ニ付テ具體的ノ説明ハ
御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○豫算委員 私ハ餘リ政府ノ方ガ頑クナ過
ギテ居ルノデハナイカト思フ、ソコデ唯數
字ノ要求ハ、實ハ民間團體ダケノ要求ナン
デス、ソレガ官廳用トカ、或ハ軍需用トカ、
或ハ生産擴充用トカ、或ハ植民地用ト云フ
コトハ、大體多少ハ開イテ居リマスガ、ソ
レヲ要求シテハ御困リダト思フノデス、併
シ民間ニ對シテハ必要ノ數字ハ、是ハ各團體
ニソレレノ「何カ」行ツテ居ル、其ノ數字ダ
ケハ言ハレテモ差支ナイト思フノデス、併
シ是モ秘密事項ニナツテ居レバ、是以上御
尋シ追求スルコトハ致シマス、併シ私共
實際事ニ當ツテ行ク者ハ、順序ノ過程カラ

自然分ツテ來ルノデス、今私ハ政府ノ責任
アル地位カラノ何ハ申上ゲズニ置キマセウ
ガ、現在民間ノ各團體ニ配給サレテ居ル中
ニハ、マア大マカナ所、鐵力工業組合デ、
各期ニ多少ノ違ヒガアリマスガ、一萬八千
題カラ二萬題、ソレカラ五「ガロン」ノ組合
デ、是モ其ノ期其ノ期多少ノ違ヒガアリ
マスガ、是ガヤハリ二千題カラ三千題ダト
思ヒマス、ソレカラ鋼管ノ組合デ、是モヤ
ハリ期々多少ノ違ヒガアリマスガ、是ガ
千三百題カラ二千題、ソレカラ日鐵聯ニ配給
ニナツテ居ルノガ、一番少イ數字デ千五百
題、一番多イ數字ガ一昨年ノ十月デスガ、
是ガ三千六百題餘リニナツテ居リマス、ソ
レカラ各府縣ノ府縣聯デハ、是ハ去年ノ
十月カラ配給ノ「ベイス」ガ變ツタノデハツ
キリシマセ、併シ其ノ配給ノ「ベイス」
ヲ去年ノ十月マデ懸ツテ考ヘテ見ルト、要
スルニ千八百題カラ二千、三百題ダト思
フノデス、之ヲ實際ノ生産ノ狀態カラ考ヘ
テ見ルト、私共ハ非常ニ不公平ニナツテ居
ルト思フ、戰前ノ鐵力ノ需要狀態ヲ一見
ハ私ノ友人ノ講演シタモノデアリマスガ、
恐ラク商工業者モ、農林省デモ、是ガ大體基
本ノ土臺ニナツテ居ルト思フノデアリマス
ガ、戰前ノ鐵力ノ需要ノ狀態ヲ私ノ友人ガ言
フタノデハ、是ハ石油鐵力ガ四萬九千題、アル
コイル鐵力ガ六千題、ソレシテ食料鐵力ガ一
千二百題、鐵力總計ガ五萬八千題、陸海軍用ガ三
萬題、玩具、塗料、爆竹等雜品用ガ三萬
題、輸出用ガ五千題、是ハ鐵力トシテ輸出スル
約十九萬三千題ト云フコトヲ講演致シテ居
リマス、斯ウ云フヤウナ狀態デアル、之ヲ
是認シテ居ル數字ニシテモ、私ハ之ヲ多少
是認致サナイト云フノハ、石油鐵力現在デ

於キマシテ此ノ鐵鋼ノ統制ハ突然行ハレタ
爲ニ、別段統制ノ基礎ト云フモノヲ十分
持ツテ居ナイ譯デアリマス、兎ニ角各方面
ノ組合、或ハ「エキスパート」ノ意見等ヲ參
照シマシテ、一應過去ノ實績ト稱スルモノ
ヲ標準ニシテ、鐵鋼ノ割當ヲシタノデアリ
マス、サウシテソレヲ時々ノ狀況、新シイ資
料ニ依ツテソレヲ修正シテ行クト云フ方針
ヲ先づ現在デハ執ツテ居リマス、所ガ先程
申上ガマシタヤウニ、生産ノ方面ガ非常ニ
豫期ニ反シテ落チテシマツタ譯デアリマス、
隨テ而モ其ノ緊急ノ需要ハ、昨年度ニ於キ
マシテハ相當迫ルト云フヤウナ譯デ、特ニ御
話ノ出マシタ鐵力等ニ於キマシテハ、鐵力
ノ原料トナル礦物ノ輸入ガ、實ハ所期ノ如
クデナカツタト云フヤウナコトデ、鐵力ノ生
産ガ非常ニ落チテ居ル、其ノヤウナ點デ豫期
ノ配給ガ出來ズ、結果ニ於テ非常ニ遺憾ナ
狀況ニナツテ居ルモノト思ヒマス、サウシ
テ今ノ御話ニナリマシタ日鐵聯ト云フノハ、
雜鐵力ノ製品ノ組合ト承知致シテ居リマス
ガ、此ノ組合員ノ作リマスモノハ、繪具ノ
容器トカ、「ペイント」ノ容器トカ、藥品ノ
容器ト云フヤウナモノガ主ナルモノデアリ
マシテ、中ニハ輸出モアリマス、又内地ニ
付テモ相當重要ナ方面ニモ使用サレルト云
フコトガ、漸次ニ判明シテ參ツテ居リマス、
今後ノ割當ニ於キマシテハ、其ノ點ヲ十分
ニ考慮シマシテ、相當數量ヲ配給シタイト
云フ心構ヘテ居リマス、唯差當リ此ノ一月、
三月分ト云フノハ、マダ電力ノ關係、石炭
ノ關係等ガ安定ヲ得マセヌ爲ニ、必ズシモ
吾々事務當局ノ理想トスル數量ニハ達シナ
イカモ知レマセ、次年度物動ニ於キマ
シテハ、此ノ點ガ相當考慮サレルモノト御

承知置キテ願ヒタウゴザイマス
○原主査 藏原サシ、一寸御相談デスガ、
昨晚モ大分遅ウゴザイマシタ、モウ五時
半近イデスカラ、本日ハ此ノ程度ニシテ、
明日午後一時カラニナスツテ戴ケマセヌカ
○原主査 ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會
致シマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマ
ス
午後五時二十一分散會

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄
第一回 昭和十五年二月十六日

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄
第一回 昭和十五年二月十六日

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄
第一回 昭和十五年二月十六日

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄
第一回 昭和十五年二月十六日

昭和十五年二月十七日印刷

昭和十五年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 豫算委員第七分科(商工省)會議錄(速記)第二回

會 議
昭和十五年二月十七日(土曜日)午後一時十
九分開議

出席委員左ノ如シ
主席 原 夫次郎君
松本 忠雄君 櫻井兵五郎君
川島正次郎君 松村 光三君

池田 秀雄君 最上 政三君
中島彌團次君 末松借一郎君
矢野庄太郎君 牧野 良三君
吉植 庄亮君 山本 芳治君
坂本宗太郎君 板野 友造君
水谷長三郎君 田原 春次君
藏原 敏捷君 篠原 義政君
加藤 知正君 星 一君
矢野庄太郎君

同日第一分科所屬員星一君、第三分科所屬
員矢野庄太郎君、第四分科所屬員加藤知正
君及第六分科所屬員篠原義政君ハ孰レモ本
分科業務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ
商工大臣 藤原銀次郎君
出席政府委員左ノ如シ
商工政務次官 加藤鏡五郎君
商工參事官 喜多壯一郎君
商工省鑛產局長 小金 義照君
商工省鐵鋼局長 塩谷狩野吉君
商工省化學局長 永田彦太郎君
商工省機械局長 鈴木 英雄君
商工省纖維局長 辻 謹吾君

商工省監理局長 牧 檜雄君
商工省振興部長 妹川 武人君
商工書記官 山本 茂君
商工書記官 椎名悦三郎君
特許局長官 大貝 晴彦君
燃料局長官 東 榮二君
貿易局長官 小島 新一君
物價局長官 新倉 利廣君
主任ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員 漢那 憲和君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十
五年度各特別會計歳入歳出豫算案中商工
省所管
豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲ス
ヲ要スル件中商工省所管
○原主査 開會ヲ致シマス——藏原君

○議原委員 昨日ハ質問最中ニ散會ニナリ
マシテ、私ズツト續ケテヤルニ非常ニ拍子
抜ケガシテ居リマス、唯昨日ハ今ノ配給ノ
大體ノ標準方何モナイノダ、ソレデ仕方ガ
ナイカラ二三ノ當業者ナドニ聽イテ、配給
ヲ決シタト云フ、併シ生産擴充トカ現ニ角
相當重要ナ方面ニハ割合ニ餘計配給シテ、
隨テ外ノ方面ニハ少クシテ貰ツタト云フヤ
ウナ御答ノヤウダツタト思ヒマス、ソレガ
ラ最後ニ日賦聯ニ對シテハ、モウ少シ配給
ヲ考ヘヨウト云フヤウナ御話デアリマス
タ、一應ノ御考トシテ私洵ニ御尤モノ御答
辯ダト思ヒマス、併シ私共ハソレデハ満足
シナイ、ト云フノハ大體眞ツ正直ニ何モ標

準ガナクテ、仕方ナシニ殆ド第六感のニヤ
ツタト云フコトヲ白狀シテ貰ツタコトハ非
常ニ結構デス、併シナガラ是ガ如何ニ商工
省ノ方ニ材料モナシニ亂暴ニヤラレタカト
云フ一ツノ反面ノ證據デス、ノミナラズヤ
ハリ吾々ハ道理デ行キタイ、唯何モ基礎ハ
ナイガ、是カラ先殖ヤシテヤラウト云フヤ
ウナ意味デハ毛頭ナイ、ヤハリ是ハ經濟ノ
色々ナ配合等ノコトハ、ソコニソレガ成立
ツダケノ合理的ナ根據ガアツテヤツテ居ル
ノデ、ソレヲ是カラドウシテ立テテ行カ
ト云フコトハ、根本的ナ何カノ基礎ガナケ
レバナラズ、ソレデ若シ基礎ガアレバ頂戴
スルシ、ナケレバ仕方ガナイカラ頂戴シテ
イト云フコトニナラナケレバナラズ、私共
ガ現在ノ配給ノ根據カラ、統制ノ根據カラ
見テ非常ニ不公平ニナツテ居ルコト云フノハ、
ヤハリソコニ私共ハ根據ヲ持ツテ居ルカラ
デアル、ソレデナケレバ不公平トハ言ハナ
イ、是ハ同僚カラ盛ニ言ハレタコトナシ
スガ、要スルニ乏シキヲ憂ヘズ、等シカラ
ザルヲ憂フ、私共ハ全ク其ノ趣旨カラ今マ
デ主張シテ居ル、ソレダカラヤハリ經濟統
制ノ局ニ當ル人ハ、即チソコニ國民生活ノ
最小限度ノ維持ト云フコトヲ根柢ニ置イテ
サウシテ等シクヤルト云フコトニヤラナケ
レバナラズト思フ、勿論各種産業ノ重要性
ト云フコトニ付テハ、若シソレガ非常ニ重
要ナモノデアラナラバ、是ハ不公平ニヤツ
テモ致シ方ガアリマセヌ、併シナガラソコ
ニ重要性ニ付テノ相當ノ權衡ガ執レテ居ル

トスレバ、ソレニ對シテハヤハリ其ノ重要
性ニ應ジタダケノ配給モシテ貰ハナケレバ
ナラズト云フコトニナル、其ノ觀點カラ私
共ハ唯漢トソレデハ仕方ガナイカラ、少シ
位殖ヤシテヤラウト云フヤウナコトデハ承
服ハ出来ナイ、昨日モ申上ゲタ通り、十二
年即チ戰爭直前ノ需要ノ關係ヲ言ヘバ、昨
日申上ゲタ通りデス、ソレガ現在ドウナツ
テ居ルカト云フト、總計ノ方デハ戰前ノ目
安ヨリモ、去年ノ配給ガ一万七八千餘計
行ツテ居ル、王冠ノ方ニ至ツテハ私ハ恐ラ
ク倍行ツテ居ルト思フ、石油トカ或ハ軍需
ト云フコトニ付テハ、是ハ特殊ノ關係デ私
共ハサウ論ジタナイ、是ハ即チ私自身ガ
其ノ重要性ヲ認メテ居ルカラデアル、外ノ
方面ノ府縣購聯トカ、或ハ日賦聯トカ云フ
モノハ、ドウ云フ風ナ狀況ニナツテ居ルカ
ト云フト、私ノ推算シタ狀況デハ、現在ハ
約二割弱、府縣購聯ノ方デサウト二割強ダ
ト思フ、其ノ位ノ材料シカ配給ニナツテ居
ナイ、ソレハ要スルニ商工省ノ至ク第六感
的ノ配給ノ結果カラサウナツテ居ル、一割
トカ二割位ノ配給ヲ受ケテ、大體生業ガ成
立チマスカ、私ハ成立タヌト思フ、成立タ
ヌカラ現在デハ非常ニ産業界ノ混亂ヲ來シ
テ居ルシ、生活ノ不安ニ喘イデ居ル、私ハ
此ノ事實ヲアナタ方調査シテ見レバ能ク分
ルト思フガ、併シ調査ナシマス、ソレハ結
構デス、ドウデモ宜イ、併シナガラ此ノ事
實ダケハ是ハアナタ方能ク一ツ頭ニ入レテ
貰ヒタイ、サウ云フ所ニ根柢ヲ置イテ、昨

日デスカ中上ゲタノハ、府縣購辦ナリ、日鐵
聯ノ關係ノモノガ約戰前ニ六万噸ノ需要ガ
アツタ、ソレナラバソレニ應ズルゲケノモ
ノヲヤウテ賈ハナケレバ、生活ナリ産業ト
云フモノハ成立タヌ、ソコノ根柢ヲ私共ハ
明ニシテ賈ヒタイ、根柢ヲ明ニスルト同時
ニ、其ノ根柢ノ上ニ正當ナル配給ヲ決定シ
テ賈ヒタイト云フノガ、私共ノ究極ノ希望
ナラデス、唯生産擴充トカ或ハ産業ノ重要
性ニ鑑ミテ、相當多數ノ分量ヲ配給シテヤ
ルト云フコトヲ言ハレタ、ソレハ恐ラク私
ハ謹言ト王冠ヲラウト思フ、ソレナラバ謹
言ト王冠ハ産業界、或ハ今ノ經濟界ニ於ケ
ル産業上ノ重要性或ハ地位、其ノ根柢ハ何
處カラ來テ居ルカ、私ハ先ヅソレヲ聽キタ
イ、何ノ爲ニ謹言ナリ王冠ヲサウ重視シ
テ、戰前ヨリモズト多クノ配給ヲヤウテ
居ルカ、ソレヲ聽キタイノデアリマス

○塩谷政府委員 只今ノ御質問ニ、第六感
デ吾々ガ配給シテ居ル、斯ウ云フヤウナ御
話ガアリマシタガ、ソレハ少シ批評ガ附
ト思ヒマス、ソレハ大局カラ言ツテ、第六
感ニ依ツテ配給サレテ居ルト云フ批評ヲ受
ケテモ、仕方ナイト云フ部分モナイトハ限
リマセヌ、併シ私共配給ニ當リマシテハ、
昨日モ申上ゲマシタ通り、或ル部門ヘ鐵ヲ
配給スル、其ノ部門々々ノ「ウエート」ヲ十
分ニ考ヘタ上ニ、先ヅ第一ニ配給ヲ考ヘテ
居リマス、併シ同時ニ其ノ配給ガ適正ニ行
ク、ウエート「ダケ」デナクテ、國民生活ノ實
體、産業ノ實體ニ即スト云フ必要ノ爲ニ
ハ、一應過去ノ状態ヲ知ルト云フコトヲ重
視シテ居リマス、同時ニ日ニ「變化」シテ
行ク經濟ノ流れニ即應スル爲ニ、其ノ經濟
ノ變化ノ状態ヲ掴ミ取ラウト努力シテ居ル

ノデアリマス、過去ノ状態ハ結局統計ニ依
ツテ知ルヨリ外仕方アリマセヌガ、不幸
ニシテ王冠ガ過去ニ於テドレ位使ハレテ居
ルカ、鐵力製品ノ玩具ナラ玩具ニ、ドノ程
度ノモノガ行ツテ居ルカト云フ統計ハ、完
全ナルモノハ現在アリマセヌノデス、ソコ
デ吾々トシテハドウスルカト申シマス、
各消費ノ統制團體カラ資料ヲ徴シマシテ、
其ノ資料ヲ土臺ニシテ配給ノ割當ヲ決メテ
ハ全部宜イモノトシマスト相當大キナ數量
ニナル、進モ今ノ生産力ノ二倍ニナツテモ、
三倍ニナツテモ足ラヌト云フヤウナ状態ニ
ナルノデアリマス、ソコデソレヲ或ル程度
ニ先程申シマシタ「ウエート」ヲ考慮シツ
ツ、壓縮シテ行クト云フコトニ相成ツテ居
ルノデアリマス、デアリマスカラ昨日モ申
シマシタヤウニ、結果ニ於テ俺ノ所ハ少イ
デナイカト云フヤウナ議論ガ出テ參リマ
ス、併シ何ト云フテモ生産ニハ限度ガアル
ノデアリマシテ、ソレデ其ノ枠ヲ破レルト
云フコトニナルト、ソレハ已ムヲ得ヌ、我
慢シテ戴カケレバナラヌト云フコトニ相
成ル譯デアリマス、併シ吾々トシテモ、是
モ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、ソレガ産業
ニ脅威ヲ與ヘルト云フ點マデハ落サス積リ
デ居ル譯デアリマス、ソコデ只今謹言ヲ王
冠ニ、非常ニ澤山ノ鐵力ガ行ツテ居ル、一
般ノ鐵力製品ニハ餘リ行カナイノデナイ
カ、ソレハドウ云フ「ウエート」ヲ、ソコニ
付ケタカト云フ御話デアリマスガ、是ハ必
ズシモ「ウエート」ダケガ重要視サレテ居
ルノデアリマセヌ、今申上通り統制團體カ
ラ出テ來タ資料ヲ基礎ニシテヤル、ソコニ
行クト第六感ガ働カ、第七感ガ働カ、

色々ノ批評モアルデアリマセウケレドモ、
其ノ統制團體カラノ資料ヲ土臺ニシテ、一
應査定シテ居ル譯デアリマス
○鹽原委員 少シ固ク答辯サレタヤウデス
ガ、餘リ固ク答辯サレナイ方ガ宜イト思フ
ノデス、私共モ今外部カラサウ批評サレテ
モ仕様ガナイト云フコトデ、寧ろ兎ノ脱ガ
レタト思フノデスガ、是ハ實際全クノ御見
當デス、謹言カラドレ位ノ量ガ出テ居ル、
鐵力製品アタリカラドレ位ノ量ガ出テ居ル
カト云フコトヲ、僕ハ大體知ツテ居ルノデ
ス、ソレデソレヲ土臺ニ置カレタナラバ、
サウ變ラヌ答デス、唯謹言ガ其ノ重要性ヲ
認メラレクノハ、此ノ輸出貿易ノ點ニアル、
麥酒ハ何處ニアルカ知リマセヌ、ガ併シ大
減ト云フ位ニ考ヘテ居ル、麥酒ノ輸出ノ數
ハ是ハ殆ド一割カ二割シカ出テ居ナイ、十
万石カ十五万石カト思フ、謹言ノ重要性
ハ要スルニ現在輸出貿易ニ貢獻シテ居ルカ
ラト云フコトニアル、私ガ實際全ク鐵鋼局長
以下ヲ餘リ追究スル氣持ニモ實ハナラヌ、
ト云フコトハ、實ハ大臣ニ相當考慮シテ戴
カケレバナラヌコトガアル、謹言ノ後ニ
ハ産業組合ト謹言協會ト云フモノガアル、
去年ノ四月、六月ノ配給ガ謹言ハ非常ニ少
カツタノデス、ソレハ實ヲ言フト、私共ガ
餘リ謹言ノ橫暴ト云フコトヲ攻撃シテ歩イ
タ結果、少クナツタノグラウト思フ、最初
二万二千噸ダツタモノガ、一万六七千噸ニ
ナツタ、ソコデ謹言ノ方デハウロタヘテ、
農林大臣ヲ動かシ、殆ド政治的ナ働キヲシテ
農工大臣ニ迫ツタコトガアルト思フ、其ノ結果
謹言ハ寧ろ輸出産業ノ重要ナルトシテ認メ
ラレテ、其ノ結果當局デハ如何ニモナリ難イ

ヤウナ情勢ニナツテ居ルト私ハ思フ、私ハ今
ノ大臣ハ全く無關係デアリマスカラ、是カラ
先ヅソレヲ是正シテ戴キタイト考ヘルガ、是
ハ其ノ當時ノ農工大臣ハ誰デスカ——前ノ
前ノ農工大臣ハ八田サンデスカ——此ノ無
知ノ結果サウナツタ、結局商工省内地何モ
ソレニ對抗スル材料ガナシ、謹言ハ輸出ダ
ト云フコトデ、唯ソレニ總テノ問題ヲ便乗
サシテ、輸出ダトシテソレヲ認メテ、一種
ノ生産擴充ノ方ノ部門ニ入レテ之ヲ獎勵シ
タ、私ハ甚ニ實際國家ガ能力ヲ以テ非常ナ
馬鹿々々シイコトヲヤウテ居ルト云フ實例
ヲ見ル、ト云フノハ謹言ガ若シ一ツノ會社
ヲ經營シテ居ルトカ、或ハ又若シ是ガ生産
過程ニ是ダケノモノヲ出スナラバ、ドウシ
テモ半分位ノ廣レガアルト云フコトニナレ
バ、是ハソレノ輸出ヲ獎勵スルガ爲ニ、半
分位ノ廣レヲ見ナケレバナラヌカモ知レ
ヌ、サウ云フ産業界ノ情勢ナラバ、ソレハ
仕方ナイト言ウテモ差支ナイ、併シナガラ
謹言ト云フモノハ、約千軒以上ノ小サナモ
ノニ依ツテ經營サレテ居ル、其ノ小サナモ
ノニ依ツテ經營サレテ居ル謹言ノ中デモ、
殆ド其ノ輸出ノ大部分ト云フモノハ北洋漁
業カラ來テ居ル、日魯漁業ナリ或ハ外ノ漁
業ガアル、露西亞ノ何カラ、約六七千噸
ノ輸出ニナツテ居ルト思フ、サウ云フ譯
デ、外ノ農産物ノ謹言ノ輸出トスレバ、
恐ラク私ハ平均トスレバ全額ノ二割以下ダ
ト思フ、其ノ大部分ト云フモノハ内地向
キノ商品ナラデス、ソレヲ謹言協會アタ
リガ、一面ニ於テハ農林ノ生産擴充、農
村ノ彼此レノコトニ引掛ケテ來ルシ、一
ニ於テハ輸出産業ニ引掛ケテ來ルシ、ソ
レデ農林大臣ヲ動かシ、商工省ニ對シテ

攻勢ヲ執ツテ來タ、私ハ農林省ノ態度ガ非
常ニ怪シカラヌト思フテ居ル、今茲デ農林
省ヲ攻撃シテモ始マラヌコトデアリマスガ、
併シ實際今農林省ハ産業組合トカ、或ハ農
林團體ノ出店ミタイナモノデ、國家ノ機關
デハナイヤウニ考ヘル、其ノ産業組合ノ尻
馬ニ乘ツテ農林省ガ商工省ニ迫ツテ、サウ
シテ内地ノ産業モ總テ輸出ニ便乗サシテ、
其ノ誤解ノ基礎ノ下ニ今謹言ノ橫暴ヲ許シ
テ居ルト云フノガ現状デアル、私ハ是ハ寧
ろ鹽原サンガ今度新任サレタ機會ニ、此ノ
根本ノ點ニ付テ一ツ兩大臣ノ間デ御話ヲナ
サツテ、産業界ノ總テノ方面ニ能ク調和ヲ
取ルヤウニ、一ツ御話ヲ願ヒタイト思フ、
ソレハ商工大臣ドウデスカ、サウ云フ風ナ
御盡力願ヘマスカ

○鹽原委員 ソコデ實際ノ數字ヲ玆ニ申上
ゲテ見テ宜イト思フノデスガ、今謹言ガ約
七万五、六千噸ノ鐵力ヲ取ツテ居リマス、
其ノ鐵力ノ中デ實際輸出ニナツテ居ルノハ
ドノ位アルカト言フト、是ハ謹言協會デ作
ツタノデスカラ、チツトモ嘘デモナンデモ
ナイ、昭和十二年度ニハ六百七十萬噸、之
ヲ鐵力ニ換算スルト、約三万五千噸使ツテ
居ル、六万噸ノ中ノ五割強デス、十三年度
ニハ七百十五萬噸デス、是ガ鐵力ニ換算サ
シテ見ルト、輸出ニ約四萬噸、ソレデ十三
年度ニハ鐵力約七萬噸使ツテ居リマス、ウ
スルト約三萬噸ハ内地向ダト云フコトニナ
ル、斯ウ云フ狀況デス、商工省デハ正論ニ
耳ヲ傾ケラレテ昨年ハツキリ態度ヲ決メラ
レタヤウデス、謹言ト云フノハ要スルニ重
要産業デアルガ、輸出ニ關係シタ分ダケ

デ、内地向ノ謹言ハ大體原則トシテ認メ
ナイ、是ハ輸出ト軍需ニ限ルト云フ大體ノ
意向ノヤウダト云フコトヲ聽イテ居リマス
ガ、ソコハドウデスカ
○塩谷政府委員 謹言ハ鐵力ノ鐵自體ガ、
相當肝要ナルモノデアルト同時ニ、ソレニ塗
ル錫ガ全部海外カラ入ツテ參リマス關係
上、鐵力ヲ非常ニ重要視致シマシテ、其ノ
貴重ナ海外輸入ヲ以テ獲得シタ鐵力ガ、國內
デ蜜豆ノ謹言ニナツタリ、汗粉ノ謹言ニナ
ツタリシテ「ハイキング」ノ時ニ持ツテ行ツ
テ谷底ニ捨テラレルコトハ非常ニ遺憾ダ、私
共トシマシテハ何處マデモ謹言ハ輸出品、
軍需ト云フコトニ限定シタイ、サウ云フ意
向ヲ持ツテ居リマス

○鹽原委員 ソレハ結構デス、ソレハ私共
ノ正論ガ通ツタ結果ダト思フノデス、ソコ
デ私ガ今申上ゲタヤウニ實際鐵力ヲ取ツテ
居ルノハ六万噸カ七萬噸デアルガ、事實ハ
三萬噸カ四萬噸シカ輸出ニナツテ居ナイ、是
ハ私共別席デ話シタ時分ニ、困ツタモノダト
云フ話ヲ當局カラ承ツテ居ル、併シナガラ困
ツタモノダデ放ツテ置ク譯ニハ行カナイ、戰
争前ハ恐ラク是ハ謹言業者ノ統計分ツテ
居ルガ、二万八千噸、其ノ後三萬噸以上内地
ニ流レテ居ルト思フ、ダカラ見テ御覽ササイ、
食料品屋デモ、果實屋デモ、酒屋デモ、菓
子屋、藥屋、サウ云フ所ニハ謹言ガ溢レテ
居ル、私共此ノ狀況ヲ見ルト實際不愉快デ
ス、政府デハサウ云フ方針ヲ執リナガラ、
ココマデ本當ニキリ切レナイノカ、内地産
業トシテモ、例ヘバ子供ノ遊具ニナル「ミル
クレ」トカ、或ハ其ノ他ホソノ少シ「パタ」以
外ハ仕方ガナイト思フ、是等ノ謹言業ニハ
ドレダケ材料ヲヤウテモ結構ダ、外ノ方面

「更ニ、謹言ナルモノガ輸出、軍需ヲ限リテ
生産セシムルヲ以テ輸出、軍需ノ充實ヲ期
シ得ベキモノニ非ザルハ、既ニ千萬言ヲ費
シタル所ニシテ、適正ナル内需ノ容認ニ依ル
生産業者ノ安定ヲ得セシムル事ニ依リテ、
初メテ輸出ノ潤床ヲ充タシ、軍事ノ後續行
動ヲ可能ナラシムルハ既ニ是認セラレタル
處ナリト信ズ」ト云フヤウナコトヲ言ツテ居
ル、是ハ怪シカラヌ、コンナコトナラバ總テ
輸出ハ出來ナケレバナラヌ管デアル、製品ヲ
精一杯造ツテ國內ニ溢ラシテ置イテ、サウ
シテ國內デ賣レナイノハ外ニ持ツテ行ク、
サウシナケレバ輸出ハ増進シナイト云フコト
ヲ、謹言協會ノ連中ハ言ツテ居ル、所ガ私
共ハサウハ思ハナイ、ココニ計畫經濟ト今マ
デノ自由主義經濟トノ不調ガアル、計畫經濟
ノ下ニ於テハ「ヤハリソコ」ニツノ計畫性ヲ
持タセテ輸出産業ヲ主トスルナラバ、内地
ノサウ云フ連中ニモ輸出ヲサセテ行カナケ
レバナラヌ、ソレデ初メテ計畫性ガアツテ、
産業ト統制トノ併行的ナ状態ニナル、是
ハ私ハ本當ニ駄々ツ子ノ議論ダト思フ、而
モ先程申上ゲマシタヤウニ、生産工程デ半
分位犧牲ニシナケレバ良イモノガ出來ナイ
ト云フナラバ、私ハ承服スル、併シ謹言協
會ノ状態ハ私ガ説クマデモナイ、自ら輸出
品ヲ造ルモノト、内地向キノ品物ヲ造ルモ
ノノ分野ハ決ツテ居ル、ソコデ斯ウ云フ風
ニシナケレバナラヌト云フノハ、私ハ謹言
協會ダケダト思フ、謹言協會ハ御承知ノ通
リ謹言ノ商賣ヲシテ、此ノ時局ニ乘ツテ約
四万噸、約二萬噸ニ値スル配給ヲヤウテ居
ル、ソレハ主ニ内地向キ謹言デアリマス、
ソレヲ謹言協會ガ配ツテ居ル、内地ノモノ
ヲ無クシテシマヘバ、謹言協會ハソレガ爲ニ

大分影響ヲ蒙ルノ非、非常影響ヲ受セウ、併シナガラ農民ニ至ツテハ、糶詰ヲ輸出ニ限ルト云フコトヲナクテモ、サウ困ラスト思フ、私共ハ元農民出身デス、私共ハ農村ヲ基礎トシテ居ル、糶詰ナドハ決シテ農民ガ直接ニ生産シテ居ルモノデハアリマセヌ、近頃産業組合ガ多少出シテ居ルガ、ソレハホソノ一部分デス、ソレハ大部分農民カラ低廉ニ材料ヲ仕入レテ、サウシテ農民以外ノモノガ糶詰ヲ居ルト云フノガ、現在ノ状態デアリマセ、ソレガチリ／＼バラ／＼ニナツテ居ル、是ガ内地品ヲ禁止サレタシテモ、或ハ制限ヲ受ケタトシテモ、農民ニハ大シク影響ハアリマセヌ、ソコデ産業組合ナリ、斯ウ云フ團體ノ利害ガ必ズシモ一致シナイト云フ状態ニナツテ居ル、ソレデモ一種ノ「ボス」ミタイナモノガ居ツテ、其ノ中間ニ於テ旨イ汁ヲ吸ツテ居ル連中ガ糶詰ヲ居ルト云フ状態ニナツテ居ル、サウ云フ者ノ顔ヲ立テ居ルト云フコトハ、不合理ナ一ツノ現象ダト思フテ居ル、先生建ノ主張ハサウ云フコトニナツテ居ル、私ハコソナ主張ハ意味ヲ成サスト思フ、併シ糶詰協會ノ中ニモ正論ガアリマセ、最近ニ至ツテ世間ノ攻撃ニ相應ズルガ爲ニ、農産糶詰ハ株式會社ヲ作ツタ、洵ニ結構デス、私ハ初カラ話ヲ聞イテ居ル、ドウシテモ是ハ内地品ヲ當テニシテハイカスカラ、輸出ニ向ケナケレバナラスト言フ、ソレデ商工省ニ相談シテ所ガ、農林省トノ經緯デ——是モ私ハ大分突込ムベキモノガアルガ、モウ突込ミマセヌ、此ノ間サウ云フ會社ガ出來タ、其ノ時ノ主張ハ斯ウ云フコトニナツテ居ル、「空糶」ニ惠マレナイ糶詰ノ生クル道ハ、輸出及ビ軍需以外ニナイ、市販糶詰ノ存在價值ハ、實際的ニ理論的ニアラユル角度カラ論ジ得ルケレドモ、プリキ板ノ不足ト云フ根本問題ガ横タハツテ居ル以上、如何トモナシ能ハヌノデアル」是ガ此ノ農産糶詰ヲ造ル時ノ大體ノ根本趣旨デアリマセ、此ノ議論カラ見ルト、要スルニモウ今マデ内地品ヲ目的ニシテ居ツタモノハ、輸出ト軍需ニ向テヨリ外ナイ、内需品ニ價值モ色々ナコトヲ言ハレマセヌ、實際ニ兵力ガ不足ダト云フ現在ノ情勢カラ見レバ、糶詰ヲ立テ居ルコトハイカス、ヤハリ輸出ニ向ハナケレバナラスト云フコトデ、同ジ糶詰協會ノ中デ二ツノ議論ガアル、要スルニ私ハ最後ニハ農産糶詰ヲ作ツテ居ル連中ガ、本當ニ胸ニ手ヲ當テテ考ヘタナラバ、吾々ノ正論ニ屈服スベキモノダト思フテ居ル、サウ云フ際際アルカラ、商工省ニモウ少シツカリシテ貰ハナケレバナラヌ、農林省アタリハ口ヲ閉ケバ農民ト言フ、併シ農民ノ眞ノ氣持ハ決シテ他ノ者ヲ飢ニサセ、他ノ者ノ領域マデ取リ、他ノ者ヲイヂメテ自分一人ガ繁榮スルト云フ氣持ハ天下誰一ナク、農民ハ他ノ團體トハ違ヒマセ、アタ方ハ農林省トモ正論ノ上ニ立ツテ行動ナラナケレバイカスト思フ、是ガ出來ナイ限リハ國民ハ納得シナイ、阿部内閣ノ倒レトノハ外デモアリマセヌ、斯ウ云フ個々ノ不平ガ集ツテソレデ倒レタ、今度ノ内閣デモ此ノ不公平ナル状態ヲ直ツテ載カナケレバ、私ハ幾何ノ命ガアルカラ疑フ者デアリマセ、春秋ノ筆法ヲ以テスレバ、阿部内閣ヲ倒シタノハ商工省ト農林省ト思フ、食糧問題ノ統制ノ失敗カラデス、必ズシモ米トカ炭バカリデハナイ、殊ニ最近百姓ハ割合ニ惠マレテ居リマセ、軍需糶詰ヲ濡手

ニ粟ヲ糶ムヤウナ儲ケハアリマセヌガ、併シ色々ナ關係ヲ百姓ハ割合ニ惠マレテ居ル、此ノ時局ノ影響ヲ最モ蒙ツテ居ルノハ、都會地ノ中小商工業者デス、アタ方ハ此ノ事ヲ念頭ニ置イテ載カナケレバナラヌ、斯ウ云フ氣持カラ私ハドウシテモ地均シ工事が必要ダト思フ、是ハ必ズシモ糶詰バカリデハアリマセヌ、王冠デモサウデス、王冠ハ約七千噸、八千噸ノ配給ヲ受ケテ居ル、戰前ハ三千噸カ四千噸ダツタト思フガ、實ハ今ハ一寸需要ハ殖エテ居リマセ、ワザワザ役所ガ需要ヲ殖ヤシタヤウナモノデス、アタ方實際統制ノ仕事ヲヤツテ居ルガ、麥酒ノ王冠ハドノ位要ルカハツキリ御存ジナイデセウ、アレハ千噸ノ兵力ヲ費スト約三億六千万ノ王冠ガ出來マセ、麥酒ノ一年ノ需要ヲ百五十万石トシテ、四合樽ヲ割出シテ見レバ分ル、四億足ラズデス、實際麥酒會社カラ聞イテ居ル所ニ依ルト、年ニ三億本ノ麥酒糶ガ必要ダト云フコトニナリマセ、ソレハ千噸足ラズデ間ニ合フ、來年度ノ生産量ハ二割減ダト云フ話ガカラ、マア百二十万石、多少ノスタツド賣リモアル、麥酒ノ王冠千噸アレバ大丈夫ダ、清涼飲料水モ麥酒ト大體トシ／＼ノモノデセウ、サウ云フコトヲ考ヘルト、今ノ需要カラ見テモ一年ニ四千噸アレバ行ケル、スルト約倍額ノ配給ニナツテ居ル、斯ウ云フ不公平ナル状態ハ一日モ早ク直シテ行カナケレバ、本當ニ産業ヲ殺シテシマフ、日鐵聯ノ産業ハドウ云フモノカ商工省デ平和産業ト稱シテ打テ叩カレシテ居ル、併シ能ク調整シテ見ルト、日鐵聯關係ノモノデ他ノ産業ニ使ハレテ居ナイモノハナイ、塵取トカ菓子箱トカ不念ナ物ハ製造禁止ニナツテ居ル、併シ製造禁止ニナツ

テ居ナイ部分ニ付テ、大阪ダケヲ調べテ見タ、極ク粗糶ヲ調デスガ大局ヲ察スルニ足ルト思フ、大阪製糶業者ノ相手ニナツテ居ル業者ハ、塗料、繪具、製藥、賣藥、化粧品、印刷、インキ、關係ノ工業、ソレカラ又食料品關係ノ糶詰以外ノモノ等デアリマセ、殊ニ塗料ナンカニ至ツテハ、寧ロ私共ハ或ル部門ハ生産擴充計畫ノ中ニ入レテモ宜イモノデナイカト思フ、非常ニ必要ナモノデアアル、繪具デモ、塗料デモ、製藥デモ、賣藥デモ、糶詰バカリ一定限度ハ代用品デ間ニ合ハシテモ、腐蝕其ノ他ノ關係カラドウシテモ兵力ガ要ル、兵力ガナケレバ工業ニナラヌ、サウ云フモノデ組合ヲ作ツテ居ルノガ九ツアリマセ、作ツテ居ナイモノモ大分アル、其ノ生産額ハ年ニ約三億七千万圓モアル、斯様ナ工業ノ基礎工業ヲ成シテ居ルノデアアル、スルト産業ノ重要性カラ言ウテモ、輸出ノ部門ヲ除イテ他ノ點ニ於テハ、私共糶詰アタリト比較ニナラヌト思フ、私共平常糶詰ナド食ヒマセヌ、ビクニツク」トカ、鐵砲撃チニ行ク時位ノモノデアアル、サウ云フ譯デハ其ノ産業上ノ地位カラ考ヘテモ、決シテ之ヲ糶詰ト稱シテ、一概ニ一方ニ叩キ伏セテ置ク譯ニ行カヌモノダト思フ、ソコデ私共ハ糶詰ナリ王冠ナリ又他ノ部門ニ對スル配給ニ付テハ、政府ニ於テドウシテモ考ヘ直シテ貰ハナケレバナラスト思フ、斯ウ云フ不合理ニナツタ糶詰弊害ナシニ濟ムカト云フトサウハ行キマセヌ、私ハ是カラ其ノ弊害ヲ申上ゲマセ、コマデ打テ叩カレシタ結果ハ、現在既ニ非常ナ思想問題トシテ憂フベキ傾向ヲ持ツテ居リマセ、是ハ今デハ糶詰問題アタリデ、大分ガヤ／＼騒イデ居リマセヌガ、

私ハコソナ問題チヤナイト思フ、是ハモウ私共ガ此處デ口ニスルコトヲ忍ビナイコトガ、世間デハモウ殆ド公然ノ事實ニナツテ居リマセ、其ノ打テ叩カレシタ連中ノ子弟ハ多ク戰爭ニ行ツテ居ル、ソレデ家デハ食ヘナイ、ソレガ極メテ教養ノ低イ、結果ハアタ方御想像ガ付クデセウ、茲ニ思想問題ニ付テモ、此ノ長期抗戰ヲ私共ガ遂行シテ行ク上カラ、非常ナ障礙トナル現象ガ現ハレテ來ル、經濟的ニハ開取引ノ存在ハ商工省デハドウ考ヘマセカ、鐵鋼局長ハ開取引ハドノ位ノ程度デ行ハレテ居ルカ御想像ガ付キマセカ、一寸私ハ認識ヲ試ミテ見タイ

○鐵鋼局長 開取引ノ方ハ内務省ノ經濟保安課ヲ調査シテ居リマセヌ、今此處ニ數字ハ持ツテ居リマセヌ、若シ御必要ナラバ後程取寄セテ御答致シマセ、併シ數字ニ現ハレタノハ開取引ガ明ルニナツタダケデゴザイマシテ、其ノ間ノ中ニ居ルノハドレ程アルカ、吾々ノ想像以上ダラウト思ヒマセ

○鐵鋼局長 極ク珍妙ナ御答辯デスガ、ソレ以上ハ御分リニナラヌダラウト思フノデス、併シ私ハ……

○原主査 一寸鐵鋼局長、兵力ノ方ハ大變結構デスガ、豫告ノ通りデアト二十分シカアリマセヌカラ、其ノ範圍デ一ツ……

○鐵鋼局長 先刻二時半マデト云フ御話デシタカラ、實ハ質問シタイコトモ質問セズニ、ズツト話シテ來タノデス

○原主査 私人ノ方ハ内容ハ分リマセヌガ、アトノ方ヲ御考慮ハナイト……

○鐵鋼局長 約東ハ二時半マデト云フコトデスカラ……

○原主査 一時間ト云フコトデスカラ、ドウソ端折ツテ下サイ、其ノ間ニ質問ヲ續メテ下サイ

○鐵鋼局長 二時半マデト云フコトデスカラ、其ノ積リテ内容ヲ省略シテ言ツテ居ルノデス

○原主査 中々一人デハサレマセヌ、アトガ續イテ居ツテ、明後日シカアリマセヌカラ、ドウソ其ノ積リテ續メテ下サイ、洵ニ結構ナ御説デスケレドモ、已ムヲ得マセヌ

○鐵鋼局長 實際斯ウ云フコトハ一ツ明ニシテ置ク必要ガアルノデス、開取引ハ業界デハ殆ド公然ノ事實デス、要スルニ適當ナ時ニ物ガ入ラヌノダカラ、ソレデ生産人ハ非常ニ焦セル、ダカラ空切符ガ來テ居ツテ實際ノ物ガ入ラヌト云フヤウナコトデ又焦セル、併シ又其ノ材料ガナケレバ開取引ガ出來ナイ、材料ハ何處ニ在ルカ、コソナハナイ、是ハ初メノ半年一年ハ大分「スタツク」ガアツタ、所ガ私ガ想像スル所デハマダ少シ淺ツテ居ルデセウガ、モウ「スタツク」ハサウアリマセヌ、サウ云フヤウニ配給ノ時期ガ惡カツタリ或ハ又空切符ガ多カツタリ、而モ其ノ根本ニ題レバ殆ド一割トカ二割トカ云フヤウナ配給シカナイカラ、唯ソレノミニ依ツテハ生産人ハ死ンデシマフ、是ハドウシテモ死ンデハイケナイト云フ努力ガ續ケラレタ結果ハ、是ハ何處カラ來ルカ分リマセヌガ、併シナガラ私共ガ想像スル所デハ、現在ノ日本ニアル物デ配給サレレバナラヌ、是ハ恐ラタ一ツハ軍部ノ全クダブ付イテ居ル兵力ノセイダト思フ、其ノ配給ノ有様ヲ見テ居ルト、軍需品ノ下請工

場ヲヤルト大體十ノモノニ付テハ十一、一割ハ餘計アル、サウスルトソレダケデモ開ノ材料ニナリマセ、糶詰アタリデハ、是ハ糶詰業界デ空糶ノ整理ガ問題ニナツテ居ル、空糶ノ整理問題デ困ツテ、今業界デ見積ツタモノニ依ルト約二三万ノ空糶ハアルダラウ、皆先ニ兵力ガ足ラヌダラウト思フテ取込シテ居ル、糶詰ハ幾ラデモ原料ガアルカラ作ル、ソレデ約二三万噸ノ空糶ガアルト思フ、是ハ新シイ空糶バカリデハナイニ、寧ロ古イ糶ガ開取引ノ材料ニナツテ居ル、ソレヲ洗ツテ仲シテ使フ、ソレト大體デス、此ノ大體ガ是ガ私ハ材料ニナツテ居ルト思フノデス、是ハハマア色々ノサウ云フ餘ツタ方面カラ、ソレトモウ一ツハ日鐵聯ト府縣糶詰トノ配分ノ不公平、是ハ強ヒテ各府縣ニ散シタ傾向ガアル、マダ兵力ノ工業ヲハツキリ知ラヌ、兵力工業ト云フモノハ殆ド都會集中ノモノデ田舎ニハナイノデス、サウ云フヤウナモノヲ各府縣ノマア顔カ何カ知リマセヌガ、兎ニ角ドウ云フ標準カ知ラヌガ領ツタ、ソコデ現在デハ開取引ノ方法トシテハ切符ノ賣買ガ一ツアル、或ハ又切符ノ委任狀附ノ賣買、或ハ又現物ノ賣買、サウ云フヤウナ色々ノ方カラ出テ居ル、或ル業者ナンカハ今ハドウ云フ風ニシテ賄ツニ居ルカト云フト、本配給ガ約三分ノ一、開取引ガ三分ノ一、是ハモウ去年ノ話デス、ソレニ今マデノ「スタツク」ガ三分ノ一、ソレデ今マデノ約六割ヲ以テ、ドウニカ斯ウニカ息ツイテ居ルガ、ソレデナケレバ仕事ハ出來マセヌ、ソレデ餘リ不公平ナ不シダラニナツテ居ルカラ配給ノコトハ今日デハ當ニシテハ居ナイ、ソレヨリ先ニ開取引ヲシテ材料ヲ取ツテ仕事ヲスル、サウ

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄

第二回 昭和十五年二月十七日

云フ狀況デアリマセ、是ハハハリドウシテモ直シテ貰ハナケレバナラヌ、其ノ影響ガ何處ニ來ルカト云フコトハ直グ分ル、開取引ハ其ノ値段ト云フモノガ今マデ約三十七八萬噸ニ付テ、八九十萬噸ニ付テ、開取引ノ最高ハ一萬噸五百圓位ノ兵力ガ、今デハ千八百圓シテ居ル、到ル所何處ニ行ツテモ開取引ヲシナケレバ生活出來ナイ、如何ニ保安警察ノ方々ガ督勵サレテモ、保安警察自體ガ是ハシヨウガナイト云フコトデ諦メテ付ケテ居ル、是ハ何處カラ來ルカト云フト、要スルニ配給ノ不公平カラ來ル、此ノ開取引ガ斯ウ云フ風ニ横行シテ、ソレデ品物ヲ作ツテ賣ルコト云フコトニナルト、原料ノ關係カラ高クナル、ソレデ此ノ兵力界ニ對シテハ「九・一八」ノスタツクヲ命令ハ何モナリマセヌ、非常ナ高價デス、ソレデ海苔業者ガ非常ニ困ツテ居ル、此ノ間私ハ直接會ハナカツタノデアアルガ、其ノ話ヲ聽クト云フト、ヤハリ一萬千五百圓ニ付イテ居ル、即チ私ハ兵力界ニ於テハ既ニ一種ノ惡性「インフレーション」ガ始ツテ居ルト思フ、是ハドウシテモ止メテ貰ハナケレバナラヌ、止メテ貰フ途ハ外ニアリマセヌ、ヤハリ配給ヲ公平ニシテ、適當ノ分量ヲヤツテ貰ハナケレバナラヌト云フコトニナリマセ、私共ハドウカ此ノコトニ付テハ特ニ一ツ——問題ハ小サイノデス、併シナガラ影響スル所ハ大キイ、私ハ兵力バカリヲ言フノデアハナイ、鐵ノ各部門ニ於テモ非常ニ是ハ關係ガアリマセ、私ハ幸ヒ偶々ニ兵力ニ關係シテ大體知ツテ居ルカラ之ヲ言フノデス、併シナガラオ五ニ兵力ノ部門バカリデハナシニ、外ノ部門ニ話ヲシテモ、ソレト大同小異ノコトガヤハリ行ハレテ居ル、私ハ大體鐵鋼界全部ガ

同シヤウナ状況デナハイカト思フ、斯ウ云フコトヲ本當ニ直スコトハ、焦眉ノ急ニ迫ラセ居ル、ソコデハ是非言フテ置キテ、大體此ノ問題ハ此ノ位ニ止メテ、次ニ私ハ輸出振興ノ問題ニ付テ、ヤハリ材料デスガ政府ノ輸出振興ニ關スル御意向ハ能ク分ツテ居ル、之ニ付テハ私モ御意向トシテハ、モウ滿腔ノ賛意ヲ表シマス、併シナガラアナタノ方如何ニヤラウトサレテモ、其ノ下ニ於ケル役人ノ取扱ガ惡キレバ、是ハ何モナラナイ、ヤハリ今ノ配給問題ト一緒デアル、貿易ガ阻碍サレテ居ル實例ガアル、此ノ鐵力ノ關係ニ於テモ、輸出ハ主ニ大阪デスガ、之ヲ原料ニシテ輸出品トシテ輸出スル年産額ガ、大阪ダケデ昭和十三年度ニ、四千七百圓デアリマス、殆ド鐵力トシテ利用セズニ、色々ナ鐵力ナリ、或ハ部分品トシテ輸出スル、鐵力製品ノ團體ガ大阪ニ六ツアリマスガ、其ノ鐵力製品ノ團體ガ、大體七八十萬圓カラ三百万圓位ノモノヲ今マデ出シテ居ル、決シテ私共ハ鐵力製品ガ輸出ニ貢獻シテ居ルトハ思ハナイ、而モ之ニ從事シテ居ル者ハ皆中以下ノ人間デアリマス、所ガ輸出ニ付テハ、此ノ統制ガ始ツテカラ、所謂限外切符ト云フモノヲ發行サレテ居ル、其ノ輸出材料ハ、大體限外切符ニ依ツテ受ケルト云フコトニナツテ居ル、是ハ極メテ變ケルト云フアリマスガ、實際ハ本當ノ配給ヲ致シテ置イテ、其ノ配給ガ足ラナイ時ニハ、限外切符デ之ヲ補ハナケレバ、ラスト云フコトニナツテ居ル、此ノ配給ヲ壓迫シテ結果ハ、ドウシテモ本配給デハ輸出ニ向ケラレナイト云フノデ、仕方ガナイカラ今デハ原則トシテ限外發行ト云フモノデ、鐵力ヲ供給シテ居ルト云フ狀況デアリ

マシ、サウ云フヤウナ原料ノ供給ノ仕方ニナツテ居リマス、所ガ實際ニ於テハ限外發行ノ條件ト云フノガ極メテ嚴重デアリマス、注文書ヲ持ツテ行ク、而モ其ノ注文書ノ寫シデハイカスト云フヤウナコトデ、其處ニ注文書ヲ持ツテ行ク、色々ト折衝ヲ經テモ、ドウシテモソレガ廻ルマデニハ、ヤハリ二週間ナリ、或ハ一箇月ナリ掛ル、ソレデ輸出ヲ本當ニ都合好キナルニハ、原料ノ獲得ト云フコトガ先刻問題デアリマス、是ハ此ノ間池田代議士カラモ御話ガアツタヤウデスガ、是ハ原料獲得ノ方法ヲ敏活ニ、而シテ又ソレヲ期限ニ納ムルヤウニシテヤラナケレバ輸出振興ガ出來ナイ、所ガ現在ノ限外發行ノ狀態デハ、ソレガ中々ウマク行カナイ、而モ又其ノ切符ヲ受ケタ後ニ於テ、實際ノ現物ヲ手ニ入レルコトニ付テハ非常ニ困難ガアリマス、サウ云フヤウナ狀況デハ、是ハ輸出振興モ絲瓜モアツタモノデナナイ、却テソレガ輸出ヲ阻礙スルヤウナ結果ニナツテ居ル、其ノ結果ハ私ガ大阪ノ輸出ノ團體ノ統計ヲ取ツテ見タ、是ハ或ル團體デスガ、昭和十二年ニハ二百八十八萬圓、昭和十三年ニハ二百八十八萬圓、昭和十四年ニハ二百八十八萬圓、昭和十五年ニハ二百八十八萬圓、六團體ノ中デ鐵力ヲ主トシテ使フモノガ本當ニ減ツテ居ル、鐵力ヲ主トシテ原料トシテハ割合ニ減ツテ居ナイ、茲ニ鐵力ノ原料獲得ニ付テハ非常ニ困難ガアル、私共限外發行ノ此ノ制度ヲ改メテ、サウシテ輸出ニ限ツテ何カ善イ方法ヲ、商工省デ今御考ヘデスカ、ドウデスカ、貿易ノ方ノ人ニ御伺シタイト思ヒマス、鐵力ノ原料ノ關係ガカラ、鐵力ノ方デ宜イカモ知レマセ

聯合會ト吾々トノ關係、商工省ト約束ヲシテ置イテ、是ハドウシテモ全部ガアツテモ、振興會社アタリカラ又別ニドクソレニ配給スルト云フコトニナルト、共販會社ハ成立チマセ、今大阪ノ實際ノ狀況カラ言フト、サウ云フ場合ニ直而シテ居ル、ソコデ私共ハ、兩方ノ部門ガアツタナラバ、是ハドウシテモ一本ニ爲スヤウナ風ニ統制シテヤル、鋼材聯合會デヤルトカ、振興會社デヤルトカ、一本ノ系統トシテヤラナケレバナラスト思フ、ソレト同時ニ私ハ、斯ウ云フ多數ノ競争者ガ多イ場合ニハ、ドウシテモ共販會社ヲ作ラセテ、サウシテ本當ニ輸出ヲ振興サセル、サウ云フ方針ヲ決定スレバ是ハ省令モ要ラスト思フ、原料ノ關係デ、其ノ原料ヲヤラナケレバ宜イノデス、サウ云フヤウナ法令デモ作ツテ、サウ云フヤウナ共販ノ組織ヲ作ル御意見ガアルカドウカ、ソレデナケレバ私ハ貿易ハ振興出來スト思フ、ドウシテモ道場破リガ出來テ來ル、ソコニ競争ガ出來テ來ル、之ヲ防ギ、本當ニ價格ヲ維持スル爲ニハサウシナケレバナラスト、私共ハ是マデ二年ノ間非常ニヒドイ經驗ヲ積ンデ居ル、其ノ結果共販會社ヲ作ツテ、是ハ鋼材聯合會ナリ、商工省ノ御支援ヲ仰イデ居ル、ソレハ要スルニサウ云フ謀反者ヲ出サナイ爲デアリマス、其ノ御意見ガアルカドウカ、而シテ又原料ノ供給ニ付テハ、一本ニシテ、本當ニ商工省ノ趣旨ニ從ツテ配給サセルヤウナ御意見ガアルカナイカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

マシ、是ガ手段ト致シマシテ、從來組合ノ運用等ニ依リマシテ、出來ルダケ各市場ノ狀況、又製品ノ事情等ニ即シマシテ輸出ノ方策ヲ講ジテ居リマシタ、是トテモ固ヨリ十分トハ考ヘテ居リマセ、出來得ル限り是等ノ制度ヲ活用致シマシテ、其ノ成果ヲ得タイト考ヘテ居リマス、御話ノ共販會社ノ點デアリマスガ、是モ輸出統制ヲ徹底致シマスル上ニ於キマシテ望マシイ、ソノ組織ト考ヘテ居リマス、御話ノヤウニ鐵力製品等ニ於キマシテ、業界ニ於キマシテ之ニ當ツテ居ラレル一切ノ方ガ、共販組織ニ依ツテヤラウト云フヤウナ事情デアリマスナラバ、私共トシテハ是非其ノ事業ノ圓滑ニ行クコトヲ期待シ、又援助シ、指導シテ參リタイト考ヘテ居リマス

次ニ資材ノ配給一本ニスルト云フ問題デゴザイマスガ、是レハ出來得ル限り私共ト致シマシテモ、サウデアアルコトガ望マシイト思ヒマス、鐵鋼資材ニ付キマシテ、鐵鋼局トモ將來十分連絡協議ヲ致シマシテ、鐵鋼品ニ必要ナル資材等ニ付キマシテハ、一ツノ道ニ依ツテ配給ヲ致スヤウニ努力ヲ致シタイト思ヒマス

○鐵原委員 ソレデハ希望ヲ一ツ述べテ置キマセウ、只今申上ゲタコトデ大體現状ハ御分リト思ヒマス、之ニ付テハドウシテモ私ハ早急ニ現在ノ狀況ヲ直シテ貰フダケノコトヲ、商工大臣ニ御願致サナケレバナラナイ、商工大臣ハ此ノ間、石炭ノ不足ニ付テハ是ハ全ク腰ダメアル、又高イ金デモ構ハスト云フヤウナ御苦心ノ點ニ付テハ、私ハ萬端ノ贊成ヲ致スモノデ、斯ウ云フ場合ニヤラナラズ、又色々ナコトヲ考ヘテハ出來ルモ、デハアリマセ、ヤハリ大事ヲ爲ス場合ニハ、モウ或ル場合ニハ獨斷專行、斷一宇ヨリアリマセ、而シテ現在ノ鐵力業界ノ有様ト云フモノハ殆ド死滅ニ瀕シテ居ルデアリマス、之ニ付テハヤハリ根本ハドウシテモ配給ノ點ヲ、幾分デモ緩和シテ戴カナケレバナラズ、緩和スルト云フコトヨリモ、其ノ内部ニ於テドウシテモ公平ニシテ貰ハナケレバナラズ、丁度今一、二、三ノ配給ハ是カラダサウデアリマス、私モ此ノ時期ニ付テハ非常ニ不滿デアリマスガ、併シ實際仕方ガナイ、是デモ當リノ所ホソ、カシフル注射的ノコトデモヤウテ戴イテ、而シテハ私共ハ先程申上ゲタ通り、決シテ不合理ナ狀態カラ唯恩恵ニ與カラウトハ思フテ居ナイ、是ハヤハリ合理的ノコトデ本當ニ其ノ基礎ヲ極メタ上デ貰フモノハ頂戴シタイ、是ハ私共全般ノコトカラ考ヘテ然ルベキダト思フ、サウ云フヤウナコトカラ、次ニハ私共ハ現在ノ配給ニ付テハ再檢討ヲ御願シタイノデアリマス、今度ノ配給カラソレハ是非多少デモ是正シテ戴キタイ、モウ一ツ私共ニ根本ノ問題トシテ、時間ガアリアマセスカラ一寸希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、配給機構ノ問題デアリマス、配給機構ヲ直サナケレバ是ハドウシテモイカス、實際今マデノ問題ハ、配給ノ問題ト云ヒドノ問題ト云ヒ實際成ツテ居ナイ、是ハ追究スレバ責任問題ガ起ツテ來ルト思フ、ソレハ何カラ來テ居ルカト云フト、私共係ノ人ヲ責メル氣ニナラナイノハ、ヤハリ不用意カラ國家ガ始メタコトデアル、又殊ニ大臣アタリガ不用意カラ下ノ方ノ者ニ、正義論モサセナイヤウナ風ニ曲ゲ込ンデ居ルト云フ事實ガアル、是デハイカス、役所ノ方デハ全ク事情ヲ知

是ハ商工省ニ行ツテモ、賦力ニ關係スルノハ事務官一人ト屬ス三人デアリ、サウ云フヤウナコトデハ出來ヤウ答ハアリマセス、企業院ニ行ツテモ殆ド役人バカリデ出來ヤウ答アリマセス、鋼材聯合會ニ付テハ、是ハ強ヒテハ申シマセスガ、鐵鋼製品工業組合ニモ陸海軍ノ偉人ガ居ル、其ノ人ハ何モ御存ジナイ、非常ニ忠實ナ人デアリマセスガ、何モ御存ジナイ、相當大キナ組織ニナツテ居リマセスガ、其ノ組織タルヤ何モ機構ノ働キヲ發揮シ得ナイ状態デアル、全ク今ノ状態カラ云フト、商工省、企業院、鐵鋼製品工業組合、斯ウ云フモノハ皆團栗ノ背比ベト云ヒマス、私共ガ實際仕事ニ直ニ面シテ見ルト、鐵鋼聯合會ニ行ツト商工省ニ行ケ、商工省ニ行ツト企業院ニ行ケト云フ、ソノ状態デハ五ニ責任ノナスリ合フシテ居ル、是デハ本當ニ良イ仕事ノ出來ヤウ答ハナイ、私ハヤハリ商工省ガ配給ノ本山デナケレバナラスト思フ、ソコデ斯ウ云フ鐵鋼協同會ニ行ツトモハ腹止サレテ、本當ニ各事情ニ通ジタ者ヲ入レテヤル、私ハソレニ對シテハ俸給モ要ラナイ、其ノ代リ現在ノ職、其ノ儘ニシテ置イテ、統制官ミタヤウナ者ヲ作ラレタラドウカ、各部門ニ統制官ヲ數人置キ、ソレガ本當ノ配給ノ中心ニ命シ、今ノ鐵鋼製品工業組合アタリハ、其ノ命令ノ下ニ唯切符ヲ配給スルダケノ機關ニ止メテ置タト、ソコデ一元化シテ來ル、企業院ナドハ是ハ恐ラタ官需、或ハ軍需マデニ關與スベキモノデ、其ノ以外ノモノニ付テハ關與スベカラザル機關ダト思フ、農林省アタリニ至ツテハ是ハ業者ノ代表者トシテ、商

工省ニ交渉スルト云フコトソレ自體ガ私ハ誤デアルト思フ、サウ云フコトハ商工省デ本當ノ材料ヲ具ヘテ、本當ニソレニ向ツテ行ツタナラバ、農林省デモ決シテ私ハ分ラヌコトハナイト思フ、今マデソレニ對抗スルダケノ諸詰協會トカ、或ハアア云フヤウニ攻勢ヲ取ツテ來タ農林省ニ對スルダケノ力ガ内部ニナカツタ、是モ商工省ニ配給ノ大本山トシテ其ノ力ヲ付ケルコトニ努力シテ實ハナケレバナラヌ、サウ云フコトハ即チソコニ配給上一本ノ本當ノ重點ガ出來テ、仕事ハ割合圓滿ニ行クシ、其ノ中ニ民間モ入レルコトニ依ツテ、決シテ民間ニ我儘勝手ナコトヲ言ハセル譯デアリナイ、是ハ無月給デモ宜イカラ統制官ト云フモノヲ置イテ、ソレハ一圓ノ月俸デモ宜イデス、サウ云フコトデヤウテ行ク、ソレガ即チ一ツノ配給統制機構トシテ活キテ行クノデハナイカ、此ノ頃色々改革トカ革新トカ呼ンデ居ル、併シ私共ハサウ云フ革新トカ何トカニ付テハ、是ハ根本ノ問題トシテハ外ニ考ヘヤウガアル、併シナガラ目ノ先大戦ヲ控ヘテ、ヤタラ革新ト云フテ現在ヲ破産スルヤウナコトヲヤウツテハ、現實目ノ前ニハ通ラナイ、是レ一番良イ事例ハ發送電氣社ダト思フ、アレハ全ク革新ノ失敗ダト思フ、サウ云フヤウナコトヨリモ、私共ハ姑息ノ手段デアルカモ知レナイケレドモ、ヤハリ現在ノ機關ヲナルダケ活カシテ行クニ付テハ、私ガ述ベタコトハ極ク宜イ話デアルト思フ、モウ一ツ碎ケテ之ヲ民間ニ委セルト云フコトデアレバ、今ノ鐵鋼製品聯合會デハ駄目デス、此ノ中ノ組織ヲ改善シテ、之ヲ商工省ガ監督シテ、大規模ニシテソレヲ統制ノ本部ニ

ト云フト白糖一斤ガ約十一錢、ソレニ對シテ米五合ト言ヘバ約二十四錢ト云フ譯デアリマス、此ノ事實ヲ御考ニナリマシタナラバ、今日沖繩縣ノ百姓ノ困ツテ居ル状態ハ思ヒ半バニ過ギルコトト思フデアリマス、右ノヤウニ白糖ノ地位ハ極メテ重大デアリマスルガ、是ガ又臺灣ノ分蜜糖ニ壓迫サレマシテ、常ニ戰々競々トシテ居ル有様デアリマス、ソコデ從來政府ニ於カレマシテモ、此ノ白糖ノ保護助長ニ力ヲ盡シテ戴イテ居リマシテ、此ノ點ハ縣民ノ深ク感謝スル所デゴザイマス、然ル所先程申上ゲマシタ如ク今日ハ公定價格ガ生産費ヲ割ルヤウニナツタ、ソコデ縣民ト致シマシテハ容易ナラヌ事ダト云フノデ、昨年十二月カラ價格ノ改訂ニ付テ當局ニ御願ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、マダ實現ノ運ビニナツテ居ラナイノデアリマス、是ガ時機ヲ失シテハ取返シガ非常ニ困難デアルト云フ事情ハ、例年十二月カラ一月ノ候ニ掛ケテ白糖ガ市場ニ生産者ノ手ヲ離レテ出廻ルノデアリマシテ、ソレガ三月、四月ノ候ニナリマスト、最早生産者ノ手ヲ離レテシマツテ、大部分ハ市場ニ出廻ツテシマツタ後デアリマス、ソレデアリマスカラ早ク價格ヲ改訂シテ戴カケレバ、假ニ改訂ガ出來タトシマシテモ、生産者救済ト云フ目的ニハ甚ダ遠イコトニナルノデアリマス、或ハ値段ガ上ルマデ賣ラナイデ持ツテ居ツタ宜イデヤナイカト、考ヘラルル御方モアルカモ知レマセスケレドモ、實際ニハ沖繩縣ノ百姓ニハサウ云フ餘裕ハゴザイマセス、尙ホ又白糖其ノモノハ永ク置タト、段々品質ガ低下スル憂ガアルノデアリマスカラ、旁、サウ云フ譯デ非常ニ心配致シテ居ルノデ

アリマス、ソコデ私ハ大臣ニ御同致シタイ、第一點ハ速ニ公定價格ヲ引上ゲテ、安當ナル適正ナル所ニ直ス御意思ハナイカト云フコト、第二點ハ、白糖ノ出廻リ始メマシタ一月以降ニ此ノ改訂ガ實施サレマストシテ、其ノ時マデニ生産者ノ手ヲ離レタ白糖ニ對シテ、何等カ適當ナル救済ノ手段ヲ講ジテ戴クコトハ出來ナイカ、其ノ御意思ハナイカ、此ノ二點ヲ大臣ニ御同致シタイト思フデアリマス

○藤原國務大臣 漢那君ノ只今御述ニナリマシタ御趣旨ハ如何ニモ御尤モト拜聴致シマシタ、併シ私ハ商工大臣トシテ其ノ詳細ノ事情ヲ承知致シテ居リマセスカラ、政府委員ヨリ御答辯ヲ致サセルコトニ致シマス

○新倉政府委員 沖繩ノ白糖ノ價格ノ問題デアリマスガ、是ハ昨年四月ニ臺灣分蜜糖其ノ他ト一緒ニ公定價格ヲ作ツタノデアリマス、御話ノヤウニ沖繩ノ産業ノ特殊性ト云フコトハ餘程考慮シマセマスノデ、政府ニ於キマシモ從來トモ相當保護ノ施設ヲヤウツテ參ツテ居リマス、ソコデ御話ノ白糖ノ價格ヲドウスルカト云フ問題ニナリマスト、是ハ臺灣分蜜糖其ノ他所謂同種糖トノ關係ヲ餘程考慮シナケレバナラヌ點モゴザイマスシ、尙ホ此ノ白糖ノ消費者ガ主トシテ農村方面ニアルト云フ點ヲモ考慮シナケレバナラヌト思フテ居リマス、唯從來トモ消費稅等ニ於キマシテモ、臺灣糖等ニ付キマシテハ約四圓課税テ居リマスノヲ、沖繩デハ、一圓七八十錢ニ特ニ致シテ居リマセガ、今後一今回ノ稅制改革デ此ノ稅ノ問題ニ觸レテ參リマセスカラ、其ノ機會ニ尙ホ篤ト考慮スルコトニ致シマス

○漢那憲和君 沖繩ノ白糖ノ保護ニ付テ政

スルカ、或ハ第三トシテハ鋼材聯合會ヲ活カシテ、此ノ組織ヲ變ヘテ、之ヲ大キクシテ本當ニ統制ノ本山トナスヤウニスルカ、私ハ其ノ三ツノ中ノ一ツヲヤレバ、蓋シ大シク間違ハナカラウト思フ、總テノ缺陷ハ甚ダ失禮カモ知レナイケレドモ、現在ノ商工省ノ無知カラ來テ居ルト思フノデアリマス、私ハ極メテ長イ時間ヲ取リマシテ、主査カラ御叱リヲ蒙ツテ居リマスガ、モウ是デ止メマスガ、ドウカ本當ニ此ノ中小ノ工業者ハ、如何ニ重要ナル生産ノ地位ヲ占メルカト云フコトヲ、能ク御考ヘテ願ヒタイ、而シテ又今後戰ヲ遂行スルニ付テハ、ドウシテモ或ル程度ソレヲ維持シナケレバナラヌト云フコトヲ本當ニ考ヘルナラバ、早速ニサウ云フコトニ御着手ヲ願ヘルト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス、長イ間甚ダ失禮ナコトヲ申上ゲマシタガ、御容赦ヲ願ヒマス

○原主査 此ノ機會ニ一寸御話リ致シマスガ、委員外ノ漢那君ガ總會ニ於テ質問シタイト云フ話ガアツタケレドモ其ノ機會ガナクテ、此ノ分科會デ質問シタイト云フコトデアリマシテ、昨日以來御出席ニナツテ居リマス、極ク簡單ナ問題デ時間ヲ取ラナイト云フコトデアリマスカラ、先例モアリマスノデ之ヲ許シタイト思ヒマスガ、別ニ御異議アリマセスカ

○原主査 御異議ナシト呼フ者アリ

○漢那憲和君 沖繩縣産ノ白糖ノ公定價格ニ付テ商工大臣ニ御同致シマス、此ノ白糖ノ公定價格ハ昨年三月四日ノ相場ヲ基準ト致シマシテ、三月三十一日ニ中央

物價委員會ノ總會ニ於テ決定サレタノデゴザイマス、所ガ毎年三月頃ハ生産地ノ那覇及ビ大阪ノ兩市場ニ、白糖ノ出廻ガ最も盛シナ時デアリマシテ、隨テ其ノ相場ガ概ネ抑制サレテ居ルト云フヤウナ時デアリマス、其ノ上ニ一昨年ハ非常ニ豐作デアリマシテ、例年ノ三割以上モ増産ヲシタヤウナ結果、是亦其ノ相場ノ不振ヲ來シテ居ルヤウナ時デアリマシテ、謂ハバ白糖ニ取ツテハ最も都合ノ惡イ時ノ相場ヲ基準トシテ定メラレタノデアリマス、然ルニ時局ノ進展ニ伴ヒマシテ、白糖ノ生産ノ費用ガ急騰致シマシテ、今日デハ生産費ハ遙ニ公定價格ノ上ニ出テ居ルト云フヤウナ状態デアリマス

○(主査退席中島主査代理著席)

即チ百斤當リ約十八圓ノ生産費ニ對シテ、公定價格ハ約十一圓ト云フ有様デアリマス、抑、此ノ沖繩ノ白糖ハ他ノ府縣ニ於ケル米ニ相當スルモノデアリマシテ、百姓ハ専ラ之ニ依ツテ生活ヲ維持シ、隨テ縣下ノ經濟ハ之ヲ中心ニシテ運営サレテ居ルヤウナ状態デアリマス、沖繩縣ノ百姓ハ此ノ白糖ヲ賣ツタ金デ、詰リ米ヲ買ツテ食ベテ居ルト云フ状態デアリマス、隨テ米價ガ騰ツテ困ル百姓ト申シタラ、即チ沖繩縣ノ百姓デアリマス、其ノ阿部内閣ノ時ニ米價ノ五圓引上ガアリマシタガ、其ノ狙ツタ所ノ效果ニ付テハ、色々非難モアリマセウケレドモ、其ノ爲ニ生産者タル百姓ノ懐ロ多ク少ナリトモ温メタト云フコトハ間違ナカラウト思フデアリマスガ、一面ニ於テ之ニハ即チ沖繩縣ノ百姓ノ犠牲ガ加ハツテ居ルト申シテモ宜カラウト思フデアリマス、昔カラ沖繩縣デハ砂糖一斤ニ米五合ト云ヒ傳ヘテ居リマス、所ガ現在ハドウデアアルカ

ガ左様デゴザイマス

○新倉政府委員 左様デゴザイマス

○漢那憲和君 ソレナラバドウカ今モ申シマシタ通り時期ガ非常ニ切迫シテ居ルコトデアリマスカラ、一日モ早く是ガ實現ヲスルヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○原主査 吉植君

○吉植委員 私ハ實ハ商工大臣ニ豫算總會デ御質問申上ゲタカツタノデゴザイマスガ、丁度私ノ質問ノ時ニ大臣ノ御出席ガアリマセシマシタノデ、今日ニ持越シマシテ御答辯シマス、其ノ前ニ一ツ——是ハ過日資料トシテ請求シテ置キマシタガ、到頭商工省ノ方カラ御發表ニナリマセスノデアリマスガ、事務當局ニ御尋致シマス、地下足袋ノ昨年ノ製造高ニ付テ資料ヲ請求致シマシタガ、昨年ノ數ガマダ分リマセスケレバ、一昨年ノ數、竝ニ昨年ノ上半期位マデノ數デモ結構デアリマスカラ一ツ御示シ願ヒタイ

○永田政府委員 地下足袋ノ製造高ノ御要求ガゴザイマシテ、私ノ方デハ出シテ置キマシタガ、マダ御手許ニ届イテ居ラナイト致シマスト甚ダ恐縮デゴザイマスガ、昭和十二年ガ四千八百五十六万足、昭和十三年ガ四千二百二十九万足、昭和十四年ガ千八百万足、斯ウ云フ數字ニナツテ居リマス

○吉植委員 サウシマス、十三年ニ於ケル四千二百二十九万足ト云フ數ハ、十二年度ノ數ヨリモ七百方足程ノ減少デアリマス、昨年ノ議會ニ於テ屢、私共ガ御尋致シマシタヤウニ地下足袋ハ農村ニ參リマセス、參ツテモ數ガ僅カデゴザイマス、所ガ十四年ノ今御發表ニナリマシタ數字ニ付テ見マ

スト、十三年ノ約半分デアリマス、十二年ニ比ベマス、三分ノ一弱、二分ノ一強ト相成ツテ居リマス、サウシマス、配給ハ正當ニ參ツテ居リマス、十二年當時ニ農材ニ渡リマシタ足袋ノ數ハ、惡ク行キマシテモ二分ノ一ハ參ラネバナラヌ計數ニ相成ツテ居リマス、所デ今日全國ニ於キマシテ申シマスナラバ、大體ニ於テ十戸ニ一足ト云フノガ宜イ方デアリマス、甚シキニ至リマシテハ四十戸ノ部落ニ足シカ參ラス、ソコデ配給ノ仕方ガアリマセヌデ抽籤ニ致シマシタ所ガ、何等地下足袋ノ必要ナイ産業サント、モウ一人ハオ婆サンニ當ツタ(笑聲)ハ「ナンセン」ミタイナ深刻ナ實話デゴザイマス、私ノ方ノ千葉縣アツリニナリマス、十戸ニ一足ト云フノハ極ク優良ナ配布状態ニ相成ツテ居リマス、御承知ノ通りニ農家は於キマス一戸當リノ労働力ハ、農林統計ニ照シマシテ二分九分——三人デゴザイマス、此ノ三人ガ大體ニ於テ年ニ最大限三足ノ地下足袋ハ必要ト思ヒマス、一戸當リ九足、十戸アリマス九十足、斯ウ云フ計數ニナツテ居リマス、ソレデ時局柄デアリマスカラ不便ヲ忍ビマシテ、年一足ダケ履クト致シマシテモ、一戸三足要リマスカラ、十戸ニ付テ三十足ナケレバナリマセヌ、ソコニ三足ヨリ參リマセヌ、是ハ農家ハ五百六十戸デアリマスカラ、一戸當リ一足配給ニナリマシテモ五百六十足ニナリ、一戸當リ三人トシマスト千六百八十万足トナリマス、一體此ノ千八百万足ノ地下足袋ハ下チラノ方面ニ流レテ行ツテ居リマス、昨年ノ議會デ新倉商務局長ト問答ヲ重ネマシタ時ニハ、私共ハ此ノ出來

マシタ地下足袋ハ内地ハ公道價格ガアリ「ブロック」ノ地帯ニ公道價格ガナイ、然ルガ故ニ大體圓「ブロック」ノ地帯ニ流レ、其ノ残りガ全部農家ニ來ルカト云フト、農家ニハ參リマセヌ、鑛山、製糖工業、軍需工場ノ景氣ノ好キ労働者ノ方ニ今日ハ開相場ノ時代デアリマスカラ流レ込ム、サウシテ本當ニ必要ナル農家ノ方ニハ少シヨリ參ラスト申上ゲマシタガ其ノ通りト存ジマス、資材其ノ他ガ本ハ大キナ流デ出テモ末ノ農家ノ手ニハ小サナ流ニナツテ入ルト云フコトヲ申上ゲテ、改善ヲ迫ツタノデアリマス、一體ドレダケガドチラノ方ニ流レテ居リマス、數字ガ分リマセヌケレバ大體デモ宜シウゴザイマスカラ御示シテ願ヒマス

○永田政府委員 地下足袋ノ配給統制ニ付キマシテハ、從來ハ唯製造數量ヲ原料ノ護護ノ方カラ抑ヘテ居ルダケデゴザイマシタノデ、ソレダケノ數量ヲ造リマシテ、ソレガ果シテ必要ノ方面ニ流レルカドウカト云フ點ニ稍遺憾ノ點ガアツタノデアリマス、昨年ノ十月以來地下足袋ニ付キマシテモ配給統制ヲヤリ、農山漁村向ノ地下足袋ニ付キマシテハ、一部ハ全購辦ヲ通ジテ流シテ居リマス、他ノ部分ハ農林、商工兩省協同ノ上、各道府縣別ノ剩餘數量ヲ決定致シマシテ、ソレヲ各道府縣ニ配給シ、道府縣内ニ於キマシテハ産業組合及ビ漁業組合ノ系統機關ノ希望ヲ聽イテ配給ヲ致シト云フ方法ヲ執ツテ居リマス、只今一十農材方面ニ幾ラ流シタカト云フ數字ヲ持ツテ居リマセヌ、具體的ノ數字ハ只今申シ難ネマシガ、大體サウ云フナウナ方法ヲ執ツテ參ツテ居リマス、今後ハ大體必要ナ

勿論需要ノ全額ヲ満足スルニハ參リマセヌケレドモ、割當テマシタ數量ハ正確ニ其ノ方ニ流レテ行クヤウニ確保スル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉植委員 サウシマス、十月以來配給統制ニナリマシタ其ノ概數竝ニ數量ニ付テ御示シテ願ヒタイ

○永田政府委員 毎月大體百万足カラ百二十万足位ノ生産ヲ致シテ配給致シテ居リマス、其ノ百万足ト申シマスハ全需要デアリマスカラ、農材ダケハアリマセヌ

○吉植委員 昨年ノ議會ニ於テ質疑ヲ重ネマシタ時分ニハ、地下足袋ハ特免品ニナツマシタ、然レニソレガ昨年十月マデノ斯様ナ状態ニナツテ居ツタ、今御話シマシタ通り農家ハ五百六十万戸ゴザイマス、一戸三人トシテモ——一戸三人ト申スハ先程申上ゲタヤウニ労働者アル、家族ハ五人半デアリマス、働カナイ者ハ履カナイカラ、本當ニ労働力ヲ持ツタ者ノミ履カトシテ三人、之ヲ五百五十万戸ニ割リマス、千六百五十万足ノナイト一人一足ツ履ケナイコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ月百二十万足ノ製造デハ、是ガ全部農家ニ來テモ足リマセヌ、而モソレガ他ノ方ニドンドン流レテ行ツテ農家ノ方ニハ來ナイ、農家方面ニ流レル數字ガ其ノ中ニオ分リデセウガ、分リマセヌデモ是デ商工大臣ハ大體ノ御認識ガオ付キニナツタラウト思ヒマス、ソコデ私ハ大臣ニ能ク御答ヲ願ヒタイ

意ヲ致シテ戴キタイト思ヒマスガ、御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 只今御述ニナリマシタ御説ニ對シテハ御尤モト存ジマス、先般來ノ豫算總會ニ本會議ニ於テ再三繰返シテ論議ヲ盡シマシタ電氣竝ニ石炭ノ問題ハ、既ニ焦眉ノ又焦眉ノ問題デアリマシテ、一日モ捨テ置クコトノ出來ナイ問題デアリマス、ソレガ總テノ國家ノ禍ヲ成ト云フ虞ガアリマシテ、最も重要ナル大問題ト考ヘマシタノデ、此ノ事ニ付テ非常ニ力ヲ入レテ研究ヲシテ、此ノ對策ヲ講ジタイト今尙ホ努力ヲ續ケテ居ル譯デアリマス、此ノ問題ハ兎モ角モ一先ツ最近ノ機會ニ付付クト存ジマス、サウ致シマス、只今御述ニナリマシタ通り、何ト云フテモ我國ハ農業ノ國デアリマシテ、此ノ農業ニ對シテ最も力ヲ盡サナケレバナラナイト云フコトニ付テハ、政府モ熱心ニサウ云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、此ノ電力問題ヲ解決スルニ當リマシテモ、ドウシテモ肥料ノ問題ヲ併セテ考ヘナケレバ、只今御述ニナリマシタ通り食糧問題ニ至大ノ影響ヲ來スコトデアリマス、其ノ肥料問題ト電氣ノ問題ハ關聯シテ居リマス、尙ホソレニ石炭ガ關聯シテ居ルモノデアリマスカラ、農村ノ爲ニモ始終考慮ヲ拂ツテ、此ノ問題ノ解決ニ力ヲ盡シテ居ツタ譯デアリマス、就キマシテハ今地下足袋ノ御話ガゴザイマシタガ、是モ全ク吉植君ノ御述ニナツタ通りニ考ヘテ居リマス、斯ウ云フ必要品ハ、單ニ石炭坑夫ニ之ヲ給與スレバ農村ノ方ハ打捨テ置イテモ宜シイ、サウ云フナウナ考ヲ持ツテ居ルノデハアリマセヌ、唯電氣石炭ノ問題ガ茲ニ現ハレテ討議セラレマシタカラ、

之ニ對シテノ對策トシテ述ベタノデ、農村ノ問題ニ對シテモナリ同様ノ考ヲ持ツテ居リマス、今日御承知ノヤウナ時局デアリマシテ、總テノ物資ガ不足シテ居ル、斯ウ云フ状態デアリマスカラ、十分ナ御満足ヲ得ルヤウナ對策ガ果シテ出來ルカ出來ナイカ、其ノ點ノ保證ハ只今致シ難ネマシガ、併シナガラ出來ルダケノ努力ヲ致シマシテ、農林大臣トモ能ク協議ヲ盡シマシテ、農民ニモ餘リ苦痛ヲ與ヘナイヤウニ致シタイト思ツテ相當ニ考慮ヲ拂ヒタイノ存ジテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○永田政府委員 昨年ノ十二月ニ配給致シマシタ第三回目ノ配給ノ數字ヲ申上ゲマス、總數ガ百二十六万足デゴザイマス、其ノ中農林漁業用ト致シマシテ六十九万足、鑛山用ト致シマシテ十五万足、其ノ他一般用トシマシテ四十二万足、斯ウ云フ風ニ配給致シテ居リマス、尙ホ將來ノコトニ付キマシテハ只今商工大臣カラ申サレタノデアリマスガ、御承知ノヤウニ現在地下足袋ガ減ツテ居リマスノハ、護謨ノ輸入ガ不自由ニナツテ居リマス、從來護謨ノ製品トシマシテハ地下足袋ト護謨靴ガ非常ニ大キナ部分ヲ占メテ居リマシタノデ、之ヲ節約致シマセヌトドウシテモ貼ヒ切レナイノデアリマシガ、段々ト御話ノヤウニ生産力ノ維持ノ上カラモ、地下足袋ノ數量ハ是非増サナクテハナラナイト考ヘテ居リマス、事務當局ト致シマシテモ企業院等ト相談ヲ致シマシテ、明年度ハ相當護謨ノ輸入ヲ多ク致シマシテ、此ノ數量ヲ増加致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○吉植委員 時間ガアリマセヌカラ聽キタイコトモドン(省カケレバナリマセヌ

コトハ洵ニ残念デアリマス、一應御答ヲ得テカラ私ノ御話ヲ進メタイノデアリマス、時々自分ノ推定テ話ヲ進メルコトニ致シマ、今ノ數字ヲ拜見シマス、農林漁業用ガ六十九万足、アトノ鑛山ト一般ガ五十七万足ニ相成ツテ居リマス、農林漁業ノ中農林ダケヲ數ヘテ國民ノ人口ノ過半數ヲ占メテ居リマス、漁業ヲ加ヘマスト更ニ多クナル、茲ニ數字ガ出マシタ通り六十九對五十七ト云フモノハ農林漁業者對他ノ國民一般ト云フ數字ニ略、近イモノト思ヒマス、サウシマス、只今申上ゲマシタヤウニ農林關係ノ労働者ニドウシテモ必要デアリマス、地下足袋ト云フモノガ、都會居住者マデ含メマシタ外ノ數ト始人口ト足袋トノ關係ガ比シテ保ツテ居ルコト云フコトハハ相當問題デゴザイマスカレドモ、私ガ先程申上ゲマシタ間「ブロック」ノ方ニ流レテ行クト云フヤウナニトモ四十二万足ヲ數ヘテ其ノ役目ヲ果スモノデハナイカト考ヘテ居リマス、是ハドウシテモ農林漁業竝ニ鑛山労働者ニ大部分ヲ與ヘテ行ツテ、一般ニハ其ノ八分ノ一、或ハ十分ノ一ヲ與ヘテ當然ノモノト心得テ居ルモノト存ジマス、東京市民、大阪市民、其ノ他大都市ノ市民中労働者以外ニ地下足袋ヲ穿ク者ハ澤山ハナイノデアリマス、其ノ労働者ノ數ガ全農山漁村ノ人ニ匹敵スル者ハナイノデアリマスカラ、斯ウ云フ方面ニ於テ今大臣ガ言ハレマシタ通り「物資ハ中々缺乏デアリ、其ノコトハ農民ガ能ク心得テ居リマス、今日ニ於テ自分達ノ欲スルダケノモノヲドウシテモ與ヘテ與レナケレバ、吾々ハ米モ麥モ作ラナイト云フ淺ハカナ考ヲ持ツテ居ル農民ハ一人モ居リマセヌ、併シ斯様ナ數字ニ於テ自分達ガ此

ノ霜ノ降ルノニ朝早ク起キテ麥路ニ行ク、而シテ政府ガ千三百万石ノ増産ヲセネバ相成ラス、米麥ヲ獲得シナイト戰時食糧對策ガ根本カラ破レルト云フノデ朝晩前ニ起キテ麥路ヲスル、然レニソレニ必要ナル地下足袋ヲ與ヘテ與レナイ、肥料ヲ與ヘテ與レナイ、已ムヲ得ズ素時ニ依ツテ麥ヲ時キソレヲ踏ムノニ地下足袋ガナイ、而シテ農民ハ今日マデ課セラレタル任務ヲ一日ト雖モ怠ツタコトモアリマセヌ、又實際ニ於テ國家ニ對シテ農民ガ怠慢デアツタ、不注意デアツタ、然ルガ故ニ米ガ是ダケ種レナイ、麥ガ是ダケ種レナイ農産食糧ガ種レナイ、國軍ニ迷惑ヲ掛ケ後ヲ護ヲ完ウスルコトガ出來ナカツタト云フコトハナイ、之シキ資材ノ中ニアツテ前線將兵ト同ジ熱意ノ下ニ一生涯命ヲ捧ラウ、麥ヲ種ラウトシテ居ル、ソコニ斯様ナ物資偏在資材不足ト云フ數字ヲ見セ付ケラレマシタ時ニ、是ガ農民心理ニ如何ナル動搖ヲ與ヘマセウ、サウ云フ點ヲ大臣ハ能ク肚ノ裡ニ入レテ置イテ戴キタイノデアリマス、昨年私共ガ議會デ論議シマシタノハ、斯様ナ農山資材ハドウカ農民ノ手ニ渡シテ貰ヒタセヌガ、是ハ大臣ニ御參考ノ爲メ申上ゲ置キマス、昨年ハ護謨ト木綿トガ運動靴竝ニ既足足袋ヲ拵ヘル爲ノ特免資源トシテ之ヲ商工省ノ手ニ企業院カラ渡ルコトニ相成ツテ居リマシタ、商工省ハ之ヲ工業組合ニ渡シテ製造セマシ、併シ工業組合ハ其ノ中運動靴ヲ何足、地下足袋ヲ何足造ラネバナラスト云フ責任ハナカツタノデアリマス、其ノ後受取リマシテ工業組合ハ自己ノ欲スル、即チ高ク賣レマス所ノ運動靴ヲ餘計拵

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄

第二回 昭和十五年二月十七日

ヘテ、安イ地下足袋ヲ少ク拵ヘテモ宜シイ
コトニナツテ居リマシタ、ソレガ農村ニ是
ダケ要ルカラ其ノ中何分ノ一ヲ農村ニ向ケ
ル、幾ラヲ鑛山労働者ニ向ケル——サウ云
フコトナシニ自己ノ欲スル儘ニ之ヲ處分ス
ルコトガ出来マシタカラ、先程ノ數字ニア
リマシタ前年度ノ製作ガ四千八百萬足デア
ルニ拘ラス、昨年一月ニハ農村ニ地下足袋ガ
殆ド影ヲ消シテシマツタ、吾々農民ハ資材
ガ不足ナラ不足宜シイ、其ノ不足満足
シマセウ、不足ナル資材ヲ遍ク農民ガ分チ
合ヒマシテ乏シキ中デ奮闘努力シヨウ、ソ
レニハ左様ナ面倒ナコトヲシナイデ農村ニ
來ルモノハ、一切農村ハ之ヲ頂戴シテ、商
工省ノ監督ノ下ニアル工業ノコトハ一切工
業組合ニ頼シテ拵ヘテ貰ヒマセウ、規格ヲ
コチカラ註文シテ餘リ底ノ弱イ既足足袋
ヲ拵ヘテ貰フテハ困ルカラ、コチカラ規
格ヲ註文シテ、出来タモノヲ戴キマセウ、
又戴イテ分ケタイ、斯ウ云フコトヲ屢々、吾々
ハ當局ニ要望シタノデアリマスガ、到頭今
日ニ至ルマデ實現ヲ見ナイ、斯ウ云フ點ニ
於テ商工當局ニ於ケル管轄、農林當局ニ於
ケル管轄ト云フモノガ——先程蔵原君ガ話
ヲシテ居リマシタガ、産組ノ方ガ進出シテ
云々ト云フヤウナ、左様ナ各ナ考テ行ツタ
ノデハ到底ハイケマセン、私共ノ當時黒
駒驛下清水次郎長トノ繩張等ヒト云フヤウ
ナコトヲ商工、農林兩當局ガ國政ノ上ニヤウ
テ戴イテハ甚ダ迷惑至極デアルト云フヤ
ウナコトヲ申シタノデアリマス、斯ウ云フ
ヤウナコトモ大局カラ考ヘマシテ、農民ニ
與フル所ノモノハ農民ニ直接與ヘル、此ノ
主義ヲ參レバ一切相煩摩察ハナクナルノデ
ゴザイマス、コゴガ肝心ナ所デゴザイマシ

テ、此ノ點一ツ大臣ニ御考ヲ願ヒタイノデ
アリマス、私ハ練達堪能ノ大臣ヲ前ニ於テ、
斯様ナコトヲ申上ケルノモ甚ダ自分自ラ笑
止ノ至リト思フノデアリマスガ、此ノ際一
言サシテ戴キマス、今日此ノ地下足袋ノ話
ヲ聞キマシテモ、十月ヨリ統制ニ入ツテ、
所謂統制經濟ヲ地ニ行クト云フヤリ方デゴ
ザイマス、然ルニ只今私ガ申上ゲマシタヤ
ウナコトヲ商工省ガ御馳ケ下サルト云フコ
トニナルト、中小商業者ガ反對ヲ致シマス、
吾々ノ權益ガ侵サレタト、ソコデ商工省ガ
統制經濟ニ、自由經濟ノ產物デアリマス、
中小商業者ノ救済ト云フコトヲ拵付ケマシ
テ、統制經濟ニ之ヲ絡ミ合ハシタ所ノ政策
ヲ以テ、一切ノ物資配給其ノ他ニ對處シヨ
ウトシテ居ルノデアリマス、其ノ結果、地
方ニ行キマス、肥料ノ配給ニ致シマシテ
モ、其ノ他ノ物資ノ配給ニ致シマシテモ、
産組ト商人ト二頭立ノ馬車デ配給シヨウト
シテ居ル、産業組合ハ御承知ノ通りニ社會
政策的ノ組合デゴザイマス、商業組合ト云
フモノハ商人ノ組合デ營利團體デゴザイマ
ス、商人ト云フモノハ一厘一毛ノ利ヲアセツ
テ、飽クマデモ金儲ヲスルト云フノガ商
人デゴザイマシテ、是ハ大臣ガ一番能ク御
承知ノ答デアリマス、正當ナ途ヲ以テ金儲
ヲスル、利ヲセテラナケレバ居ラナイ所
ノ魂、是ガ所謂商魂デゴザイマス、此ノ商
魂ノ持主ノ商業組合ト、金利ト云フモノハ
一文一毛稼ガナイデ、唯手數料主義デ行ク社
會政策的ノ産業組合ト二頭立ノ馬車デ以
テ物資ノ配給ヲシヨウトスルカラ、當然其ノ
宜シキヲ得ナイノデアリマシテ、好結果ヲ
得ラナイト云フノガ今日ノ實情デゴザ
イマス、統制經濟ヲスルナラ統制經濟一本

デ行ク、其ノ爲ニ中小商業者ノ商權ガ薄メ
ラレルト云フナラバ、他ノ方法ヲ以テ之ヲ
救済スル、斯様ニナツテ初メテ明朗ナル物
資配給ガ出来ルト信ズルノデアリマス、過
般來ノ一切ノ論議モ約メテ見ルトソコニ至
ツテ居ルト思ヒマス、之ニ對スル大臣ノ御
答辯ヲ御願致シマス

マセスカラ省略シマスガ、何レノ内大臣
ニ私的會見ニ於テ詳シク申上ゲテ見タイト
思ヒマス、勿論配給モ惡イノデアリマスガ、
元ガ出来テ居リマセウ、實ハ昨年ノ十二月
二十六日ノ阿部内閣ノ開院式ノ日ニ、私共
ハ官邸ニ阿部總理以下六大臣ニ御立會ヲ願
ヒマシテ、肥料増産——ト言フト立派デア
ガ、肥料減産防止ト云フコトニ付テ陳情ヲ
致シマシタ、ソレデ過般日發ノ石炭ヲ優先
スルト云フヤウナ御決定ヲ見タヤウデアリ
マスガ、ソレヲヤウテ呉レルト云フコトヲ
陳情シタノデゴザイマス、其ノ時ニ私共ハ
感シタノデゴザイマスガ、米ヲ獲ラネバ
ラナイ、此ノコトガ今國家ノ急務中ノ急務
ニナツテ居リマス、所ガソレガ肥料ガ來ナ
イ、肥料ノ製造ガ十分ニ行カナイ、確安ハ
アノ儘デ行キマスト六十萬噸ノ減産、六十
萬噸ノ減産ト云フト二十萬噸以上ノ米ガ
獲レナイト云フコトニナツテシマフ、
サウ云フ現狀デアリマシタニ拘ラス、
當時ニ對スル根本對策ヲ國家ガ意ツテ
居ツタ、其ノ肥料ガ配給ニナラナイ、
増産出来ナイト云フノハドウ云フノカト云
フト、御承知ノ通り凸凹ノ電力ガ來テ、シ
ツカリシタ電力ガ來ナイ、始終切レル電力
ガ來タ、ドウ云フ譯デサウナツタカト云フ
ト、石炭ノ優良ナノガ日發ニ配給ニナラナ
イ、日發ニ配給ニナラナイト云フノハ、日發
ハ開取引ガ出来ナイカラ、良イ石炭ヲ開取引
デ他ニ奪ハレテ、一番惡イ、アウトサイダール
ノ、甚ダシキハ二千五百、カローリ、位ノ石
炭ヲ押付ケラレテ居ツタ、斯ウ云フ譯デ
ス、而モソレモ足リナクナツテシマツタト
云フ話ヲ聞イテ居リマシタガ、結局コゴデ
面白イ現象ガ出来タノハ、若松ノ棧橋ニ三

十萬噸ノ石炭ガアツタ、日發ノ方デハ石炭
飢饉ニナリ、其ノ爲ニ今申上ゲマシタヤ
ウナ電力ガ不十分デアリ、肥料ガ出来ナイ、
米ガ出来ナイト云フヤウナ結果ヲ來ス、而
シテ一方若松ノ埠頭ニ三十萬噸ノ石炭ガア
ツタ、何故ニ内地ニ持ツテ來ラレナカツタ
カ、ガソリンガ足リナクテ汽船運搬スル
コトガ出来ナイ、斯ウ云フコトヲ私共ガ知
リマシタ時ニ、内閣ニ於テハ基礎産業ニ對
シテ優先シテ、電力ナリ石炭ナリノ配給ヲ
スルト云フ御決定ニ相成ツテ居リマスガ、
基礎産業其ノモノノ見方ト云フモノハ、餘程
注意シテ御覽ニナリマセスト間違ヲ生ジマ
ス、況ニ基礎産業ナラザル基礎産業ガアリ
マス、例ヘバ、ガソリン、一ツアレバ基礎産
業ガ皆行ク其ノ「ガソリン」業ノ配給ガ皆
行カナカツタ、斯ウ云フヤウナコトガア
ルノデゴザイマスカラ、商工大臣ニ於カレ
マシテハ、在野當時ノ事業高級ニ互ツテ支
配サレマシタ其ノ眼光ト其ノ御體験トニ基
イテ、一ツ隅々マデノ御見透シヲ願ヒタイ
ノデアリマス

リタイト云フコトヲ以テ差當リノ最モ緊急
應急策トシテ、ソレヲ狙ツテ今日ノ石炭増産
計畫モ立テテ居ルヤウナ譯デアリマス、何事
ヲ措イテモ肥料ハ出来ルダケ澤山造ツテ、
サウシテ農民ニ出來ルダケ自由ラサセナ
イヤウニシタイト云フノガ臨時應急ノ政府
ノ執ツテ居ル處置デアリマス、即チ十五年
度ノ農民ニ對スル對策デアリマス、ケレド
モ、今年ハ十六年ニナリ、十七年ニナリ、
先ニナルト、我國ノ農業ノ進歩ト共ニ肥料ト
云フモノハ非常ニ需要ガ増エルノデアリマ
ス、ソレハ吉植サンモ能ク御承知ノ通りデ
アリマス、サウ云フモノニ對シテドウ云フ
對策ヲ立テテ行ツタナラバ宜イカ、是ハ又
根本的對策トシテ非常ニ重要ナモノデアリ
マス、ダカラ今石炭ニ於テ應急ノ處置ヲシ
テ根本ノ對策ヲ立テテ居ルト同ジヤウニ肥
料ニ於テモ應急ノ策ト根本ノ策トヲ立テテ
ケレバナラス、ソレデ是ハ農林省ノ所管デ
アリマスガ、私モ國務大臣トシテ其ノ御協
議ニ與ツテ、何トカシテ十五年度ノ應急策
ダケハ此處デ立テテ、然ル後ニ根本對策ヲ
ドウシタラ宜イカト云フコトヲ、私個人ト
シテ多少肥料ノコトニモ經驗ヲ持ツテ居リ
マスシ、又工業ノコトニ付テノ多少ノ知識
モゴザイマスカラ、農林大臣ト御協議シテ、
又他ノ閣僚トモ御協議シテ、其ノ根本對策
モ是非立テタイト思ツテ努力ヲ致シテ居ル
譯デアリマス、是モ併セテ申上ゲテ置キマ
ス

テ配給スルト云フ、儲カソナナ御答辯ト思
ツテ居リマス、就キマシテハ其ノ日發カラ
今度出マス電力ニ付テ、電力制限令其ノ他
ガアリマスガ、モウ今日確安増産ト云フコ
トハ急務中ノ急務ト相成ツテ居リマスノデ、
唯サヘ今年ハ確安ハ取レヌ實情ニ相成ツテ
居リマス、ソレデ私共ガ調ベマシタ所ニ依
リマス、十三年度ノ確安生産能力ハ百七
十五萬噸デアリマシタ、其ノ内十四年度ニ於
テ豫定ガ百二十五萬噸デアリマシタノガ、
過般業界ノ經營者トモ吾々農村議員ガ懇談
シマシテ、色々承ツテ見マシタ所ガ、一年
間ニ八十五萬噸乃至九十萬噸ヨリ出來ナイ
ト云フ見透シデゴザイマシタ、ドウシテモ
茲ニ内地ノ確安製造高ニ於テ三十萬噸足リ
ナイ、今大臣ガ仰セラレマシタ中ノ御言葉
デ分ル通り、年々米穀、麥ヲ作りマスニ
ハ、二十萬噸ノ確安増産ヲ約束セラレテ
居リマス、之ヲ加ヘマスト五十萬噸、更ニ
政府ガ新ニ企テテ居リマス増産計畫ニ要ス
ル確安ガ二十七萬噸、七十七萬噸ト云フヤ
ウナ數量ガ出來ナイコトガ十二月ニ見透
イテ居ツタ、デアリマス、然ルニ其ノ後
又々節電其ノ他ノ厄ニ遭ヒマシタノデ、折
角政府ノ御配慮ガアリマシテモ、此ノ不足
ヲ僅々アト五箇月間ニ於テ克服シテ行クコ
トハ容易ナコトデハゴザイマセウ、私ガ申
上ゲマシタ數字ニ付テハ、或ハ十萬噸、二
十萬噸ノ御異論ハアルカモ知レマセウガ、
少クとも五十萬噸足リナイト云フコトダ
ケハ、天下ノ定説ト相成ツテ居ル、此ノ際
ドウシテモ急激ニ臨時應急對策中ノ對策ト
シテ、確安、石炭製産増産ヲ圖ラネバナリ
マセウガ、日發カラノ電力供給ニ付テハ、
一切ノ産業ニ對シテ肥料増産ニ優先シテ戴

ウカドウカ承リタイ
○藤原國務大臣 政府ヲ代表シテ政府ノ所
見ヲ此處デ申上ゲルコトハ困難ト存ジマス、
唯私ガ考ヘテ居ルコトヲ——是ハマア政府
デナシニ個人ノ意見ニナルカ、ソレハ一寸不明
デアリマスケレドモ、取敢ズ私ノ考ヘテ居
ルコトダケヲ申上ゲマス、ドウシテモ肥料
ニ對シテハ只今ノ數字ハ私能ク承知致シテ
居リマセウケレドモ、今御述ニナリマシタ
ヤウナ大同小異ノ數字ハ増産ヲ要スルト存
ジマス、主タルモノハ電力デアリマスガ、
此ノ電力ヲ總テ日發ノ電力ニ依ツテソレダ
ケノ肥料ノ製造ヲ計畫スルコトハ、工業ノ
本質カラ考ヘテ見テドウカト考ヘル點モゴ
ザイマス、ソレ故ニ今御述ニナリマシタソ
レ等ノ或ル一部分、或ハ十萬噸トカ二十萬
噸トカ、若干ノ噸數ハ日發ノ電力ヲ利用シ
テ製造スルコトモ結構デアラウト存ジマス
ガ、其ノ以外ノ多數ノ三十萬噸トカ、五十
萬噸トカ、百萬噸トカ云フヤウナ、サウ云フ
大キナ肥料製造ニ付キマシテハ、ヤハリ石
炭ノ所在、例ヘバ北海道トカ樺太トカ其ノ
外他各地ノ石炭ノ澤山ニ產出スル所ニ特ニ
發電所ヲ設ケルトカ、或ハ安タ澤山ノ水力
ガ來ル地點モマダアラウト存ジマスカラ、
サウ云フ水力ノ安ク取ルヤウナ地點ト、
ソレカラ石炭ノ運送ノ便利ナ交又點ノヤウ
ナ所ヲ選ビマシテ工場ヲ設ケルトカ云フヤ
ウニ、色々ノ工夫ヲ運ラシテ、安ク肥料ヲ
製造スルコトヲ考ヘルコトガ一番適切ナ考
ヘ方デナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ斯ウ
云フ問題ハ將來ニ互ル大問題デアリマスガ

ラ、十分ニ研究ヲシテ政府ノ意見ト云フモ
ノヲ決定致シタト存ジテ居リマス
○吉植委員 イヤ私ノ御尋シタイノハ根本
的ナ將來ノ問題デナク、當面シテ今日製造
シテ居ラス肥料ニ付テ御意見ヲ承ツタノデ
アリマス、ト申シマスノハ現在確安ハ本年
豫想ガ百二十萬ト生産スル豫定デアツタト
申上ゲマシタガ、百二十萬ト中約三十五
萬トハ電氣ヲ取ツテ居リマス、ソレカラ又
八十五萬トハ石炭並ニ「コークス」ヲ取ツテ
居ル、斯ウ云フ装置ニ相成ツテ居リマス、
其ノ三十五萬トハ殆ド日發ノ方ノ電氣ヲ使
ツテヤウテ居ルヤウデゴザイマス、其ノ三
十五萬ト製造ノ電氣ヲ日發カラ他ノ産業ニ
優先シテ此ノ急ヲ救フ爲メ、丁度火事ガ起
ツタ時ニ「ポンプ」ノ水ヲ火事ノ一番大キナ
所ニ向ケル心持ヲ以テ向ケテ貰ヘルカドウ
カ、又ドウシテモ向ケテ貰ハネバ足リマセ
ス、此ノ要求デゴザイマス、又モウ一ツ序ニ申
上ゲマスガ、八十五萬ト採ヘテ居リマス
石炭並ニ「コークス」ノ方デハ斯ウ云フ例ガ
ゴザイマス、是ハ商工大臣ノ御手ノ筋ノ問
題デゴザイマスカラ、是非實現ヲ願ヒタイ
ノデアリマス、住友化學ノ新居濱工場デハ
昨年ノ七、八、九ノ三箇月ニ五割ノ粗製炭
ト五割ノ優良炭ヲ用ヒテ、確安ヲ採ヘマシ
タ所ガ、七、八、九ノ三箇月デ七千噸出來
タ月モアレバ、八千噸出來タ月モアル、然
ルニ十月ニナリマシテ粗製炭五割ヲ三割ニ
減少シマシテ、優良炭七割ヲ用ヒマシタ所
ガ一万二千噸ノ産額ガアリマシテ、前ト比
ベテ多イ時ニハ五千噸ノ差ガ出來タ、是ハ
現實ノ問題デアリマシテ、過去ノ実績デア
リマス、此ノ住友化學ノ内容ヲ聞イテ見マ
スト、三十萬噸造ル能力ガアルガ、今日マ

デニ一年間約十七八萬噸ノ實績デアツタノ
ガ、粗製炭ノミヲ用ヒナケレバナラナイヤ
ウナコトニナツタノデ十萬噸ヨリ出來ナイ、
斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ
先ノ電力ニ依ル所ノ昭和電工ノ他ノ例ヲ
見マス、昭和電工ハ確安並ニ石炭並ニ
三十三萬噸採ヘル能力ガアル、過去ノ實績
ハ二十三萬噸ヅツ造ツテ居ツタ、所ガ現
在デハ僅カ半分ニナツテシマシタ、是ハ
一本ノ正シイ電力ガ來マセズデ、凸凹ノ
電力ガ來テ能クソレガ中斷サレルカラデ
アリマス、御承知ノ通り高級化學工業ト
云フモノハ常ニ操業不變ト云フコトガ必
要デアリマス、電力火力ノ一割減ハ生産
能率ノ二三割減ヲ來スト云フコトモ、是ハ
大臣御承知ノコトデアリマス、サウ云フ譯
デアリマシテ、百七十五萬噸ノ總能率ガア
リマス時、一面悪質炭橫行ト電力ノ凸凹橫
行トニ依リマシテ、本年ハ九十萬噸ヨリ出
來ナイト云フ十二月ノ見透シデアツタノデ
ゴザイマスカラ、取敢ズ日發カラ確安製造
會社ニ仕向ケマス電力ヲ一切ノ生産ニ優先
スル、又石炭ヲ以テ確安、石炭並ニ優先
マス所ノ會社ニ、一切ニ優先シテ石炭ヲ供
給スル、此ノ二ツノ道ヲ御斷行下サイマス
カウカ、之ヲ承リタイ

○藤原國務大臣 昨年カラ今年ニ掛ケテノ
石炭飢饉ノ爲メ、確安製造工業ニ多大ナル
影響ヲ來シマシテ、御指摘ニナリマシタヤ
ウナ數字上ノ非常ナ損害ヲ與ヘテ居ル、其
ノ數字ハ私ハ正確ニ存ジマセズガ、非常ナ損
害ヲ與ヘテ、其ノ生産額ガ減少シタコト
ハ確ニ御述ニナツタ通りデアリマス、ソレ
故ニサウ云フ障礙ヲ與ヘナイヤウニ、又粗
製炭ノ爲メ生産能力ガ減ルトカ、或ハ電氣
ノ供給ガ滑カニ行カナイ爲メ生産ガ減ルト
カ云フヤウナ不便ヲ全ク除去シテ、確安ノ生
産額ヲ或ル一定ノ高ニ達セシムルヤウニ是
非シタイ、サウスルニハドウシテモ石炭ノ
増産ト云フコトヲ實行シテ、豐富ニ石炭ヲ
供給スルコトガ最大ノ必要デアリマス、サ
ウ云フ意味ヲ以テ政府ハ石炭増産ノ計畫ヲ
立テテ居ル譯デアリマス、左様御承知ヲ願
ヒマス

○吉植委員 ドウモ大臣ハ中々海山千年ノ
豪ノ者デスカラ、私ノヤウナ青二才ニハ押
ヘ兼ねマス、併シ私ハサウ云フ大體ノ方針
デナク、今日發ル電氣ヲ用ヒテ三十五萬噸
製造シテ居ル確安會社ニ、一切ニ優先シテ
電氣ヲ送ルカ、又石炭ヲ用ヒテ確安並ニ石
炭並ニ優先シテ居ル工場ニ優良炭ヲ他ニ優
先シテ渡シテ呉レルカ、斯ウ云フ御尋ヲシ
テ居ルノデ、其ノ外ノコトヲ御尋シテ居ル
ノデアリマセズ、併シ是ハ全農産物ノ爲メ
ゴザイマシテ、是ガ出來ルカ出來ナイカハ全
農産物ノ死活ニ關ル所デアル、隨テ是ガ全
確保出來ルカ出來ナイカ、是ハ重大ナ問題
デ、此ノ御一ツ押サカサナイカガ大臣ノ
心一ツ懸ツテ居リマスカラ、無駄トハ存ジ
マスガ、左様ナ重大時機デアル、農産物増
産ト云フ一番根本ノ御答ヲ御尋シマス
○藤原國務大臣 其ノ御一ツ押サカサナイカ
ゴザイマス
○吉植委員 洵ニドウモ有難イ御答ヲ頂
戴致シマシタ、モウ一項目御尋致シマスガ、
其ノ前ニ御參考ニ申上ゲテ置キマス、電氣
化學工業會社ノ大牟田工場デハ、大淀川ノ
發電カラノ四萬「キロ」ノ發電設備ガアツタ

帝國農會、愛國婦人會出版部、産業組合中
央會、修養團、ズツト斯ウ云フモノガ澤山
アリマシテ、是ハ皆公共團體、公益團體デ
ゴザイマス、此ノ公益團體ノ雜誌ト云フモ
ノハ一般ニ先ヅ二百五十頁カラ百頁内外ノ
小サナ雜誌デゴザイマス、然ルニ一般世間
ニ行ハレテ居リマス雜誌ハ五百頁モゴザイ
マスノデ、同ジ三割五分乃至三割一分減ヲ
食ヒマシテモ、立派ニ雜誌ノ體ヲ成シテ發
行出來マスガ、僅カ二百五十頁乃至百頁ノ
雜誌ガ三割五分減ヲ食ヒマス、雜誌發行
ニ非常ニ支障ヲ來スノデアリマス、今日思
想發達、社會生活ノ安定其ノ他ニ對シテ重
大ナ役目ヲ演ジテ居リマスル新様ナ諸團體
デゴザイマスカラ、一ツ此ノ紙制統令カラ
新様ナ公益團體ノ頁削減ト云フコトハ、何
等カ特別ノ御配慮ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、
大臣ノ御考如何デゴザイマセウカ
○藤原國務大臣 只今ノ問題ニ付キマシテ
ハ政府委員ヨリ御答致サセマス
○辻政府委員 雜誌用紙ニ付テ使用ノ制限
ヲ致サナケレバナラナイ事情並ニ從來實行
シテ參リマシタ使用制限ノ方法等ニ付キマ
シテハ、只今御話モゴザイマシタシ、申上
ゲルマデモナイ所カト存ジマス、大體ニ於
キマシテ從來雜誌協會並ニ公益團體雜誌協
會ヲ通ジテ一定ノ方針ヲ示シマシテ、用紙
ノ使用制限ニ付テ各雜誌會社ノ協力ヲ求メ
テ參ツタノデアリマス、御話ノ要點ハ、雜
誌ノ内容ニ依ツテ或ハ公益團體雜誌デア
ルカ、或ハ其ノ他ノ雜誌デアるかニ依ツテ、
使用制限ノ方法ヲ違ヘル必要ガアルデハナ
イカト云フ點ニオアリカト拜聴致シタノデ
アリマスガ、從來ノ方法ハ、御承知ノ通り
主トシテ雜誌ノ使用數量ノ多寡ニ於テ實行

致シテ參ツタノデアリマス、其ノ内容或ハ
雜誌會社ノ經營ノ實際ト云フ點ニハ、特ニ
立入ツテ細カク規定スル方法ヲ執ツテ居
ナイノデアリマス、或ハ娯樂雜誌デアルト
カ、學術雜誌デアルトカ云フ其ノ種類ニ依
ツテ考慮スル、或ハ其ノ頁數ニ依ツテ考
慮ヘルト云フコトモ一ツノ方法デアラウカ
ト存ジマスガ、何レニ致シマシテモ、一般
ノ文化機關トシテノ雜誌ノ使命ニモ鑑ミマ
シテ、色々内務省、厚生省、關係團體ノ方
トモ十分交渉致シマシテ、今後用紙ノ使用
制限ヲ如何ニスルカト云フコトニ付キマシ
テハ十分篤ト考慮致シタイ考ヘマス
○吉植委員 私人御尋申スノハ一般ノ雜誌
ハ、小サナノモアリマスガ、普通雜誌ト言
ヘバ四百頁アリマスカラ、假ニ三割五分
ノ制限ヲ喰ヒマシテモ、相當立派ナ雜誌ト
シテ發行出來ルノデアリマス、所ガ公益團
體ノ雜誌ニナリマスト二百頁ノモノガ、三
割五分ノ減ヲ喰ヒマシテ、百三十頁ニナツ
テ、編輯上其ノ他ニ於テモ大變困ツテ目的
ヲ達スルコトガ出來ナイヤウナコトニ立至
ルノデアリマス、ソレガ公益團體デアリマ
スカラ、此ノ點特別ノ御配慮ヲ願ヒタイト
云フノデアリマスガ、御答ヲ承ツテ置キタ
イ

○辻政府委員 先程申上ゲマシタヤウニ、
雜誌ノ種類如何ト云フ點ニ付テ、從來ノヤ
リ方ハ一般ノニ申セバ特ニ區別ヲシテ參
ナカクノデアリマス、唯併シナガラ御話ノ
通り公益團體關係ノ雜誌デアルトカ云フ點
カラ、多少此ノ規定ノ運用等ニ付テ或ル程
度ノ考慮ハ事實上抑ツタコトモアルカト存
ジマス、最近ノ更ニ用紙ノ窮乏ニ對處致シ
マス關係上、從來ノ制限ガ事實上強化サレ

テ居ルト云フヤウナ關係モゴザイマスノ
デ、今御話ノ點等ニ付テハ尙ホ今後トモ十
分考慮致シタイ、斯様ニ考ヘ居リマス
○原主査 中島君
○中島委員 事務當局ノドナタデモ宜シウ
ゴザイマスガ、商工省ノ十五年度ノ豫算ヲ
見マスルト、經常部ニ於テハ百一十五萬圓
ダケ十四年度ニ比シテ増加シテ居ルノデア
リマスガ
（主査退席吉植主査代理著席）
臨時部ニ於テハ九百七十七萬九千圓ダケ減
ツテ居リマスノデ、合計差引致シマスルト、
八百七十六萬四千圓ダケ減ジタコトニナツ
テ居リマスガ、此ノ臨時部ノ減ノ理由ト、
經常部ノ増ノ理由、結局八百七十六萬四千
圓ダケ十四年度ニ比シテ減ツタト云フ理由
ヲ承リタイ、數字ノ關係デアリマス
○山本政府委員 御答致シマス、形式的ニ
減ツタヤウニ見エテ居リマスルノハ、今年
カラ帝國燃料株式會社ト帝國鑛業株式會
社トノ出資金ガ、前年度ニ於テハ商工省豫
算ニ計上サレテ居リマシタノガ、投資特別
會計ガ出來マシタ爲メ其ノ分ガ商工省ノ豫
算カラ形式的ニ成ツタノデ、一應減ツタヤ
ウナ恰好ニナツテ居リマス、其ノ金額ハ千
二百二十五萬圓、ソレカラ經常部ニ於テ殖
エタト云フコトデゴザイマシタガ、是ハ人
員ガ増加シタリ、事務費ガ増加シタカラデ
アリマス
○中島委員 其ノ殖エタ主ナ項目ハ何デス
カ
○山本政府委員 主ナルモノハ輸出ノ關係
デ、輸出毛織物ノ検査ノ關係、ソレカラ機
械試驗所ニ自動車部ヲ設置シタト云フヤウ
ナ關係デアリマス、主ナモノハソナンモノ

ノ經濟界ニ非常ナ大變動ヲ與ヘタリ、或ハ國民生活ニ非常ナ混亂ヲ來スト云フヤウナコトヲシタリ、豫算ノ不實行ノヤウナコトヲストカ云フコトノナイヤウニ、低物價政策此ノ時局ヲ乘切リマシテ、サウシテ一ツツ適當ナ策ヲ講ジテ行キタイ、サウ申シマス統制經濟ニ付テ國民ハ非常ナ不申ヲ持チ、不安ヲ持ツテ色々ナ摩擦ヲ生ジテ今日モウヤリ切レナイデハナイカ、即チ石炭ノ問題モ破綻ヲ來シタデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御尋デアリマスガ、私ハ絶對ニ是ハ破綻ヲ來シタモノデハナイト信ジテ居リマス、又此ノ統制經濟モ、モウヤリ切レナイ所ニ達シタノデ、是チヤ逆モヤツテ行ケナイイデハナイカ、即チ破綻ヲ來シタデハナイカト云フ風ニハ私ハ考ヘテ居リマセス、石炭ノ問題ニシテモ、統制經濟ニ於テモ適當ナ處置ヲ施シテ之ヲ運用スレバ十分ニヤツテ行クコトガ出來ル、又ヤツテ行カナケレバナラナイシ、ヤツテ行クコトガ出來ル、唯運用其ノ他ニ於テ色々ノ支障ガアル爲ニ今日ノヤウナコトニナツテ居ルデアリマシテ、決シテ根本的ニ低物價政策ヲ講ジテ居ルノデハナイト私自身ハ固ク信ジテ居リマシテ、政府ニ於キマシテモ其ノ方針ヲ以テ進ンデ居ルデアリマス

○中島委員 洵ニ大臣ハ實業界出身ノ方トハ見ラナレバ程認識ガ缺ケテ居ラレマシテ、私共洵ニ其ノ點ヲ遺憾ト致シマス、現在經濟界ハ混亂シテ居ル、行詰ツテ居ル、電氣ノ爲ニ石炭ヲ取ツタガ、瓦斯ハドウデス、瓦斯會社ニ於テハモウ三日分ノ石炭シカナイト云フノデ非常ニ心配シテ居ル、昨日或ハ一日昨日アタリノ日日新聞讀賣新聞ニモ掲載サレテアリマス如ク、電氣ノ方ヘ石炭ヲ振ツ

攫ツテ其ノ爲ニ瓦斯ニ火ガ點イタ、瓦斯ニ火ガ點イテハ是ハ生活ノ大必需品デアリマシテ、電氣ニ劣ラナイモノデアリマス、殊ニ御承知ノ通り工業ニハ缺カベカラザル原料デアリマシテ、其ノ八割ハ瓦斯ニ依ツテ事業ヲ爲シテ居ルト云フテ宜イ、ソレガ一方カラ取ツテ一方ヲ補填スルト云フ工合ダカラ、片方ニドウシテモ不足ガ起ル、増産ヲヤツタ其ノ上ノ石炭デハナイ、アチコチノ少イ物ヲ皆振ツ攫ツテ來テ日發ヘヤツタ、北海道其ノ他カラ來ル所謂強制配給ニ遭ツタモノモ、瓦斯會社ヘ向フベキモノモ皆日發ヘ取ツタ、此ノ點カラ行キマスレバ當然今度ハ瓦斯ニ火ガ點キマスルガ、瓦斯ノ方ハドウナサルカ、瓦斯ハ電氣ト同ジク生活必需品デアリ、工業ノ大動力デアル之ニモ同ジヤウナ方法ヲ執ルノデアリマセウカ、石炭ノ供給ニ付テ商工省ハ之ヲ確保スルダケノ御考ヲ御持チニナツテ居リマスカ、片ツ方ヲ押ヘレバ片ツ方ガ引ツ込ム、今度瓦斯ガ止レバ軍需工業ハ止ル、非常ナ重大問題ガ起ツテ來ル、之ヲシモ經濟界ノ混亂ト言ハズシテ何ゾヤト私共ハ言ヒタテ居リマスカ、瓦斯ニ對テドウ云フ對策ヲ持タレテ居リマスカ、瓦斯ニ對スル石炭ノ確保ニ對シテ商工省ニ如何ナル御確信ガアルカ、伺ヒタイ

○藤原國務大臣 御尤ノ御尋デアリマス、ガ併シ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス、瓦斯ヲ止メ電氣ヲ點ケル、ソレデハ何ニモナラナイ、足ヲ削ツテ手ヲ生カスヤウナモノデスカラソレデハ何ニモナラナイ、停爐ヲ止メテ電氣ヲ點ケテモ何ニモナラナイ、詰リ石炭ガ不足シテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シナガラ此ノ電氣ヲ止メ

タクトニ付テハ、度々申上ゲマシタカラ繰返シマセマスガ、日本發送電ヲ助ケル爲ニ多大ノ努力ヲ拂ツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シナガラ瓦斯ノ石炭ヲ奪ツテ發送電ニナルト云フヤウナコトヲ致シタコトハアリマセス、瓦斯ハ瓦斯、兎モ角モ今日ハ困難アル、石炭ガ不足ダカラ困難アルケレドモ、瓦斯ノ火ハ從前ノ通りニヤツテ、電氣ハ又電氣デヤツテ行クヤウニシヨウ、ソレ燒爐ハ燒爐デヤツテ行クヤウニシヨウ、ソレヲ適當ニ按配スルコトニ付テ商工省ニ於テ多大ノ苦心ヲシテ、今日デハ先ヅ兎モ角モ國民ニ多大ノ迷惑ヲ掛ケナイヤウニ實際ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマス、即チ之ヲ言ヒ換ヘレバ、神戶ノ瓦斯ナドハ一時サウ云フ憂ガアリマシタケレドモ、適當ナル處理ガ行ハレマシテ御心配ヲ掛ケルヤウナコトハナイコトヲ信ジテ居リマス

○中島委員 事務當局ニ伺ヒマスガ、唯大臣ガ信ジテ居ル、大丈夫ダト云フ間ニ電氣ニ火ガ點キ、瓦斯ニ火ガ點イテ來タノデアリマシテ、瓦斯ハ一日八千噸下云フ非常ニ多クノ石炭ヲ要スルノデアリマシテ、大體ニ於テ瓦斯會社ハ一月分位持ツテ居ルノデス、ソレヲ日發デ貸シテ呉レト云フノデ大分取ラレタ、ソレヲ元ヘ返スノカ返サナイノカ、又瓦斯ニ對スル一日八千噸モ要スベキモノガ、是ハ私共ノ調査スル所ニ依リマス三日分カ四日分シカ持ツテ居ナイ瓦斯會社デアリマス、少シ時化デモ起レバ北海道カラ來ル船ガ來ナクナル、瀬戸内海ニ時化デモアレバ又日發ト同ジヤウナ工合ニ、此ノ間ノヤウナ問題ヲ瓦斯ニ於テ繰返シ憂ガアリマス、殊ニ關西ヲ中心トシテ是等ノ問題ガ今日ヤカ

マシタツテ居ルノデアリマスルガ、日日新聞ノ昨日ノ朝刊ニハ詳細ニ其ノ事ガ書イテアリマシテ、又夕刊ニハ緩和シタコト云フヤウナコトモ書イテアリマシタガ、當業者ヲ呼ンデ聽イテ見マス決シテ緩和サレテハ居ナイ、吾々ノ持ツテ居ル石炭ハ日發ヘ取ラレテシマツテ居ルノダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ他ノ工場ニ於テモ日發ニ集メタ爲ニ、日發二十日カラ先ハ二割制限ヲ解除スルト云フコトヲ選信大臣モ言ウテ居ラレマスケレドモ、今度ハ瓦斯ノ方ニ火ガ點イテ來ル、唯安心セイ、安心セイデハ安心出來ナイ、瓦斯ヲ助ケルト又他ノ軍需工業ハ困ルト云フ工合ニ發展シテ、行ク先々デ尻ガ割レテ來ルト云フコトニナリマスト大變デアリマスカ

○永田政府委員 只今瓦斯ノ需給狀況ニ付テ御尋ガアリマシタノデ御答ヲ申上ゲタイト存ジマス、御話ノヤウニ瓦斯ノ原料デアリマス石炭ガ窮屈ニナリマシタ結果、瓦斯ニ付キマシテモ消費ヲ節約シナケレバナラ

ナイト云フ状態ニナツテ參リマシタガ、昨年ノ十二月以來臨時措置法ニ基キマシテ各瓦斯會社ニ命令ヲ發シマシテ、其ノ製造配給並ニソレノ、バランスガ取レナカツタ場合ノ使用制限方法等ヲ商工省ニ申出サセマシテ、之ニ依ツテ消費節約ヲヤラセタノデゴザイマス、幸ニ致シマシテ各需業者モ能ク理解サレマシテ、適當ナ消費ヲ行ツテ參リマシタノデ、今日マデノ所ハ此ノ儘行ケバ大シク「トランプ」モ起サズ、此ノ冬モ過シ得ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、唯御話ノヤウニ最近ニ於テ石炭ノ輸送船ノ不足カラ、東京方面或ハ阪神方面ニ於テ石炭ノ「ストック」ガ數日分シカナイト云フ事態ガ起リマシタケレドモ、燃料局並ニ管船局方面ト密接ナ連絡ヲ取リマシテ、日發ノ石炭ヲ送ル所ヘ、同時ニ瓦斯用ノ石炭ヲ割込シテ積ンデ賣フト云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、大體今ノ所デハ瓦斯ヲ止メナクテハナラスト云フ風ナ悲シムベキ事態ハ起ラズシテ過シ得ルモノト考ヘテ居リマス

○中島委員 瓦斯會社ハ全國デ百二十程アリマスガ、貯炭ハドレ位持ツテ居ルノデスカ

○永田政府委員 御答申上ゲマス、只今ノ所全國平均致シマシテ一週間位ノ貯炭ガアリマス、是ハ平常ノ状態ニ於キマシテハ、二十日位必要ナノデアリマシテ、今日ハ先程申上ゲタヤウナ事情デ貯炭ガ減少シテ居ル次第デアリマス

○中島委員 タツタ一週間ノ貯炭シカナクテ、船ガ又時化カ何カデ七日モ停マレバモウ直クナクナル、サウ云フコトニナレバ、是ハ非常ナ危険状態デハナイカト思フ、瓦斯ノ需要ガ少イ、又貯炭ガ二十日分アル、

ト云フナラ兎ニ角、瓦斯ノ需要ガ非常ニ多クテ、去年カラ大體三割モ増シテ居ルノデアリマスガ、瓦斯ハ今一番安イ、民衆ニ取ツテハ是ダケ安イ燃料ハナイ、十年開始ド瓦斯ノ値段ト云フモノハ上ゲテナイ、之ヲ止メラレト、今一週間ト云フコトヲ聽イテ私モ益々不安ニ地ヘナイノデアリマス、ソレデ大臣ガ御言ハルヤウニ安心ガ出來テ行ケマスカ、出來ル、大丈夫ダト云フダケハ承知ハ出來マセス、引下レマセス、是ハ國民生活ニ取ツテ非常ニ重大ナル影響ヲ及ボス問題デアリマスカ、僅カ百二十社關係デアリマスケレドモ、石炭ノ需要ガ非常ニ多イ、八割ハ石炭デアル、一週間分デハ時化ガアツタラバツタリ止ツテシマフ、今外仕方ガナイ、ソレデアルカラ一週間分デハ足リナイカラ、日發ニヤツテ居ルモノヲ返シテ賣フトカ、或ハ其ノ他ノ方法デ瓦斯ニ對スル石炭ヲドウ云フ風ニシテ供給スルカ、其ノ方針ヲ篤ト茲ニ明ニシテ載キタイ、サウシナケレバ國民ハ安心シマセス

○藤原國務大臣 御尤モデアリマス、ソレデ只今ノ石炭ノ計畫カラ申シマスレバ、御承知ノ通り一月二月ハ海上ノ風波モ荒ク、輸送モ困難デアリ、又北海道地方ナドノ積出モ非常ニ困難ナ時デアリマシテ、最モ石炭ヲ多量ニ要シテ、サウシテ石炭ノ運送等ニハ非常ニ困難ナ季節デアリマス、ソレ故ニ各工業會社、瓦斯會社其ノ他總テガ夏ノ三月、四月、五月、六月ト云フヤウナ降雨期、隨テ段々石炭ノ貯蔵ニ消費シナイヤウナ季節ニ石炭ヲ貯蔵シテ置キマシテ、十二月末カ一月、二月ト云フヤウナ海上ノ風波ガ荒ク、輸送ニ最モ困難ナ時ニ備ヘルノガ

從來ノ慣行デアツタ、又ソレハ普通ノ工業會社、瓦斯會社、電氣會社等ノ經營ハ皆サウ云フ工合ニナツテ居ツタ、今年ハソレガ御承知ノヤウナ工合ニ、石炭ノ缺乏デ日發ガ大イニ苦シンダガ爲ニ、瓦斯會社ノ石炭ヲ日發ニ流用シテ日發ヲ助ケテ、サウシテ其ノ石炭ヲマダ返スコトガ出來ナイト云フヤウナ非常ナ窮乏ニ陥ツテ、ヤリ繰ニヤリ繰ヲ重ネテ來テ茲ニ至ツタノデアリマスガ、日發ノ方モ漸ク輸送ガ滑カニナツテ參リマシテ、此ノ二十日カラ二割制限デ以テ行カウト云フコトニナツテ參リマシテ、石炭ノ到著モ漸次順調ニナツテ來テ居ルノデアリマスカラ、隨テ瓦斯會社ノ方ガ親芝ヲ告ゲルト、今度ハ只今政府委員カラ申上ゲタ通りニ、日發ニ供給スベキ船ニ瓦斯會社ノ炭ヲ積ンデ持ツテ來ルトカ云フヤウナ應急ノ手段ヲ講ジテ、不都合ノナイヤウニヤツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ只今御尋ノ通り、タツタ一週間分デハ安心ガ行カスデヤナイカト云フコトハ御尤モデアリマスガ、今ガ一番海上ノ危險ナ時デアリマシテ、此ノ日本發送電ノ狀況カラ考ヘテ見テモ、一月カラ二月ノ十日頃マデノ間ハ、非常ニ海上ハ時化テ運送モ困難デアリマシタノガ、漸ク滑カニナツテ、順調ニ石炭ガ到着シテ居ルト云フヤウナ今日ノ實情デアリマシテ、是カラ後ハ三月四月ト段々輸送モ樂ニナリ、其ノ反對ニ石炭ハ段々要ラナクナツテ來ル、貯蔵モ段々ニ殖エル、斯ウ云フ時デアリマスカラ、無論困難ナコトハ存ジテ居リマスケレドモ、一面ニハ是ヨリ外ニ仕方ガナイト思ツテ居リマスガ、同時ニ之ヲ巧ク按排シテ行ケバ、先達テ國民ニ電氣ニ付テ掛ケ

ラ緩和シテ行クコトガ出來ヨウカト云フヤウニ只今政府モ考ヘテ居リ、且ツ努力致シテ居ル所デアリマス

○中島委員 サウスルト瓦斯ニ對スル石炭モ、電氣ト同ジヤウニ、イザトナレバ、強制配給ヲスルヤウナ手配ガ出來テ居ルノデスカ、ソレカラモウ一ツハ昨日カ一昨日ノ新聞デアリマシタカ、大臣ハ石炭徵用令ヲ發布スルト云フ決心ヲ以テ新聞記者諸君ニ發表シタ後ニ於テ、事務當局ノ激烈ナル反對ニ會ツテ撤回シタト云フコトガ書イテアリマシタガ、ナゼソレヲ發布スルコトヲ止メタカ、ドウ云フ譯デ事ソコニ至ツタカ、何時如何ナル時ニドシナコトガ起ルカ分ラズ、此ノ戰時ノ、或ル意味ニ於テ非常ニ困難ナ状態ニアル時ニ、石炭徵用令ヲ折角御決心ニナツタノナラ、傳家ノ寶ヲ抜イテ置イタ方ガ宜イト思ヒマス

○藤原國務大臣 御尤モ御尋ト存ジマスガ、政府ノ内情デアリマスケレドモ率直ニ申上ゲマス、其ノ方ガ御諒解ガ行ツテ極ク簡單ニ濟ムト思ヒマス、私ハ實ハ本當ノ所ヲ申上ゲマス、今頃ハマダ餘程石炭ニ苦シムト思ヒマシタ、ト云フノハ一月カラ色々ノ手配ヲ何過モ何過モヤリマシタケレドモ、總テ巧ク行カナカツタ、ダカラ二月二十日カラ二割ノ制限デ電氣ヲ回復スルコトハ到底不可能ダ、兎ニ角二月十日マデ持ツテ、二月十日ニナツテ石炭ガ巧ク行カナカツタラ、仕方ナイカラ、徵用令ヲ施行シテ、強權ヲ以テデモ電氣トカ瓦斯トカ國民生活ニ必要ナル石炭ノ供給ヲ確保シナケレバナラズ、斯ウ云フ決心ヲ以テ二月十日ニ石炭徵用令ヲ出ス準備ヲシテ、スツカリ手配ヲ調ベ、モウ出スバカリニシテ居リマシタ、ソコデ

四九

第一類第八號 豫算委員第七分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日

其ノ準備が出来テ出サウト云フ時ニナ
ツテ、石炭ガ額調ニナツテ來タ、徵用令ヲ
發布シナイデモ、風波モ良クナリ、石炭ノ
騰送モ滑カニナツテ來タカラ、此ノ様子ナ
ラバ徵用令ヲ發布シナイデモサウ大目言シ
民ニ迷惑ヲ掛ケナイデ、逕信大臣ガ明言シ
タヤウニ、二月二十日カラ二割ノ制限ニ戻
シテ滑カニ之ヲ供給スルコトガ出來ル、勿
論ソコマデ行クノニハ多大ノ苦心モ要ルシ、
努力モ要ルケレドモ、過日モ申上ゲタ通り
小樽トカ、室蘭トカ、或ハ若松ノ各港ニ出
張員ヲ出張サセテ石炭ノ積出ヲ督勵サスト
カ、鐵道ニモ色々ノ努力ヲシテ貫ツタリシ
テ、各省ノ積出ヲ十分ニスル、サウ云
フ設備ヲシタリ色々ノ努力ヲシテ結果、天候
ノ助ケ、又前カラノ努力モ加ツテ、旁、石
炭ガ額調ニナツタカラ徵用令ハ出サナイデ
モ濟ム、斯ウ云フコトニナツタノデアリマ
ス、必要ガアレバイツデモ出セルカラ、サ
ウ鳥胆シテ斯ウ云フ徵用令ノ如キモノハ出
サナイデ置イテ、入用ガアツタラ直ダ出ス、
斯ウ云フコトニシタラ宜クハナイカ、是ガ
即チ本當ノ政府ノ内情デアリマスカラ、ド
ウゾ左様御承テ願ヒマス

○中島委員 能ク内容ニ付キマシテハ諒承
致シマシタ、御苦心ノ點ハ御察申上ゲマ
ス、併シ私ハマダ不安デアル、瓦斯ニ付テ
一週間モ之ヲ起ス石炭ヲ持ツテ居ナイ、斯
ウ云フ狀況ナレバイツ又時化ガ起ラストモ
限ラナイ、天候次第仕事ガ非常ニ妨ゲラ
レテ來ルノダカラ、出シテ置イテ其ノ實行
ヲ見合シテ居ツテ實行スベキ時ニヤツタ方
ガ私ハ宜カラウト思ヒマス、出シタカラ必
ズ毎日ボン／＼適用シナケレバナラヌコト
ハナイト思ヒマス、瓦斯ニ付キマシテハ出

シテ儲ケナカッタコトヲ私共ハ非常ニ遺憾
トシテ居ル點デアリマス、商工省ハ私共
ヘテ貴ヒニ時々行キマスガ、下僚ノ方々ハ
非常ニ苦心ヲシテ居リマス、殊ニ石炭問題
ニ付テ關戸技師ナシカハ、アレバ能ク神經
衰弱ニナラヌワイト思フ程苦心セラレテ居
ル、此ノ商工省ノ下僚ノ人々ガ大變ニ苦心
セラレテ居ルコトハ、行ツテ見ナケレバ
分ラナイ、實ハ私共ハ統制經濟ノ何トカ言
フテ御叱リヲシタイケレドモ、ソレヲ見ル
ト叱ル氣ニナレナイ、ソレ程私ハ最近ニ於
キマシテハ同情シテ居リマス、サウ云フヤ
ウニ役人ノコアルバイトニ無理ガ掛ツテ居
ル、ソレカラ一方ニ於キマシテハ其ノ無
理ヲ掛ケルベキコトヲ動キガアル、價格ヲ
抑ヘルト云ツテモ直ダ亂シテシマフ、ソコ
ニ無理ガアル、其ノ方カラ抑ヘテ來ナケレ
バ、是ハ正常化サレナイ、生産力擴充ハ三四
年前ニ比レバ四五倍ニモナツテ居リマス、
併シソレニ入レルベキ物ガナイノ設備
ケデ空廻リシテ居ルト云フヤウナ調子デア
リマス、到ル處ニ矛盾撞着ガ起ツテ參リマ
シテ、經濟界ガ思ハヌ一ツノ混亂狀態ニ赴
キツツアリマス、餘程是ハ商工大臣ハ決心
セラレタイ、瓦斯ニ火ガ點イテ來マシタナ
ラバ、モウ是ハ天下ノ實業家瀕臨破産ノ
威張ツテハ居レマセス、電氣マデハ前内閣
ノ惡政ノ結果デアリマシテ、遺傳毒トモ
云フヤウナモノデアリマセウカ、之ヲ治療
スルニ上テ於テ、懸崖相ト商工大臣ガ非常ニ
御努力ヲサレタコトハ、國民ハ感謝シテ居
リマス、瓦斯ニナツテ來マスト、假令是ハ
前内閣ノ不始末ノ結果デアルト致シマシテ
モ、ヤハリ死骸ノ傍デ血刀ヲ持ツテ居レバ
殺人罪ヲ犯シタト言ハレマスカラ、死骸ノ

傍ニ成ベク居ラヌヤウニ、死骸ニ當リ獨リ
ノナイヤウニシナケレバナラヌ、是ハ非常
ナ重大問題デアリマスカラ、先ツ大臣カラ
只今ノ御言葉ヲ承リ、事務當局ノ方カラモ
此ノ議場ヲ通ジテ國民ガ其ノ御言葉ヲ聽ケ
バ安心スルデアラウ、一週間分ノ貯炭デハ
私ハ一寸疑問ニモ考ヘマス、瓦斯ニ付テモ
強制配給ハ電氣ノ石炭ト同ジヤウニヤル、
已ムヲ得ナイ場合ニハ徵用令ヲ發布シテヤ
ツテ行ク、此ノ二ツノ言質ヲ得タイノデス
ガ、如何デゴザイマセウカ

○藤原國務大臣 中島君ヨリ私ニ對シテノ
御忠告ハ、洵ニ有難ク謹ンデ感謝致シテ置
キマス、尙ホ又燃料局ノ事務當局ガ涙ダマ
シイヤウナ盡力ヲシテ居ルト云フコトモ能
ク御觀察下サツテ、ソレニ對シテ御同情ヲ
賜ツタコトモ、此ノ席上ヨリ感謝致シテ置
キマス、就キマシテハ是ハモウ申上ゲル必
要モナイコトデアリマスカラ、今日マデ石炭
ガ斯ノ如キ危機ニ瀕シテ、世間デ言ハレル
ニシテ非常ニ石炭ノ貯蔵十分ニシ、電氣
ニシテ非常ニ瓦斯ノ貯蔵十分ニシ、電氣
會社ニモ瓦斯會社ニモモウ是ナラ大安心ダ
ト云フヤウニスルコトハ、言葉ノ上デハ出
來マスカレドモ、實行上ハ中々困難デアリ
マス、是ハ御察察ヲ願ヒタイト思ヒマス、
今ハ過渡期デアリマスカラ、先ツ一週間分
ノ貯炭デモ之ヲ巧ク運用シテ、電氣ニモ瓦
斯ニモ迷惑ヲ掛ケナイヤウニシテ行クコト
ガ、今日一番必要ナコトデアリマス、先キ
ニナリマシテ來年ノ冬マデノ間ニハ十分ナ
對策ヲ講ジテ、只今御説ノヤウニドチラニ
曲ツテモ、ドンナ故障ガアツテモ、電氣モ
瓦斯モ差支ナイヤウニスルコトガ必要ダ
ト存ジマスガ、今直ダニ大安心ダト云フコ

トハ、中々實行ハ御引受ケシテモ出來ナイ
ト思ヒマス、兎モ角モ此ノ位ノ所デ一ツヤ
ツテ行クト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイ、
一番最後ノ御尋、瓦斯ニモ電氣ト同様ニ
徵用令ヲ施行スルコト云フ御質問ニ對シマ
シテハ、施行致シマスト云フ御返事ヲ申上
ゲマス

○中島委員 大體ニ於キマシテ其ノ點ニ付
キマシテハ諒解致シマシタガ、尙ホ一週間
ノ石炭ガナイト云フ不安ノ狀態デアリマス
ガ、能クソコハ事務當局ノ間ニ於キマシテ
モ、大臣ニ於キマシテモ、極力國民ノ安心
スルヤウニ御努力セラレンコトヲ希望致シ
マス

ソレカラ最後ニ株式ノ監督ノ問題デアリ
マスガ、此ノ株式熱ガ去年カラ非常ニ盛デ
アリマシテ、御承知ノ通りニ投資本位デハ
ナツシテ、投機ノニナツテ居ル、一月ニナ
ツテ此ノ方大分暴落ハシテ居リマスカレド
モ、其ノ上場株ノコトヲ言フノデアリマセ
ス、非上場株ノ方ガ非常ニ沸騰シテ居ルノ
デアリマス、ソレハ私ガ調ベマシタ所ニ依
リマス、東洋トカ其ノ他ノ上場株式ハ昨年
末ニ於テ二百億、非上場株式ハ驚クナカレ七
百億——是ハ調査シテ與レマシタ者ノ間違
カモ知レマセスガ、併シ大體三倍見當ノ價
格ヲ持ツテ居リマス、殊ニ小サイ會社、ボ
ロ會社ノ二割、三割ノチツボケナモノガ、
十二回カラ十五回或ハ二十回、十倍ニモナ
リマシテ、ソレガ農村ノ方面ニ滔々トシテ
流入シテ居ル、洵ニ要フベキ現象デアリマ
シテ、是等ニ對シマシテ非上場株ノ公認ニ對
シテハ何等カ監督ノ方法ヲ執ラナケレバ、
公債ノ消化ニモ影響シテ來マスカラ、徒ニ投
機取引ヲ煽ルト云フ結果ニナツテ來マス、

土地ノ思惑取引ト小形ノ非上場株、是ノ思
惑ニ付テハ相當盛シデアリマシテ、是ハ上
場株ノ沸騰スルト沸騰セヌトニ拘ラズ、非
常ニ滑行的ニ惡クローカーノ他ニ依ツ
テ農村ヘ流レテ行ク株ガ澤山アリマス、是
等ノ點カラ考ヘマシテ、株式ノ投機取引時
等ノ點カラ考ヘマシテ、此ノ點ニ付テノ御考
察ニ對スル方策如何、此ノ點ニ付テノ御考
察ヲ承リタイト思ヒマス、又上場株ノ點ニ付
キマシテハ、現在ノ證據金ガ低イヤウニ思
フノデアリマス、英吉利ニ於テモ、獨逸ニ
於テモ、或ハ亞米利加ニ於テモ、戰時ニナ
リマス、ト直ダ證據金ヲ引上ゲタ、サウシテ
投機取引ニ對シマシテハ時勢ヲ加ヘル方法
ヲ採ツテ居ル、是等ノ點ニ付キマシテ、多
年實業界デ苦勞サレタ大臣ハドウ云フヤウ
ナ御考ヲ持ツテ居リマスガ、今マデ此ノ間
題ニ付テハ餘リ取扱ツテ居ナイヤウデアリ
マシタカラ、大臣ノ御考ヲ承リタイノデア
リマス

立テタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、又
上場株ノ證據金ノ問題デアリマスガ、必要
ニ應ジマシテ出來ルダケ上ゲルト云フ方策
ヲ採リタイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、
御説ノヤウニ考ヘテ居リマス

非上場株ニ依ツテ募集サレタ小型ノ會社、
ソレヘ持ツテ行ツテヤラスモノデアリマス
カラ、熱線職工ガ居ナイト云フコト、又馬
鹿ニ高イ間取引ニ依ル物資ト材料ト仕事ヲ
シテ居ル、又驚クベキ高イ金利ヲ使ツテ居
ル、私ノ調ベマシタノハ、是ハ臨時資金調
整法ニ掛ル百萬圓以上ノ會社デアリマス
ガ、二十萬圓以下ノ會社デアリマシタナラ
バ——東京附近ノ下請工場ト云フモノハ悉
ク高利貸ノ喰物ニナツテ、日歩三十何錢ト
云フヤウナ高イ金利デヤツテ居ル、ソレデ
モ三回モ不合格ニナツテモ四回目ニ合格ス
レバ三割五分ノ配當ヲシテ居ル、是等ニ付
テハ昨日モ陸軍ノ方ヘ單價ノ問題ニ付テ質
問シマシタガ、サウ云フヤウナ小サイ會社
ガ大キナ會社ノ熱線職工ヲ、千圓モ二千圓
モ出シテ連レテ來テ居ル、所謂努力ノ間取
引デアル、物資材料ノ間取引、金利モ亦大
藏省ノ金利ノ平準化ニ反シテ金利ノ間取引、
間取引ト云フトカシイガ、金利モ間取引
ト云ヘバ間取引デス、此ノ三ツデヤツテ
居ル會社ガアリマス、私百二十軒知ツテ
居ル高利貸ガアツテ、調べテ見タ所ガ驚ク
人公ヤ重役ト云フモノハ三割、五割ノ配當
ヲ受ケテ居ル、サウシテソレガ花柳界方面
ニ現ハレテ、所謂ドンチヤン騒ギヤツテ
居ル、一等客ハ、衆議院議員、貴族院議員
ト云フノハ變ラヌガ、其ノ外ニハサウ云フ
客ガ占領シテ居ルト云フコトニナツテ居ル、
ソレデサウ云フ先生方ガ非常ニ物ノ値ヲ上
ゲ、間取引ヲ獎勵シ、ソレカラ金利ヲ高クシ、
勞賃ヲ高クシテ居ルノデアル、私ハ去年ノ
七月カラ高利貸ヲ擱ヘテ會社ヲ見テ貰ツ
タ、ソレハ興業銀行ニ金ヲ借りニ行ツテモ

旨ク行カナイ、又貸シテ與レテモ三月モ掛
ル、陸海軍ノ方ハ納期ガアツテ、納期マデニ
ヤラナケレバ、千分ノ五ナリハナリノ罰金
ヲ取ラレル、ソレデ急イデ納期ニヤル、ソ
レガ爲ニ高イ金利デモ五十萬圓ナリ百萬圓
ナリ借りテ來ル、所ガ高利貸ト云フモノハ
其ノ工場ニ行ツテ一寸見タダケデ、僅カ三
時間デ小切手ヲ直ダ渡シテ與レル、其ノ金
デ間相場物ヲ買ツテ來テ品物ヲ拵ヘル、
少々不合格ニナツテモ早クヤツテ高ク賣付
ケル、是ガ物價ノ高イ所以デアス、陸海軍ニ
ハ詳シク話シテ置キマシタガ、商工省ノ方
モ此ノ點ハ能ク御察下サイマシテ——ド
ウ云フ所ニドウ云フ現象ガ起ツテ居ルカト
云フト、間取引ノ結果斯ウ云フコトニナツ
テシマツテ居リマス、洵ニ重大ナコトデア
リマス、是等ノ會社ノ株ハ二三回デアツタ
モノガ、十二回位ニナツタヤウナノガ澤山
アリマス、ソレデ此ノ源ヲ清クシナケレバ、
上ヲ清クスルコトハ出來ナイト思フノデア
リマス、低物價政策、低金利政策、低勞銀
政策ト申シマシテモ、核心ノ所、樞軸ノ所
ハ斯ウ云フ所ニアルノデアリマシテ、色々
ジマス、勸銀サンニ氣ノ付カナイ所ニ、色々
斯ウ云フ現象ガ起ツテ居ルノデアリマス、
斯ウ云フ會社コソ一朝反動期ニナレババタ
バタ倒レル、何シロ去年工作機械ガ二億圓近
ク「スタララ」ニナツタ、ソレハ悉ク金融
ヲ止メラレテ閉鎖シツツアル、斯様ナ状態
デアリマス、大臣ハ多年實業界ニ居ラレタ
ガ、三井、王子製紙ト云フ謂ハバ大手筋、
大番頭デアリマスカラ、サウ云フ小サイ所
マデ眼光紙背ニ微シテオ居デニナルカドウ
カ、多分オ居デニナルト思ヒマスカレドモ、
將來サウ云フ所マデ御注意下サイマシテ、

生産擴充ノ行詰リ、生産擴充ノ各方面ニ於ケル矛盾撞著ト云フ所ヲ仔細ニ御視察下サイマシテ、水戸黃門ノ氣持ヲ以テ產業界ノ末梢神經マデ御觀察下サイマシテ、此ノ戰時體制ニ對シテ商工省トシテ對應サレシコトヲ希望致シマシテ、本日ノ質問ヲ打切りマス

○原主査 本日ハ此ノ程度デ質問ヲ打切り、來ル十九日ニ引續キ致スコトニ致シタイト思ヒマス、十九日ノ月曜日ハ質問者ガマダ澤山アリマスノデ、午前十時カラ開會致スコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時十五分散會

昭和十五年二月十七日印刷

昭和十五年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局